

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事
(建築工事)

設 計 図

むつ市



株式
会社

松下設計仙台支社

図 面 リ ス ト

意 匠 図 ・ 構 造 図

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
L-001	図面リスト	A-018	矩計図(5)	A-055	2階建具キープラン	A-092	2階法チェック図	S-017	ボーリング柱状図 ボーリング位置図
特-001	建築工事特記仕様書(1)	A-019	矩計図(6)	A-056	建具表(1)	A-093	法チェック表	S-018	杭伏図
特-002	建築工事特記仕様書(2)	A-020	矩計図(7)	A-057	建具表(2)	A-094	1階室別求積図	S-019	基礎伏図
特-003	建築工事特記仕様書(3)	A-021	矩計図(8)	A-058	建具表(3)	A-095	2階室別求積図	S-020	1階梁伏図
特-004	建築工事特記仕様書(4)	A-022	玄関ポーチ詳細図	A-059	建具表(4)	A-096	外構計画平面図 (その1・2工事混在)	S-021	2階梁伏図
特-005	建築工事特記仕様書(5)	A-023	階段室1詳細図	A-060	建具表(5)	A-097	外構計画横断面図 (その1・2工事混在)	S-022	天井受け・設備受け材伏図
特-006	建築工事特記仕様書(6)	A-024	階段室2詳細図	A-061	建具表(6)	A-098	外構詳細図(1)	S-023	屋根伏図
特-007	建築工事特記仕様書(7)	A-025	1階平面詳細図(1)	A-062	1階家具キープラン	A-099	外構詳細図(2) (その1・2工事混在)	S-024	軸組図(1)
特-008	建築工事特記仕様書(8)	A-026	1階平面詳細図(2)	A-063	2階家具キープラン	A-100	外構詳細図(3)	S-025	軸組図(2)
特-009	建築工事特記仕様書(9)	A-027	1階平面詳細図(3)	A-064	家具詳細図(1)	A-101	オイルタンク詳細図	S-026	軸組図(3)
特-010	建築工事特記仕様書(10)	A-028	1階平面詳細図(4)	A-065	家具詳細図(2)	A-102	排水処理施設詳細図(1)	S-027	軸組図(4)
特-011	建築工事特記仕様書(11)	A-029	2階平面詳細図	A-066	1階サインキープラン	A-103	排水処理施設詳細図(2)	S-028	軸組図(5)
特-012	建築工事特記仕様書(12)	A-030	展開図(1)	A-067	2階サインキープラン	A-104	排水処理施設詳細図(3)	S-029	軸組図(6)
特-013	建築工事特記仕様書(13)	A-031	展開図(2)	A-068	サイン詳細図	A-105	排水処理施設詳細図(4)	S-030	軸組図(7)
特-014	建築工事特記仕様書(14)	A-032	展開図(3)	A-069	雑詳細図(1)	A-106	排水処理施設詳細図(5)	S-031	軸組図(8)
特-015	建築工事特記仕様書(15)	A-033	展開図(4)	A-070	雑詳細図(2)	A-107	排水処理施設詳細図(6)	S-032	軸組図(9)
特-016	建築工事特記仕様書(16)	A-034	展開図(5)	A-071	厨房ピットキープラン	A-108	現況敷地図	S-033	基礎リスト
特-017	建築工事特記仕様書(補足)	A-035	展開図(6)	A-072	厨房ピット詳細図(1)	A-109	仮設計画図(参考図)	S-034	基礎梁リスト
特-018	工事区分表	A-036	展開図(7)	A-073	厨房ピット詳細図(2)			S-035	RCスラブリスト・RC雑詳細図
		A-037	展開図(8)	A-074	厨房ピット詳細図(3)			S-036	鉄骨リスト・継手リスト
A-001	案内図・配置図	A-038	展開図(9)	A-075	厨房ピット詳細図(4)			S-037	鉄骨詳細図
A-002	敷地・建物求積図・面積表	A-039	展開図(10)	A-076	アルミサッシ詳細図(参考)・煙突詳細図	S-001	構造関係共通図 構造関係共通事項	S-038	鉄骨雑詳細図
A-003	外部仕上表 (その1・2工事混在)	A-040	展開図(11)	A-077	システム天井詳細図(参考図)	S-002	配筋標準図(1)	S-039	鉄骨階段1詳細図
A-004	内部仕上表(1)	A-041	展開図(12)	A-078	エレベータ詳細図(1)(参考図)	S-003	配筋標準図(2)	S-040	鉄骨階段2詳細図
A-005	内部仕上表(2)	A-042	展開図(13)	A-079	エレベータ詳細図(2)(参考図)	S-004	配筋標準図(3)	S-041	GIコラム-S工法 特記仕様書
A-006	内部仕上表(3)	A-043	展開図(14)	A-080	ダムウエータ詳細図(参考図)	S-005	配筋標準図(4)	S-042	コラム配置図・ボーリング柱状図
A-007	床下ピット平面図	A-044	展開図(15)	A-081	厨房機器位置図(参考図)	S-006	配筋標準図(5)		
A-008	1階平面図	A-045	展開図(16)	A-082	厨房機器一覧表(1)(参考図)	S-007	鉄骨標準図(1)		
A-009	2階平面図	A-046	展開図(17)	A-083	厨房機器一覧表(2)(参考図)	S-008	鉄骨標準図(2)		
A-010	屋根伏図	A-047	展開図(18)	A-084	B1プレハブ冷蔵庫/B2プレハブ冷蔵庫(参考図)	S-009	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準		
A-011	立面図(1)	A-048	展開図(19)	A-085	D1プレハブ冷蔵庫/D2プレハブ冷蔵庫(参考図)	S-010	QLルーフ屋根設計・施工標準		
A-012	立面図(2)	A-049	展開図(20)	A-086	天吊式コンテナ消毒保管機 詳細図(参考図)	S-011	ハイベースNEO工法設計施工標準		
A-013	断面図	A-050	展開図(21)	A-087	エアシャワー 詳細図(参考図)	S-012	ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形(Fc24の場合)		
A-014	矩計図(1)	A-051	展開図(22)	A-088	開口展開詳細図(1)(参考図)	S-013	スーパーハイベース工法設計施工標準		
A-015	矩計図(2)	A-052	1階天井伏図	A-089	開口展開詳細図(2)(参考図)	S-014	スーパーハイベース工法 各種寸法及び基礎柱形(Fc24の場合)		
A-016	矩計図(3)	A-053	2階天井伏図	A-090	開口展開詳細図(3)(参考図)	S-015	鉄骨ばり貫通孔補強 ハイリングⅢ工法設計施工標準		
A-017	矩計図(4)	A-054	1階建具キープラン	A-091	1階法チェック図	S-016	G-ECSパイル工法設計施工標準		

：その1工事を示す ：共通図を示す

<p>(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事)特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>青森県むつ市大字関根字北関根</p> <p>1. 工事場所 133-1の一部、135-1の一部、137、146の一部</p> <p>2. 敷地面積 14,010.99㎡</p> <p>3. 工事種目 ①防災食育センター 鉄骨造 2階建て 新築 建築面積2,207.57㎡ 延べ面積2,607.24㎡ 耐震安全性の分類 構造体 I類 建築非構造部材 A類 建築設備 甲類</p> <p>②外構 舗装、側溝、フェンス、浸透枿等 電気設備機器、機械設備機器の基礎、その他躯体等 (機械室上屋、プロパンボンベ庫は機械設備工事とする)</p> <p>4. 工事範囲</p> <p>II 建築工事仕様</p> <p>(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という。)による。図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という。)による。</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は(/)図、機械設備工事の特記仕様書は(/)図による。</p> <p>(3) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>4) 特記事項に記載の[. . .]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>5) G印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和2年2月7日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す。</p>	<p>章 項目</p> <p>1章 各章共通事項</p> <p>○適用基準</p> <p>1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部</p> <p>2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課</p> <p>○適用区分</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速(Vo=34m/s) 地表面粗度区分(Ⅲ) ○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表(11)</p> <p>○環境への配慮</p> <p>(1.4.1)[1.4.1]</p> <p>1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性(フタル酸ジエーノープチル及びフタル酸ジエーノエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>(1.4.2)[1.4.2]</p> <p>1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。</p> <p>3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</p> <p>5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ○床型枠用鋼製デッキプレート ○鉄鋼柱下無収縮モルタル ○無収縮グラウト材 ○既製調合モルタル(タイル工用) ○既製調合目地材 ○ルーフトレン ○吸水調整材 ○錠前類 ○クローザ類 ○自動扉機構 ○自閉式吊り引戸機構(手動開き式) ○重量シャッター ○軽量シャッター ○オーバーヘッドドア ○防水剤 ○現場発泡断熱材(特定のフロンのものを除く) ○フリーアクセスフロア ○移動間仕切 ○移動間仕切 ○トイレブース ○煙突用成形ライニング材 ○天井点検口 ○床点検口 ○グレーチング ○トブライト ○ポリマーセメントモルタル ○鑄鉄製ふた</p> <p>○材料の品質等</p>	<p>2章 仮設工事</p> <p>○足場その他 (2.2.4) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>3章 土工事</p> <p>○埋戻し及び盛土工 (3.2.3) 材料及び工法 ・材料() 工法() ※表3.2.1による 種別 ○A種 適用場所(下記以外) ○B種 適用場所(浸透枿) ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() 品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。 (3.3.3) 鋼矢板等の抜き後の処理 ※直ちに砂等で充填する 山留めの存置 行う (存置範囲 ※図示)</p> <p>4章 地業工事</p> <p>○支持地盤等 (3.2.1)(4.2.4)(4.3.4、5)(4.4.4)(4.5.5、6)</p> <p>○杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) ○図示による(S017) ・直接基礎 支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・図示による() ・試験掘り(根切り底の状態の確認等) ・行わない 行う 位置等 図示による() ・地盤の載荷試験 載荷試験の方法 地盤工学会基準 JGS 1521による 試験の位置、載荷荷重 図示による()</p> <p>・既製コンクリート杭地業 (4.2.2)(4.3.1、3~6、8)</p> <p>種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 SKK400 SKK490</p> <p>寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>コンクリート強度(N/mm²)</th> <th>杭径(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>杭長(mm)</th> <th>継手数</th> <th>セト数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 工法 ・セメントミルク工法 試験杭 試験杭の位置 ・図示による() 掘削深さ 図示による() 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 -1/100以内 ・特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α=()、β=()、γ=()</p>	種類	コンクリート強度(N/mm ²)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭									本杭									<p>工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周固定液 ・使用する ・使用しない 試験杭 試験杭の位置 ・図示による() 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内 杭の継手の工法 ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 杭頭の処理等 ・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による() 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの 杭施工に伴う発生汚泥の処理 ※場内で固化処理した後に搬出する。</p> <p>○鋼杭地業 (4.2.2)(4.3.8)(4.4.3~6)</p> <p>鋼杭の材料 ○STK490 寸法、継手等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>板厚(mm)</th> <th>杭長(mm)</th> <th>継手数</th> <th>セト数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ○H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α=(184)、β=(0)、γ=(0) 工法 ・中掘り拡大根固め工法 ○羽根付き鋼管杭回転設置工法 試験杭 試験杭の位置 ○図示による(S018) 杭の根入れ長さ ○図示による(S017、S018) 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ○S016による 杭の傾斜 ・1/100以内 ○S016による 杭の継手の工法 ○溶接継手 形状 ・JIS A 5525による ○S016による 溶接材料 ○標準仕様書7.2.5(1)(2)による</p>	種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭								本杭								<p>一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 昭昭</p> <p>図面名 建築工事特記仕様書(1)</p> <p>図面種別 特</p> <p>図面番号</p> <p>縮尺 S=1:- (A3版 50%縮小)</p> <p>001</p>
	種類	コンクリート強度(N/mm ²)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																														
試験杭																																																							
本杭																																																							
種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																
試験杭																																																							
本杭																																																							
<p>株式会社 松下設計仙台支社</p> <p>一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 〒980-0830 第22110183号</p> <p>TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128</p> <p>管理建築士 小山 紀彦(一級建築士登録 275570号)</p>	<p>委託番号 22-127S 設計部長 検 図</p> <p>日程 2023年3月24日 担当 製 図</p>	<p>(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図</p>																																																					

・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
 工法 ※評定等を受けた工法
 検査 ※評定等により定められた項目
 施工 ※評定等をされた施工管理基準による

杭頭の処理等
 ○処理しない ・処理する
 処理方法（切断ともなう補強方法含む）
 ・図示による（ ）

杭頭の中詰め材料
 ○基礎のコンクリートと同調合のもの

・場所打ちコンクリート杭工事 (4.2.2)(4.5.1、4~6)

工法
 ・アースドリル工法
 （安定液 ※使用する ・使用しない）
 ・リバース工法
 ・オールケーシング工法
 （孔内の水張り ・行う ・行わない）

併用する工法
 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
 鋼管巻き材料
 ・SKK400 ・SKK490
 ・拡底杭工法（安定液 ・使用する ・使用しない）

寸法等

	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (mm)	セツ 数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭						
本杭						

試験杭
 試験杭の位置
 ・図示による（ ）
 孔壁の保持状況（孔壁測定）
 測定箇所
 ・試験杭（ ）箇所及び本杭（ ）箇所
 杭の支持層への根入れ深さ
 ・図示による（ ）
 杭の精度
 水平方向の位置ずれ
 ・杭径の1/4かつ100mm以下
 杭の傾斜
 ・1/100以内

鉄筋の種類

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295A		
・SD345		

帯筋 ・図示による（ ）
 鉄筋の最小かぶり厚さ ・100mm
 鉄筋かぶり厚さの補強
 ・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接する
 組み立てた鉄筋の節ごとの継手
 ※重ね継手
 重ね継手の長さ ・図示による（ ）
 主筋の基礎底盤への定着長さ
 ・図示による（ ）
 セメントの種類
 ※高炉セメントB種 G
 コンクリートの設計基準強度
 ・図示による（ ）
 コンクリートの種別
 ・A種 ・B種 ・評定等の内容による
 スランプ
 ・ ※18cm
 構造体強度補正值
 ※3N/mm² ・図示による（ ）
 ・評定等の内容による

○砂利地業 (4.6.2、3)
 材料
 ○再生クラッシャーラン G ・切込砂利又は切込砕石
 砂利厚さ
 ※60mm
 範囲
 ○基礎下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
 ・図示による（ ）

○捨てコンクリート地業 (4.6.4)
 範囲 ○基礎梁下、土に接するスラブ下
 ・図示による（ ）
 厚さ ※50mm ○90mm(露出柱脚下)
 設計基準強度 ※18N/mm²
 スランプ ※15cm又は18cm

○床下防湿層 (4.6.2、5)
 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
 範囲 ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

・地盤改良工法
 ・置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）
 形状等 ・図示による（ ）
 支持地盤の長期設計支持力 ・（ ）kN/m²
 支持地盤 ・図示による（ ）
 型枠使用の有無
 ・無し
 ・有り 型枠の使用箇所等は図示による（ ）

5章 鉄筋工事

○鉄筋 (5.2.1)
 鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径(mm)	備考
○SD295A	D16以下	
○SD345	D19以上	

○溶接金網 (5.2.2)
 鉄線の種類等

種類	種類の記号	鉄筋の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
○溶接金網	DS1	φ6-100x100	2Fスラブ
・鉄筋格子			

○鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)
 鉄筋の継手の方法等

部位	継手の方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	○ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	
その他の鉄筋（スラブ）	○重ね継手	

継手位置
 ○図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
 ○図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1表3.1）
 ・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(a)(2)）
 耐力壁の重ね継手の長さ
 ・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1表3.1）
 ・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(a)(2)）
 鉄筋の定着の長さ
 ○図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(b)）

○鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む） (5.3.5)
 最小かぶり厚さ
 ○図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）4.1表4.1）
 耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
 ・あり 適用箇所（ ）
 ・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm

○各部配筋 (5.3.7)
 各部配筋
 ○図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）
 ・図示による（ ）
 ○圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)
 試験
 ※超音波探傷試験
 ・引張試験
 試験方法等
 ※標準仕様書5.4.10(i)(b)①~⑥による

・機械式継手 (5.5.2)
 適用箇所
 ・図示による（ ）
 H12建告第1463号に適合する性能
 ・A級
 機械式継手の種類
 ・図示による（ ）

・溶接継手 (5.6.3)
 適用箇所 ・図示による（ ）
 H12建告第1463号に適合する性能 ・A級
 溶接継手の工法 ・図示による（ ）

○コンクリートの種類 (6.2.1)
 コンクリートの種類
 ※I類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
 ・II類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

○コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6.2.1~4)(6.3.2)(6.10.1、2)
 ○普通コンクリート

設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所
○24	※標準仕様書表6.2.2による	2.3程度	全躯体
○18	15	2.3程度	土間コンクリート

構造体強度補正值
 ※標準仕様書表6.3.2による
 ○セメント (6.3.1)
 種類
 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする） 適用箇所（ ）
 ・高炉セメントB種 G 適用箇所（ ）
 ・フライアッシュセメントB種 G 適用箇所（ ）

○骨材 (6.3.1)
 アルカリシリカ反応性による区分
 ※A ・B
 ○混和材料 (6.3.1)
 ○混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による
 ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による

・暑中コンクリート (6.12.2)
 構造体強度補正值 ※6N/mm²
 ○無筋コンクリート (6.14.1)
 コンクリートの種類 ※普通コンクリート
 セメントの種類
 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
 ・高炉セメントB種 G
 ・フライアッシュセメントB種 G
 設計基準強度
 ※18N/mm²
 スランプ
 ※15cm又は18cm
 適用箇所
 ・ ※標準仕様書6.14.1(4)(7)~(h)による

・流動化コンクリート (6.15.1)
 適用箇所 ・図示による（ ）

・打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)
 打継ぎの位置
 ・図示による（ ）
 目地寸法
 ・標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9) ・図示による（ ）
 ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
 ・図示による（ ）

○構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)
 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種別	適用箇所
○A種	外周部立上り部
・B種	
・C種	

コンクリートの仕上りの平たんさ（柱・梁・壁）

種別	適用箇所
○a種	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り接着剤による陶磁器質タイル張り
・b種	仕上塗材塗り
・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張りモルタル塗り、胴縁下地

コンクリートの仕上りの平たんさ（床）

種別	適用箇所
○a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式)
・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床

○打増し厚さ（打放し仕上げ部） (6.8.1)
 ○打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
 ○20mm
 ・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
 ・10mm ・20mm
 ・床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレート支地される梁の側面については、打増しを行うこと。
 コンクリートの打増し厚さ ※10mm
 施工範囲 ※図示による（ ）

○型枠 (6.8.2)
 せき板の材料及び厚さ
 ○合板 (○12mm) G
 ・断熱材を兼用した型枠材
 使用箇所
 ・図示による（ ）
 性能
 熱抵抗値を0.73m²・K/W以上を有するもの
 ・MCR工法用シート
 適用箇所
 ・図示による（ ）
 打増し厚さ
 ・20mm
 打増し範囲
 ・図示による（ ）
 スリーブの材質・規格等
 ・図示による（ ）

○コンクリートの単位水量測定
 実施要領
 ※図示による（構造関係共通図（構造関係共通事項））

7 章 鉄骨 工事	<p>○鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (M) グレード以上 ・監督職員の承諾する工場</p>	<p>○ターンバックル (7.2.6)</p> <p>種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル胴 ※割枠式 ねじの呼び ○図示による (S036)</p>	<p>○溶接部の試験 (7.6.12)</p> <p>平12建造第1464号第二号に関する外観試験方法等 ○「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p>	8 章 コン クリ ート ブ ロ ッ ク ・ A L C パ ネ ル ・ 押 出 成 形 セ メ ン ト 板 工 事	<p>・補強コンクリートブロック造 (8.2.2、3、5)</p> <p>ブロックの種類等 (8.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ(mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法(mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタルの調合(容積比) (8.2.3) ・セメント() : 砂() 各部の配筋 (8.2.5) ※図示による() モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ※図示による()</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	・				・無 ・有			・				・無 ・有																																																																																																																		
	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無			適用箇所	備考																																																																																																																																			
長さ			高さ																																																																																																																																									
・				・無 ・有																																																																																																																																								
・				・無 ・有																																																																																																																																								
<p>○鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>○鋼材 (7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>梁・間柱</td> <td>○JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SN400・SN490</td> <td>梁・ダイヤフラム</td> <td>○JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SSC400</td> <td>天井・設備受け材</td> <td>○JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>BCR295</td> <td>柱</td> <td>○大臣認定による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JIS規格による</td> </tr> </table> <p>○高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)</p> <p>高力ボルトの種類 ○トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○図示による (S036~038) ・なし</p> <p>○普通ボルト (7.2.3)(7.3.2、8)</p> <p>ボルト及びナットの材料 ○標準仕様書表7.2.3 (JIS附属書品) 又は次による。 ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は、鋼とする。 座金 ※JIS B 1256による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○図示による (S036~038) 母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm</p> <p>○溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○図示による() 摩擦面の処理方法 ・プラスチック処理(表面粗度50μmRz以上) ・りん酸塩処理 すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験において、対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する</p> <p>○アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)</p> <p>○溶接材料 (7.2.5)</p> <p>溶接材料 ○標準仕様書7.2.5(1)(2)による</p>	種類等			種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格	SS400	梁・間柱	○JIS規格による	SN400・SN490	梁・ダイヤフラム	○JIS規格による	SSC400	天井・設備受け材	○JIS規格による	BCR295	柱	○大臣認定による			・JIS規格による	<p>○床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">材質、形状及び寸法</th> </tr> <tr> <th></th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○デッキプレート単独の構法</td> <td>屋根</td> <td>S010による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td> <td>2Fスラブ</td> <td>S009による</td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ○図示による (S009, S010) 鉄骨部材への溶接方法 ○図示による (S009, S010) 耐火認定 ○あり 耐火時間 ○図示による (S009, S010) ・なし</p> <p>○柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(2)(7)から(エ)による ○ S011, S013</p> <p>○製作精度 (7.3.3)</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6付則6 [鉄骨精度検査基準] に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建造第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建造第1464号第二号イ(3)による</p> <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ○「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p>○仮組 (7.3.10)</p> <p>仮組を行う範囲 ・図示による()</p> <p>○溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>試験の要領 ・図示による()</p> <p>○溶接接合 (7.6.4、7)</p> <p>開先の形状 ○図示による (S007) ・エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() 切断範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ・標準仕様書7.6.7(1)(カ)(b)②による</p> <p>○スカラップの形状 ○図示による (S007)</p> <p>○入熱、パス間温度の溶接条件</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ○図示による (S008) 適用箇所 ・図示による() ○柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</p>	材質、形状及び寸法					適用箇所	材質・形状・寸法	備考	○デッキプレート単独の構法	屋根	S010による		○デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法	2Fスラブ	S009による		<p>○錆止め塗装 (7.8.2、4)(18.3.2)</p> <p>塗装の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示による() ○コンクリートに接しない部分 塗料の種類 下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類</p> <p>○耐火被覆 (7.9.2~8)</p> <p>種類、材料、工法等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付けロックール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・湿式ロックール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・張りモルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○アンカーボルトの設置等 (7.10.3)</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ○図示による (S036) 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 厚さ 種別 ※A</p> <p>○軽量形鋼構造 (7.11.2)</p> <p>ボルトの接合方法 ○普通ボルト接合</p>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール			・半乾式吹付けロックール			・湿式ロックール			・耐火材張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・耐火材巻付け	・高断熱ロックール			・張りモルタル塗り	—			・耐火塗料				<p>○コンクリートブロック帳壁及び壁 (8.3.2、3、4)</p> <p>ブロックの種類等 (8.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ(mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法(mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">(表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> <tr> <td>・空洞ブロック(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型枠状ブロック20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁の厚さ (8.3.2) ・なし</p> <p>壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4) ※図示による() 各部の配筋 (8.3.4) ※図示による()</p> <p>ALCパネル (8.4.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>パネルの区分</th> <th>単位荷重(N/m²)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>表面加工</th> <th>構法の種類別</th> </tr> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>有(1)時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>・有(1)時間 ・無</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・C種 ・D種 ・E種</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>有(0.5)時間</td> <td>平</td> <td>F種</td> </tr> <tr> <td>・床パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>有()時間</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・なし</p> <p>外壁、屋根パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 ・パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅(mm) ※10~20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考	長さ	高さ	・空洞ブロック(16)				・無 ・有			・型枠状ブロック20				・無 ・有							・無 ・有			パネルの区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種類別	・外壁パネル		・100			有(1)時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種	・間仕切壁パネル		・100			・有(1)時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種	・屋根パネル		・100			有(0.5)時間	平	F種	・床パネル		・100			有()時間		
種類等																																																																																																																																												
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																																																																																																																										
SS400	梁・間柱	○JIS規格による																																																																																																																																										
SN400・SN490	梁・ダイヤフラム	○JIS規格による																																																																																																																																										
SSC400	天井・設備受け材	○JIS規格による																																																																																																																																										
BCR295	柱	○大臣認定による																																																																																																																																										
		・JIS規格による																																																																																																																																										
材質、形状及び寸法																																																																																																																																												
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																																									
○デッキプレート単独の構法	屋根	S010による																																																																																																																																										
○デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法	2Fスラブ	S009による																																																																																																																																										
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																									
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール																																																																																																																																											
	・半乾式吹付けロックール																																																																																																																																											
	・湿式ロックール																																																																																																																																											
・耐火材張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																											
・耐火材巻付け	・高断熱ロックール																																																																																																																																											
・張りモルタル塗り	—																																																																																																																																											
・耐火塗料																																																																																																																																												
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																																																																																																																						
		長さ	高さ																																																																																																																																									
・空洞ブロック(16)				・無 ・有																																																																																																																																								
・型枠状ブロック20				・無 ・有																																																																																																																																								
				・無 ・有																																																																																																																																								
パネルの区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種類別																																																																																																																																					
・外壁パネル		・100			有(1)時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種																																																																																																																																					
・間仕切壁パネル		・100			・有(1)時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種																																																																																																																																					
・屋根パネル		・100			有(0.5)時間	平	F種																																																																																																																																					
・床パネル		・100			有()時間																																																																																																																																							

<p>○押出成形セメント板 (ECP)</p> <p>(8.5.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>形状</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>工法の種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">○外壁パネル</td> <td>○F</td> <td>・50 ○60</td> <td></td> <td rowspan="3">○A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D</td> <td>・50 ・60</td> <td>600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・T</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・間仕切壁パネル</td> <td>・F</td> <td>・50 ・60</td> <td></td> <td rowspan="3">・B種 ・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D</td> <td>・50 ・60</td> <td>600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・T</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (○1) ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 パネル相互の目地幅 (mm) ○長辺: 10mm、短辺: 15mm 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ・ ※15程度 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ・ ※パネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開口の大きさ</th> <th>切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">パネルに開口を設ける場合</td> <td>短辺 ○A 幅の1/2以下かつ300mm以下 ・ 図示</td> <td>○150mm以上 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>長辺 ○500mm以下 ・ 図示</td> <td>○300mm以上 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺 ○A 幅の1/2以下かつ300mm以下 ・ 図示</td> <td>○300mm以上 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>長辺 ○500mm以下 ・ 図示</td> <td>○300mm以上 ・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p>	パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考	○外壁パネル	○F	・50 ○60		○A種 ・B種		・D	・50 ・60	600		・T	60			・間仕切壁パネル	・F	・50 ・60		・B種 ・C種		・D	・50 ・60	600		・T	60				開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	パネルに開口を設ける場合	短辺 ○A 幅の1/2以下かつ300mm以下 ・ 図示	○150mm以上 ・ 図示	長辺 ○500mm以下 ・ 図示	○300mm以上 ・ 図示	パネルを切り欠く場合	短辺 ○A 幅の1/2以下かつ300mm以下 ・ 図示	○300mm以上 ・ 図示	長辺 ○500mm以下 ・ 図示	○300mm以上 ・ 図示	<p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材 G</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td rowspan="4">標準仕様書9.2.2(9) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm</td> <td rowspan="4">・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> <td rowspan="4">・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○鋼製下地断熱防水構法 IRJ-020G 同等品以上</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・設ける (※図示) ・設けない 防水層の下地の立上り ・ ※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 押え金物の材質、形状及び寸法 ・ ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の下地のモルタル塗り ・ 適用する (施工範囲 ※図示) ・ ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシート防水 (9.3.2、3) (表9.3.1~3)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材 G</th> <th rowspan="2">防湿用シート</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td rowspan="5">標準仕様書9.3.2(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm</td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5">・改質アスファルトシート の製造所の仕様</td> <td rowspan="5">・改質アスファルトシート の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ ・ mm以上 ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ ・ mm以上 ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ ・ mm以上 ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p>	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料		種類	使用量	・D-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・D-2		・D-3		・D-4		・D1-1					・D1-2					種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2		種別	施工箇所	断熱材 G	防湿用シート	仕上塗料		種類	使用量	・AS-T1		標準仕様書9.3.2(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm		・改質アスファルトシート の製造所の仕様	・改質アスファルトシート の製造所の仕様	・AS-T2		・AS-T3		・AS-T4		・AS-J1		・AS1-T1						・AS1-J1						<p>押え金物の材質、形状及び寸法 ・ ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ・ 個 ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p> <p>(9.4.2~4) (表9.4.1~3)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">絶縁用シート の材質</th> <th rowspan="2">断熱材 G</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td rowspan="2">※発泡ポリエチレンシート</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・ルーフィングシート の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・ルーフィングシート の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-F1</td> <td></td> <td rowspan="2">※発泡ポリエチレンシート</td> <td rowspan="2">標準仕様書9.4.2(3)(I)(b) (種類) (厚さ)</td> <td rowspan="2">・ルーフィングシート の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・SI-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-M1</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">標準仕様書9.4.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ)</td> <td rowspan="2">・ルーフィングシート の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・SI-M2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>SI-F1、SI-F2、SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルムの設置 ・ 設ける ・ 設けない S-M2またはSI-M2の立上り部の工法 ・ 接着工法 立上り面のシート厚さ ※1.5mm ・ 機械的固定方法</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> <th rowspan="2">立上り部の保護モルタル塗厚</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平場のモルタル塗り</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>塗厚</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-C1</td> <td></td> <td>・床塗り工法 ・下地モルタル塗り</td> <td></td> <td>・ ※7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内保護密着工法 平場のモルタル塗りの目地 ・種類 ・目地割 ・図示</p> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ 種類 ・ 厚さ ・ ※標準仕様書表9.4.1、表9.4.2及び表9.4.3による 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ・ 個 ※ルーフィングシートの製造所の仕様</p>	種別	施工箇所	絶縁用シート の材質	断熱材 G	仕上塗料		種類	使用量	・S-F1		※発泡ポリエチレンシート		・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様	・S-F2		・S-M1				・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様	・S-M2		・S-M3		・SI-F1		※発泡ポリエチレンシート	標準仕様書9.4.2(3)(I)(b) (種類) (厚さ)	・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様	・SI-F2		・SI-M1			標準仕様書9.4.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ)	・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様	・SI-M2		種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタル塗厚	平場のモルタル塗り				塗厚			・S-C1		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り		・ ※7mm以下	<p>固定金具の材質、形状及び寸法 ・ ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・ 行う (・ 図示)) プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別 S-F1、SI-F1の場合) ・ 行う (・ 図示)) 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1) ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 (9.5.3) (表9.5.1、2)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・X-1</td> <td></td> <td>・主材料の製造所の仕様</td> <td>・主材料の製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○X-2 機械基礎天端</td> <td></td> <td>○主材料の製造所の仕様</td> <td>○主材料の製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>※地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>※屋内防水</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ・ 個 ※主材料の製造所の仕様 ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2 工程数及び各工程の使用量 ・ ※主材料の製造所の仕様 (9.6.1、3、4) (表9.6.1、2)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・C-SUI</td> <td></td> <td>○C-SUP</td> <td>排水処理施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の下地 壁 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)) 天井部 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)) 下地処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ・ 図示 ※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填 型枠締付け材にコーンが使用されている部位及び防水材の塗布面以外の下地処理 ・ 図示 (9.7.2、3、5) (表9.7.1)</p> <p>下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ・ 図示 ※標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p>	種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	種類	使用量	・X-1		・主材料の製造所の仕様	・主材料の製造所の仕様		○X-2 機械基礎天端		○主材料の製造所の仕様	○主材料の製造所の仕様		・Y-1	※地下外壁防水				・Y-2	※屋内防水			・適用する ・適用しない	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・C-SUI		○C-SUP	排水処理施設	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)				
	パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考																																																																																																																																																																																																																						
○外壁パネル	○F	・50 ○60		○A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																								
	・D	・50 ・60	600																																																																																																																																																																																																																									
	・T	60																																																																																																																																																																																																																										
・間仕切壁パネル	・F	・50 ・60		・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																								
	・D	・50 ・60	600																																																																																																																																																																																																																									
	・T	60																																																																																																																																																																																																																										
	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																																																																																																																																																																																																										
パネルに開口を設ける場合	短辺 ○A 幅の1/2以下かつ300mm以下 ・ 図示	○150mm以上 ・ 図示																																																																																																																																																																																																																										
	長辺 ○500mm以下 ・ 図示	○300mm以上 ・ 図示																																																																																																																																																																																																																										
パネルを切り欠く場合	短辺 ○A 幅の1/2以下かつ300mm以下 ・ 図示	○300mm以上 ・ 図示																																																																																																																																																																																																																										
	長辺 ○500mm以下 ・ 図示	○300mm以上 ・ 図示																																																																																																																																																																																																																										
種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																									
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																								
・D-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																								
・D-2																																																																																																																																																																																																																												
・D-3																																																																																																																																																																																																																												
・D-4																																																																																																																																																																																																																												
・D1-1																																																																																																																																																																																																																												
・D1-2																																																																																																																																																																																																																												
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																									
・E-1		・E-2																																																																																																																																																																																																																										
種別	施工箇所	断熱材 G	防湿用シート	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																								
				種類	使用量																																																																																																																																																																																																																							
・AS-T1		標準仕様書9.3.2(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm		・改質アスファルトシート の製造所の仕様	・改質アスファルトシート の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																							
・AS-T2																																																																																																																																																																																																																												
・AS-T3																																																																																																																																																																																																																												
・AS-T4																																																																																																																																																																																																																												
・AS-J1																																																																																																																																																																																																																												
・AS1-T1																																																																																																																																																																																																																												
・AS1-J1																																																																																																																																																																																																																												
種別	施工箇所	絶縁用シート の材質	断熱材 G	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																								
				種類	使用量																																																																																																																																																																																																																							
・S-F1		※発泡ポリエチレンシート		・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																							
・S-F2																																																																																																																																																																																																																												
・S-M1				・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																							
・S-M2																																																																																																																																																																																																																												
・S-M3																																																																																																																																																																																																																												
・SI-F1		※発泡ポリエチレンシート	標準仕様書9.4.2(3)(I)(b) (種類) (厚さ)	・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																							
・SI-F2																																																																																																																																																																																																																												
・SI-M1			標準仕様書9.4.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ)	・ルーフィングシート の製造所の仕様	・ ※ルーフィングシート の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																							
・SI-M2																																																																																																																																																																																																																												
種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタル塗厚																																																																																																																																																																																																																								
		平場のモルタル塗り																																																																																																																																																																																																																										
		塗厚																																																																																																																																																																																																																										
・S-C1		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り		・ ※7mm以下																																																																																																																																																																																																																								
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層																																																																																																																																																																																																																								
		種類	使用量																																																																																																																																																																																																																									
・X-1		・主材料の製造所の仕様	・主材料の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																									
○X-2 機械基礎天端		○主材料の製造所の仕様	○主材料の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																									
・Y-1	※地下外壁防水																																																																																																																																																																																																																											
・Y-2	※屋内防水			・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																								
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																									
・C-SUI		○C-SUP	排水処理施設																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																																																																											
<p>9章 防水工事</p> <p>○アスファルト防水 (9.2.2~5) (表9.2.3~9)</p> <p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 G</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1</td> <td></td> <td rowspan="3">標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm</td> <td rowspan="3">※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上</td> <td rowspan="3">・コンクリート押え ・えんが押え</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-1</td> <td></td> <td rowspan="3">標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm</td> <td rowspan="3">※フラットヤーンクロス70kg/m²程度</td> <td rowspan="3">・えんが押え</td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A1-1</td> <td></td> <td rowspan="3">標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm</td> <td rowspan="3">※フラットヤーンクロス70kg/m²程度</td> <td rowspan="3">・えんが押え</td> </tr> <tr> <td>・A1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A1-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B1-1</td> <td></td> <td rowspan="3">標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm</td> <td rowspan="3">※フラットヤーンクロス70kg/m²程度</td> <td rowspan="3">・えんが押え</td> </tr> <tr> <td>・B1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B1-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ ・ mm以上 ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ ・ mm以上 ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上</p>	種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護方法	・A-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・コンクリート押え ・えんが押え	・A-2		・A-3		・B-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラットヤーンクロス70kg/m ² 程度	・えんが押え	・B-2		・B-3		・A1-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラットヤーンクロス70kg/m ² 程度	・えんが押え	・A1-2		・A1-3		・B1-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラットヤーンクロス70kg/m ² 程度	・えんが押え	・B1-2		・B1-3		<p>改質アスファルト防水 (9.3.2、3) (表9.3.1~3)</p> <p>改質アスファルトシート防水</p>	<p>○塗膜防水</p> <p>○ケイ酸質系布防水</p> <p>○シーリング</p>																																																																																																																																																																																	
種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護方法																																																																																																																																																																																																																								
・A-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・コンクリート押え ・えんが押え																																																																																																																																																																																																																								
・A-2																																																																																																																																																																																																																												
・A-3																																																																																																																																																																																																																												
・B-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラットヤーンクロス70kg/m ² 程度	・えんが押え																																																																																																																																																																																																																								
・B-2																																																																																																																																																																																																																												
・B-3																																																																																																																																																																																																																												
・A1-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラットヤーンクロス70kg/m ² 程度	・えんが押え																																																																																																																																																																																																																								
・A1-2																																																																																																																																																																																																																												
・A1-3																																																																																																																																																																																																																												
・B1-1		標準仕様書9.2.3(3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラットヤーンクロス70kg/m ² 程度	・えんが押え																																																																																																																																																																																																																								
・B1-2																																																																																																																																																																																																																												
・B1-3																																																																																																																																																																																																																												

10章 石工工事	・施工	(10.1.3、5)	あと施工アンカーの材質及び寸法等 () 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ・図示 ※6m程度ごと シーリング材の目地寸法 ・図示 ※幅・深さとも10mm	11章 タイル工事	○伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 ○セメントモルタルによるタイル張り	(11.1.3) (表11.1.1) 位置 ・図示 ※標準仕様書表11.1.1による 目地寸法 ・図示 ※標準仕様書9.7.3による	(11.2.2、7) タイルの形状、寸法等	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">成形方法</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐摩耗性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> </tr> <tr> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>I種</th> <th>II種</th> <th>III種</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特性</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>100角</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	成形方法			吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐摩耗性		耐滑り性	A種	B種	I種	II種	III種	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特性	有	無	床	100角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	に塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製タッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm2以上を確保していること。) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選り明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断 口) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ(温冷繰返し後)の試験方法 (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること。) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスページョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態 : 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。
	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用		成形方法			吸水率による区分				うわぐすり		役物		色		耐摩耗性		耐滑り性																																					
A種				B種	I種	II種	III種	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特性	有	無																																										
床	100角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																								
・石材等	(10.2.1、3) (表10.2.1、2)	天然石 施工箇所 岩石の種類 等級 形状及び寸法(mm) 厚さ(mm) 表面仕上げの種類 備考 ・床石 ※2等級品 ・ ※正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・乾式工法 (10.2.2) (10.5.2、3) (表10.2.4) 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 () 取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 アンカーの材質及び寸法 ※ステンレス(SUS304) M10 あと施工アンカーの材質及び寸法等 () だぼ用の穴の位置 ・図示 ※標準仕様書10.5.2(2)(7)による 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 外壁の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 目地 目地幅(mm) ※8以上 シーリング材 ・図示 ※標準仕様書9.7による	・床及び階段の石張り (10.6.2、3) 床石張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 階段張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 目地 一般目地 目地幅(mm) 図示 ・屋外4以上 ・屋内3~6 シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ・図示 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取り合う箇所 シーリング材の目地寸法 ・図示 ※幅・深さとも10mm	既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。	(品質・性能) <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/L以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着強さ</td> <td>標準時</td> <td>0.60N/mm2以上</td> </tr> <tr> <td>温冷繰返し後</td> <td>0.40N/mm2以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0N/mm2以上</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時	0.60N/mm2以上	温冷繰返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20%以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>30.0%以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下(収縮)</td> </tr> <tr> <td>吸水率</td> <td>50g以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/L以上</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	保水率	30.0%以上	長さ変化率	0.2%以下(収縮)	吸水率	50g以下	単位容積質量	1.80kg/L以上																									
項目	品質・性能																																																								
保水率	70.0%以上																																																								
単位容積質量	1.80kg/L以上																																																								
接着強さ	標準時	0.60N/mm2以上																																																							
	温冷繰返し後	0.40N/mm2以上																																																							
長さ変化率	0.20%以下																																																								
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																																																								
項目	品質・性能																																																								
保水率	30.0%以上																																																								
長さ変化率	0.2%以下(収縮)																																																								
吸水率	50g以下																																																								
単位容積質量	1.80kg/L以上																																																								
・外壁湿式工法	(10.2.2、3) (10.3.2、3)	受金物 材質 ・ ※SUS304 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm	取付け工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 取付け金物 標準仕様書10.2.2(3) 材質 ※ステンレス(SUS304) 寸法 引金物 ・ だぼ ・ かすがい ・ 受金物 ・ ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 吊金物及び化粧吊りボルト ・設ける 吊金物 ※SUS304径6mm長さ80mm(加工物) ・化粧吊りボルト ※SUS304M10化粧ナット付き ・設けない	・アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.7.1、2) 取付け工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 取付け金物 標準仕様書10.2.2(3) 材質 ※SUS304 寸法 引金物 ・ だぼ ・ かすがい ・ 受金物 ・ ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法 () 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ・ ※70mm程度 石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない	○伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 ○セメントモルタルによるタイル張り	(11.1.3) (表11.1.1) 位置 ・図示 ※標準仕様書表11.1.1による 目地寸法 ・図示 ※標準仕様書9.7.3による	(11.2.2、7) タイルの形状、寸法等	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">成形方法</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐摩耗性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> </tr> <tr> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>I種</th> <th>II種</th> <th>III種</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特性</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>100角</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	成形方法			吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐摩耗性		耐滑り性	A種	B種	I種	II種	III種	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特性	有	無	床	100角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	に塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製タッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm2以上を確保していること。) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選り明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断 口) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ(温冷繰返し後)の試験方法 (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること。) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスページョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態 : 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。	
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	成形方法			吸水率による区分		うわぐすり				役物		色		耐摩耗性		耐滑り性																																							
			A種	B種	I種	II種	III種	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特性	有	無																																										
床	100角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																									
・内壁空積工法	(10.2.2) (10.4.2、3)	受金物 材質 ・ ※SUS304 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm	取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法 取付け金物 標準仕様書10.2.2(3) 材質 ※SUS304 寸法 引金物 ・ だぼ ・ かすがい ・ 受金物 ・ ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法 () 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ・ ※70mm程度 石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない	・笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1、3)	既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。	(品質・性能) <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/L以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着強さ</td> <td>標準時</td> <td>0.60N/mm2以上</td> </tr> <tr> <td>温冷繰返し後</td> <td>0.40N/mm2以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0N/mm2以上</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時	0.60N/mm2以上	温冷繰返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20%以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>30.0%以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下(収縮)</td> </tr> <tr> <td>吸水率</td> <td>50g以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/L以上</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	保水率	30.0%以上	長さ変化率	0.2%以下(収縮)	吸水率	50g以下	単位容積質量	1.80kg/L以上																									
項目	品質・性能																																																								
保水率	70.0%以上																																																								
単位容積質量	1.80kg/L以上																																																								
接着強さ	標準時	0.60N/mm2以上																																																							
	温冷繰返し後	0.40N/mm2以上																																																							
長さ変化率	0.20%以下																																																								
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																																																								
項目	品質・性能																																																								
保水率	30.0%以上																																																								
長さ変化率	0.2%以下(収縮)																																																								
吸水率	50g以下																																																								
単位容積質量	1.80kg/L以上																																																								

(2) 試料の調整
 正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。

(3) 保水性(ろ紙法)
 JIS R 3202「フオート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆にし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。
 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
 保水率(%) = 50/平均値 × 100
 注) 50: リング型わくの径(mm)

(4) 単位容積質量
 (2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。

(5) 長さ変化率
 (2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。

(6) 吸水量
 (2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。

(11.3.2～4、7) タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用G	成形方法			吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	耐凍害性	耐滑り性
			A種	B種	I種	II種	III種	施ゆう	無ゆう					
備考欄: 参照タイルシリーズ														

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
 試験張り ・行う ・行わない
 見本焼き ・行う ・行わない
 接着剤のホルムアルデヒド放散量
 ※規制対象外
 目地のシーリング材
 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材
 ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材
 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材
 その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材
 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
 ・目荒し工法(高圧水洗処理) ・MCR工法

12章 木工事 ○表面仕上げ (12.1.4)(表12.1.1)

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	○A種	見え掛り面
	・B種	
手加工	・C種	
	・H-A種	
	・H-B種	
	・H-C種	

・製材 G

(12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)
 ・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※2級		※A種 ・B種		
			※2級		※A種 ・B種		
			※2級		※A種 ・B種		

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			※上小節		※A種 ・B種		
見え掛り面以外			※上小節以上		※A種 ・B種		
					※A種 ・B種		

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1等		※10%以下 ・A種 ・B種		
			※1等		※10%以下 ・A種 ・B種		
			※1等		※10%以下 ・A種 ・B種		

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	

(12.2.1) ホルムアルデヒド放散量

※規制対象外
 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
笠木	タモ			※1等・2等	
カウンター	タモ			※1等・2等	
				※1等・2等	

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・2等	
					※1等 ・2等	
					※1等 ・2等	

・造作用単板積層材 G

・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	
				※15%以下	
				※15%以下	

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	
					※15%以下	
					※15%以下	

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	
					※15%以下	
					※15%以下	

(12.2.1) ホルムアルデヒド放散量

※規制対象外
 ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り (加工: 天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない	
		・無し (等級:)		
		・有り (加工: 天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない	
		・無し (等級:)		

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り (加工: 天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・適用する ・適用しない	
		・無し ()			
		・有り (加工: 天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・適用する ・適用しない	
		・無し ()			

・床張り用合板等

・CLT(直交集成板) G

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(仕様環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用

ホルムアルデヒド放散量
 ※規制対象外
 ・普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ・※C-D以上	・適用する ・適用しない	

・構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・1級 ※2級以上		※1類 ・2類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	
	・1級 ※2級以上		※1類 ・2類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	
	・1級 ※2級以上		※1類 ・2類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類 ・特類		

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・1類 ・2類	・適用する ()	

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・1類 ・2類			・適用する ()	

<p>13章 屋根及びとい工事</p>	<p>・パーティクルボード G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> <td></td> </tr> </table> <p>・MDF G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○接着剤 (12.2.2, 3) 接着剤は可塑性(難揮発性の可塑性を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・防腐・防蟻処理 (12.3.1, 2) ・防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※標準仕様書12.3.1(イ)(b)①～④による</td> <td>※JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理 適用部位: ()</p>	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	等級	厚さ(mm)		・1級 ・2級 ・3級 ・4級		施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用								適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	適用部材	処理方法	薬剤の種類		※標準仕様書12.3.1(イ)(b)①～④による	※JIS K 1571に適合又は同等品	<p>・折板葺</p> <p>(13.2.2) (13.3.2, 3) (表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形式</th> <th colspan="2">山高、山ピッチによる区分</th> <th rowspan="2">耐力による区分</th> <th rowspan="2">材料による区分</th> <th rowspan="2">厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">軒先面戸板</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> </tr> <tr> <th>山高</th> <th>山ピッチ</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形</td> <td></td> <td></td> <td>()種</td> <td>※鋼板製 ・アルミニウム合金板製</td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 (・JIS3322 CGLCCR-20-AZ150) タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 (標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種)</p> <p>断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 耐火性能: 時間) ・無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め ・ ※けらば包みによる方法</p> <p>(13.4.2, 3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="3">種類</th> <th rowspan="2">大きさ</th> <th rowspan="2">産地</th> <th rowspan="2">役物の種類</th> <th rowspan="2">雪止め瓦</th> </tr> <tr> <th>製法による区分</th> <th>形状による区分</th> <th>寸法による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>JISA5208に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない</p> <p>瓦棧木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 金物等 材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示</p> <p>棟補強用心材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 瓦棧木の留付け工法 ※図示 棟の工法 ※標準仕様書13.4.3(4)(7)(イ)</p> <p>(13.5.2, 3) (表13.5.5)</p> <p>といその他の材種 ○配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ○ルーフトレン</p> <p>とい受金物 材種 ※溶融亜鉛めっきを行ったもの 形状 ※市販品(とい径100以下) ○25×4.5(とい径100を超えるもの) 取付け間隔 スラブ毎</p> <p>足金物 材種 ※溶融亜鉛めっきを行ったもの 形状 ※市販品 取付け間隔</p> <p>多雪地域 ○適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 鋼管製といの防露巻き ○適用する(工法: ※標準仕様書表13.5.4による) ・適用しない</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能	山高	山ピッチ		・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形			()種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し	施工箇所	種類			大きさ	産地	役物の種類	雪止め瓦	製法による区分	形状による区分	寸法による区分								・適用する ・適用しない	<p>14章 金属工事</p> <p>○ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>○ ※HL程度</td> <td>ライニング、厨房機器隙間塞ぎ</td> </tr> <tr> <td>・鏡面仕上げ程度 ・No.2B程度</td> <td></td> </tr> </table> <p>・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・AB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AB-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 (14.2.3) (表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table> <p>野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形</p> <p>・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ※図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示</p> <p>・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>○天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ・図示 ※標準仕様書14.4.4(8)による</p> <p>・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示 補強方法 ※図示</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p>	種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	○ ※HL程度	ライニング、厨房機器隙間塞ぎ	・鏡面仕上げ程度 ・No.2B程度		種別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)	・AB-1種			・AB-2種	・標準色 ・特注色		・AC-1種			・AC-2種	・標準色 ・特注色		・BA-1種			・BA-2種	・標準色 ・特注色		・BB-1種			・BB-2種	・標準色 ・特注色		・BC-1種			・BC-2種	・標準色 ・特注色		・C種	・標準色 ・特注色		表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)	・溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		・電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種		<p>○軽量鉄骨壁下地 (14.5.3, 4) (表14.5.1) スタッド、ランナーの種類 ・ ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4.(5)による</p> <p>・金属成形板張り (14.6.2, 3) (表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅(mm)</th> <th rowspan="2">板厚(mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アルミニウム</td> <td>・押出し</td> <td>スパン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロール</td> <td>ドレル型</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アルミニウム</td> <td>・プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ・図示 ※標準仕様書14.4による 伸縮調整継手 ・設ける(施工箇所 ・図示 ・ ・設けない</p> <p>(14.7.2, 3) (表14.2.1) (表14.7.1) 種類 ・250形 ・300形 ・350形 ○225 表面処理 種別(BB-2)種 () 色合等 ○標準色 () ・特注色 () 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(○1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>(14.8.2, 3) 手すり ○SUS304(表面処理 ・ ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき種別 ※標準仕様書表14.2.2による タラップ ○SUS304(表面処理 ・研磨なし ・HL程度) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種)</p> <p>○モルタル塗り (15.3.2, 5) モルタル ・現場調合材料 ○既調合材料 既調合材料 () 既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状(※図示) ○設けない 床の目地 ・設ける (目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) (種類 ・ ※押し目地) ○設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない</p> <p>○防水剤 (品質・性能) (試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤試験方法」による</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>防水剤の種類</td> <td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td> </tr> <tr> <td>混合割合</td> <td>セメント重量の5%以下</td> </tr> <tr> <td>凝結及び安定性</td> <td>(凝結時間) 始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。</td> </tr> <tr> <td>曲げ及び圧縮強度比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上</td> </tr> <tr> <td>吸水比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下</td> </tr> <tr> <td>透水比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10⁵Paとし1時間行う</td> </tr> </table>	種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理		種別	色合い等	・アルミニウム	・押出し	スパン					・ロール	ドレル型					・アルミニウム	・プレス	パネル形											項目	品質・性能	防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下	凝結及び安定性	(凝結時間) 始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。	曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上	吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下	透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ⁵ Paとし1時間行う
	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																															
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																																																																																																																																																																
施工箇所	等級	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																			
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																															
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																				
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																				
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																				
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																				
適用部材	処理方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																			
	※標準仕様書12.3.1(イ)(b)①～④による	※JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																													
		山高	山ピッチ																																																																																																																																																																																																		
	・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形			()種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																																																																																																													
施工箇所	種類			大きさ	産地	役物の種類	雪止め瓦																																																																																																																																																																																														
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分																																																																																																																																																																																																		
							・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																														
種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																																																																																																																																																																																				
○ ※HL程度	ライニング、厨房機器隙間塞ぎ																																																																																																																																																																																																				
・鏡面仕上げ程度 ・No.2B程度																																																																																																																																																																																																					
種別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)																																																																																																																																																																																																			
・AB-1種																																																																																																																																																																																																					
・AB-2種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																																																				
・AC-1種																																																																																																																																																																																																					
・AC-2種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																																																				
・BA-1種																																																																																																																																																																																																					
・BA-2種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																																																				
・BB-1種																																																																																																																																																																																																					
・BB-2種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																																																				
・BC-1種																																																																																																																																																																																																					
・BC-2種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																																																				
・C種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																																																				
表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)																																																																																																																																																																																																			
・溶融亜鉛めっき	・A種																																																																																																																																																																																																				
	・B種																																																																																																																																																																																																				
	・C種																																																																																																																																																																																																				
・電気亜鉛めっき	・D種																																																																																																																																																																																																				
	・E種																																																																																																																																																																																																				
	・F種																																																																																																																																																																																																				
種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理																																																																																																																																																																																																
					種別	色合い等																																																																																																																																																																																															
・アルミニウム	・押出し	スパン																																																																																																																																																																																																			
	・ロール	ドレル型																																																																																																																																																																																																			
・アルミニウム	・プレス	パネル形																																																																																																																																																																																																			
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																				
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																																																																																																				
混合割合	セメント重量の5%以下																																																																																																																																																																																																				
凝結及び安定性	(凝結時間) 始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。																																																																																																																																																																																																				
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上																																																																																																																																																																																																				
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下																																																																																																																																																																																																				
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ⁵ Paとし1時間行う																																																																																																																																																																																																				
<p>株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>	<p>2023年3月24日 設計部長 検 図 担 当 製 図</p>	<p>(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図</p>	<p>図面名 建築工事特記仕様書(7)</p>	<p>図面種類 特 図面番号 縮尺 S=1:-(A3版 50%縮小) 007</p>																																																																																																																																																																																																	

<p>・ラス系下地 (15. 2. 4)</p> <p>ラス系下地 ・通気構造単層下地 換気口部の防水処理 ・通気構造二層下地 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 ・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定 ()</p> <p>ラスの材料 素材による区分 () 種類 () 単位面積当たりの質量 ()</p> <p>・セルフレベリング材塗り (15. 5. 2) (表15. 5. 1)</p> <p>○仕上塗材仕上げ (15. 6. 2)</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材Si</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形外装塗材Si</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・外装薄塗材E</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・着色骨材砂壁状</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形外装塗材E</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防水形外装薄塗材E</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材S</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・内装薄塗材C ・内装薄塗材L</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・京壁状じゅらく ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・内装薄塗材W</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・吹放し</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・厚付け仕上塗料</td> <td rowspan="3">・外装厚塗材C</td> <td rowspan="3"></td> <td>・吹放し</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	工法等	・外装薄塗材Si			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・可とう形外装塗材Si			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・外装薄塗材E			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り	・可とう形外装塗材E			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・防水形外装薄塗材E			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・凹凸状	・吹付け	・外装薄塗材S			・砂壁状	・吹付け	・凹凸状	・吹付け	・内装薄塗材C ・内装薄塗材L			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・内装薄塗材W			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ゆず肌状	・吹付け	・吹放し	・吹付け	・厚付け仕上塗料	・外装厚塗材C		・吹放し	・吹付け	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	<p>・吹放し</p> <p>・吹付け</p> <p>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</p> <p>・こて塗り</p> <p>・厚付け仕上塗料</p> <p>・内装厚塗材L</p> <p>・内装厚塗材G</p> <p>・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</p> <p>・吹放し</p> <p>・吹付け</p> <p>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・こて塗り ・ローラー塗り</p> <p>○複層仕上塗材</p> <p>・複層塗材OE ・複層塗材Si ○複層塗材E ・複層塗材RE</p> <p>・可とう型複層塗材OE</p> <p>・吹付け</p> <p>・ローラー塗り</p> <p>・防水型複層塗材CE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE</p> <p>・吹付け</p> <p>・吹付け</p> <p>・ローラー塗り</p> <p>・吹付け用軽量塗材</p> <p>・砂壁状</p> <p>・吹付け</p> <p>・こて塗り</p> <p>・平たん状</p> <p>・こて塗り</p>	<p>下地 ※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード</p> <p>調合及び塗厚 ・木ずり下地の場合 ※標準仕様書表15. 10. 1 ・こまい土壁下地の場合 ※標準仕様書表15. 10. 2</p> <p>・こまい土壁塗り (15. 11. 2~5、7、8)</p> <p>のり ・土壁用ののり ・ふのり ※つのみた ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・砂壁用ののり ※ふのり ・つのみた ・こんにやくのり ・にかわ ・合成樹脂系混和剤</p> <p>色土 ・土物仕上げに用いる色土の種類 () ・大津仕上げに用いる色土の種類 ()</p> <p>色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの</p> <p>調合 下塗りの調合 ※標準仕様書表15. 11. 2</p> <p>塗厚 ※標準仕様書表15. 11. 3による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ()</p> <p>工程 ※A種 ・B種</p> <p>・土物仕上げ 種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法</p> <p>・大津仕上げ 種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法</p>	<p>○網戸等 (16. 2. 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0. 25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1. 5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>・樹脂製建具 (16. 2. 5) (16. 3. 2~5) (表16. 3. 1)</p> <p>性能等級 性能値等 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 ()</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による) ・D種 (建具符号: ・建具表による) ・E種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号: ・建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による 表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL程度 ・No. 2B程度</p> <p>(16. 2. 2) (16. 4. 2~4) (表16. 4. 2)</p> <p>性能等級 簡易気密型ドアセット ○適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による) ○S-5 (建具符号: ・建具表による) ・S-6 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級 () (建具符号: ・建具表による)</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>鋼板類の厚さ ※標準仕様書表16. 4. 2による</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL程度 ・No. 2B程度</p>	種類	材質	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0. 25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法15mm	<p>16章 建具工事</p> <p>○防火戸 (16. 1. 3)</p> <p>・見本の製作等 (16. 1. 4)</p> <p>建具見本の製作 ・行う (建具符号:) ・行わない</p> <p>建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの ・行わない</p> <p>特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号:) ・行わない</p> <p>・防犯建物部品 (16. 1. 6)</p> <p>・適用する (・建具表による) ・適用しない</p> <p>○アルミニウム製建具 (16. 2. 2、4、5) (表14. 2. 1) (表16. 2. 1)</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 (・S-5) (建具符号: ・建具表による)</p> <p>気密性の等級 (・A-4) (建具符号: ・建具表による)</p> <p>水密性の等級 (・W-5) (建具符号: ・建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による) ・D種 (建具符号: ・建具表による) ・E種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級 () (建具符号: ・建具表による)</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p>
	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	工法等																																																																																																					
・外装薄塗材Si			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																						
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																						
・可とう形外装塗材Si			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																						
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																						
・外装薄塗材E			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																						
			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																						
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																						
			・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り																																																																																																						
・可とう形外装塗材E			・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																						
			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																						
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																						
・防水形外装薄塗材E			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																						
			・凹凸状	・吹付け																																																																																																						
・外装薄塗材S			・砂壁状	・吹付け																																																																																																						
			・凹凸状	・吹付け																																																																																																						
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																						
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																						
			・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																						
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																						
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																						
			・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																						
・内装薄塗材W			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																						
			・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																						
			・吹放し	・吹付け																																																																																																						
・厚付け仕上塗料	・外装厚塗材C		・吹放し	・吹付け																																																																																																						
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り																																																																																																						
			・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り																																																																																																					
種類	材質	線径	網目																																																																																																							
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0. 25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																							
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																																																																							
<p>・ALCパネルの場合の下の処理 (15. 6. 4)</p> <p>・マスチック塗材塗り (15. 7. 2)</p> <p>・せっこうブラスター塗り (15. 8. 3)</p> <p>○ロックウール吹付け (15. 12. 2、3)</p> <p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 仕上げ吹付け厚さ(mm) ・図示 ○25</p> <p>・しっくい塗り (15. 10. 2、3)</p> <p>しっくい ・現場調査材料 ※標準仕様書15. 10. 2(1) (7)による ・既調査材料 製造所 () 種類 ()</p>																																																																																																										

	<p>○鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)</p> <p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による・) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・) (建具符号:・建具表による・) 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級(・) (建具符号:・建具表による・) 耐震ドア 面内変形追従性の等級(・) (建具符号:・建具表による・) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ○亜鉛めっき鋼板・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 鋼板類の厚さ(mm) 使用箇所() ※標準仕様書表16.5.1による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL程度・No.2B程度</p> <p>○ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)</p> <p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具表による・) ・S-5(建具符号:・建具表による・) ・S-6(建具符号:・建具表による・)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・) (建具符号:・建具表による・) 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級(・) (建具符号:・建具表による・) 耐震ドア 面内変形追従性の等級(・) (建具符号:・建具表による・) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS430J1L 又はSUS443J1 表面仕上げ ※HL・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL程度・No.2B程度</p> <p>○木製建具 (16.7.2~4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>○フラッシュ戸 表面材の合板の種類</p> <table border="1" data-bbox="356 1344 801 1743"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板 G</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度・) 不透明塗料塗り (※しな合板程度・) 板面の品質() 接着の程度(・1種・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 G</td> <td>樹種名() 接着の程度(・1種・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 G</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1種・2種)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※表16.7.6による</p> <p>・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法・建具表による ※36mm</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度・) 不透明塗料塗り (※しな合板程度・) 板面の品質() 接着の程度(・1種・2種)		・天然木化粧合板 G	樹種名() 接着の程度(・1種・2種)		・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1種・2種)		<p>○建具用金物 (16.8.2、3)(表16.8.1)</p> <p>・ふすま 張りの種別(・I型・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法・建具表による ※19.5mm ・戸ぶすま 見込み寸法・建具表による ※30mm ・紙張り障子 見込み寸法・建具表による ※30mm</p> <p>枠、くつずりの材料・建具表による</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による</p> <p>金属性建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※標準仕様書表16.8.2 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※標準仕様書表16.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※標準仕様書表16.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ・建具表による ※標準仕様書表16.8.5による</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による</p> <p>・錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠】 (品質) デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グラントマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 (性能)</p> <table border="1" data-bbox="1009 1008 1454 1764"> <thead> <tr> <th>使用頻度による性能</th> <th>外力に対する性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</td> <td>1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。</td> </tr> <tr> <td>2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダ本締り錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</td> <td>2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。</td> </tr> <tr> <td>3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。</td> <td>3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。</td> </tr> <tr> <td>4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</td> <td>4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。</td> </tr> </tbody> </table>	使用頻度による性能	外力に対する性能	1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。	1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。	2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダ本締り錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。	2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。	3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。	3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。	4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)	4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。	<p>1) ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</p> <p>2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。</p> <p>3) 握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。</p> <p>4) ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。</p> <p>5) ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。</p> <p>鍵</p> <p>1) かぎ(鍵)数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ(鍵)違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物一錠一第1部:試験方法)による。</p> <p>【レバーハンドル】 (性能)</p> <table border="1" data-bbox="1662 903 2107 1260"> <thead> <tr> <th>ねじり強度</th> <th>引張り強度</th> <th>垂直荷重強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。</td> <td>ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。</td> <td>ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物一錠一第1部:試験方法)による。</p> <p>・クローザ類 (品質・性能)</p> <table border="1" data-bbox="1662 1365 2107 1911"> <thead> <tr> <th rowspan="2">性能試験項目</th> <th colspan="3">区分</th> </tr> <tr> <th>①ドアクローザ</th> <th>②ヒンジクローザ</th> <th>③フロアヒンジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">閉じ力及び効率による区分(注1)(注2)</td> <td>Grad</td> <td>番手</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効率(%)</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効率(%)</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効率(%)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5以上</td> <td>30以上</td> <td>5以上</td> <td>30以上</td> <td>5以上</td> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10以上</td> <td>30以上</td> <td>10以上</td> <td>30以上</td> <td>10以上</td> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15以上</td> <td>35以上</td> <td>15以上</td> <td>35以上</td> <td>15以上</td> <td>35以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25以上</td> <td>40以上</td> <td>25以上</td> <td>40以上</td> <td>25以上</td> <td>40以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35以上</td> <td>45以上</td> <td>35以上</td> <td>45以上</td> <td>35以上</td> <td>45以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> </tr> <tr> <td>閉じ速度(秒)</td> <td colspan="7">常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。</td> </tr> </tbody> </table>	ねじり強度	引張り強度	垂直荷重強度	レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。	ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。	ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。	性能試験項目	区分			①ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③フロアヒンジ	閉じ力及び効率による区分(注1)(注2)	Grad	番手	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上	2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上	3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上	4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上	5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上	6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。							<table border="1" data-bbox="2315 63 2789 2037"> <thead> <tr> <th rowspan="2">温度依存性(℃)</th> <th colspan="3">緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストッパ力</td> <td>ストッパ入力</td> <td>ストッパ解除力</td> <td>100 N・m以下</td> <td>100 N・m以下</td> <td>100 N・m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">初期値</td> <td>バックチェック性能(秒)(バックチェック機能の有する機種のみ適用)</td> <td>ドア開扉方向に荷重60 N/m²を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディレードアクション性能(秒)(ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">耐久性</td> <td>戸の開鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>±3mm以内</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の効率(%)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の閉じ速度(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の戸開鎖位置(mm)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>耐久試験後±6mm以内</td> </tr> <tr> <td>耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20万回</td> <td>10万回</td> <td>30万回</td> </tr> </tbody> </table>	温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。			ストッパ力	ストッパ入力	ストッパ解除力	100 N・m以下	100 N・m以下	100 N・m以下	初期値	バックチェック性能(秒)(バックチェック機能の有する機種のみ適用)	ドア開扉方向に荷重60 N/m ² を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。		-	-	ディレードアクション性能(秒)(ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること)			-	-	耐久性	戸の開鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)			-	±3mm以内	繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	繰返し開閉後の効率(%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	-	繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	-	繰返し開閉後の戸開鎖位置(mm)				-	耐久試験後±6mm以内	耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)				20万回	10万回	30万回
合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																	
・普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度・) 不透明塗料塗り (※しな合板程度・) 板面の品質() 接着の程度(・1種・2種)																																																																																																																																																																		
・天然木化粧合板 G	樹種名() 接着の程度(・1種・2種)																																																																																																																																																																		
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1種・2種)																																																																																																																																																																		
使用頻度による性能	外力に対する性能																																																																																																																																																																		
1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。	1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。																																																																																																																																																																		
2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダ本締り錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。	2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。																																																																																																																																																																		
3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。	3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。																																																																																																																																																																		
4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)	4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。																																																																																																																																																																		
ねじり強度	引張り強度	垂直荷重強度																																																																																																																																																																	
レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。	ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。	ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。																																																																																																																																																																	
性能試験項目	区分																																																																																																																																																																		
	①ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③フロアヒンジ																																																																																																																																																																
閉じ力及び効率による区分(注1)(注2)	Grad	番手	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)																																																																																																																																																											
	1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上																																																																																																																																																												
	2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上																																																																																																																																																												
	3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上																																																																																																																																																												
	4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上																																																																																																																																																												
	5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上																																																																																																																																																												
6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上																																																																																																																																																													
閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。																																																																																																																																																																		
温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。																																																																																																																																																																		
	ストッパ力	ストッパ入力	ストッパ解除力	100 N・m以下	100 N・m以下	100 N・m以下																																																																																																																																																													
初期値	バックチェック性能(秒)(バックチェック機能の有する機種のみ適用)	ドア開扉方向に荷重60 N/m ² を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。		-	-																																																																																																																																																														
	ディレードアクション性能(秒)(ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること)			-	-																																																																																																																																																														
耐久性	戸の開鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)			-	±3mm以内																																																																																																																																																														
	繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																														
	繰返し開閉後の効率(%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																														
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																														
	繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	-																																																																																																																																																														
	繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	-																																																																																																																																																														
繰返し開閉後の戸開鎖位置(mm)				-	耐久試験後±6mm以内																																																																																																																																																														
耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)				20万回	10万回	30万回																																																																																																																																																													
<p>株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>	<p>設計部長 松岡 慎 検査 松岡 慎 担当 松岡 慎 製図 松岡 慎</p>	<p>（仮称）むつ市防災教育センター建設工事（建築工事）</p>	<p>図面名 建築工事特記仕様書(9) 設計図 縮尺 S=1:- (A3版 50%縮小) 図面番号 009</p>																																																																																																																																																																

注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。
注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。
Grade1を選定する場合は、図示による。

(試験方法)
1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築用ドア金物の試験方法 第三部: フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ) に規定する試験方法による。
2) 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

○鍵 (16. 8. 4)
マスターキー ○製作する ・ 製作しない
鍵の製作本数 ・ ※各室3本1組 (室名札付き)
鍵箱 ※有り ・ 無し

○自動ドア開閉装置 (16. 9. 2、3)
○引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書表16. 9. 1
・ 種類・開閉方式 ()
・ 耐電圧 ()
・ 温度上昇 ()
・ 耐久性 (サイクル) ()
・ 防錆 ()
・ 電源 ()

・ 多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書表16. 9. 2
・ 耐電圧 ()
・ 温度上昇 ()
・ 耐久性 (サイクル) ()
・ 防錆 ()
・ 電源 ()

○引き戸用検出装置
性能値 ※標準仕様書表16. 9. 3
・ 耐電圧 ()
・ 防錆 ()
・ 防滴 ()
・ 電源 ()

戸の開閉方式
○建具表による
引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16. 9. 4
○建具表による
凍結防止措置
○適用する ・ 適用しない

○自閉式上吊り引戸装置 (16. 10. 3) (表16. 10. 1)
性能値等 ※ (表16. 10. 1)
・ 手動開き力 ()
・ 手動閉じ力 ()
・ 閉じ速度の調整 ()
・ 制動区間 ()
・ 開閉繰返し ()
・ 耐衝撃性 ()

(試験方法)
(1) 耐久性 (開閉繰返し) 試験
閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。
同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。
適用戶総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。
(2) 耐衝撃性試験
下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戶総質量の区分毎に試験を行う。
(3) 気密性能試験
JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

○重量シャッター (16. 11. 2、3)
シャッターの種類
・ 管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²
○屋内用防火シャッター
・ 防煙シャッター
開閉方式の種類 ※上部電動式 (手動併用) ○上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・ 図示
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・ 図示
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
○設ける (設置箇所 ・ 図示)
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」 (昭和48年12月28日 建設省告示第2563号) に定める基準に適合するもの
※障害物感知装置 (自動閉鎖型)
・ 設けない

管理用シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
○JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12又はF12

○軽量シャッター (16. 12. 2~4)
開閉方式の種類
※手動式
○上部電動式 (手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・ 図示
スラットの材質の種類
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※Z06又はF06)
○JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※AZ90)
スラットの形状 ○インターロッキング形
・ オーバーラッピング形

(16. 13. 2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ	・ 125 (1250)	※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード式	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板
・ アルミニウムタイプ	・ 100 (1000)		・ ローヘッド式	
・ ファイバーグラストタイプ	・ 75 (750) ・ 50 (500)		・ ハイリフト式 ・ パーチャル式	

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所
・ 図示

○ガラス (9. 7) (16. 14. 2~4) (表16. 14. 1)
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
○建具表による
型板ガラスの厚さによる種類
○建具表による
網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・ 建具表による
合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・ 建具表による
形状による種類
・ 平面合わせガラス ・ 曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
○建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・ I類 ・ III類
熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・ 建具表による
性能による種類
・ 1種 ・ 2種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
○建具表による

断熱性による区分
・ T1 ・ T2 ・ T3 ○T4 ・ T5 ・ T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分
○G ・ S
乾燥気体の種類
○空気 ・ アルゴン

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・ 建具表による
日射熱遮へい性による区分
・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)
・ A類 ・ B類
映像調整 ・ 行わない ・ 行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・ 建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	○シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージング ・ チャンネル形	・ 図示 ○建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	・ 図示 ○建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージング ・ チャンネル形	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

(16. 14. 5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調		目地幅 (mm)		伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
			ク	乳白	平積み	曲面積み		
正	×125	80
	×160	.125	.	.				
×200	.125	.	.					
				×320	.95	.	.	
×320	.95	.	.					
				×250	.80	.	.	
×125	.80	.	.					
				×320	.95	.	.	
×160	.95	.	.					

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

壁用金属枠及び補強材
※図示
力骨 材質 ・ ※ステンレス鋼 (SUS304)
寸法 ・ ※径5.5mm
形状 ・ ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色 ()
金属製化粧カバー
材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 ※図示
形状 ※図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
・ 図示
※ガラスブロック製造所の仕様による

17章 カーテンウォール工事
・ 取付方法、性能等
(17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2)
取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式
・ スパンドレル方式
性能

水密性	気密性	遮音性	耐火性	耐温度差性 (°C)
			・ 30分	・ 80
			・ 1時間	・ 70
				・ 60

耐風圧性
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)

支点間距離 (h)	耐風圧性能
4m以下	・ たわみ量が ± (1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること
4mを超える	

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

構造用ガスケット
・ 適用する (施工箇所 ・ 図示)
材質 ・ クロロ/ブレン系 ・ EPDM系 ・ シリコン系
形状 ・ H型 ・ Y型 ・ C型
寸法 (mm) ガラス板厚 ()
支持枠の厚さ ()
ウェブの寸法 ()
・ 適用しない

断熱材 G
種類 ()
厚さ (mm) ()
施工箇所 ・ 図示

耐火材料

施工部位	種別	規格帯
・ ファスナー部		
・ 取付けブラケット		
・ パネル目地部		
・ 層間ふさぎ		

・メタルカーテンウォール ・PCカーテンウォール ・タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※図示 ◎合成樹脂塗床 (19.4.2、3) (表19.4.4、5) ・フローリング張りG (19.5.2～6) (表19.5.1～5) ・単層フローリング (フローリングボード1等) 工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ・ ※なら 間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない ・単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹種 ・ 厚さ ・ 大きさ ・ 間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない ・複合フローリング 工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ・ ※なら 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り ・畳敷き (19.6.2) (表19.6.1) 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロング) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	(17.2.2、3、5) 金属系材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 映像調整 ・行う ・行わない 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による 見え掛かり部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3 目地の心の通り ※+2 目地両側の段差 ※+2 各階の基準墨から各部材までの距離 ※±3 シーリング材の種類 ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類 ・構造ガasket 形状・寸法等 ・図示による 断熱材 G 種類 () 材料 (17.3.2～5) (表17.3.1、2) コンクリート 種類 () 品質 設計基準強度 (Fc) ※ 30N/mm2 スランプ ※ 12cm 気乾単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 単位水量の最大値 ※185kg/m ³ 鉄筋 種類の記号 ※SD295A () 補強鉄線 径 (mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 シーリング材の種類 耐火目地材 断熱材 G 種類 () ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類 ・構造ガasket 形状・寸法等 ・図示による 先付けの材料 ・表面仕上材 ・磁器質タイル ・石材 (・花こう岩 ・大理石) ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見え掛かり部の寸法許容差 ・ (辺長 mm 対角線長の差 mm 版厚 mm 開口部内法寸法 mm ねじれ、そり mm 曲がり mm 面の凹凸 mm 先付け金物の位置 mm) カーテンウォールの仕上げ 構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) 躯体取付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.2による	◎材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：) ◎素地ごしらえ (18.2.2～7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種 鉄鋼面 ※C種 ・A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びプラスター面 ※B種 ・A種 コンクリート面 (DP以外)及びALCパネル面 ※B種 ・A種 押出成形セメント板 ・A種 ・B種 せっこうボード面 目地：継目処理工法 ※A種 ・B種 ド面及びその他ボード面 目地：継目処理工法以外 ※B種 ・A種 ◎錆止め塗料塗り (18.3.2、3) 下地面等 工程の種類 塗料の種類 鉄鋼面 見え掛り部 ※A種 ・B種 ・A種 ・B種 見え隠れ部分 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具等 ※A種 ・B種 ・A種 ・B種 鋼製建具等以外 ※B種 ・A種 ・C種 (EP-Gの場合C種) ◎塗装 (18.4.1～18.14.2) 塗装 種別 塗料の種類 ◎合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※A種 ・B種 ※1種 ・2種 木部屋内 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 鉄鋼面 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 亜鉛めっき鋼面 — ※1種 ・2種 ・クリヤラッカー塗り (CL) ※B種 ・A種 — ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※B種 ・A種 — ◎耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 — 上塗り塗料の等級 (1) 級 亜鉛めっき鋼面 — 上塗り塗料の等級 (1) 級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種 ・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等 ※B種 ・A種 — 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・A種 — ◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ※B種 ・A種 — ・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) ※B種 ・A種 — ◎ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ※B種 ・A種 — ・オイルステイン塗り (OS) 塗料：・水性 ・油性 — ◎木材保護塗料塗り (WP) ※B種 ・A種 —	◎ビニル床シート G (19.2.2、3) 種類の記号 色柄 厚さ (mm) 備考 ※FS ○無地 ※2.0 ・ マーブル柄 ・ 柄物 目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 ◎ビニル床タイル G (19.2.2) 種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 ・ TT ・ FT ・無地 ・ 300×300 ・ 2.0 ※KT ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 2.5 ・ FOA ・ FOB ・ 500×500 ・ 3.0 ◎特殊機能床 (19.2.2) ・帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ (mm) ・帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法 厚さ (× mm) ◎視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその記列はJIS T 9251による 種類 () 形状 () ・耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ (mm) ・防滑性床シート 種類 () 厚さ (mm) ・防滑性床タイル 種類 () 寸法 厚さ (× mm) ◎ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ○軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ・75 ・100 厚さ (mm) ・ ※1.5以上 ・ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・単層品 ・積層品 色柄 () 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法 (mm) () ・カーベットの敷きG (19.3.3、4) (表19.3.1) ・織じゅうたん 織り方 バイル形状 ・ウィルトンカーベットの ・カットバイル ・ダブルフェースカーベットの ・ループバイル ・アキスミスターカーベットの ・カット/ループバイル 色柄 (・ ※模様のない無地) バイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・タフテッドカーベットの バイル形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・カットバイル ・ 5～7 ・前面接着工法 ・適用する ・ループバイル ・ 4～6 ・グリッパ工法 ・適用しない ・カット、ループ併用 下敷き材 (グリッパ工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ニードルパンチカーベットの 厚さ (mm) () 帯電性 ・適用する ・適用しない 備考 ()	◎材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：) ◎素地ごしらえ (18.2.2～7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種 鉄鋼面 ※C種 ・A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びプラスター面 ※B種 ・A種 コンクリート面 (DP以外)及びALCパネル面 ※B種 ・A種 押出成形セメント板 ・A種 ・B種 せっこうボード面 目地：継目処理工法 ※A種 ・B種 ド面及びその他ボード面 目地：継目処理工法以外 ※B種 ・A種 ◎錆止め塗料塗り (18.3.2、3) 下地面等 工程の種類 塗料の種類 鉄鋼面 見え掛り部 ※A種 ・B種 ・A種 ・B種 見え隠れ部分 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具等 ※A種 ・B種 ・A種 ・B種 鋼製建具等以外 ※B種 ・A種 ・C種 (EP-Gの場合C種) ◎塗装 (18.4.1～18.14.2) 塗装 種別 塗料の種類 ◎合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※A種 ・B種 ※1種 ・2種 木部屋内 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 鉄鋼面 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 亜鉛めっき鋼面 — ※1種 ・2種 ・クリヤラッカー塗り (CL) ※B種 ・A種 — ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※B種 ・A種 — ◎耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 — 上塗り塗料の等級 (1) 級 亜鉛めっき鋼面 — 上塗り塗料の等級 (1) 級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種 ・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等 ※B種 ・A種 — 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・A種 — ◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ※B種 ・A種 — ・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) ※B種 ・A種 — ◎ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ※B種 ・A種 — ・オイルステイン塗り (OS) 塗料：・水性 ・油性 — ◎木材保護塗料塗り (WP) ※B種 ・A種 —	◎材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：) ◎素地ごしらえ (18.2.2～7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種 鉄鋼面 ※C種 ・A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びプラスター面 ※B種 ・A種 コンクリート面 (DP以外)及びALCパネル面 ※B種 ・A種 押出成形セメント板 ・A種 ・B種 せっこうボード面 目地：継目処理工法 ※A種 ・B種 ド面及びその他ボード面 目地：継目処理工法以外 ※B種 ・A種 ◎錆止め塗料塗り (18.3.2、3) 下地面等 工程の種類 塗料の種類 鉄鋼面 見え掛り部 ※A種 ・B種 ・A種 ・B種 見え隠れ部分 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具等 ※A種 ・B種 ・A種 ・B種 鋼製建具等以外 ※B種 ・A種 ・C種 (EP-Gの場合C種) ◎塗装 (18.4.1～18.14.2) 塗装 種別 塗料の種類 ◎合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※A種 ・B種 ※1種 ・2種 木部屋内 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 鉄鋼面 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 亜鉛めっき鋼面 — ※1種 ・2種 ・クリヤラッカー塗り (CL) ※B種 ・A種 — ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※B種 ・A種 — ◎耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 — 上塗り塗料の等級 (1) 級 亜鉛めっき鋼面 — 上塗り塗料の等級 (1) 級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種 ・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等 ※B種 ・A種 — 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・A種 — ◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ※B種 ・A種 — ・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) ※B種 ・A種 — ◎ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ※B種 ・A種 — ・オイルステイン塗り (OS) 塗料：・水性 ・油性 — ◎木材保護塗料塗り (WP) ※B種 ・A種 —	◎接着剤 (19.2.2) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性剤を除く) が添付されていないものとする 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・図示
	18章 塗装工事 19章 内装工事	18章 塗装工事 19章 内装工事	18章 塗装工事 19章 内装工事	18章 塗装工事 19章 内装工事	18章 塗装工事 19章 内装工事	18章 塗装工事 19章 内装工事

・移動間仕切

(20. 2. 4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚(mm)	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
・図示
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ランナー
・
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量で使用上支障のないものとする。

(品質・性能及び試験方法)
(1) パネル(表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材)及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切」の表9又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこなさないもの又は防食処理を施したものとす。
(2) 吊りボルト
JIS B 1051「炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質―第一部:ボルト、ねじ及び植込みボルト」による。
(3) パネルの外観
JIS A 6512「可動間仕切」の5.a) ~ c) による。
(4) ホルムアルデヒド等
JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。
(5) パネルの操作性
パネル操作の初動力は98N以下とする。
(6) 耐衝撃性
質量50Kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。
(7) 遮音性能
遮音性試験はJIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。
(8) パネル圧接装置の耐久性
パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。
(9) レールの耐久性
レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。
(10) 吊り車の耐久性
吊り車は、走行距離60Kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。
(11) 吊りボルトの引張強度
一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。
(12) ランナーの引張強度
引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。

(20. 2. 5)

表面材の材料	脚部		
	形状	形状	材質
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・標準 ※幅木タイプ	○R	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

○トイレブース

(品質・性能)
(1) パネル

項目	品質・性能
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、垂鉛めっき処理を施した材料とする。
エッジ材	
小口	防水処理を施す。

(2) 構造金物

項目	品質・性能
脚部(脚具、幅木)	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。

(3) 付属金物

項目	品質・性能
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。
ラッチセット	
戸当たり	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当たり部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。

(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b) による。
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性
開閉耐久性

項目	品質・性能	
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDf、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。	
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引っかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。
ポリエステル樹脂系化粧MDf	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	
ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。	

(試験方法)
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法―第2部:ドア用金物」に規定する試験による。
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A6512によりF☆☆☆☆以上

(20. 2. 6)

材質 (○ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材)
滑り止め材 形状 (・ひも型 ○タイヤ型)
材質 (ゴム又は合成樹脂)
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法

○階段滑り止め

・手すり

・黒板及びホワイトボードG

○鏡

○表示

・煙突ライニング

幅(mm) ○35
端部フラットエンド(○あり ・なし)

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材	・クリアラッカー	・35 ・45		
・ビニル製ハンドレール				

(20. 2. 8)

・黒板
区分 ・ ※焼き付け
種類 ・ ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
色 ・ ※緑
・ホワイトボード

(20. 2. 9)

取付箇所 (前室手洗い前)
寸法(mm) ○図示
厚さ(mm) ・ ※5

(20. 2. 10)

○衝突防止表示
形状・寸法 (○30φ)
材質 (○ステンレス製)

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
・適用する(※消防法に適合する市販品)
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示 ※図示

(20. 2. 11)

煙突用成形ライニング材
(品質・性能)

種類	・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材
適用安全使用温度(上限温度)	・400℃ ・650℃
適用安全使用温度(下限温度)	・
加熱線収縮率	2.0%以下
曲げ強度	0.8N/mm2以上
圧縮強度	1.0N/mm2以上
スポーリング性	試験体に亀裂の発生、剥離あるいは脱落等がないものとする。
透水性	試験体裏面に水滴が生じないものとする。
耐酸性	試験体に形状変化が見られず、崩壊する危険性が低いものとする。
石綿	使用不可。
ライニング材とコンクリートの境界温度	100℃以下とする。

加熱線収縮率、曲げ強度、圧縮強度の確認は、社内試験成績書によることことができる。

(試験方法)
(1) スポーリング性試験
適用安全使用温度(300℃)から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰り返し、各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体亀裂、剥離、脱落の状況を観察する。(試験体は完成品とし、サイズは内径600mm×長さ1000mm程度とする。)
(2) 透水性試験
JIS A 5430「繊維強化セメント板」10.6透水性試験による。
(3) 耐酸性試験
1.0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せきした後、試験体の外観を調べる。
試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間(168時間)浸せきする。(ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。)その後、48時間以上温度20℃、湿度60%の試験室に静置した後以外観観察を行う。(試験体のサイズは、100mm×50mmとする。)
(4) 熱伝導率測定
JIS R 2616「耐火断熱れんがの熱伝導率の試験方法」による。

○ブラインド

(20. 2. 12)

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	幅・高さ・取付箇所
○横型	○手動	※ギヤ式 ○コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製G	※25	・	・図示
	・電動	—				
・縦型	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示
	・電動	—				

スラットの材質
・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。

(20. 2. 13)

操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
幅・高さ ・図示
材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製品
品質等 ・
その他の材料 ・
※ロールスクリーンの製造所の仕様による

(20. 2. 14)

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引き分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ			・図示 ・ (暗幕)

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上

(20. 2. 14)

材料による区分
※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

○ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ(mm) ・90×150 ○120×80 ・120×150
・150×80 ・図示

材質 ・集成材(仕上げ:)
○アルミニウム製 押し出し型材(市販品)
種別 (標準仕様書表14.2.1) ・BC-1 ・BC-2
色合い ○標準色() ・特注色()
・鋼製(仕上げ:)

<p>○天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製</td> <td>○450×450 ○600×600</td> <td>○一般用</td> <td>・屋内 外用 ○屋内用</td> <td>・額縁タイプ ○目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(AA6)又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナーピース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性能(繰り返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内</p> <p>(試験方法) 内蓋(内枠)の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。 なお、野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がりを状態を測定する。</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ○600×600</td> <td>・一般型 ○密閉型</td> <td>○屋内用 ・鍵付き ・屋内用</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二重蓋の中蓋</td> <td>鋳鉄</td> <td colspan="2">JIS G 5501のFC150、FC200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">塩化ビニル樹脂製等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304</td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	○アルミニウム製	○450×450 ○600×600	○一般用	・屋内 外用 ○屋内用	・額縁タイプ ○目地タイプ	材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ○600×600	・一般型 ○密閉型	○屋内用 ・鍵付き ・屋内用	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501のFC150、FC200		その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304		<p>○床点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ○600×600</td> <td>・一般型 ○密閉型</td> <td>○屋内用 ・鍵付き ・屋内用</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二重蓋の中蓋</td> <td>鋳鉄</td> <td colspan="2">JIS G 5501のFC150、FC200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">塩化ビニル樹脂製等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304</td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ○600×600	・一般型 ○密閉型	○屋内用 ・鍵付き ・屋内用	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501のFC150、FC200		その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304		<p>・耐震スリット</p> <table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直方向 ・水平方向</td> <td>・完全(全貫通型) ・</td> <td>・耐火型 ・非耐火型</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材 (見え掛り部のみ)</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法(mm)</td> <td>・幅20×深さ10</td> <td>・幅20×深さ10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>・エキスパンションジョイント金物</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材 (見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)	目地寸法(mm)	・幅20×深さ10	・幅20×深さ10	<p>・くつふきマット</p> <p>○流し台ユニット</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○流し台</td> <td>・1200 ・1500 ・1800 ○1050</td> <td>○550 ・600 ・850</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・620 ・650</td> </tr> <tr> <td>○つり戸棚</td> <td>・1200 ○1050 ・900</td> <td>・450 ・400</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>・500 ○600 ・700</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンド ル式 ・ロープ 式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table> <p>材種 ・ステンレス製(SUS304)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖 内蔵式</td> <td>・標準品 ・スプリング 式</td> <td>・ステン レス製</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ○樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス</p> <p>高さ ○図示</p> <p>(20.3.3、4)</p> <p>コンクリートの設計基準強度 ・図示 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足する調合強度</p> <p>配筋 ・図示 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 取付け方法 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート 間知ブロック</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮調整目地 材種 ・図示 厚さ ・図示</p> <p>水膨張性ゴム止水材 水膨張性ゴム(膨張遅延型)、w20×t10</p> <p>ステンレス製、縦型ルーフトレン+融雪用カバーキャップ</p> <p>素材：塩化ビニル樹脂、形状：幅1,200以上 法定不燃材下地に施工した場合の防火性能：不燃 (株)サンゲツ(リアテック)、シーアイ化成(株)(ベルピアン)住友スリーエム(株)(ダイノックフィルム) 当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合はあらかじめ監督職員の承諾を受けること。</p>	材種	寸法(mm)	備考	○流し台	・1200 ・1500 ・1800 ○1050	○550 ・600 ・850	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・620 ・650	○つり戸棚	・1200 ○1050 ・900	・450 ・400	・水切り	・1200 ・900 ・600	・500 ○600 ・700	材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンド ル式 ・ロープ 式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖 内蔵式	・標準品 ・スプリング 式	・ステン レス製	・	材種	材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・		・コンクリート 間知ブロック	・	・	・A ・B		<p>・小物棚</p> <p>○ベビーシート</p> <p>・ベビーチェア</p> <p>・多目的シート</p> <p>○階段・ホール手すり(樹脂製、二段の場合)</p> <p>・手すり点字標示</p> <p>○消火器ボックス</p> <p>○ピクチャーレール</p> <p>21章 排水工事</p> <p>○屋外雨水排水</p> <p>(21.2.1、2)(表21.2.1、2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・RF-VP G</td> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・RS-VU G</td> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○VP</td> <td></td> <td></td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・VU</td> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>材料</p> <p>基礎の厚さ及び種類 ・図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側塊の形状及び寸法 ・図示 排水溝の種類 ○図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ○山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシュラング ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ・ ※18N/mm2 ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A ・現場打ちの場合の足金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p> <p>(21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋳鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形</td> <td>・T-2用</td> <td>・有り</td> <td rowspan="3">左記以外の品質等は(公社)空調衛生工学会SHASE-S209による</td> </tr> <tr> <td>・簡易密閉形(パッキン式)</td> <td>・T-6用</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td>・密閉形(テーパーパッキン式)</td> <td>・T-20用</td> <td></td> </tr> </table>	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・	・図示	○硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G			・図示	・RS-VU G			・図示		○VP			○図示		・VU			・図示	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鋳鉄製マンホールふた	・水封形	・T-2用	・有り	左記以外の品質等は(公社)空調衛生工学会SHASE-S209による	・簡易密閉形(パッキン式)	・T-6用	・無し	・密閉形(テーパーパッキン式)	・T-20用	
	材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																													
○アルミニウム製	○450×450 ○600×600	○一般用	・屋内 外用 ○屋内用	・額縁タイプ ○目地タイプ																																																																																																																																																																																														
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																															
・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ○600×600	・一般型 ○密閉型	○屋内用 ・鍵付き ・屋内用																																																																																																																																																																																															
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																															
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																																																																																																																																
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																																																																																																																																															
二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																																																
	その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																																																
目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604																																																																																																																																																																																																
	ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304																																																																																																																																																																																																
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																															
・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ○600×600	・一般型 ○密閉型	○屋内用 ・鍵付き ・屋内用																																																																																																																																																																																															
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																															
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																																																																																																																																
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																																																																																																																																															
二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																																																
	その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																																																
目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604																																																																																																																																																																																																
	ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304																																																																																																																																																																																																
方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																																																																																																																														
・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																																																																															
目地	内壁	外壁																																																																																																																																																																																																
目地材	・シーリング材 (見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)																																																																																																																																																																																																
目地寸法(mm)	・幅20×深さ10	・幅20×深さ10																																																																																																																																																																																																
材種	寸法(mm)	備考																																																																																																																																																																																																
○流し台	・1200 ・1500 ・1800 ○1050	○550 ・600 ・850																																																																																																																																																																																																
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・620 ・650																																																																																																																																																																																																
○つり戸棚	・1200 ○1050 ・900	・450 ・400																																																																																																																																																																																																
・水切り	・1200 ・900 ・600	・500 ○600 ・700																																																																																																																																																																																																
材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																													
・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンド ル式 ・ロープ 式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																														
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																																																															
・上下式鎖 内蔵式	・標準品 ・スプリング 式	・ステン レス製	・																																																																																																																																																																																															
材種	材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																														
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・																																																																																																																																																																																															
・コンクリート 間知ブロック	・	・	・A ・B																																																																																																																																																																																															
材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																														
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・	・図示																																																																																																																																																																																														
○硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G			・図示																																																																																																																																																																																														
	・RS-VU G			・図示																																																																																																																																																																																														
	○VP			○図示																																																																																																																																																																																														
	・VU			・図示																																																																																																																																																																																														
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																																																																																														
鋳鉄製マンホールふた	・水封形	・T-2用	・有り	左記以外の品質等は(公社)空調衛生工学会SHASE-S209による																																																																																																																																																																																														
	・簡易密閉形(パッキン式)	・T-6用	・無し																																																																																																																																																																																															
	・密閉形(テーパーパッキン式)	・T-20用																																																																																																																																																																																																
<p>株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦(一級建築士登録 275570号)</p>		<p>設計部 検 図 担当 製 図</p>	<p>（仮称）むつ市防災食育センター建設工事（建築工事） 設計図</p>	<p>図面名 建築工事特記仕様書(14)</p> <p>図面種類 特</p> <p>図面番号</p> <p>縮尺 S=1:- (A3版 50%縮小)</p> <p>014</p>																																																																																																																																																																																														


<p>○グレーチング</p> <p>(21. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>亜鉛めっき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○鋼製</td> <td rowspan="2">○受枠付き、ボルト固定</td> <td rowspan="2">・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ○溝ふた用 ・U字溝用</td> <td rowspan="2">・歩行用</td> <td rowspan="2">・細目</td> <td rowspan="2">・ ()</td> <td rowspan="2">・凹凸形</td> </tr> <tr> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ○T-25用</td> <td>○普通目 ・細目 ()</td> <td>○平形</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ステンレス製</td> <td rowspan="2">・受枠付き、ボルト固定</td> <td rowspan="2">・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用</td> <td rowspan="2">・歩行用</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">・凹凸形</td> </tr> <tr> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>-</td> <td>・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能等) ＜鋼製グレーチング＞</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>メインバー、サイドバー及びエンドプレート</td> <td>JIS G 3101 SS400</td> </tr> <tr> <td>クロスバー</td> <td>JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505 「軟鋼線材」 SWRM</td> </tr> <tr> <td>受け枠用アングル材</td> <td>JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132 「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」 SPHT</td> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっきの付着量</td> <td>JIS H 8641 「溶融亜鉛めっき」 による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上</td> </tr> <tr> <td>受け枠用アングル材</td> <td>塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料</td> </tr> <tr> <td>アンカー</td> <td>間隔 側溝の場合500mm内外</td> </tr> <tr> <td>ふた</td> <td>幅及び長さの許容差 ±3.0mm</td> </tr> <tr> <td>荷重性能</td> <td>設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする</td> </tr> </table> <p>＜ステンレス製グレーチング＞</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>メインバー、クロスバー</td> <td>JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4308のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L</td> </tr> <tr> <td>エンドバー、サイドバー</td> <td>JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4308のSUS304、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L</td> </tr> <tr> <td>受け枠用アングル材</td> <td>JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L</td> </tr> <tr> <td>アンカー</td> <td>JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う 間隔 側溝の場合500mm内外</td> </tr> <tr> <td>表面仕上げ</td> <td>2B程度</td> </tr> <tr> <td>ふた</td> <td>幅及び長さの許容差 ±3.0mm</td> </tr> <tr> <td>荷重性能</td> <td>設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする</td> </tr> </table> <p>(荷重試験方法) 設計荷重は以下の通りとする。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">歩車道区分</th> <th rowspan="2">荷重種別</th> <th colspan="3">側溝用 (KN)</th> <th rowspan="2">加圧面積 (cm)</th> </tr> <tr> <th>側溝用 (KN)</th> <th>横断溝用 (KN)</th> <th>側溝用 (KN)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">車道</td> <td>T-20</td> <td>78.5</td> <td>109.8</td> <td>20×50</td> </tr> <tr> <td>T-14</td> <td>54.9</td> <td>76.9</td> <td>20×50</td> </tr> <tr> <td>T-6</td> <td>23.5</td> <td>33.0</td> <td>20×24</td> </tr> <tr> <td>T-2</td> <td>7.8</td> <td>11.0</td> <td>20×16</td> </tr> <tr> <td>歩道</td> <td colspan="5">4.903N/m²の等分布荷重</td> </tr> </table> <p>試験体は、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。 イ) 溝ふた 横断用 T-20～T-2のうち1体 歩道用 のうち1体 側溝用 T-20～T-2のうち1体 ロ) U字溝用 側溝用 T-14～T-2のうち1体 歩道用 のうち1体 設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4.903N/sとする。繰り返し加力は3回行った後、残留ひ</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状	○鋼製	○受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ○溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・ ()	・凹凸形	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ○T-25用	○普通目 ・細目 ()	○平形	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	-	-	・凹凸形	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	-	・平形	項目	品質・性能	メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101 SS400	クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505 「軟鋼線材」 SWRM	受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132 「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」 SPHT	溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641 「溶融亜鉛めっき」 による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上	受け枠用アングル材	塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料	アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外	ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm	荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする	項目	品質・性能	メインバー、クロスバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4308のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L	エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4308のSUS304、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L	受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L	アンカー	JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う 間隔 側溝の場合500mm内外	表面仕上げ	2B程度	ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm	荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする	歩車道区分	荷重種別	側溝用 (KN)			加圧面積 (cm)	側溝用 (KN)	横断溝用 (KN)	側溝用 (KN)	車道	T-20	78.5	109.8	20×50	T-14	54.9	76.9	20×50	T-6	23.5	33.0	20×24	T-2	7.8	11.0	20×16	歩道	4.903N/m ² の等分布荷重					<p>○街きよ、縁石及び側溝</p> <p>(21. 3. 1、2) (表21. 3. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> <tr> <td>○縁石</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>○U形側溝</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>○U形側溝ふた</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>地業の材料 ・シルト ○山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシュランG ・切込砂利 ・切込碎石 砂利地業の厚さ ※100 (mm) ・図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm² 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p> <p>○埋戻し土 (21. 2. 1)</p> <p>・ ※B種</p> <p>22章 舗装工事</p> <p>○路床 (22. 2. 2、3、5) (表22. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○盛土</td> <td>○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土G</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>○凍上抑制層</td> <td>○再生クラッシュランG ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>○路床安定処理 安定処理の方法 ○置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種G ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m³ (目標CBR ・3以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ (mm) ・0.5～1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻¹ cm/sec以上</p> <p>○試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ○行う ・行わない 路床締固め度の試験 ○行う ・行わない 現場CBR試験 ○行う ・行わない</p> <p>(22. 3. 2、3、5) (表22. 3. 1)</p> <p>○路盤</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>○再生クラッシュランG</td> </tr> <tr> <td>・再生粒度調整砕石G</td> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグG</td> </tr> <tr> <td>・粒度調整鉄鋼スラグG</td> </tr> <tr> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグG</td> </tr> </table> <p>路盤の厚さ ○図示 路盤材料</p> <p>○アスファルト舗装 (22. 4. 2～6) (表22. 4. 4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト・再生アスファルトG (・60～80○80～100) ○ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ○アスファルトコンクリート再生骨材G</p>	種類	形状・寸法	○縁石	○図示	・L形側溝	・図示	○U形側溝	○図示	○U形側溝ふた	○図示	・	・図示	種別	材料	厚さ (mm)	○盛土	○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土G	○図示	○凍上抑制層	○再生クラッシュランG ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	○図示	・フィルター層	・砂	・図示	種別	・クラッシュラン	・粒度調整砕石	○再生クラッシュランG	・再生粒度調整砕石G	・クラッシュラン鉄鋼スラグG	・粒度調整鉄鋼スラグG	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグG	<p>加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ○密粒度アスファルト混合物(13F)</p> <p>シールコートの乳剤の種類 ○PK-1 ・PK-2</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ○行う ・行わない 舗装の平坦性 ・ ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>・コンクリート舗装 (22. 5. 2～4、6) (表22. 5. 1、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>※70</td> </tr> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 ・図示</p> <p>材料 コンクリート コンクリートの種類 設計基準強度 所定のスランプ ※8 粗骨材の最大寸法 ※普通コンクリート、標準仕様書表22. 5. 1による 早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地 種類 間隔 m程度ごと 構造 ・図示 ※標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による 舗装の平坦性 ・ ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>(22. 6. 2～4)</p> <p>・カラー舗装</p> <p>・加熱系カラー舗装 構成 ・厚さ ・図示 加熱系混合物の結合材 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) 着色骨材 () 自然石 ()</p> <p>・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法 ・塗布工法 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>(22. 7. 2、3、6)</p> <p>・透水性アスファルト舗装</p> <p>構成 ・図示 材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材G (表22. 4. 1) (種類 ・60～80 ・80～100)</p> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ・ ※著しい不陸がないもの</p> <p>(22. 8. 2、3)</p> <p>・ブロック系舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 普通平板はG (再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水平板はG (透水性コンクリート)とする。 仕上がり面の平坦性 ・ ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示	歩行者用通路	・図示	※70	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工	・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し	・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し ・たたき出し	<p>・インターロッキングブロック舗装 G</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>・図示</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 歩行者用通路に使用する普通ブロックはG (再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックはG (透水性コンクリート)とする。 仕上がり面の平坦性 ・ ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・舗石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・花崗岩</td> <td>・割石 ・図示</td> <td>・</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート版</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>※50</td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上がり面の平坦性 ・ ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ (mm) ・0.5～1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻¹ cm/sec以上</p> <p>(22. 9. 2)</p> <p>種別 ○A種 (施工範囲: ○図示 ・通路) ・B種 (施工範囲: ・図示 ・建物周囲その他)</p> <p>路面標示用塗料はJIS K 5665 による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※3種1号</td> <td>溶融</td> <td>粉体状</td> <td>○白</td> <td>○150</td> <td>○1.0</td> </tr> <tr> <td>・1種G</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>○100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・2種G</td> <td>加熱</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p> <p>23章 植栽及び屋上緑化工事</p> <p>・植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない</p> <p>(23. 2. 2、4)</p> <p>・植栽基盤の整備</p> <p>樹木の植栽基盤の整備 ・適用する ・適用しない</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土倉の厚さ (mm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td>・樹木</td> <td>※A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)</td> <td>・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>※芝、地被類</td> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・植栽部分 ・図示</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック (N)	車路	・図示	※80	※5.0	表面加工	・透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・	・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・	※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示	※60	※3.0	・	・透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・	・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・	種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)	・花崗岩	・割石 ・図示	・	・うろこ張り	・コンクリート版	※70	・	・	・	・	・アスファルト混合物	※50	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	※3種1号	溶融	粉体状	○白	○150	○1.0	・1種G	常温	液状	・	○100	・	・2種G	加熱	・	・	・	・	植栽	工法	有効土倉の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない	※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない
	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																																																																																											
○鋼製	○受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ○溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・ ()	・凹凸形																																																																																																																																																																																																																																																												
							・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ○T-25用	○普通目 ・細目 ()	○平形																																																																																																																																																																																																																																																									
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	-	-	・凹凸形																																																																																																																																																																																																																																																												
							・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	-	・平形																																																																																																																																																																																																																																																									
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																	
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101 SS400																																																																																																																																																																																																																																																																	
クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505 「軟鋼線材」 SWRM																																																																																																																																																																																																																																																																	
受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132 「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」 SPHT																																																																																																																																																																																																																																																																	
溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641 「溶融亜鉛めっき」 による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上																																																																																																																																																																																																																																																																	
受け枠用アングル材	塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料																																																																																																																																																																																																																																																																	
アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外																																																																																																																																																																																																																																																																	
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm																																																																																																																																																																																																																																																																	
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする																																																																																																																																																																																																																																																																	
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4308のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L																																																																																																																																																																																																																																																																	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4308のSUS304、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L																																																																																																																																																																																																																																																																	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L																																																																																																																																																																																																																																																																	
アンカー	JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う 間隔 側溝の場合500mm内外																																																																																																																																																																																																																																																																	
表面仕上げ	2B程度																																																																																																																																																																																																																																																																	
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm																																																																																																																																																																																																																																																																	
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする																																																																																																																																																																																																																																																																	
歩車道区分	荷重種別	側溝用 (KN)			加圧面積 (cm)																																																																																																																																																																																																																																																													
		側溝用 (KN)	横断溝用 (KN)	側溝用 (KN)																																																																																																																																																																																																																																																														
車道	T-20	78.5	109.8	20×50																																																																																																																																																																																																																																																														
	T-14	54.9	76.9	20×50																																																																																																																																																																																																																																																														
	T-6	23.5	33.0	20×24																																																																																																																																																																																																																																																														
	T-2	7.8	11.0	20×16																																																																																																																																																																																																																																																														
歩道	4.903N/m ² の等分布荷重																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	形状・寸法																																																																																																																																																																																																																																																																	
○縁石	○図示																																																																																																																																																																																																																																																																	
・L形側溝	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																	
○U形側溝	○図示																																																																																																																																																																																																																																																																	
○U形側溝ふた	○図示																																																																																																																																																																																																																																																																	
・	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																
○盛土	○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土G	○図示																																																																																																																																																																																																																																																																
○凍上抑制層	○再生クラッシュランG ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	○図示																																																																																																																																																																																																																																																																
・フィルター層	・砂	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																
種別																																																																																																																																																																																																																																																																		
・クラッシュラン																																																																																																																																																																																																																																																																		
・粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																																		
○再生クラッシュランG																																																																																																																																																																																																																																																																		
・再生粒度調整砕石G																																																																																																																																																																																																																																																																		
・クラッシュラン鉄鋼スラグG																																																																																																																																																																																																																																																																		
・粒度調整鉄鋼スラグG																																																																																																																																																																																																																																																																		
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグG																																																																																																																																																																																																																																																																		
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示																																																																																																																																																																																																																																																															
	歩行者用通路	・図示	※70																																																																																																																																																																																																																																																															
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工																																																																																																																																																																																																																																																														
・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し																																																																																																																																																																																																																																																														
・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し ・たたき出し																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																																																																																																																																																																																																																																													
※普通ブロック (N)	車路	・図示	※80	※5.0	表面加工																																																																																																																																																																																																																																																													
・透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																													
・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																													
※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示	※60	※3.0	・																																																																																																																																																																																																																																																													
・透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																													
・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																													
・花崗岩	・割石 ・図示	・	・うろこ張り	・コンクリート版	※70																																																																																																																																																																																																																																																													
・	・	・	・	・アスファルト混合物	※50																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																													
※3種1号	溶融	粉体状	○白	○150	○1.0																																																																																																																																																																																																																																																													
・1種G	常温	液状	・	○100	・																																																																																																																																																																																																																																																													
・2種G	加熱	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																													
植栽	工法	有効土倉の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																																																																																														
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																														
※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																														

<p>・ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>・ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p> <p>土壌改良材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>種別及び指定量等 ・ パーク堆肥 G 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 50L ・) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) G 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 10L ・)</p> <p>材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする</p> <p>・ 樹木 (23. 3. 2)</p> <p>樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・</p> <p>・ 支柱 (23. 3. 2, 3)</p> <p>支柱材 ※丸太 (間伐材) G ・ 真竹 ・ 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・ 図示 ・</p> <p>・ 幹巻き用材料 (23. 3. 2)</p> <p>材料 ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも</p> <p>・ 芝 (23. 4. 2, 3)</p> <p>種類 ※コウライシバ ・ ノシバ ・ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※べた張り</p> <p>・ 吹付けは種 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量(g/㎡)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 地被類 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置 (23. 3. 4, 6) (23. 4. 7)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ 無し ・ 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・ 無し ・</p>	種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考	・	・	・	・	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上			樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・	・	・	・					<p>・ ALCパネル</p> <p>○押出成形セメント板 (ECP)</p> <p>・ 石工事</p> <p>・ AD、SD、LD、SSD</p> <p>○ガラス</p> <p>・ 軽量鉄骨天井下地 (特定天井)</p>	<p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>・ 1/100 ・ 1/200 ・</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。</p> <p>外壁パネルの耐震性 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。</td> </tr> <tr> <td>設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・</td> <td>所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。</td> </tr> </table> <p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>・ 1/100 ・ 1/200 ・</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>外壁パネルの耐震性 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。</td> </tr> <tr> <td>設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・</td> <td>所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。</td> </tr> </table> <p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>・ 1/100 ・ 1/200 ・</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ・ 耐震ドア 面内変形追従性の等級 (・) (建具符号: ・ 建具表による ・) 重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、脱落が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・ (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>構造体の層間変形に対する追従性 以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 構造体の層間変形角 ○1/100 ・ 1/200 ・ /</p> <p>範囲 ・ 図示による ・ 特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) による 特定天井の設計用震度 検証ルート (・)</p>	層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。	設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。	層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。	設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。	層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	<p>○軽量鉄骨天井下地 (緊結吊天井)</p> <p>・ 軽量鉄骨天井下地</p> <p>・ システム天井</p> <p>・ ALCパネル</p> <p>・ 押出成形セメント板 (ECP)</p>	<table border="1"> <tr> <th>室名</th> <th>階</th> <th>設計用水平震度 (KH)</th> <th>設計用鉛直震度 (KV)</th> <th>クリアランス (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>範囲 ・ 図示による ・ 標準仕様書14. 4. 1~14. 4. 4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1)~4)のとおりとする。 1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。 2) 野縁や野縁受けの隣り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、千鳥状に配置。 3) 野縁受けと吊りボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置 (開き止め) を講じる。 4) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) 第3第3項に適合する天井に用いられるもの又は耐風圧クリップ相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準 (天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様) の追加」の解説 (平成28年7月版) (国土交通省国土技術政策総合研究所) の「付録1クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。なお、当該クリップは、JISA6517によらなくてもよいものとする。</p> <p>間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。</td> </tr> <tr> <td>設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・</td> <td>所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。</td> </tr> </table> <p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>・ 1/100 ・ 1/200 ・</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。</td> </tr> <tr> <td>設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・</td> <td>所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。</td> </tr> </table>	室名	階	設計用水平震度 (KH)	設計用鉛直震度 (KV)	クリアランス (mm)			・	・	・						設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。	設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。	層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。	設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。	<p>・ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>・ フリーアクセスフロア</p> <p>・ エクスパンションジョイント金物</p> <p>○壁等に固定する家具</p>	<p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>・ 1/100 ・ 1/200 ・</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>20章 フリーアクセスフロアの特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>階区分</th> <th>建築物間のクリアランス (mm)</th> <th>変位追従量 (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>断熱性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 70系 4M製 ・ スリル S製</td> <td>() 階 ~ () 階</td> <td>・ 50 ・ 100 ・ 150 ・</td> <td>(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 70系 4M製 ・ スリル S製</td> <td>() 階 ~ () 階</td> <td>・ 50 ・ 100 ・ 150 ・</td> <td>(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部に設置するものは、防水型とする。 エクスパンションジョイントカバーには、脱着防止措置を講ずる。</p> <p>固定方法 ○壁固定 (図示) ○床固定 (図示)</p> <p>以下の設計用震度の地震による引抜き力に対して固定金具に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震による引抜き力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値による。</p> <p>設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・</p> <table border="1"> <tr> <th>家具名称</th> <th>設置場所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○下足入</td> <td>家具図による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○キッチン</td> <td>給湯室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 軽量鉄骨壁下地等への補強 (・ 図示 ・) ※収納物の散乱防止措置 (ラッチ機構、ロック機構等) を講ずる。</p>	層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	材質	階区分	建築物間のクリアランス (mm)	変位追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考	・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し		・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し		家具名称	設置場所	備考	○下足入	家具図による		○キッチン	給湯室		・			・		
	種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考																																																																																																																									
・	・	・	・																																																																																																																										
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																																																																																																																												
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																										
・	・	・	・																																																																																																																										
層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																																																																												
設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。																																																																																																																												
設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。																																																																																																																												
層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																																																																												
設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。																																																																																																																												
設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。																																																																																																																												
層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																																																																												
室名	階	設計用水平震度 (KH)	設計用鉛直震度 (KV)	クリアランス (mm)																																																																																																																									
		・	・	・																																																																																																																									
設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。																																																																																																																												
設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。																																																																																																																												
層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																																																																												
設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。																																																																																																																												
設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。																																																																																																																												
層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																																																																												
材質	階区分	建築物間のクリアランス (mm)	変位追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考																																																																																																																							
・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し																																																																																																																								
・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し																																																																																																																								
家具名称	設置場所	備考																																																																																																																											
○下足入	家具図による																																																																																																																												
○キッチン	給湯室																																																																																																																												
・																																																																																																																													
・																																																																																																																													
<p>建築非構造部材の耐震性能に係る標準的特記事項</p> <p>・ CW (メタル・PCa)</p> <p>CW工事 取付方法、性能等 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。</td> </tr> <tr> <td>設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・</td> <td>所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。</td> </tr> </table>	設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。	設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。	<p>・ 軽量鉄骨天井下地 (特定天井)</p>	<p>○軽量鉄骨天井下地 (緊結吊天井)</p> <p>・ システム天井</p> <p>・ ALCパネル</p> <p>・ 押出成形セメント板 (ECP)</p>	<p>・ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>・ フリーアクセスフロア</p> <p>・ エクスパンションジョイント金物</p> <p>○壁等に固定する家具</p>	<p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能</th> </tr> <tr> <td>・ 1/100 ・ 1/200 ・</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>20章 フリーアクセスフロアの特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>階区分</th> <th>建築物間のクリアランス (mm)</th> <th>変位追従量 (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>断熱性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 70系 4M製 ・ スリル S製</td> <td>() 階 ~ () 階</td> <td>・ 50 ・ 100 ・ 150 ・</td> <td>(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 70系 4M製 ・ スリル S製</td> <td>() 階 ~ () 階</td> <td>・ 50 ・ 100 ・ 150 ・</td> <td>(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td>・ 有り () ・ 無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部に設置するものは、防水型とする。 エクスパンションジョイントカバーには、脱着防止措置を講ずる。</p> <p>固定方法 ○壁固定 (図示) ○床固定 (図示)</p> <p>以下の設計用震度の地震による引抜き力に対して固定金具に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震による引抜き力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値による。</p> <p>設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・ 設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・</p> <table border="1"> <tr> <th>家具名称</th> <th>設置場所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○下足入</td> <td>家具図による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○キッチン</td> <td>給湯室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 軽量鉄骨壁下地等への補強 (・ 図示 ・) ※収納物の散乱防止措置 (ラッチ機構、ロック機構等) を講ずる。</p>	層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能	・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	材質	階区分	建築物間のクリアランス (mm)	変位追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考	・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し		・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し		家具名称	設置場所	備考	○下足入	家具図による		○キッチン	給湯室		・			・																																																																													
設計用震度	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
設計用水平震度 (KH) ※1. 0 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。																																																																																																																												
設計用鉛直震度 (KV) ※0. 5 ・	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準 (製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。) が定める値とする。																																																																																																																												
層間変形角	帳壁 (仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材) の性能																																																																																																																												
・ 1/100 ・ 1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																																																																												
材質	階区分	建築物間のクリアランス (mm)	変位追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考																																																																																																																							
・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し																																																																																																																								
・ 70系 4M製 ・ スリル S製	() 階 ~ () 階	・ 50 ・ 100 ・ 150 ・	(避難経路の床等) ・ 以上 (その他) ・ 以上	・ 有り () ・ 無し	・ 有り () ・ 無し																																																																																																																								
家具名称	設置場所	備考																																																																																																																											
○下足入	家具図による																																																																																																																												
○キッチン	給湯室																																																																																																																												
・																																																																																																																													
・																																																																																																																													

章	項目	特記事項	防水改修工事	内装改修工事	その他
土工事	○ 建設発生土の処理	※ 場外搬出適正処理（参考標準運搬距離 5 km） ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外指示の場所に処分（受入れ施設名、受入れ場所、仮置場所、搬出調書等を提出する。）	・ 伸縮調整目地 ※ 成形伸縮目地（天端EPTゴム、サイドブチルゴム製）は評価名簿による。	・ 材料 樹種 ※ 標準仕様書の「ひのき」は「ひば」と読み替える。 ・ 防虫処理 ラワン材等を使用する場合 ・ 保存処理の性能区分K1 ・ フローリング張り 本特記事項は、体育館の床には適用しない。	(1.5.9)
地業工事	○ 杭、地盤の載荷試験 ○ 六価クロム溶出試験	杭、地盤の試験の方法及び報告書の記載事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「敷地調査共通仕様書」を標準とする。 地盤改良工事等でセメント及びセメント系固化材を使用する場合は、六価クロム溶出試験要領により、試験を実施し試験結果（計量証明書）を監督職員に提出すること。 ・ 配合設計段階（検体） ・ 施工段階（検体）	○ 室内の空気中の化学物質濃度の測定 ※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド（濃度指針値 100 μg/m ³ ・ 0.08ppm） ※ スチレン（濃度指針値 220 μg/m ³ ・ 0.05ppm） ※ トルエン（濃度指針値 260 μg/m ³ ・ 0.07ppm） ※ エチルベンゼン（濃度指針値 3,800 μg/m ³ ・ 0.88ppm） ※ キロリン（濃度指針値 870 μg/m ³ ・ 0.20ppm） 測定する室等： 検収室、炊飯室、肉魚類下処理室、野菜類下処理室、揚・焼・蒸物調理室、上処理・煮炊き調理室、食物アレルギー対応調理室、和え物調理室、コンテナ室、洗浄室、事務室、会議室、職員食堂、女子休憩室、事業者事務室（計15室） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器	○ 令129条の2の3の事項（設備関係事項）	○ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものとする。 ○ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの（以下「屋上水槽等」という。）は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持な部分に、緊結すること。 ・ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。 ・ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造、若しくはコンクリートブロック造とすること。 ○ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備を除く。）は、 ○ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。 ○ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。 ○ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。 ○ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。 ○ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあつては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造上安全なものとする。 ○ 給湯設備* は、風圧、土圧、及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。 * 「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの。
コンクリート工事	・ 骨材 ○ 品質管理	構造体に関する耐震安全性の分類がI類以外の建築物で、地域等によって区分Bの骨材を使用せざるを得ない場合、監督職員と協議し、次のいずれかの方法により承諾を受けた場合に限り使用できる。 (1) アルカリ総量が3.0kg/m ³ 以下であることを配合計画書により確認 (2) 抑制効果のある混合セメントを使用 構造体に用いるコンクリート用骨材の品質試験を次により実施すること。 (1) アルカリシリカ反応性試験の方法は化学法(JIS A 1145)又は迅速法(JIS A 1804)による。 (2) コンクリート製造工場の選定後、速やかに品質試験実施計画書を作成し、監督職員に提出すること。 (3) 原則として受注者の立会いのもと試料の採取を行うこと。 (4) 計画調査書の作成前に、原則として試験機関に委託し実施すること。試験の実施後、6ヶ月を経過する都度及び産地が変わった場合には再試験を実施すること。 (5) 試験の結果は書面により速やかに報告すること。 (6) アルカリシリカ反応性試験の結果、区分Bと判定された場合は、監督職員と協議すること。			
木工事	○ 材料	樹種 ※ 標準仕様書の「ひのき」は「ひば」と読み替える。			
塗装工事	○ 塗装業者	(一社)日本塗装工業会の会員又は監督職員の承諾する者とする。			
撤去工事	○ 一般事項 ○ 施工計画書 ・ 工法等 ・ 分別解体に係る施工方法 ・ 石膏ボードの処分方法	(1) 建設廃棄物等の処分は、関係法令に従い安全かつ公害を発生させない方法で行うこと。 (2) 計画内容は工事施工関係者に広く周知徹底させる。 (3) 騒音、振動は使用機器の能力等により、事前に所要の手続きをして解体に伴う関係官庁の了解を得ること。 (1) 使用機械器具、各工種の材料、工法、日程等の内容を記載すること。 (2) 重機械等を建築物等に乗せる場合は、構造体の安全を確認する検討書を添付すること。 内装仕上げ材、建築設備の撤去 ※ ビニル床タイル、間仕切壁、天井材、建具類等の内装仕上げ材及び建築設備は、コンクリート類の再資源化を図るため、手作業による先行撤去とし、コンクリート類とは分別解体とすること。 ・ 手作業、機械作業の併用による。 屋根ふき材 ※ 手作業による。 ・ 手作業、機械作業の併用による。 撤去は手作業を原則とし、管理型処分場で処分すること。 ひ素・カドミウム含有せっこうボードは、出来る限り製造業者に処分を依頼すること。			

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

図面名	図面種別
縮尺	図面番号

株式会社 松下設計仙台支社

 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

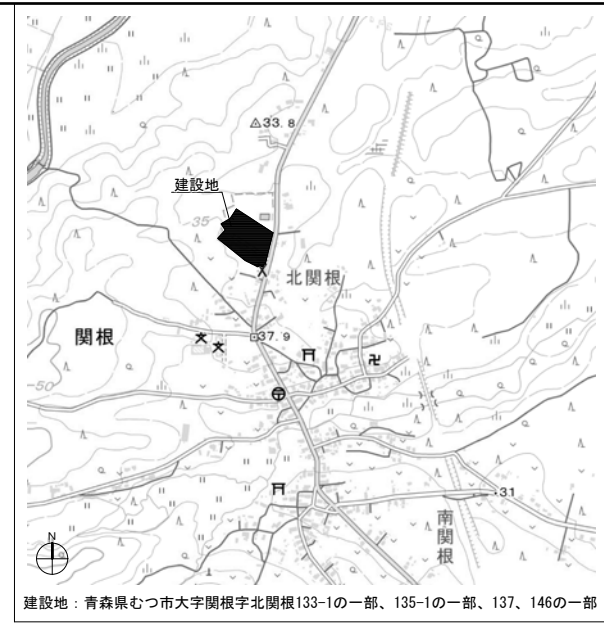
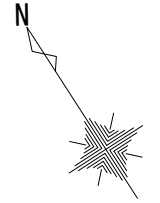
委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	機 関	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	図面種別
縮尺	図面番号

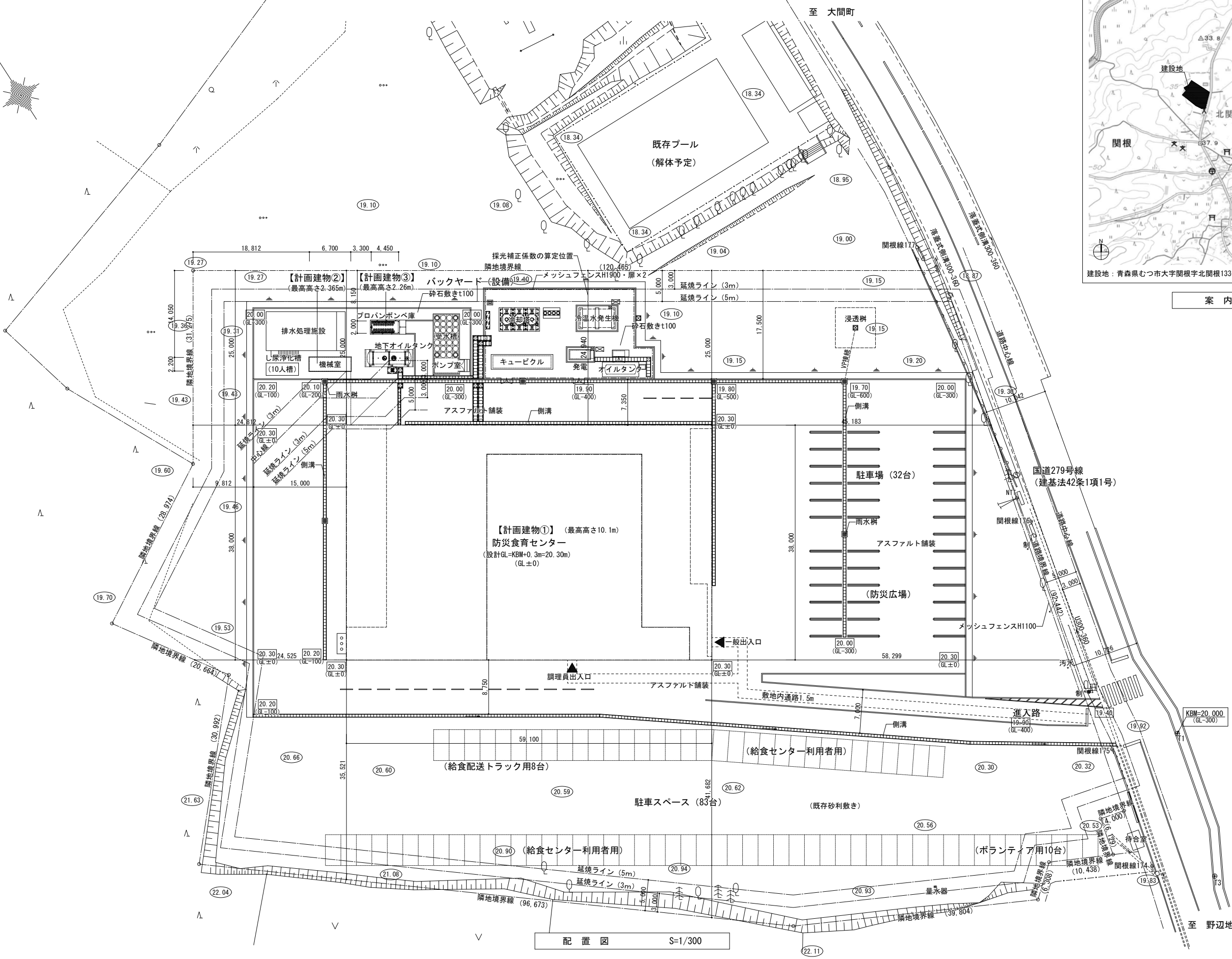
建築工事特記仕様書(補足) 特
 S=1:- (A3版 50%縮小) 017

工事区分表（他工事との取合い等）		区分は○印を適用する					A 建築工事					E 電気設備工事					M 機械設備工事					EV エレベーター設備工事					K 厨房設備工事					※ 複数箇所に○印のあるものは、各工事を適用する																	
躯体関係	項目	A	E	M	EV	K	備考	躯体関係	項目	A	E	M	EV	K	備考	躯体関係	項目	A	E	M	EV	K	備考	躯体関係	項目	A	E	M	EV	K	備考																		
RC造 (梁・壁・床) の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○			エレベーター制御盤からエレベーター監視盤又は警報盤までの配管配線工事 エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事 緊急地震速報受信用配管工事 昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事 ビット内点検用コンセント設備工事 エレベーターシャフト吊りフック（必要な場合、建築工事に支給） レールブラケット取り付けファスナー（必要な場合、建築工事に支給） 動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事	その他	感知器運動防火戸のレリーズ用切込み	○						その他	厨房機器開口ステンレス三方枠、四方枠取付	○						ボード類、塗装のみ M・E用含む レールヒーター用の手元スイッチを含む	厨房機器関係	厨房機器開口ステンレス三方枠、四方枠取付	○																					
	貫通スリーブの補強	○								防火・防煙区画	消火器ボックス	○							厨房機器設置後の開口部ステンレス塞ぎ工事	○																													
	開口部の型枠・補強	○									防火・防煙区画	表面仕上がりが必要な全熱交換機等の表面仕上	○							厨房機器の搬入、据付、組立て																													
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○							壁・天井・床点検口	○							厨房機器アンカー固定工事																													
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○							駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ	○							プレハブ冷蔵庫、冷凍庫の冷媒配管工事																													
												同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○							排気フード取付工事及びダクト工事																													
S・SRC造 (梁・壁・床) の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○						仕上関係	同上本体・操作スイッチ及び2次配線	○						軽鉄天井・壁下地	ボード類の切り込み	○						基礎	厨房機器付属の電源コンセントプラグ																								
	貫通スリーブ	○	○	○	○					駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管	○							下地材の切込み・補強	○							太陽光発電設備基礎	プレハブ冷蔵庫、冷凍庫の初建方工事																						
	貫通スリーブの補強	○								同上本体・動作スイッチ及び2次配線	○							開口部の墨だし	○	○	○	○						太陽光発電設備架台	プレハブ冷蔵庫、冷凍庫床コンクリート打設及び仕上げ工事	○																			
	開口部の型枠・補強	○								映像音響設備のある室で操作卓にスイッチを組み込む電動ブラインド	○							可動間仕切	切込み・補強	○									電気設備関係	排水・ハンドホール廻り	雨水排水設備	○																	
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○		防火・防煙区画			避雷導体の接続	○							可動間仕切	各種ボックス類	○	○	○									エレベーター関係	雑排水・汚水排水設備				○													
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画			笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○							可動間仕切	設備機器類用				○		○							エレベーター関係	ハンドホール	E・M棟で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上	○														
予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画		ルーフドレン及びびたてどい	○						可動間仕切	給排気関係	外壁ガラリ	○						エレベーター関係	ユニット型浄化槽		ビット型の躯体及び砂充填			○																			
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	防風板	○							エレベーター関係	自家発電設備	自家発電装置			○																			
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	ウエザーカバー・ベントキャップ										エレベーター関係	自家発電設備		発電装置 基礎			○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（標準詳細図によるステンレス製）	○										エレベーター関係	自家発電設備	発電装置 トレンチ			○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○											エレベーター関係	自家発電設備	発電装置 トレンチ用 蓋		○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○												エレベーター関係	自家発電設備	主燃料槽																	
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○								エレベーター関係					自家発電設備	主燃料槽用 基礎、外郭工事（充填砂共）	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○							エレベーター関係						自家発電設備	同上杭及び杭頭処理	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○									エレベーター関係				自家発電設備	燃料小出槽	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○										エレベーター関係			自家発電設備	燃料小出槽 基礎	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○											エレベーター関係		自家発電設備	防油堤	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○												エレベーター関係	自家発電設備	通気管	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○								エレベーター関係					自家発電設備	給油口ボックス	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○							エレベーター関係						自家発電設備	給油口ボックス 基礎	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○									エレベーター関係				自家発電設備	屋外トレンチ	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○										エレベーター関係			自家発電設備	屋外トレンチ用 蓋	○																
								既設埋設配管配線調査（X線調査含む）	○	○	○				可動間仕切	給排気関係	排気フード（レンジフード等既製品）	○											エレベーター関係		自家発電設備	危険物表示板	○																



建設地：青森県むつ市大字関根字北関根133-1の一部、135-1の一部、137、146の一部

案内図



配置図 S=1/300

***: 計画地盤高さ
 (***): 現況地盤高さ

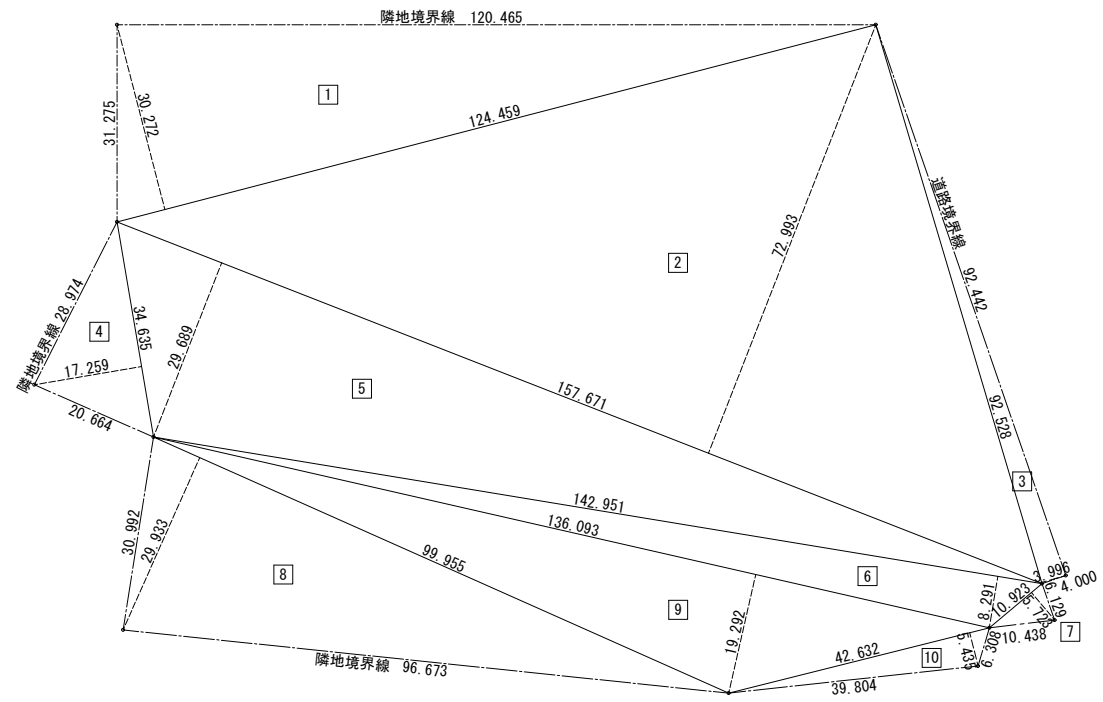
図面名	案内図・配置図
図面種類	A
図面番号	001
縮尺	S=1:300 (A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計仙台支社
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

設計者	松田 慎
校核	松田 慎
製図	松田 慎

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 2023年3月24日
 22-127S

図面名	案内図・配置図
図面種類	A
図面番号	001
縮尺	S=1:300 (A3版 50%縮小)



敷地求積図 S=1/600

面積表

敷地面積		14,010.99 m ²
延床面積	【計画建物1～3】	2,630.88 m ²
容積対象床面積	【計画建物1～3】	2,597.69 m ²
建築面積	【計画建物1～3】	2,231.21 m ²
容積率	容積対象床面積/敷地面積	18.55 %
建ぺい率	建築面積/敷地面積	15.93 %

敷地面積求積表

符号	底辺	高さ	倍面積
1	124.459	30.272	3,767.6228
2	157.671	72.993	11,508.8793
3	92.528	3.996	369.7419
4	34.635	17.259	597.7655
5	157.671	29.689	4,681.0943
6	142.951	8.291	1,185.2067
7	10.923	5.723	62.5123
8	99.955	29.933	2,991.9530
9	136.093	19.292	2,625.5062
10	42.632	5.435	231.7049
倍面積合計			28,021.9870
面積			14,010.9935
敷地面積			14,010.99

建物求積表 (防災教育センター)

符号	計算式 (m)
1	47.2000 × 26.2750 = 1,240.1800
2	6.5000 × 5.2750 = 34.2875
3	28.9500 × 11.7250 = 339.4388
4	2.2750 × 8.7750 = 19.9631
5	13.9750 × 11.7250 = 163.8569
6	3.8000 × 8.7250 = 33.1550
7	1.8000 × 0.2750 = 0.4950
A	6.5000 × 32.7250 = 212.7125
B	5.4000 × 26.0000 = 140.4000
8	25.0500 × 15.2500 = 382.0125
9	7.7250 × 5.2750 = 40.7494
a	5.5000 × 31.7250 = 174.4875
b	3.6000 × 12.0000 = 43.2000
c	3.8000 × 3.0000 = 11.4000
d	2.2750 × 2.9500 = 6.7113
ELV	2.2750 × 2.9250 = 6.6544
防災備蓄庫 2	2.6000 × 7.6500 = 19.8900

面積表 (防災教育センター) 【計画建物1】

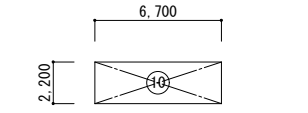
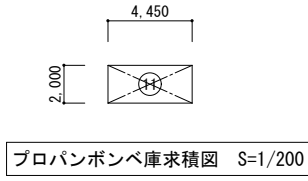
1階床面積	1 ~ 7 + A + B	2,184.4887	2,184.48 m ²
2階床面積	8 + 9	422.7619	422.76 m ²
延床面積			2,607.24 m ²
容積対象床面積	延床面積 - (ELV + 防災備蓄庫 2)		2,574.05 m ²
対象外	ELV × 2 + 防災備蓄庫 2	33.19	
※防災備蓄庫 2 (容積対象外) 19.89 m ² < 延床面積 / 50 2,607.24 / 50 = 52.14 m ² 見えやすい位置に「防災備蓄庫」の表示を行う			
建築面積	1 ~ 7 + B + a ~ d	2,207.5750	2,207.57 m ²

建物求積表・面積表 (機械室) 【計画建物2】

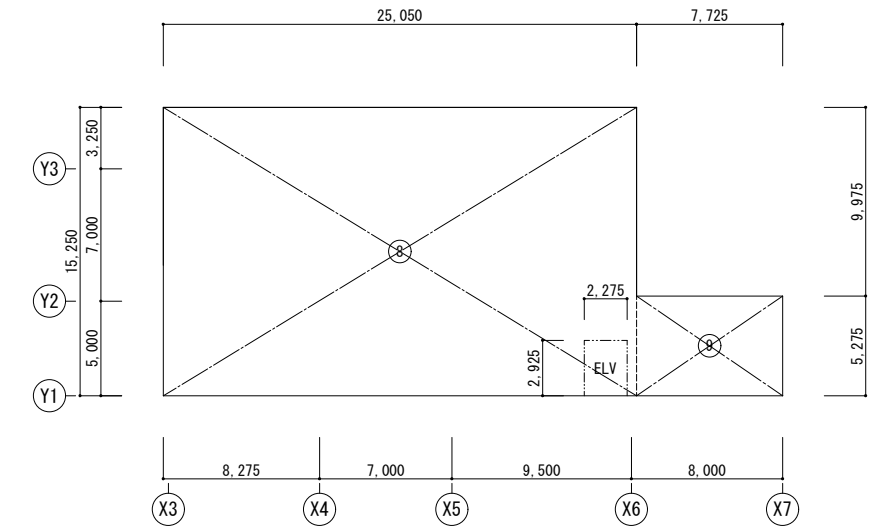
符号	計算式 (m)
10	6.7000 × 2.2000 = 14.7400
延床面積	14.74 m ²
建築面積	14.74 m ²

建物求積表・面積表 (プロパンボンベ庫) 【計画建物3】

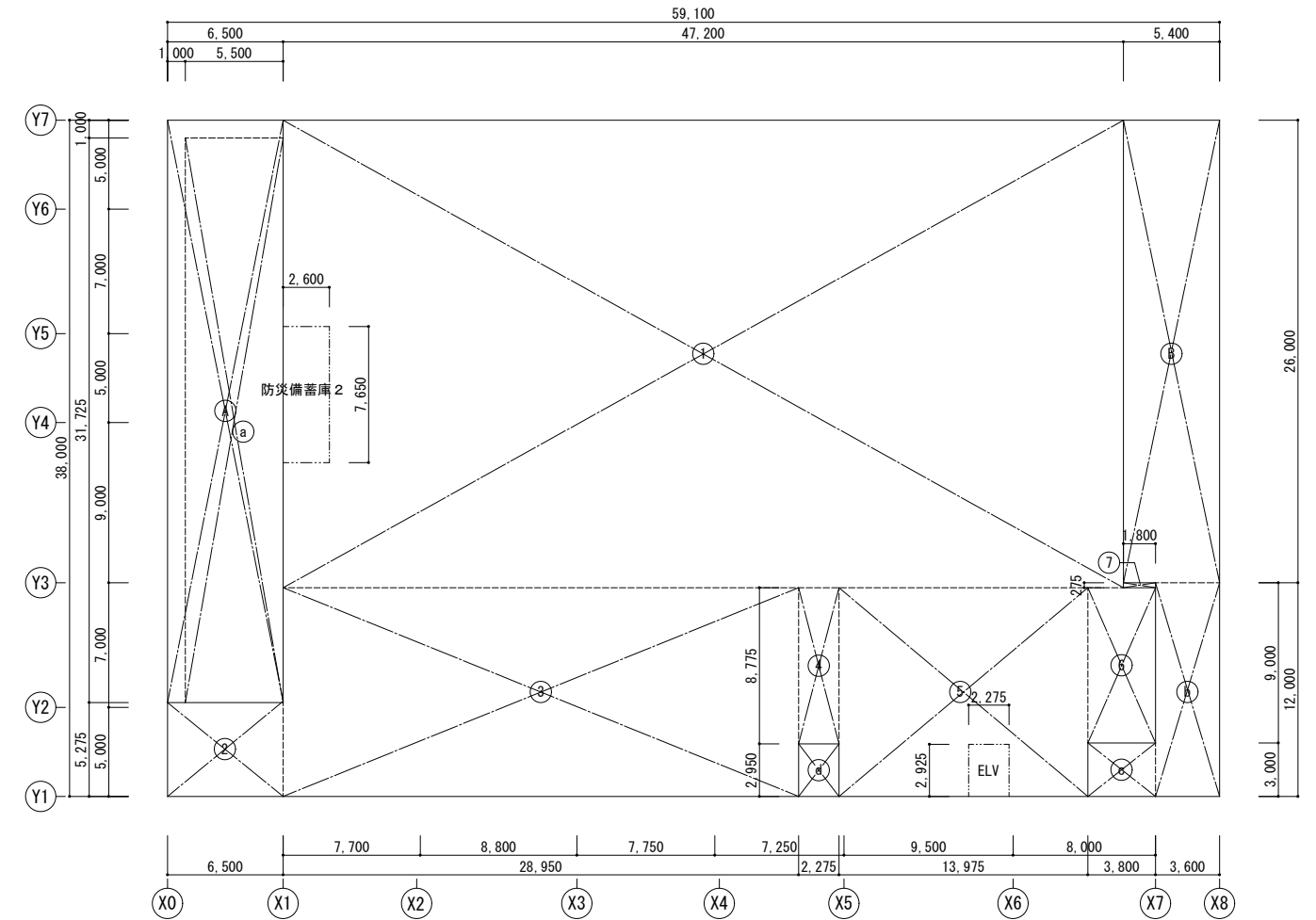
符号	計算式 (m)
11	4.4500 × 2.0000 = 8.9000
延床面積	8.90 m ²
建築面積	8.90 m ²



機械室求積図 S=1/200



2階求積図 S=1/200



1階求積図 S=1/200

外部仕上表		
部位	下地	仕上
屋根	1階屋根	ルーフデッキ H50+硬質ウレタンボード t 50 露出断熱アスファルト防水
	1階屋根 (室外機置場)	ルーフデッキ H50+コンクリート H80、硬質ウレタンボード t 50 露出断熱アスファルト防水 + 機械基礎
	最上階屋根	ルーフデッキ H50+硬質ウレタンボード t 50 露出断熱アスファルト防水
	立上り	耐火野地板 t 18、鉄板 t 0.8 露出断熱アスファルト防水
	笠木	ガルバリウム鋼板 t1.2 捨張 アルミ既製品(カラー)W225
雨水処理	ルーフトレン:SUS製φ100 防雪キャップ付 壁樋:SGPφ100 保温材巻	
室外機置場	設備基礎 天端:塗膜防水 立上り:露出アスファルト防水	
煙突	SGPφ406.4 耐熱塗料	
外壁	押出成形セメント板 t 60 (W900) タテ張り 複層塗材E(シリコン)	
軒天井	LGS 25形(ビス留め) ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張、垂鉛製リブ付ジョイナー仕様)EP	
根廻り	コンクリート打放し 浸透性吸水防止剤塗	
開口部	アルミサッシ、アルミガラリ、スチールドア、シャッター、ドックシェルター	
ポーチ	天井:LGS 25形(ビス留め) 床:コンクリート木ゴテモルタル	天井:ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張、垂鉛製リブ付ジョイナー仕様)EP 床:磁器質タイル 100角、視覚障害者誘導用タイル
プラットフォーム	天井:LGS 25形(ビス留め)	天井:ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張、垂鉛製リブ付ジョイナー仕様)EP 床:コンクリート金ゴテ仕上 カーストッパー
スロープ	床:コンクリート木ゴテモルタル	床:磁器質タイル 100角、視覚障害者誘導用タイル 手摺:SUS製(HL)
外構	アスファルト舗装、砕石舗装、集水樹、側溝、白線引(W100、溶融式)	
その他	館名文字(ステンレス製箱文字 250角)、定礎石:御影石W520×H460×D20(文字入れ) キーボックス、メールボックス、タラップ、防鳥ワイヤー	
天井裏	キャットウォークW1000 溶融垂鉛メッキ(手摺ボルト留め)	
ピット内	床・壁:自閉樹脂塗膜防水材塗(バラテックス:A-1工法同等)	床・壁:樹脂モルタル コテ押え
水槽内	床・壁:自閉樹脂塗膜防水材塗(バラテックス:B-2工法同等)	

一般事項		防火材料認定番号	
1. ボード面出隅:特記なき限り、ボード面コーナーには塩ビ製コーナー(20R付)を使用すること。		石膏ボード t 12.5・15.0 : NM-8619	
2. 木材寸法:一般造作見え掛かり材は挽き立て寸法とし、構造下地材、集成材は仕上り寸法とする。		強化石膏ボード t 21 : NM-8615	
3. ステンレス材、ステンレス板等は、特記なき限りSUS304とする。		石膏ボード t 9.5 : QM-9828	
4. クロス下地部はジョイント石膏ボード(チーバーエッジ)を使用すること。		不燃積層石膏ボード t 9.5 : NM-0441	
5. 誘導・警告タイル:外部~インテラーロッキングブロック300角、磁器質タイル300角 内部~ゴムタイル300角 t 7		耐火石膏ボード t 12.5 : QM-0898	
6. タイルカーベットは帯電型仕様とする。		不燃耐火石膏ボード t 12.5 : NM-9639	
7. 内装材・建具・家具は規制対象外(F☆☆☆☆)もしくは告示対象外を使用すること(仕上・下地・接着剤共)。		化粧石膏ボード t 9.5 : QM-0524	
8. 天井裏等に使用する建材は規制対象外(F☆☆☆☆)もしくは告示対象外を使用すること。		化粧石膏ボード(不燃) t 9.5 : NM-1864	
9. 使用する材料(接着剤を含む)は全てノンアスベスト製品とすること。		化粧石膏ボード t 12.5(壁用) : NM-0128	
10. クロロビリホス含有建材を使用しないこと。		強化石膏ボード t 15 : NM-8615	
11. 廻り縁:外部-アルミ製、内部-塩ビ製(底目地タイプ)、厨房-アルミ製		ロックウール化粧吸音板 t 9・12.0 : NM-8599	
12. シーリング:一般部-ポリウレタンシーリング、金物取合部-変性シリコンシーリング		ケイ酸カルシウム板 t 6・8・10・12 : NM-1217	
		押出成形セメント板 t 60 : NM-9252	
		吹付ロックウール(比重0.28以上) t 25 : FP060BM-9408	
		ビニルクロス : QM-0803	
		無機質クロス : NM-3991	
		EP塗装 基材同等	
		不燃下地 : NM-8585	
		準不燃下地 : QM-9816	
		耐火野地板(硬質木片セメント板) t 18 : H12建設省告示1401号適合品	
		防湿イソシアヌレートボード t 20 : NM-0755-1	
耐火認定番号[準耐火建築物 ロー 2]			
屋根	ルーフデッキ(鉄板) : 30分耐火 FP030RF-0413		
軒裏	ケイ酸カルシウム板 t 6.0		
外壁	押出成形セメント板 t 60(タテ張) : 1時間耐火 FP060NE-9035		
床	合成スラブデッキ(H50)(鉄板+コンクリート) : 1時間耐火 FP060FL-9095		
柱・梁・階段	鉄骨		
防火区画壁仕様			
区画壁	LGS下地 石膏ボード t 12.5+12.5(両面・躯体-躯体間) : 1時間準耐火 R1国交告195 LGS下地 強化石膏ボード t 21+21(片面・躯体-躯体間) : 1時間耐火 FP060NP-0294 (外壁バンドレル)押出成形セメント板 t 60(タテ張) : 1時間耐火 FP060NE-9035 (スバンドレル部の外壁の梁は認定書別添の通り耐火被覆(吹付ロックウール t 25)とする)		
ポイラー室耐火構造			
外壁	押出成形セメント板 t 60(タテ張) : 1時間耐火 FP060NE-9035		
耐火壁	LGS下地 強化石膏ボード t 12.5+12.5(両面・躯体-躯体間) : 1時間耐火 FP060NP-0174		
床	コンクリート t 180 : 1時間耐火 H12建告1399		
梁	鉄骨梁(吹付ロックウール t 25) : 1時間耐火 FP060BM-9408/FP060BM-0366-3		
柱	鉄骨柱(吹付ロックウール t 25) : 1時間耐火 FP060CN-9460/FP060CN-0538-2		
屋根	ルーフデッキ(鉄板) : 不燃		
断熱仕様		塗装記号	
屋根(外):硬質ウレタンボード t 50		EP : 合成樹脂エマルジョンペイント	
外壁(内):吹付用硬質ウレタンフォーム(現場発泡品) t 30		UC : ウレタン樹脂ワニス塗	
床(土間下):A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b t 50 防湿フィルム t 0.15敷			
ピット内:A種押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種b t 50 打込			
使用材料(同等品以上)			
ルーフトレン(カバー式)	OKドレン開発(株)	キーボックス	杉田エース CI-60
笠木	(株)エービーシー商会	メールボックス	杉田エース メールBOX(MX-101型、MX-101F脚付)
押出成形セメント板		カーストッパー	
浸透性吸水防止剤	菊水化学 シランコートHS	上り框、床見切縁	SUS製 W40 H20
厨房内天井(イソシアヌレートボード)	東海物産 スウィムライト工法	消火器ボックス(全埋型)	杉田エース UFB-1S-2740N-HLN
自立手摺(スロープ)	φ34 SUS製(HL)	L型手すり(多機能トイレ)	TOTO T112CL11
フック手摺(階段室)	φ34 アルミ製樹脂被覆	L型手すり(一般トイレ)	TOTO T112CL9
磁器質床タイル 100角		小便器用手すり	TOTO T112GU22
薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗装(防滑・平滑)		跳上げ手すり	TOTO T112HK7R
厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑・平滑)		フック(シングル)	TOTO YKH20R
水性硬質ウレタン系塗床材(平面部)	ABC商会 タフクリートMH(MH工法)	ベビーシート(閉閉式)	TOTO YKA25S
水性硬質ウレタン系塗床材(立上り部)	ABC商会 タフクリートMW	汚垂石	LIXIL キラミックスステップ t 13
コンテナ用位置確認ラインW100	ABC商会 ABCラインコート水性	鏡 W1800/H900(前室1・2、2階ホール)	TOTO MMA1 A1800 A900 W
自閉樹脂塗膜防水材塗(ピット内)	バラテックス:A-1工法同等	鏡 W1200/H900(前室2)	TOTO MMA1 A1200 A900 W
自閉樹脂塗膜防水材塗(水槽内)	バラテックス:B-2工法同等	コート掛 SUS304(HL)L800 フック×5	杉田エース 座付回転帽子掛 800
防塵塗料塗		天吊物干し	杉田エース 室内用スカイクリーン CH-D(ロングタイプ)
グレーチング	SUS製 H25 細目(ローレット加工)、 蓋受 FB SUS-25×8	ミニキッチン W1050	LIXIL ミニキッチン
縦鋼板	SUS製 t 4.5	キッチンセット W1050	LIXIL
		吊戸棚	LIXIL
		ガードポール H1500	サンポール FRA-17UH(Y)
		室名札	アルミ押出型材、焼付塗装仕上(W244×H45×D8)
		ピクトサイン	アクリル板(W240×H240×D16)
		バックヤードサイン	シート切文字
		ブラインドボックス	アルミ製 W120/D80
		ブラインド	スラット幅25mm 横型コード式

: その1工事を示す

	株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)	委託番号 22-127S 日付 2023年3月24日 設計部長 検 田 担 当 製 図	図面名 外部仕上表 縮尺 S=1:- (A3版 50%縮小)	図面種類 A 図面番号 003
---	---	---	--	-------------------------------------

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図

内部仕上表 (1) // H12建告1436号第4号-ニ-(4)による 内装の下地及び仕上を不燃材料とする居室

階	室名	床高	床		巾木		壁		天井			天井高	ブラインドボックス	ブラインド	備考	
			下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	廻り縁					
1	その他の区域(一般)															
	一般風除室	FL-30	モルタル	磁器質タイル 100角	磁器質タイル	100	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス 一部石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス 木製化粧ルーバー WP	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,730			視覚障害者誘導用タイル 総合案内板	
	一般玄関	FL-10~ FL-30 FL±0	モルタル コンクリート金ゴテ	磁器質タイル 100角 長尺塩ビシート t 2.0	磁器質タイル 塩ビ製	100 60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス 一部石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス 木製化粧ルーバー WP	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,710~ 2,730			下足入、カウンター、上り框 視覚障害者誘導用タイル、シート	
	ホール	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス 一部石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス 木製化粧ルーバー WP	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,700			視覚障害者誘導用シート	
	事務室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,700	○	○	受付カウンター	
	更衣室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,500				
	給湯室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,500			ミニキッチン W1050	
一般トイレ	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			トイレブース L型手すり、小便利器手すり(男)、汚垂石(男)		
その他の区域(職員・準備室)	調理員風除室	FL-30	コンクリート金ゴテ	薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗装(防汚工法)	床材立上げ	100	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,730			視覚障害者誘導用タイル	
	調理員玄関	FL-10~ FL-30 FL±0	コンクリート金ゴテ コンクリート金ゴテ	薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗装(防汚工法) 長尺塩ビシート t 2.0	床材立上げ 塩ビ製	100 60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,710~ 2,730			下足入、上り框 視覚障害者誘導用タイル、シート	
	調理員通路	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,700			視覚障害者誘導用シート	
	倉庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗装(防汚工法)	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,700				
	書庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,000~ 2,500				
	調理員トイレ (前室を含む)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			コート掛:アルミ製	
	洗濯乾燥室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,700			天吊物干し	
	前室1 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,500			下足入 鏡 W1800×2 エアシャワー (厨房工事)	
	前室1 倉庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,500			床下点検口	
	前室2 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,500			下足入、床下点検口 鏡 W1800、W1200×1 エアシャワー (厨房工事)	
前室2 倉庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,500					
汚染作業区域	野菜出荷受室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			エアカーテンW900×2台	
	廃棄庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700				
	器具洗浄室1 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700				
	肉魚類荷受室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			エアカーテンW900×2台	
	油庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700				
	納米室(防災備蓄庫1)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	4,200				
	米庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	4,200				
	洗米室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	3,800			排水溝 床下点検口	
	検収室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防汚工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁(FL+1000):ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁:不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700				

内部仕上表 (2) H12建告1436号第4号-ニ-(4)による 内装の下地及び仕上を不燃材料とする居室

階	室名	床高	床		巾木		壁		天井			天井高	ブライントポックス	ブライント	備考
			下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	廻り縁				
1	汚染作業区域 野菜類下処理室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700 吹抜 7,000			排水樹、カウンター: SUS製
	根菜処理室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			排水樹
	肉魚類下処理室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			排水樹、カウンター: SUS製
	冷凍室	FL±0	コンクリート金ゴテ	水性硬質ウレタン系塗床材 t 6.0(耐熱仕様)	—	—	—	プレハブ冷凍庫	—	プレハブ冷凍庫	—	2,400			フロアヒーター [設備工事]
	冷蔵室	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	—	—	—	プレハブ冷蔵庫	—	プレハブ冷蔵庫	—	2,450			
	食品庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			
	計量室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			排水樹、カウンター: SUS製
非汚染作業区域	炊飯室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 耐水石膏ボード (一部不燃) t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	3,400 一部 3,800			排水樹
	※火気使用室 (居室) 揚・焼・蒸物調理室	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			排水樹
	※火気使用室 (居室) 上処理・煮炊き調理室	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0 回転釜下 水性硬質ウレタン系塗床材 t 6.0(耐熱仕様)	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700 吹抜 7,000			排水樹
	器具洗浄室 2、3 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			排水樹、カウンター: SUS製 (器具洗浄室 3)
	和え物加熱室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0 回転釜下 水性硬質ウレタン系塗床材 t 6.0(耐熱仕様)	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	3,000			排水樹
	和え物調理室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0 回転釜下 水性硬質ウレタン系塗床材 t 6.0(耐熱仕様)	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	3,000			排水樹
高度清潔区域	食物材料対応調理室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0 回転釜下 水性硬質ウレタン系塗床材 t 6.0(耐熱仕様)	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			排水樹
	前室 3、4 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗装(防滑工法)	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,500			下足入
非汚染作業区域	コンテナ室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	3,300 通路部分 2,700			排水樹 コンテナ用位置確認床ラインW100
	配送風除室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			
汚染作業区域	洗浄室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁: 耐火壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	3,200			排水樹
	回収風除室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 区画壁・耐火壁下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			
	厨芥処理室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	腰壁 (FL+1000): ケイ酸カルシウム板 t 12.0下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP 上壁: 不燃耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(接着工法)EP	LGS (メーカ仕様)	防湿イソシアヌレートボード t 20.0	アルミ製	2,700			
	洗剤庫 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,700			
その他の区域 (一般)	防災備蓄庫 2 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(防滑工法) t 2.0	床材立上げ	200	LGS	耐水石膏ボード t 12.5下地 ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,700			床下点検口
	ボイラー室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	防塵塗料塗	床材立上げ	200	LGS	外壁面: 石膏ボード t 12.5(素地) 耐火壁(素地) 柱: 吹付ロックウール t 25	—	デッキ表し 外周部梁: 吹付ロックウール t 25 石膏ボード t 12.5(素地) 梁: 吹付ロックウール t 25	—	直天			マンホール(防臭型)、タラップ: SUS製 設備基礎: RC
	ポンプ室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	防塵塗料塗	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5(素地) 区画壁(素地)	—	鉄骨階段 SOP 段裏表し 石膏ボード t 12.5(素地)	—	2,500 (一部)			マンホール(防臭型)、タラップ: SUS製 設備基礎: RC、床下点検口

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

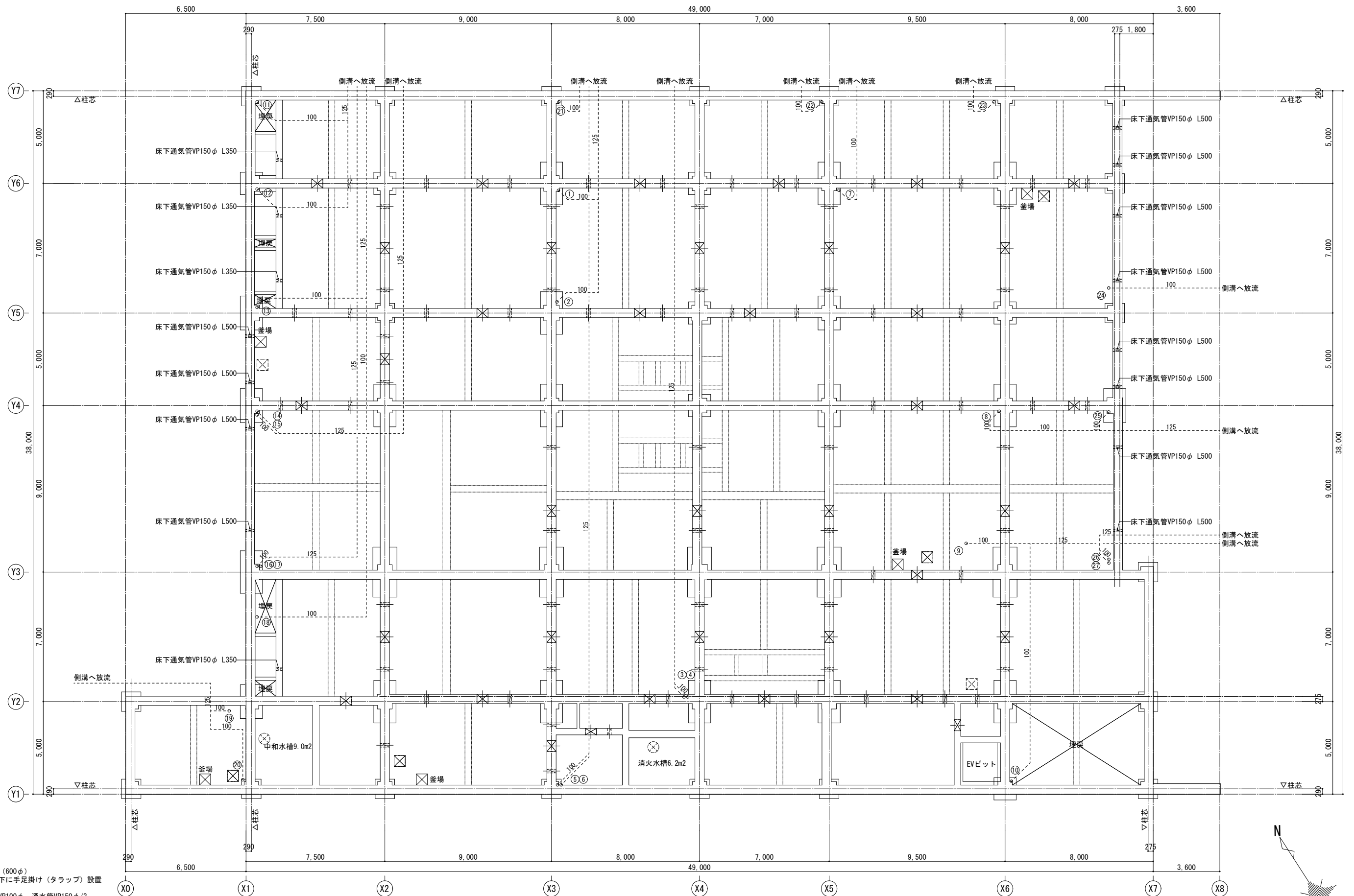
委託番号 22-127S 2023年3月24日
設計部長 検 関 担 当 製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名 内部仕上表(2) 図面種別 A
図面番号 005
縮尺 S=1:-(A3版 50%縮小)

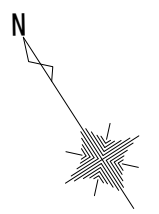
内部仕上表 (3) // H12建告1436号第4号-二-(4)による 内装の下地及び仕上を不燃材料とする居室


階	室名	床高	床		巾木		壁		天井			天井高	ブラインドボックス	ブラインド	備考
			下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	廻り縁				
2	ホール、 防災食育・展示コーナー (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	3,000			視覚障害者誘導用シート、防煙垂れ壁 揭示板、ピクチャーレール
	会議室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	3,000	○	○	手すり
	教材庫	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			
	一般トイレ	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			トイレブース L型手すり、小便器用手すり(男)、汚垂石(男)
	多機能トイレ	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			L型手すり、跳上げ式手すり ペーパーシート、フック
	事業者事務室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,500	○	○	
	調理員通路	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,700			視覚障害者誘導用シート
	職員食堂 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	不燃石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	3,000			
	給湯室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			流し台 W1050、吊戸棚、食器戸棚
	収納	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	化粧石膏ボード t 12.5	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			棚、枕棚
	洗濯乾燥室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	ケイ酸カルシウム板 t 6.0(目透し張)EP	塩ビ製	2,700			天吊物干し
	調理員トイレ (前室を含む)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	2,500			コート掛:アルミ製
	男子休憩室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,500	○	○	下足入
	女子休憩室 (居室)	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	不燃石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,500	○	○	下足入
男子更衣室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,500				
女子更衣室	FL±0	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	塩ビ製	60	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	2,500				
共通	階段室 1 (一般)	—	鉄骨下地 モルタル金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	珪藻土塗装	—	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	3,000 (2FLより)			階段手すり、段鼻:ノンスリップ、天井見切縁 視覚障害者誘導用シート、笠木:木製
	階段室 2 (一般)	—	鉄骨下地 モルタル金ゴテ	長尺塩ビシート t 2.0	珪藻土塗装	—	LGS	石膏ボード t 12.5下地 無機質クロス 区画壁下地 無機質クロス	LGS	石膏ボード t 9.5下地 ロックウール吸音板 t 9.0	塩ビ製	3,000 (2FLより)			階段手すり、段鼻:ノンスリップ、天井見切縁 視覚障害者誘導用シート、笠木:木製
	ELV (一般)	—					LGS	石膏ボード t 15(素地)	LGS						
	DW	—					LGS	石膏ボード t 15(素地) 区画壁(素地)	LGS						

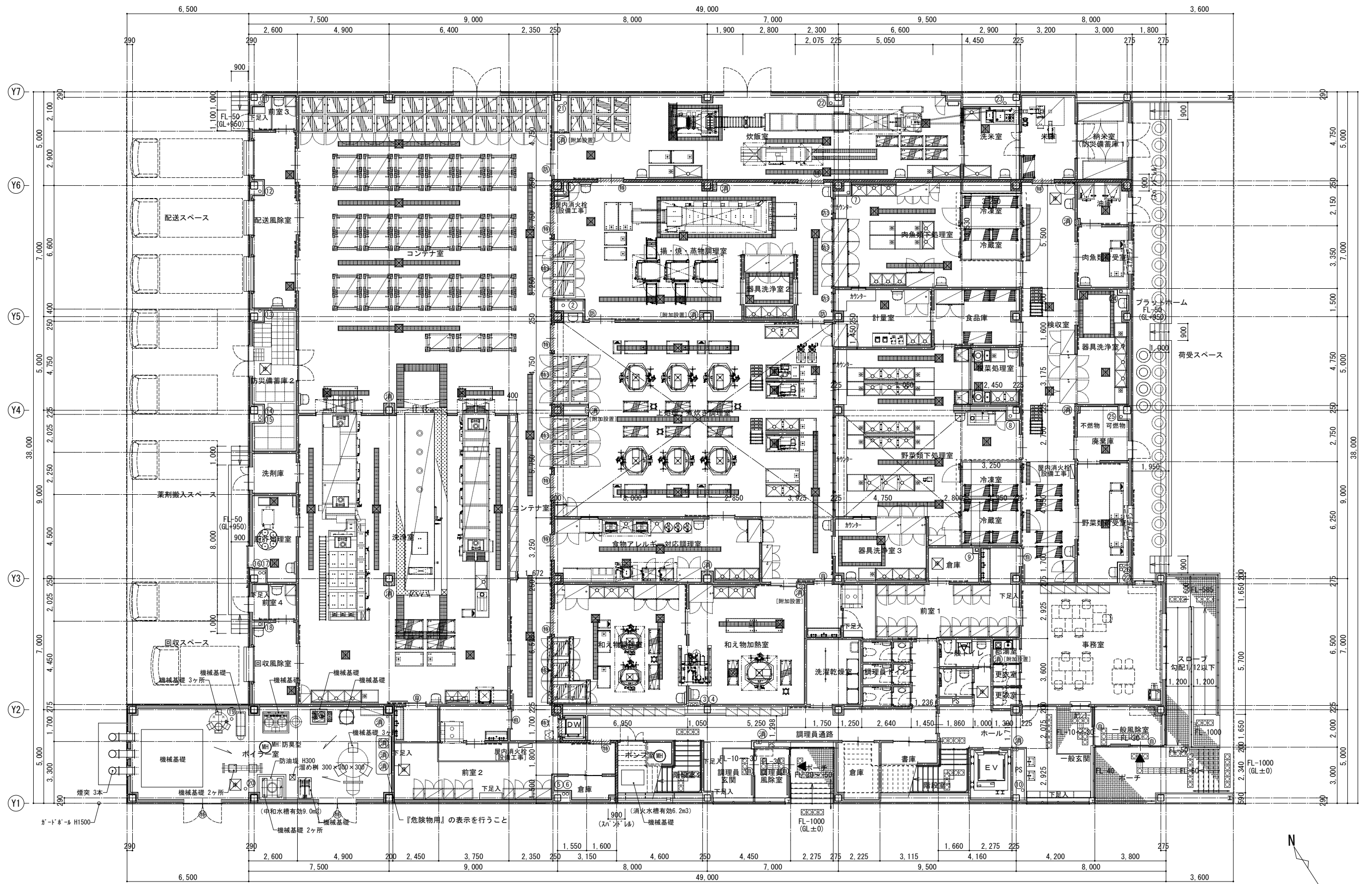


- ☒ : 人入口 (600φ) 両側上下に手足掛け (タラップ) 設置
- ≡≡≡ : 通気管VP100φ 通水管VP150φ/2
- : 床下通気管VP150φ SUS製ガリ 防虫網付 ※ 打継部分は止水板を設置する
- ☒ : 釜場 600×600×H600程度
- ☒ : 床下点検口 600×600 タラップ設置
- ⊗ : マンホール φ600 (防臭型) タラップ設置
- : 雨水配管SGPφ100・125 (掃除口を設ける) ビット内は防露巻き

床下ビット平面図 S=1/100



 <p>株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>	<p>一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 第22110183号</p>	<p>22-127S 2023年3月24日 設計部長 検図 担当 製図</p>	<p>(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図</p>	<p>図面種類 A</p>	<p>図面番号 007</p>
<p>図面名 床下ビット平面図</p>				<p>縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)</p>	

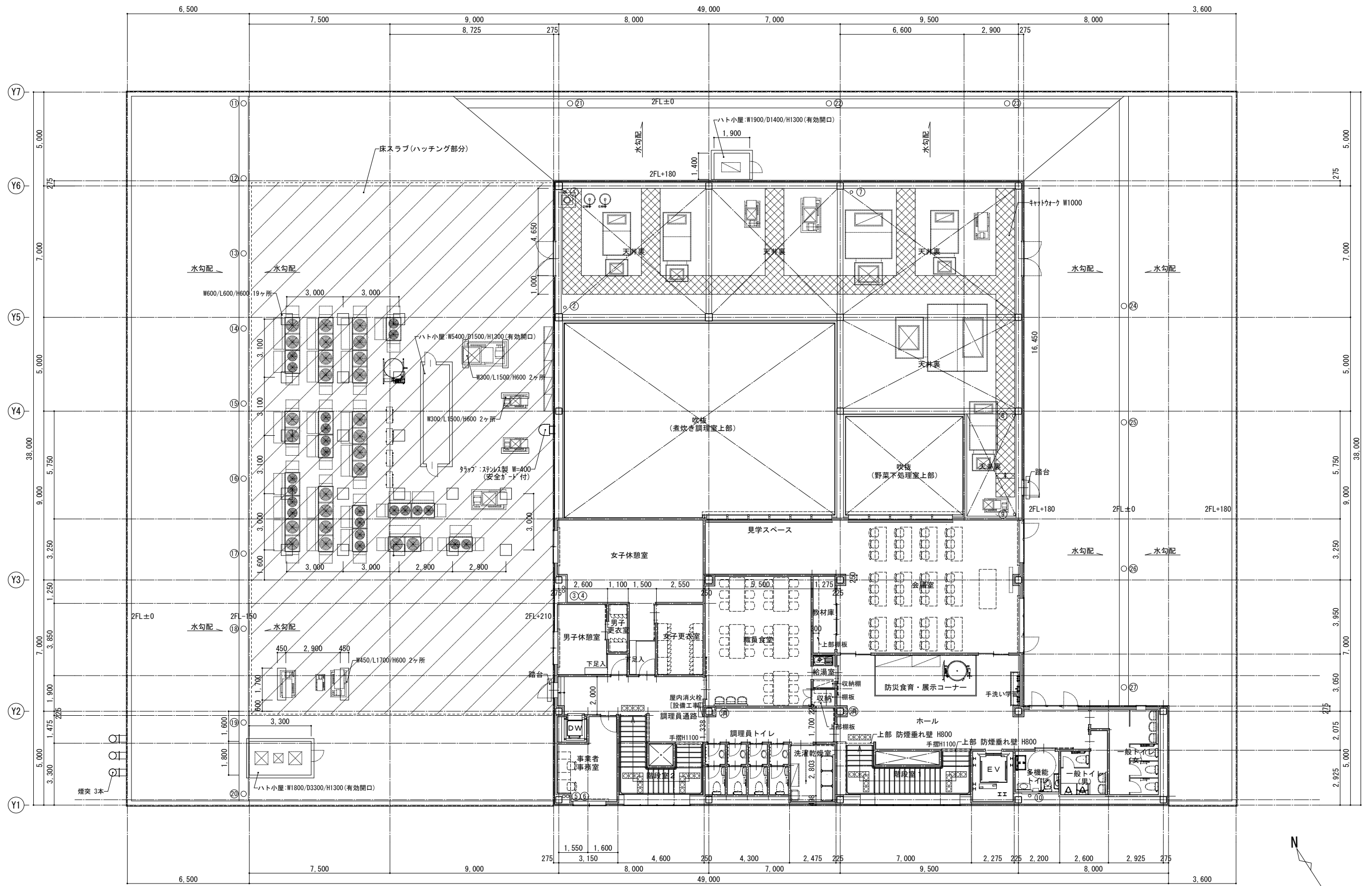


- : 防火区画 (建基令112条 1項 1.500m区画)
- ⊙: 消火器 (ABC 10型) (別途)
- ⊙: 消火器ボックス 12ヶ所
- ⊙: 消火器 (ABC 大型) (別途)
- ⊙: 種番号
- ⊙: 特定防火設備 (扉・シャッター)
- ⊙: 防火設備 (扉・シャッター)
- ⊙: 自動ドア

1階平面図 S=1/100

<p>株式会社 松下設計仙台支社</p> <p>宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8</p> <p>TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128</p> <p>管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>	<p>一級建築士事務所</p> <p>宮城県仙台市青葉区一番町1-8</p> <p>第22110183号</p>	<p>委託番号 22-127S</p> <p>設計部長 機園 担当 製園</p>	<p>日付 2023年3月24日</p>
---	--	--	----------------------

<p>図面名 1階平面図</p> <p>縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)</p>	<p>図面種類 A</p> <p>図面番号 008</p>
--	-------------------------------



- ▨: 防火区画 (建基令112条 1項 1.500㎡区画)
- : 消火器 (ABC 10型) ボックス 2ヶ所
- ⊗: 種番号

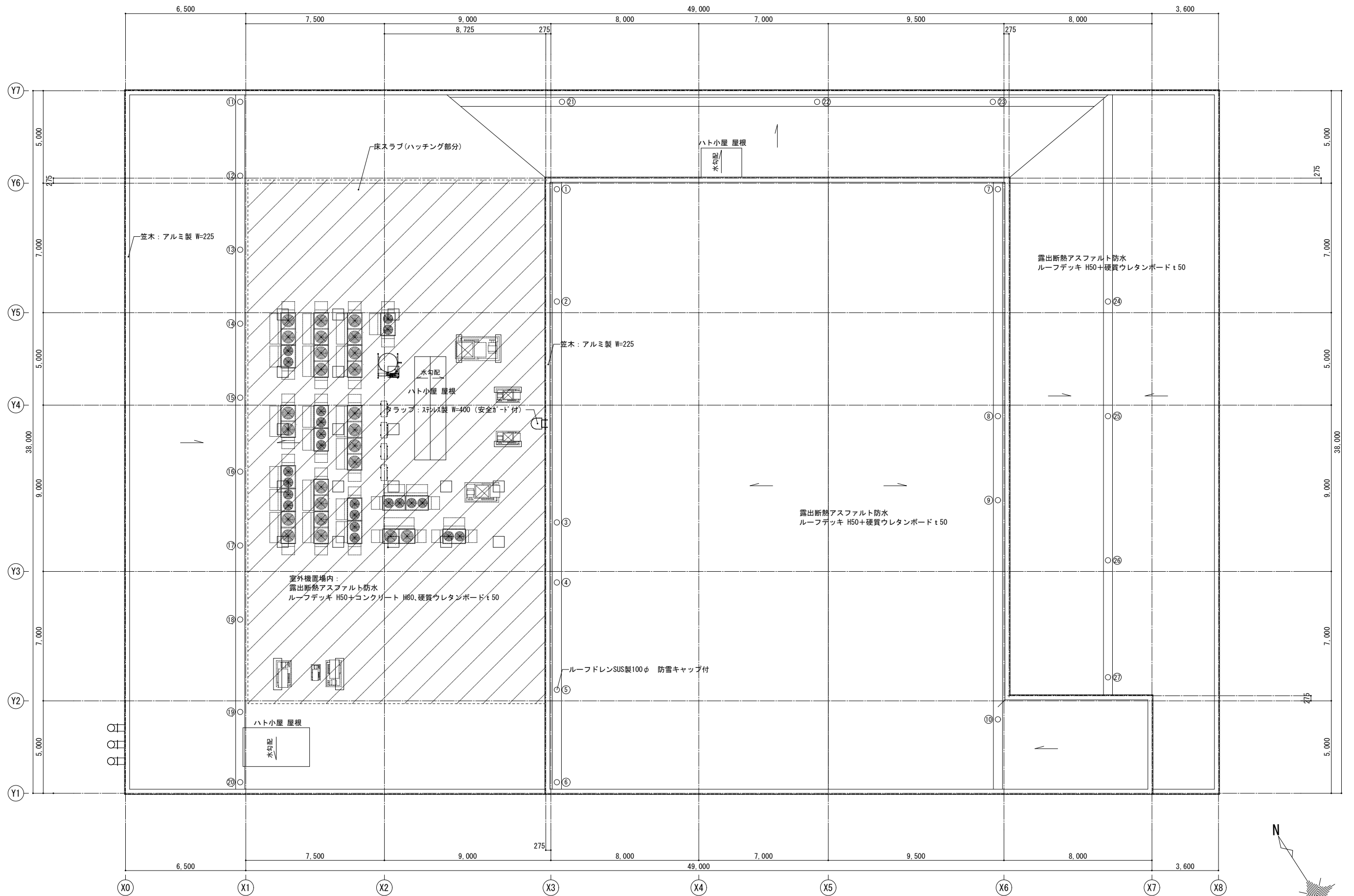
2階平面図 S=1/100

	株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)
--	---

一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 第22110183号 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)	22-127S 2023年3月24日 設計部長 橋岡 担当 製図
---	--

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名 2階平面図	図面種類 A
縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号 009



⊗: 柱番号

屋根伏図 S=1/100



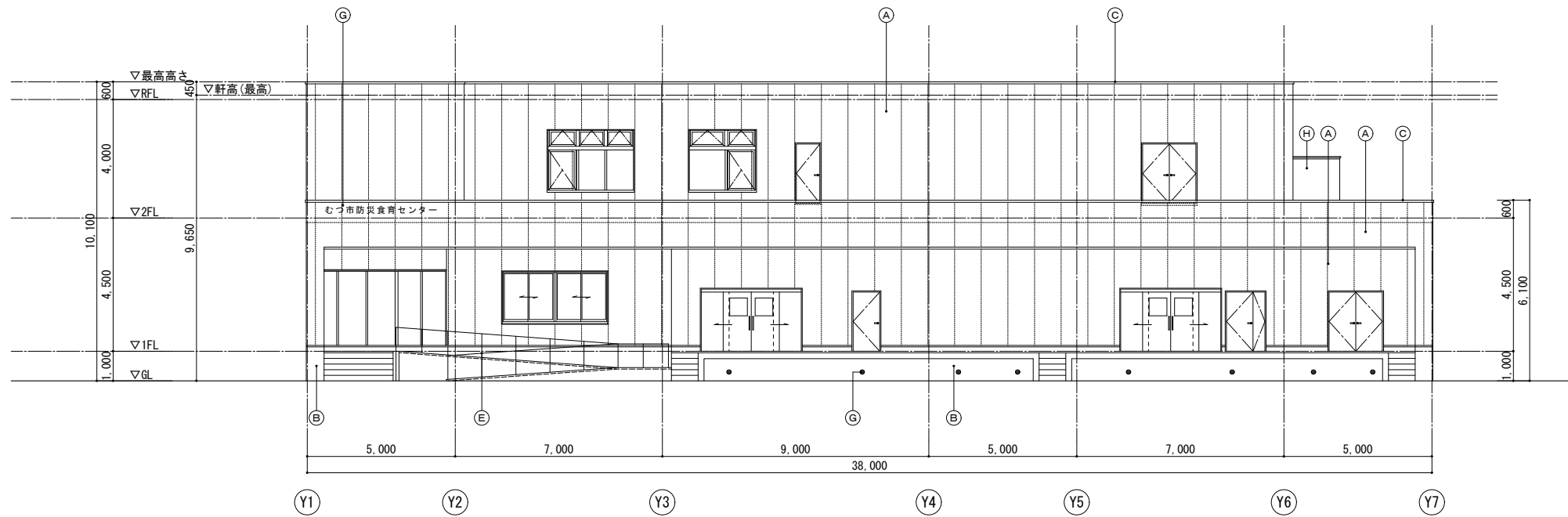
株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	検 閲	担 当	製 図

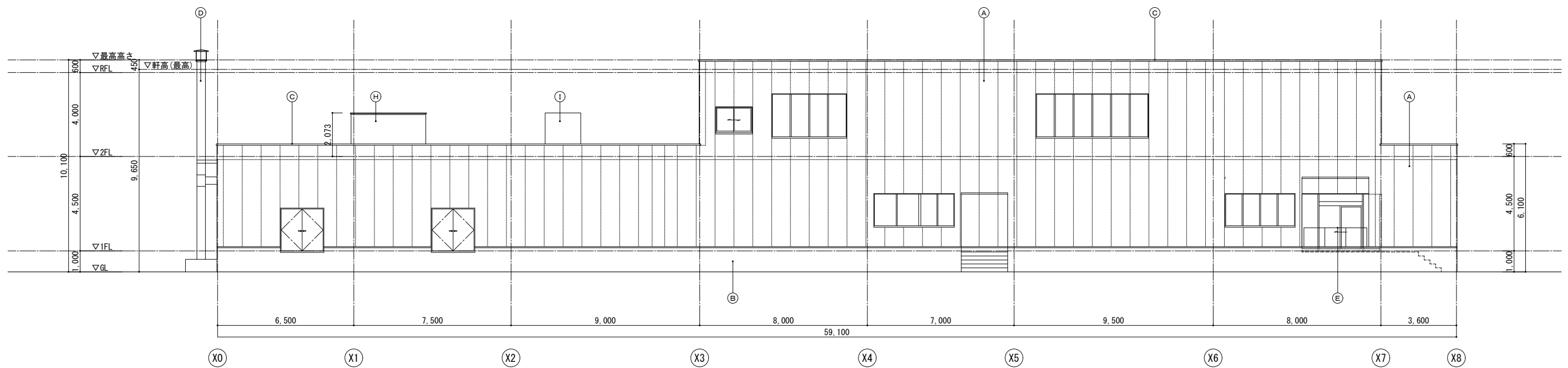
(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	屋根伏図	図面種別	A
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号	010

凡例		
Ⓐ	外壁	押出成形セメント板 t60 タテ張り 複層塗材E (シリコン)
Ⓑ	根廻り	コンクリート打放し 浸透性吸水防止剤塗
Ⓒ	笠木	アルミ製笠木
Ⓓ	煙突	SGPφ406.4 耐熱塗料
Ⓔ	手摺	SUS製
Ⓕ	タラップ	SUS製 背カゴ付
Ⓖ	床下通気口	VPφ150 SUS製ガラリ 防虫網付き (各スパン2ヶ所)
Ⓗ	ハト小屋	屋根・壁: カラーガルバリウム鋼板 t0.8
Ⓘ	ハト小屋	コンクリート打放し 浸透性吸水防止剤塗

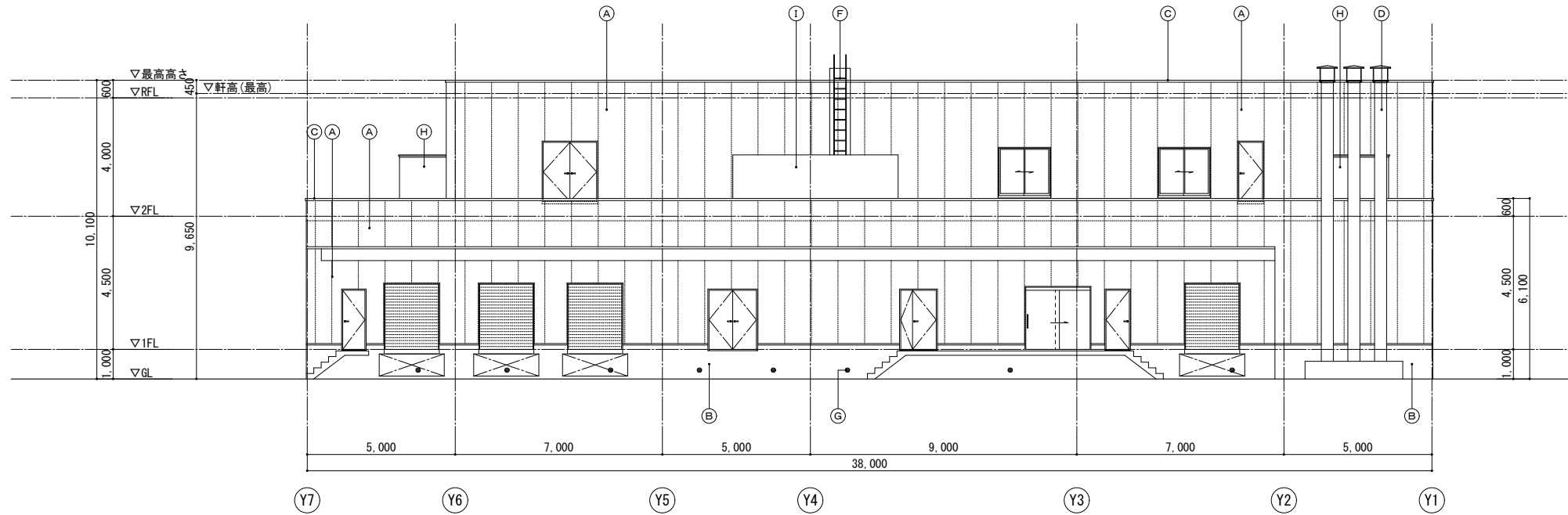


東立面図 S=1/100

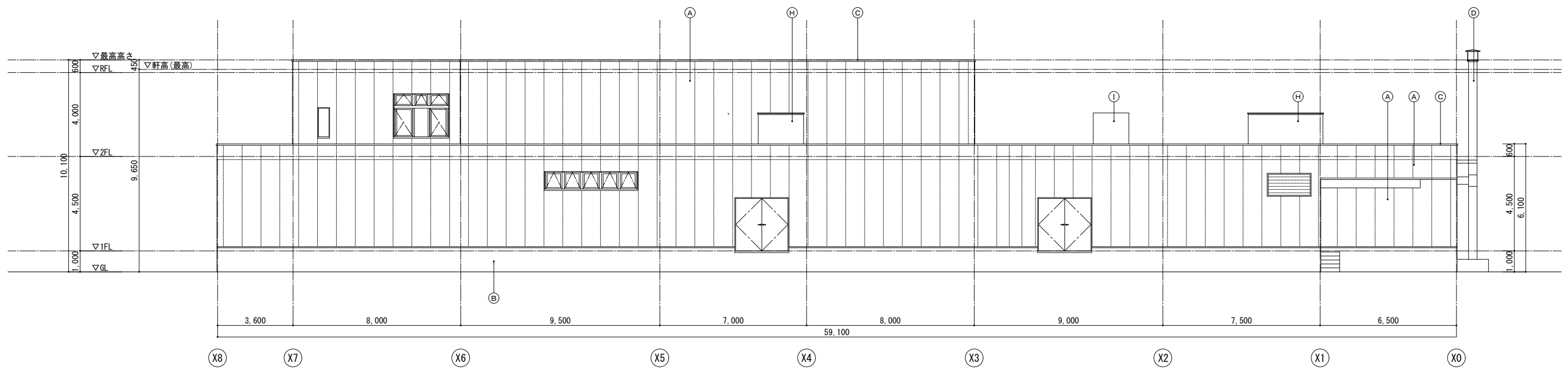


南立面図 S=1/100

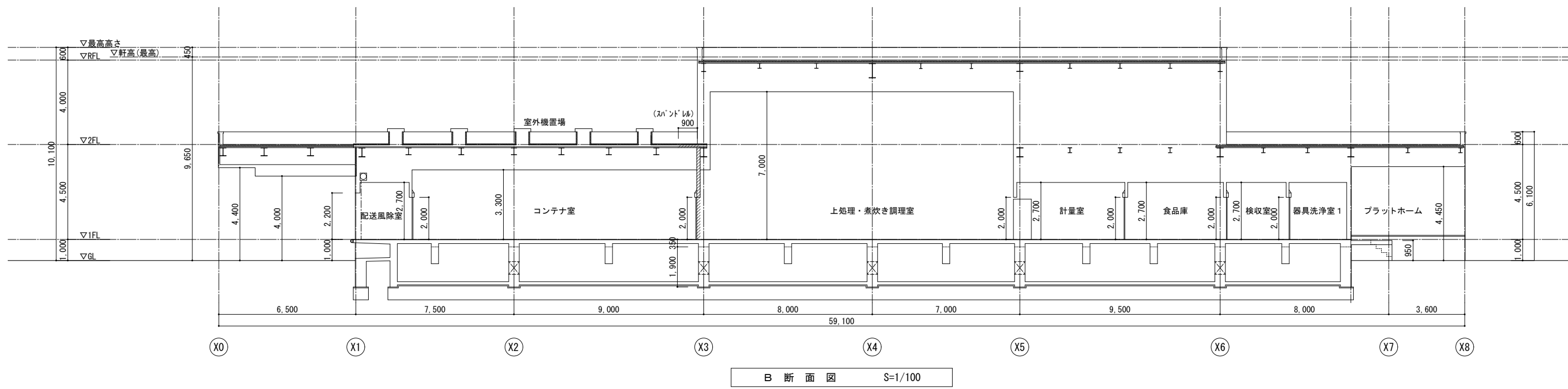
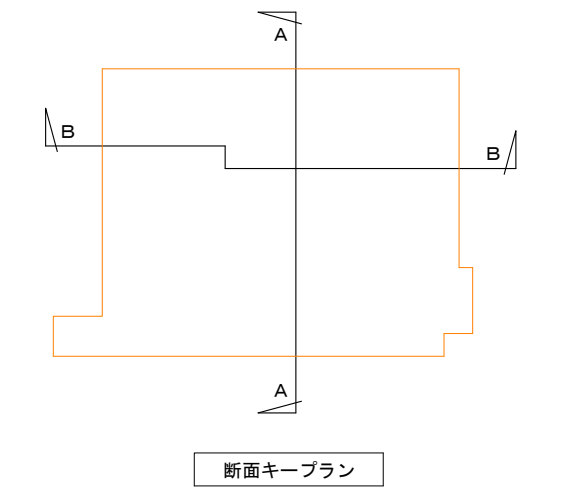
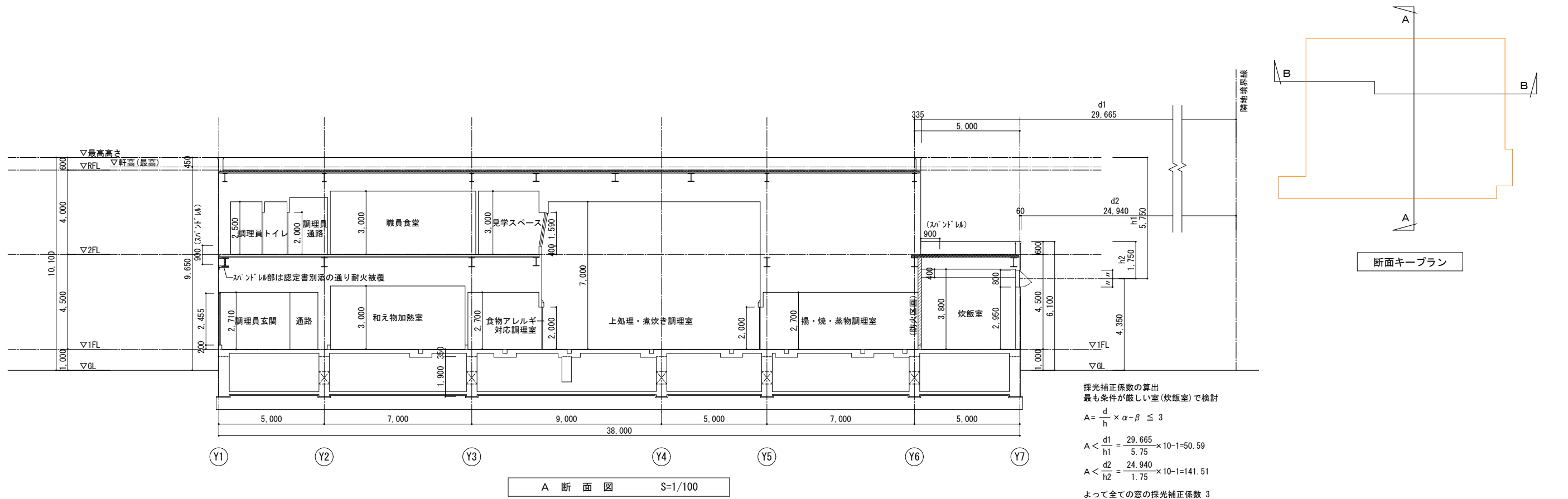
凡例		
Ⓐ	外壁	押出成形セメント板 t60 タテ張り 複層塗材E (シリコン)
Ⓑ	根廻り	コンクリート打放し 浸透性吸水防止剤塗
Ⓒ	笠木	アルミ製笠木
Ⓓ	煙突	SGPφ406.4 耐熱塗料
Ⓔ	手摺	SUS製
Ⓕ	タラップ	SUS製 背カゴ付
Ⓖ	床下通気口	VPφ150 SUS製ガラリ 防虫網付き (各スパン2ヶ所)
Ⓗ	ハト小屋	屋根・壁: カラーガルバリウム鋼板 t0.8
Ⓘ	ハト小屋	コンクリート打放し 浸透性吸水防止剤塗

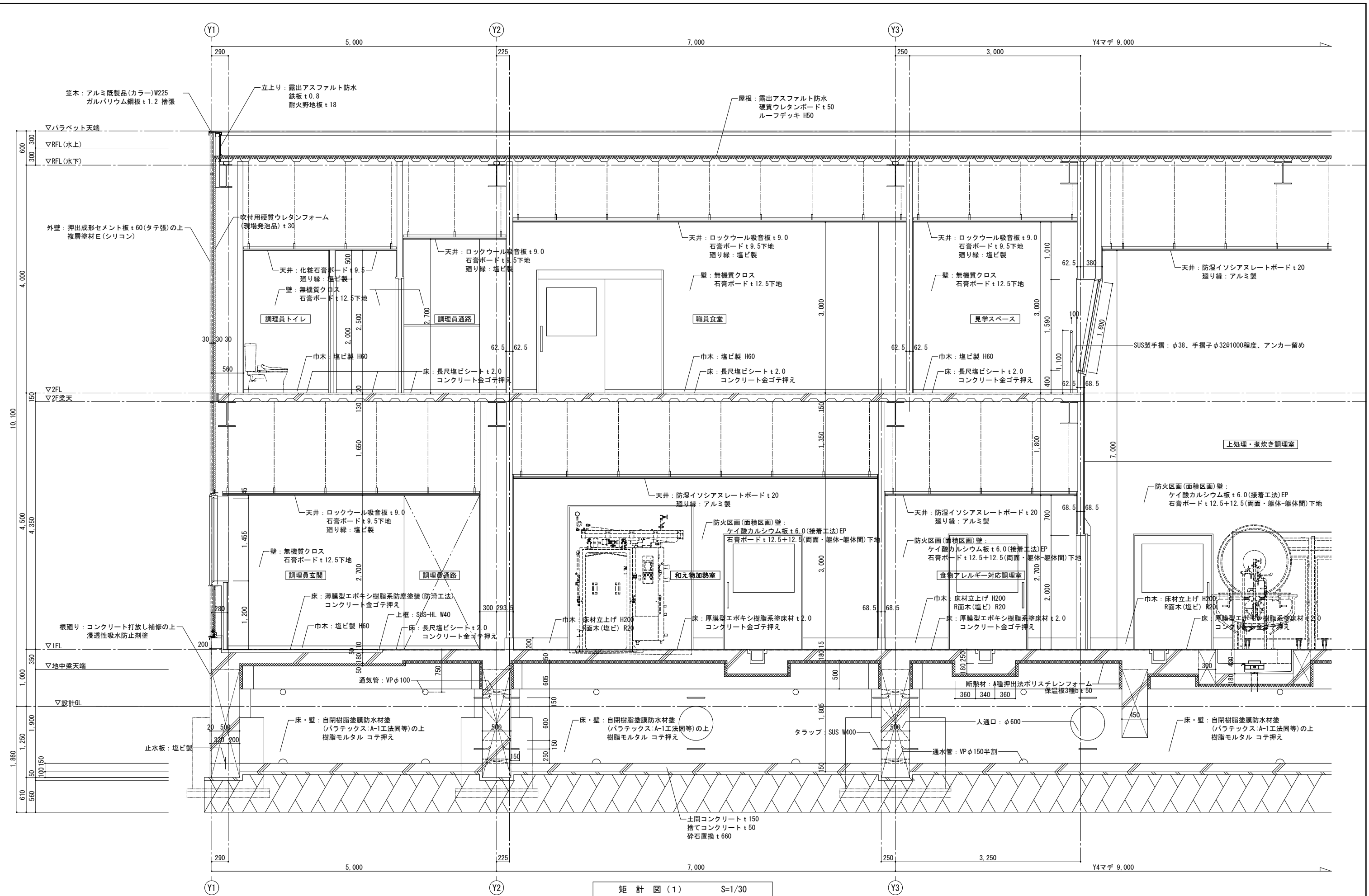


西立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100





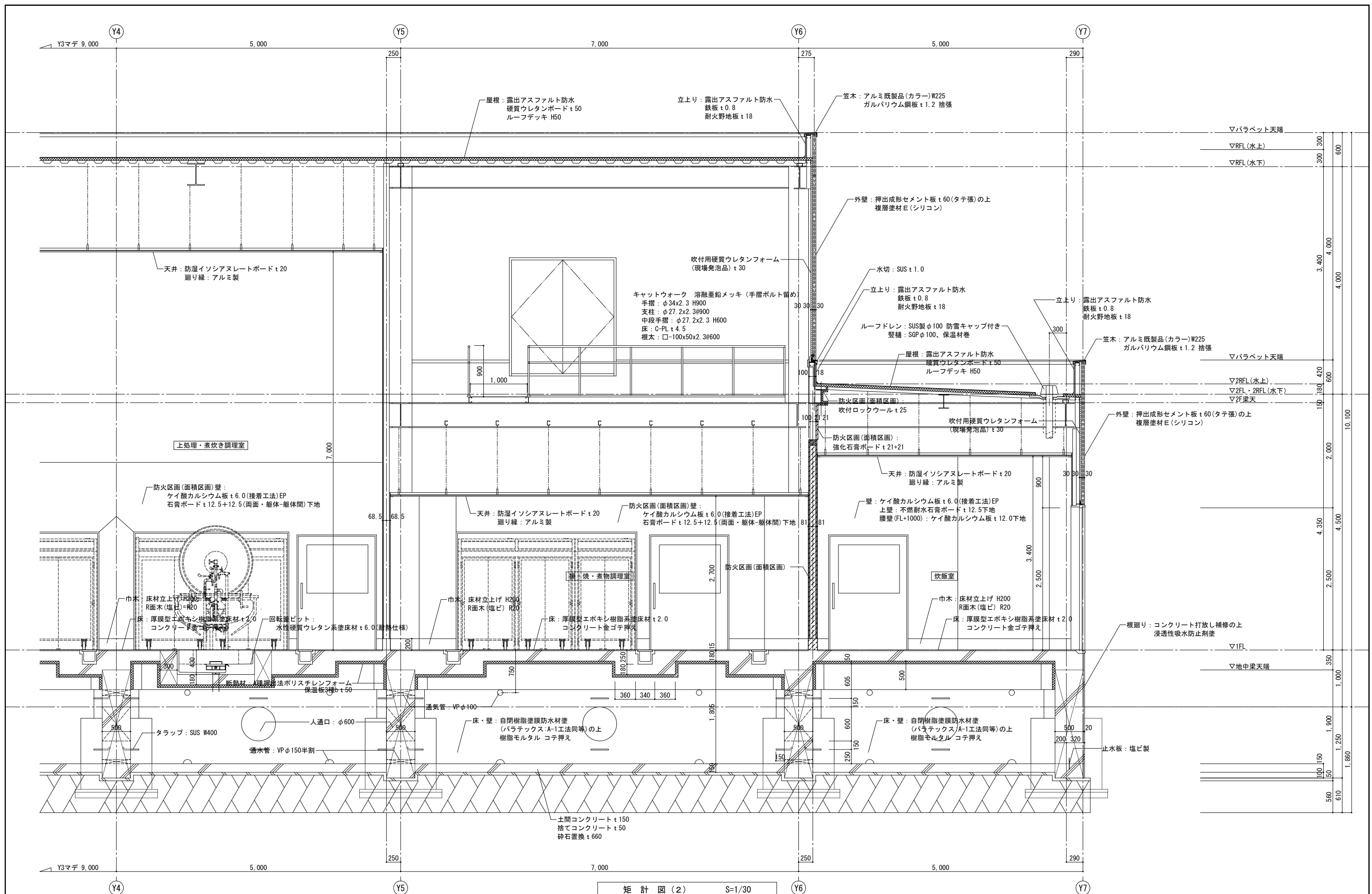
矩計図(1) S=1/30

図面名	矩計図(1)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

22-127S 2023年3月24日
 設計部長 検 模 担 製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図	
図面名	矩計図(1)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)
図面番号	014



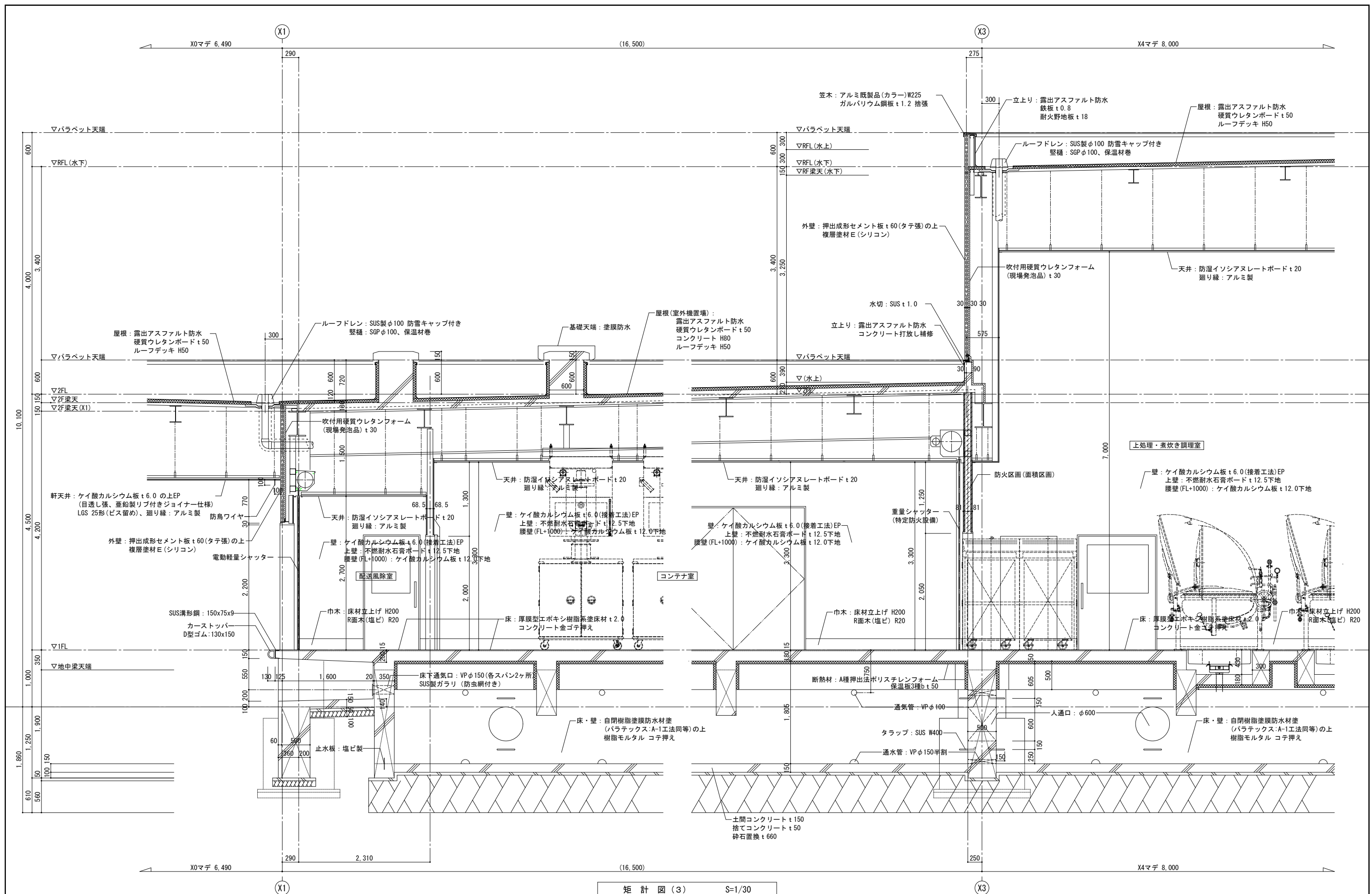
図面名	矩計図(2)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S 日付 2023年3月24日
 設計部長 機園 担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	矩計図(2)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)
図面番号	015



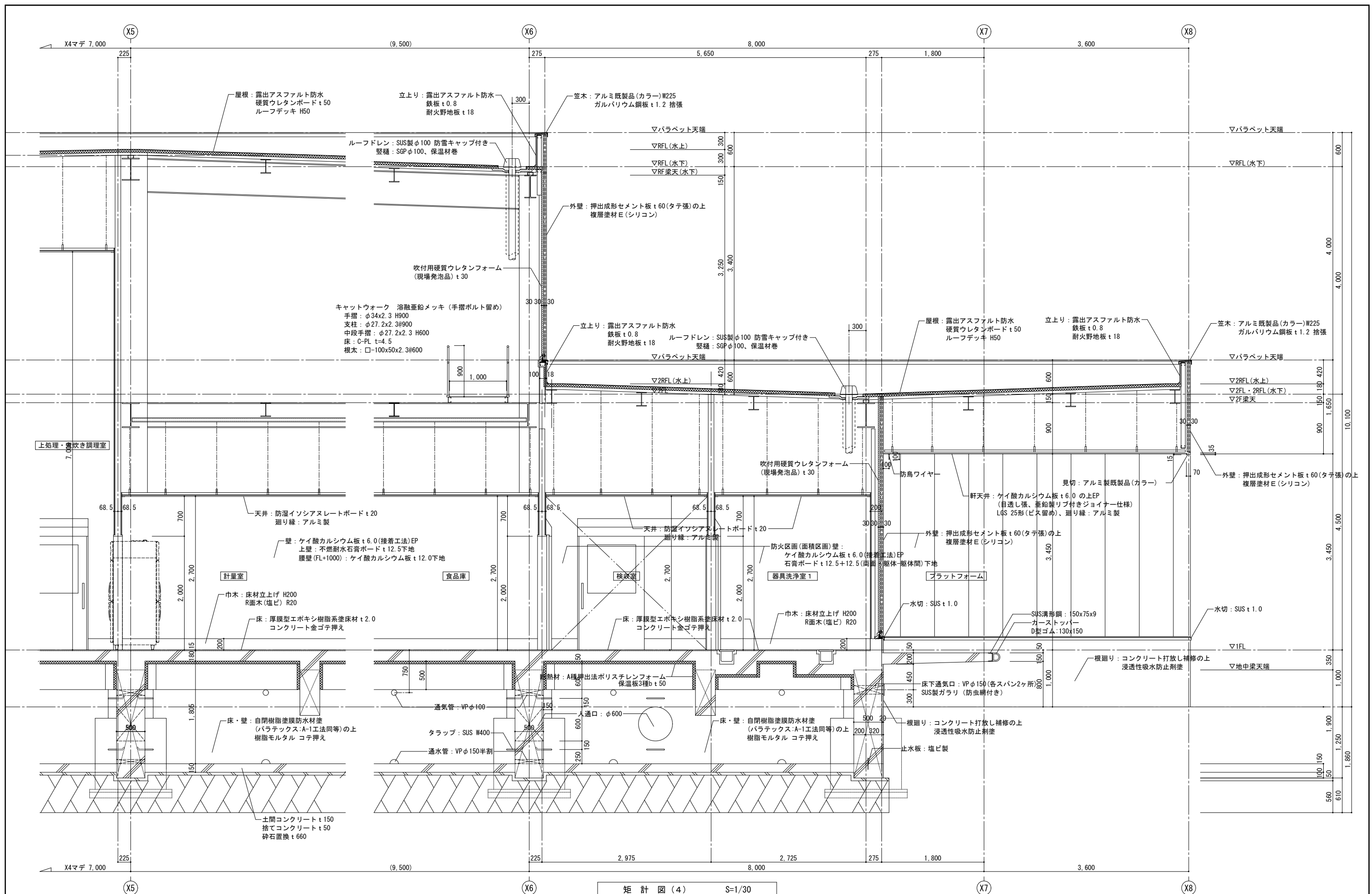
矩計図(3) S=1/30

図名	矩計図(3)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)


図名 矩計図(3)
 図面種類 A
 図面番号
 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小)

図名	矩計図(3)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)



矩計図 (4) S=1/30

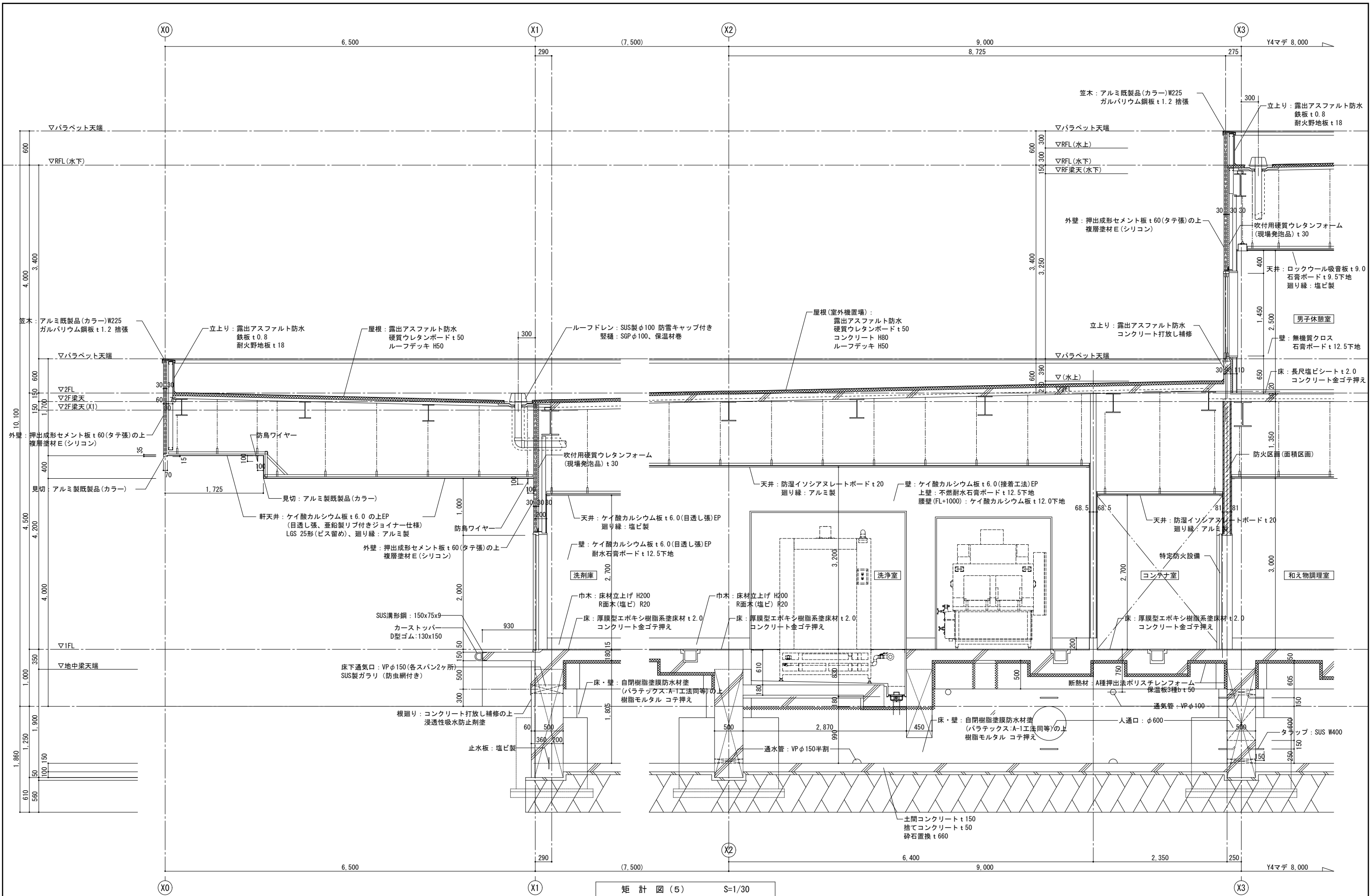
図面名	矩計図 (4)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018 (代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号	22-127S
日付	2023年3月24日
設計部長	機園
担当	製園


(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	矩計図 (4)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)
図面番号	017



矩計図(5) S=1/30

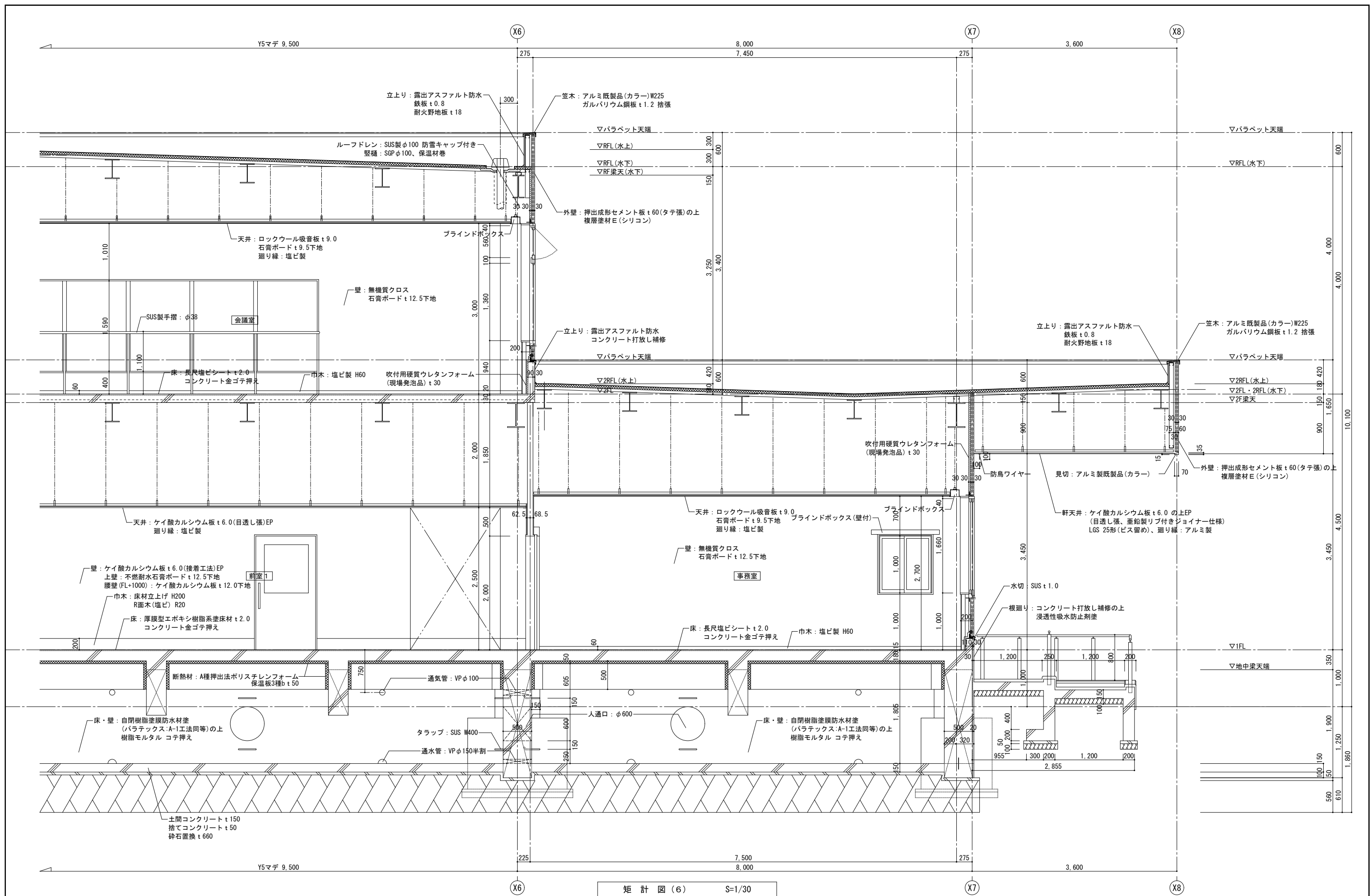
図名	矩計図(5)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	松岡	担当	松岡
製図			


(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 縮尺 S=1:30 (A3版 50%縮小)

図面番号	018
------	-----



矩計図(6) S=1/30

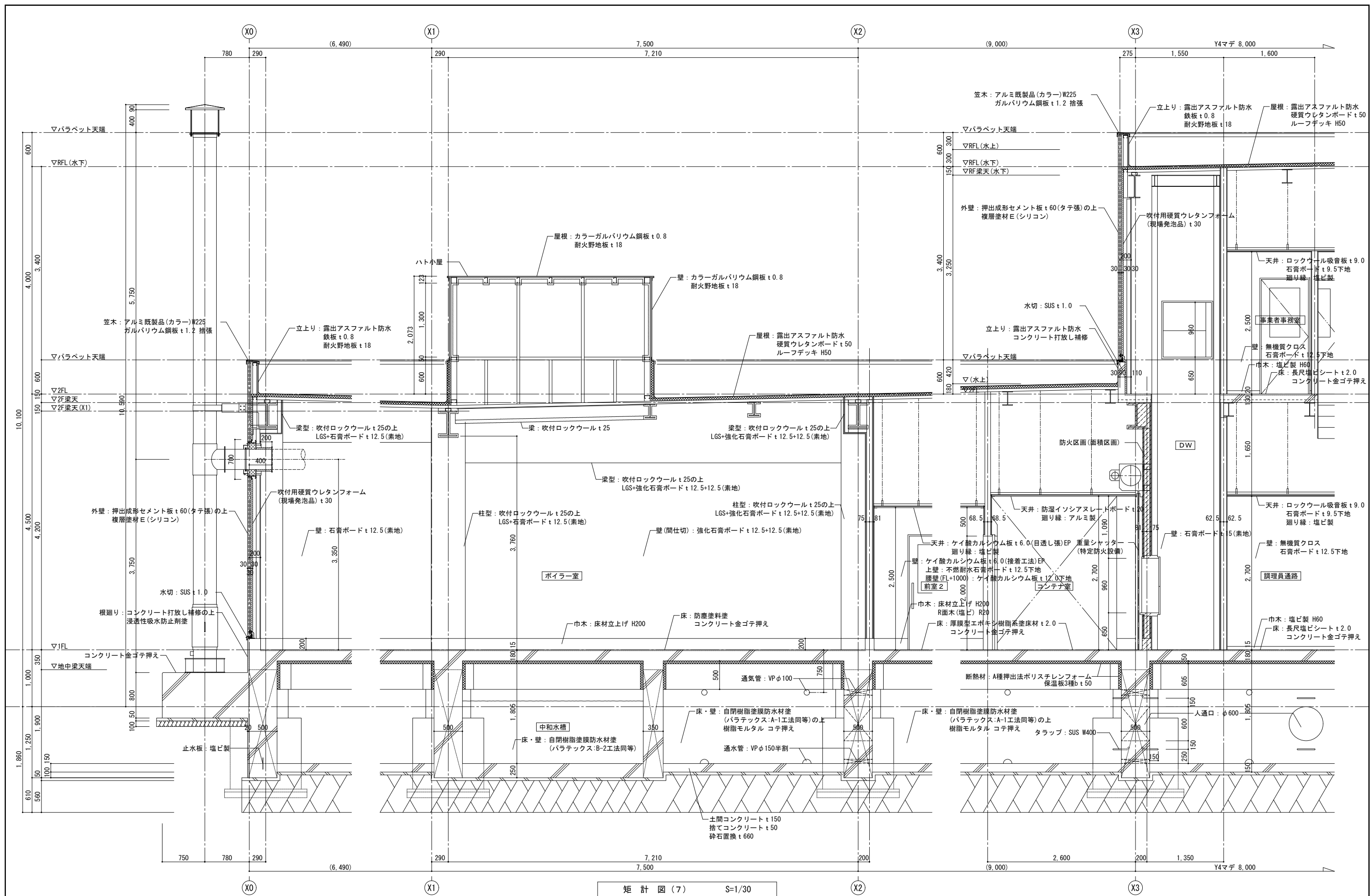
図面名	矩計図(6)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号	22-127S
日付	2023年3月24日
設計部長	松岡
検図	
担当	
製図	

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 縮尺 S=1:30 (A3版 50%縮小)

図面名	矩計図(6)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)
図面番号	019



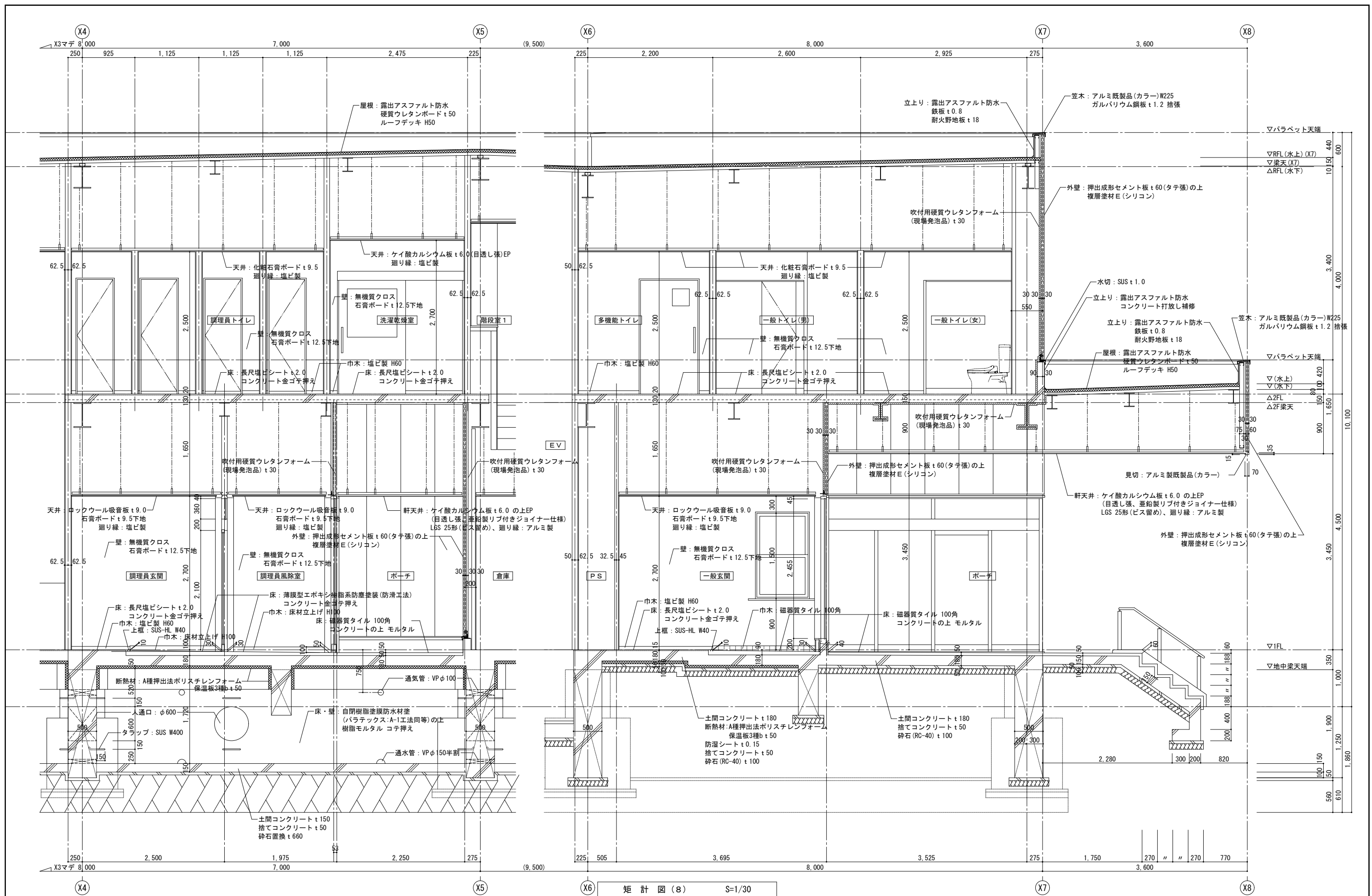
矩計図(7) S=1/30

	株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)
--	---

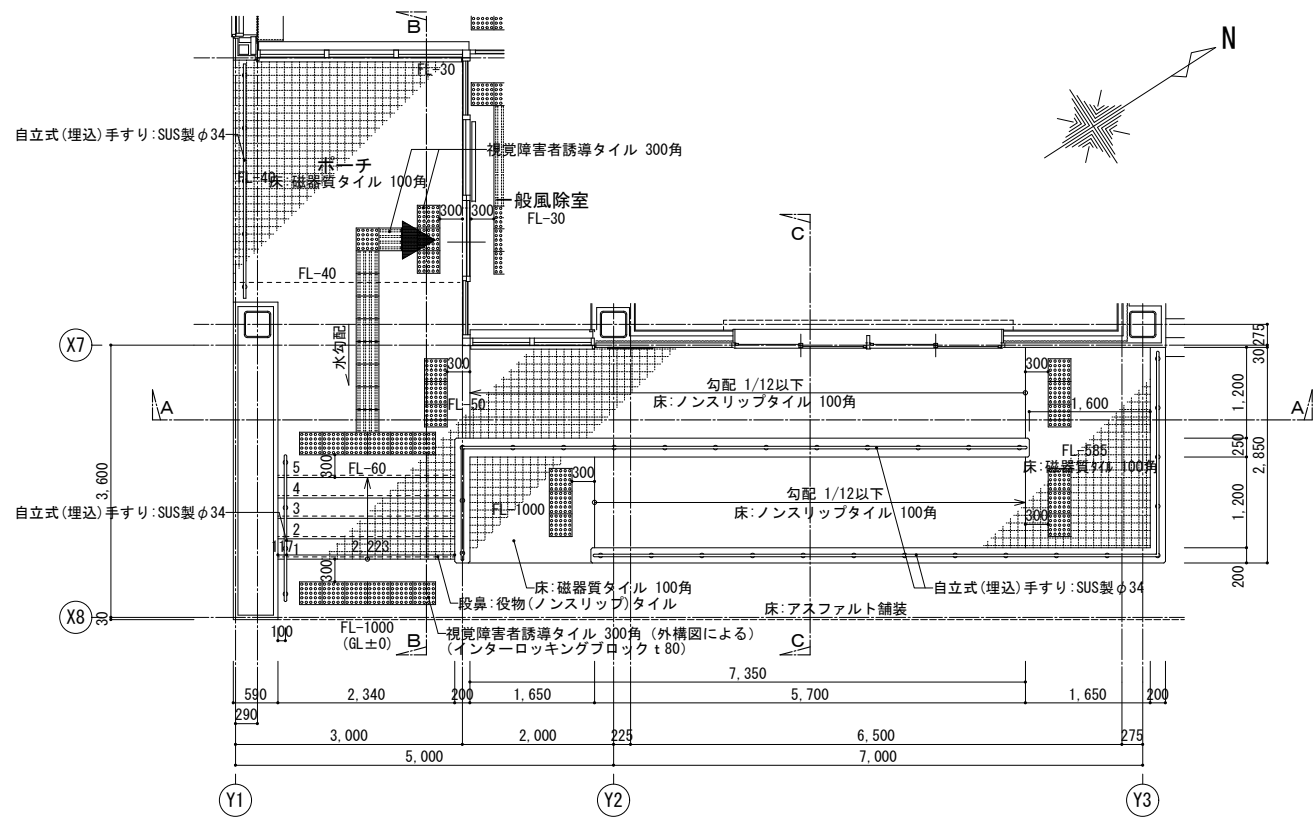
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22110183号	22-127S 設計部長 機園 担当 製図	2023年3月24日
-----------------------------------	--------------------------	------------

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)		図面名 矩計図(7)
設計図		図面種類 A
縮尺 S=1:30 (A3版 50%縮小)		図面番号 020

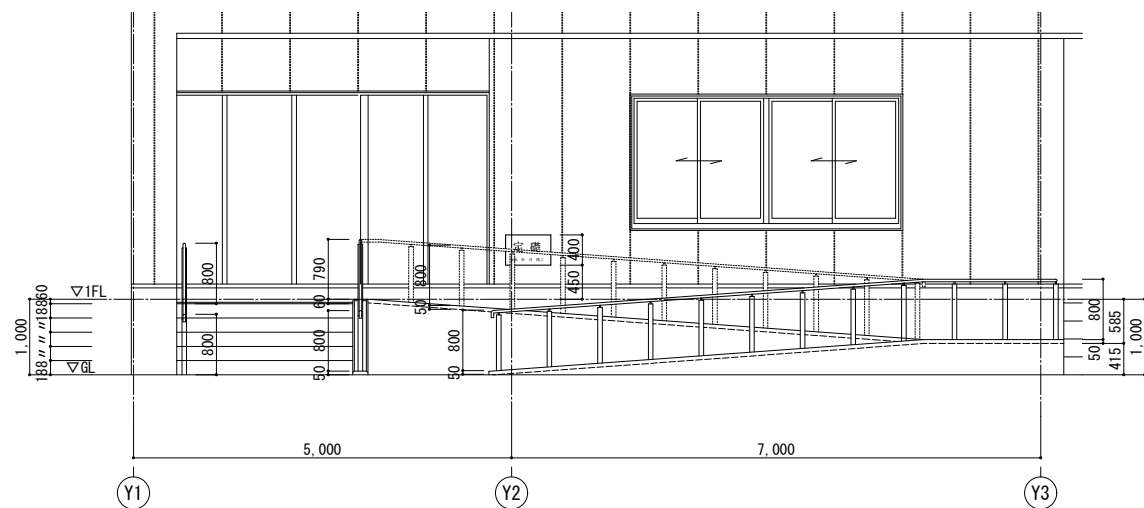
縮尺 S=1:30 (A3版 50%縮小)	図面番号 020
--------------------------	-------------



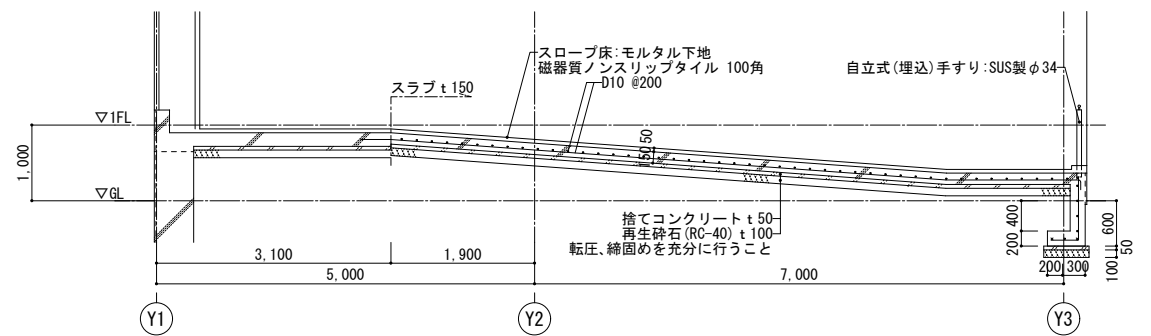
矩計図(8) S=1/30



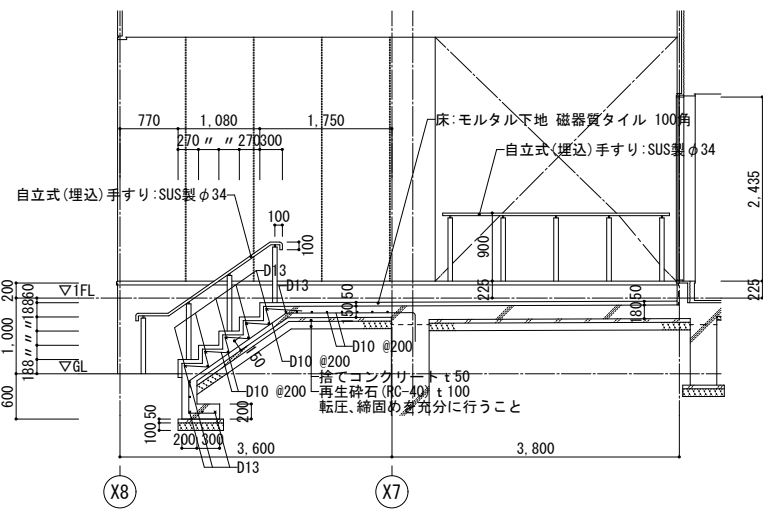
玄関ポーチ平面詳細図 S=1/50



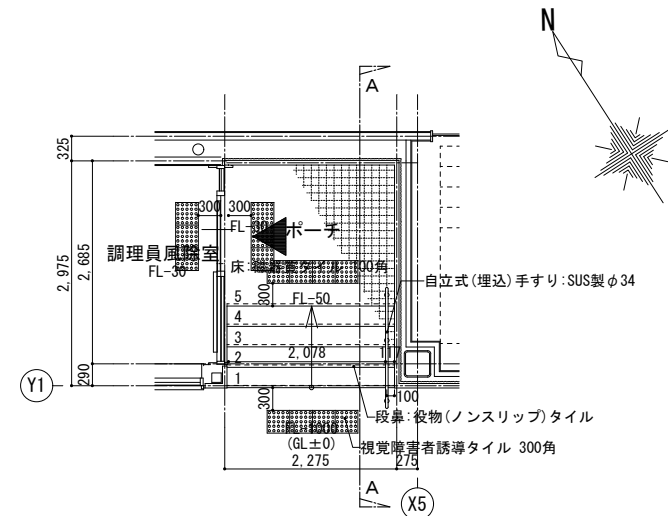
東立面詳細図 S=1/50



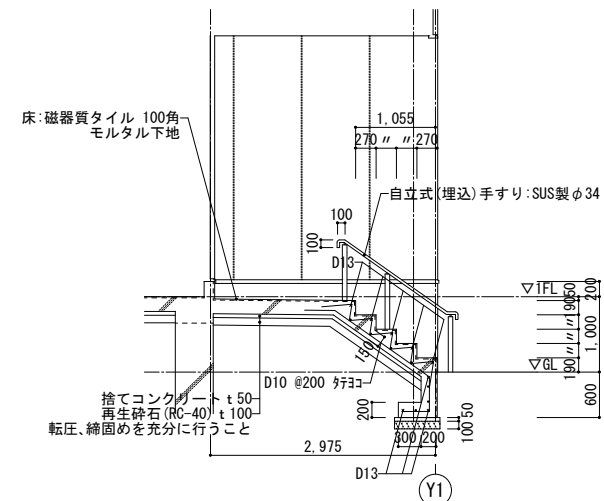
A-A 断面詳細図 S=1/50



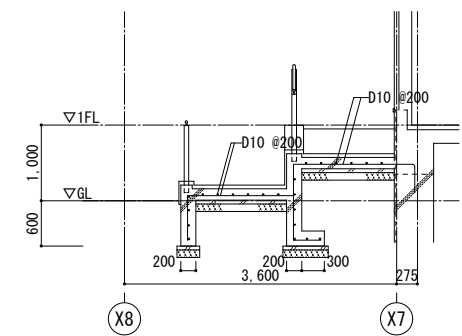
B-B 断面詳細図 S=1/50



調理員ポーチ平面詳細図 S=1/50




A-A 断面詳細図 S=1/50



C-C 断面詳細図 S=1/50

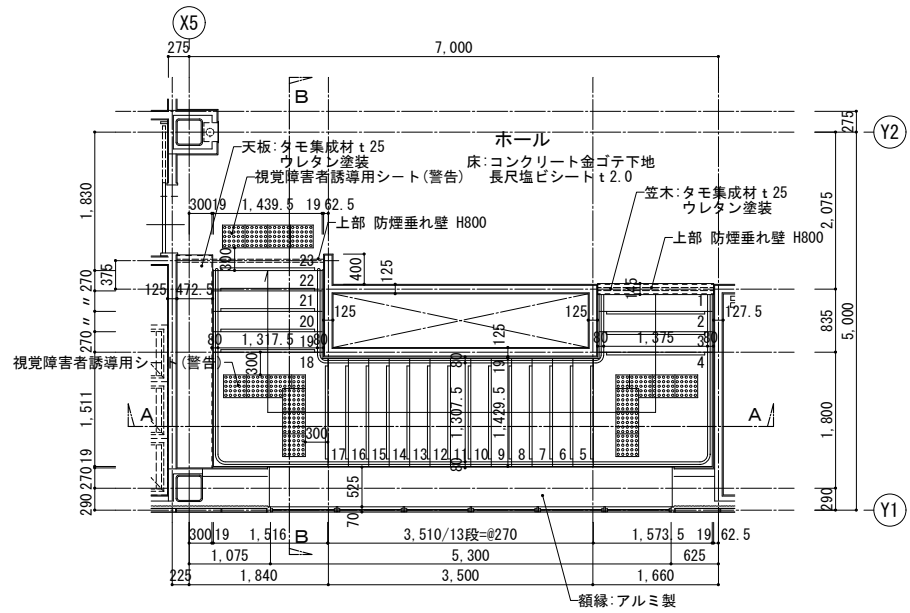
図面名	玄関ポーチ詳細図
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

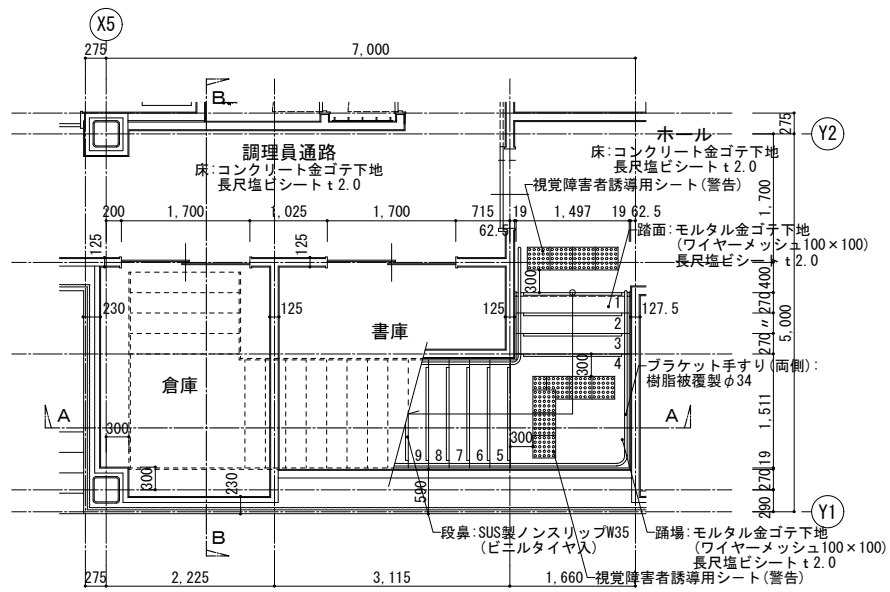
委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	機 関	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名 玄関ポーチ詳細図

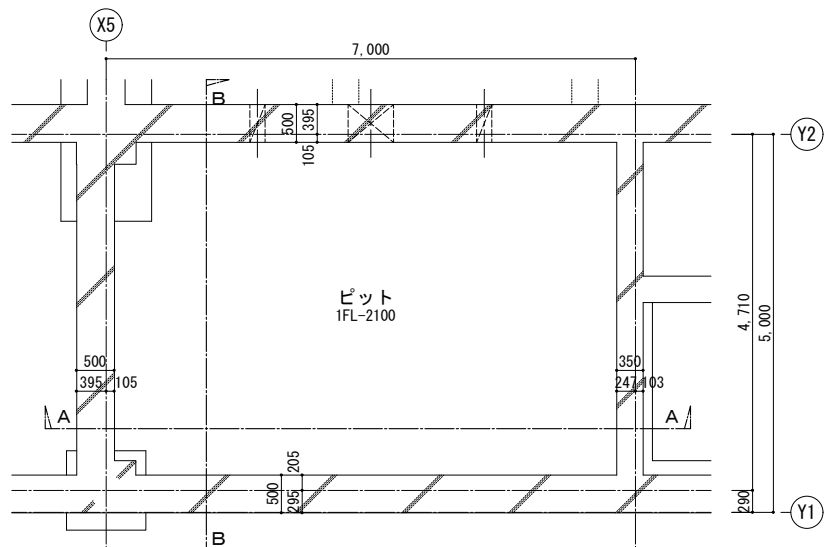
図面名	玄関ポーチ詳細図	図面種類	A
図面番号		図面番号	
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	022



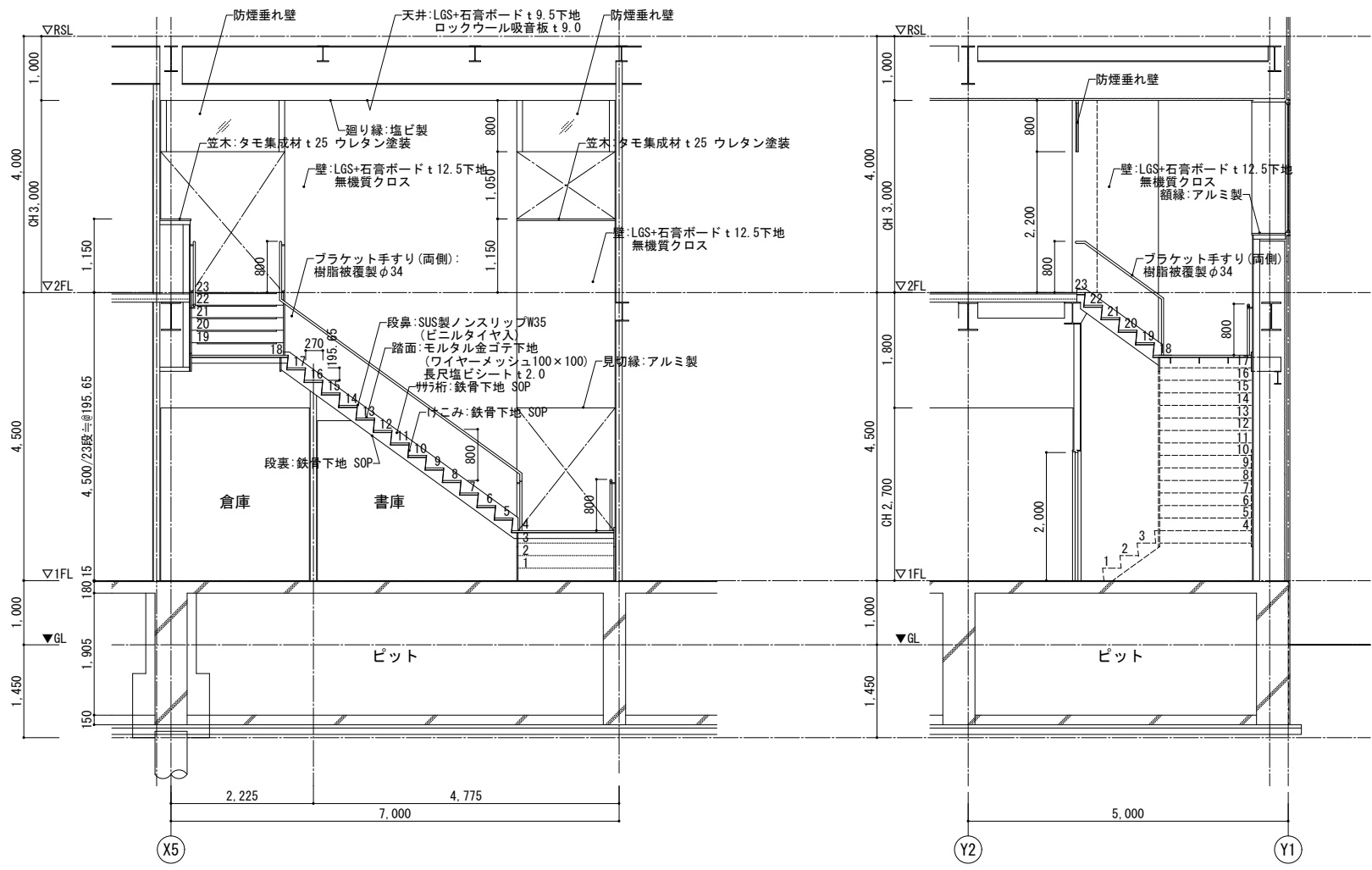
2階平面詳細図 S=1/50



1階平面詳細図 S=1/50

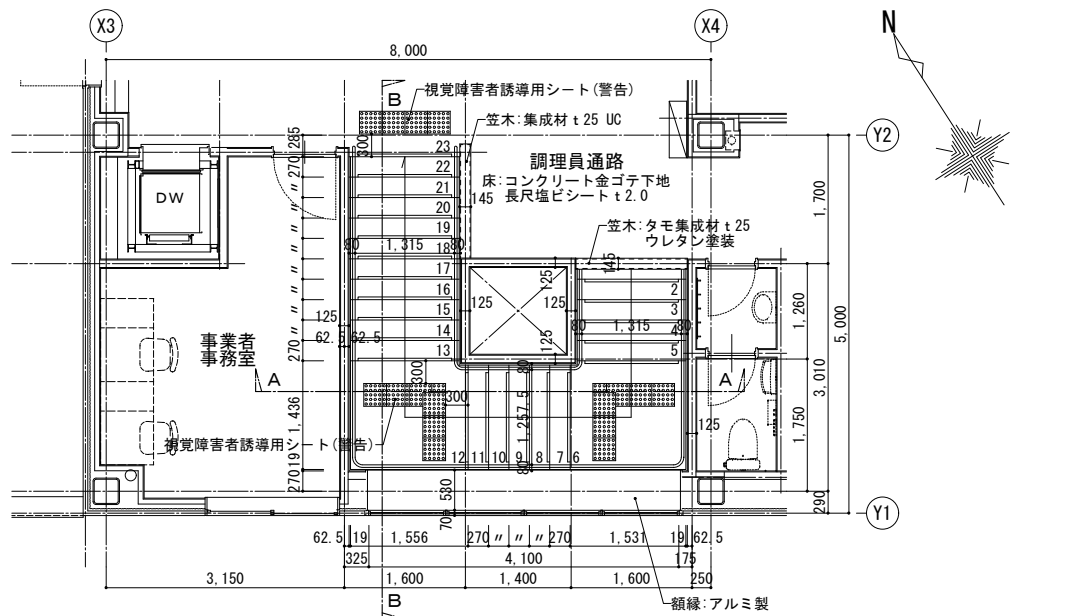


床下ピット平面詳細図 S=1/50

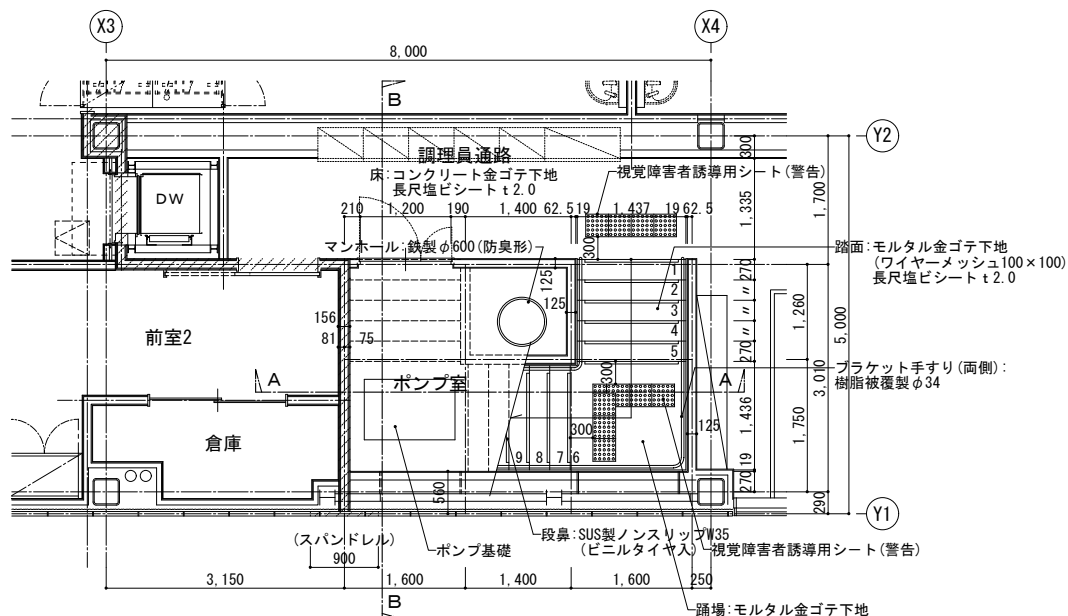


A-A断面詳細図 S=1/50

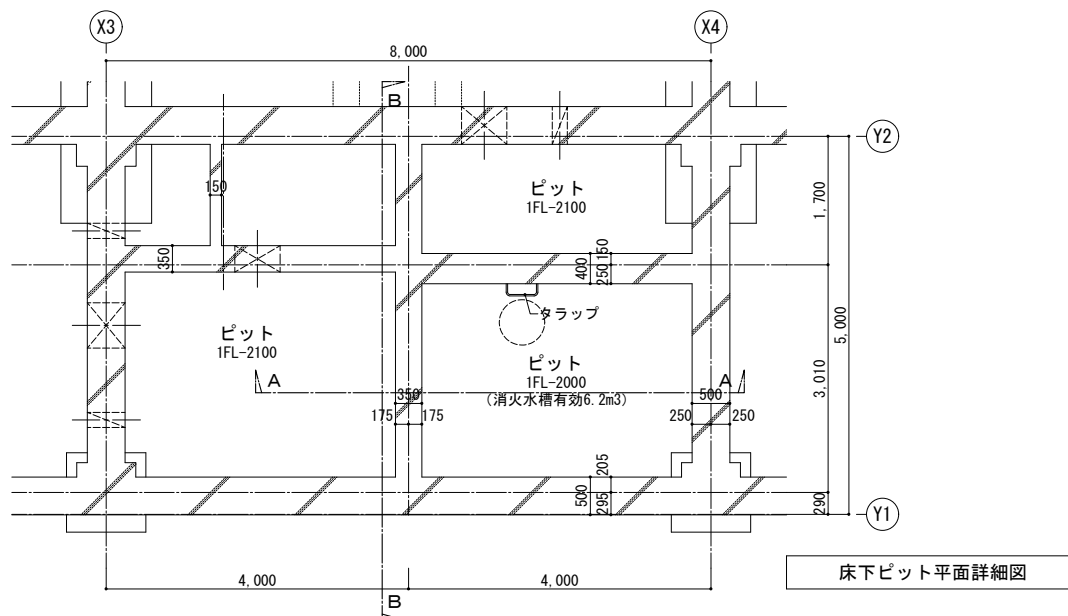
B-B断面詳細図 S=1/50



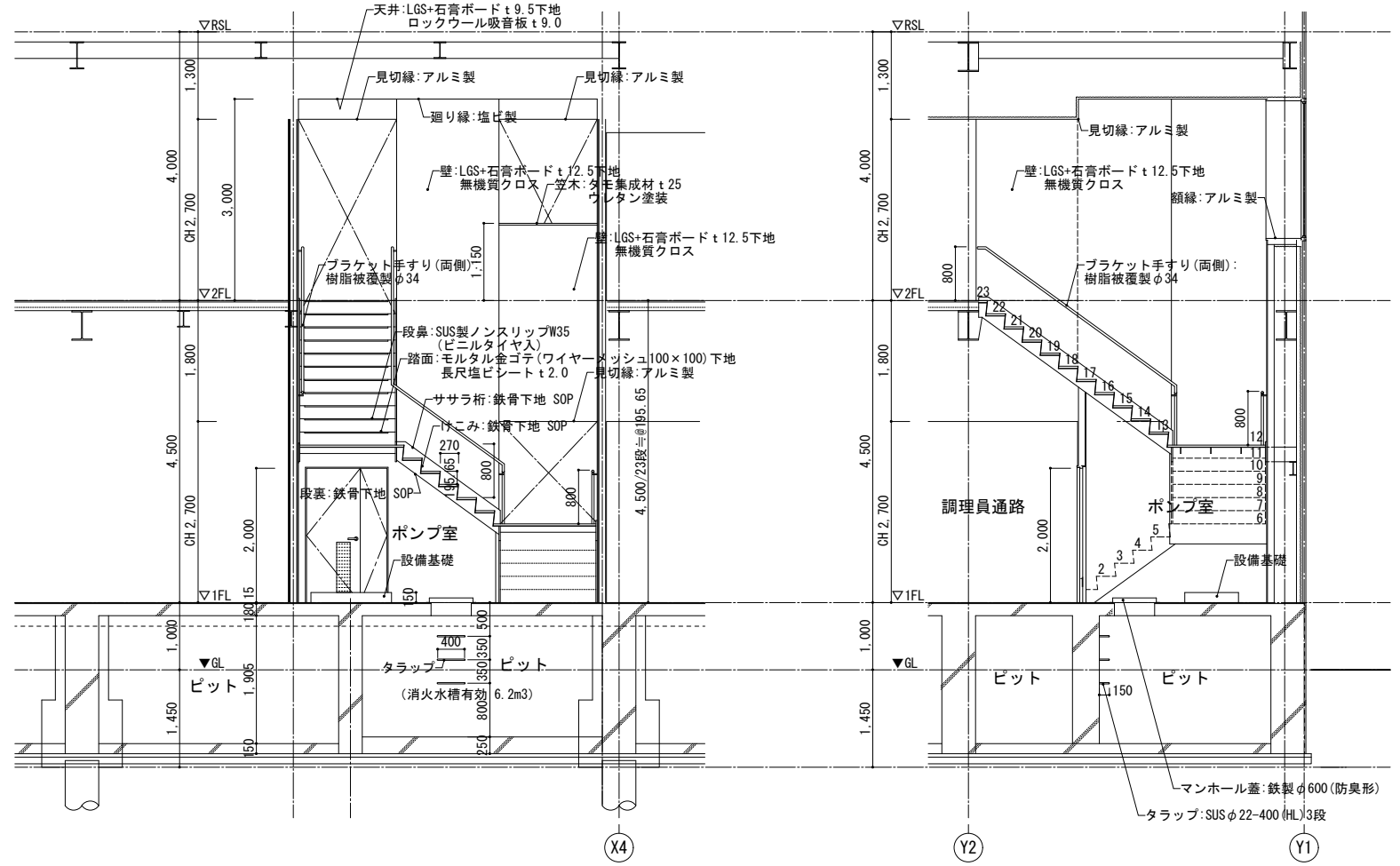
2階平面詳細図 S=1/50



1階平面詳細図 S=1/50



床下ピット平面詳細図 S=1/50



A-A断面詳細図 S=1/50

B-B断面詳細図 S=1/50

防火区画(建基令112条 1項 1,500㎡区画)



株式会社 松下設計仙台支社
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S
 設計部長 松岡 慎
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 第22110183号

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事)

設計図

図面名 階段室2詳細図

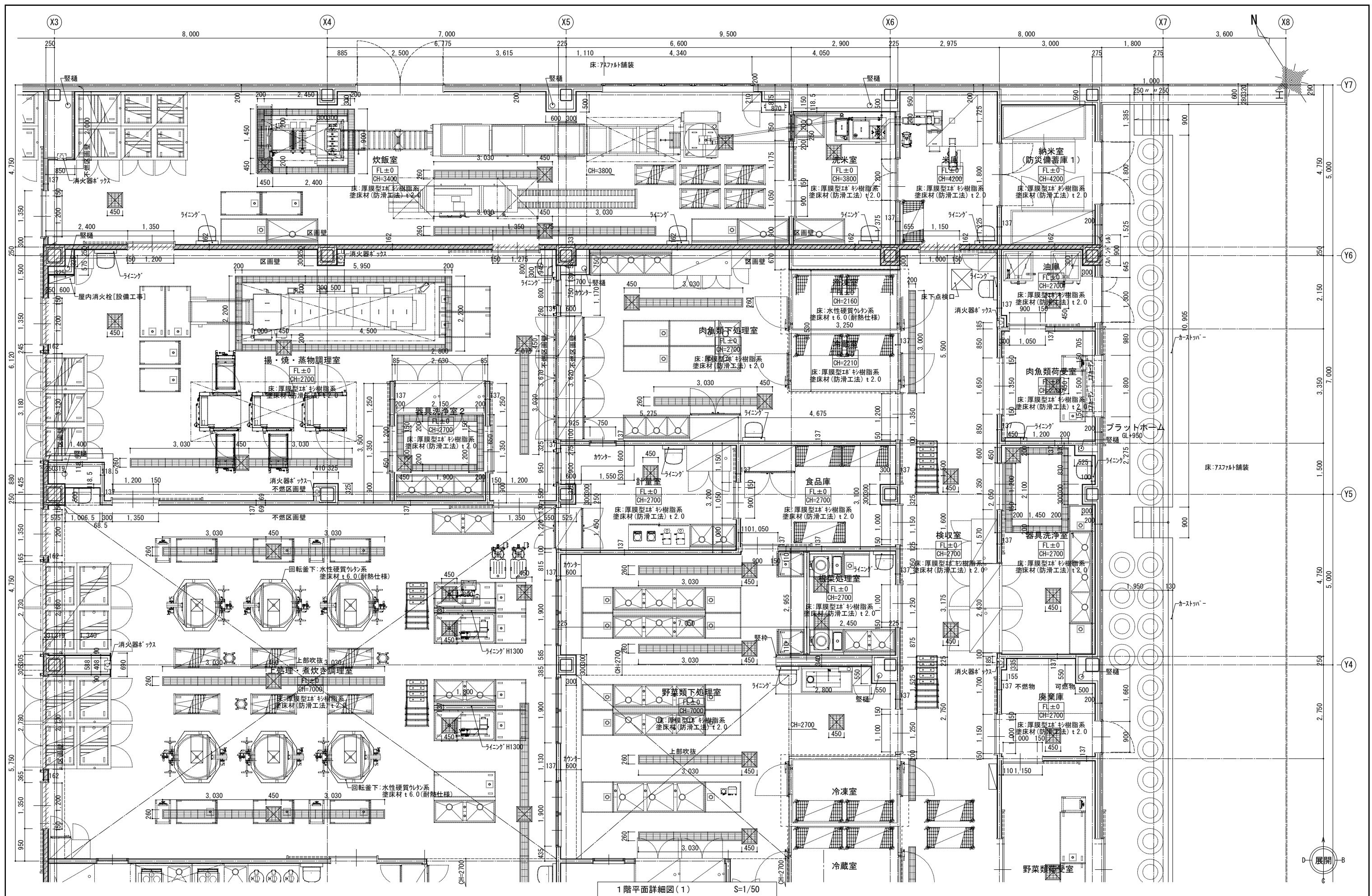
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)

図面種類

A

図面番号

024



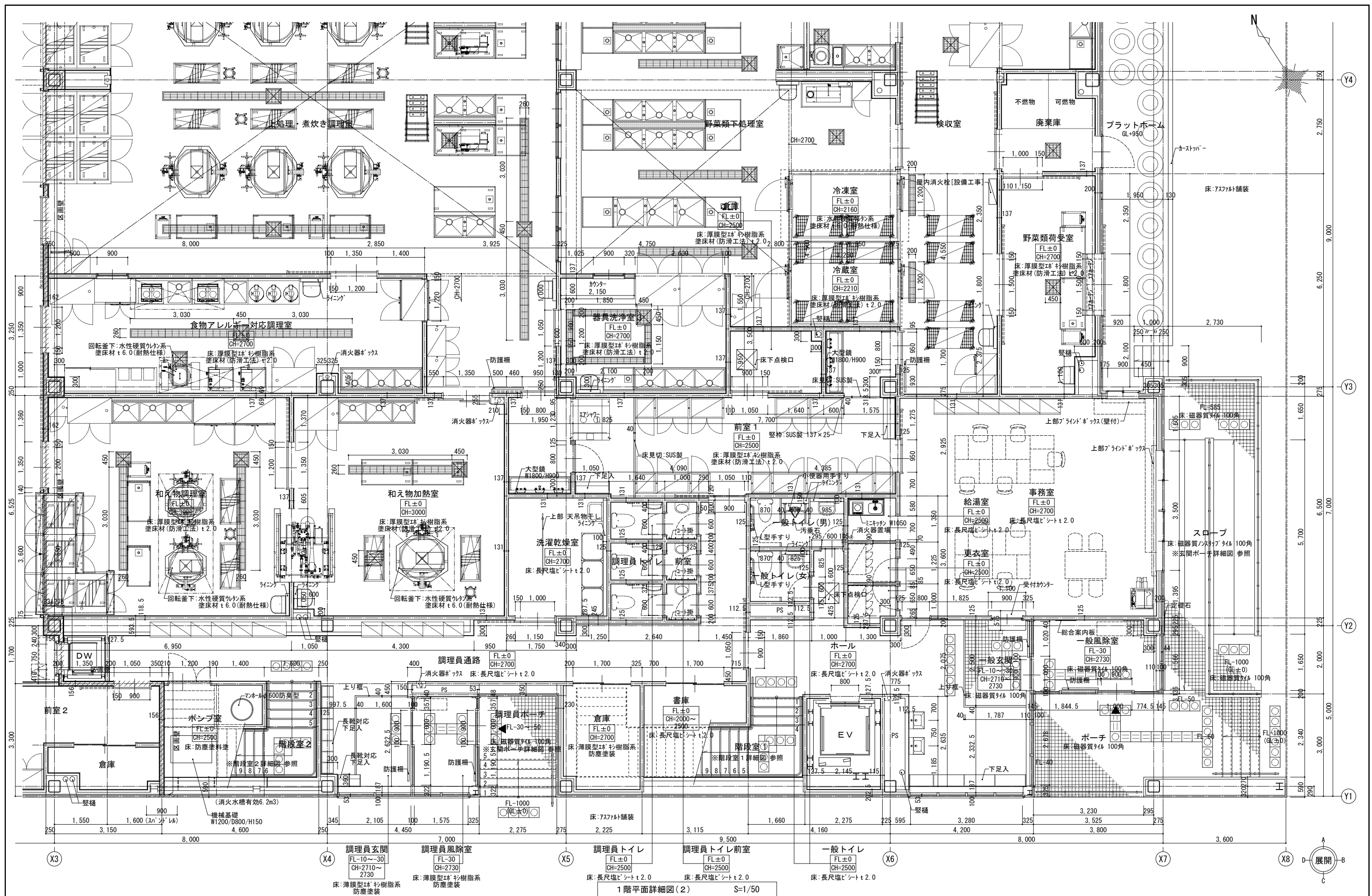
1階平面詳細図(1) S=1/50

防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)	
	株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 登録番号 第22110183号 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)	図面番号 22-1278 設計部長 機園 2023年3月24日 担当 製図
---	---

(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図	
-------------------------------	--

図面名 1階平面詳細図(1)	図面種類 A
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号 025



防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)
管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

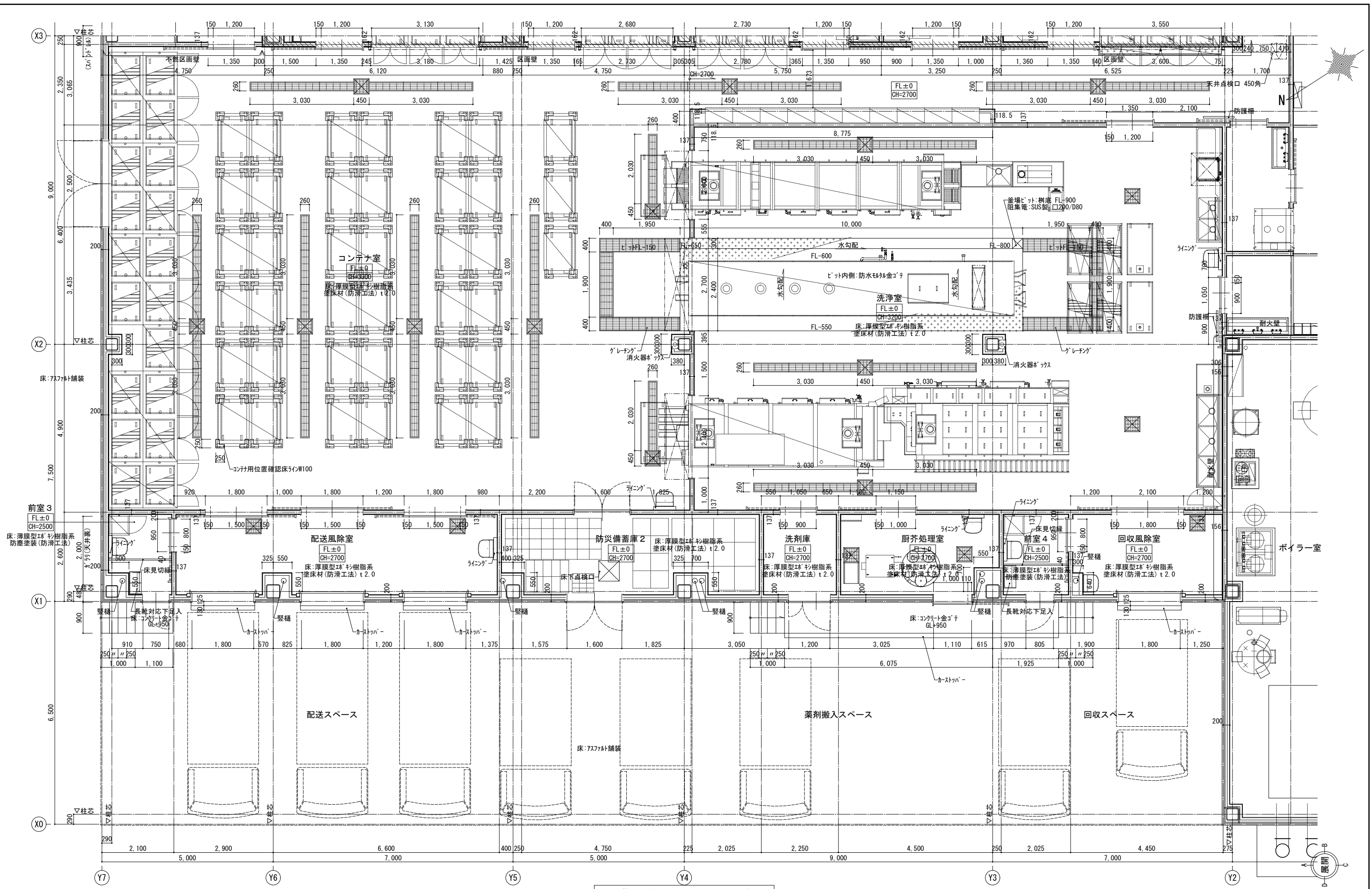
株式会社 松下設計仙台支社

一級建築士事務所
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128

設計部長 機園 担当 製図

2023年3月24日

図面名	1階平面詳細図(2)	図面種類	A
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	026



1階平面詳細図(3) S=1/50

防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-1278
 設計部長 機園 担当 製図
 日付 2023年3月24日

(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事)

設計図

図面名 1階平面詳細図(3)

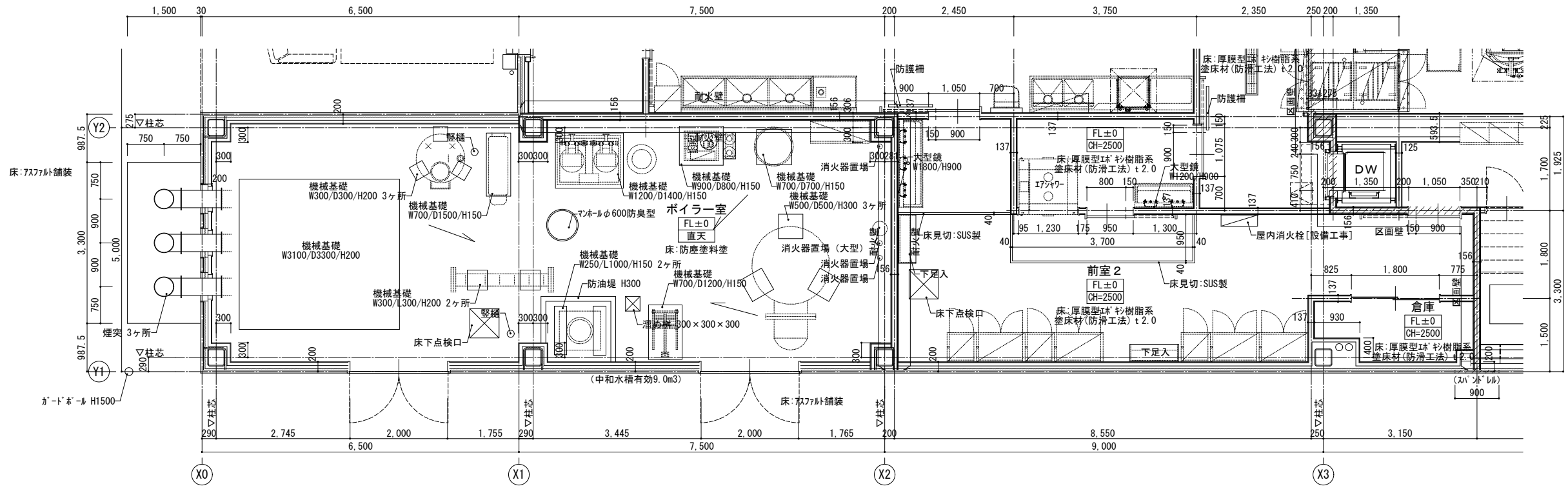
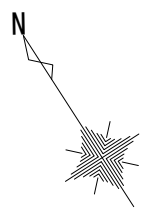
図面種別

A

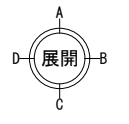
図面番号

027

縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)



1階平面詳細図(4) S=1/50

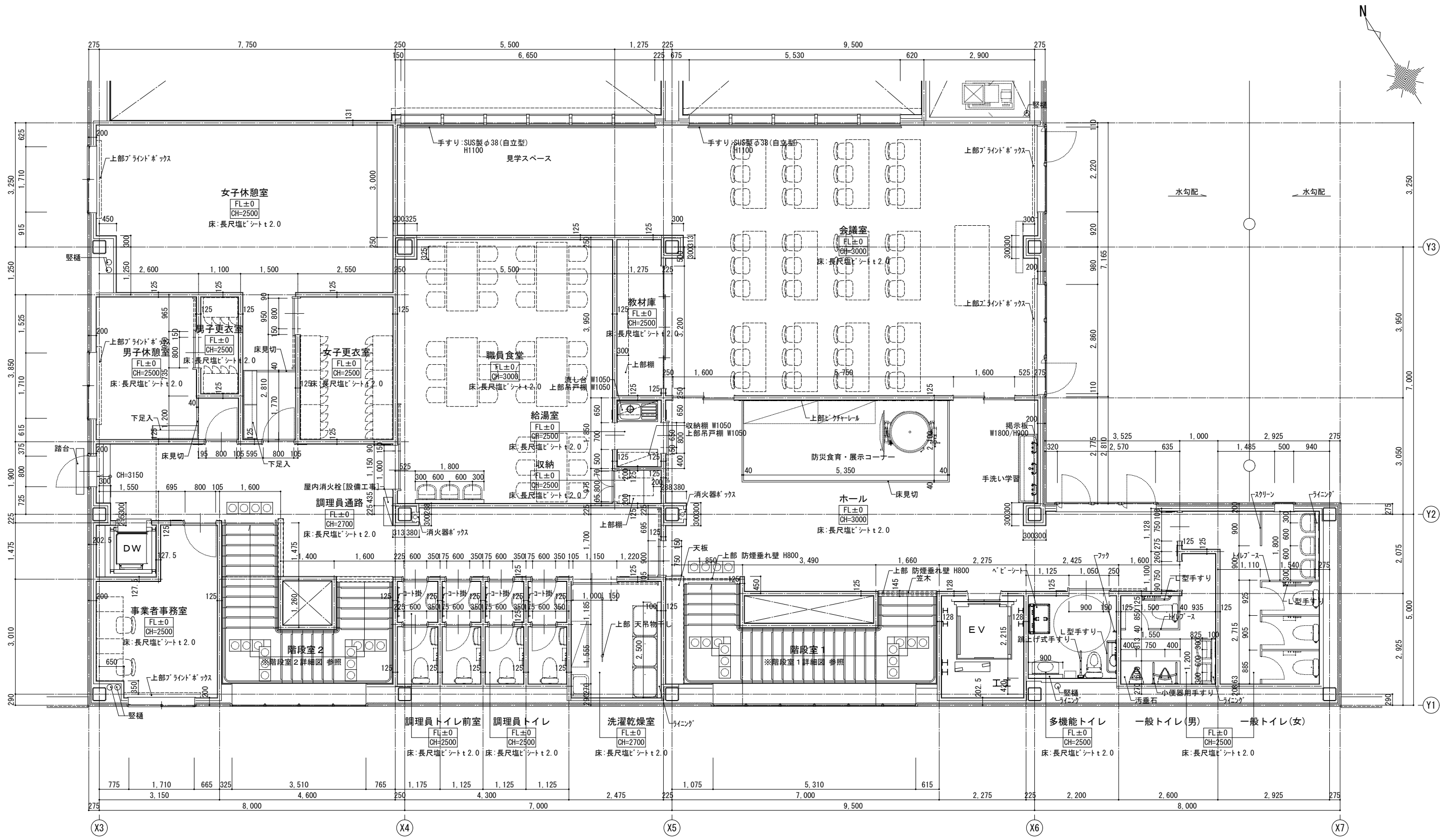


<p>防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)</p>	
<p>株式会社 松下設計仙台支社</p> <p>宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8</p> <p>TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128</p> <p>管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>	<p>委託番号 22-127S 日付 2023年3月24日</p> <p>設計部長 松岡 担任 製図</p>

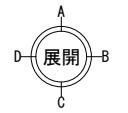
<p>株式会社 松下設計仙台支社</p> <p>宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8</p> <p>TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128</p> <p>管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>	
---	--

<p>(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図</p>	
--	--

<p>図面名</p> <p>1階平面詳細図(4)</p> <p>縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)</p>	<p>図面種類</p> <p>A</p> <p>図面番号</p> <p>028</p>
---	---



2階平面詳細図 S=1/50



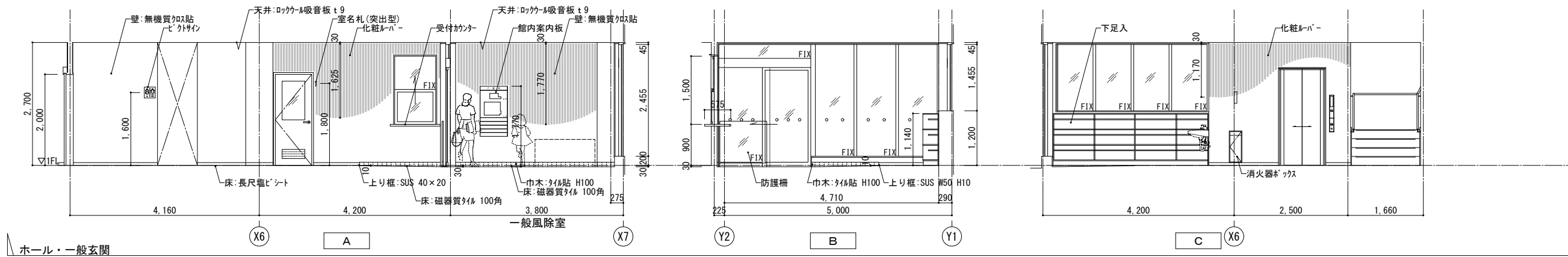
図面名	2階平面詳細図
図面種類	A
図面番号	029
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

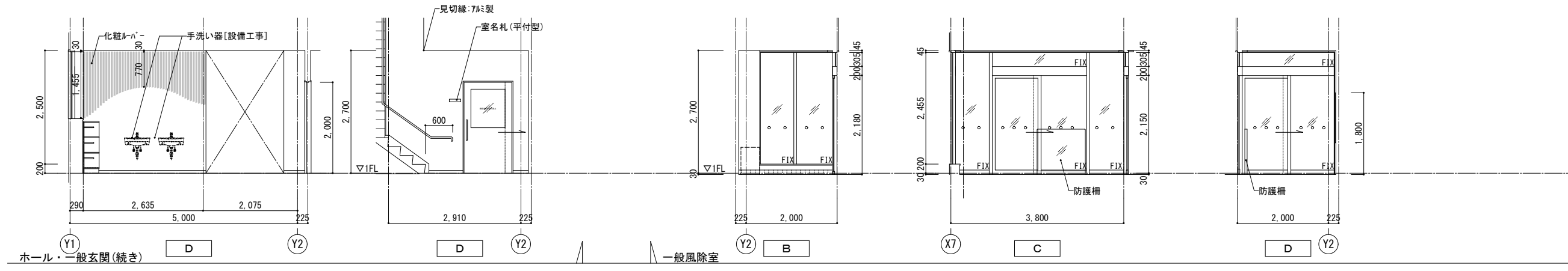
図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	横田	担当	製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面名	2階平面詳細図	図面種類	A
図面番号	029	縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)

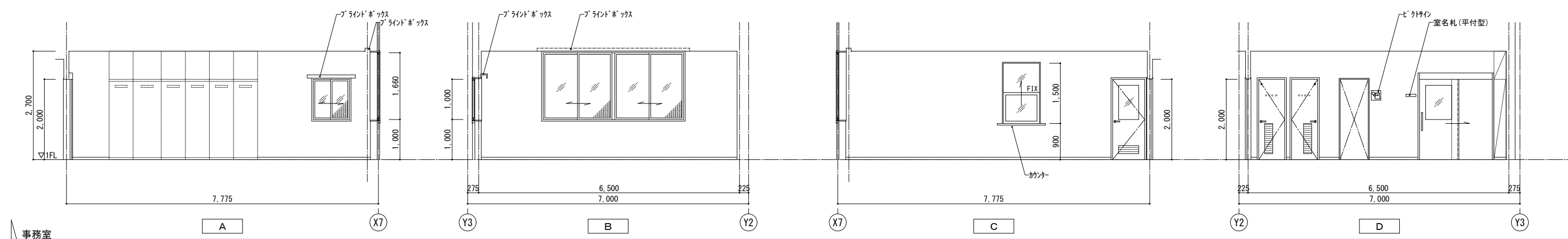


ホール・一般玄関

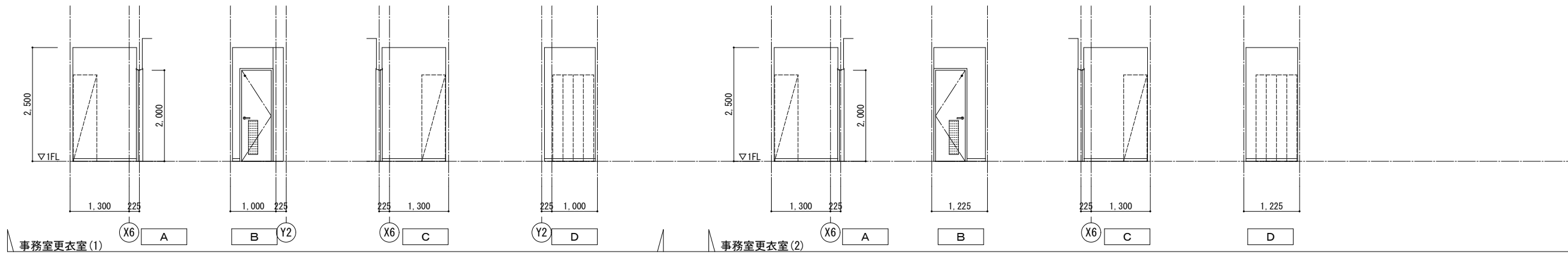


ホール・一般玄関(続き)

一般風除室

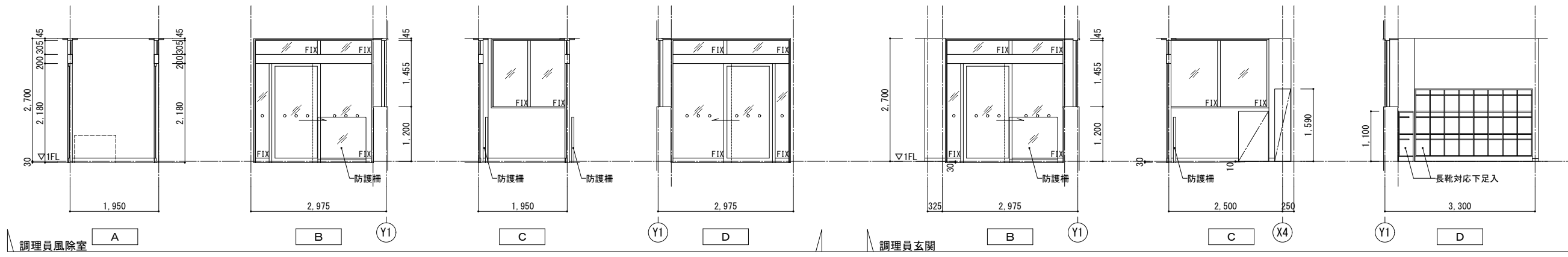
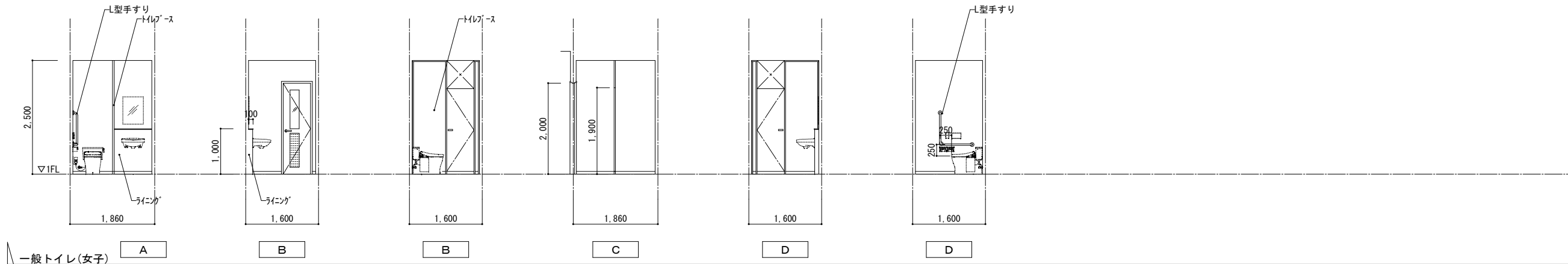
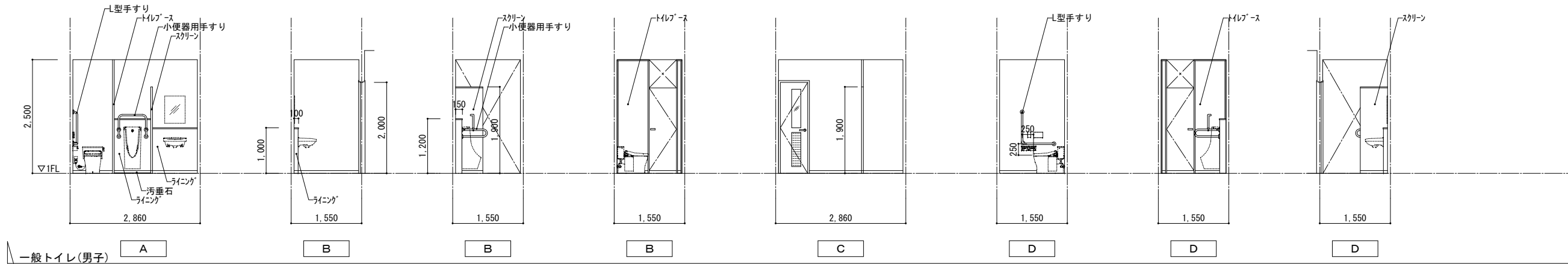
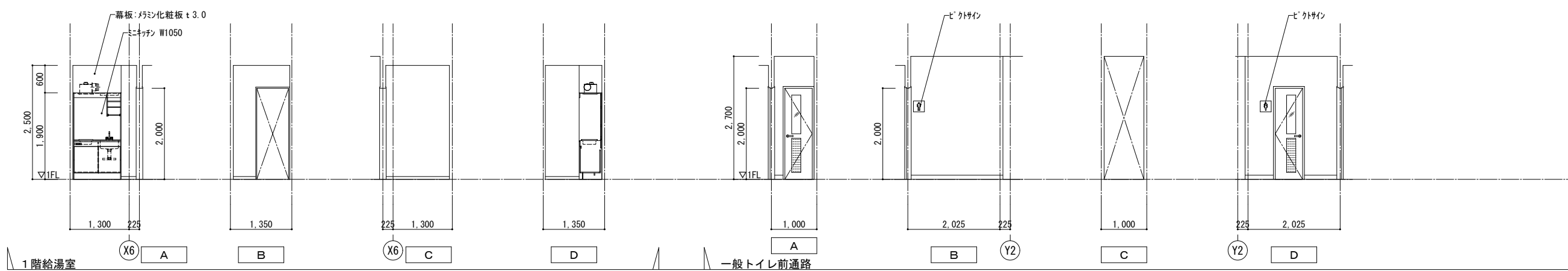


事務室



事務室更衣室(1)

事務室更衣室(2)



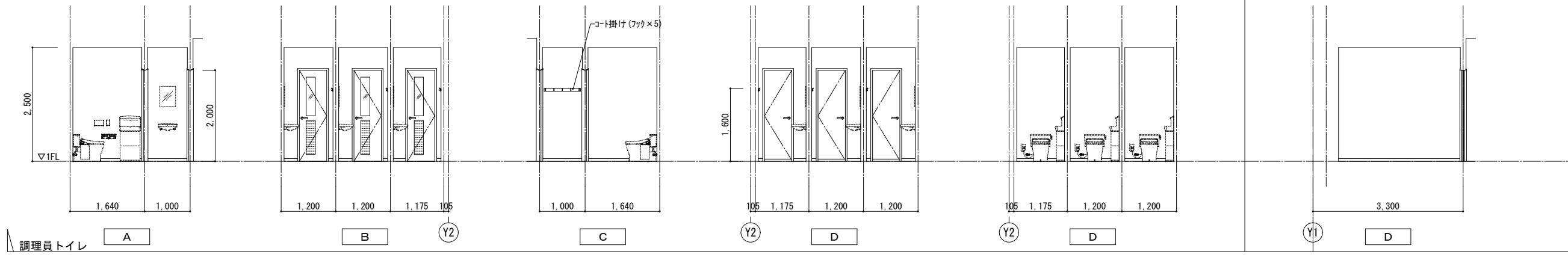
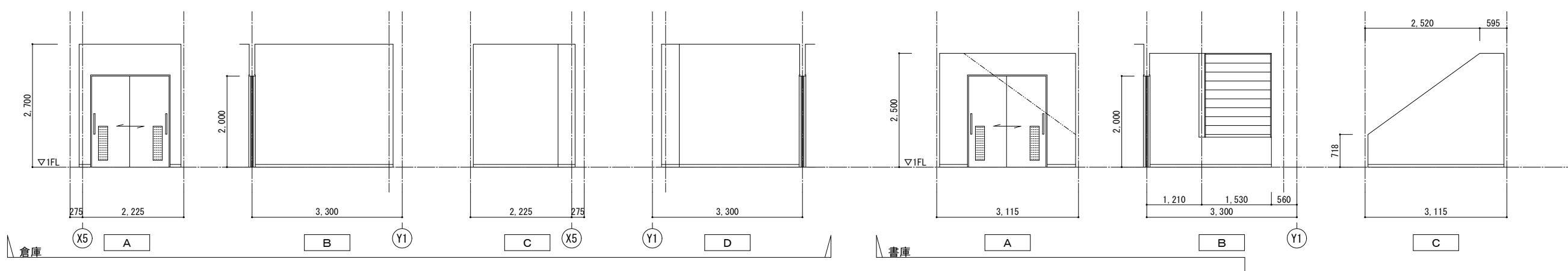
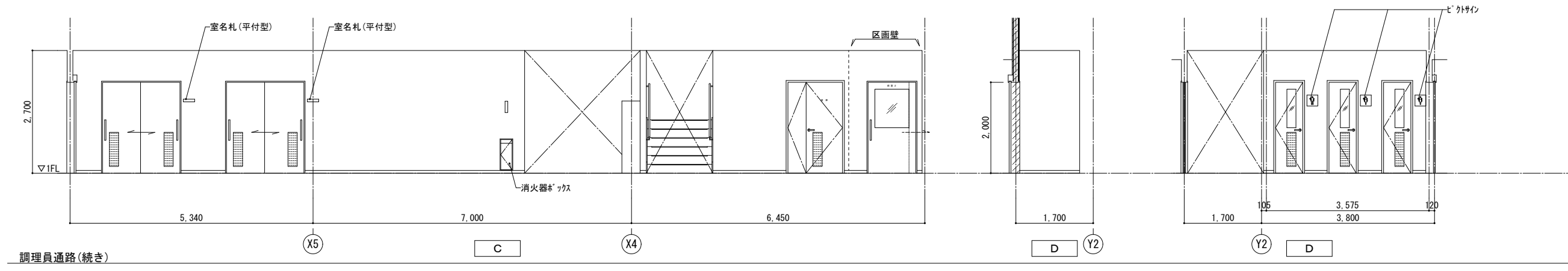
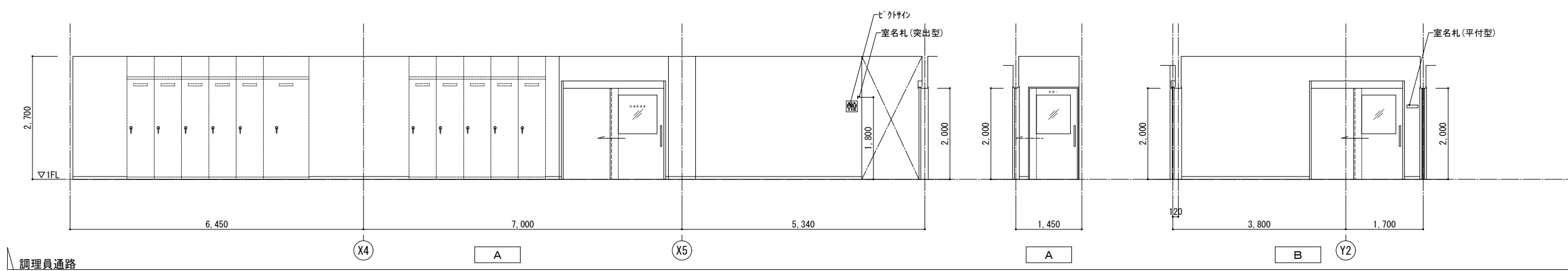
防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)

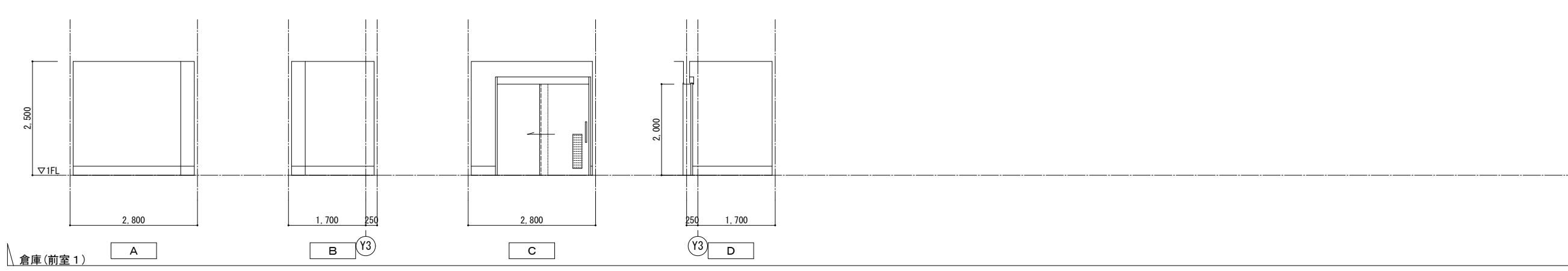
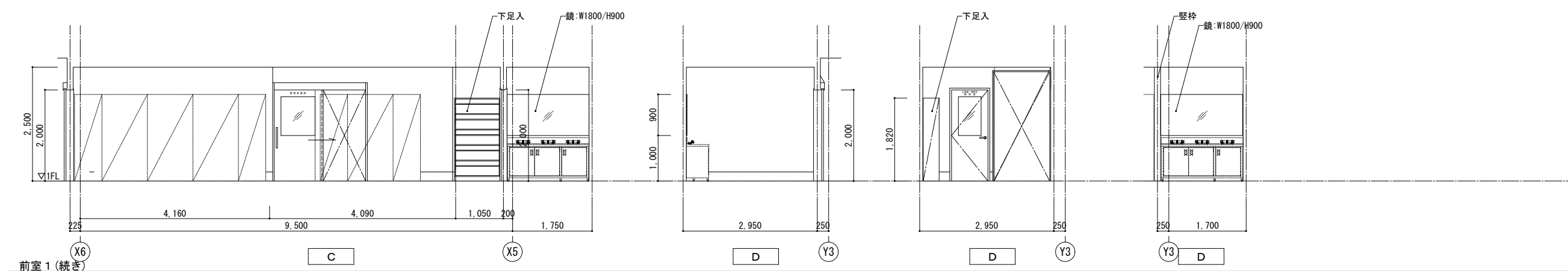
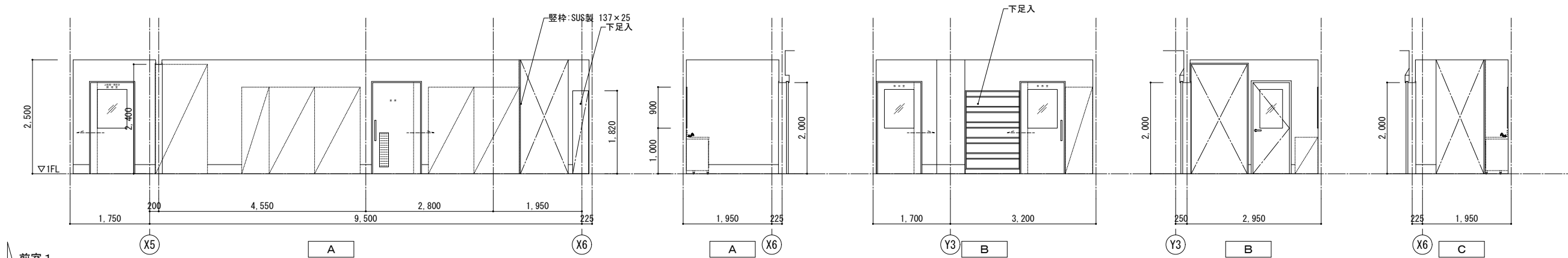
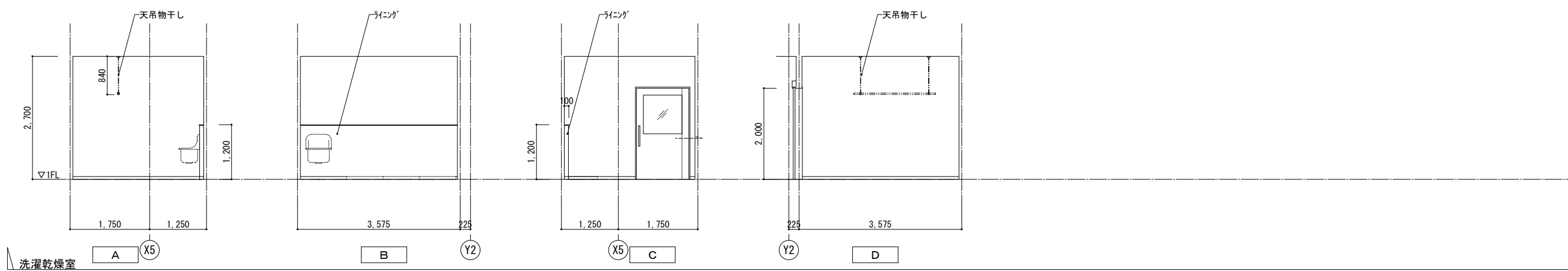

株式会社 松下設計仙台支社
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 松岡	担当 松岡
	製図

(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図
 図面名 展開図(2)

図面種類 A
図面番号
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)
031



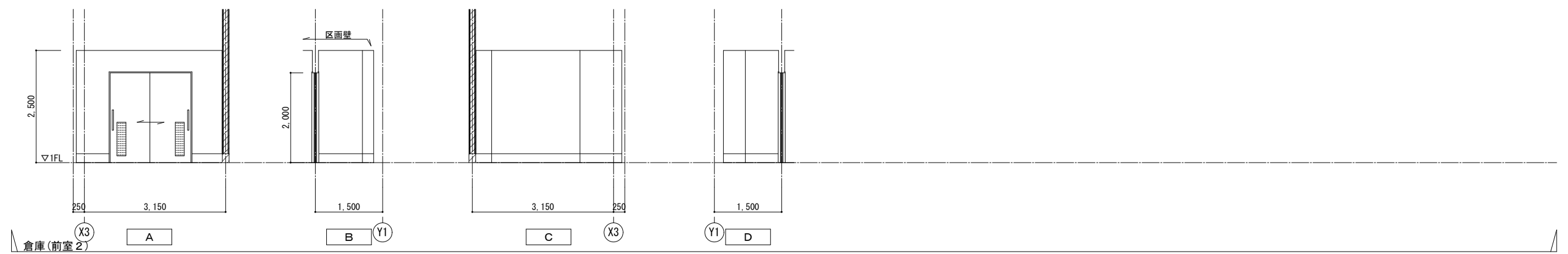
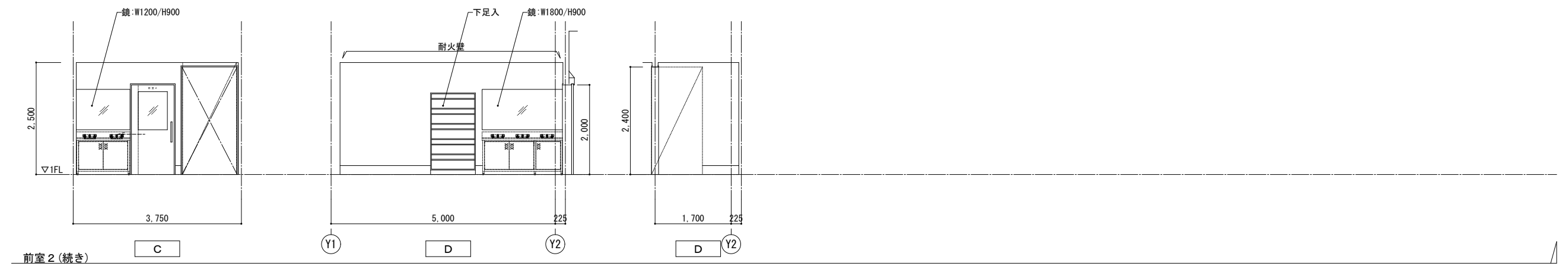
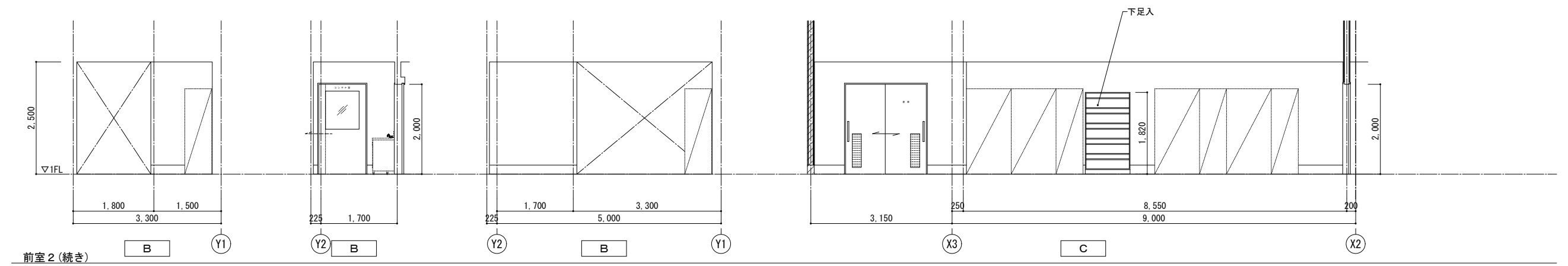
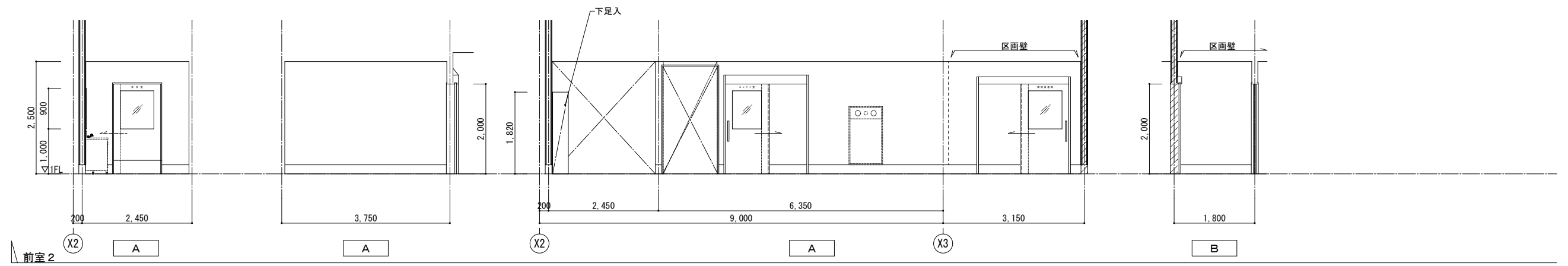


防火区画(建基令112条 1項 1,500㎡区画)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S 日付 2023年3月24日
 設計部長 検図 担当 製図
 (仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図

図面名	展開図(4)	図面種別	A
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	033



防火区画(建基令112条 1項 1,500㎡区画)



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S
 設計部長 松岡 担任 製図
 日付 2023年3月24日

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図面名 展開図(5)

縮尺

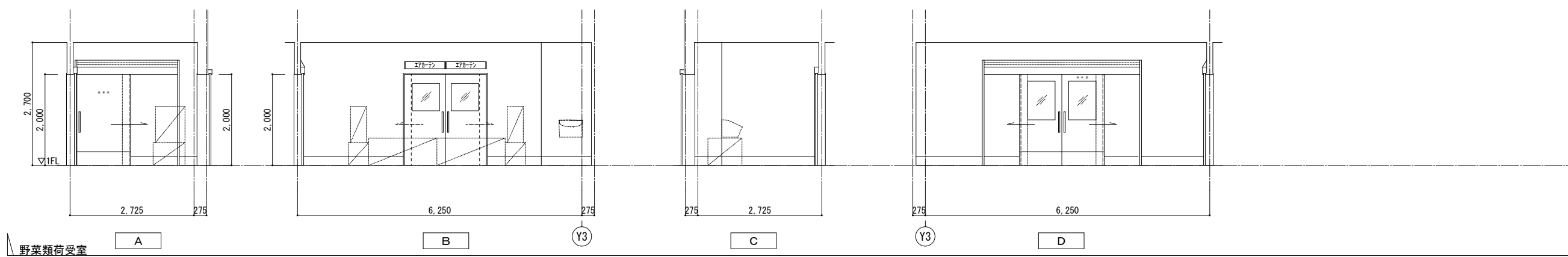
S=1:50(A3版 50%縮小)

図面種別

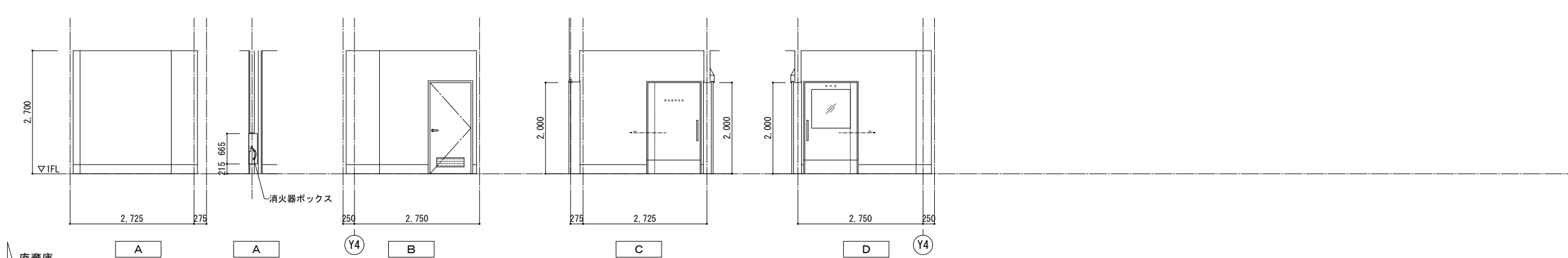
A

図面番号

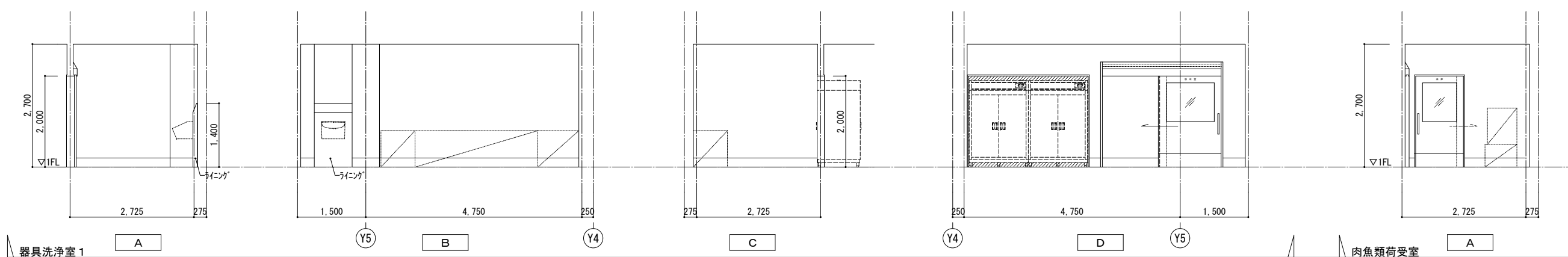
034



野菜類荷受室

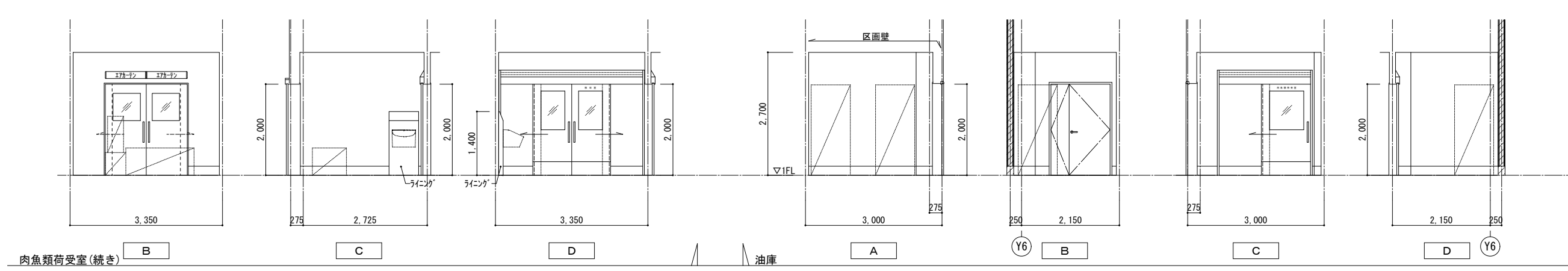


廃棄庫



器具洗浄室 1


肉魚類荷受室



肉魚類荷受室(続き)

油庫

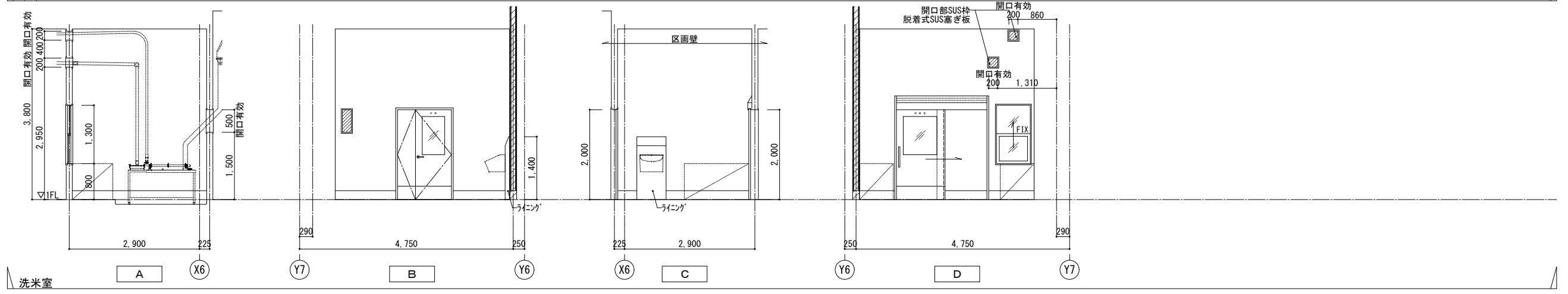
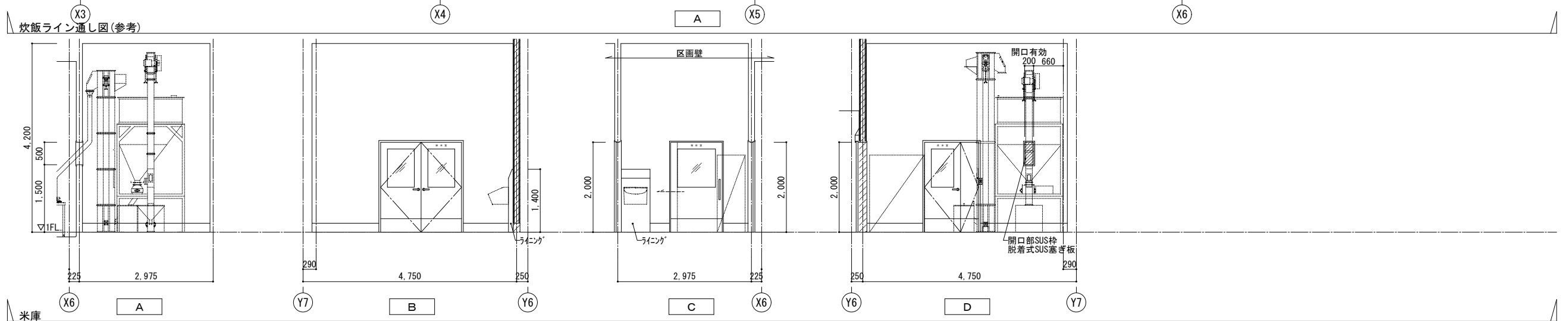
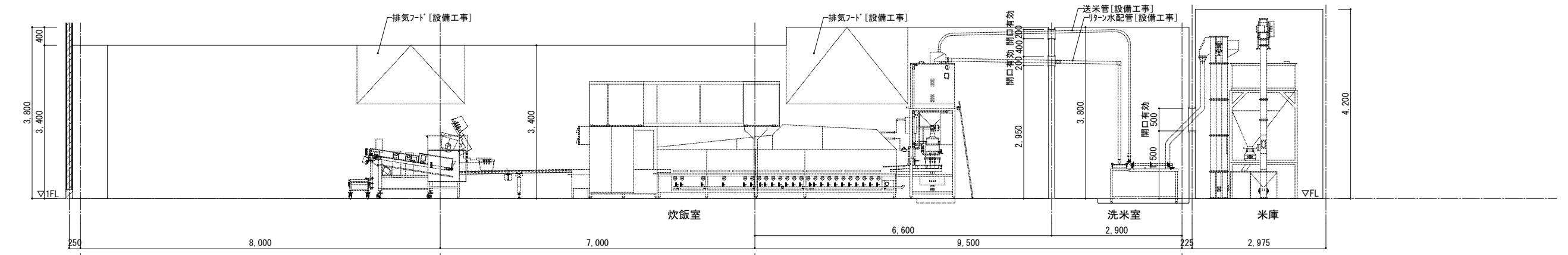
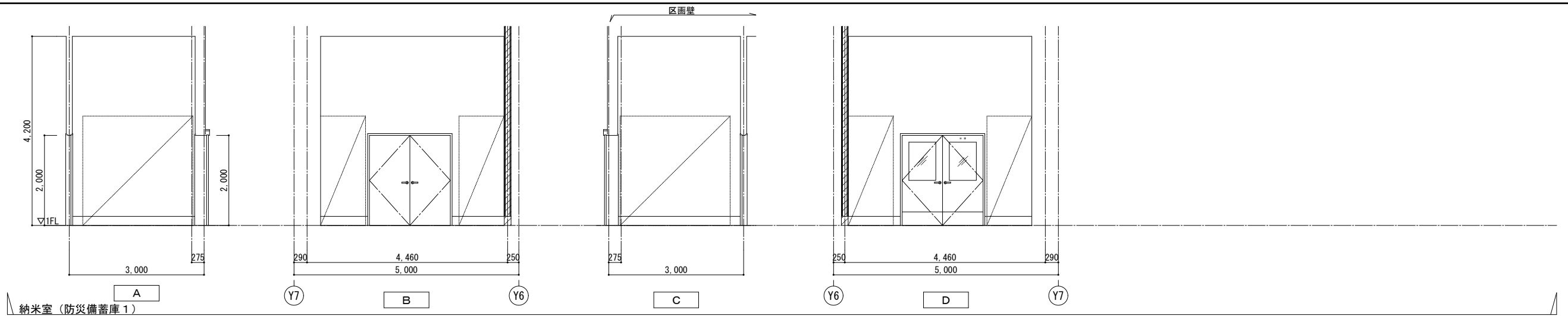
防火区画(建基令112条 1項 1.500m区画)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 松岡	担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図

図面名 展開図(6)	図面種類 A
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号 035



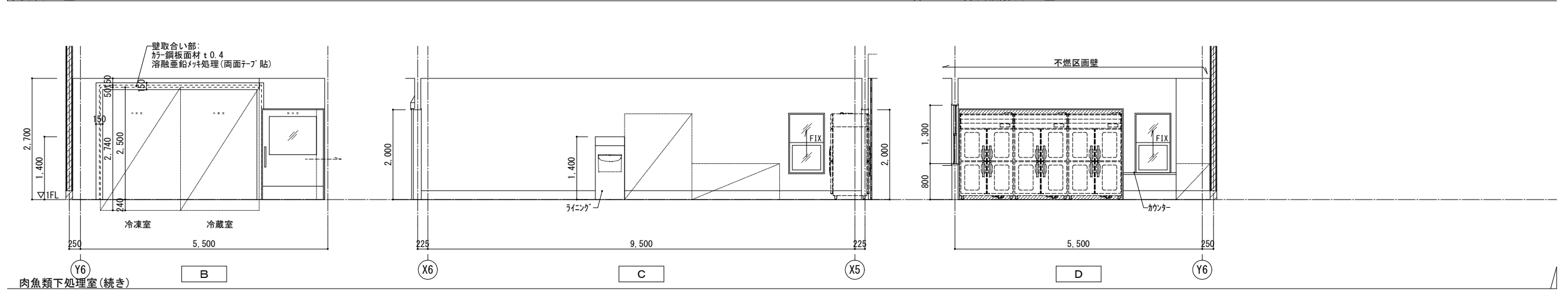
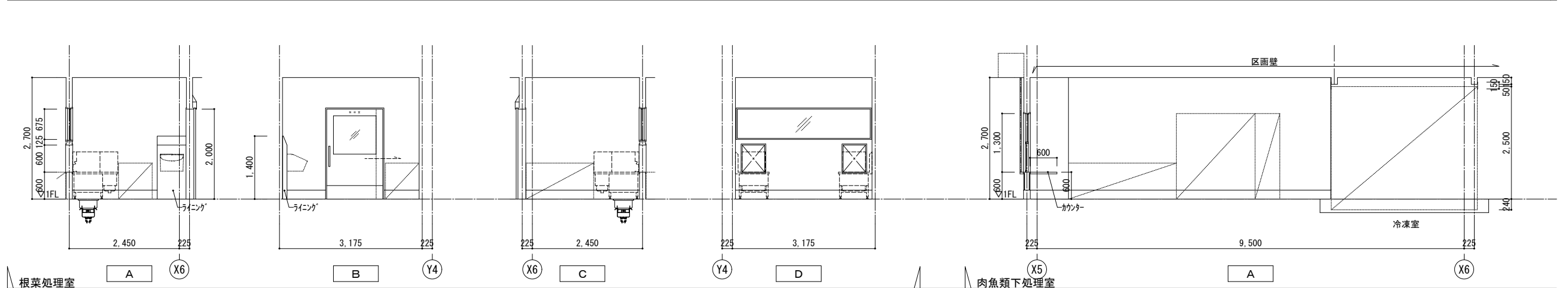
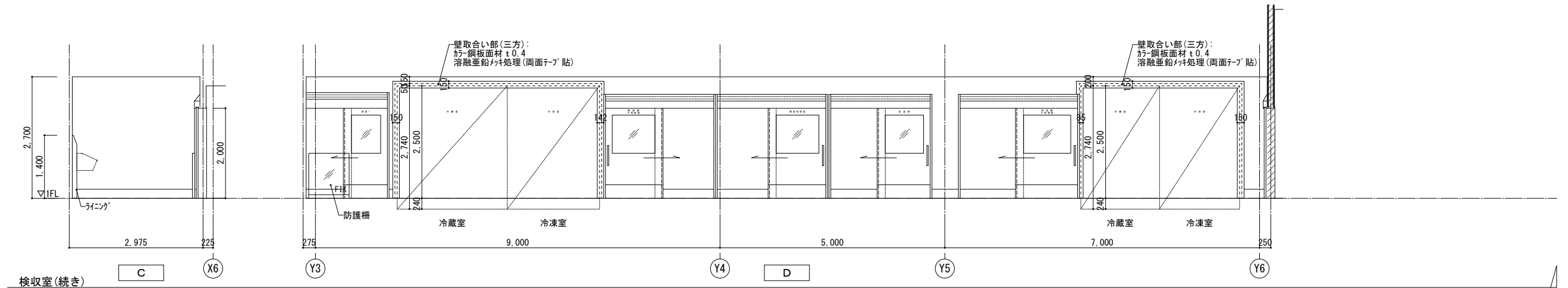
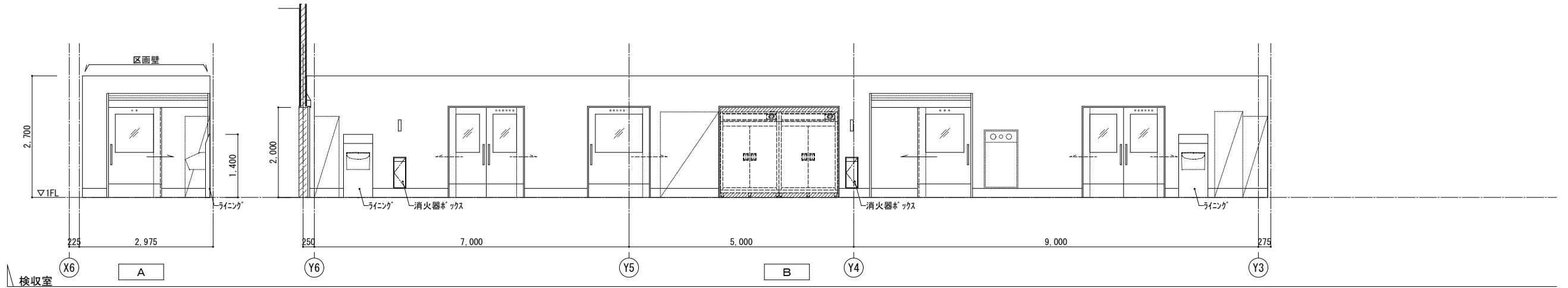
防火区画(建基令112条 1項 1,500㎡区画)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 宮城県知事登録 第22110183号
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S
 設計部長 松岡 担任
 日付 2023年3月24日
 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名 展開図(7)

図面種類 A
 図面番号
 縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小) 036



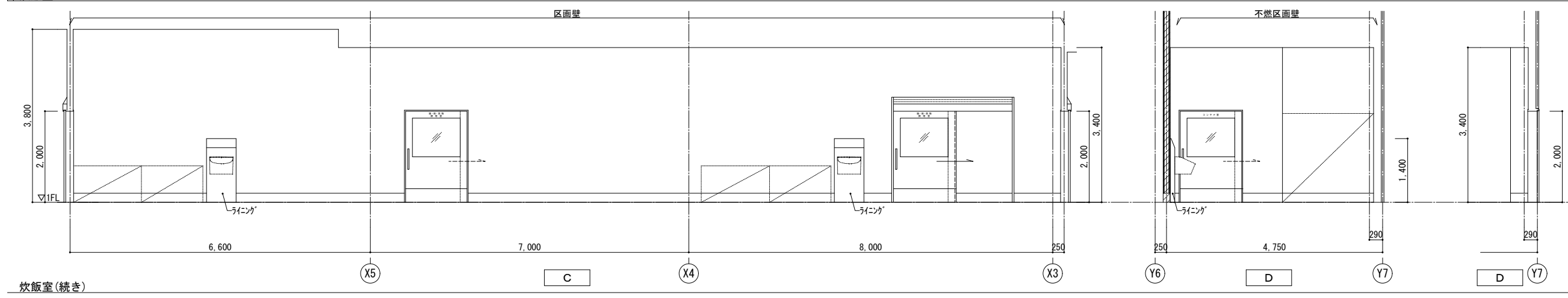
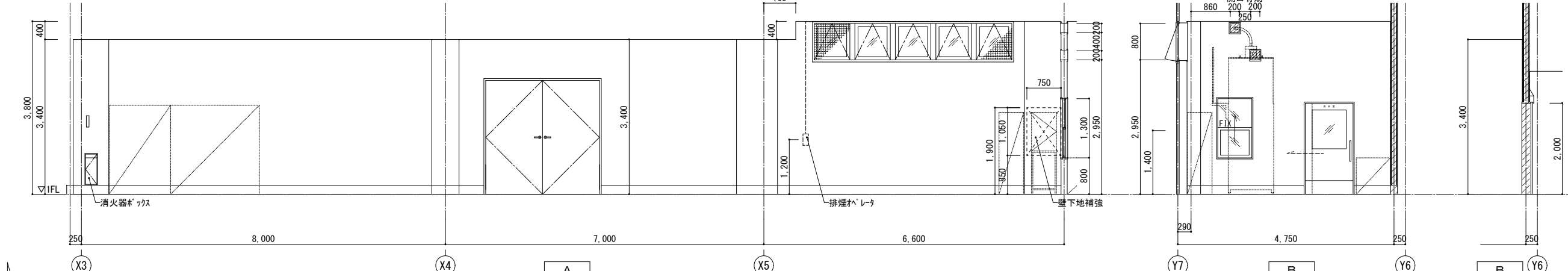
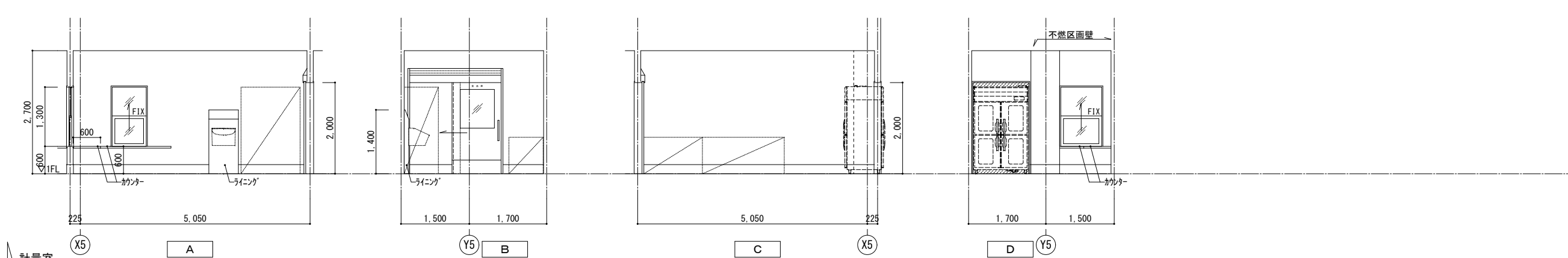
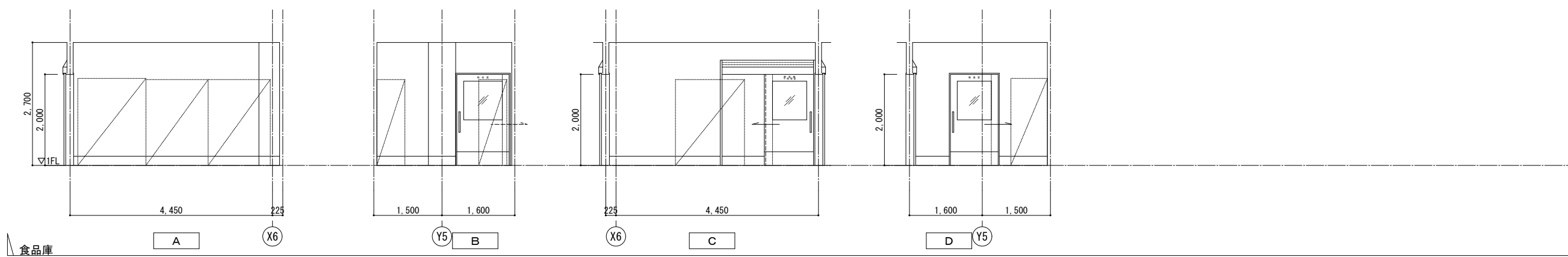
防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)

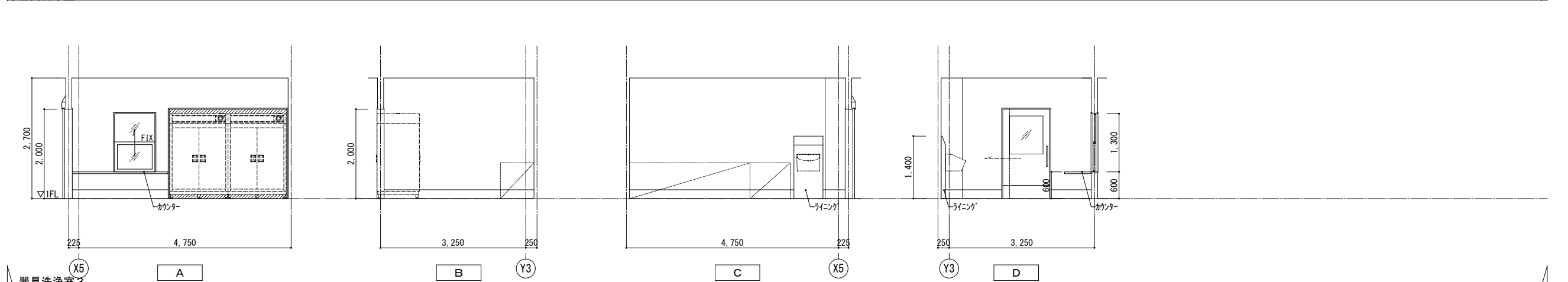
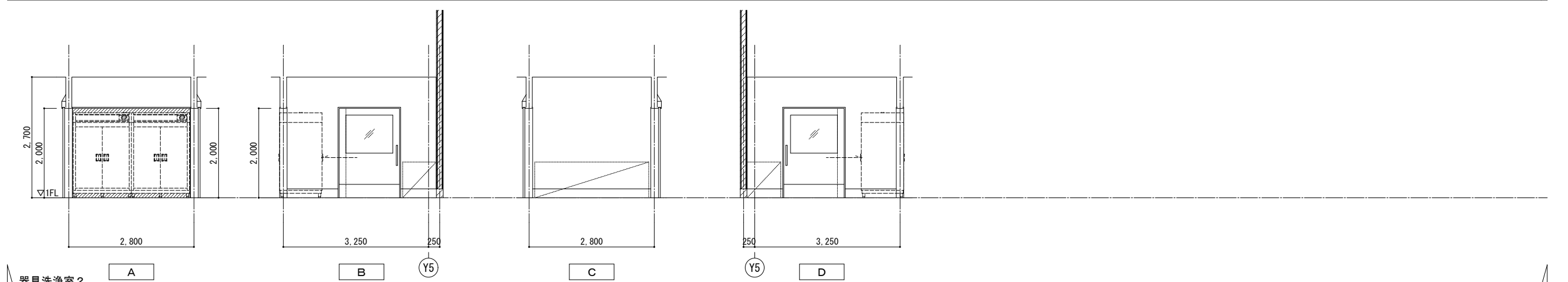
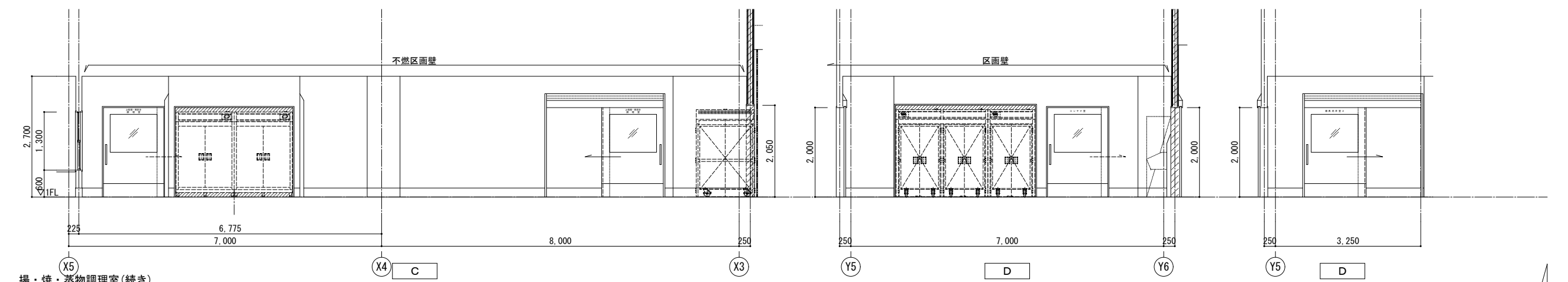
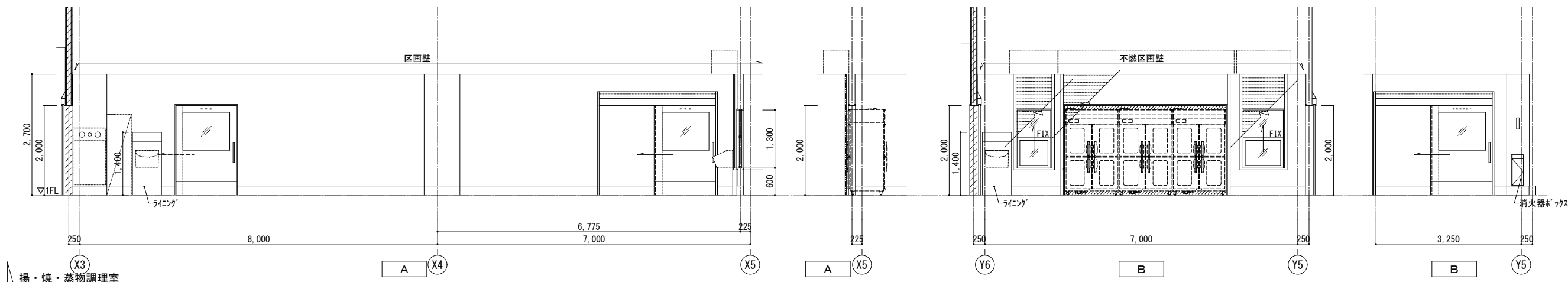

株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S
 日付 2023年3月24日
 設計部長 松岡 担任 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図

図面名	展開図(8)	図面種類	A
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	037





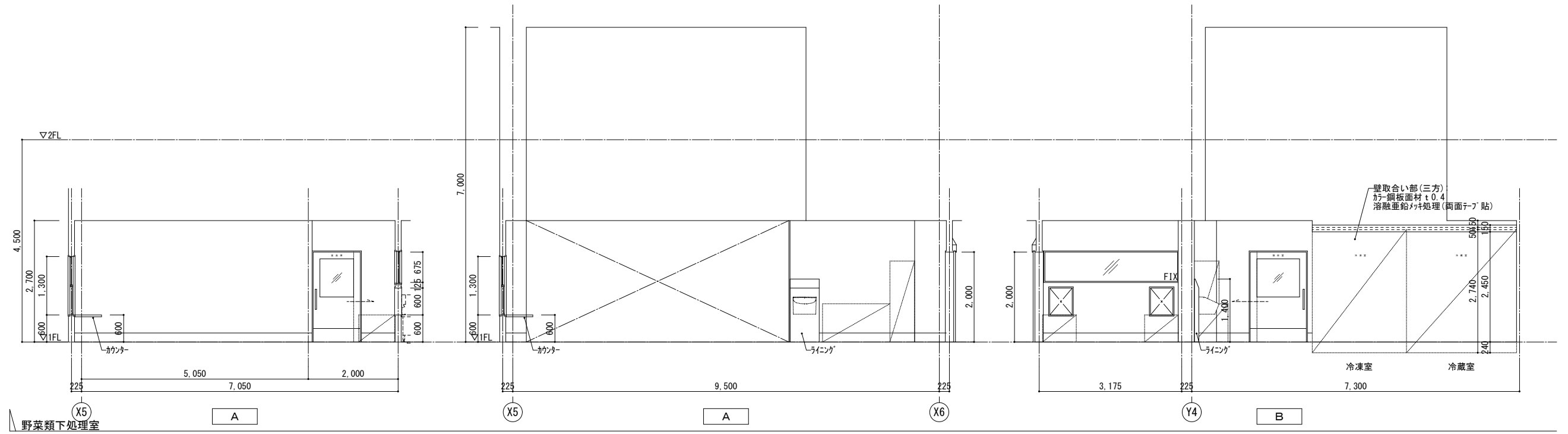
<p>防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)</p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

<p>図面番号 22-127S</p>	<p>日付 2023年3月24日</p>
<p>設計部長 検 閱</p>	<p>担当 製 図</p>

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

<p>図面名 展開図(10)</p>	<p>図面種別 A</p>
<p>縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)</p>	<p>図面番号 039</p>

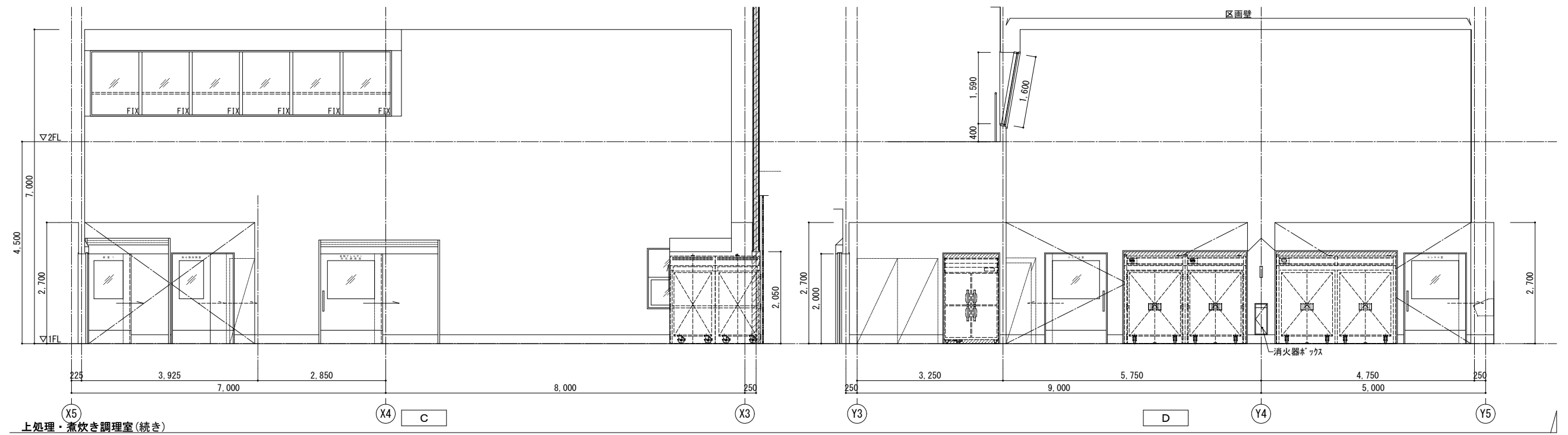
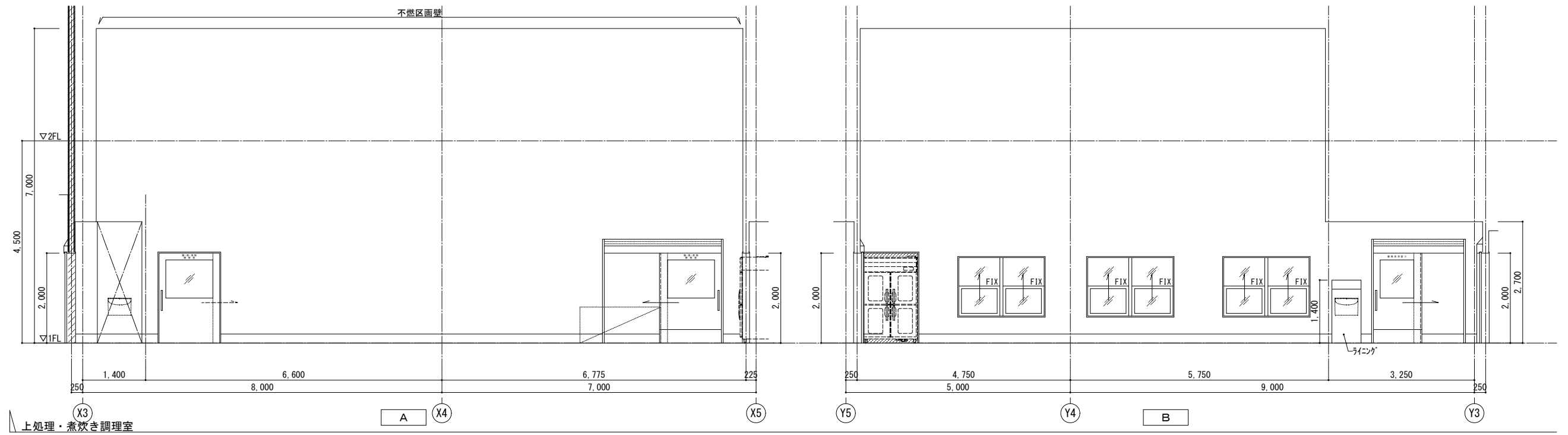



株式会社 松下設計仙台支社
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S
 設計部長 検 園
 日付 2023年3月24日
 担当 製 園

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	展開図(11)	図面種別	A
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	040



防火区画(建基令112条 1項 1,500m区画)



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 宮城県知事登録 第22110183号
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S 日付 2023年3月24日
 設計部長 機園 担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図面名 展開図(12)

縮尺

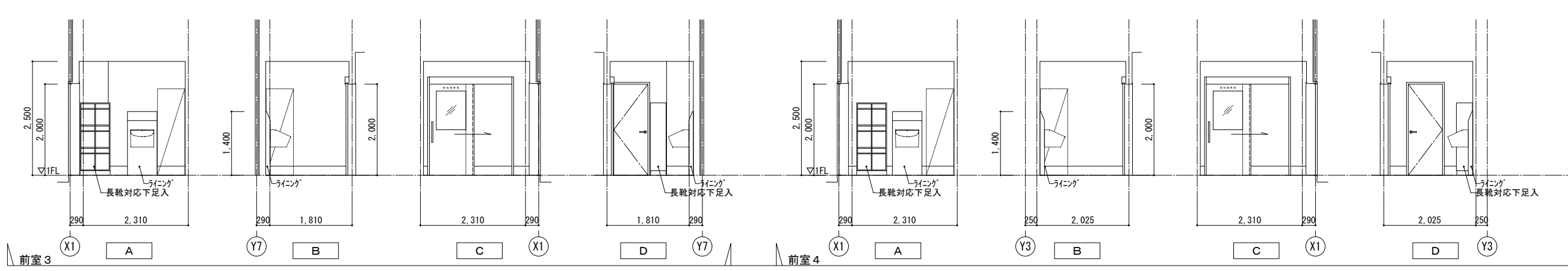
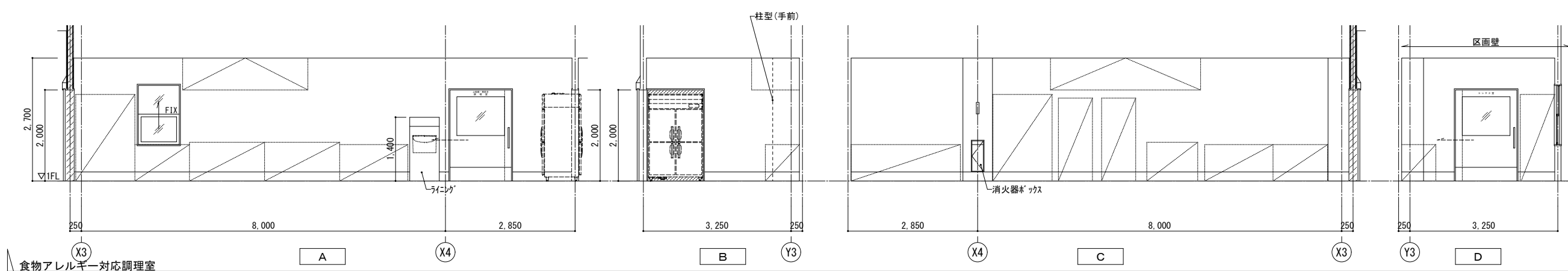
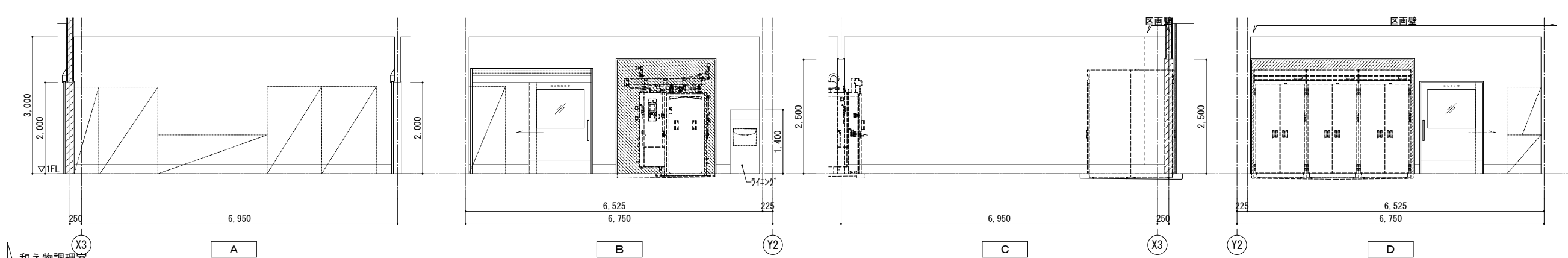
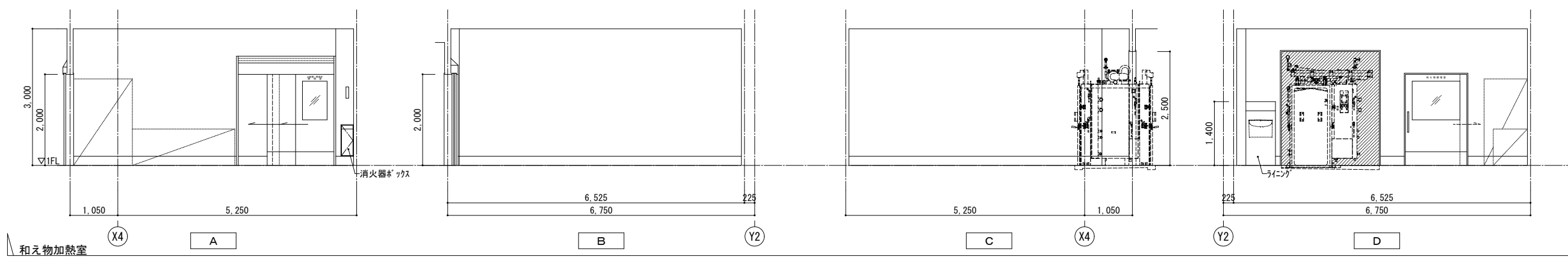
S=1:50(A3版 50%縮小)

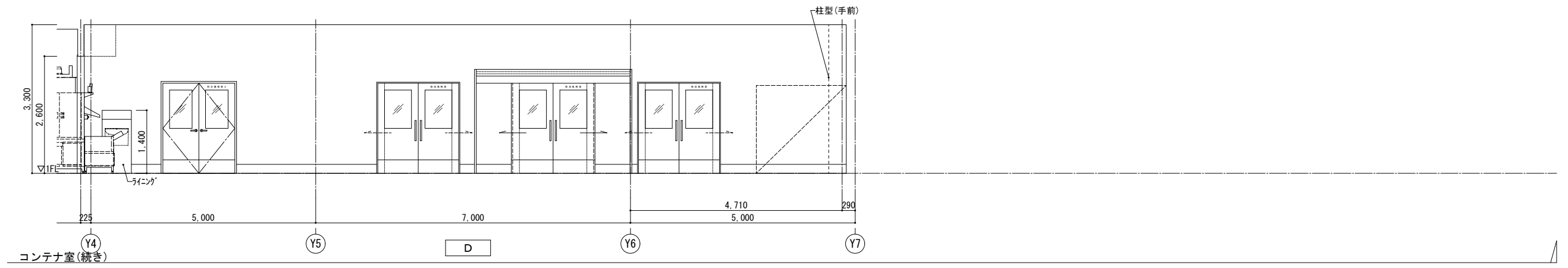
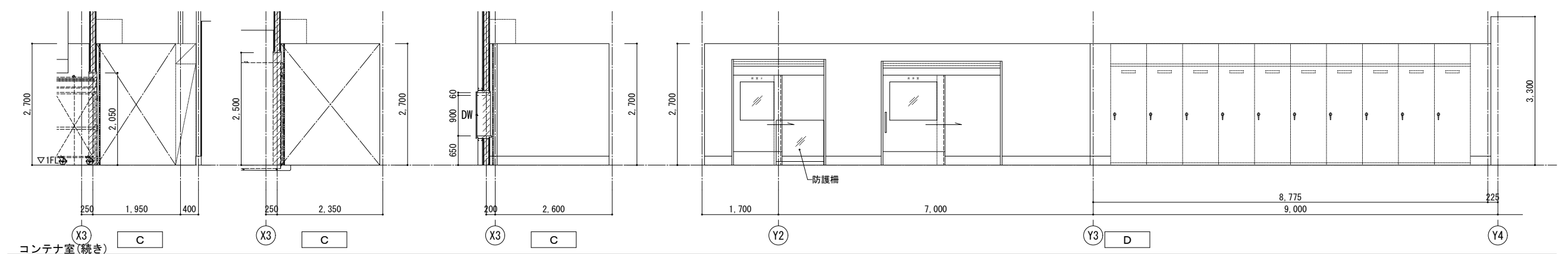
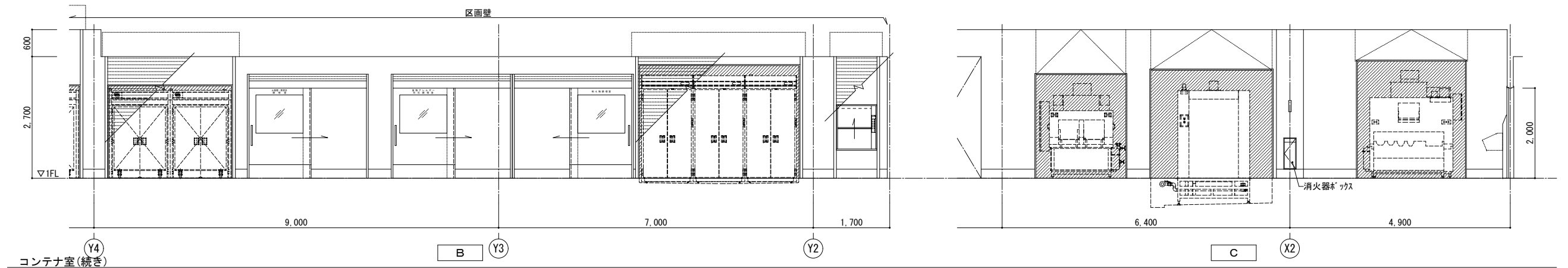
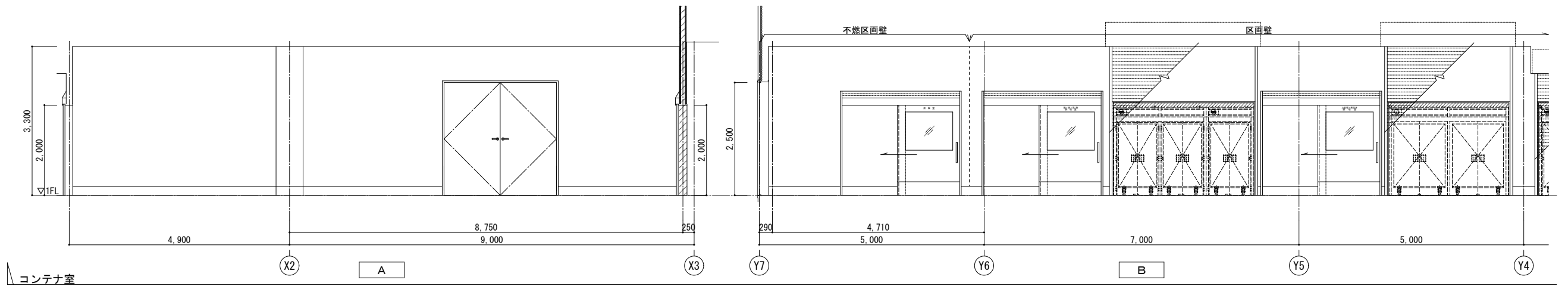
図面種別

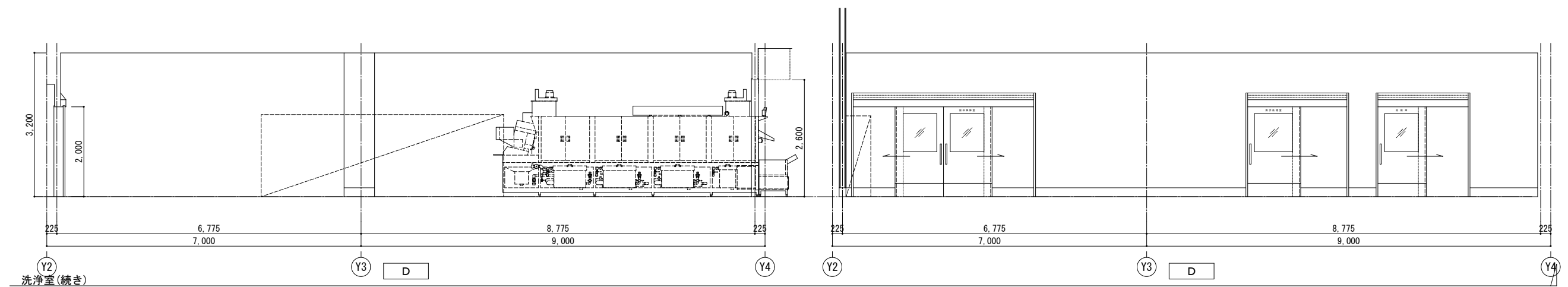
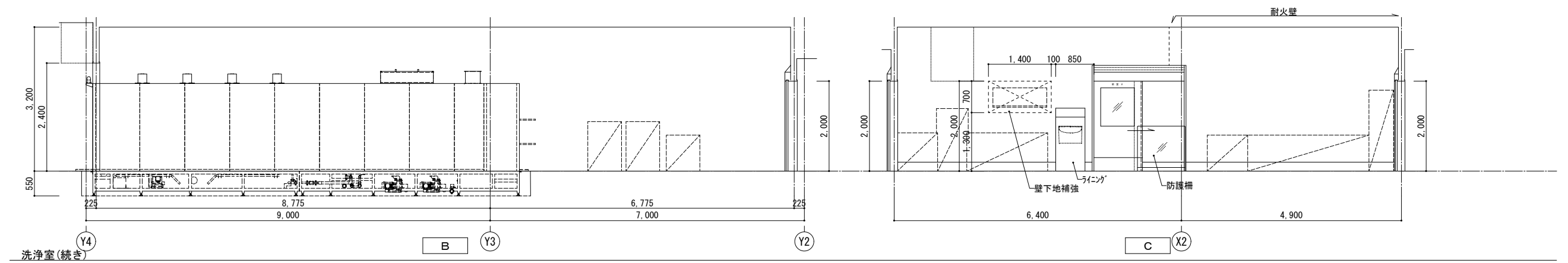
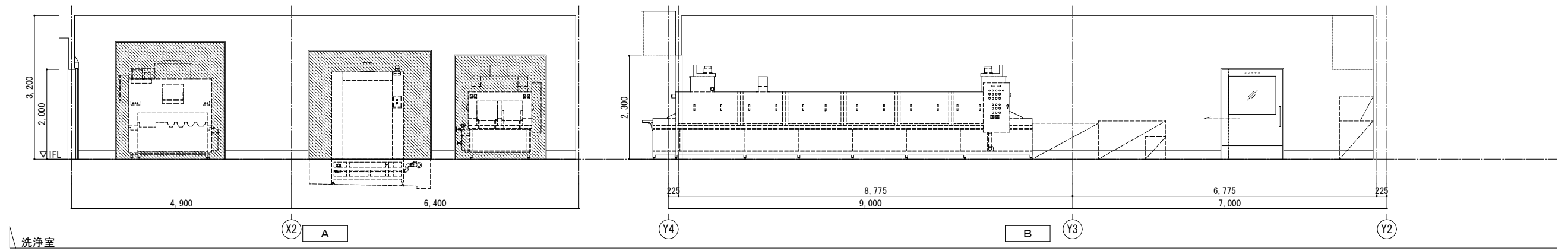
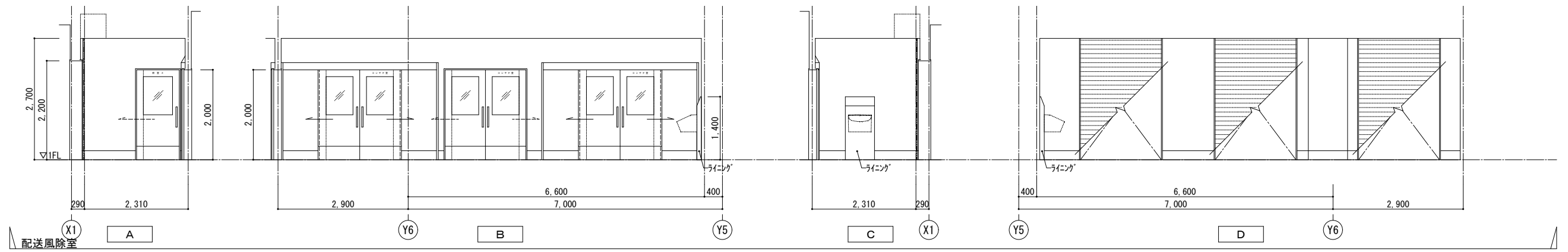
A

図面番号

041







防火区画(建基令112条 1項 1,500㎡区画)



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S
 設計部長 松岡 担任 製図
 日付 2023年3月24日

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図面名 展開図(15)

縮尺

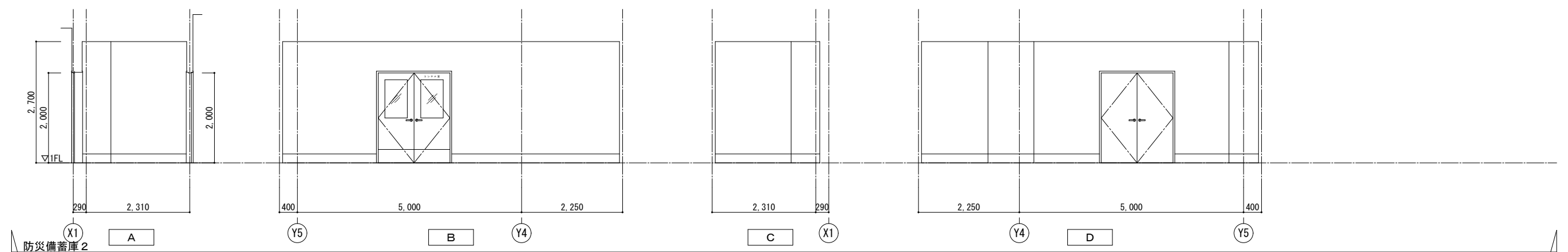
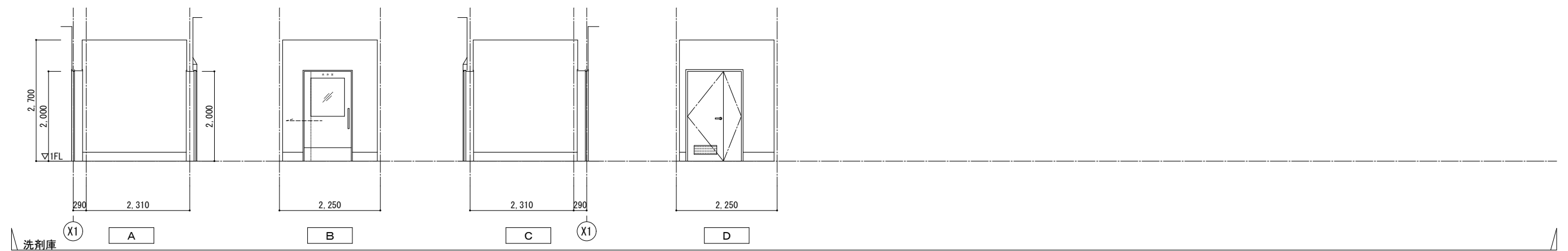
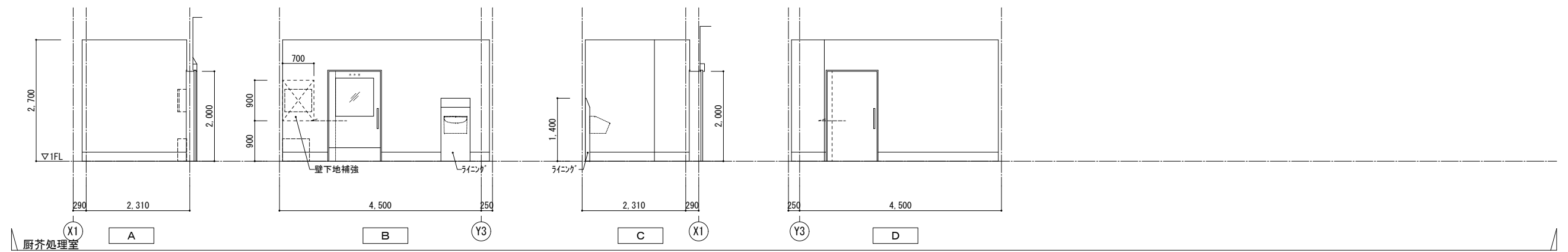
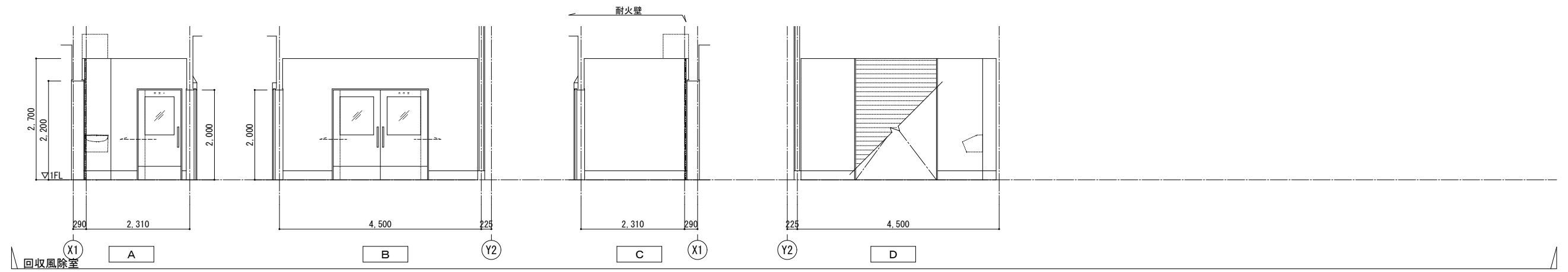
S=1:50(A3版 50%縮小)

図面種類

A

図面番号

044



防火区画(建基令112条 1項 1.500㎡区画)



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S 日付 2023年3月24日
 設計部長 松岡 担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図面名 展開図(16)

縮尺

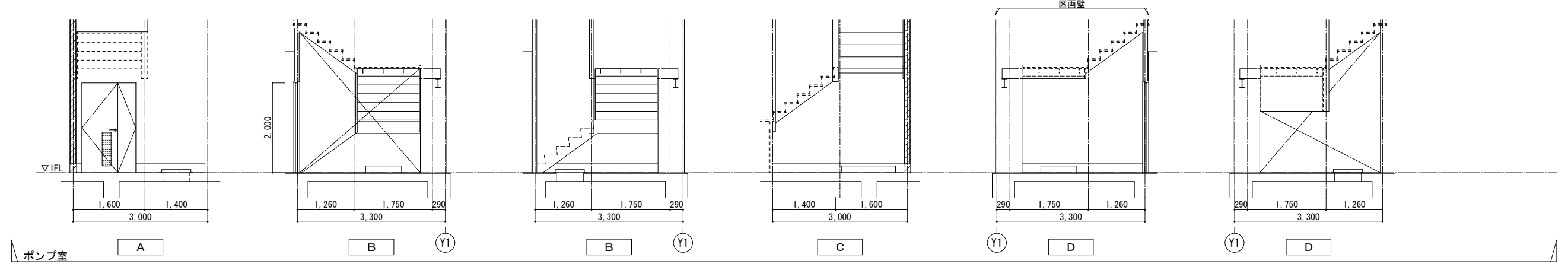
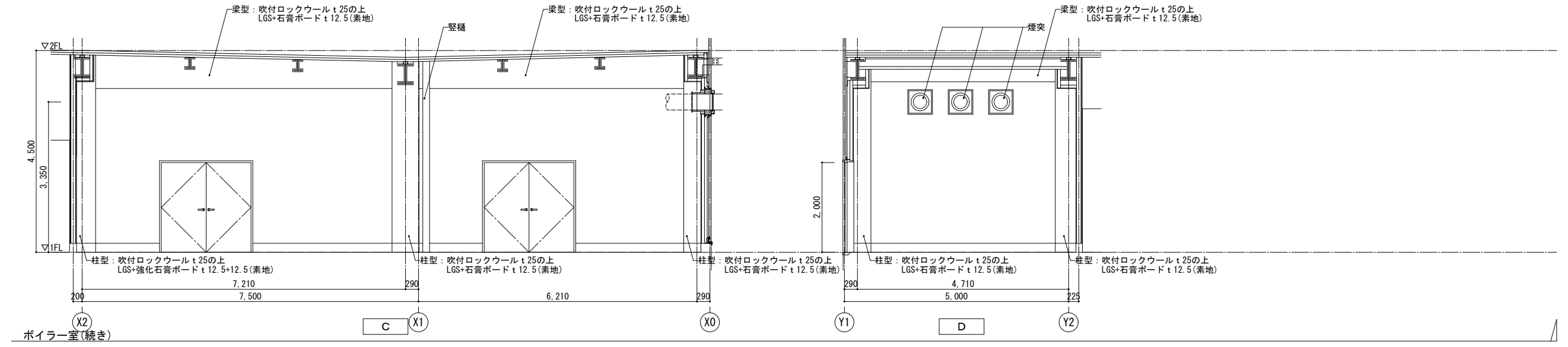
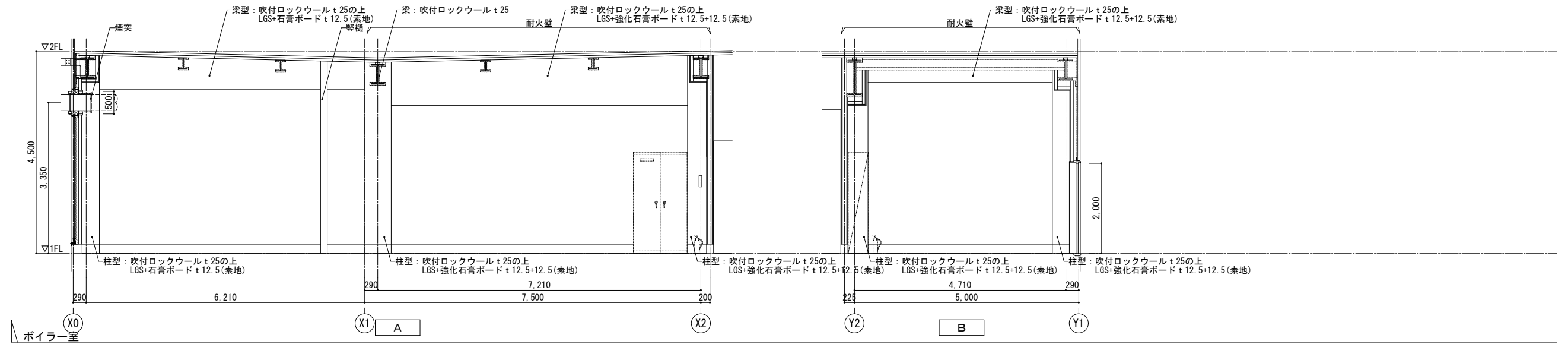
S=1:50(A3版 50%縮小)

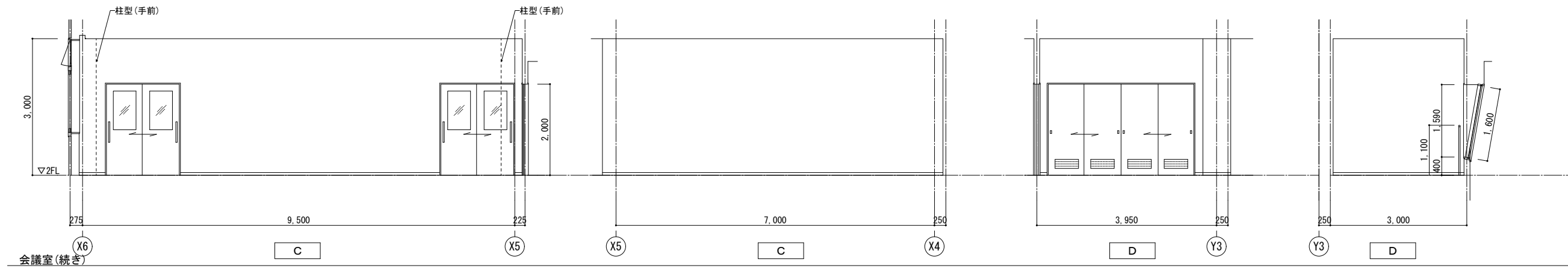
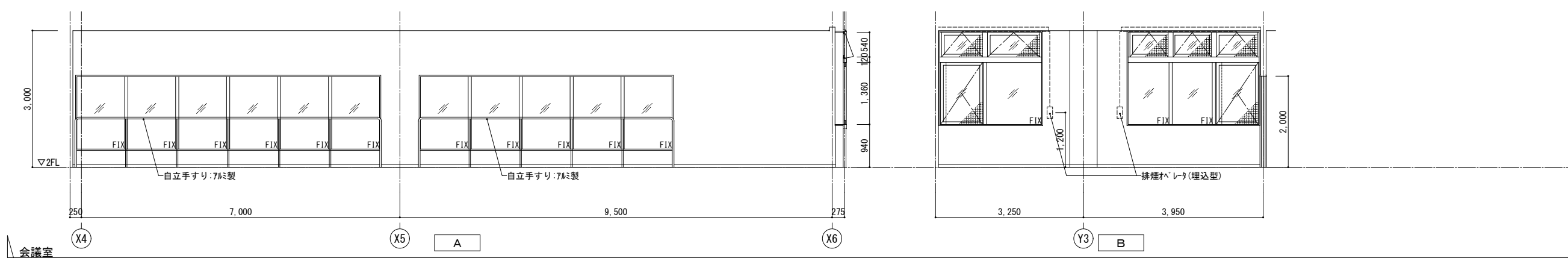
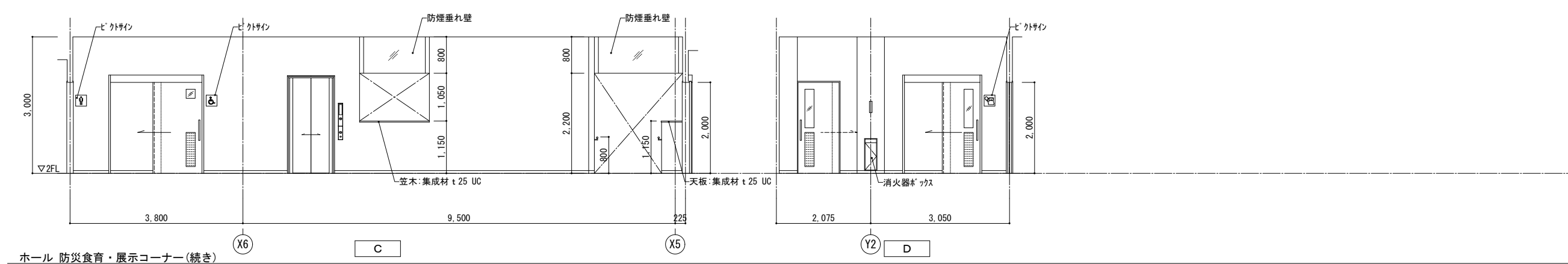
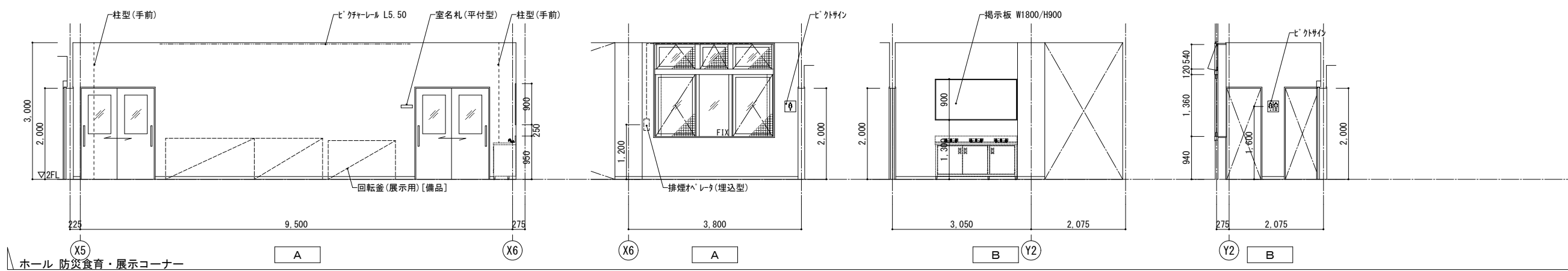
図面種別

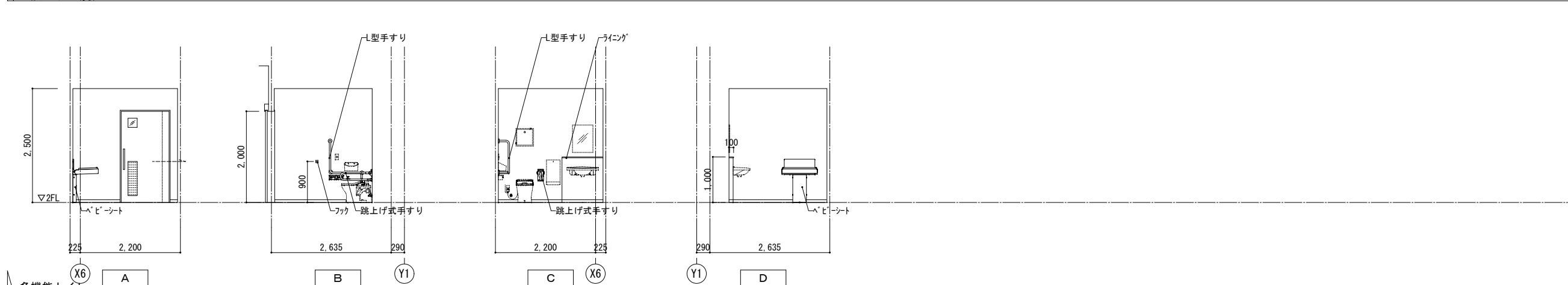
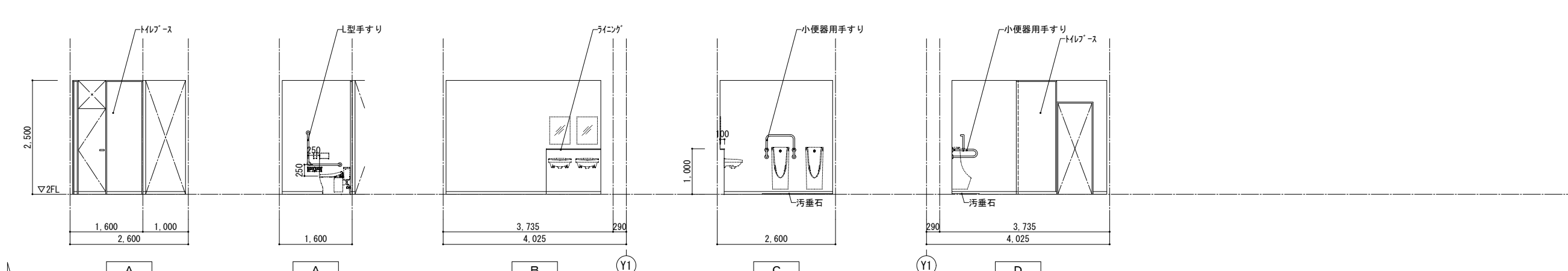
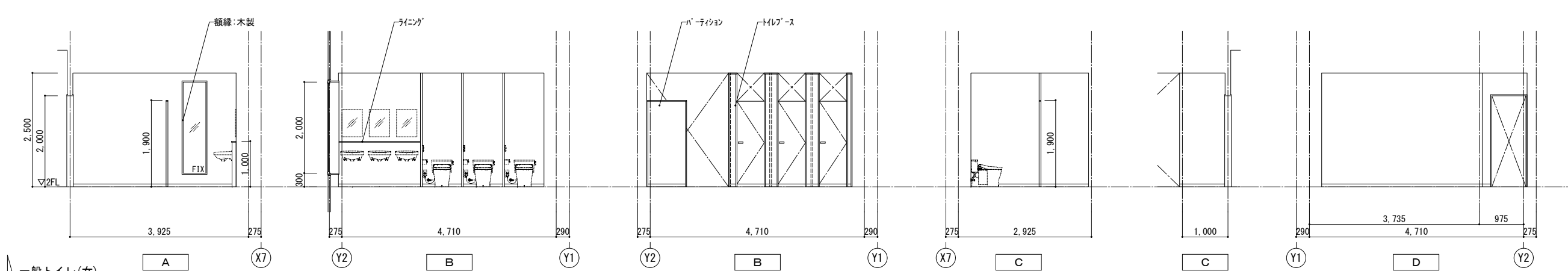
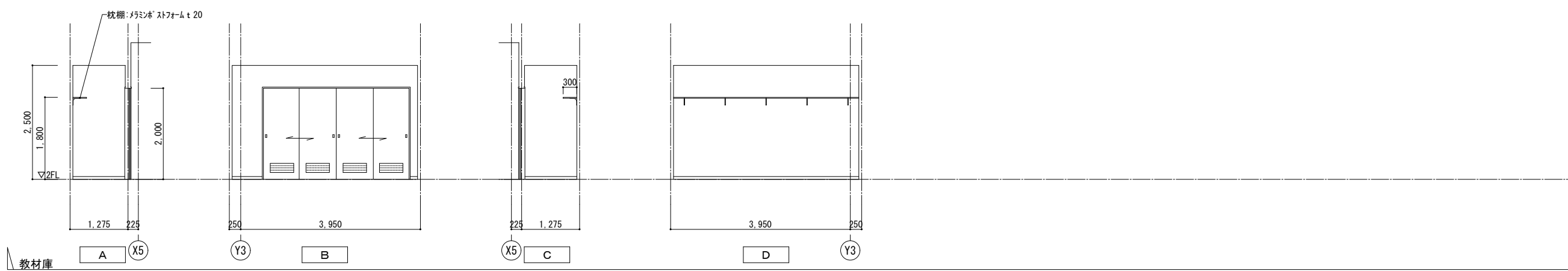
A

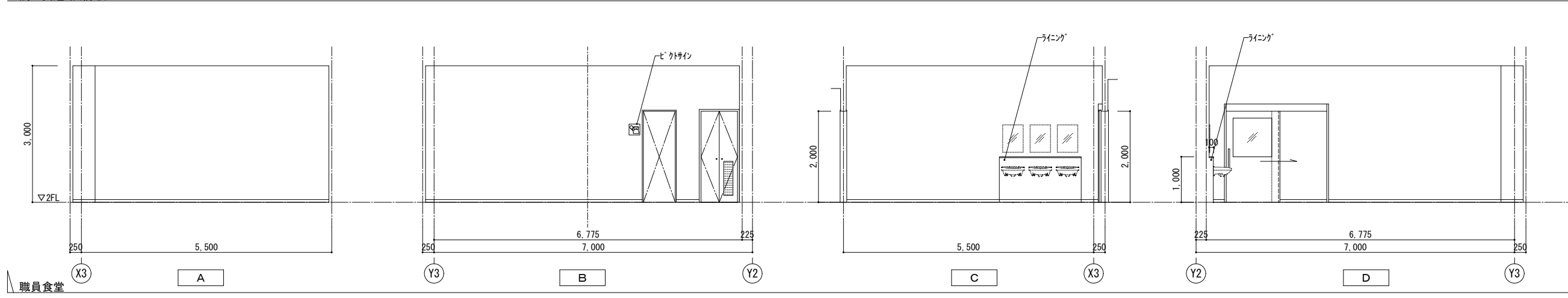
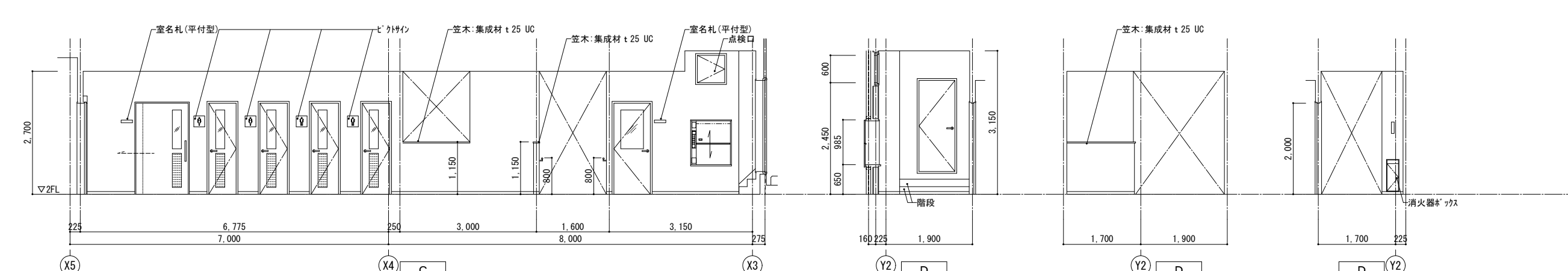
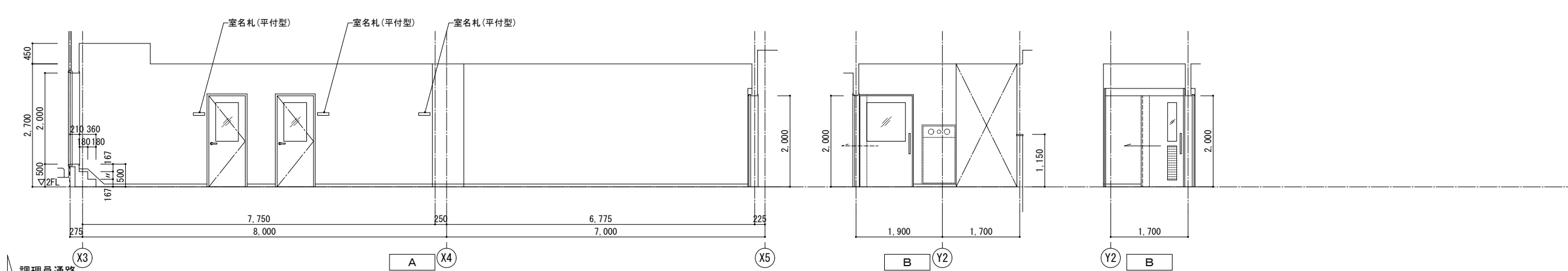
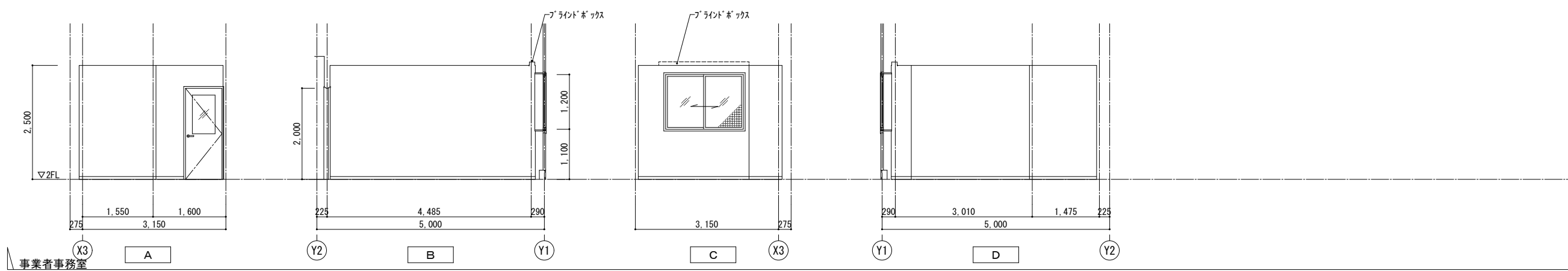
図面番号

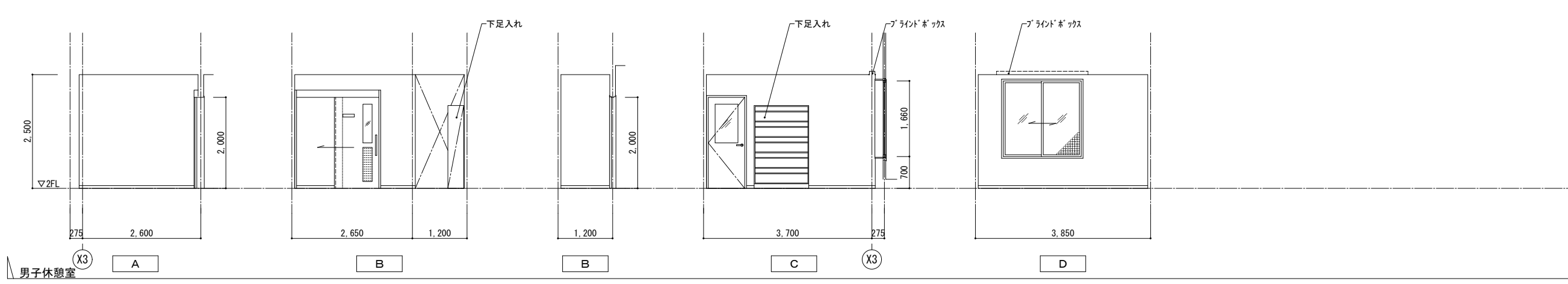
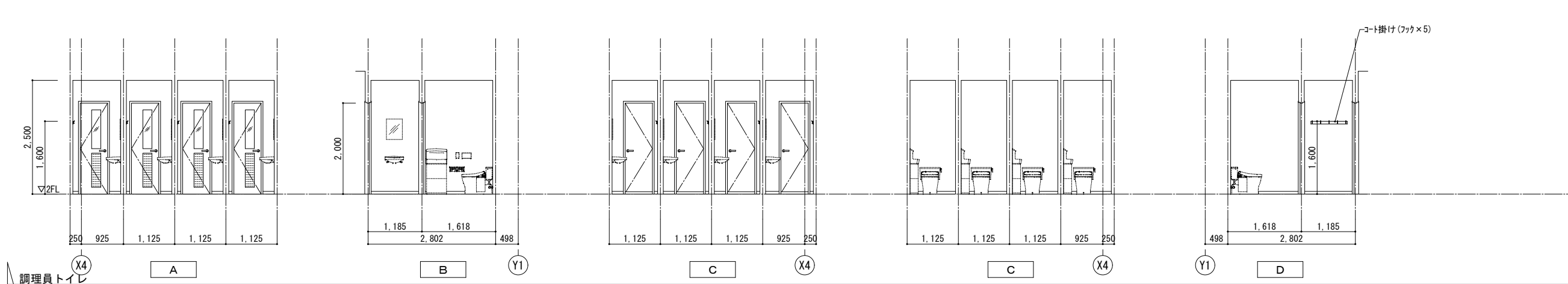
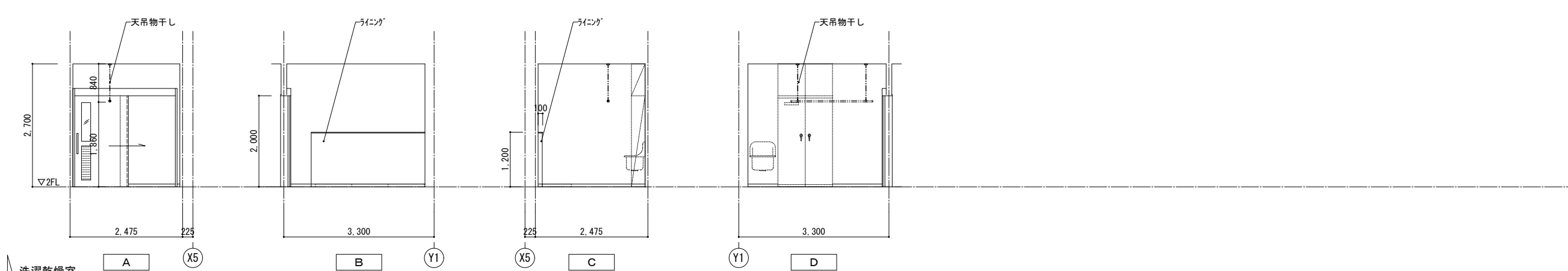
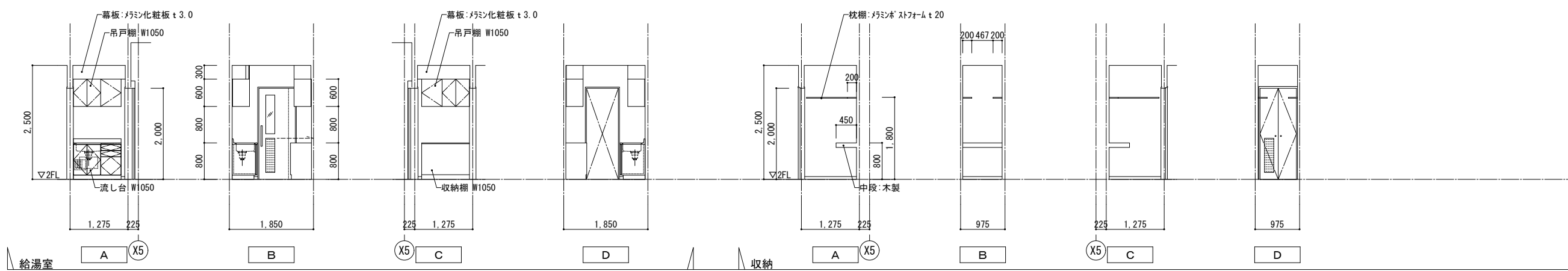
045

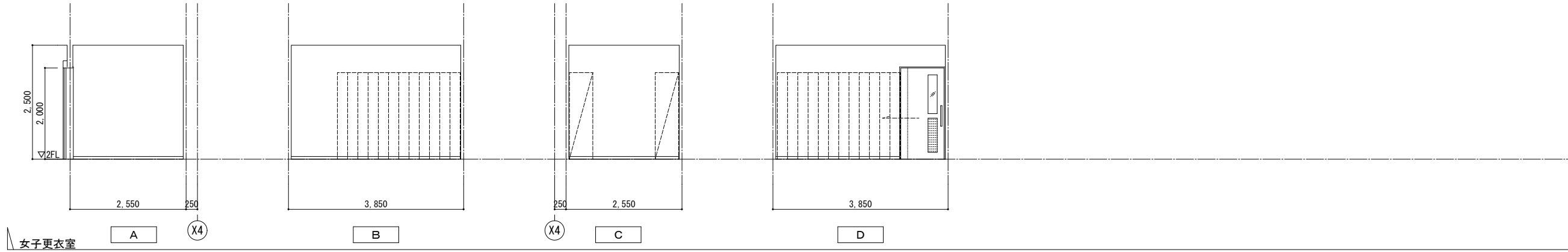
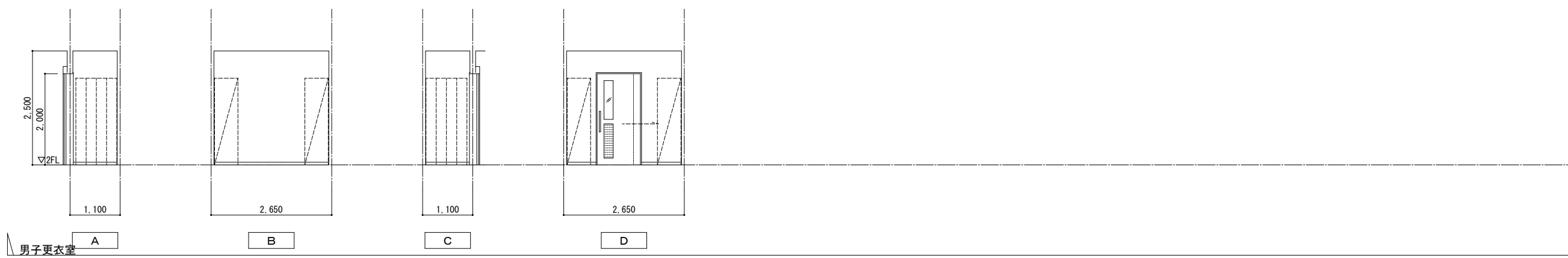
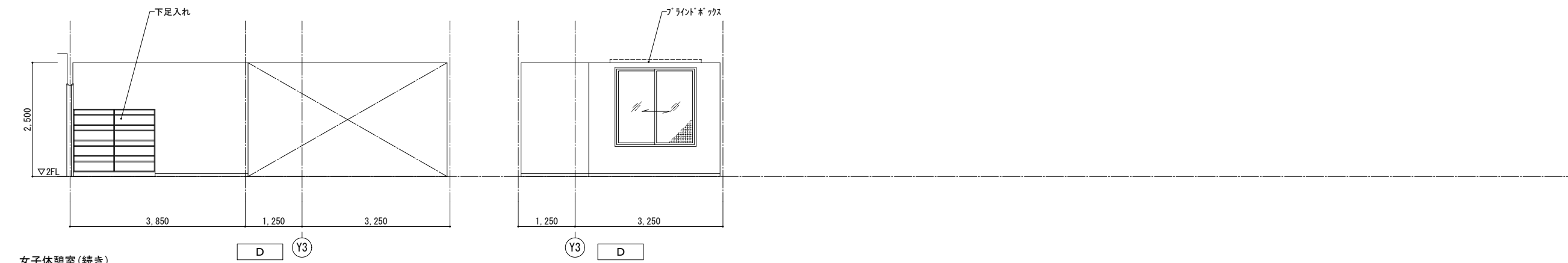
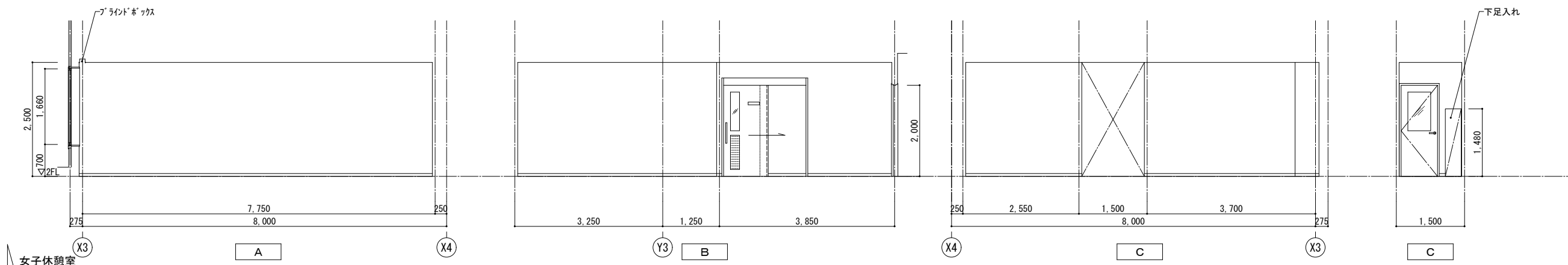











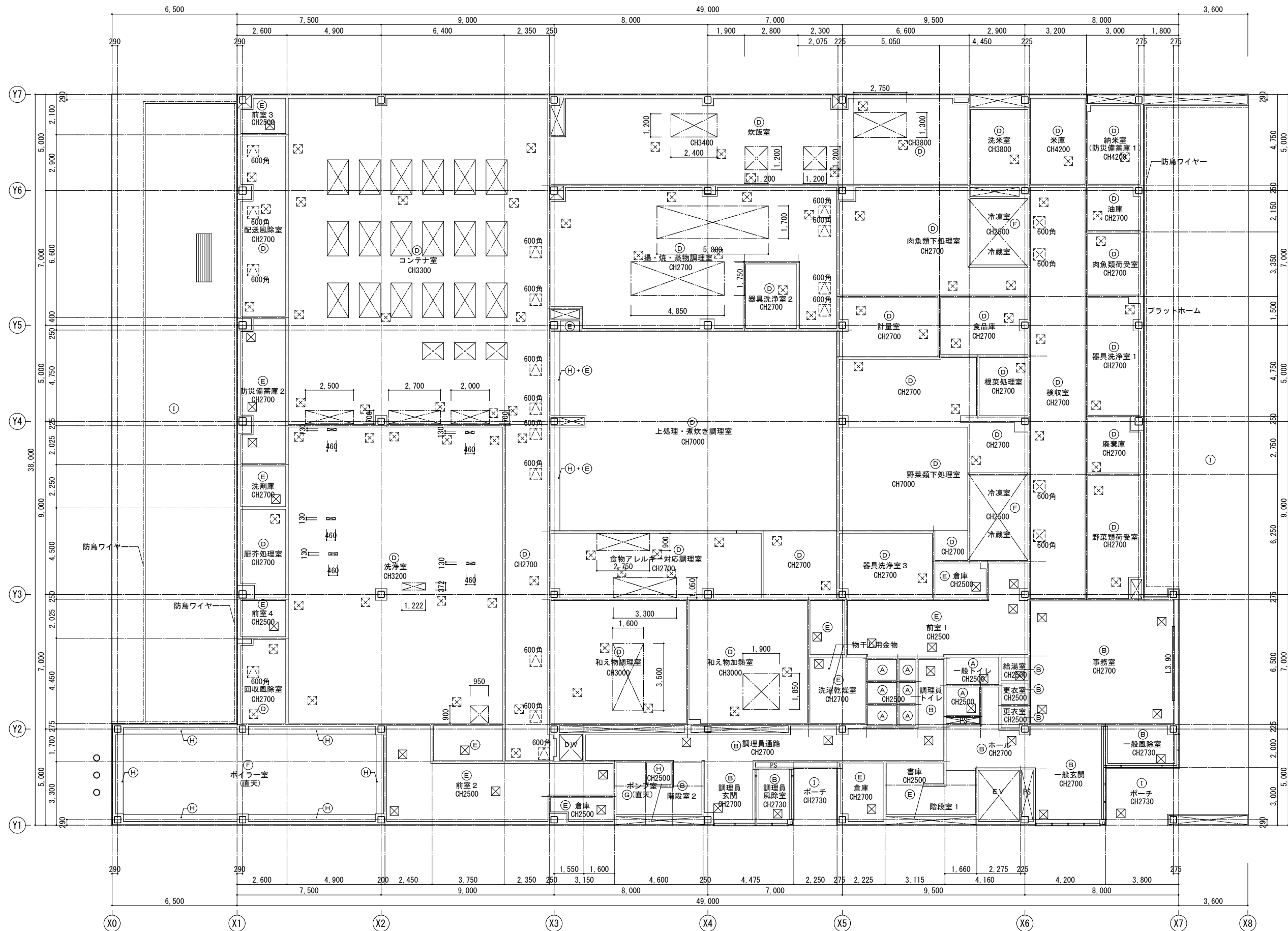



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 検 閱	担 当 製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名 展開図(22)	図面種別 A
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号 051

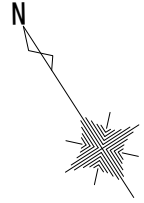


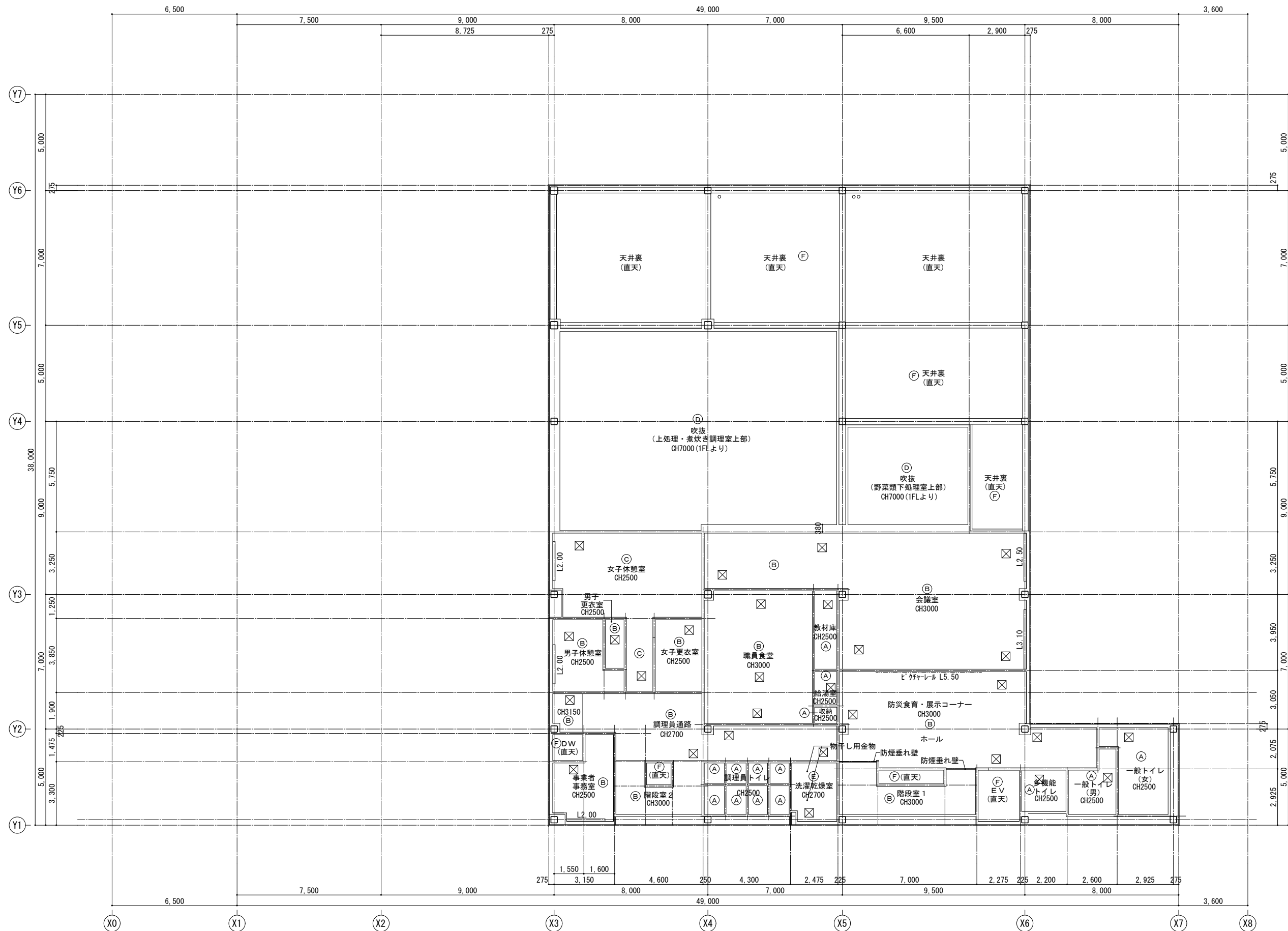
1階天井伏図 S=1/100

凡例	数量
(A) 化粧石膏ボード t9.5	
(B) 石膏ボード t9.5下地 ロックウール吸音板 t9.0	
(C) 不燃石膏ボード t9.5下地 ロックウール吸音板 t9.0	
(D) 防湿イソシアヌレートボード t20.0	
(E) ケイ酸カルシウム板 t6.0(目透し張)EP	
(F) デッキ表し	
(G) 鉄骨階段 SOP 段裏表し	
(H) 石膏ボード t12.5(素地)	
(I) ケイ酸カルシウム板 t6.0(目透し張、 垂鉛製リブ付きジョイナー使用)EP	
ブラインドボックス:アルミ製	
天井点検口(アルミ枠) 450角	-
天井点検口(イソシアヌレートボード用) 600角	17
防鳥ワイヤー	

凡例 (電気・機械設備用)	数量
天井点検口(アルミ枠) 450角	37
天井点検口(イソシアヌレートボード用) 450角	85
天井点検口(イソシアヌレートボード用) 600角	4
排気フード開口	

その他開口補強 (電気・機械設備用)	数量
300×300程度	19
450×450程度	28
600×600程度	2
300×2400程度	0



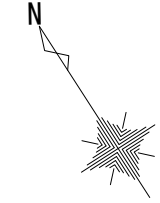


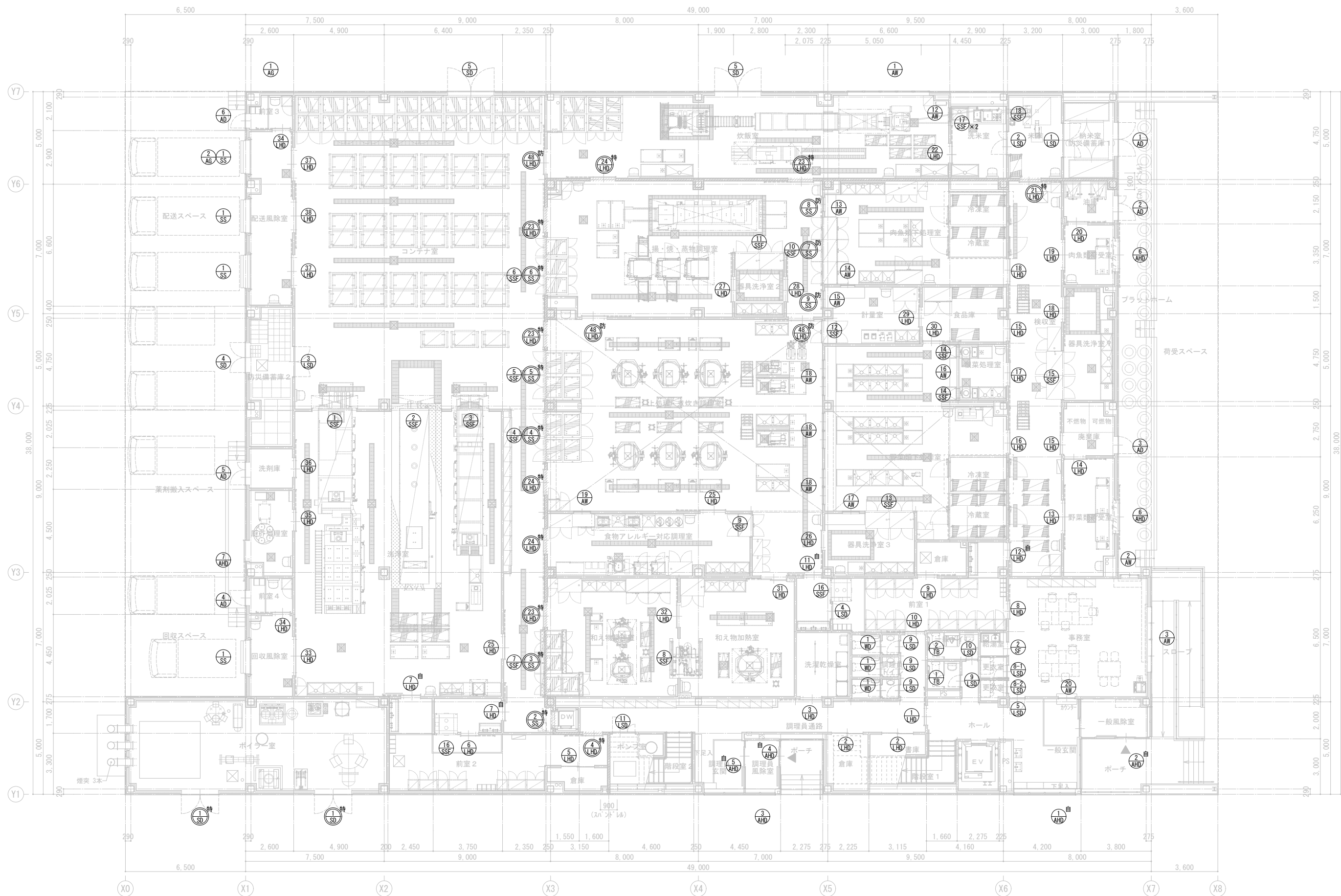
凡例		数量
(A)	化粧石膏ボード t 9.5	
(B)	石膏ボード t 9.5 下地 ロックウール吸音板 t 9.0	
(C)	不燃石膏ボード t 9.5 下地 ロックウール吸音板 t 9.0	
(D)	防湿インシミアシートボード t 20.0	
(E)	ケイ酸カルシウム板 t 6.0 (目透し張) EP	
(F)	デッキ表し	
(G)	鉄骨階段 SOP 段表表し	
(H)	石膏ボード t 12.5 (素地)	
(I)	ケイ酸カルシウム板 t 6.0 (目透し張、 垂鉛張り付きジョイナー使用) EP	
□	ブラインドボックス: アルミ製	
⊠	天井点検口 (アルミ枠) 450角	-

凡例 (電気・機械設備用)		数量
⊠	天井点検口 (アルミ枠) 450角	28


その他開口補強 (電気・機械設備用)		数量
照明	150 × 1250	12
	φ 400	22
制気口	300 × 300 程度	13
	450 × 450 程度	1
	600 × 600 程度	14
	300 × 2400 程度	2

2階天井伏図 S=1/100





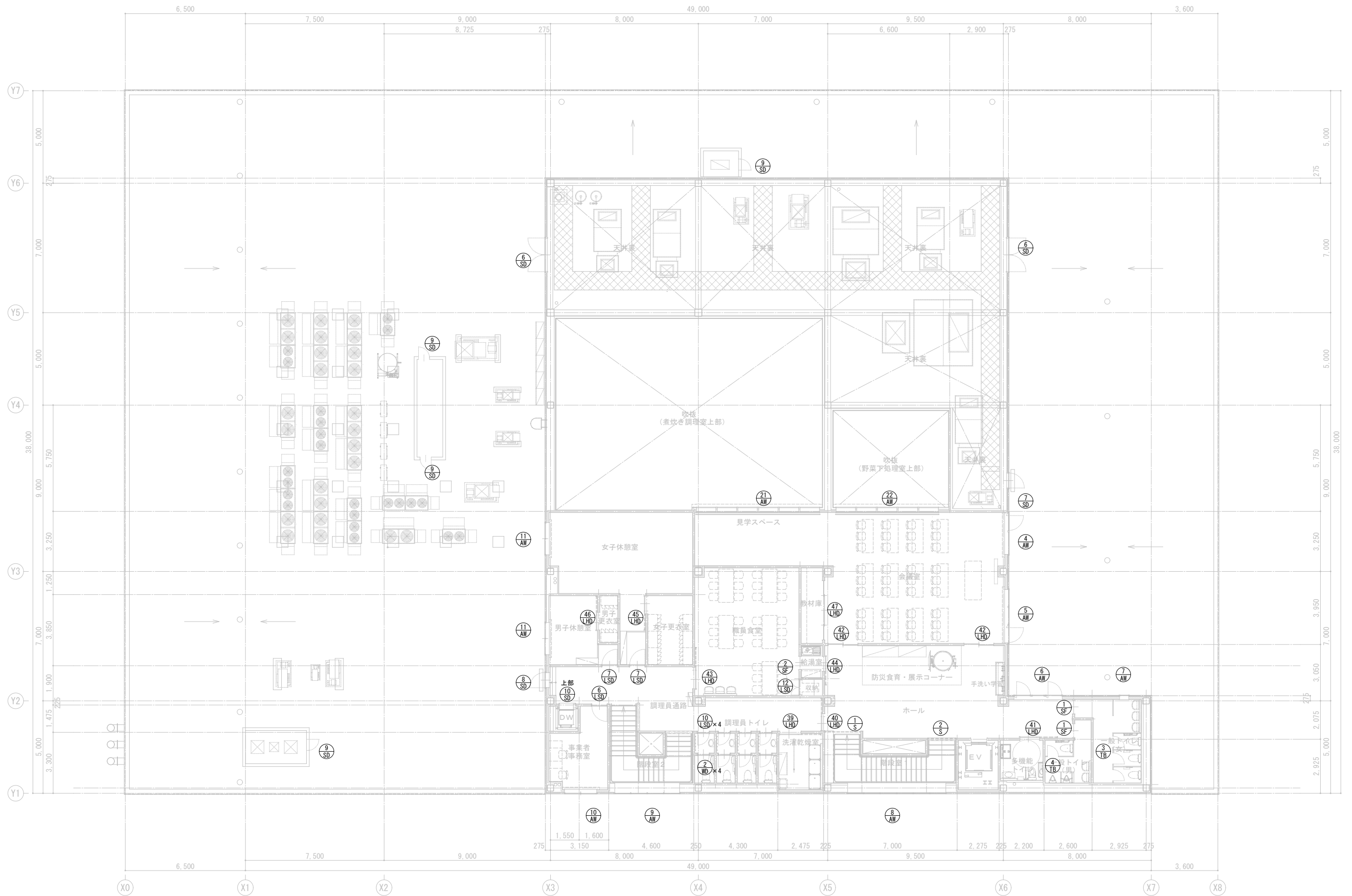
1階建具キープラン S=1/100


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 機 関	担当 製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)

図面名 1階建具キープラン	図面種類 A
	図面番号 054
縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)	



2階建具キープラン S=1/100

 株式会社 松下設計仙台支社 <small>宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128</small>	一級建築士事務所 <small>宮城県知事登録 第22110183号</small>	委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
	管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)	設計部長 松岡 慎 担当 松岡 慎 製図 松岡 慎	

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	2階建具キープラン	図面種別	A
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号	055

符号・型式量	①自 AHD 片引きハンガー自動ドア+袖FIX+ランマFIX	1	②自 AHD 片引きハンガー自動ドア+袖FIX+ランマFIX	1	③ AHD FIX窓+ランマFIX	1	④自 AHD 片引き自動ドア+袖FIX+ランマFIX	1	⑤自 AHD 片引き自動ドア+袖FIX+ランマFIX	1				
姿図														
見込	100		100		100		100		100					
材料・仕上	7mm 二次電解着色		7mm 二次電解着色		7mm 二次電解着色		7mm 二次電解着色		7mm 二次電解着色					
硝子	TG t 5.0+A12+TG t 5.0+ランマ FL t 3.0 (Low-Eガラス)		TG t 5.0+ランマ FL t 3.0		TG t 5.0+A12+TG t 5.0 (Low-Eガラス)		TG t 5.0+ランマ FL t 3.0		TG t 5.0+ランマ FL t 3.0					
金物	シリンダ錠(外)、サムターン(内)、自動ドアエンジン開閉方式:タッチスイッチ(外)、光電式(内) 他付属金物一式		シリンダ錠(外)、電気錠(内)、停電時、火災時:パニックオープン 自動ドアエンジン開閉方式:タッチスイッチ(外)、光電式(内) 他付属金物一式		-		シリンダ錠(外)、電気錠(内)、停電時、火災時:パニックオープン 自動ドアエンジン開閉方式:タッチスイッチ(外)、光電式(内) 他付属金物一式		シリンダ錠(外)、サムターン(内) 自動ドアエンジン開閉方式:タッチスイッチ(外)、光電式(内) 他付属金物一式					
その他	衝突防止シム、額縁:外部 7mm額縁/内部 7mm額縁、防護柵×2		一般風除室		衝突防止シム、額縁:7mm額縁(外、風除室内全て)/7mmサムターン(内)、防護柵×2		調理員風除室		調理員玄関					
室名	一般玄関		一般風除室		調理員風除室、調理員玄関		調理員風除室		調理員玄関					
符号・型式量	⑥自 AHD 引分けハンガーフラッシュ戸(自閉式)	2	⑦自 AHD 片引きハンガーフラッシュ戸(自閉式)	1	⑧ AD 両開きフラッシュ戸	1	⑨ AD 親子開きフラッシュ戸	1	⑩ AD 片開きフラッシュ戸	1				
姿図														
見込	100戸:40		100戸:40		70戸:40		70戸:40		70戸:40					
材料・仕上	7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15		7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15		7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15		7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15		7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15					
硝子	FL t 5.0+A12+FL t 5.0 (Low-Eガラス)		-		-		-		-					
金物	引き棒、ハンガーレール(自閉)、シリンダ錠(外)、サムターン(内) エアー連動		引き棒、ハンガーレール(自閉)、シリンダ錠(外)、サムターン(内)		丁番、フラス落し、レバーハンドル、シリンダ錠(外)、サムターン(内)、ドアローザ、戸当り		丁番、フラス落し、レバーハンドル、シリンダ錠(外)、サムターン(内)、ドアローザ、戸当り		丁番、レバーハンドル、シリンダ錠(外)、サムターン(内)、ドアローザ、戸当り					
その他	額縁:7mm額縁(内)、床見切:SUS製、(エアー連動)		額縁:7mm額縁(内)、床見切:SUS製		額縁:7mm額縁(内)、沓摺:SUS製		額縁:7mm額縁(内)、沓摺:SUS製		額縁:7mm額縁(内)、沓摺:SUS製					
室名	肉魚類荷受室、野菜類荷受室		厨芥処理室		納米室		油庫		廃棄庫					
符号・型式量	⑪ AD 片開きフラッシュ戸	1	⑫ AD 親子開きフラッシュ戸	1	⑬ AD 片開きフラッシュ戸	1	⑭ AD 5連突出し排煙窓(45°)	1	⑮ AD 引違い窓	1	⑯ AD 2連引違い窓	1		
姿図														
見込	70戸:40		70戸:40		70戸:40		70		100		100			
材料・仕上	7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15		7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15		7mm 二次電解着色、断熱パネ:7mm樹脂複合板 t 3.0+芯材発泡スチロール t 15		7mm 二次電解着色		7mm 二次電解着色		7mm 二次電解着色			
硝子	-		-		-		FL t 3.0+A12+FL t 3.0 (Low-Eガラス)		FL t 5.0+A12+FL t 5.0 (Low-Eガラス)		FL t 5.0+A12+FL t 5.0 (Low-Eガラス)			
金物	丁番、レバーハンドル、シリンダ錠(外)、サムターン(内)、ドアローザ、戸当り		丁番、フラス落し、レバーハンドル、シリンダ錠(外)、サムターン(内)、ドアローザ、戸当り		丁番、レバーハンドル、シリンダ錠(外)、サムターン(内)、ドアローザ、戸当り		排煙パネ(埋込式)、水切:7mm製 他付属金物一式		クレット、戸車、水切:7mm製 他付属金物一式		クレット、戸車、水切:7mm製 他付属金物一式			
その他	額縁:7mm額縁(内)、沓摺:SUS製		額縁:7mm額縁(内)、沓摺:SUS製		額縁:7mm額縁(内)、沓摺:SUS製		額縁:4方7mm額縁(内)勾配下枠付、網戸		額縁:4方7mm額縁(内)、網戸		額縁:4方7mm額縁(内)、網戸			
室名	前室4		洗剤庫		前室3		炊飯室		事務室		事務室			
建具凡例	AHD: アルミ製引戸 AD: アルミ製ドア AW: アルミ製窓 AG: アルミ製ガラリ DS: ドックシェルター SS: 鋼製シャッター SD: 鋼製ドア SF: 鋼製枠 SSW: ステンレス製窓 SSF: ステンレス製枠 LSD: 軽量鋼製ドア LHD: 軽量鋼製引戸 WD: 木製ドア TB: トイレブース		特定防火設備 防火設備 防自 自動ドア		ガラス凡例 FL: 透明フロートガラス F: 型板ガラス TG: 透明強化ガラス FTG: 型板強化ガラス FL+A12+FL*: 複層ガラス FW: 網入磨き板ガラス PW: 網入型板ガラス		備考 ・クレセント位置はFL+1500以下とする。 ・ドアローザは特記なき限りストッパー付とする。 ・開き戸は特記なき限り戸当りを取付ける。 ・枠見込は取合厚+10とする。 ・マスターキーは全て制作する。		・特記なき排煙オペレータはワンタッチ式とする。 ・特記なき排煙オペレータ装置は埋込式とする。 ・外側排煙窓の開閉角度は90°とする。		・自動ドアの非接触スイッチ位置は要打合せとする。 ・光電センサーの感知範囲は要打合せとする。 ・OSの操作機構等、要打合せとする。 ・建具について、運用方法・整備方法等と一緒に再協議すること。 ・ガラリ・点検口は設備工事と寸法・位置等協議すること。		電気錠 ・テンキー式とする。 ・一般玄関系統、調理員玄関系統の2系統とする(系統を分ける)。	
株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)										図面名 建具表(1) 図面番号 縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)		図面種類 A 図面番号 056		

符号・型式 数	④ AW	縦出し窓+F I X窓+突出し排煙窓(45°)	1	⑤ AW	縦出し窓+F I X窓+突出し排煙窓(45°)	1	⑥ AW	縦出し窓+F I X窓+突出し排煙窓(45°)	1	⑦ AW	F I X窓	1	⑧ AW	6連F I X窓	1	⑨ AW	3連F I X窓	1											
窓 図																													
見 込	70			70			70			100			100																
材 料・仕 上	7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色																
硝 子 金 物	FL t 5.0+A12+FL t 5.0 ラン: FL t 3.0+A12+FL t 3.0 (Low-Eガラス)			FL t 5.0+A12+FL t 5.0 ラン: FL t 3.0+A12+FL t 3.0 (Low-Eガラス)			FL t 5.0+A12+FL t 5.0 ラン: FL t 3.0+A12+FL t 3.0 (Low-Eガラス)			F t 6.0+A12+F t 6.0 (Low-Eガラス)			FL t 5.0+A12+FL t 5.0 (Low-Eガラス)																
金 物	グレン締り、排煙ホレタ(埋込式)、水切: 7#製 他付属金物一式			グレン締り、排煙ホレタ(埋込式)、水切: 7#製 他付属金物一式			グレン締り、排煙ホレタ(埋込式)、水切: 7#製 他付属金物一式			水切: 7#製			水切: 7#製																
そ の 他 室 名	額縁: 4方7#額縁(内)、網戸 会議室			額縁: 4方7#額縁(内)、網戸 会議室			額縁: 4方7#額縁(内)、網戸 防災食育・展示コーナー			額縁: 4方7#額縁(内)、網戸 2階一般トイレ(女性)			額縁: 4方7#額縁(内) 階段室1																
符号・型式 数	⑩ AW	引違い窓	1	⑪ AW	引違い窓	2	⑫ AW	上げ下げ窓	1	⑬ AW	上げ下げ窓	1	⑭ AW	上げ下げ窓	1	⑮ AW	F I X窓	1	⑯ AW	上げ下げ窓	1								
窓 図																													
見 込	100			100			70			70			70			70			70										
材 料・仕 上	7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色										
硝 子 金 物	FL t 5.0+A12+FL t 5.0 (Low-Eガラス)			FL t 5.0+A12+FL t 5.0 (Low-Eガラス)			FL t 5.0			FL t 5.0			FL t 5.0			FL t 5.0			FL t 5.0										
金 物	グレン締り、戸車、水切: 7#製 他付属金物一式			グレン締り、戸車、水切: 7#製 他付属金物一式			把手 他付属金物一式			把手 他付属金物一式			把手 他付属金物一式			把手 他付属金物一式			把手 他付属金物一式										
そ の 他 室 名	額縁: 4方7#額縁(内)、網戸 事業者事務室			額縁: 4方7#額縁(内)、網戸 男子休憩室、女子休憩室			額縁: 4方7#額縁(内外)、下レールなし 洗米室			額縁: 4方7#額縁(内外)、下レールなし 肉魚類下処理室			額縁: 4方7#額縁(内外)、下レールなし 計量室			額縁: 4方7#額縁(内外)、下レールなし 計量室			額縁: 4方7#額縁(内外) 根菜処理室										
符号・型式 数	⑰ AW	2連上げ下げ窓	3	⑱ AW	上げ下げ窓	1	⑲ AW	上げ下げ窓	1	⑳ AW	F I X窓	1	㉑ AW	F I X窓	1	㉒ AW	F I X窓	1											
窓 図																													
見 込	70			70			70			100			100																
材 料・仕 上	7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色			7# 二次電解着色													
硝 子 金 物	FL t 5.0			FL t 5.0			FL t 5.0			TG t 8.0 (飛散防止フィルム貼)			TG t 8.0 (飛散防止フィルム貼)																
金 物	把手 他付属金物一式			把手 他付属金物一式			把手 他付属金物一式			-			-																
そ の 他 室 名	額縁: 4方7#額縁(内外)、下レールなし 野菜類下処理室			額縁: 4方7#額縁(内外)、下レールなし 食物アレルギー対応調理室			額縁: 4方7#額縁(内外)、下レールなし 事務室			額縁: 4方7#額縁(内外)、結露受(調理室側) 2階 会議室			額縁: 4方7#額縁(内外)、結露受(調理室側) 2階 会議室																
符号・型式 数	⑳	軽量電動シャッター	4	㉑	特 重量シャッター(特定防火設備)	1	㉒	特 重量シャッター(特定防火設備)	1	㉓	特 重量シャッター(特定防火設備)	1	㉔	特 重量シャッター(特定防火設備)	1	㉕	特 重量シャッター(特定防火設備)	1											
窓 図																													
見 込	スラット t 0.5			スラット t 1.6			スラット t 1.6			スラット t 1.6			スラット t 1.6																
材 料・仕 上	高耐食か鋼板			鋼製 焼付塗装			鋼製 焼付塗装			鋼製 焼付塗装			鋼製 焼付塗装																
硝 子 金 物	-			-			-			-			-																
金 物	ガイドレール・マグサ・底板: 7#製、押印ボックス 電動開閉装置、障害物検知装置			ガイドレール・マグサ・底板: SUS製 手動開閉装置、防火設備降検座板			ガイドレール・マグサ・底板: SUS製 手動開閉装置、防火設備降検座板、避難時停止装置、			ガイドレール・マグサ・底板: SUS製 手動開閉装置、防火設備降検座板、避難時停止装置、			ガイドレール・マグサ・底板: SUS製 手動開閉装置、防火設備降検座板、避難時停止装置、																
そ の 他 室 名	天井内納まり、三方枠: 見付 30 鋼製 t 1.6 SOP 配送風除室、回収風除室			危険防止用連動中継器、自動閉鎖装置、天井内納まり ダムウエーター			危険防止用連動中継器、自動閉鎖装置、天井内納まり コンテナ室			危険防止用連動中継器、自動閉鎖装置、天井内納まり コンテナ室			危険防止用連動中継器、自動閉鎖装置、天井内納まり コンテナ室																
建具凡例	AHD: アルミ製引戸 AD: アルミ製ドア AW: アルミ製窓 AG: アルミ製ガラリ DS: ドックシェルター			SS: 鋼製シャッター SD: 鋼製ドア SF: 鋼製枠 SSW: ステンレス製窓 SSF: ステンレス製枠			LSD: 軽量鋼製ドア LHD: 軽量鋼製引戸 WD: 木製ドア TB: トイレブース			特 特定防火設備 防 防火設備 自 自動ドア			ガラス凡例 FL: 透明フロートガラス F: 型板ガラス TG: 透明強化ガラス FTG: 型板強化ガラス FL+A12+FL*: 複層ガラス			備考 ・クレセント位置はFL+1500以下とする。 ・ドアクローザは特記なき限りストッパー付とする。 ・開き戸は特記なき限り戸当りを取付ける。 ・枠見込は取合う壁厚+10とする。 ・マスターキーは全て制作する。			・特記なき排煙ホレタはワンタッチ式とする。 ・特記なき排煙ホレタ装置は埋込式とする。 ・外側し排煙窓の開閉角度は90°とする。			・自動ドアの非接触スイッチ位置は要打合せとする。 ・光電センサーの感知範囲は要打合せとする。 ・OSの操作機構等、要打合せとする。 ・建具について、運用方法・整備方法等と一緒に再協議すること。 ・ガラリ・点検口は設備工事と寸法・位置等協議すること。							
株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)										設計部長 松岡 敬典 2023年3月24日 設計 松岡 敬典 図面 松岡 敬典										図面名 建具表(2) 図面種類 A 図面番号 縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小) 057									

符号・型式数	⑥特 重量シャッター(特定防火設備) 建告第1369号 建告第2563号 1	⑧防 重量シャッター(防火設備) 建告第1360号 1	⑧防 重量シャッター(防火設備) 建告第1360号 各 1	①特 両開きフラッシュ戸(特定防火設備) 建告第1360号 建告第2563号 2	④ 両開きフラッシュ戸 1
姿 図					
見 込	スラット t1.6	スラット t1.6	スラット t1.6	245 戸:40	250 戸:40
材料・仕上	鋼製 焼付塗装	鋼製 焼付塗装	鋼製 焼付塗装	鋼製 t2.3 焼付塗装	鋼製 t2.3 焼付塗装
硝 子	—	—	—	—	—
金 物	ガイドレール・マグサ・座板:SUS製 手動閉鎖装置、防火設備降検座板、避難時停止装置、	ガイドレール・マグサ・座板:SUS製 手動閉鎖装置、防火設備降検座板、避難時停止装置、	ガイドレール・マグサ・座板:SUS製、下枠:SUS製 手動閉鎖装置、防火設備降検座板	丁番、フラス落し、レバーハンドル、シリンダ-錠(外)、サムターン(内) ドアローザ、戸当り、沓摺:SUS製 t2.0(エフイ)	丁番、フラス落し、レバーハンドル、シリンダ-錠(外)、サムターン(内) ドアローザ、戸当り、沓摺:SUS製 t2.0(エフイ)
その他	危害防止用連動中継器、自動閉鎖装置、天井内納まり	危害防止用連動中継器、自動閉鎖装置、天井内納まり	危害防止用連動中継器、自動閉鎖装置、天井内納まり	額縁:3方鋼製額縁(内) t1.6 SOP、扉上水切(外):SUS製	額縁:3方鋼製額縁(内) t1.6 SOP、扉上水切(外):SUS製
室 名	コンテナ室	揚・焼・蒸物調理室	揚・焼・蒸物調理室	ボイラー室	防災備蓄庫 2

符号・型式数	⑤ 両開きフラッシュ戸 2	⑥ 両開きフラッシュ戸 2	⑦ 片開きフラッシュ戸 1	⑧ 片開きフラッシュ戸 1	⑨ 点検口 4	⑩ 点検口 1	① 三方枠 2	② 三方枠 2
姿 図								
見 込	250 戸:50	250 戸:40	250 戸:40	250 戸:40	145 戸:25	145 戸:25	145 見付:25	145 見付:25
材料・仕上	鋼製 t2.3 焼付塗装	鋼製 t2.3 焼付塗装	鋼製 t1.6 焼付塗装	鋼製 t1.6 焼付塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6 焼付塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6 焼付塗装	鋼製 t1.6 SOP	鋼製 t1.6 SOP
硝 子	—	—	—	—	—	—	—	—
金 物	丁番、フラス落し、レバーハンドル、シリンダ-錠(外)、サムターン(内) ドアローザ、戸当り、沓摺:SUS製 t2.0(エフイ)	丁番、フラス落し、レバーハンドル、シリンダ-錠(外)、サムターン(内) ドアローザ、戸当り、沓摺:SUS製 t2.0(エフイ)	丁番、レバーハンドル、シリンダ-錠(外)、サムターン(内)、 ドアローザ、戸当り、沓摺:SUS製 t2.0	丁番、レバーハンドル、シリンダ-錠(外)、サムターン(内)、 ドアローザ、戸当り、沓摺:SUS製 t2.0	丁番、平面ハンドル、点検口錠	丁番、平面ハンドル、点検口錠	—	—
その他	額縁:3方鋼製額縁(内) t1.6 SOP、扉上水切(外):SUS製	額縁:3方鋼製額縁(内) t1.6 SOP、扉上水切(外):SUS製	額縁:3方鋼製額縁(内) t1.6 SOP	額縁:3方鋼製額縁(内) t1.6 SOP	—	—	—	—
室 名	コンテナ室、炊飯室	2階 東面、西面	2階 東面	扉上水切(外):SUS製 2階 調理員通路	扉上水切(外):SUS製 屋上 ハト小屋	ダムウエーター上部	2階 一般トイレ(男性、女性)	給湯室

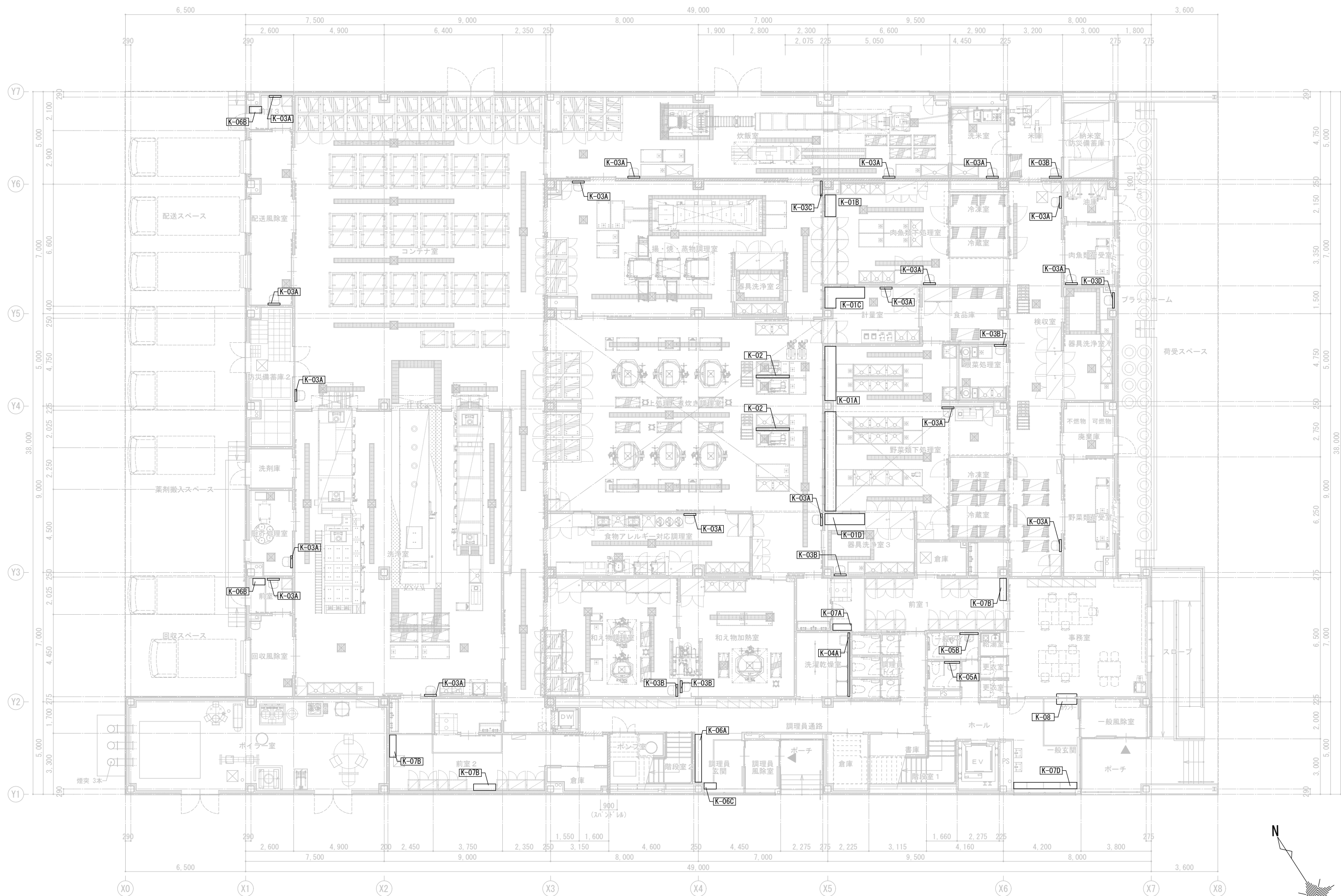
符号・型式数	③ 三方枠 1	④ 三方枠 1	⑤ 三方枠 1	⑥ 三方枠 1	⑦ 三方枠 1	⑧ 三方枠 1	⑨ 三方枠 1	⑩ 三方枠 1	⑪ 三方枠 1	⑫ 三方枠 1	⑬ 三方枠 1	⑭ 三方枠 2	⑮ 三方枠 1	⑯ 三方枠 2	⑰ 三方枠 2	⑱ 三方枠 1		
姿 図																		
見 込	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	180 見付:25	180 見付:25	180 見付:25	180 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	157 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	
材料・仕上	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	
硝 子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
金 物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
室 名	洗浄室	洗浄室	洗浄室	上処理・煮炊き調理室	上処理・煮炊き調理室	揚・焼・蒸物調理室	和え物調理室	和え物調理室	和え物調理室	揚・焼・蒸物調理室	器具洗浄室 2	計量室	器具洗浄室 3	根菜処理室	器具洗浄室 1	前室 1、前室 2	洗米室	米庫

符号・型式数	① 三方枠 1	② 三方枠 1	③ 三方枠 1	④ 三方枠 1	⑤ 三方枠 1	⑥ 三方枠 1	⑦ 三方枠 2	⑧ 三方枠 1	⑨ 三方枠 2	⑩ 三方枠 2	⑪ 三方枠 1
姿 図											
見 込	160 見付:25	157 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25	160 見付:25
材料・仕上	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5	SUS304 t1.5
硝 子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金 物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
室 名	上処理・煮炊き調理室	揚・焼・蒸物調理室	器具洗浄室 2	計量室	器具洗浄室 3	根菜処理室	器具洗浄室 1	前室 1、前室 2	洗米室	米庫	米庫


建具凡例
 AHD: アルミ製引戸 SS: 鋼製シャッター LSD: 軽量鋼製ドア ⑥特 特定防火設備
 AD: アルミ製ドア SD: 鋼製ドア LHD: 軽量鋼製引戸 ⑧防 防火設備
 AW: アルミ製窓 SF: 鋼製枠 WD: 木製ドア ⑨防 防火設備
 AG: アルミ製ガラリ SSW: ステンレス製窓 TB: トイレブース ⑩防 防火設備
 DS: ドックシェルター SSF: ステンレス製枠 ⑪防 防火設備
 ⑫防 防火設備
 ⑬防 防火設備
 ⑭防 防火設備
 ⑮防 防火設備
 ⑯防 防火設備
 ⑰防 防火設備
 ⑱防 防火設備

ガラス凡例
 FL: 透明フロートガラス FW: 網入磨き板ガラス 備考
 F: 型板ガラス PW: 網入型板ガラス ・クレセント位置はFL+1500以下とする。
 TG: 透明強化ガラス ・ドアクローザは特記なき限りストッパー付とする。
 FTG: 型板強化ガラス ・特記なき排煙オペレータ装置は埋込式とする。
 FL+A12+FL*: 複層ガラス ・開き戸は特記なき限り戸当りを取付ける。
 ・特記なき排煙窓の閉鎖角度は90°とする。
 ・枠見込は取合う壁厚+10とする。
 ・マスターキーは全て制作する。
 ・自動ドアの非接触スイッチ位置は要打合せとする。
 ・光電センサーの感知範囲は要打合せとする。
 ・OSの操作機構等、要打合せとする。
 ・建具について、運用方法・整備方法等と一緒に再協議すること。
 ・ガラリ・点検口は設備工事と寸法・位置等協議すること。

符号・型式 数量	① LSD 両開きフラッシュ戸 1	② LSD 親子開きフラッシュ戸 1	③ LSD 両開きフラッシュ戸 1	④ LSD 片開きフラッシュ戸 1	⑤ LSD 片開きフラッシュ戸 1	⑥ LSD 片開きフラッシュ戸 1	
図面							
見込	157戸:40	157戸:40	157戸:40	157戸:40	145戸:40	145戸:40	
材料・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	
硝子	FL t 5.0 (飛散防止フィルム貼)	FL t 5.0 (飛散防止フィルム貼)	FL t 5.0 (飛散防止フィルム貼)	FL t 5.0 (飛散防止フィルム貼)	FL t 5.0 (飛散防止フィルム貼)	FL t 5.0 (飛散防止フィルム貼)	
金物	丁番, フランス落し, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, フランス落し, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, フランス落し, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0	
その他	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	
室名	納米室	洗面室	防災備蓄庫 2	前室 1	事務室	事業者事務室	
符号・型式 数量	⑦ LSD 片開きフラッシュ戸 2	⑧-① LSD ⑧-② LSD 片開きフラッシュ戸 各1	⑨ LSD 片開きフラッシュ戸 4	⑩ LSD 片開きフラッシュ戸 5	⑪ LSD 親子開きフラッシュ戸 1	⑫ LSD 両開きフラッシュ戸 1	
図面							
見込	145戸:40	145戸:40	145戸:40	145戸:40	145戸:40	145戸:40	
材料・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	溶融亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 t 0.6 芯材: A'-B'-C7 枠: 鋼製 t 1.6 SOP	
硝子	F t 4.0 (飛散防止フィルム貼)	-	F t 4.0 (飛散防止フィルム貼)	F t 4.0 (飛散防止フィルム貼)	-	-	
金物	丁番, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, 番摺: SUS製 t 2.0, ガリ	丁番, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, ガリ, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り, ガリ, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, フランス落し, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) 戸当り, ガリ, 番摺: SUS製 t 2.0	丁番, フランス落し, レバーハンドル, シリカ錠(外), サムターン(内) 戸当り, ガリ, 番摺: SUS製 t 2.0	
その他	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	明かり窓, 額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	額縁: 3方鋼製額縁(内外) t 1.6 SOP	
室名	女子休憩室, 男子休憩室	1階 更衣室	1階 一般用トイレ(女性), 1階 調理員トイレ	1階 一般用トイレ(男性), 2階 調理員トイレ	階段室 2	2階 収納	
符号・型式 数量	⑬ AG ガラリ(固定) 1	⑭ AG ガラリ(固定) 1	⑮ S 防煙垂れ壁 1	⑯ S 防煙垂れ壁 1	⑰ WD 片開きフラッシュ戸 3	⑱ WD 片開きフラッシュ戸 4	⑲ TB トイレブース 1
図面							
見込	100	100	40	40	145戸:40	145戸:40	40
材料・仕上	7M	7M	透明不燃シート: グラスファイバー 大臣認定(NM-4980)	透明不燃シート: グラスファイバー 大臣認定(NM-4980)	防火化粧板	防火化粧板	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7
硝子	-	-	-	-	-	-	-
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	丁番, レバーハンドル, 表示錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り	丁番, レバーハンドル, 表示錠(外), サムターン(内) ドアホウザ, 戸当り	巾木: SUS製 付属金物一式
その他	7Mシングル(四方), 防虫網: SUS製	7Mシングル(四方), 防虫網: SUS製	上レール・端部レールカバー: 7M製	上レール・端部レールカバー: 7M製	額縁: 3方木製額縁 SOP	額縁: 3方木製額縁 SOP	戸当り帽子掛け
室名	前室 3 (天井裏)	配送風除室(軒天)	2階ホール	2階ホール	1階 調理員トイレ	2階 調理員トイレ	1階 一般トイレ(女)
符号・型式 数量	⑳ TB トイレブース 1	㉑ TB トイレブース 1	㉒ TB トイレブース 1	㉓ TB トイレブース 1	㉔ TB トイレブース 1	㉕ TB トイレブース 1	㉖ TB トイレブース 1
図面							
見込	40	40	40	40	40	40	40
材料・仕上	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7	防火化粧板 フラッシュ 芯材: A'-B'-C7
硝子	-	-	-	-	-	-	-
金物	巾木: SUS製 付属金物一式	巾木: SUS製 付属金物一式	巾木: SUS製 付属金物一式	巾木: SUS製 付属金物一式	巾木: SUS製 付属金物一式	巾木: SUS製 付属金物一式	巾木: SUS製 付属金物一式
その他	戸当り帽子掛け	戸当り帽子掛け	戸当り帽子掛け	戸当り帽子掛け	戸当り帽子掛け	戸当り帽子掛け	戸当り帽子掛け
室名	1階 一般トイレ(男)	2階 一般トイレ(女)	2階 一般トイレ(女)	2階 一般トイレ(女)	2階 一般トイレ(女)	2階 一般トイレ(女)	2階 一般トイレ(男)
<p>建具凡例 AHD: アルミ製引戸 SS: 鋼製シャッター LHD: 軽量鋼製引戸 AD: アルミ製ドア SD: 鋼製ドア AW: アルミ製窓 SF: 鋼製枠 AG: アルミ製ガラリ SSW: ステンレス製窓 DS: ドックシェルター SSF: ステンレス製枠</p> <p>特 SD: 特定防火設備 防 SD: 防火設備 自 HD: 自動ドア</p> <p>ガラス凡例 FL: 透明フロートガラス FW: 網入磨き板ガラス F: 型板ガラス PW: 網入型板ガラス TG: 透明強化ガラス FTG: 型板強化ガラス FL+A12+FL*: 複層ガラス</p> <p>備考 ・クレセント位置はFL+1500以下とする。 ・ドアクローザは特記なき限りストッパー付とする。 ・開き戸は特記なき限り戸当りを取付ける。 ・枠見込は取合厚+10とする。 ・マスターキーは全て制作する。</p> <p>・特記なき排煙オペレータはワンタッチ式とする。 ・特記なき排煙オペレータ装置は埋込式とする。 ・外側排煙窓の開閉角度は90°とする。</p> <p>・自動ドアの非接触スイッチ位置は要打合せとする。 ・光電センサーの感知範囲は要打合せとする。 ・OSの操作機構等、要打合せとする。 ・建具について、運用方法・整備方法等と一緒に再協議すること。 ・ガラリ・点検口は設備工事と寸法・位置等協議すること。</p>							
<p>株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>				<p>委託番号 22-127S 2023年3月24日 設計部長 松岡 担当 製図</p>		<p>図面名 建具表(6) 図面番号 S=1:50(A3版 50%縮小) 図面種類 061</p>	



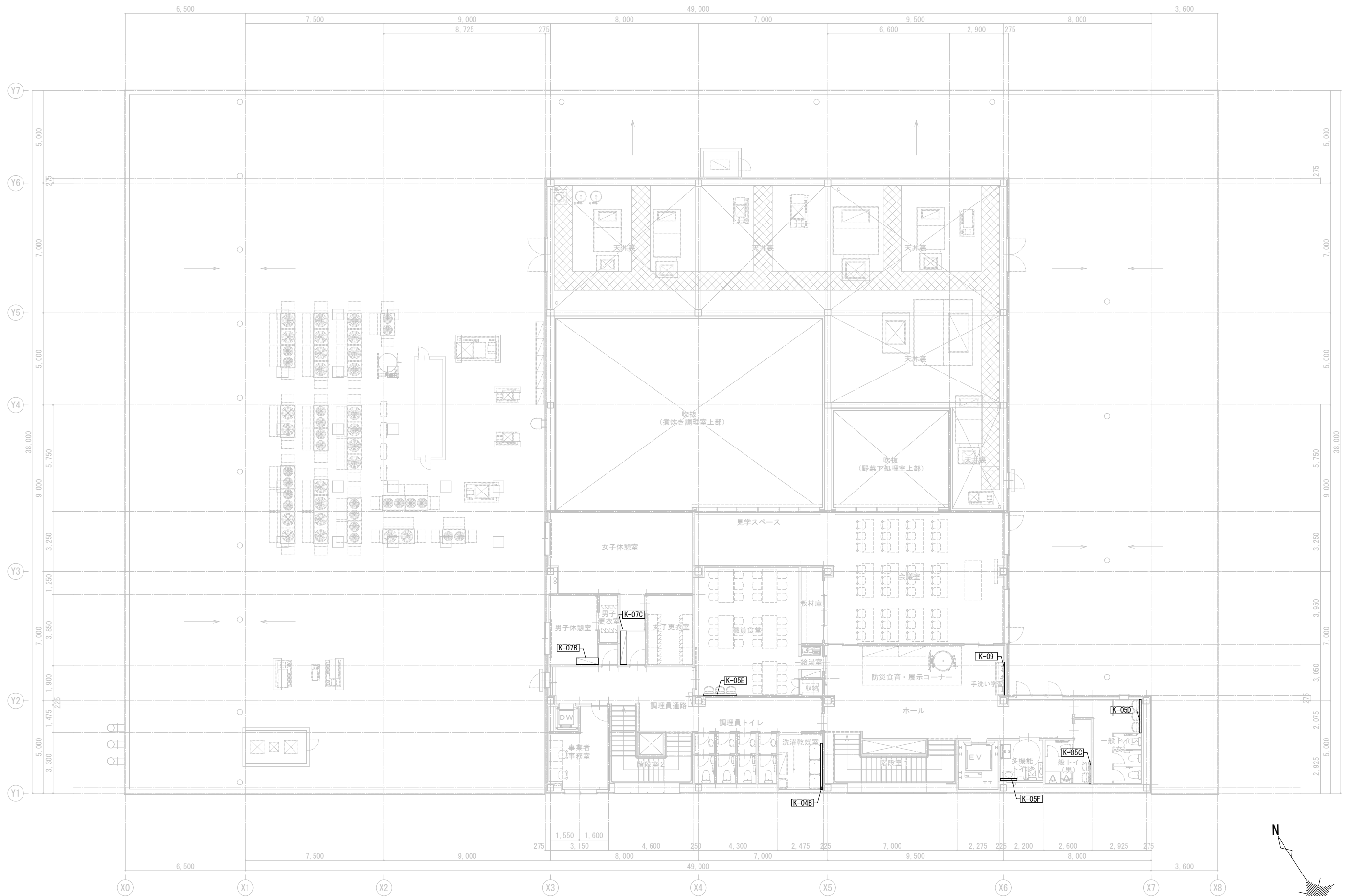
1階家具キープラン S=1/100


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	機 関	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名 1階家具キープラン

図面種類	A
図面番号	062
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)



2階家具キープラン S=1/100

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 橋岡	担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名 2階家具キープラン
 縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)

図面種類 A	図面番号 063
-----------	-------------

K-01 下処理室等 カウンター詳細図 S=1/20

（野菜類下処理室）

（上処理・煮炊き調理室）

想定受け渡し器具（別途）

K-01A:W5380+W2930	1ヶ所
K-01B:W1170	1ヶ所
K-01C:(L型)W1130/2150	1ヶ所
K-01D:W2140	1ヶ所

ステンレス製カウンター：水返し、排水栓付

① 甲板	SUS 430 1.2t No.4
② 補強枠	SUS 430 L3×40×40
③ パイプ脚	SUS 430 φ38 1.2t (継手付)
④ パイプ枠	SUS 304 □32×16 1.2t
⑤ アジャスト	SUS 304
⑥ 水切板	SUS 430 1.0t φ3mmパンチング
⑦ 排水トラップ	カゴ付防臭トラップ 40A (排水アダプター付) / TO-196

耐水石膏ボード' t12.5+
クイ酸カルシウム板 t6.0下地
SUS304 t1.0貼

耐水石膏ボード' t12.5+
クイ酸カルシウム板 t6.0下地
SUS304 t1.0貼

K-02 ライニング 2ヶ所 S=1/20

平面図

Y5通り側

Y3通り側

正面図

側面図

耐水石膏ボード' t12.5+
クイ酸カルシウム板 t6.0下地
SUS304 t1.0貼

耐水石膏ボード' t12.5+
クイ酸カルシウム板 t6.0下地
SUS304 t1.0貼

K-03 ライニング S=1/20

平面図

正面図

側面図

K-03A:W650	18ヶ所
K-03B:W650 (正面+片面)	5ヶ所
K-03C:W800 (正面+片面)	1ヶ所
K-03D:W830 (正面のみ)	1ヶ所

耐水石膏ボード' t12.5+
クイ酸カルシウム板 t6.0下地
SUS304 t1.0貼

耐水石膏ボード' t12.5+
クイ酸カルシウム板 t6.0下地
SUS304 t1.0貼

K-04 ライニング S=1/20

平面図

正面図

側面図

K-04A:W3450	1ヶ所
K-04B:W2500	1ヶ所

天板:ポリミン®スチフォーム

耐水合板 t12下地
メラミン化粧板 t3貼

耐水合板 t12下地
メラミン化粧板 t3貼
K-04Bのみ(片面)
(片なし)

K-05 ライニング S=1/20

平面図

正面図

側面図

K-05A:W825	1ヶ所
K-05B:W985	1ヶ所
K-05C:W1200	1ヶ所
K-05D:W1800	1ヶ所
K-05E:W1800	1ヶ所
K-05F:W900	1ヶ所

天板:ポリミン®スチフォーム

耐水合板 t12下地
メラミン化粧板 t3貼

耐水合板 t12下地
メラミン化粧板 t3貼
K-05E (両面)
K-05C, F (片面)
(片なし)

K-06 長靴対応下足入 S=1/20

K-06A 平面図

K-06B 平面図

K-06C 平面図

正面図 (24人用)

正面図 (6人用)

正面図 (4人用)

側面図

側面図

側面図

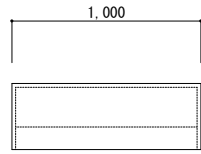
材質:メラミン化粧合板 t20

SUS304 t0.5
H5.0貼

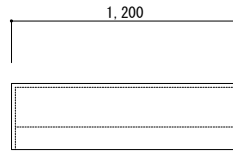
K-07A	1ヶ所
K-07B	4ヶ所
K-07C	1ヶ所
K-07D	1ヶ所

材質：メラミン化粧合板 t 20

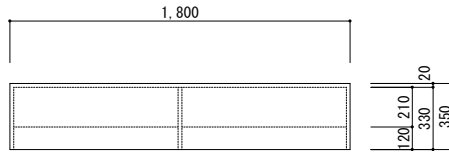
K-07A 平面図



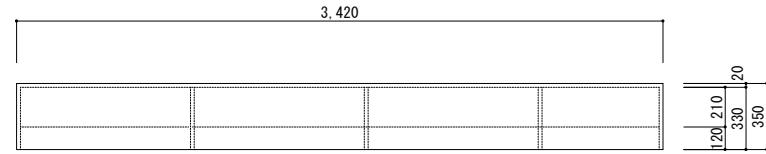
K-07B 平面図



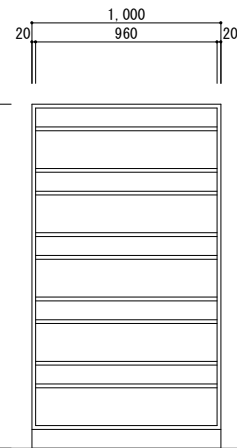
K-07C 平面図



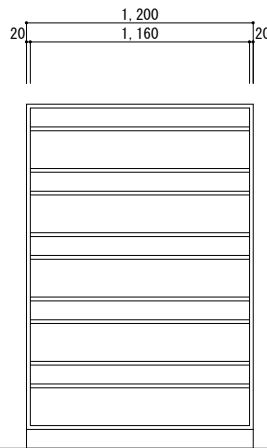
K-07D 平面図



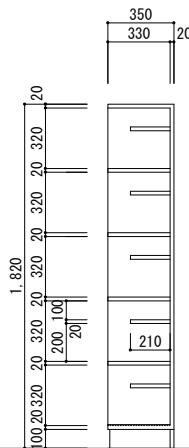
正面図 (20人用)



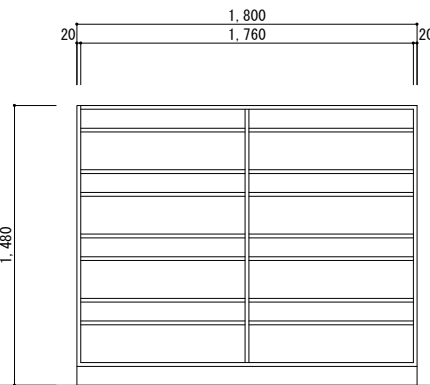
正面図 (25人用)



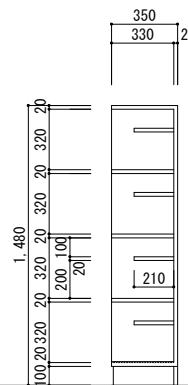
側面図



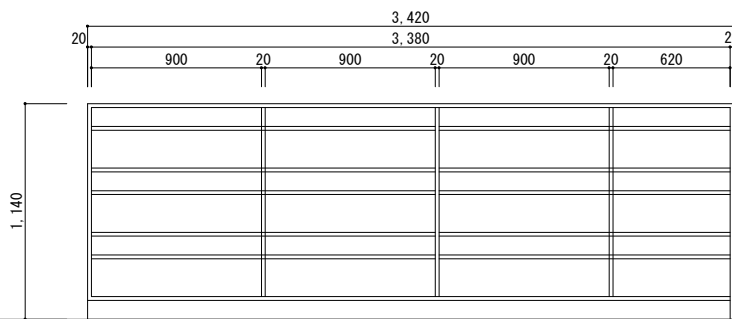
正面図 (32人用)



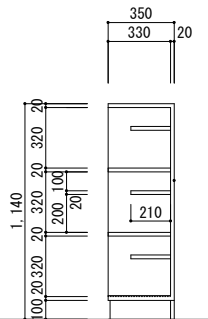
側面図



正面図 (42人用)



側面図



K-08 受付カウンター

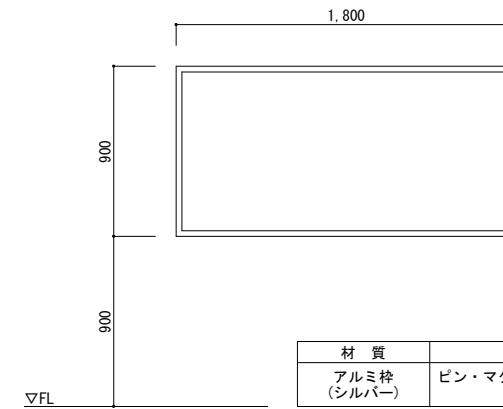
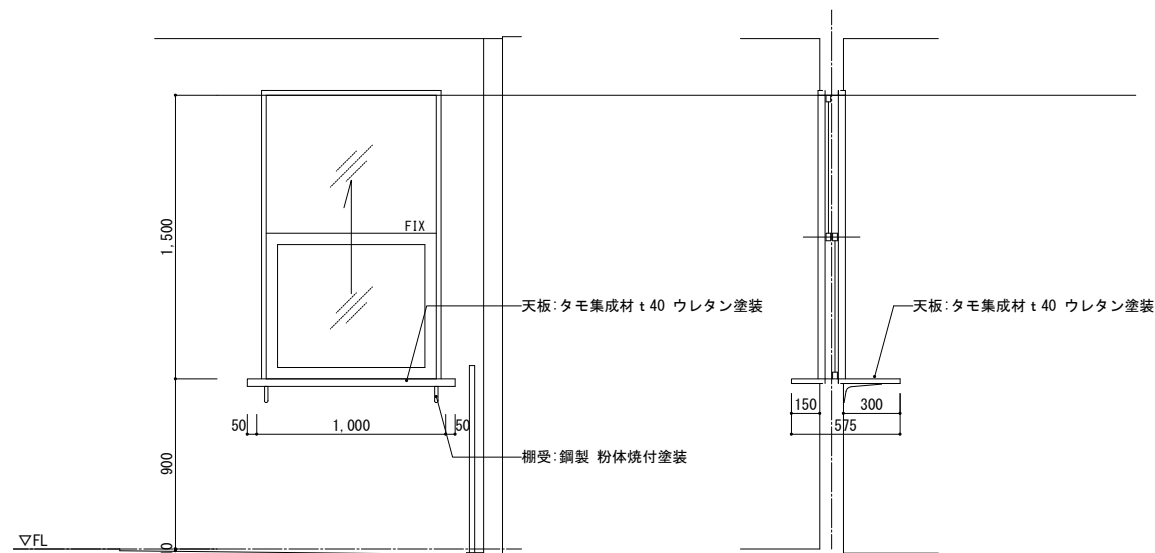
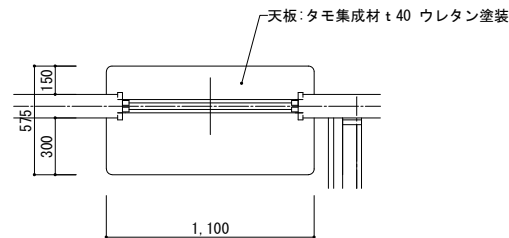
1ヶ所

S=1/20

K-09 掲示板

1ヶ所

S=1/20



材質	仕上
アルミ枠 (シルバー)	ピン・マグネットタイプ



株式会社 松下設計仙台支社
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	検 図	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図面名 家具詳細図(2)

縮尺

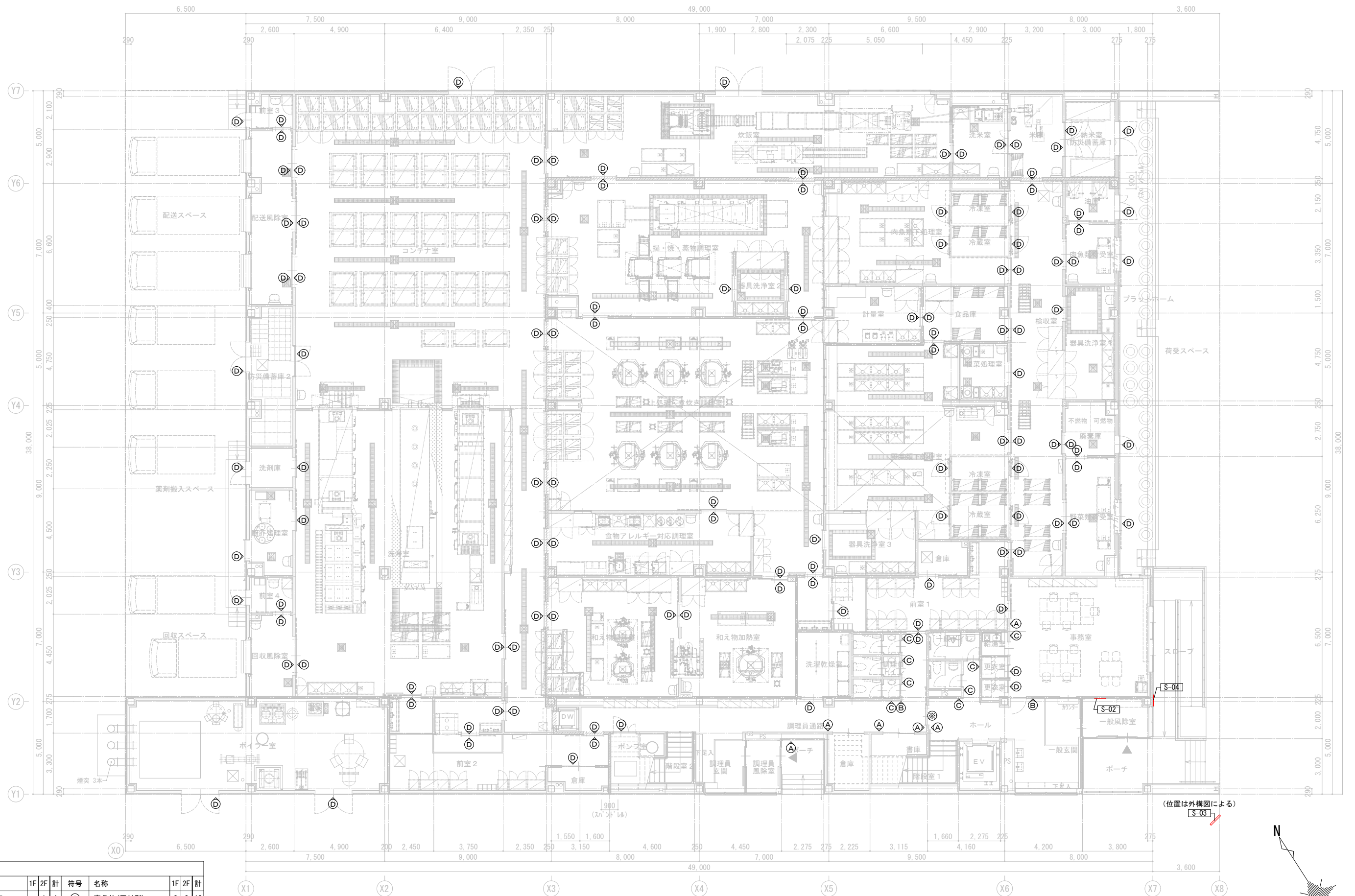
S=1:20 (A3版 50%縮小)

図面種別

A

図面番号

065



凡例								
符号	名称	1F	2F	計	名称	1F	2F	計
S-01	館名文字	1	1	計	(A) 室名札(平付型)	6	6	12
S-02	総合案内板	1	1	計	(B) 室名札(突出型)	2	0	2
S-03	自立式看板	1	1	計	(C) ピクトサイン(平付型)	8	10	18
S-04	定礎石	1	1	計	(D) バックヤードサイン	120	8	128
					(E) バックヤードサイン 関係者以外立入禁止	1	4	5

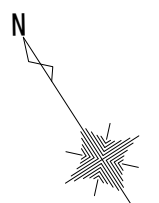
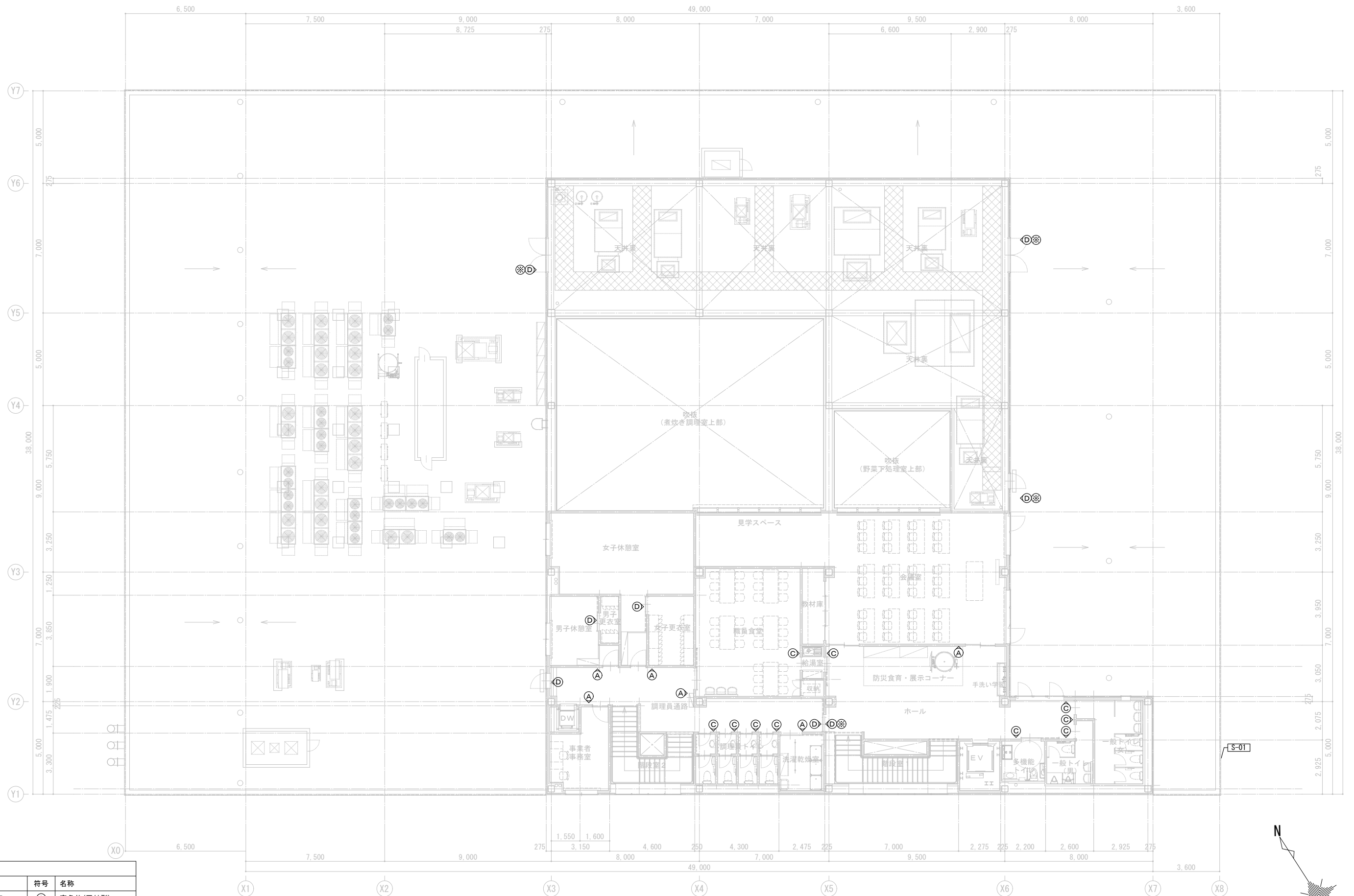
1階サインキープラン S=1/100


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S 日付 2023年3月24日
 設計部長 機 関 担 当 製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名 1階サインキープラン
 縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)

図面名	1階サインキープラン	図面種類	A
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号	066



凡例			
符号	名称	符号	名称
S-01	館名文字	Ⓐ	室名札(平付型)
S-02	総合案内板	Ⓑ	室名札(突出型)
S-03	自立式看板	Ⓒ	ピクトサイン(平付型)
S-04	定礎石	Ⓓ	バックヤードサイン
		ⓧ	バックヤードサイン 関係者以外立入禁止

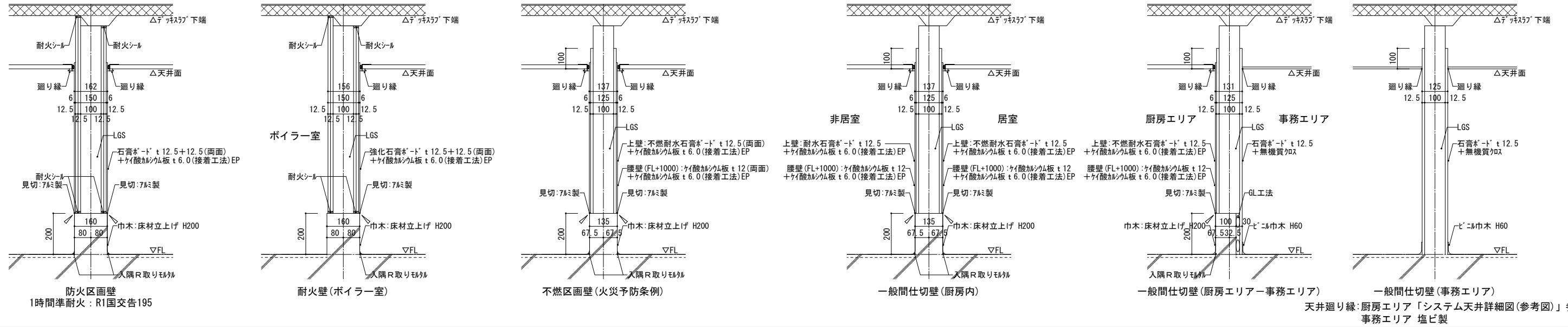
2階サインキープラン S=1/100

S-01	館名文字	1ヶ所	S=1/20	S-02	総合案内板	1ヶ所	S=1/20	S-03	自立式看板	1ヶ所	S=1/30								
<p>正面図</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ型材 (シルバー)</td> <td>本体:アルマイト処理 表示:UV印刷又はシート貼</td> </tr> </tbody> </table> <p>SK-400AD-2T (神栄ホームクリエイト) 同等品以上</p>				材質	仕上	アルミ型材 (シルバー)	本体:アルマイト処理 表示:UV印刷又はシート貼	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ型材 (ステンカラー)</td> <td>本体:アルマイト処理 表示:切文字 アルミ板 着色(両面)</td> </tr> </tbody> </table> <p>C-12S (株) 美装) 同等品以上</p>				材質	仕上	アルミ型材 (ステンカラー)	本体:アルマイト処理 表示:切文字 アルミ板 着色(両面)
材質	仕上																		
アルミ型材 (シルバー)	本体:アルマイト処理 表示:UV印刷又はシート貼																		
材質	仕上																		
アルミ型材 (ステンカラー)	本体:アルマイト処理 表示:切文字 アルミ板 着色(両面)																		

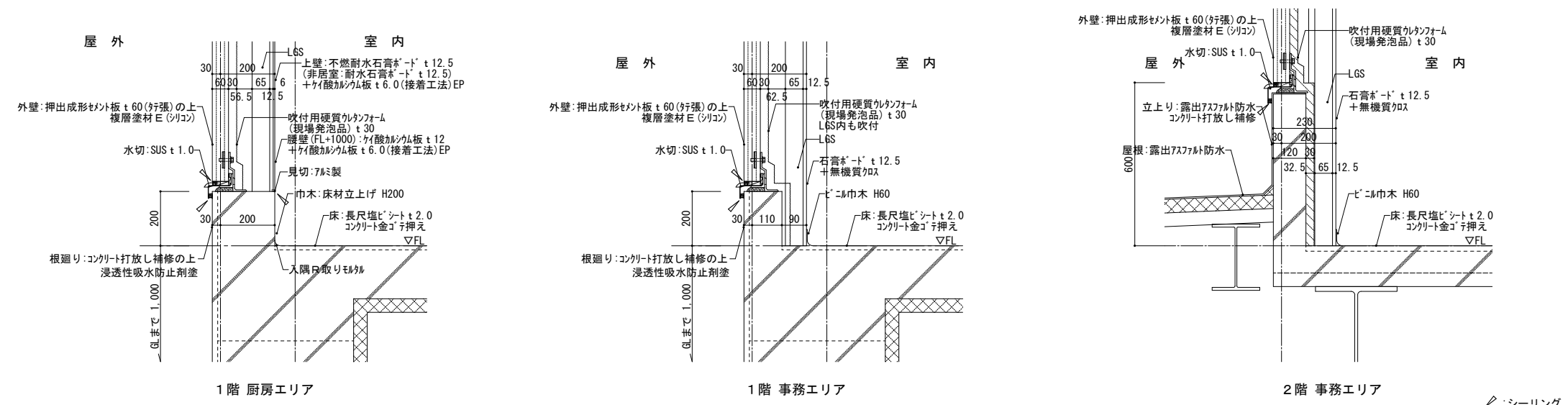
S-04	定礎石	1ヶ所	S=1/10								
<p>正面図</p> <p>黒御影石 t20 本磨き仕上 掘込文字 ※字体等、確認の上決定すること</p> <p>断面図</p>											

Ⓐ	室名札(平付型)	1階 6ヶ所 2階 6ヶ所	S=1/10	Ⓑ	室名札(突出型)	1階 2ヶ所 2階 0ヶ所	S=1/10	Ⓒ	ピクトサイン(平付型)	1階 8ヶ所 2階 10ヶ所	S=1/10	Ⓓ	バックヤードサイン	1階 120ヶ所 2階 8ヶ所	⊗ 5ヶ所	S=1/5
<p>正面図</p> <p>背面図</p> <p>会議室</p> <p>アクリル板 t3.0 シート切文字貼 ミラーマット+接着剤固定</p>				<p>正面図</p> <p>背面図</p> <p>事務室</p> <p>トイレ</p> <p>アクリル板 t5.0 シート切文字貼(両面) SUS (HL) 金物固定</p>				<p>正面図</p> <p>背面図</p> <p>1階:2ヶ所 2階:1ヶ所 1階:2ヶ所 2階:3ヶ所 1階:3ヶ所 2階:3ヶ所 1階:1ヶ所 2階:2ヶ所</p> <p>アクリル板 t3.0 シート切文字貼 ミラーマット+接着剤固定</p>				<p>正面図</p> <p>計量室</p> <p>上処理・煮炊き調理室</p> <p>肉魚類下処理室</p> <p>塩ビシート切文字貼(扉直貼)</p> <p>⊗ 関係者以外立入禁止 ⊗ 塩ビシート切文字貼(扉直貼) 1階 1ヶ所 2階 4ヶ所</p>				

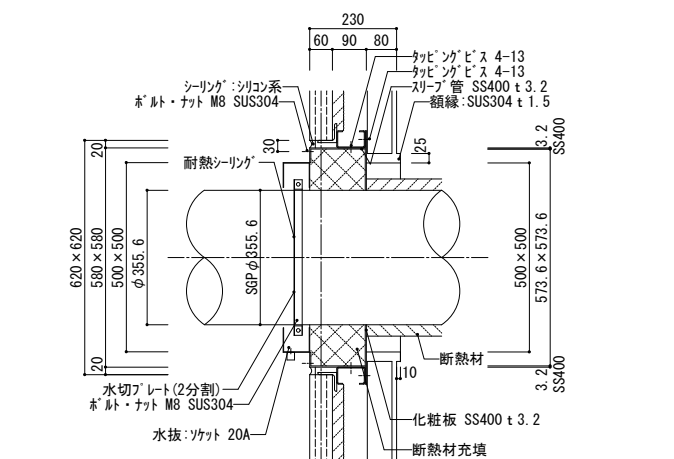
<p>正面図</p> <p>計量室</p> <p>上処理・煮炊き調理室</p> <p>肉魚類下処理室</p> <p>塩ビシート切文字貼(扉直貼)</p> <p>⊗ 関係者以外立入禁止 ⊗ 塩ビシート切文字貼(扉直貼) 1階 1ヶ所 2階 4ヶ所</p>										<p>図面名</p> <p>サイン詳細図</p>		<p>図面種別</p> <p>A</p>	
<p>株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)</p>										<p>図面番号</p> <p>22-127S</p>		<p>日付</p> <p>2023年3月24日</p>	
<p>(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図</p>										<p>縮尺</p> <p>S=図示(A3版 50%縮小)</p>		<p>図面番号</p> <p>068</p>	



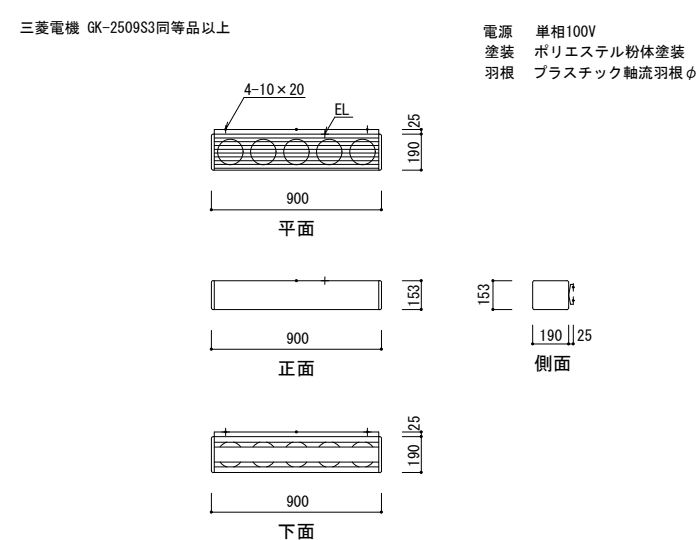
外壁周り 詳細図



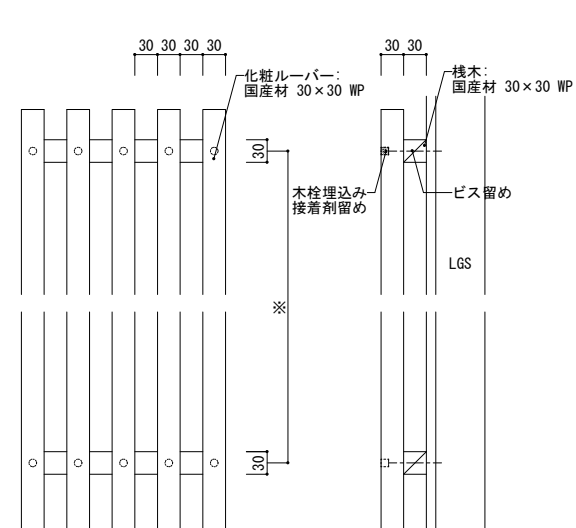
煙突外壁貫通部 詳細図



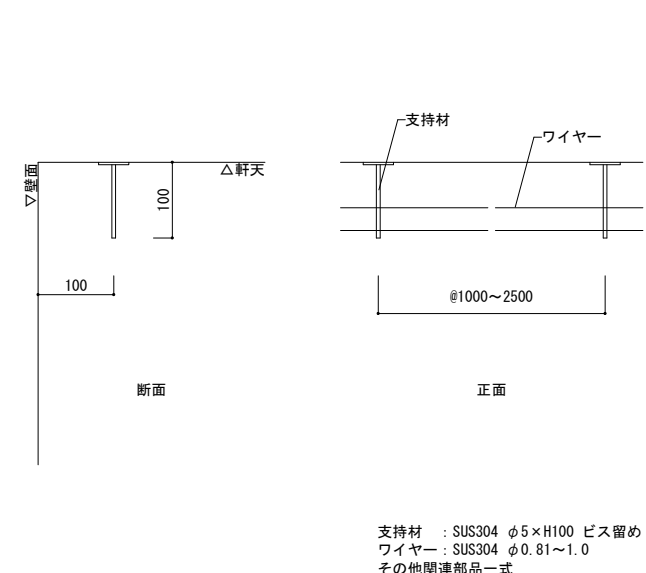
エアカーテン 詳細図



エントランス化粧ルーバー 詳細図



防鳥ワイヤー

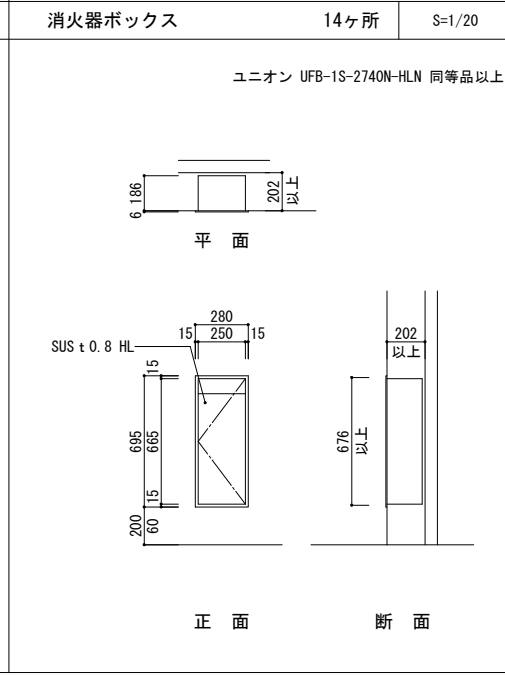
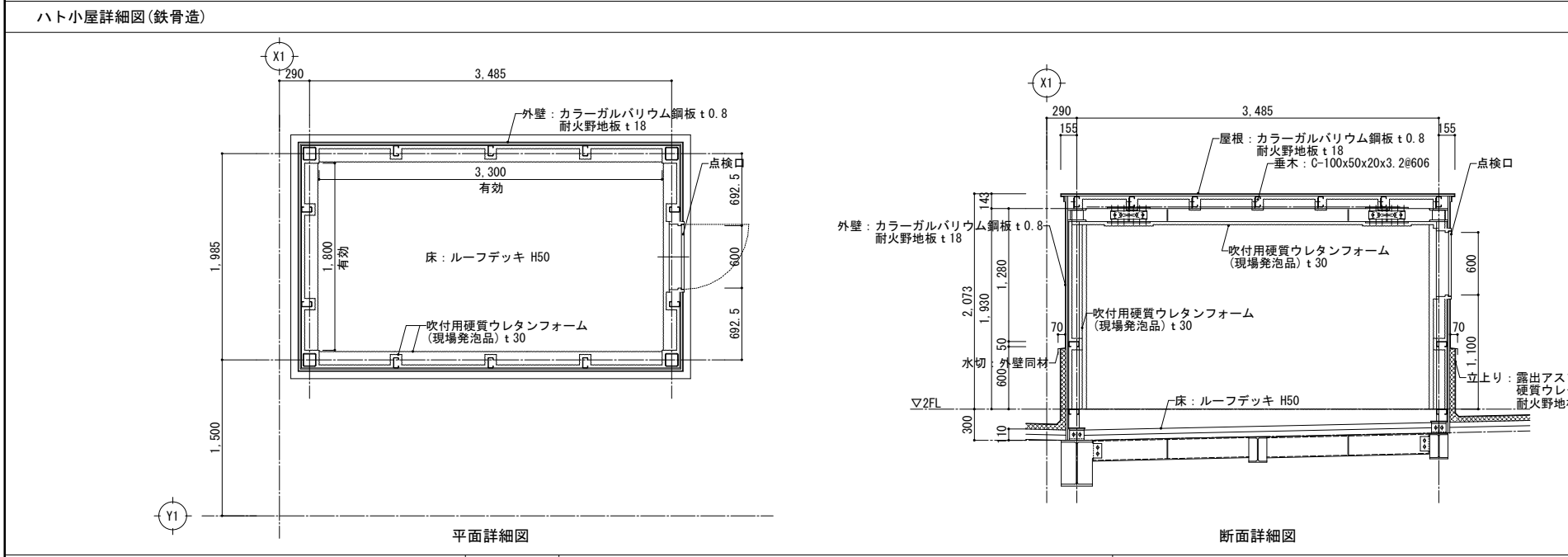
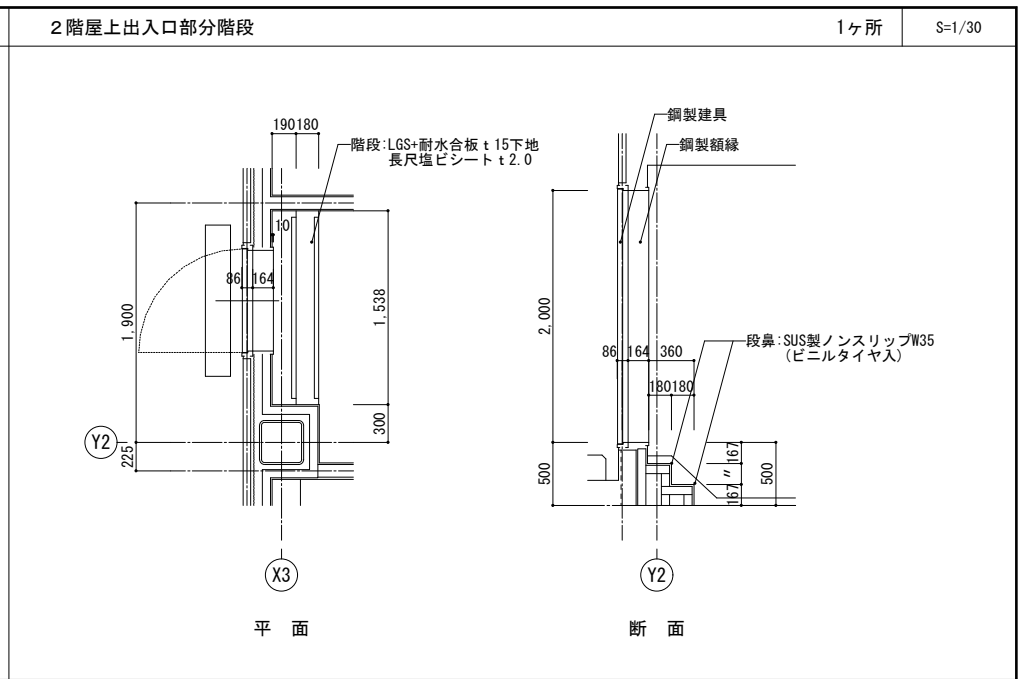
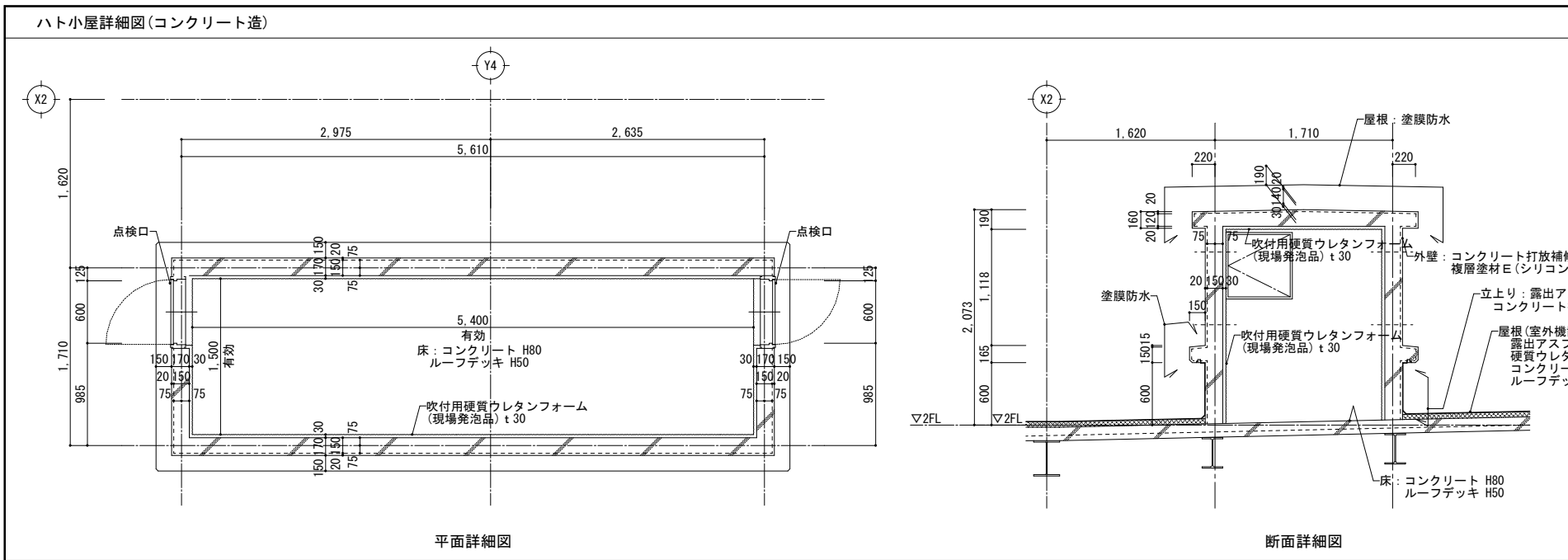


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S 2023年3月24日
設計部長 横田 担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図

図面名 雑詳細図(1)
図面種類 A
図面番号
縮尺 S=図示(A3版 50%縮小) 069



キッチン

ミニキッチン1050 (1階)

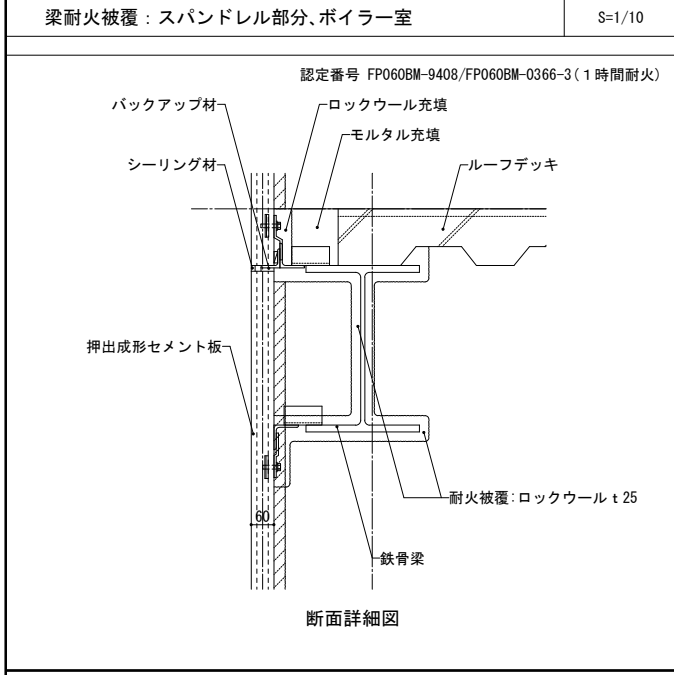
天板・シンク	ステンレス
キャビネット	基本仕様 フォト 扉517
水栓	シンク内水栓 (機械設備工事)
加熱機器	IHT-100V
照明	基本仕様
換気扇	(機械設備工事)
電気温水器	(機械設備工事)
その他	水切棚

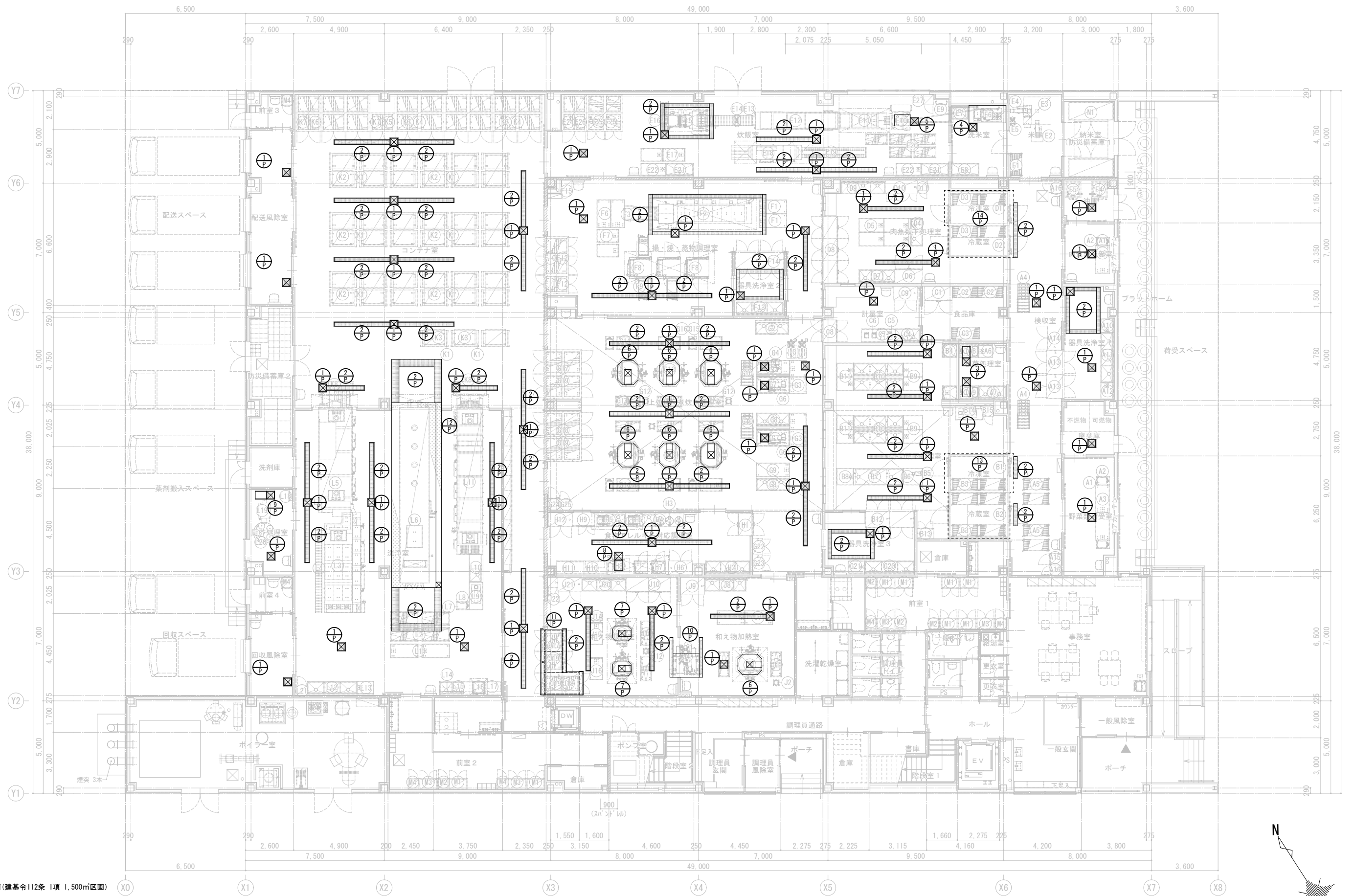
※パナソニックMKV扉517、LIXIL/キッチン扉517 同等品以上
※配管接続は機械設備工事とする

キッチン1050 (2階)

天板・シンク	ステンレス
キャビネット	基本仕様 フォト 扉517
水栓	シンク内水栓 (機械設備工事)
加熱機器	なし
照明	基本仕様
換気扇	(機械設備工事)
その他	吊戸H500 背面収納棚H800 背面吊戸H500

※LIXIL/キッチン扉517同等品以上
※配管接続は機械設備工事とする



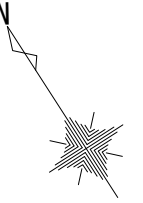



防火区画 (建基令112条 1項 1.500㎡区画)

⊕ : 排水ビット記号

Ⓐ1 : 厨房機器記号

厨房ビットキープラン S=1/100

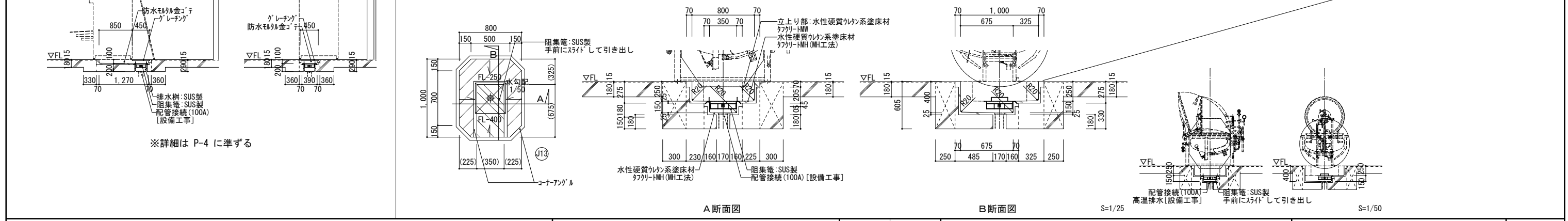
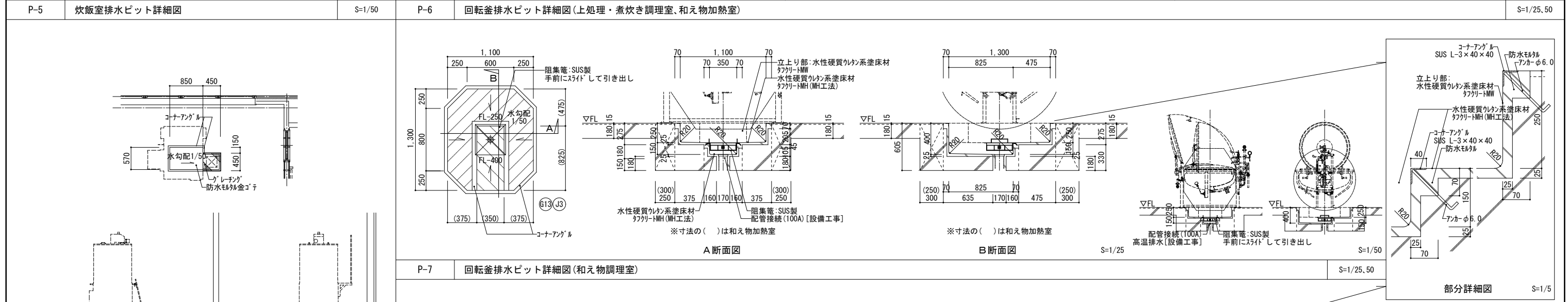
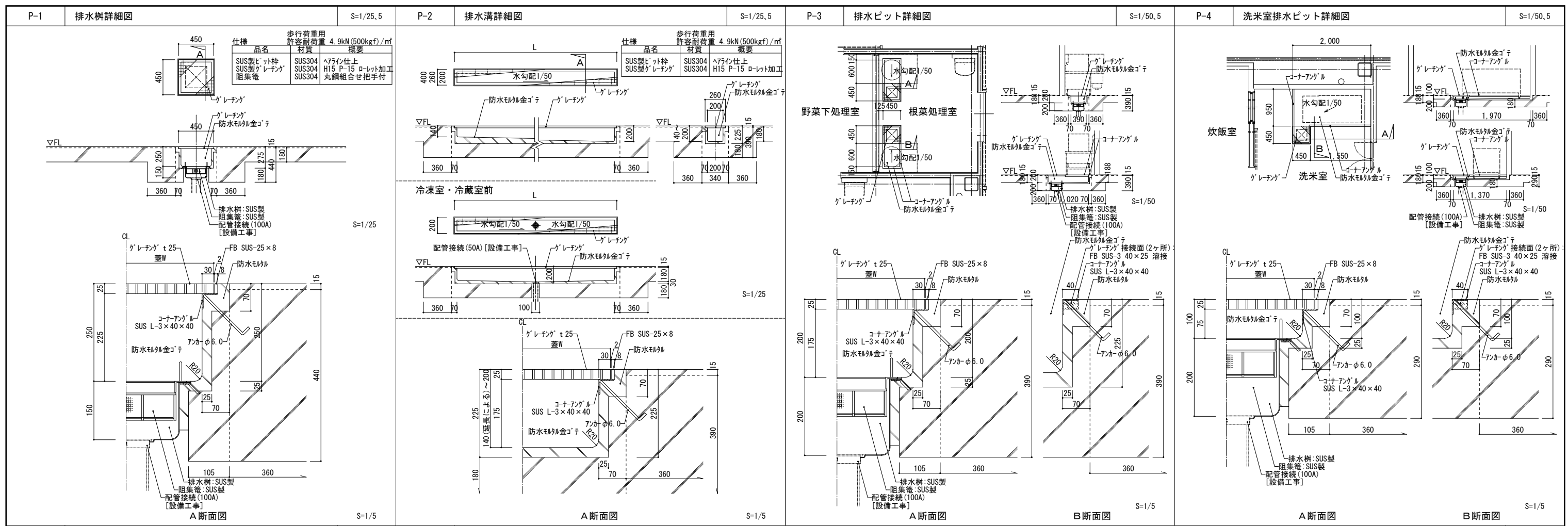


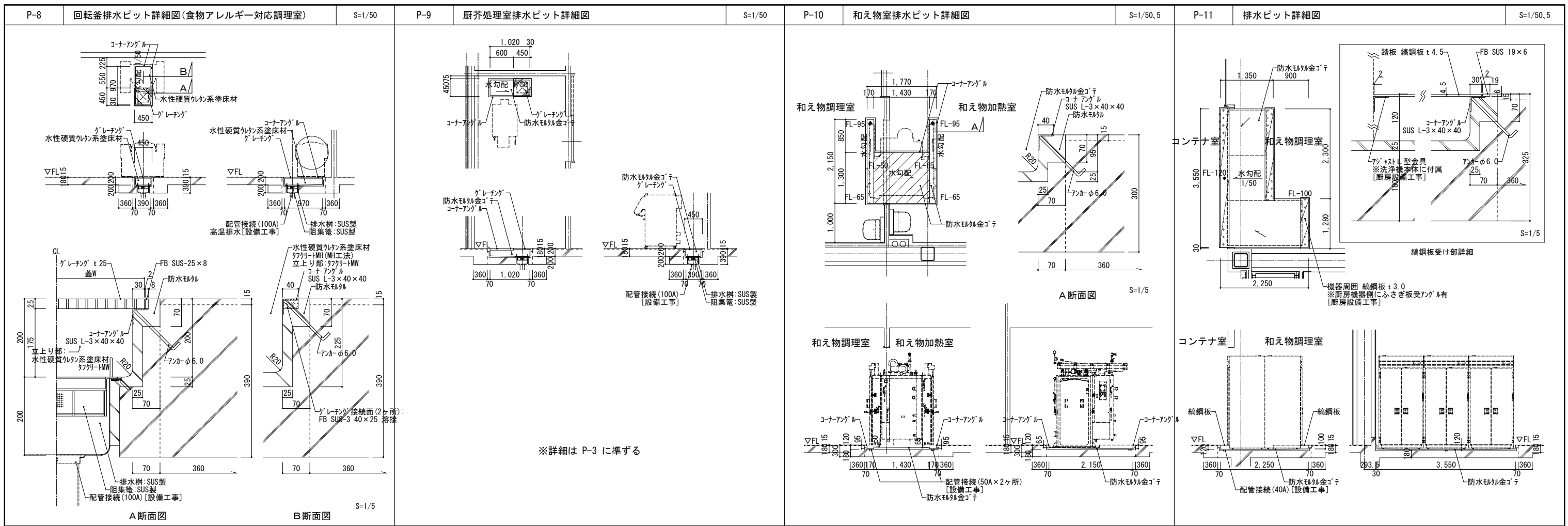

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

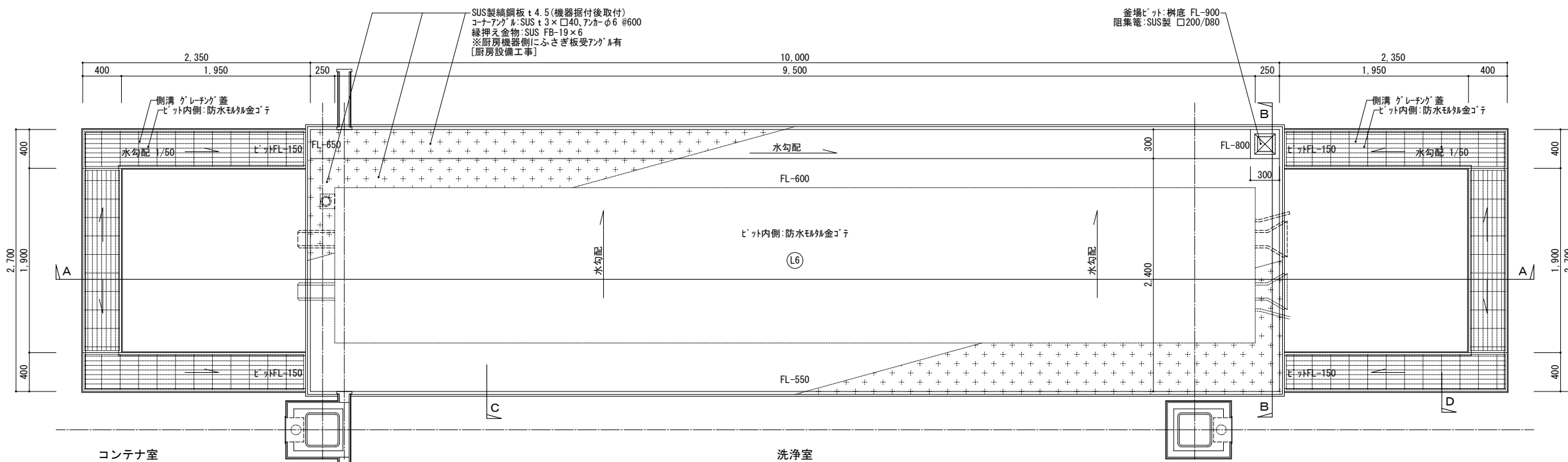
委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 松岡	担当 松岡
	製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名 厨房ビットキープラン	図面種類 A
縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号 071

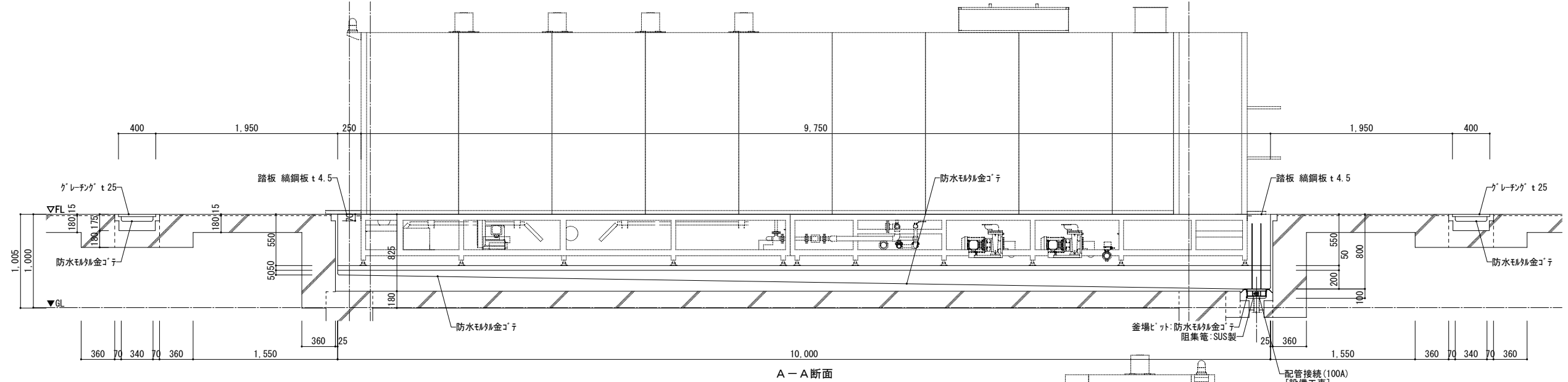




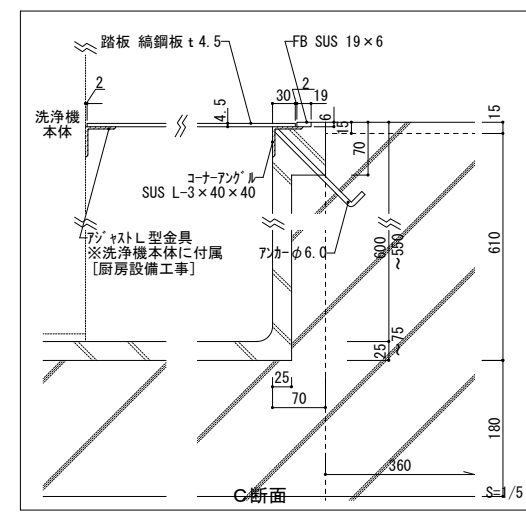


歩行荷重用 許容耐荷重 3.5kN(350kgf)/m ² 許容たわみ量 1/300			
仕様	品名	材質	概要
SUS製ピット枠	SUS304	ステンレス	ヘライン仕上
踏板	SUS304	鋼鋼板 t4.5	丸棒座付把手 (5枚毎)
阻集電	SUS304	鋼鋼板	丸鋼組合せ把手付

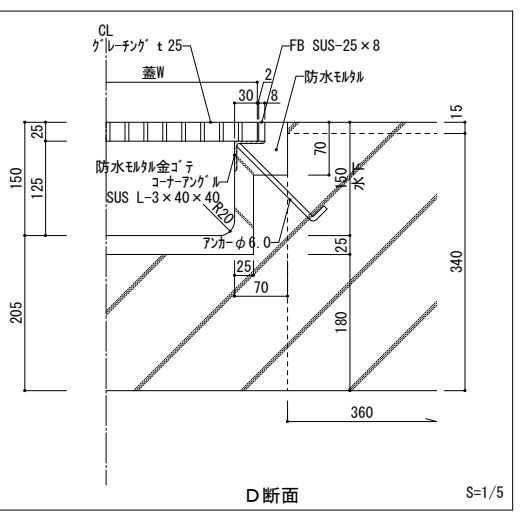
歩行荷重用 許容耐荷重 4.9kN(500kgf)/m ²			
仕様	品名	材質	概要
SUS製ピット枠	SUS304	ステンレス	ヘライン仕上
SUS製側溝	SUS304	H15 P-15	ローレット加工



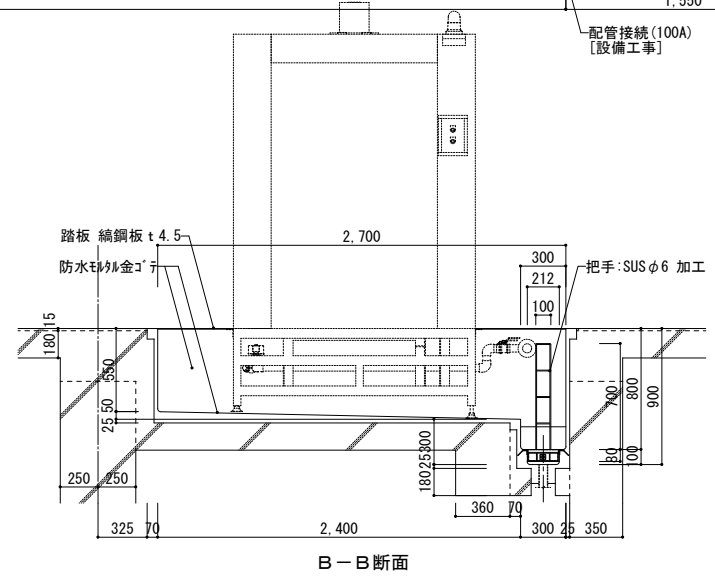
A-A断面



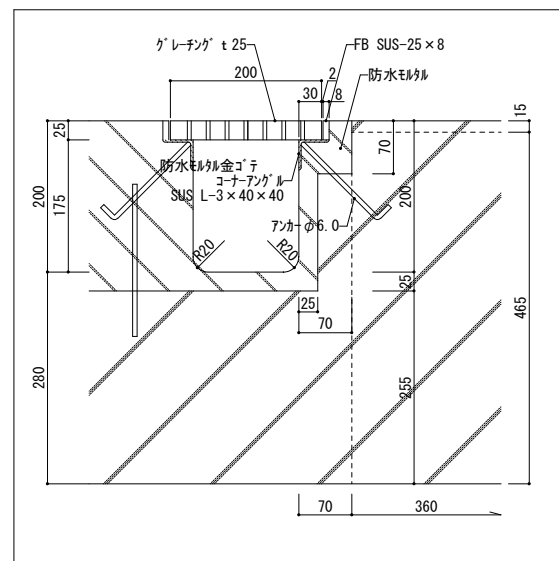
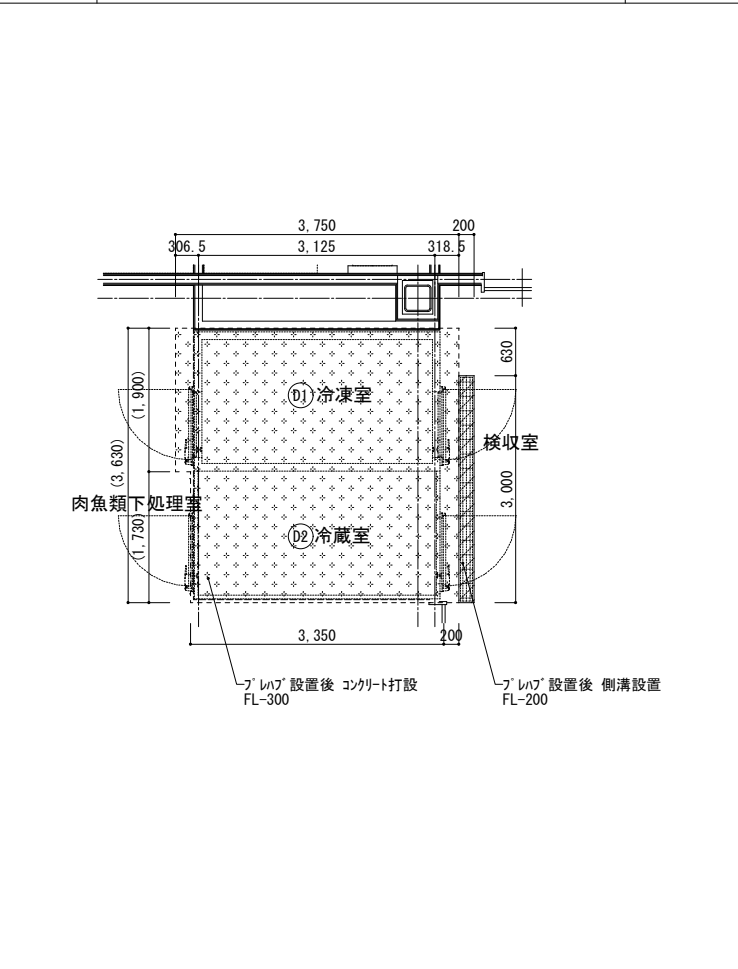
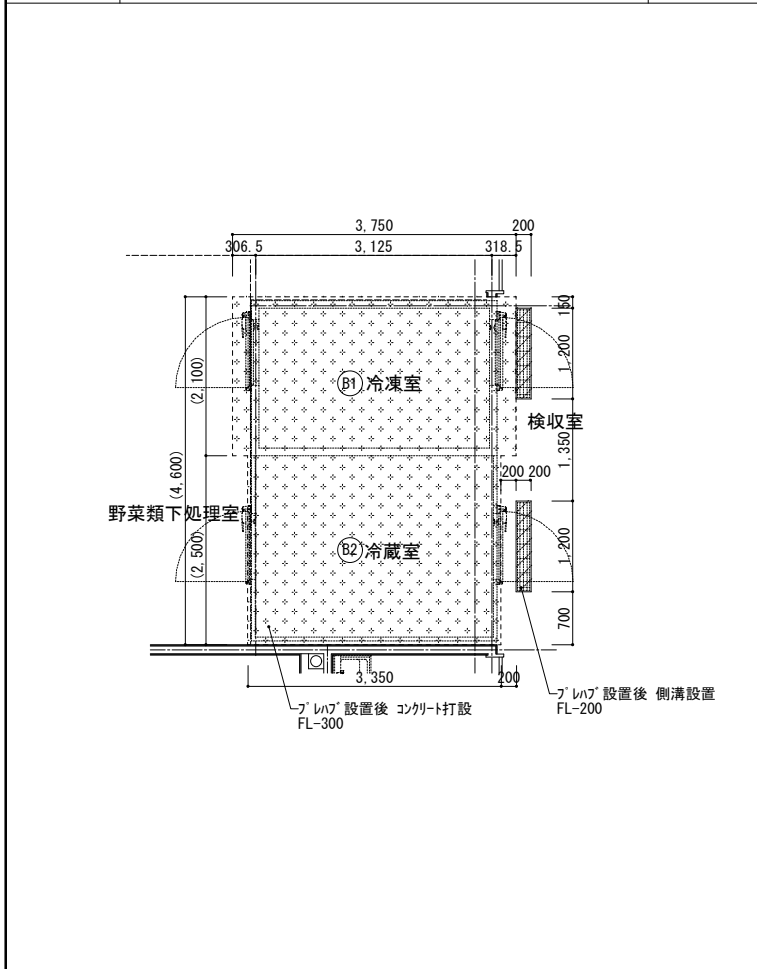
鋼鋼板受付部詳細



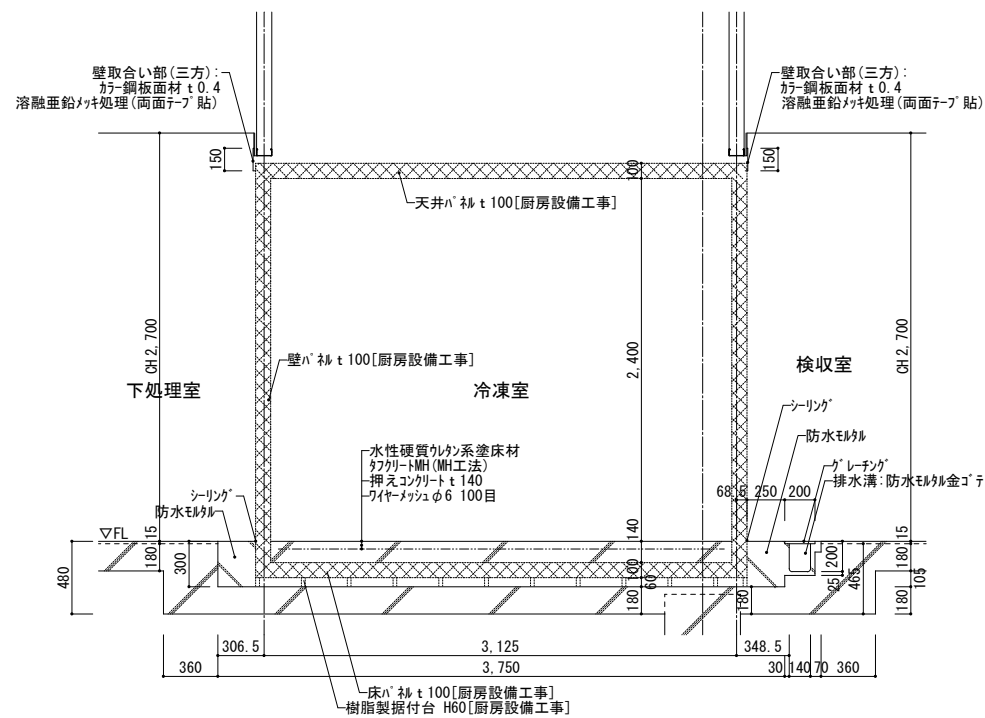
洗浄機前後側溝詳細



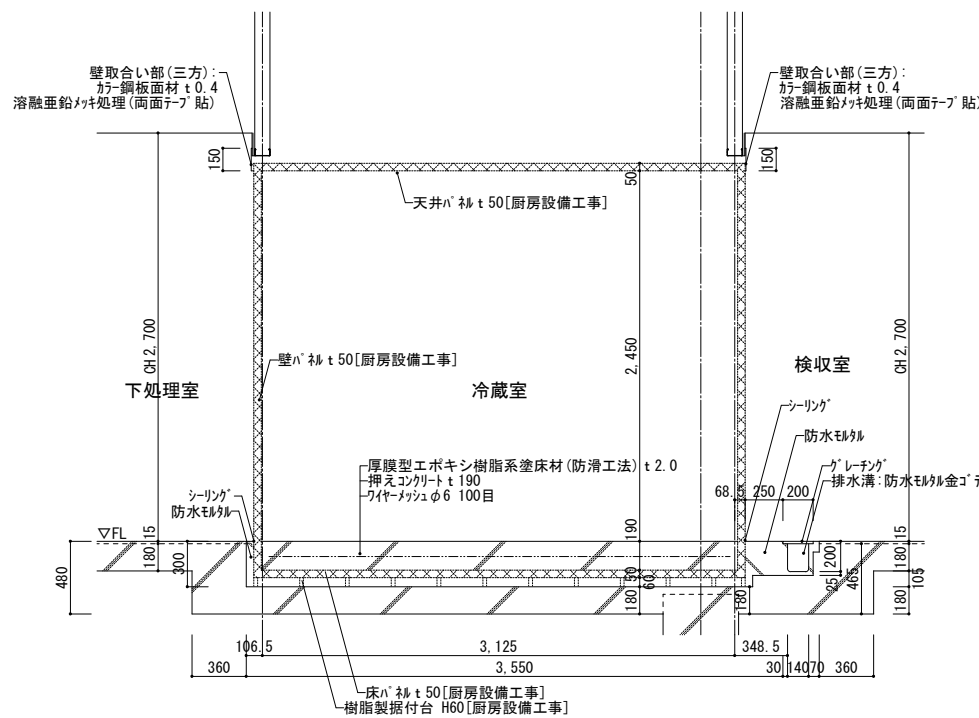
B-B断面



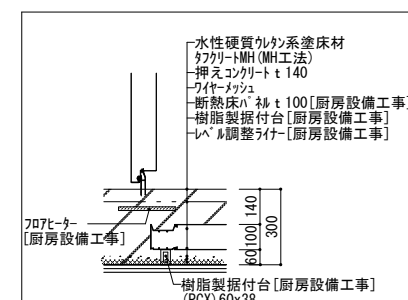
冷凍室・冷蔵室前側溝詳細 S=1/5



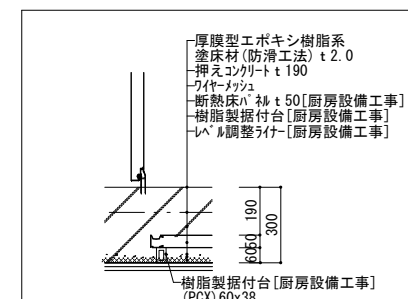
冷凍室断面詳細図 S=1/25



冷蔵室断面詳細図 S=1/25



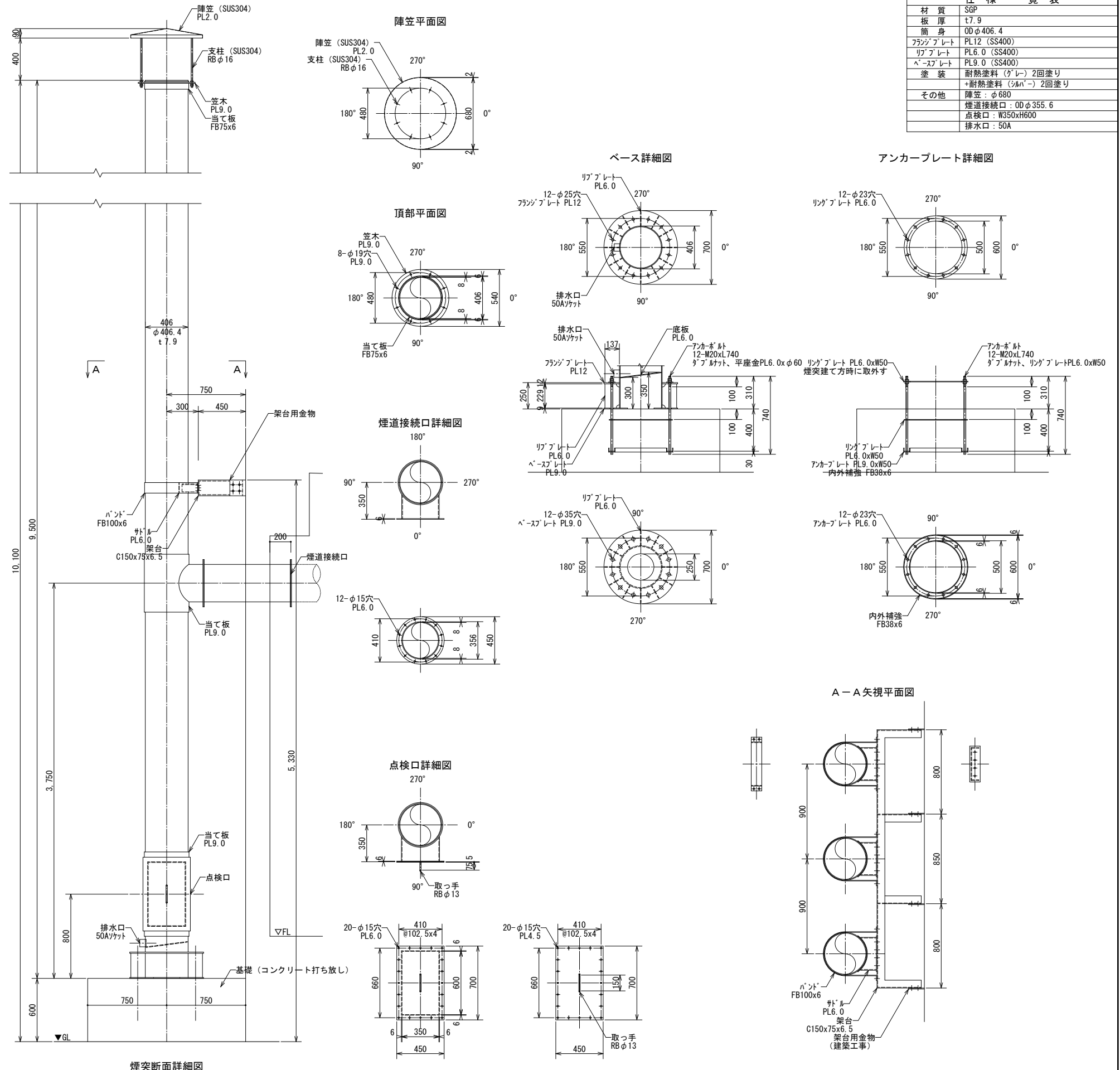
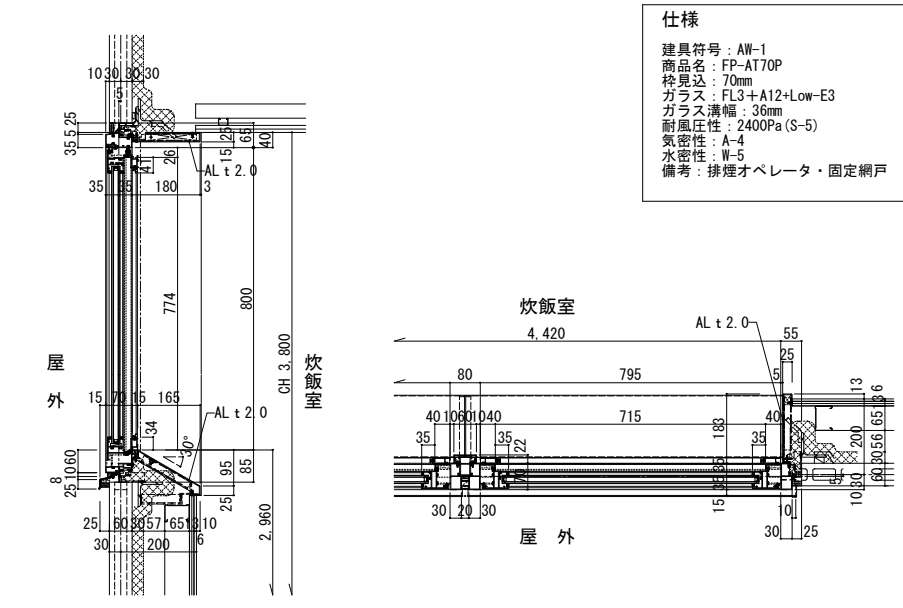
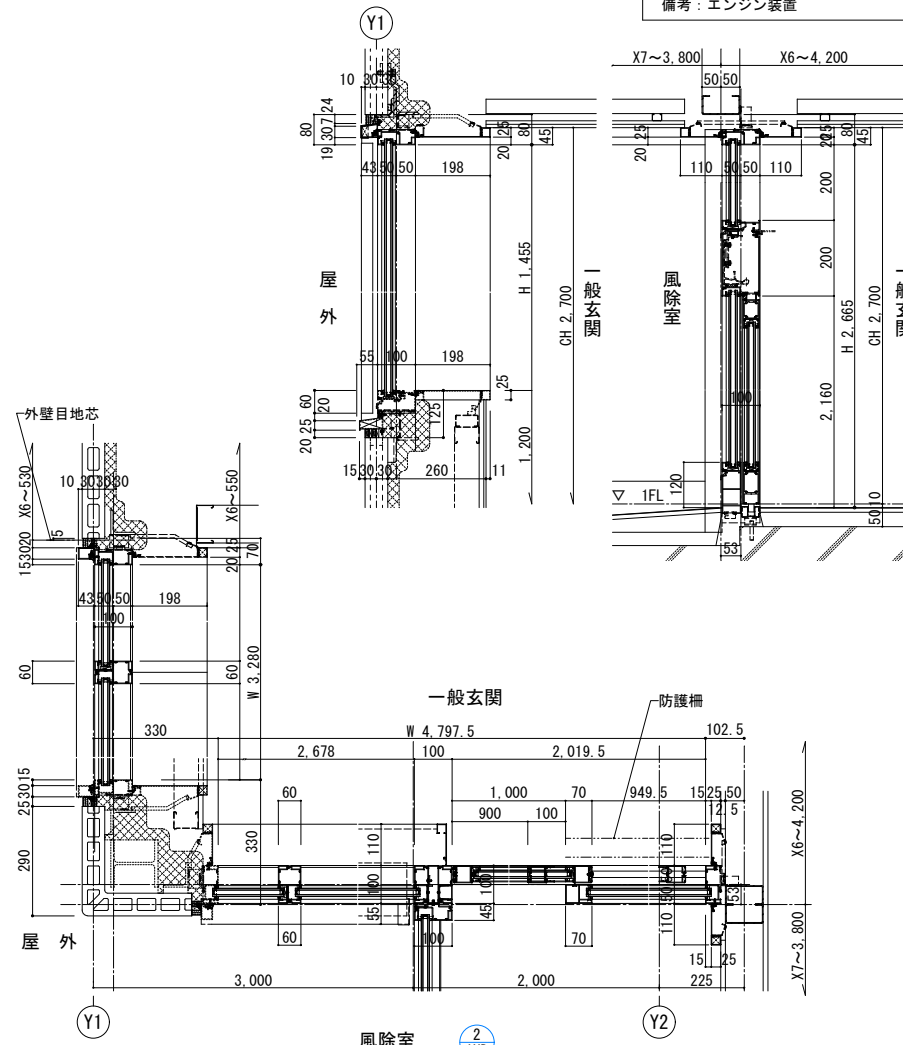
冷凍室床断面詳細 S=1/15



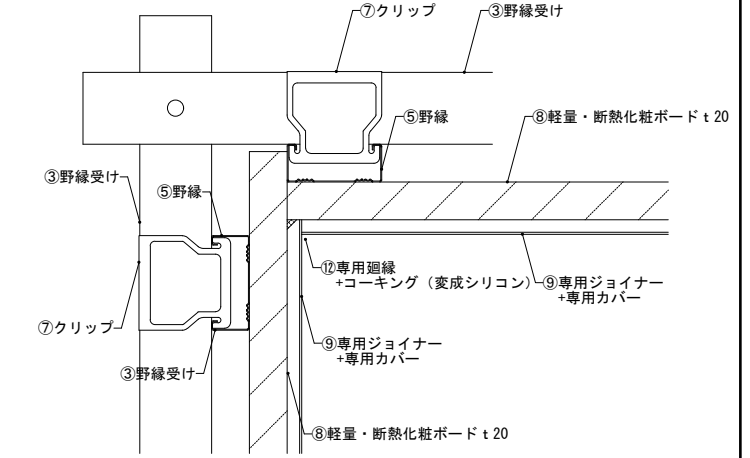
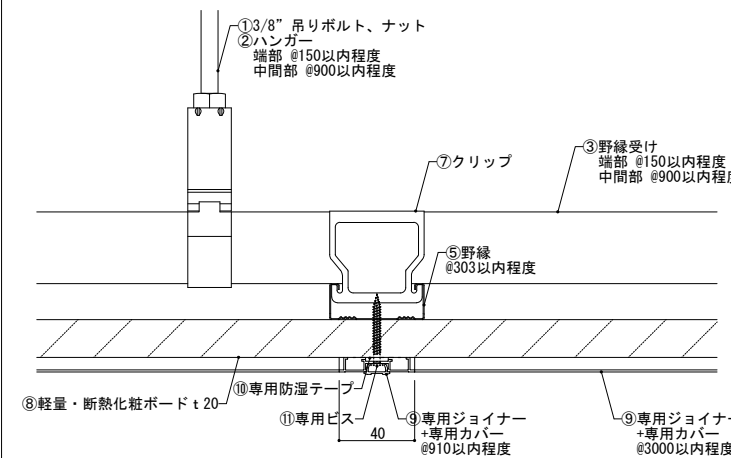
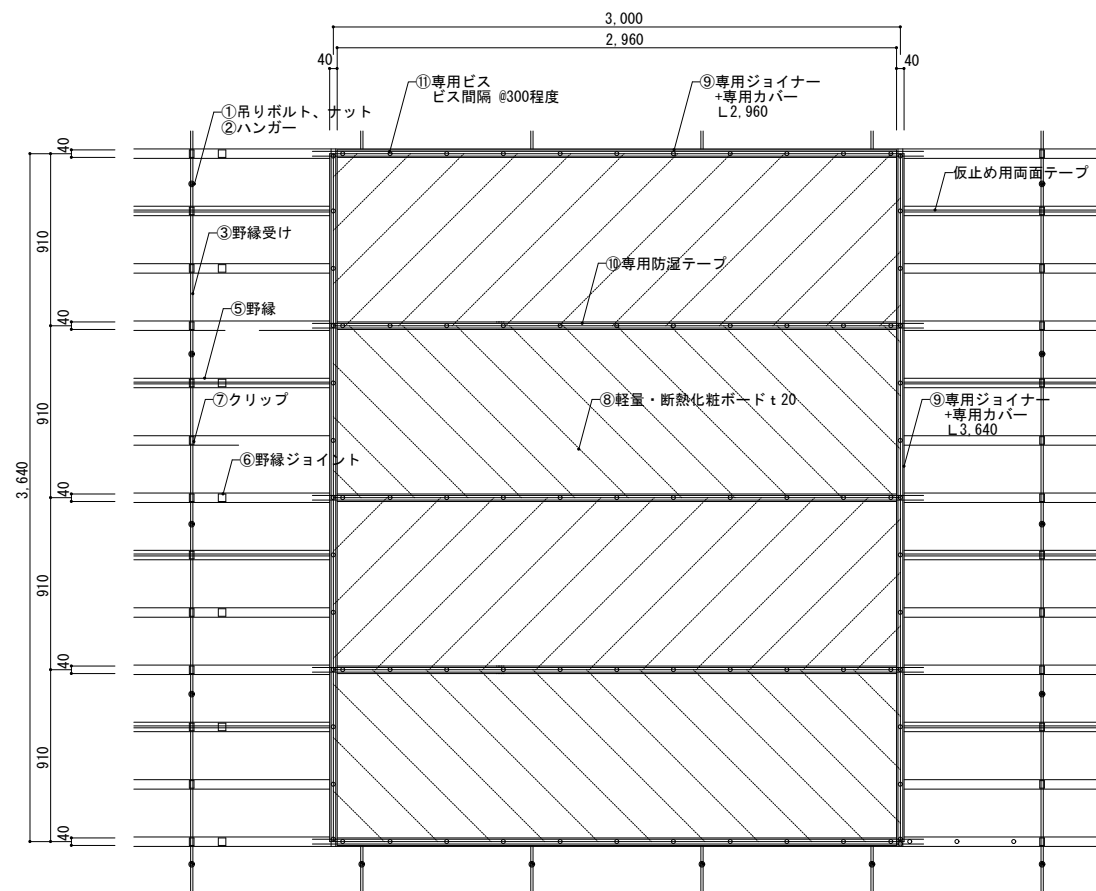
冷蔵室床断面詳細 S=1/15

仕様
 建具符号: AHD-1
 商品名: フェイシングフロントPG
 枠見込: 100mm
 ガラス: T65+A12+Low-E3
 コア材: FL3+A12+Low-E3
 ガラス溝幅: 36mm
 耐風圧性: 1600Pa (S-3)
 気密性: -
 水密性: -
 備考: エンジン装置

仕様
 建具符号: AW-1
 商品名: FP-AT70P
 枠見込: 70mm
 ガラス: FL3+A12+Low-E3
 ガラス溝幅: 36mm
 耐風圧性: 2400Pa (S-5)
 気密性: A-4
 水密性: W-5
 備考: 排煙オペレータ・固定網戸

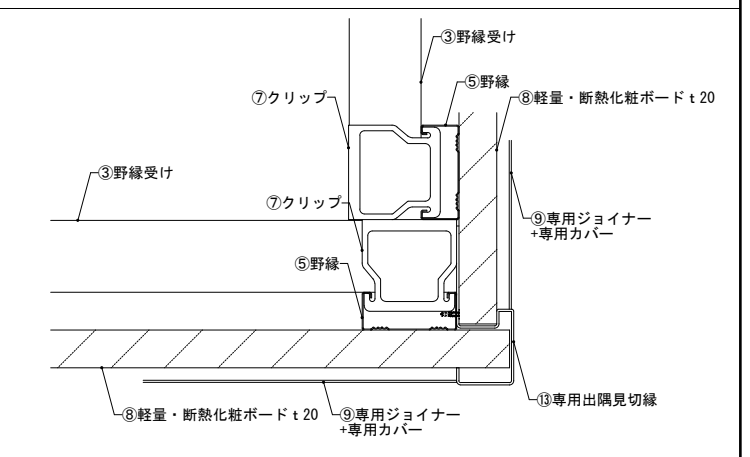
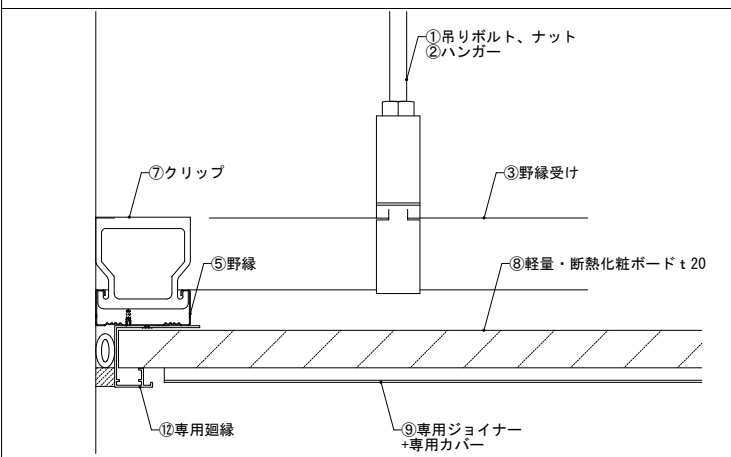


仕様一覧表	
材質	SGP
板厚	t7.9
筒身	ODφ406.4
フランジプレート	PL12 (SS400)
リアプレート	PL6.0 (SS400)
ベースプレート	PL9.0 (SS400)
塗装	耐熱塗料 (グレー) 2回塗り +耐熱塗料 (シルバー) 2回塗り
その他	煙筒: φ680 煙道接続口: ODφ355.6 点検口: W350xH600 排水口: 50A



標準詳細図_壁・柱型取合い部

標準詳細図_出隅部(直角)



標準詳細図_使用材料(軽量鉄骨天井下地材)

標準詳細図_使用材料(天井仕上げ材)

①3/8" 吊りボルト、ナット	⑤野縁: Wバー 19×50×t0.4 (t0.5)	⑧仕上げ材: 軽量・断熱化粧ボード 910×3000×t20 イソシアヌレートボード	⑫専用遮縁 L3,640 アルマイト処理
②ハンガー	⑥野縁ジョイント: Wジョイント	⑨専用ジョイナー・カバー W40×L3,640・L2,960 アルマイト処理	⑬専用出隅見切縁 L3,000 アルマイト処理
③野縁受け: C38チャンネル 38×12×t1.0 (t1.2) L5,000	⑦クリップ: Wクリップ	⑩専用防湿テープ W25×10m 化粧アルミ箔	⑭点検口 気密型額縁タイプ 450×450 600×600
④野縁受けジョイント: C38ジョイント	⑪専用ビス 4.2×38 SUS410+耐食処理材	⑬専用出隅見切縁	※耐食下地材: 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金鋼板

スウィムライト工法: 東海物産(株)

◆主要使用材料及び販売元

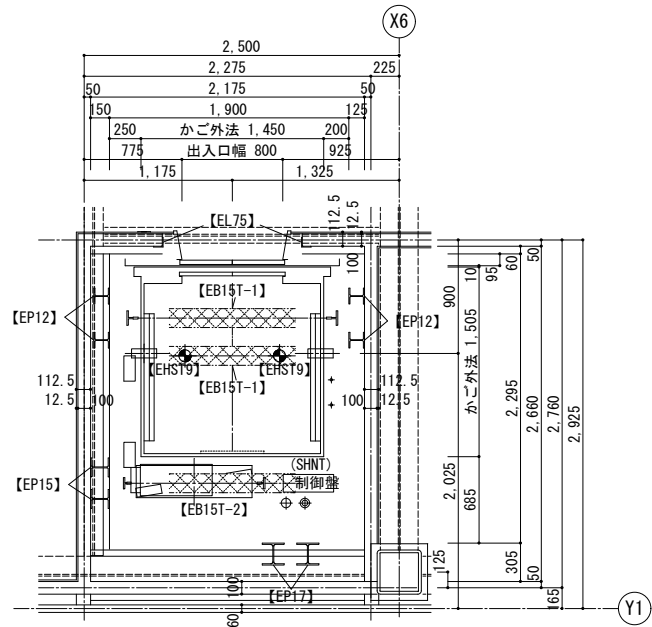
【軽量鉄骨天井下地材】
株式会社桐井製作所
東京都千代田区内幸町1-1-1帝国ホテルタワー18F

①吊りボルト、ナット
②ハンガー
③野縁受け: C38チャンネル
④野縁受けジョイント: C38ジョイント
⑤野縁: Wバー
⑥野縁ジョイント: Wジョイント
⑦クリップ: Wクリップ
⑪専用ビス
仮止め用両面テープ

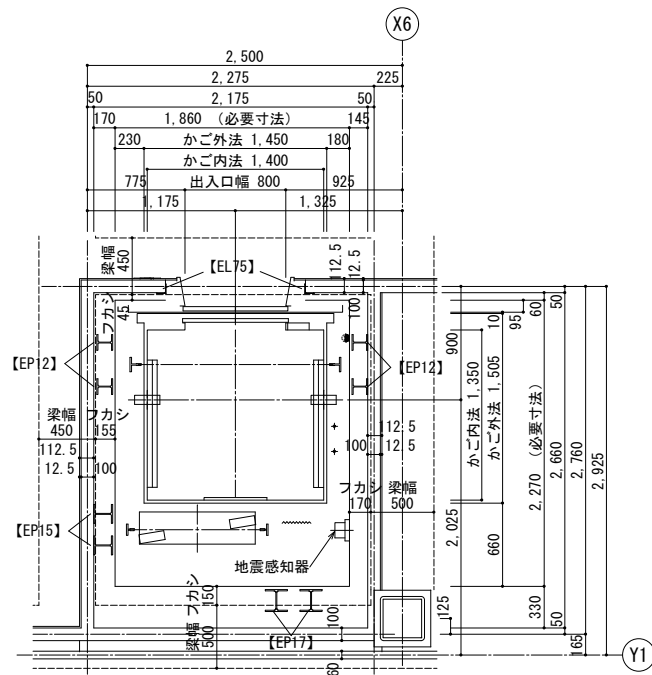
【天井仕上げ材】
株式会社イノアック住環境
愛知県名古屋市中区大宮4-9-27

⑧仕上げ材: 軽量・断熱化粧ボード
⑨専用ジョイナー・カバー
⑩専用防湿テープ
⑫専用遮縁
⑬専用出隅見切縁

株式会社シンワ
愛知県名古屋市中区代官町33-5
⑭点検口

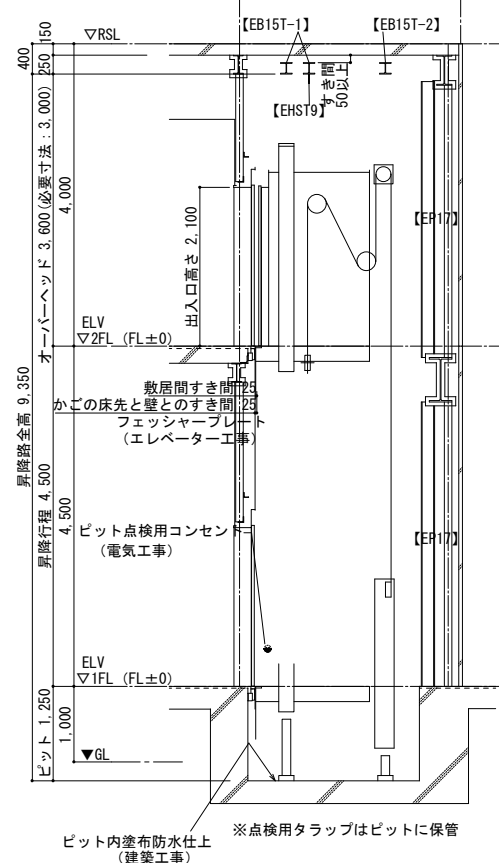


昇降路平面図 (2階) S=1/30



昇降路平面図 (1階) S=1/30

※確認申請、完了検査の手数料及び事務代行費は本工事に含む



昇降路縦断面図 S=1/50

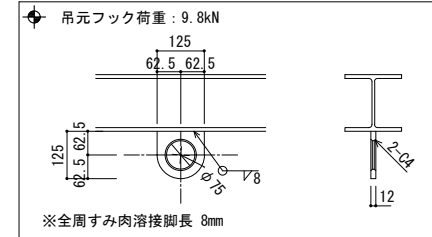
レール反カリスト (地震時作用荷重)		No. 1	
かご側	Px	6.80kN	Py
	一般階	3.40kN	
かご側	Px	7.30kN	Py
	最上階	5.00kN	
おもり側	Px	10.60kN	Py
	一般階	5.30kN	
おもり側	Px	15.50kN	Py
	最上階	10.20kN	

上記 荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定下さい。

鉄骨部材記号表		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP17	レール支持柱	H-175x175x7.5x11
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
E175	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元 (荷重9.8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB15T-2	トリロープ (荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T-1	トリロープ (荷重9.6kN)	H-150x150x7x10

吊元フック ・荷重: 9.8kN	(建築工事)
電源引込み (受電盤への接続) ・動力・照明・接地線 最上停止階 FL-1350mm 引出長さ 3m	(電気工事)
配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階 FL-650mm 引出長さ 3m	(電気工事)

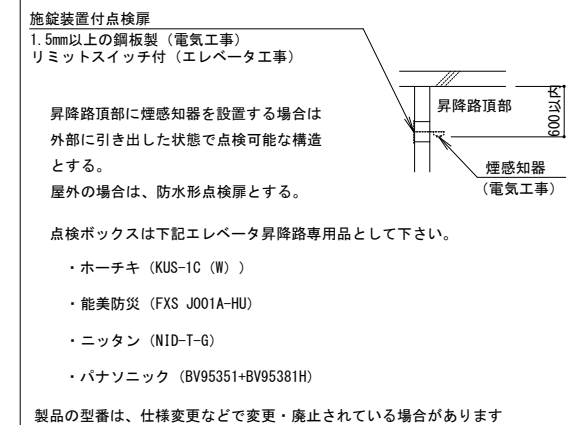
吊元フック詳細



No. 1	
ビット反力	72.80kN
ビット衝撃荷重	61.30kN
	C/W側 48.10kN

ビット点検用コンセント	(電気工事)
T. C保護金網	(エレベーター工事)

煙感知器詳細



特記事項

- ・スタンダード天井
- ・戸開延長ボタン
- ・機械式ドアセフティ (両側)
- ・BGMスピーカー
- ・磁石式保護マット (分割型、標準色、高さ1800)
- ・床マット
- ・視覚障がい者対応 (音声案内装置、点字銘板)
- ・車いす仕様
- 専用乗場ボタン (乗場インジケータボタン組込)
- かご内 (主・副) 専用操作盤: ステンレス製ヘアライン仕上
- かご内鏡: ステンレス製鏡面
- かご手摺: ステンレス製ユニバーサル手摺 (φ38、2方向)
- 戸開放時間 (10秒)
- 点字銘板
- ・荷重: ステンレス製ヘアライン (一体型スタッド止め、高さ350mm)
- ・警報盤 (壁埋込形、インターホン、2.4V単局、フェースプレート: ステンレス製ヘアライン仕上、1個)
- ・警報回路
- ・故障接点支給
- ・フェッシャープレート: ボンデ鋼板 (亜鉛メッキ)

(0177259-2) V.20.00 (FC)

積込み荷重制限	荷重条件	250kg (4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む)
	重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。	
	※フォークリフトの使用はできません。	

【エレベーター遠隔監視メンテナンス】

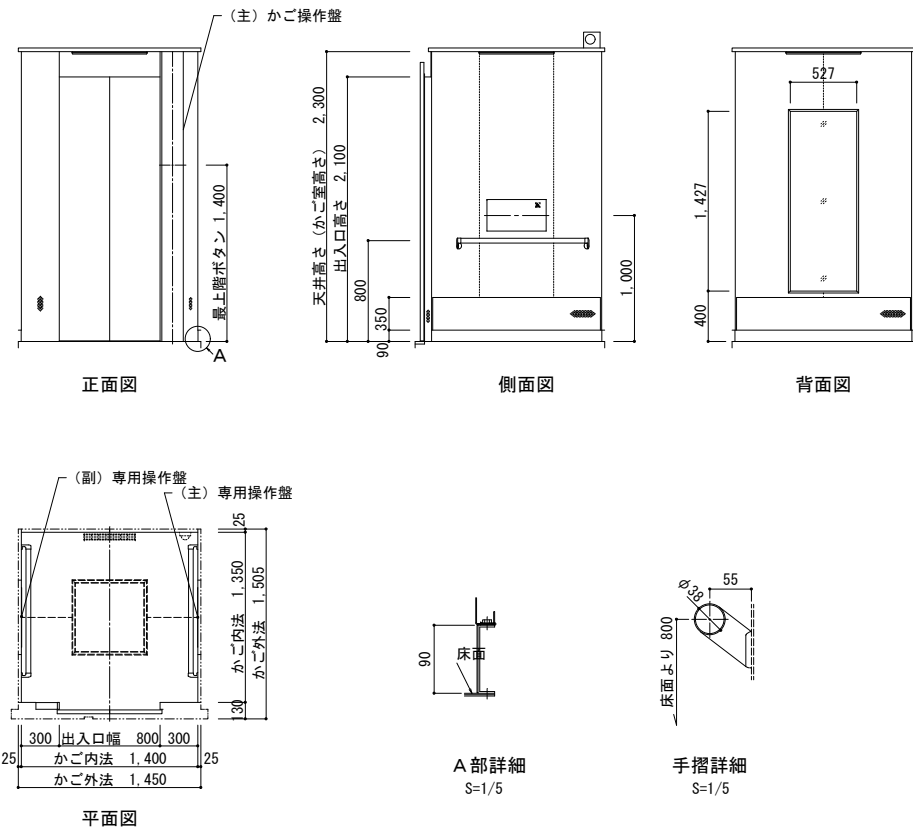
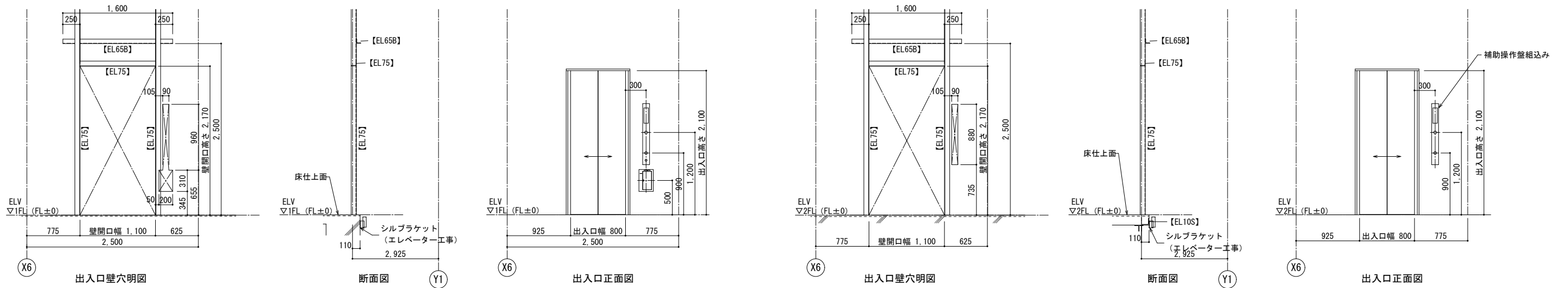
※ このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能機種です。
 ※ 遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
 ※ 上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

エレベーター仕様		
号機名 (台数)	No. 1 (1台)	
用途 (形式)	乗用 (SP11-CO45) 車いす仕様	
積載量 (定員)	750kg (11人)	
速度	45m/min	
制御方式	交流インバータ制御方式 (再生無)	
操作方式	乗全自動方式	
停止ヶ所・出入口方向	(1・2FL) 2ヶ所 1方向	
かご内法 (WxDxH)	1400mmX1350mmX2300mm	
出入口寸法 (WxH)	800mmX2100mm	
ドア方式	2枚戸中央開き (電動式)	
電動機出力	AC-3.5kW (ギヤレス)	
電源	動力	三相3線 200V50Hz
	照明	単相 100V50Hz
管制運転	地震時	有 (P波+S波感知器 (3段検知) リスタート機能付)
	火災時	有
	自家発電時	無
	浸水時/冠水時	有 全自動形 (ビット冠水時 (指定階))
停電時自動着床装置	有	
耐震クラス	S14	
かご内連絡装置	2.4V同時通話インターホン	
基本仕様 及び 標準装備仕様	ローラーガイド (かご、おもり) 照明・換気装置自動休止機能 2D多光軸 (マルチビーム) ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 先行階取消し機能 気配リアナウンス機能 (非常時4ヶ国語対応) イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい間すまみレス 広角ミラー付操作盤	
三方枠	全階	大枠・全傾斜 ステンレス製ヘアライン仕上
ドア	全階	鋼板製単色塗装仕上 (5分つや)
	遮煙	全階 有
敷居	全階	硬質アルミ製
乗場	ボタン	全階 抗菌凸字印ボタン (SIAA認証)
ボタン	インジケータ	全階 デジタル階床表示式
	フェースプレート	全階 平板 ステンレス製ヘアライン仕上
天井照明	[STD-11] アルミフレーム導光板LED照明	
換気装置	ファン・イオン発生機付	
リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上	
出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上	
ドア	化粧鋼板	
幕板	化粧鋼板	
側板	化粧鋼板	
幅木	化粧鋼板	
床	ビニタイル (t2)	
敷居	硬質アルミ製	
操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン (SIAA認証)
	インジケータ	液晶 (カラーユニバーサルデザイン認証)
	フェースプレート	標準 (広角ミラー付) ステンレス製ヘアライン仕上

No. 1		
遮煙のりばドア (Smokeproof)		
適用階	1・2FL	認定番号 CAS-1074 (2)

(1台1回線)

電源設備 (低圧)		
号機名	No. 1	
電源設備容量	動力	200V 4kVA
	照明	100V 1.5kVA
最大電流	21.1A	
動力線サイズ (mm ²)	5.5	8 14
最大引込み距離 (m)	77	119 207
建屋側MCCB	30A	
接地線最小サイズ	2mm ²	
インターホン用配線	φ0.9x10本	
電話用配管・配線	φ19配管・電話線1P	
ビットコンセント容量	1kVA/台	



天井	[照明部] 導光板LED昼光色照明 [天井面] 化粧鋼板
照明	LED
停電灯	LED (兼用)
出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上
リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上
かご扉	化粧鋼板
側板	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
幅木	化粧鋼板
床	非塩ビ系タイル (t2)
敷居	硬質アルミ製
換気方式	横流ファン・イオン発生機付
鏡	ステンレス
手摺	ステンレス製 端部: 亜鉛ダイカストニッケルメッキサンドブラスト仕上
荷摺	ステンレス製ヘアライン仕上 (t2.0)
備考	磁石式保護マット (分割型、標準色、高さ1800), 2D多光軸 (マルチビーム) ドアセーフティ床マット, BGMスピーカー

注意事項	
1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1)昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとする (2)昇降路の壁又は囲いは難燃材料 (不燃材料・準不燃材料含む) とすること (3)昇降路の壁又は囲いは5cm ² 以上300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (4)コンクリート厚さは150mm以上とすること (5)コンクリート基準圧縮強度は21N/mm ² 以上とすること (6)昇降路壁はあと施工アンカーが可能な構造とすること
3	昇降路内にはエレベーターに関係のない配管・配線・ダクト・その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管・消火栓等を埋め込まないこと
5	昇降路内には建築金物 (ALCクリップ等) が突出しないこと
6	昇降路内に断熱材 (ウレタン・スタイロフォーム等) を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は5℃以上40℃以下、湿度は月平均90%以下、日平均95%以下とし、水結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分・有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能な配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しない配置及び躯体構造 (防音・防振工事等) とすること
13	エレベーターホールと風除室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げる
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由する必要があること
15	電源電圧の変動は動力用±10%以内、照明用±5%以内とし、動力用の電圧不平衡率を5%以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1)弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から1m以上分離すること (2)エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3)弱電機器とのアース線共用は避けること (4)エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5)漏電遮断器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事現場詰所及びエレベーター材料・据付工用具材の保管場所が必要
19	仮設揚重機・重機 (ラフタークレーン、タワークレーン等) ・搬入運搬用台車が必要
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源が必要 (容量は別途打ち合わせ)
21	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧 (オーバーホール消耗部品の交換等) 費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
22	かご内へ一度に搬入可能な積載は4輪台車で250kg (台車含む) 以下とすること

		工事区分表						
分類	No.	工事項目	昇降路構造		建築			
			RC	S	建築	電気	設備	昇降機
昇降路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ビット寸法が昇降機承諾図と異なる場合は正工事 オーバーヘッド: 昇降機承諾図寸法に対し20mm以下低い場合 (ただし、必要寸法を確保のこと) ビット: 昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合 (防水面から確保のこと)	○	○	○			
	2	天井フック又はトロリービーム設置工事 (荷重に対し安全率5を確保のこと) (オーバーヘッド高さが400mmを超える場合、トロリービーム設置は必須のこと)	○	○	○			
	3	中間ビーム・セパレータービーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工	○	○	○			
	6	フェッシャプレート取付材設置工事 (フェッシャプレート本体は昇降機工事)	○	○				
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事	○	○				
	8	ビット内防水工事	○	○				
	9	ビット下を使用する場合の建築躯体処理工事	○	○	○			
	10	併設されたエレベーターのビットに段差がある場合の間仕切り工事	○	○				
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○			
	12	昇降路内建築工事仮設床用 (水平養生) の金網、デッキプレート等の撤去工事	○	○	○			
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○				
	14	昇降路内温度が40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○	
乗場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○			
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事 (三方枠・バックアングル・ドア・敷居・押しボタン・インジケータ・モニター等)	○	○	○			
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○			
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○			
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事	○	○			○	
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事 (排水溝・水勾配・庇等)	○	○	○			
電気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事 (外部より点検可能な点検口の設置を含む)	○	○		○		
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事 (昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く)	○	○		○		
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○		○		
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事 (放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ連動信号・監視盤等)	○	○		○		
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○		○		
	6	ビット内点検用コンセントの設置工事 (単独回路)	○	○		○		
その他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○			
	2	エレベーター工事着工後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○			
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○			
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○			
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○			
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	○	

小荷物専用昇降機（電動ダムウエーター）仕様要項

機種	方向	MH16-100	L 方向
積載質量	速度	100 Kg	45 m/min
停止個所	1 ~ 2 F	2 停止	
かご寸法	間口 750 奥行 750 高さ 900		
出入り口寸法	間口 750 高さ 900 枠巾 300/310		
昇降行程	全高 4.5 m		6.8 m
出入り口の形式	中央上下引分け式		
ロープ	φ6 2本	1 : 1	
釣合	おもり加減式		
レール	1.6 t A型		
動力用電源	AC・3相 210V ±10 50 Hz		
電動機	0.4 Kw 4P		
制御方式	インバータマイコン制御		
表示方式	タッチパネル付液晶		
連絡装置	カメラ付ハンズフリーインターホン		
安全装置	ドアロック ドアスイッチ 非常停止ボタン		
オプション	その他法令に定められたもの		

特記事項

戸開放警報装置	到着前お知らせ機能
音声合成アナウンス	機械室床鋪鋼板貼（前面）
かご戸運動閉閉機能付	優先運転モード付
他階モニタ機能	
他階一斉通報	
パーキングスイッチ（テンキーロック式）	
サービスマン切り離し機能（テンキーロック式）	
戸閉保持機能付（出入り口手動戸のみ）	
基準階復帰機能付（無し/手動設定/学習設定）	
戸防火区画対策（閉閉機構で相じゃくり処理）	
自動切り替わり省エネモード（標準）	
抗菌・抗ウイルス加工（操作盤・出入り口の取手）	

部品名	色	材質 / 仕上	板厚
三方枠		鋼板 焼付塗装	1.6 t
枠戸		鋼板 焼付塗装	1.6 t
かご床		ビュアホワイト 鋼板 焼付塗装	1.6 t
かご内部		ビュアホワイト 鋼板 焼付塗装	1.6 t
扉板		SUS304 HL仕上	1.5 t
かご戸		ビュアホワイト 鋼板 焼付塗装	1.6 t
棚板		ビュアホワイト 鋼板 焼付塗装	1.6 t

- 建築工事区分
- 1 W600xH600 施錠付 鋼製 点検口の取付
 - 2 柱の設置 (A)材
 - 3 中間ビームの設置 (B)材
 - 4 機械室内にマシンビーム受材の設置 (C)材
 - 5 出入り口下地材の設置 (D)材
 - 6 昇降路頂部に天井吊り梁（2KN用）の設置 (E)材
 - 7 機械室内に制御盤取付材の設置 (F)材
 - 8 三方枠取付後の壁仕上工事
 - 9 点検口前面折上げ天井（φ800x800以上開放）の施工
 - 10 ビット床・壁（3面）の施工工事

電気工事区分

- 1 機械室内に動力用電源の引込み工事
電線は電線管で保護をし引込み長さは2mとする

電線太さ	2	3.5	5.5	8	14	14
最大長さ	81	143	224	327	572	m

変圧器の容量 1.3 KVA | ブレーカーの容量 10 A

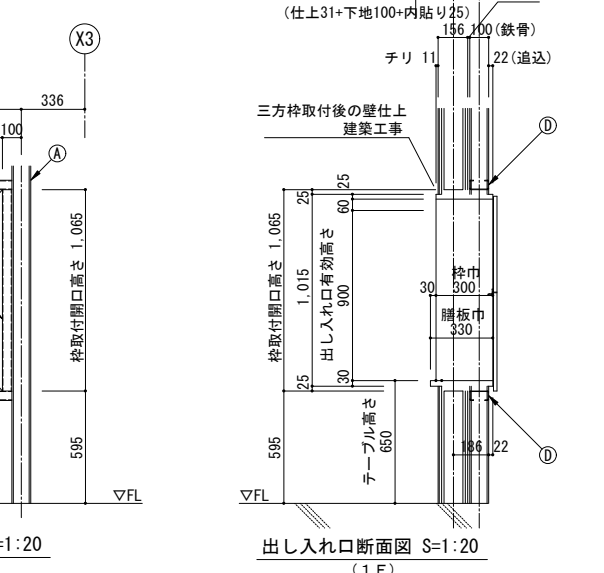
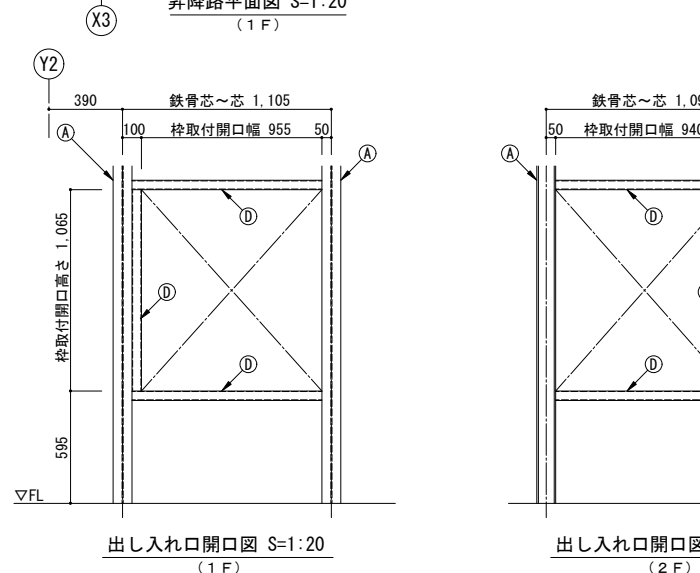
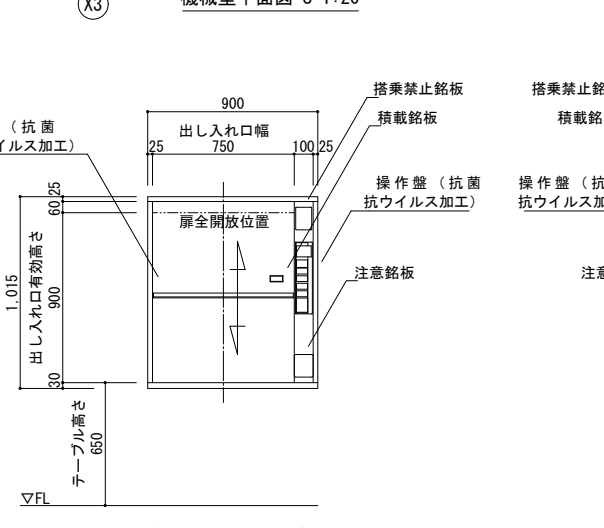
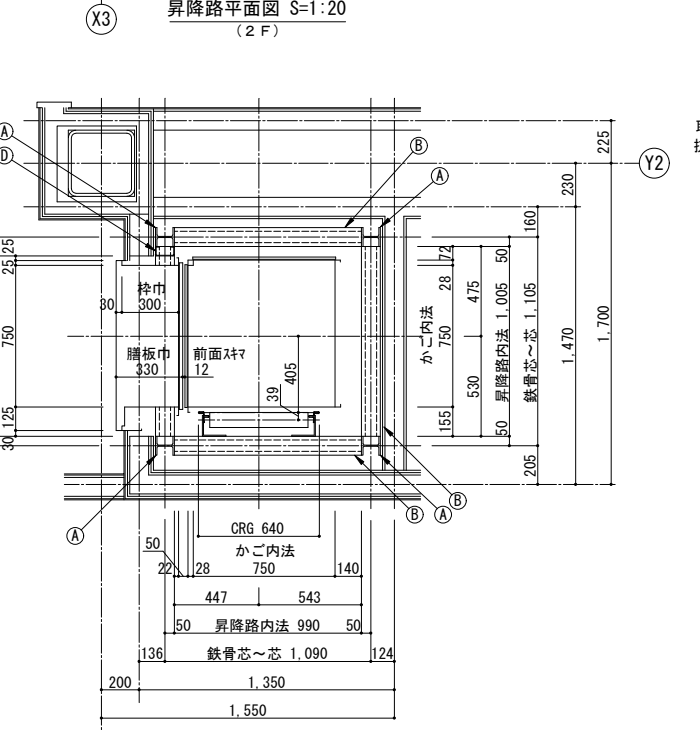
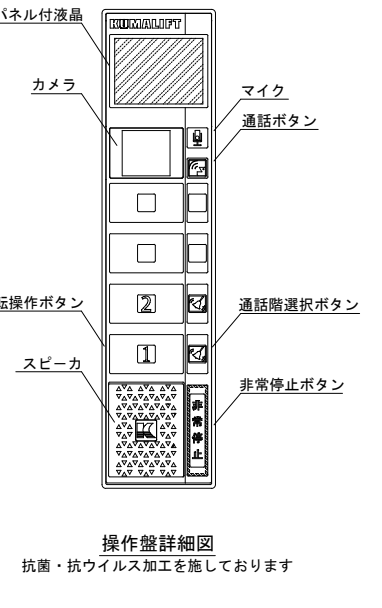
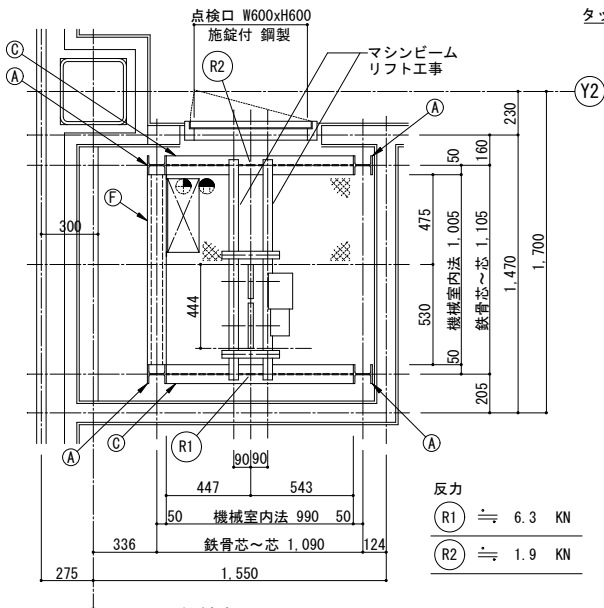
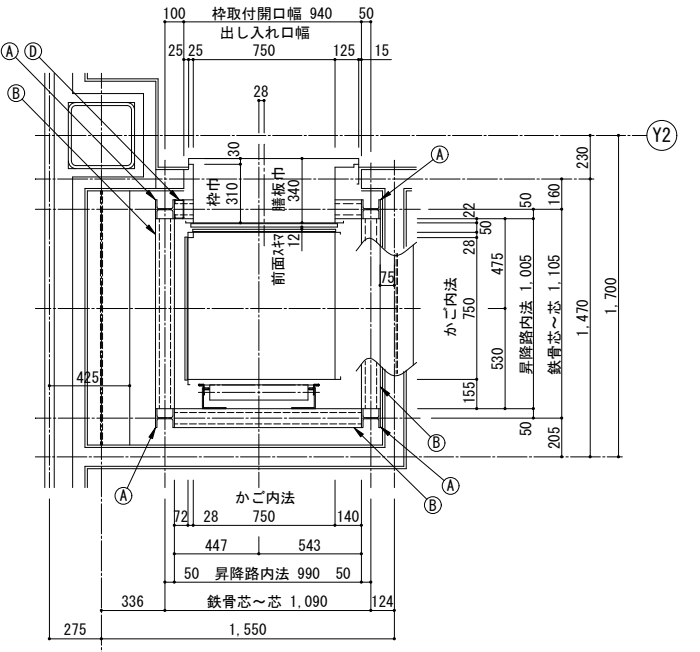
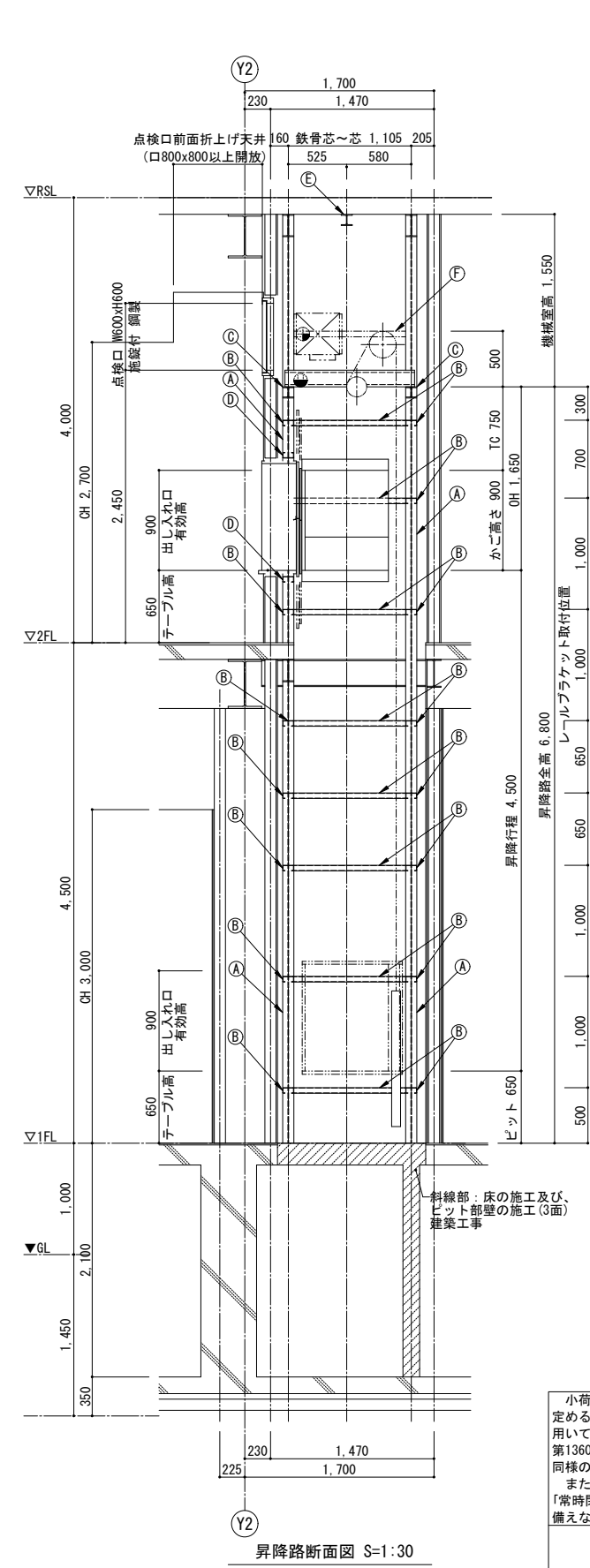
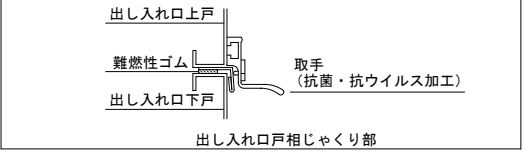
- 2 D種接地線の引込み工事
- 3 機械室内に煙感知器の取付工事（必要な場合）
- 4 機械室内に100V 15A のコンセントの取付工事

部材リスト（建築工事）

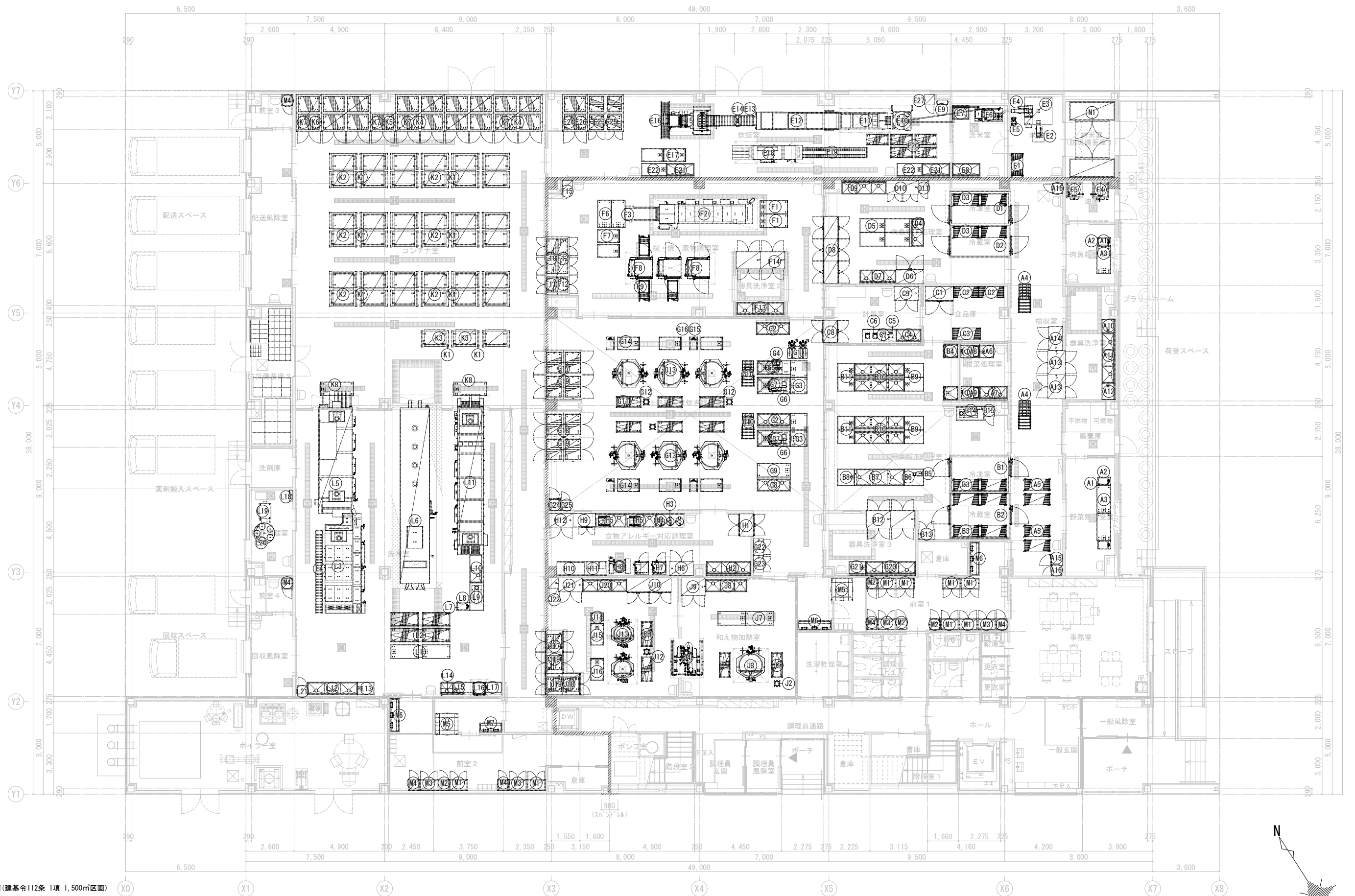
符号	名称	部材
(A)	柱	H-100 x 100 x 6 x 8
(B)	中間ビーム	C-100 x 50 x 20 x 3.2
(C)	マシンビーム受材	H-100 x 100 x 6 x 8
(D)	出入り口下地材	C-100 x 50 x 20 x 3.2
(E)	天井吊り梁	H-100 x 100 x 6 x 8
(F)	制御盤取付材	C-100 x 50 x 20 x 3.2

- 電気工事
- (B)材（中間ビーム）は昇降路4面に設置。
但し、出入り口開口部は除く。
- 電気工事
- ⊕：一次側電源引込位置（3相 200V 50Hz 0.4Kw）
 - ⊙：コンセント（単相 100V 15A）

小荷物専用昇降機については、戸をJEAS-207A（標改10-02）に定める構造として0.8mm以上の鋼板製とし、戸当たり部分を難燃性ゴムを用いて相じゃくりとすれば、すき間のない構造として平成12年建設省告示第1360号による遮炎・遮煙性能を有する防火設備及び、1.5mm以上の鋼板で同様の構造とすれば、同告示第1369号による特定防火設備とみなされる。また、出入り口の戸は、通常、常時閉鎖状態が保持されているので、「常時閉鎖式の防火戸」として取り扱われる。但し、閉め忘れ防止警報装置を備えなければならない。

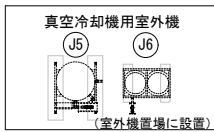


※確認申請、完了検査の手数料及び事務代行費は本工事に含む



防火区画 (建基令112条 1項 1.500㎡区画)

(A1) : 厨房機器記号



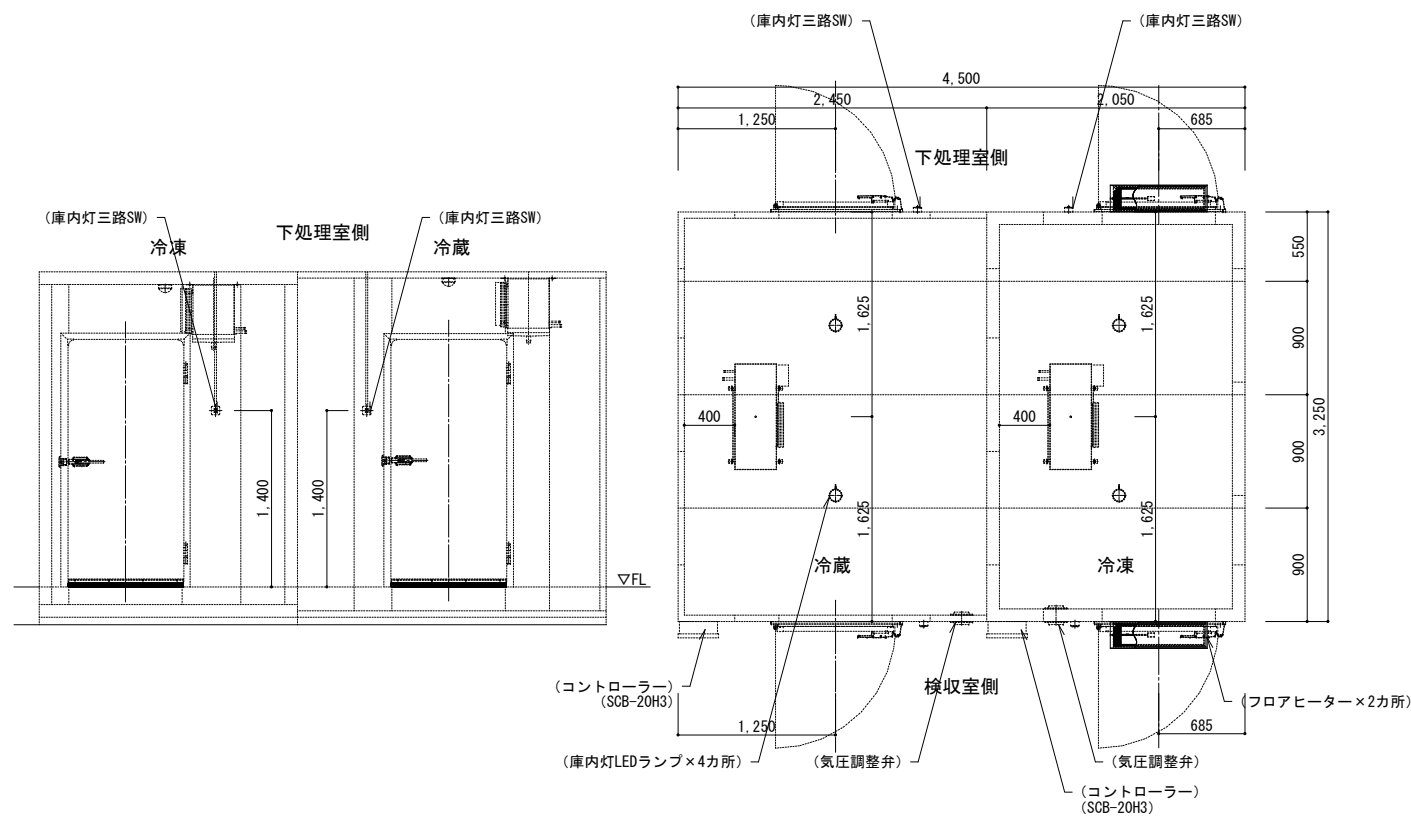
厨房機器位置図 (参考図) S=1/100

	株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)
--	---

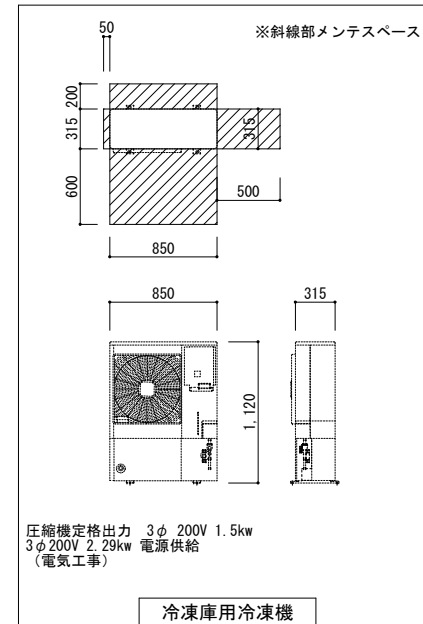
一級建築士事務所 宮城県仙台市青葉区一番町1-8 第22110183号 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 設計部長 松岡 慎 担当 松岡 慎 製図 松岡 慎	22-1278 2023年3月24日 設計部長 松岡 慎 担当 松岡 慎 製図 松岡 慎
--	--

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)	設計図
-----------------------------	-----

図面名 厨房機器位置図 (参考図)	図面種類 A
縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号 081

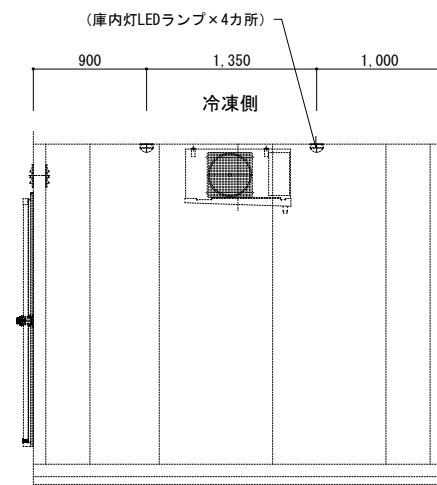
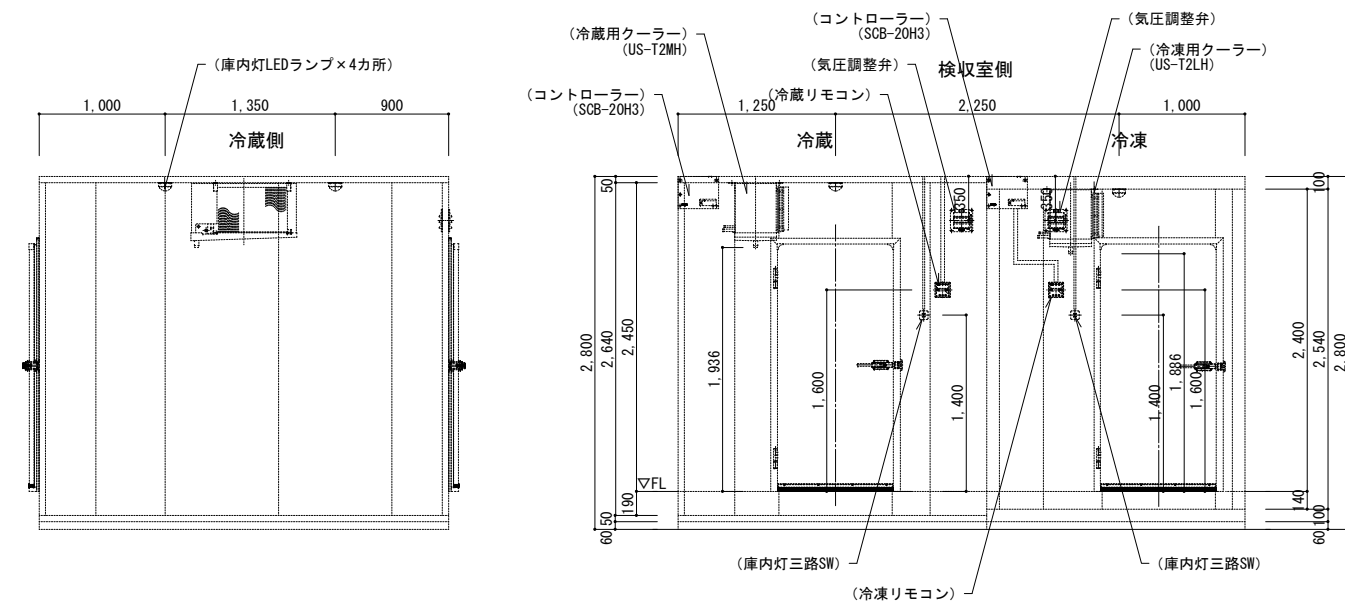


冷却ユニット (仕様別紙)	型式	KU-T2LHV-A
	冷凍機	KX-T2AV
	クーラー	US-T2LH
	コントローラー	SCB-20H3
消費電力 3φ 200V	冷却運転時	2.29 kw
	除霜運転時	1.452kw

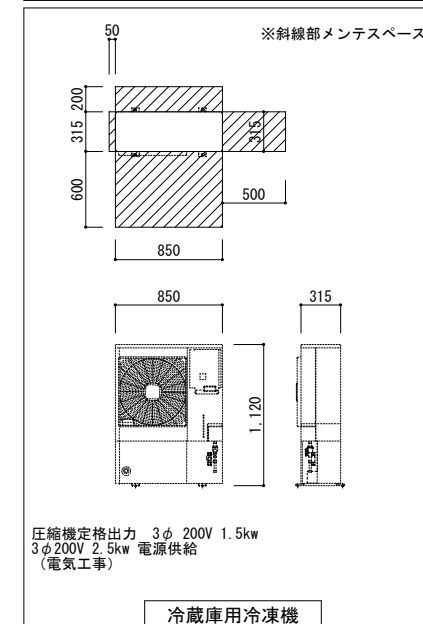


- 形式 PRF-26.40C-2.46(R)/25.40C-2.06(F)
 寸法 F=2050W × 3250D
 R=2450W × 3250D
 床仕様 F=重荷重床付ロールイン仕様(樹脂ベース60H)【標準パネル】
 R=重荷重床付ロールイン仕様(樹脂ベース60H)【標準パネル】
 扉種類 F=845W × 1924H 片開き扉(右ヒンジ) 1枚
 R=863W × 1927H 片開き扉(右ヒンジ) 1枚
 F=845W × 1924H 片開き扉(左ヒンジ) 1枚
 R=863W × 1927H 片開き扉(左ヒンジ) 1枚
 結合方式 F=コーチボルト
 R=コーチボルト
 面材 F=内面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様) 外面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様)
 R=内面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様) 外面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様)
 オプション F=圧力調整弁 (100mm. PF用) 1個
 R=圧力調整弁 (50mm. PR用) 1個
 F=LED庫内灯 2個
 R=LED庫内灯 2個
 F=3路スイッチ セット 2個
 R=3路スイッチ セット 2個
 F=フロアヒーター (KRFE-845SR)
 R=フロアヒーター (KRFE-863SR)
 F=フロアヒーター (KRFE-845SL)
 R=フロアヒーター (KRFE-863SL)
 R=ドア枠ヒーター (KRRE-863SR)
 R=ドア枠ヒーター (KRRE-863SL)
 F=埋め込み高さ 140mm
 R=埋め込み高さ 190mm
 F=掘り込み深さ 300mm
 R=掘り込み深さ 300mm

パネル割は製作時変更になる場合があります。
 3坪以下の場合は庫内灯40W(スイッチ付)を含みます




冷却ユニット (仕様別紙)	型式	KU-N2MHV-F
	冷凍機	KX-T2AV
	クーラー	US-T2MH
	コントローラー	SCB-20H3
消費電力 3φ 200V	冷却運転時	2.5 kw
	除霜運転時	1.302kw



※図中の()内は設備工事

図名	B1プレハブ冷凍庫/B2プレハブ冷蔵庫(参考図)	図面種類	A
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)	図面番号	084

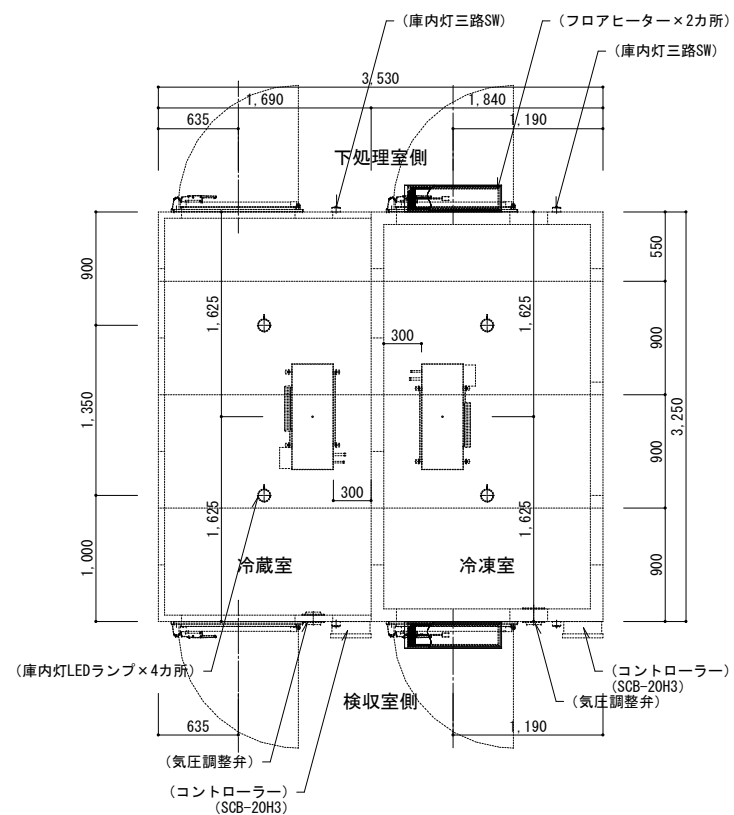
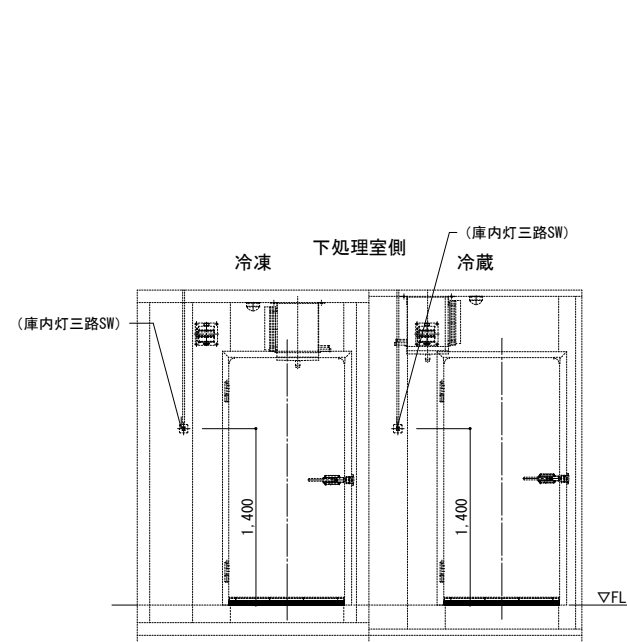

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	検 閲	担 当	製 図

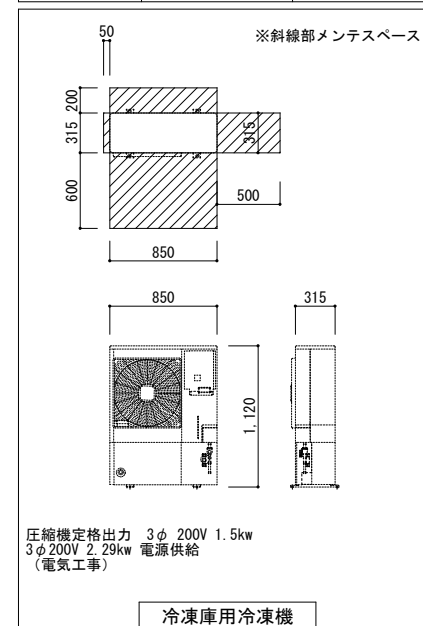
(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事)

設計図

図名	B1プレハブ冷凍庫/B2プレハブ冷蔵庫(参考図)	図面種類	A
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)	図面番号	084



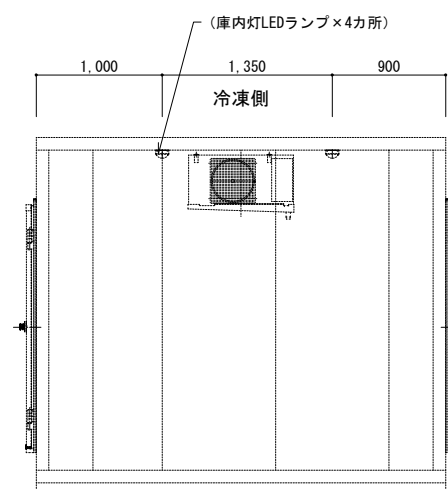
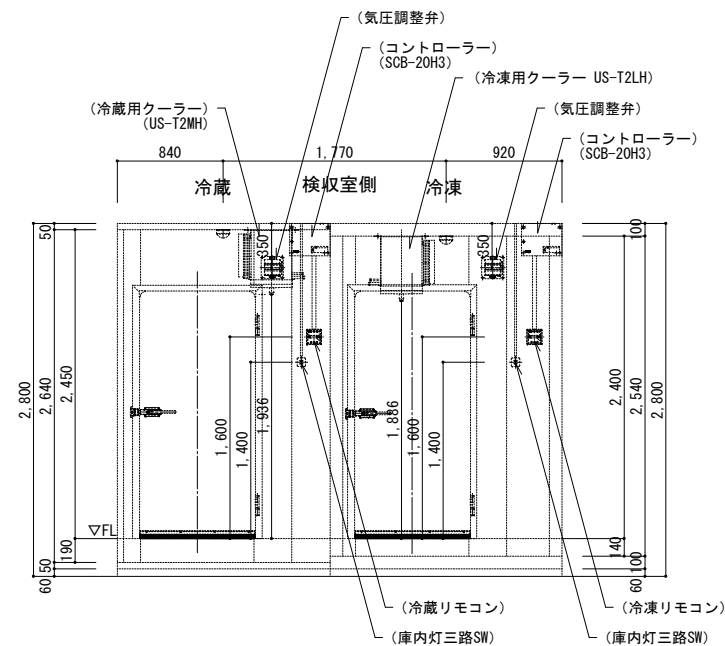
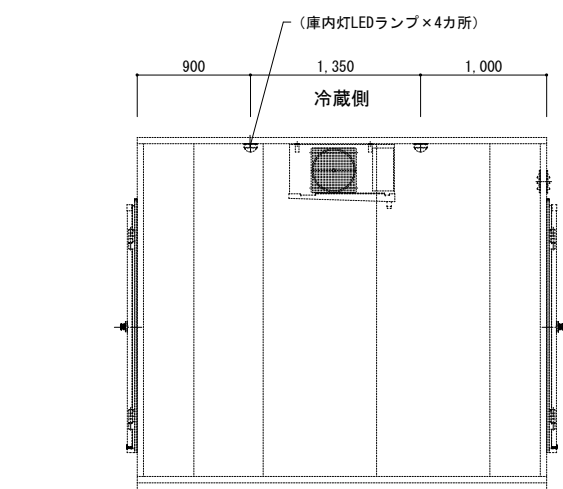
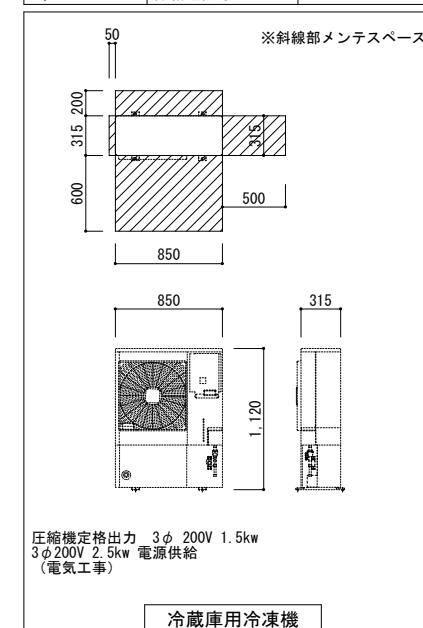
冷却ユニット (仕様別紙)	型式	KU-T2LHV-A
	冷凍機	KX-T2AV
	クーラー	US-T2LH
	コントローラー	SCB-20H3
消費電力	冷却運転時	2.29 kw
3φ 200V	除霜運転時	1.452kw



- 形式 PRF-26.40C-1.70(R)/25.40C-1.85(F)
 寸法 F=1840W × 3250D
 R=1690W × 3250D
 床仕様 F=重荷重床付ロールイン仕様(樹脂ベース60H)【標準パネル】
 R=重荷重床付ロールイン仕様(樹脂ベース60H)【標準パネル】
 扉種類 F=845W × 1924H 片開き扉(左ヒンジ) 1枚
 R=863W × 1927H 片開き扉(左ヒンジ) 1枚
 F=845W × 1924H 片開き扉(右ヒンジ) 1枚
 R=863W × 1927H 片開き扉(右ヒンジ) 1枚
 結合方式 F=コーチボルト
 R=コーチボルト
 面材 F=内面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様) 外面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様)
 R=内面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様) 外面: カラー鋼板(抗菌防カビ仕様)
 オプション F=圧力調整弁 (100mm. PF用) 1個
 R=圧力調整弁 (50mm. PR用) 1個
 F=LED庫内灯 2個
 R=LED庫内灯 2個
 F=3路スイッチ セット 2個
 R=3路スイッチ セット 2個
 F=フロアヒーター (KRFE-845SL)
 R=フロアヒーター (KRFE-863SL)
 F=フロアヒーター (KRFE-845SR)
 R=フロアヒーター (KRFE-863SR)
 R=ドア枠ヒーター (KRRE-863SL)
 R=ドア枠ヒーター (KRRE-863SR)
 F=埋め込み高さ 140mm
 R=埋め込み高さ 190mm
 F=掘り込み深さ 300mm
 R=掘り込み深さ 300mm

パネル割は製作時変更になる場合があります。
 3坪以下の場合は庫内灯40W(スイッチ付)を含みます

冷却ユニット (仕様別紙)	型式	KU-N2MHV-F
	冷凍機	KX-T2AV
	クーラー	US-T2MH
	コントローラー	SCB-20H3
消費電力	冷却運転時	2.5 kw
3φ 200V	除霜運転時	1.302kw



※図中の()内は設備工事

図名	D1プレハブ冷凍庫/D2プレハブ冷蔵庫(参考図)	図面種類	A
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)	図面番号	085

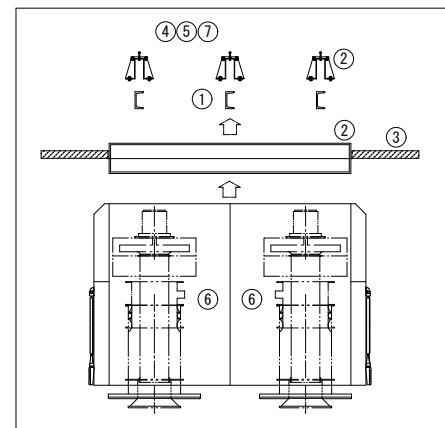
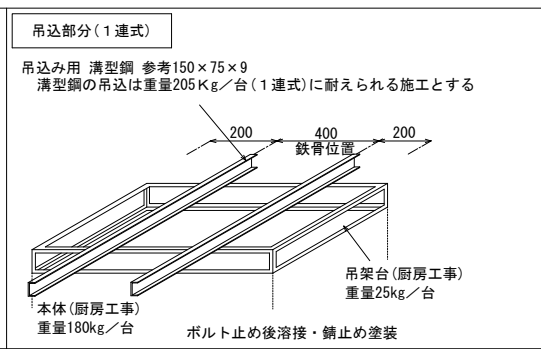
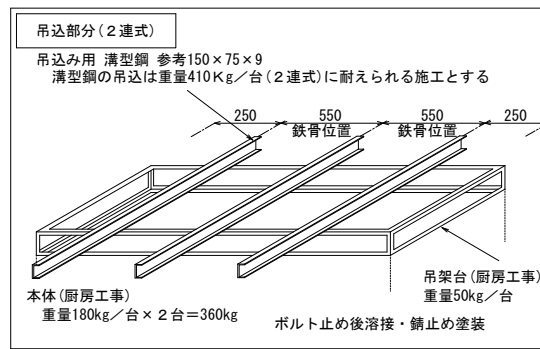
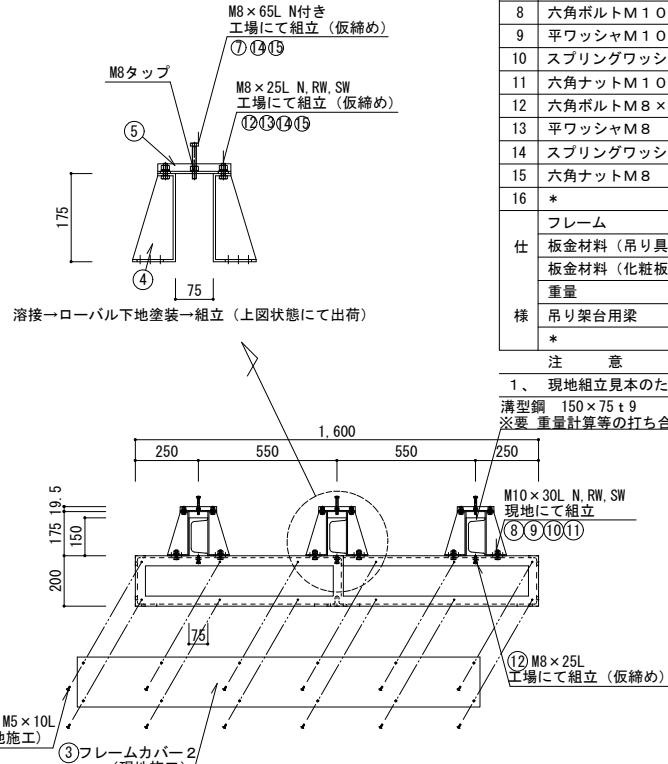
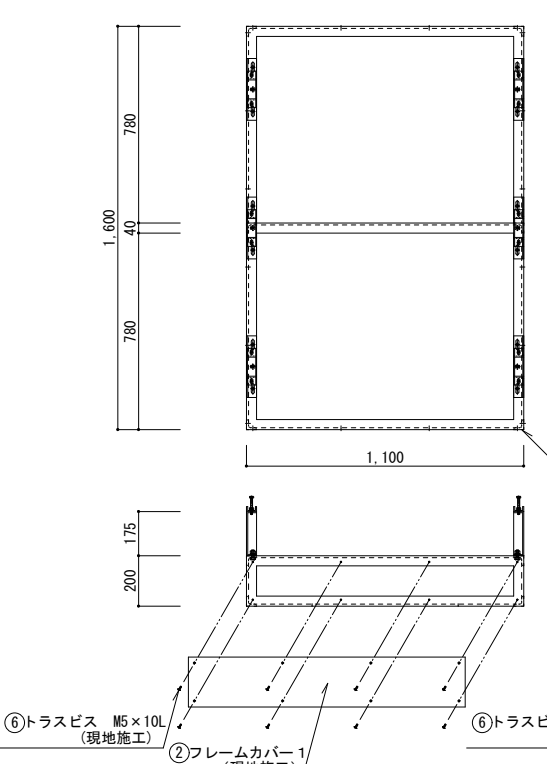
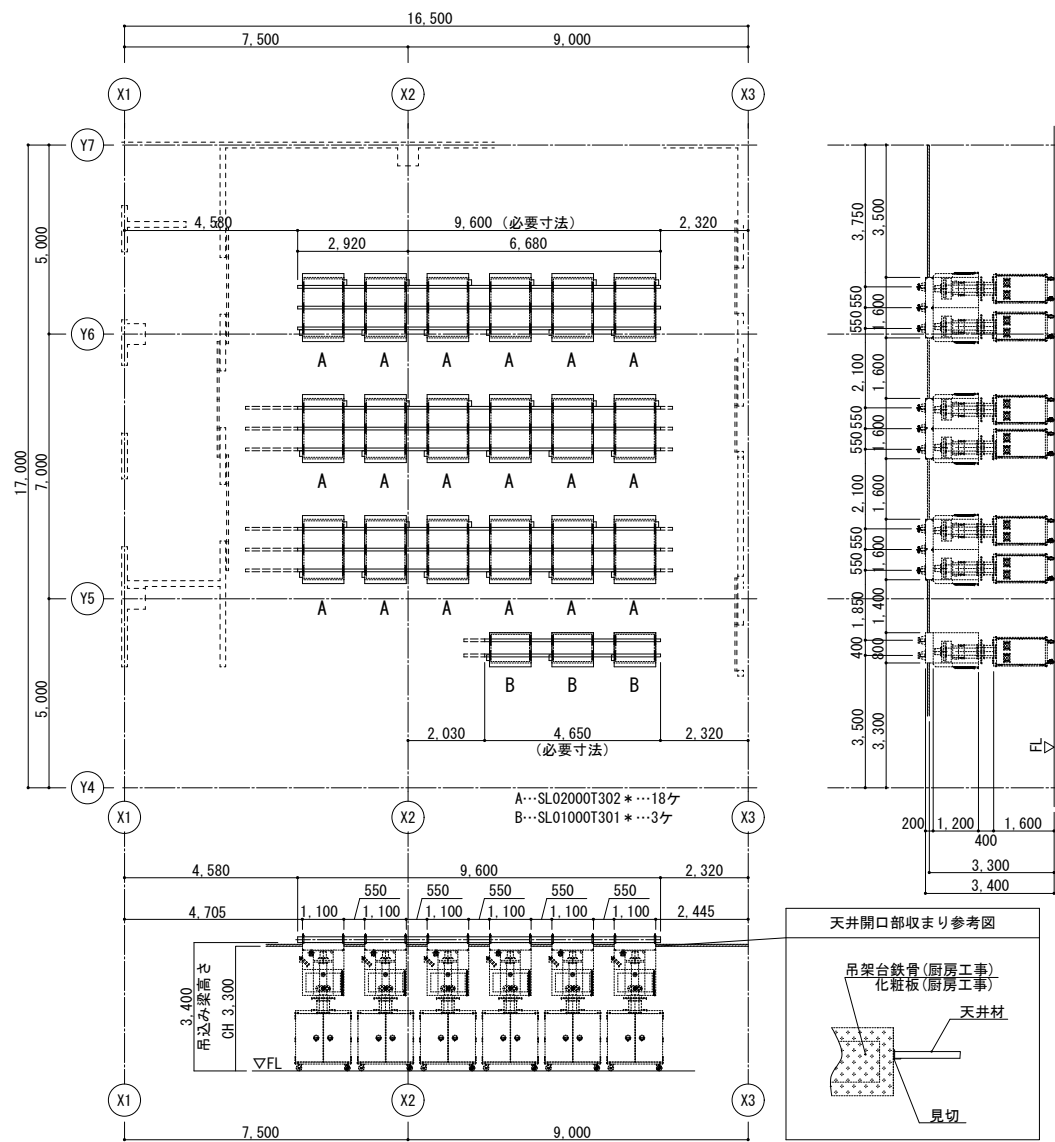
株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	検 閲	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図名	D1プレハブ冷凍庫/D2プレハブ冷蔵庫(参考図)	図面種類	A
縮尺	S=1:30(A3版 50%縮小)	図面番号	085



工程及び工事区分

NO	工程	工事区分
①	機器吊り込み用鋼材	建築工事
②	機器吊り込み用枠取付レベル出し	(厨房工事)
③	天井	建築工事
④	機器吊り込み部分天井内換気	(設備工事)
⑤	機器吊り込み取付	(厨房工事)
⑥	機器設置後天井内にて電機接続工事	(電気工事)
⑦	コンテナ消毒時設置位置確認床ライン	建築工事

天吊式コンテナ消毒保管機放熱量(1台当たり)

1連式	放熱箇所 放熱量(kcal/h)		備考
	天井	室内	
	500	1,200	設備側配管は考慮していない 天吊式コンテナ消毒保管機の排気筒からの放熱量

天吊用コンテナ車放熱量(1台当たり)

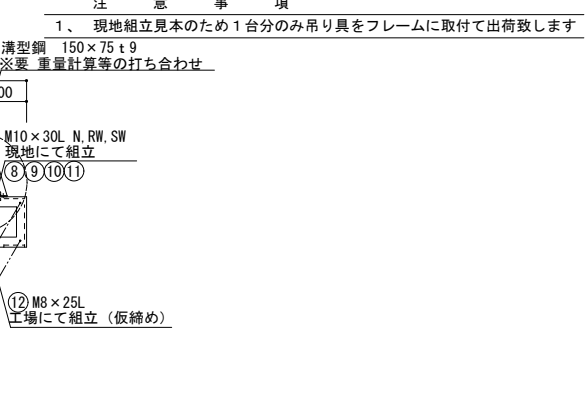
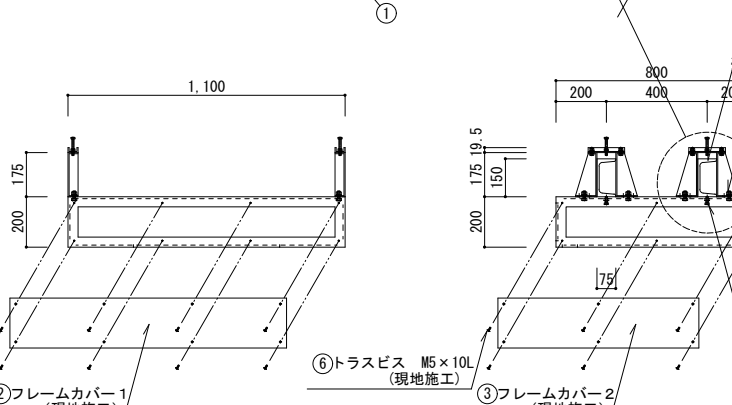
2連式	放熱箇所 放熱量(kcal/h)		備考
	天井	室内	
	1,000	約3,000	設備側配管は考慮していない コンテナ1台当たり

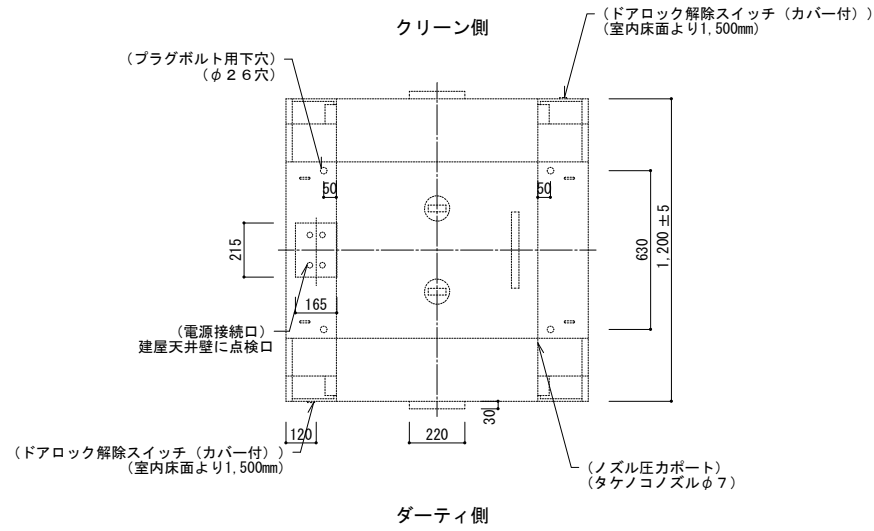
NO	名	数量	規	格
1	フレーム	1	*	SS400
2	フレームカバー-1	2	*	SUS430 NO4
3	フレームカバー-2	2	*	SUS430 NO4
4	吊り具1	12	*	SS400
5	吊り具2	6	*	SS400
6	トラスビスM5×10	40	*	SUS上部レベル調整用
7	六角ボルトM8×65	6	*	SS
8	六角ボルトM10×30	12	*	SS
9	平ワッシャM10	12	*	SS
10	スプリングワッシャM10	12	*	SS
11	六角ナットM10	12	*	SS
12	六角ボルトM8×25	18	*	SS 下部レベル調整用
13	平ワッシャM8	12	*	SS
14	スプリングワッシャM8	12	*	SS
15	六角ナットM8	12	*	SS
16	*	*	*	*
仕	フレーム		SS400	
	板金材料(吊り具)		SS400	
	板金材料(化粧板)		SUS430	
	重量		50Kg	
様	吊り架台用梁		溝型鋼 150×75 t9	
	*		*	

注 意 事 項
1、 現地組立見本のため1台分の吊り具をフレームに取付けて出荷致します
溝型鋼 150×75 t9
※要 重量計算等の打ち合わせ

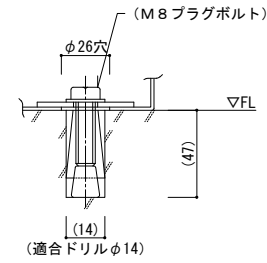
NO	名	数量	規	格
1	フレーム	1	*	SS400
2	フレームカバー-1	2	*	SUS430 NO4
3	フレームカバー-2	2	*	SUS430 NO4
4	吊り具1	8	*	SS400
5	吊り具2	4	*	SS400
6	トラスビスM5×10	28	*	SUS上部レベル調整用
7	六角ボルトM8×65	4	*	SS
8	六角ボルトM10×30	8	*	SS
9	平ワッシャM10	8	*	SS
10	スプリングワッシャM10	8	*	SS
11	六角ナットM10	8	*	SS
12	六角ボルトM8×25	12	*	SS 下部レベル調整用
13	平ワッシャM8	8	*	SS
14	スプリングワッシャM8	12	*	SS
15	六角ナットM8	8	*	SS
16	*	*	*	*
仕	フレーム		SS400	
	板金材料(吊り具)		SS400	
	板金材料(化粧板)		SUS430	
	重量		25Kg	
様	吊り架台用梁		溝型鋼 150×75 t9	
	*		*	

注 意 事 項
1、 現地組立見本のため1台分の吊り具をフレームに取付けて出荷致します
溝型鋼 150×75 t9
※要 重量計算等の打ち合わせ

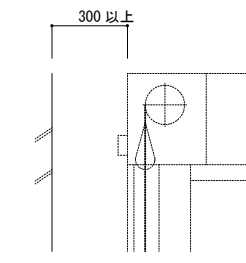




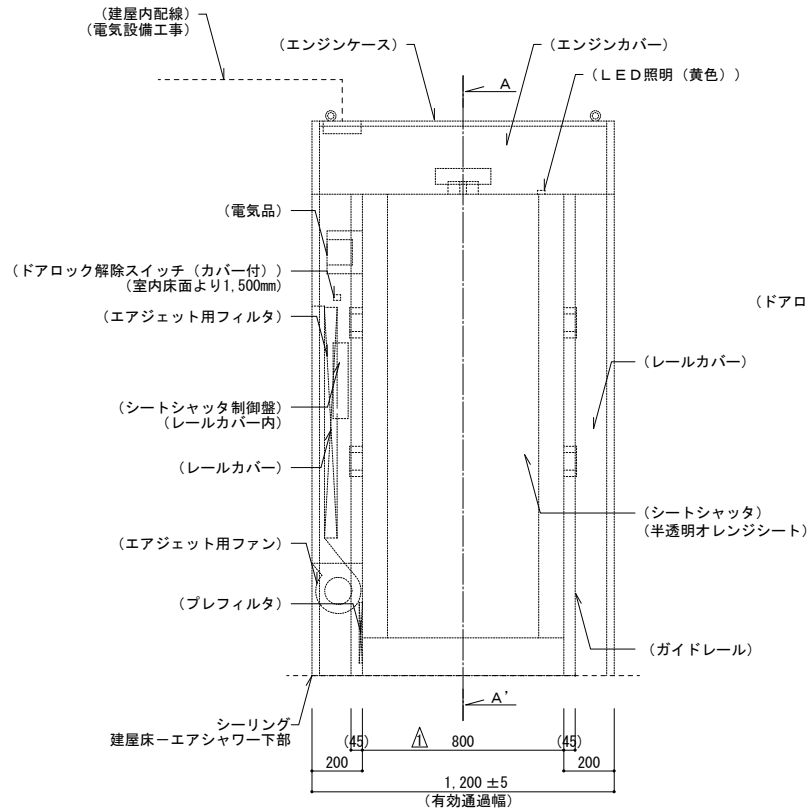
平面図 S=1/15



建屋床加工詳細図

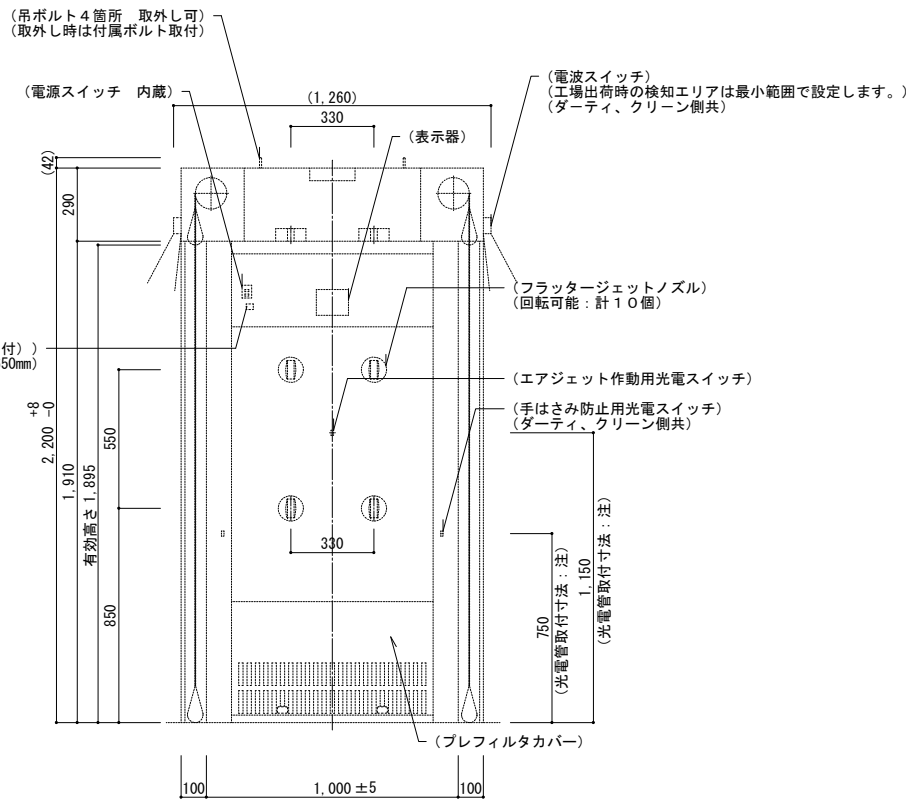


注記 1. ドアエンジン点検のため上図に示しますように点検スペースを300mm以上あけること



立面図 S=1/15

※ 図示の光電スイッチ高さより低い寸法の物品、空の台車等が入り出す場合は、光電スイッチで検知できず異常動作になる可能性がありますのでご注意下さい。



A-A' 断面図 S=1/15

項目	仕様		
形式	PCJ-88SC1BSNT		
集じん要素	前処理用	プレフィルタ	サラネットフィルタ
	主フィルタ	エアジェット用	HEPAフィルタ (0.3 μm粒子にて99.99%以上)
エアジェットノズル	フラッタージェットノズル (埋込形、回転可能)		
循環風量	エアジェット作動時	10/12m3/min ± 20% (初期にて)	
気流清浄度	ISOクラス5 (旧米連邦規格クラス100) (気流吹出部にて) (室内清浄度は保証外) (0.5 μm粒子径、周囲クラスISOクラス8 (同100,000)、無負荷時)		
エアジェット風速	振動気流の原点にて 25/30m/s ± 20% (初期における平均値)		
エアジェットノズル数	10個		
操作	PLC (プログラマブルコントローラ) によるプログラム制御 詳細は動作説明図を参照願います。		
構造	本体	鋼板製樹脂焼付塗装仕上げ板	
	ドア	ダーティ側	シートシャッタ, 半透明オレンジシート
および	床	クリーン側	シートシャッタ, 半透明オレンジシート
	照明	無し (建屋床をそのまま使用致します)	
材質	LED照明	黄色 x 1灯 (入退室後自動消灯時間: 1~999秒 出荷時: 10秒)	
	塗色	エアシャワー本体: ネオホワイト半ツヤ [マンセル記号 (参考値) 5Y8.5/1] シートシャッタ: エンジン、枠: マンセル記号 (参考値) 5Y8.5/0.5	
電源	本体	AC200V ± 10% 3φ	周波数 50/60Hz その他 天井部に受電用端子台付
消費電力	エアジェット運転時	415/690W ± 20%	
設備電力	本体	510/790VA以上	シートシャッタ 4000VA以上
電氣的保護装置	過負荷時のモータ保護用サーマルリレー付		
表示器	エアジェットカウントダウン [秒]	(8~999秒まで表示可能)	
	エアジェット時間 [秒]	(8~900秒まで任意設定可能) (出荷時: 8秒)	
製品質量	約 470 kg	クリーンアップ (沈静化) 時間 [秒]	(0~99秒まで任意設定可能) (出荷時: 1秒)
	周囲環境	温湿度	5~40℃ 85%RH以下
搬入形態	完成品		
最大ユニット寸法	W1200 x D1260 x H2242 mm		
付属品	M8プラグボルト x 4ヶ, ワッシャ x 4ヶ, 吊穴塞ぎボルト x 4ヶ, 防塵マット x 1枚 (600 x 600)		
関連図	寸法図	325-332175131	
	配線図	325-332175136	
	動作説明図	325-332175140	
	操作説明図	325-332175141	
特記仕様	-		
その他	2台		

※図中の()内は設備工事

図名	エアシャワー 詳細図 (参考図)
図面番号	A
縮尺	S=1:15 (A3版 50%縮小)

設計者	松下設計仙台支社
設計部長	松田 健
検査	松田 健
担当	松田 健
製図	松田 健

委託番号	22-127S
日付	2023年3月24日
設計部長	松田 健
検査	松田 健
担当	松田 健
製図	松田 健

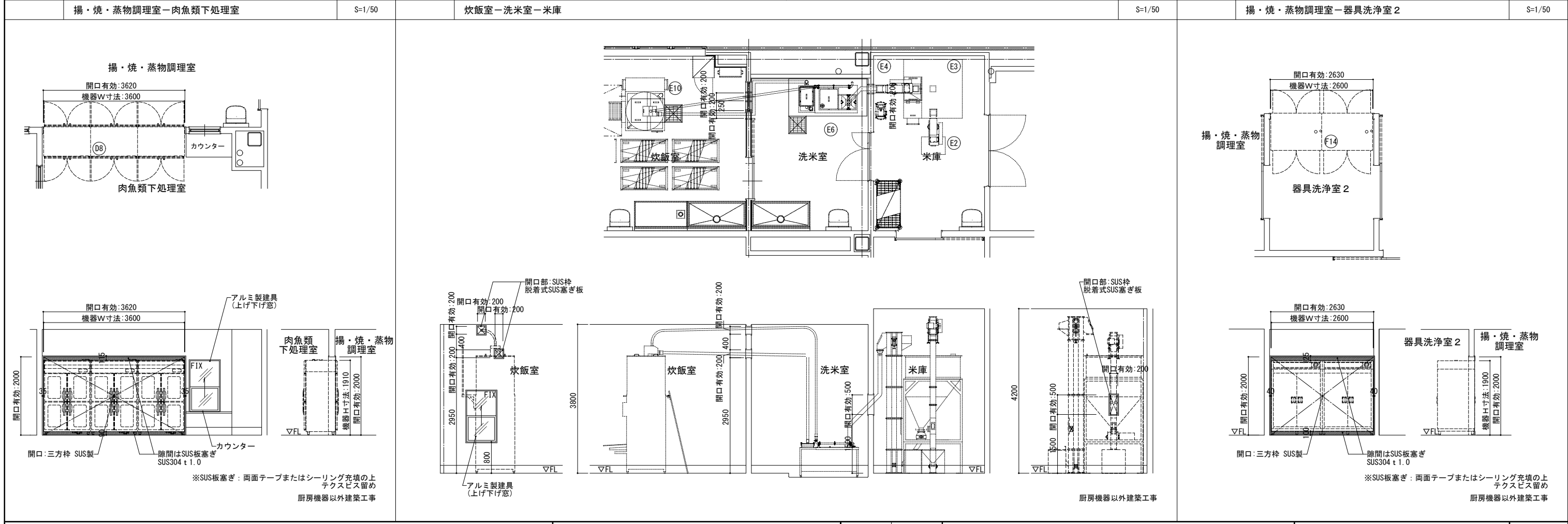
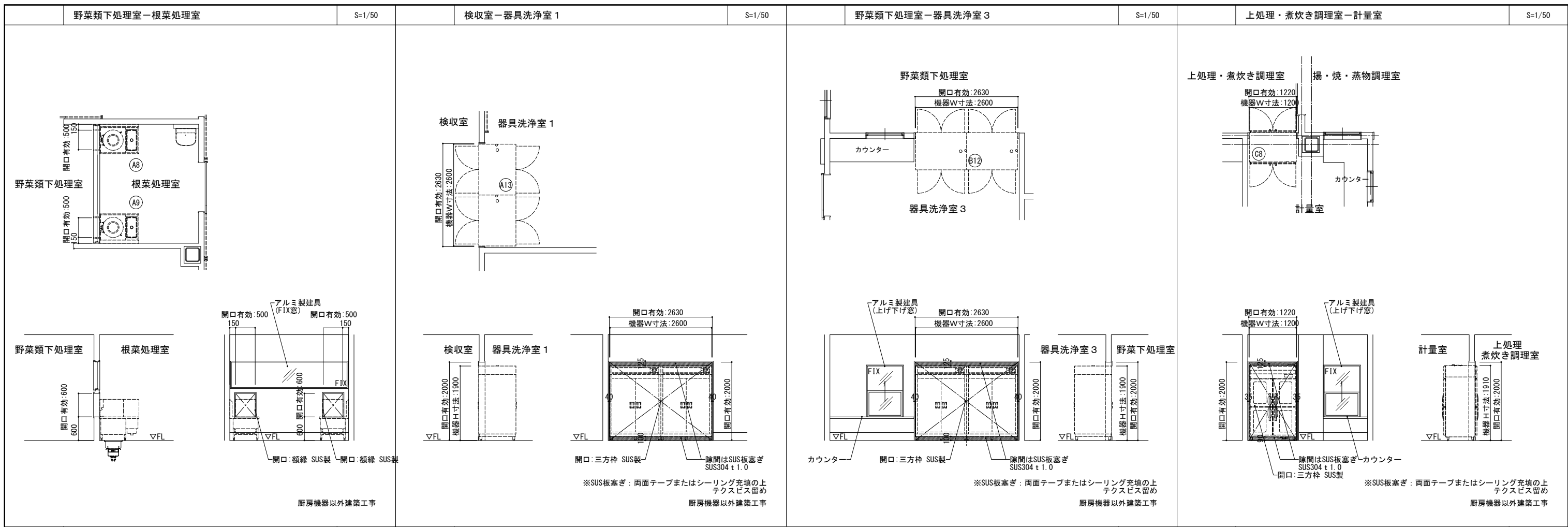
図名	エアシャワー 詳細図 (参考図)
図面番号	A
縮尺	S=1:15 (A3版 50%縮小)
図面番号	087

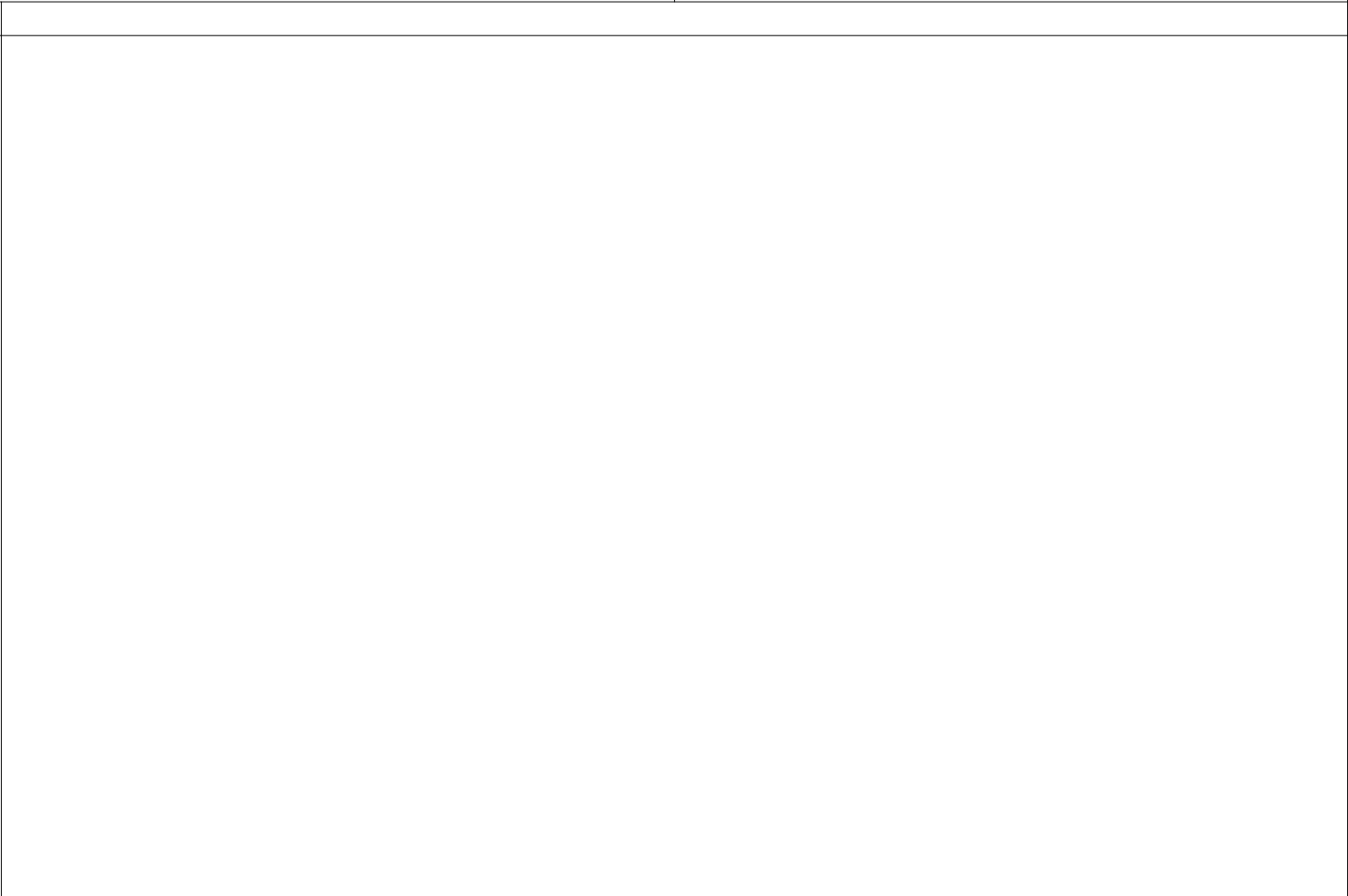
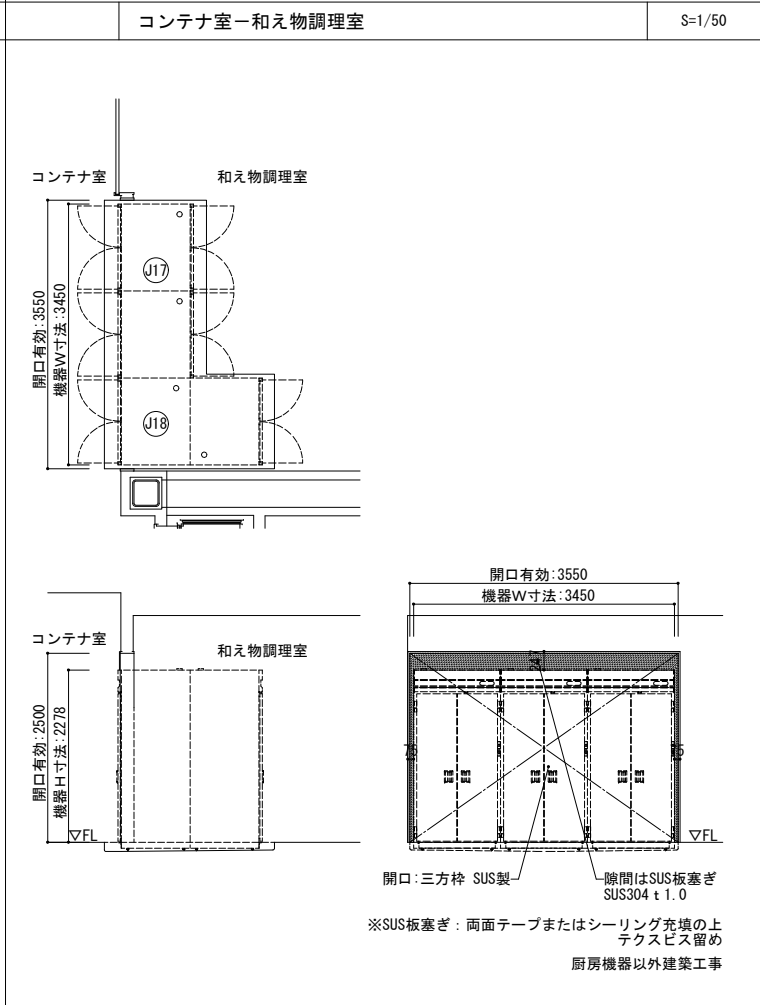
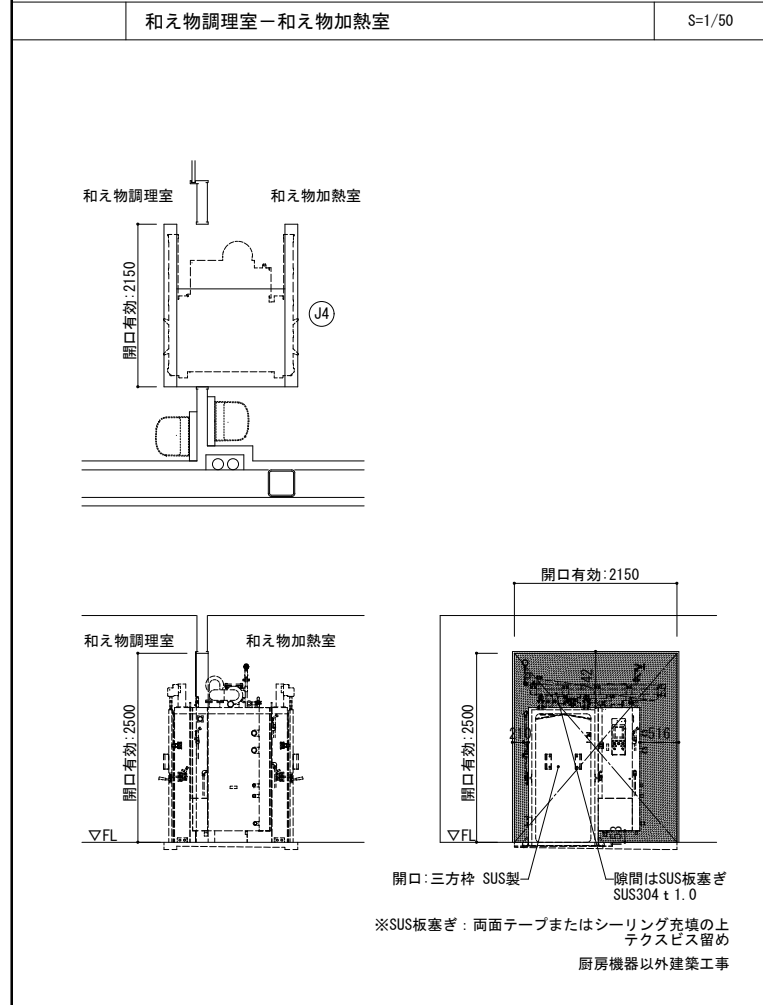
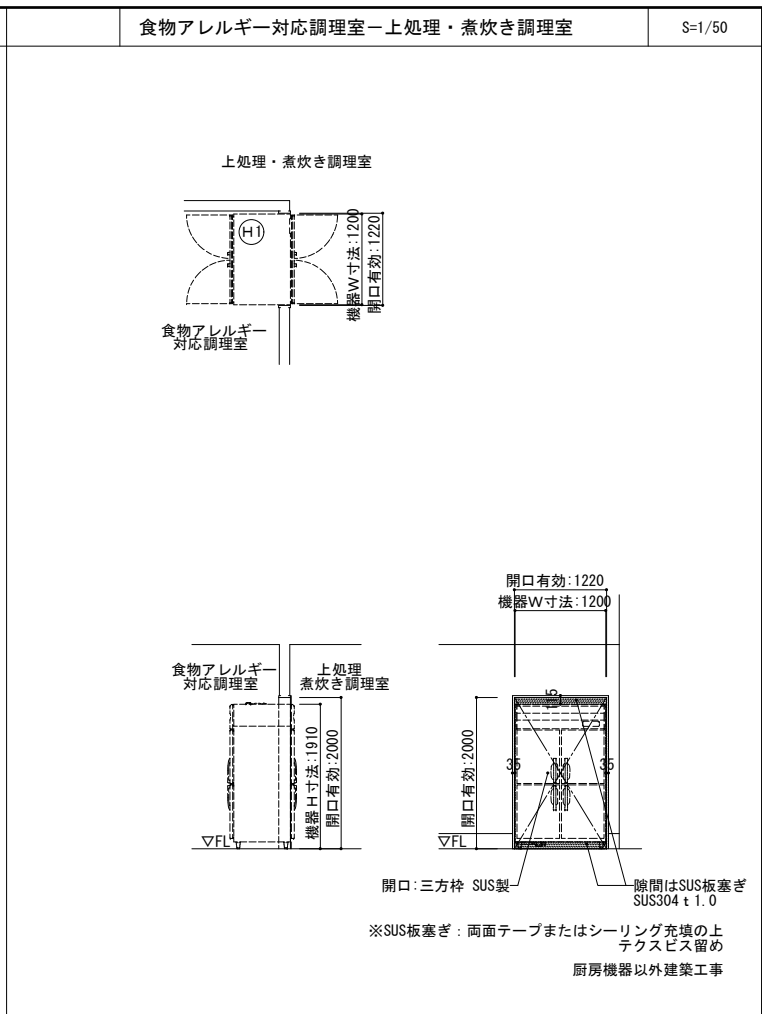
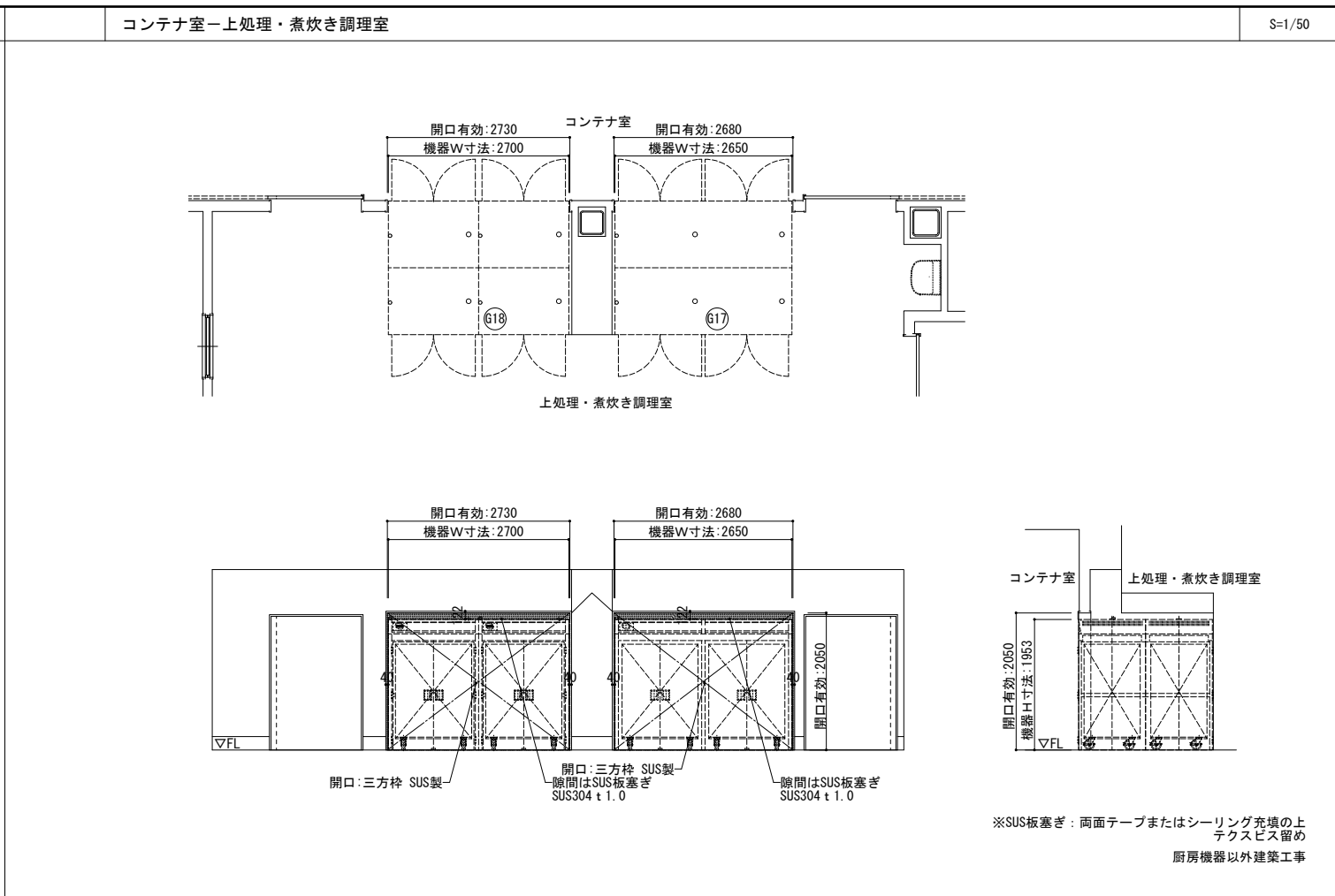
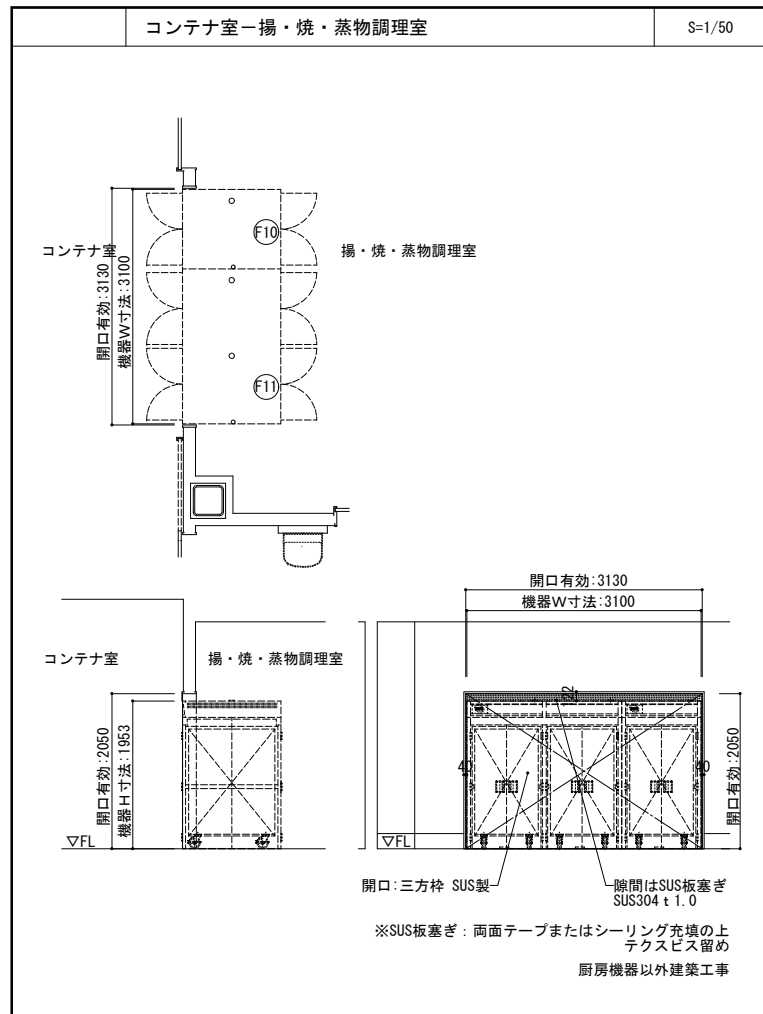
(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)





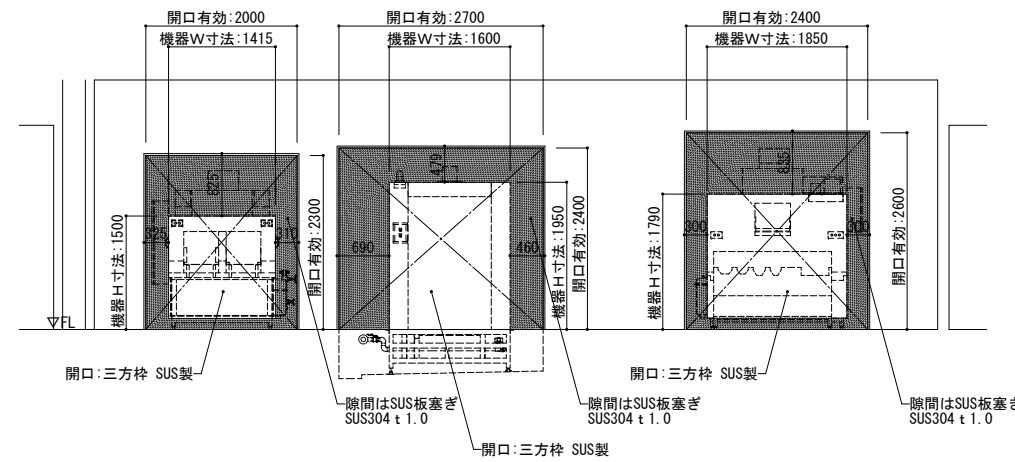
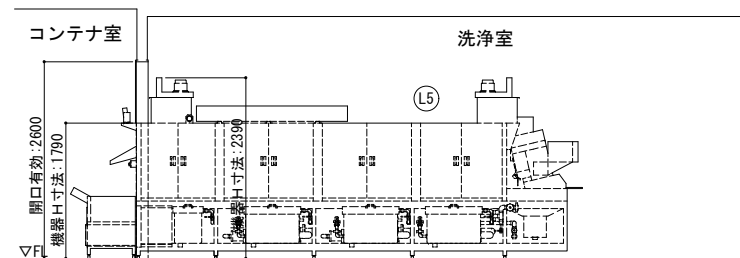
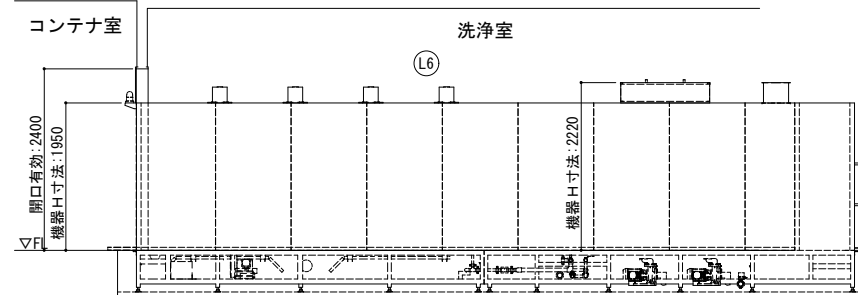
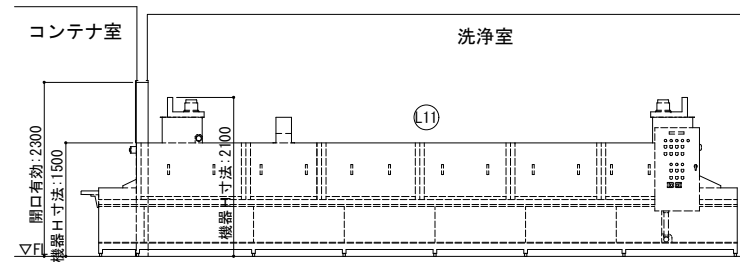
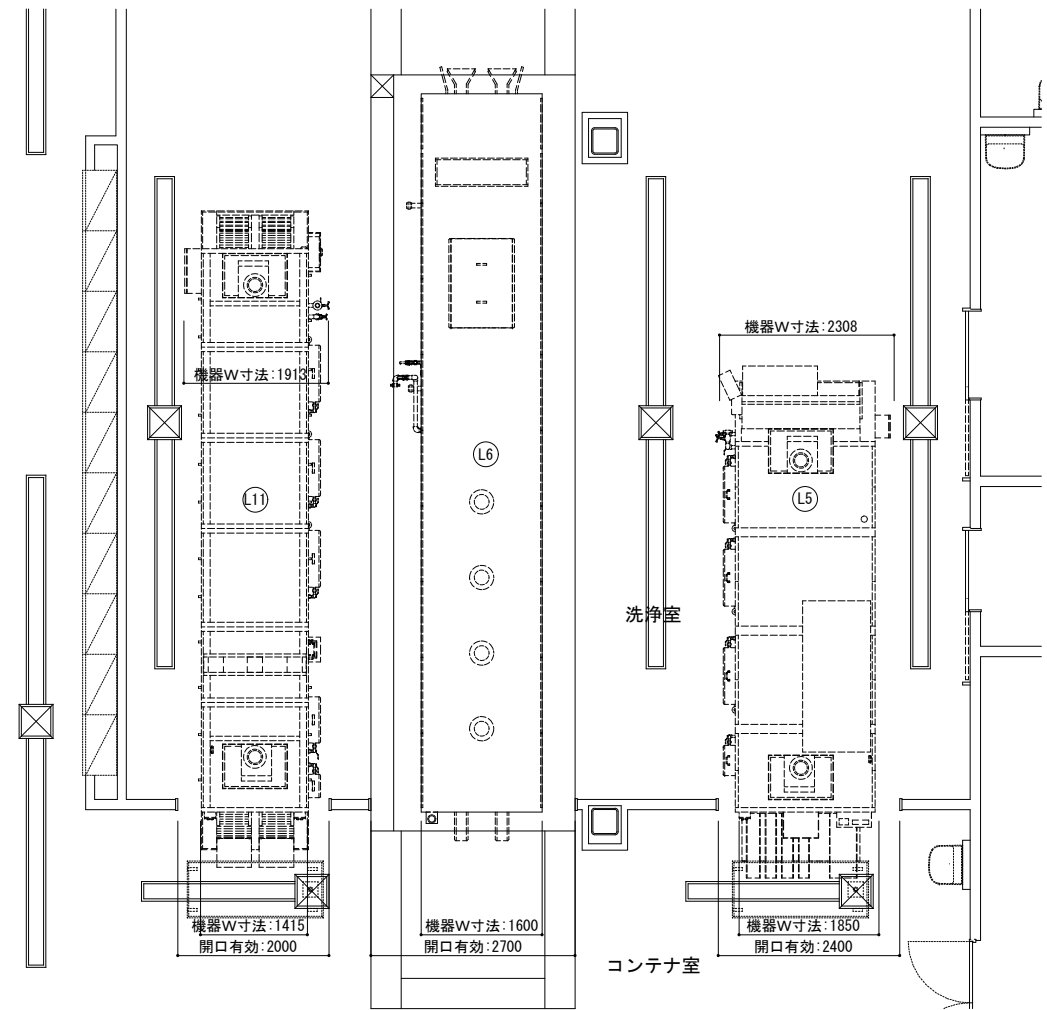
図面名	開口展開詳細図(2)(参考図)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)


委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	松岡	担当	製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図

図面名	開口展開詳細図(2)(参考図)	図面種別	A
図面番号		図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	縮尺	089



※SUS板塞ぎ：両面テープまたはシーリング充填の上
テクスビス留め
厨房機器以外建築工事

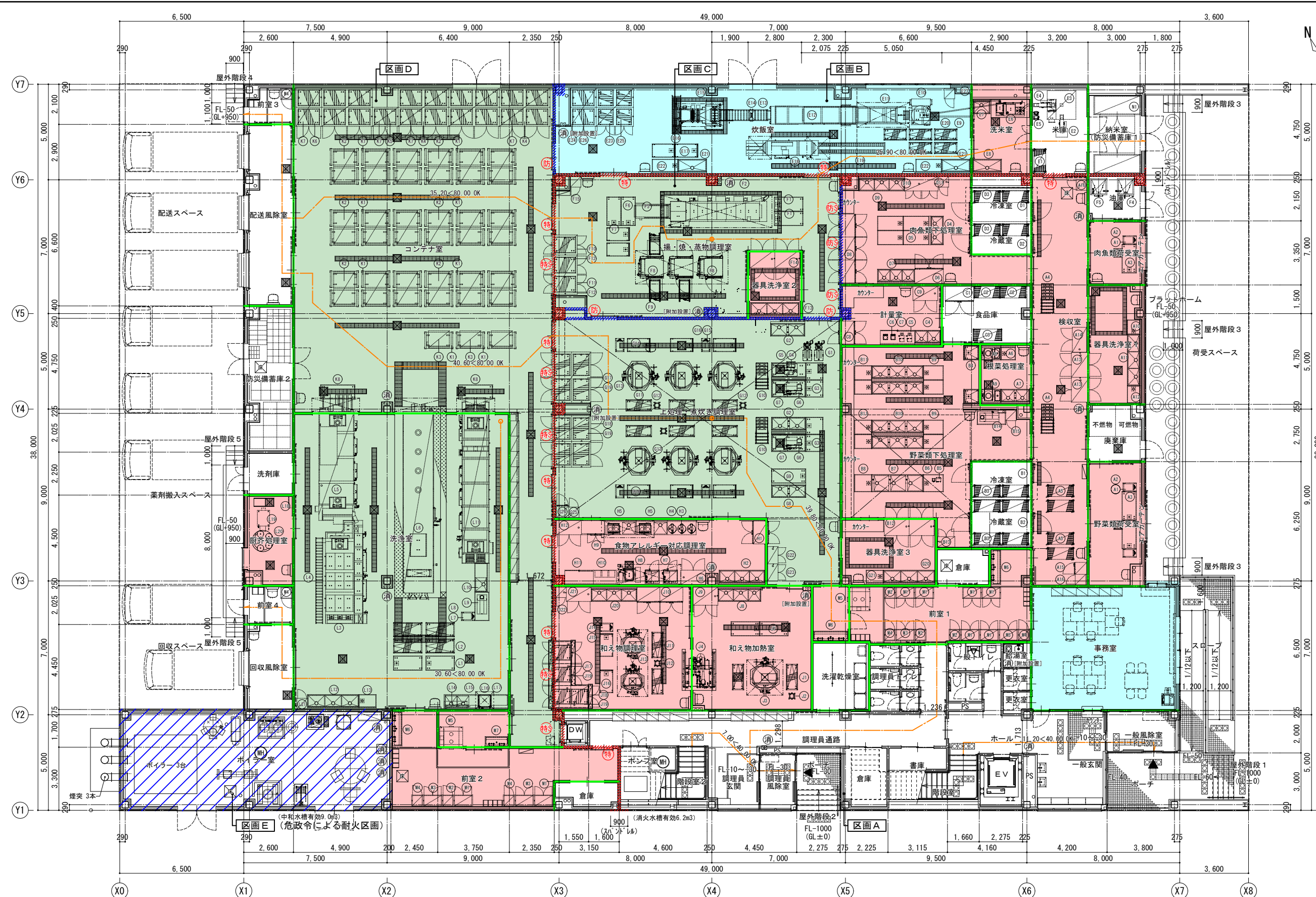

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 横岡	担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図面名 開口展開詳細図(3)(参考図)	図面種別 A
図面番号	図面番号
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)	090



- 凡例
- 防火区画 (建基令112条 1項 1,500㎡区画)
 - 不燃区画 (火災予防条例)
 - 排煙区画
 - 居室: 自然排煙
 - 居室: 機械排煙
 - 居室: H12建告1436号第4号ニ-(4) 内装の地下及び仕上とも不燃
 - 特 特 特定防火設備 (扉・シャッター)
 - 防 防 防火設備 (扉・シャッター)
 - 消 消 消火器 (ABC 10型)
 - 消 消 消火器 (ABC 大型)
 - ◀ 主要な出入口 (建基令125条 1項)
 - 歩行距離 (建基令120条)
(1階: 階段から40m以下、無窓居室から80m以下)
(2階: 無窓居室から階段まで40m以下、居室から階段まで60m以下)
消防法: 1・2階 無窓階

防火区画

区画①	区画A+C	1,443.10㎡
区画②	区画B+D+E	810.85㎡

不燃区画

区画A	1,330.42㎡	259.51kW
(1階: 907.66㎡, 2階: 422.76㎡)		
区画B	147.00㎡	288.90kW
区画C	112.68㎡	328.45kW
区画D	589.33㎡	227.60kW
区画E	74.52㎡	1,056.67kW/台

- 蒸気ボイラー仕様 (3台)
- 形式: 貫流形 (灯油焚)
 - 相当蒸発量: 1,500kg/h
 - 実際蒸発量: 1,250kg/h
 - 伝熱面積: 9.9㎡
 - 燃料消費量: 110.3L/h
 - 使用圧力: 0.6MPa
 - 最高使用圧力: 0.98MPa

廊下

幅: 両側居室 (1,600≦)	(最狭部) 2,000
幅: その他 (1,200≦)	(最狭部) 1,236

屋内階段

階段幅 (1,200≦)	階段室 1: 1,307	階段室 2: 1,257
踊場幅 (1,200≦)	1,307	1,257
けあげ (200≧)	195.65	195.65
踏面 (240≦)	270	270
手すりの設置	両側	両側

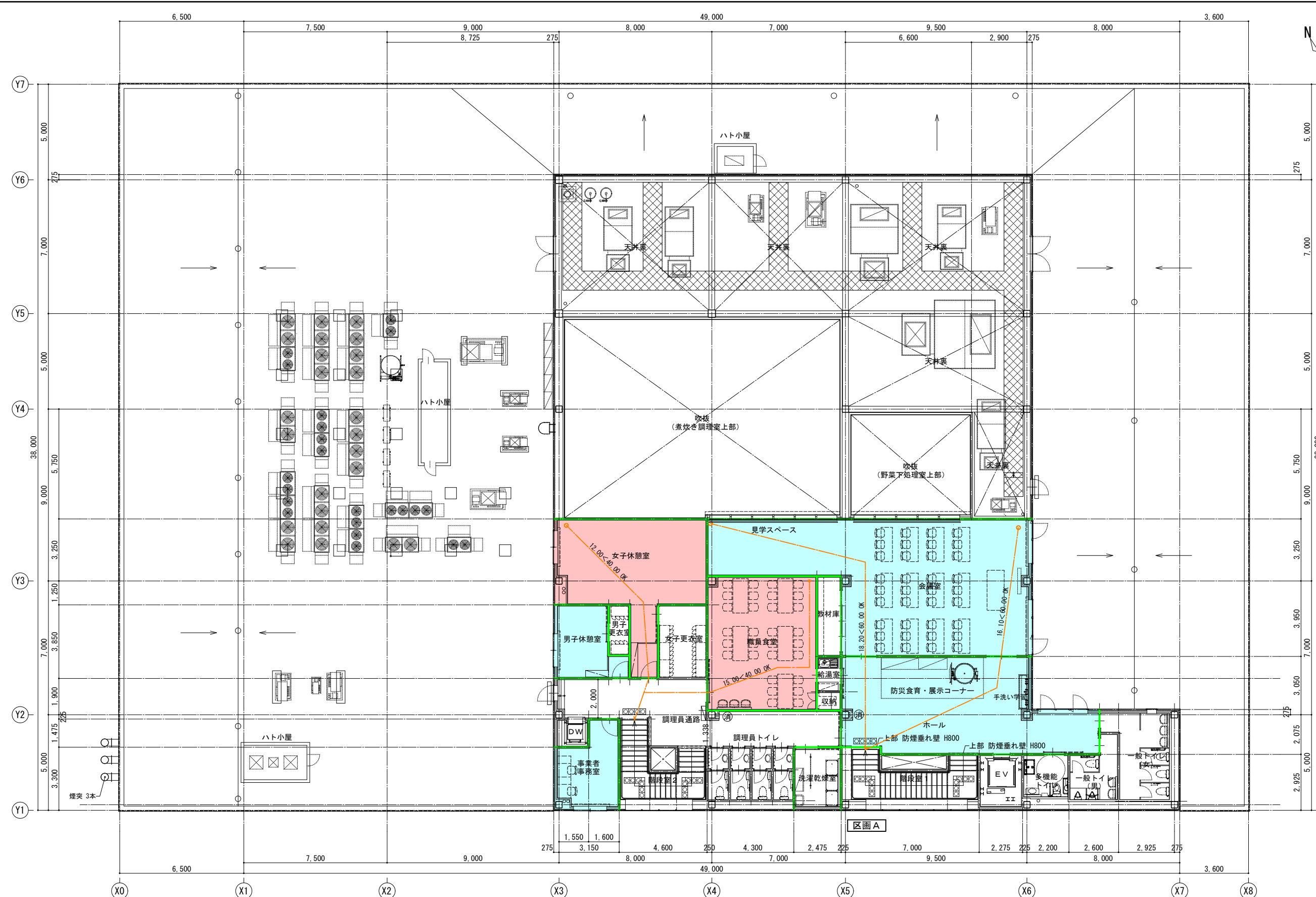
屋外階段

階段幅 (900≦)	屋外階段 1: 2,213	屋外階段 2: 2,078	屋外階段 3: 900	屋外階段 4: 900	屋外階段 5: 900
けあげ (200≧)	188	190	190	190	190
踏面 (240≦)	270	270	250	250	250
手すりの設置 (H1,000以下のため適用外)					

スロープ (福まち条例)

幅 (1,200≦)	1,200
勾配 (1/12≧)	1/13.73
踊場幅 (1,500≦)	1,600
表面材	ノンスリップタイル
手すりの設置	片側

1階法チェック図 S=1/100



凡例

	防火区画 (建基令112条 1項 1,500㎡区画)
	不燃区画 (火災予防条例)
	排煙区画
	居室：自然排煙
	居室：機械排煙
	居室：H12建告1436号第4号ニ(4) 内装の床下及び仕上とも不燃
	特定防火設備 (扉・シャッター)
	防火設備 (扉・シャッター)
	消火器 (ABC 10型)
	主要な出入口 (建基令125条 1項)
	歩行距離 (建基令120条)
	(1階：階段から40m以下、無窓居室から80m以下) (2階：無窓居室から階段まで40m以下、 居室から階段まで60m以下)
	消防法：1・2階 無窓階

2階法チェック図 S=1/100

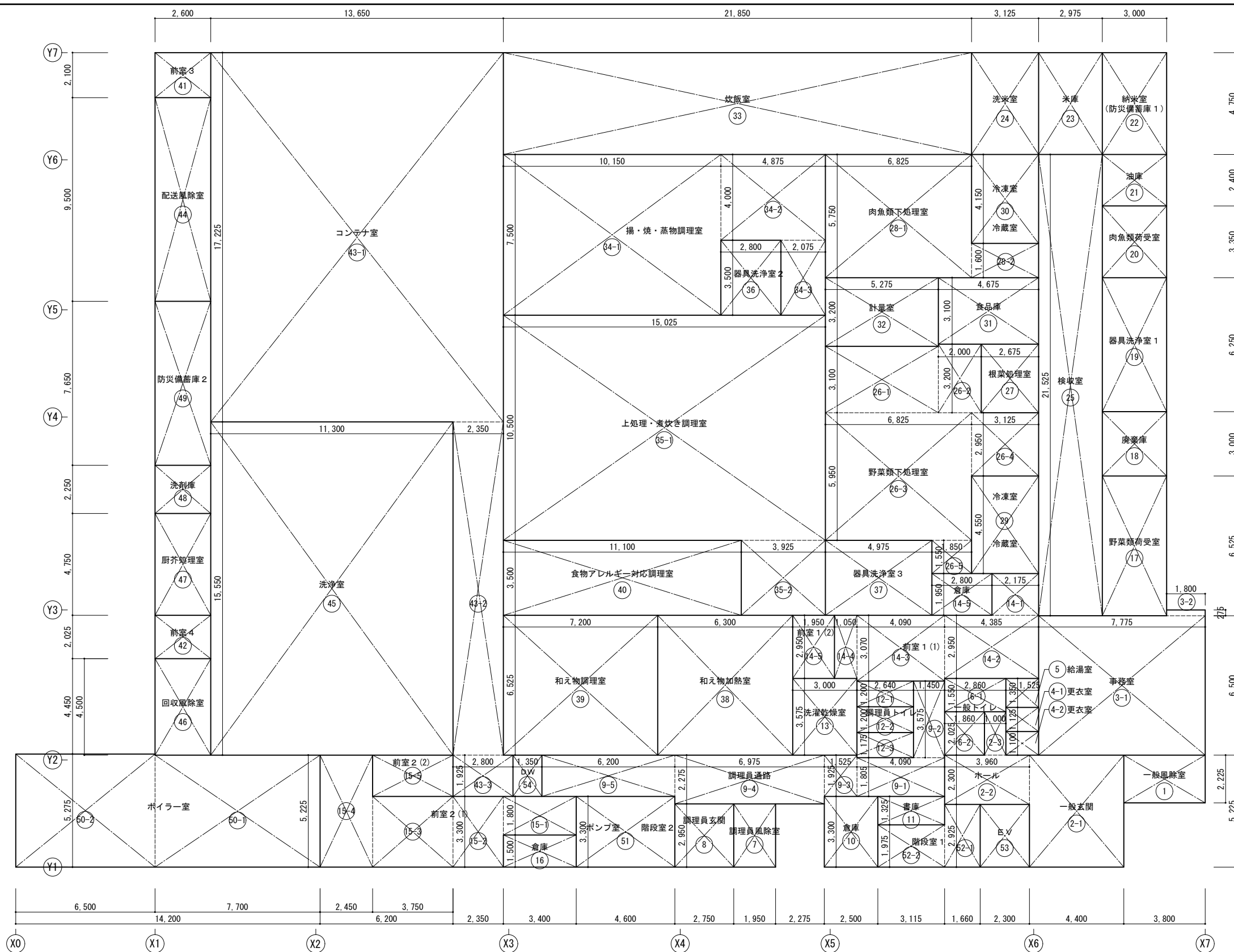
図面名	2階法チェック図
図面種類	A
図面番号	092
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S 2023年3月24日
 設計部長 松岡 担任 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

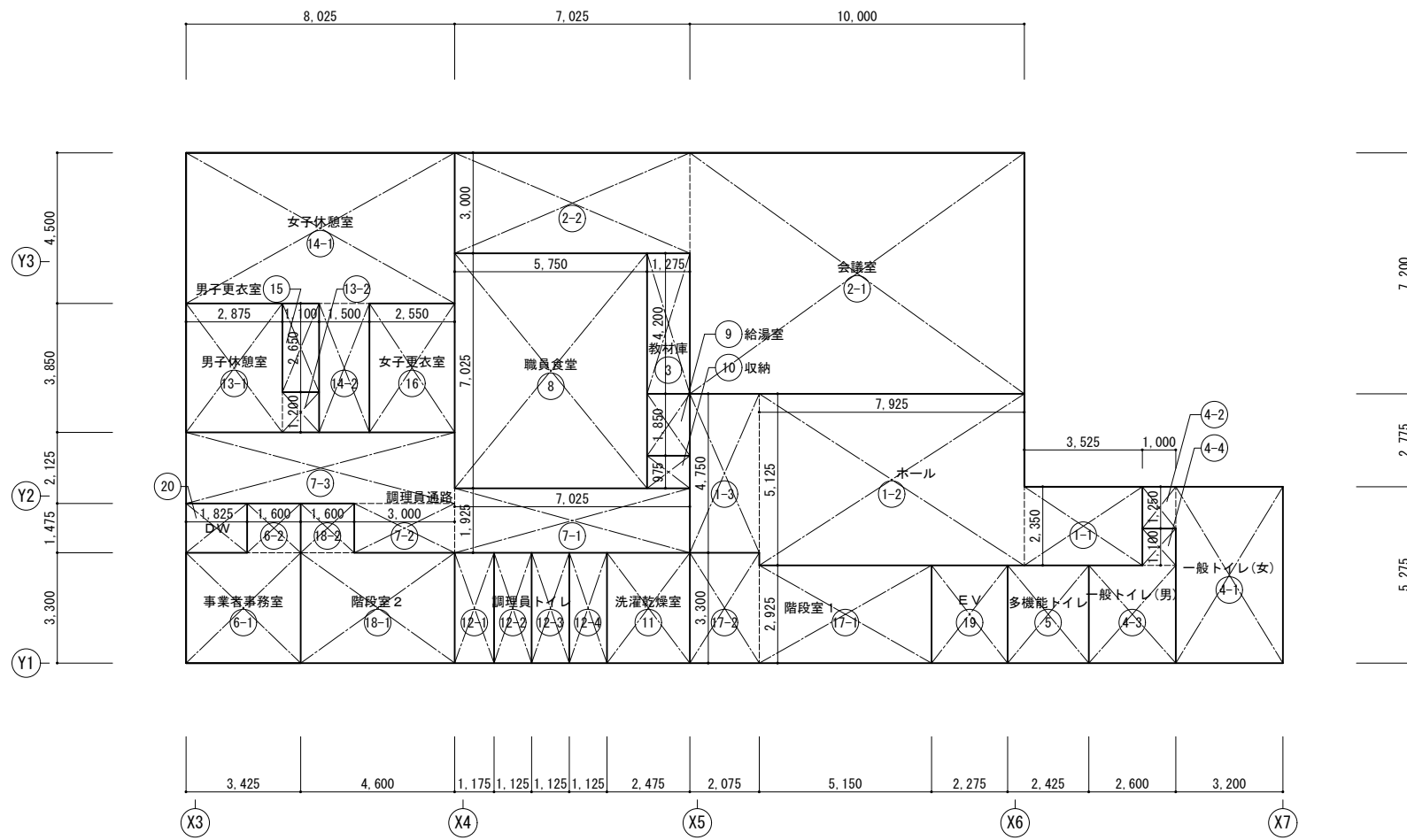
図面名	2階法チェック図
図面種類	A
図面番号	092
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)



1階室別求積図 S=1/100

符号	室名	計算式 (m)	室面積 (㎡)
46	回収風除室	2.600 × 4.500 = 11.700	11.70
47	厨房処理室	2.600 × 4.750 = 12.350	12.35
48	洗剤庫	2.600 × 2.250 = 5.850	5.85
49	防災備蓄庫 2	2.600 × 7.650 = 19.890	19.89
50-1	ボイラー室	7.700 × 5.225 = 40.2325	
50-2	前室 2 (1)	6.500 × 5.275 = 34.2875	74.52
51	ポンプ室・階段室 2	4.600 × 3.300 = 15.1800	15.18
52-1	階段室 1	1.6600 × 2.9250 = 4.8555	
52-2		3.1150 × 1.9750 = 6.1521	11.00
53	E L V	2.3000 × 2.9250 = 6.7275	6.72
54	D W	1.3500 × 1.9250 = 2.5988	2.59

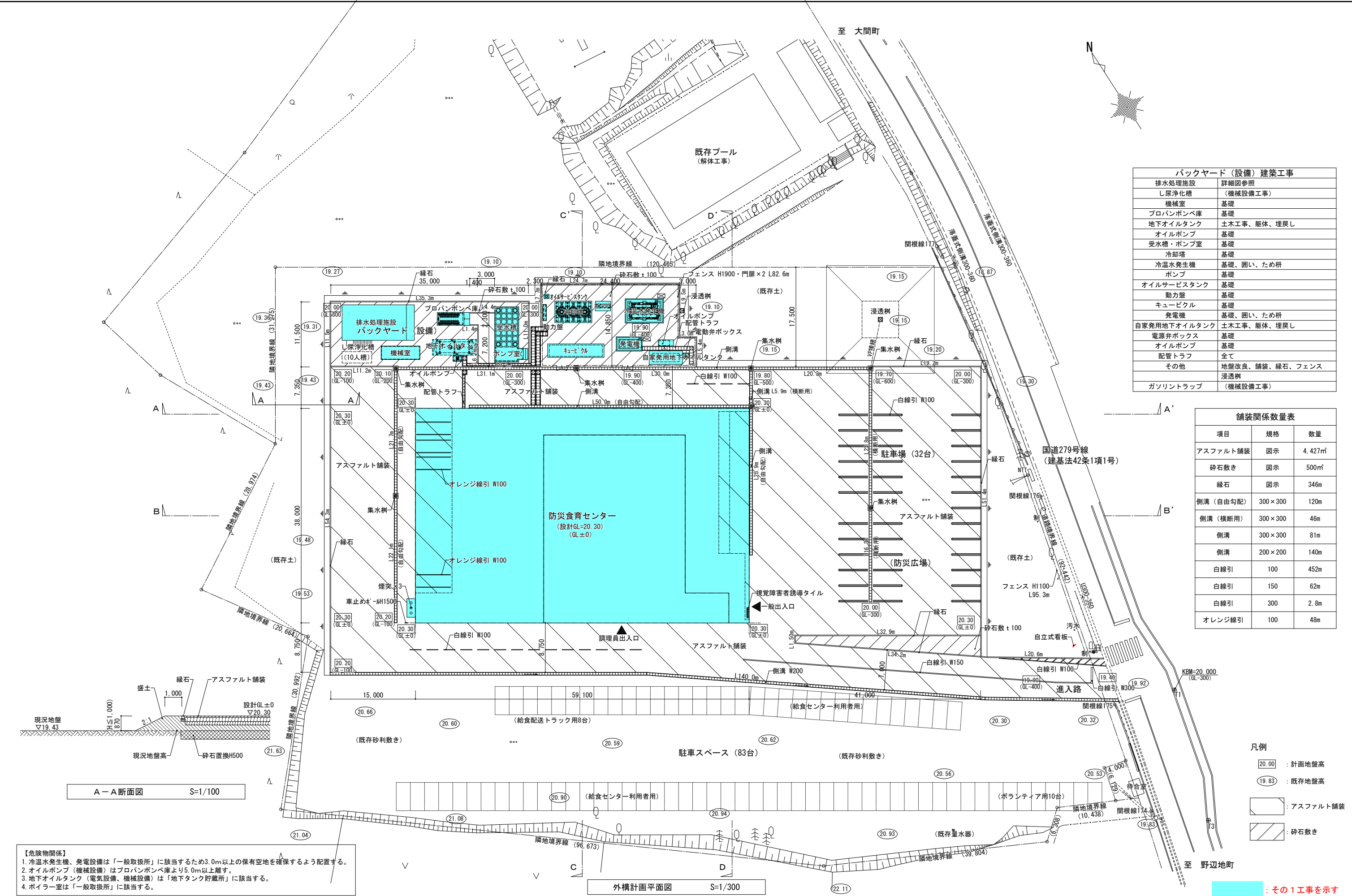
符号	室名	計算式 (m)	室面積 (㎡)
1	一般風除室	3.8000 × 2.2250 = 8.4550	8.45
2-1	一般玄関・ホール	4.4000 × 5.2250 = 22.9900	
2-2		3.9600 × 2.3000 = 9.1080	
2-3		1.0000 × 2.0250 = 2.0250	34.12
3-1	事務室	7.7750 × 6.5000 = 50.5375	
3-2			50.53
4-1	更衣室	1.5250 × 1.1250 = 1.7156	
4-2		1.5250 × 1.1000 = 1.6775	3.39
5	給湯室	1.5250 × 1.3500 = 2.0588	2.05
6-1	一般トイレ	2.8600 × 1.5500 = 4.4330	
6-2		1.8600 × 2.0250 = 3.7665	8.19
7	調理員風除室	1.9500 × 2.9500 = 5.7525	5.75
8	調理員玄関	2.7500 × 2.9500 = 8.1125	8.11
9-1	調理員通路	4.0900 × 1.8050 = 7.3825	
9-2		1.4500 × 3.5750 = 5.1838	
9-3		1.5250 × 1.9250 = 2.9356	
9-4		6.9750 × 2.2750 = 15.8681	
9-5		6.2000 × 1.9250 = 11.9350	43.30
10	倉庫	2.5000 × 3.3000 = 8.2500	8.25
11	書庫	3.1150 × 1.3250 = 4.1274	4.12
12-1	調理員トイレ	2.6400 × 1.2000 = 3.1680	
12-2		2.6400 × 1.2000 = 3.1680	
12-3		2.6400 × 1.1750 = 3.1020	9.43
13	洗濯乾燥室	3.0000 × 3.5750 = 10.7250	10.72
14-1	前室 1 (1)	2.1750 × 1.9500 = 4.2413	
14-2		4.3850 × 2.9500 = 12.9358	
14-3		4.0900 × 3.0700 = 12.5563	
14-4		1.0500 × 2.9500 = 3.0975	32.83
14-5	前室 1 (2)	1.9500 × 2.9500 = 5.7525	5.75
14-6	前室 1 倉庫	2.8000 × 1.9500 = 5.4600	5.46
15-1	前室 2 (1)	3.4000 × 1.8000 = 6.1200	
15-2		2.3500 × 3.3000 = 7.7550	
15-3		3.7500 × 3.3000 = 12.3750	
15-4		2.4500 × 5.2250 = 12.8013	39.05
15-5	前室 2 (2)	3.7500 × 1.9250 = 7.2188	7.21
16	前室 2 倉庫	3.4000 × 1.5000 = 5.1000	5.10
17	野菜類荷受室	3.0000 × 6.5250 = 19.5750	19.57
18	廃棄庫	3.0000 × 3.0000 = 9.0000	9.00
19	器具洗浄室 1	3.0000 × 6.2500 = 18.7500	18.75
20	肉魚類荷受室	3.0000 × 3.3500 = 10.0500	10.05
21	油庫	3.0000 × 2.4000 = 7.2000	7.20
22	納米室 (防災備蓄庫 1)	3.0000 × 4.7500 = 14.2500	14.25
23	米庫	2.9750 × 4.7500 = 14.1313	14.13
24	洗米室	3.1250 × 4.7500 = 14.8438	14.84
25	検収室	2.9750 × 21.5250 = 64.0369	64.03
26-1	野菜類下処理室	5.2750 × 3.1000 = 16.3525	
26-2		2.0000 × 3.2000 = 6.4000	
26-3		6.8250 × 5.9500 = 40.6088	
26-4		3.1250 × 2.9500 = 9.2188	
26-5		1.8500 × 1.5500 = 2.8675	75.44
27	根菜処理室	2.6750 × 3.2000 = 8.5600	8.56
28-1	肉魚類下処理室	6.8250 × 5.7500 = 39.2438	
28-2		3.1250 × 1.6000 = 5.0000	44.24
29	冷凍室・冷蔵室	3.1250 × 4.5500 = 14.2188	14.21
30	冷凍室・冷蔵室	3.1250 × 4.1500 = 12.9688	12.96
31	食品庫	4.6750 × 3.1000 = 14.4925	14.49
32	計量室	5.2750 × 3.2000 = 16.8800	16.88
33	炊飯室	21.8500 × 4.7500 = 103.7875	103.78
34-1	揚・焼・蒸物調理室	10.1500 × 7.5000 = 76.1250	
34-2		4.8750 × 4.0000 = 19.5000	
34-3		2.0750 × 3.5000 = 7.2625	102.88
35-1	上処理・煮炊き調理室	15.0250 × 10.5000 = 157.7625	
35-2		3.9250 × 3.5000 = 13.7375	171.50
36	器具洗浄室 2	2.8000 × 3.5000 = 9.8000	9.80
37	器具洗浄室 3	4.9750 × 3.5000 = 17.4125	17.41
38	和え物加熱室	6.3000 × 6.5250 = 41.1075	41.10
39	和え物調理室	7.2000 × 6.5250 = 46.9800	46.98
40	食物アレルギー対応調理室	11.1000 × 3.5000 = 38.8500	38.85
41	前室 3	2.6000 × 2.1000 = 5.4600	5.46
42	前室 4	2.6000 × 2.0250 = 5.2650	5.26
43-1	コンテナ室	13.6500 × 17.2250 = 235.1213	
43-2		2.3500 × 15.5500 = 36.5425	
43-3		2.8000 × 1.9250 = 5.3900	277.05
44	配送風除室	2.6000 × 9.5000 = 24.7000	24.70
45	洗浄室	11.3000 × 15.5500 = 175.7150	175.71



2階室別求積図 S=1/100

2階求積表

符号	室名	計算式 (m)	室面積 (㎡)
1-1	ホール	3.5250 × 2.3500 =	8.2838
1-2		7.9250 × 5.1250 =	40.6156
1-3		2.0750 × 4.7500 =	9.8563
2-1	会議室	10.0000 × 7.2000 =	72.0000
2-2		7.0250 × 3.0000 =	21.0750
3	教材庫	1.2750 × 4.2000 =	5.3550
4-1	一般トイレ	3.2000 × 5.2750 =	16.8800
4-2		1.0000 × 1.2500 =	1.2500
4-3		2.6000 × 2.9250 =	7.6050
4-4		1.0000 × 1.1000 =	1.1000
5	多機能トイレ	2.4250 × 2.9250 =	7.0931
6-1	事業者事務室	3.4250 × 3.3000 =	11.3025
6-2		1.6000 × 1.4750 =	2.3600
7-1	調理員通路	7.0250 × 1.9250 =	13.5231
7-2		3.0000 × 1.4750 =	4.4250
7-3		8.0250 × 2.1250 =	17.0531
8	職員食堂	5.7500 × 7.0250 =	40.3938
9	給湯室	1.2750 × 1.8500 =	2.3588
10	収納	1.2750 × 0.9750 =	1.2431
11	洗濯乾燥室	2.4750 × 3.3000 =	8.1675
12-1	調理員トイレ	1.1750 × 3.3000 =	3.8775
12-2		1.1250 × 3.3000 =	3.7125
12-3		1.1250 × 3.3000 =	3.7125
12-4		1.1250 × 3.3000 =	3.7125
13-1	男子休憩室	2.8750 × 3.8500 =	11.0688
13-2		1.1000 × 1.2000 =	1.3200
14-1	女子休憩室	8.0250 × 4.5000 =	36.1125
14-2		1.5000 × 3.8500 =	5.7750
15	男子更衣室	1.1000 × 2.6500 =	2.9150
16	女子更衣室	2.5500 × 3.8500 =	9.8175
17-1	階段室 1	5.1500 × 2.9250 =	15.0638
17-2		2.0750 × 3.3000 =	6.8475
18-1	階段室 2	4.6000 × 3.3000 =	15.1800
18-2		1.6000 × 1.4750 =	2.3600
19	E L V	2.2750 × 2.9250 =	6.6544
20	D W	1.8250 × 1.4750 =	2.6919



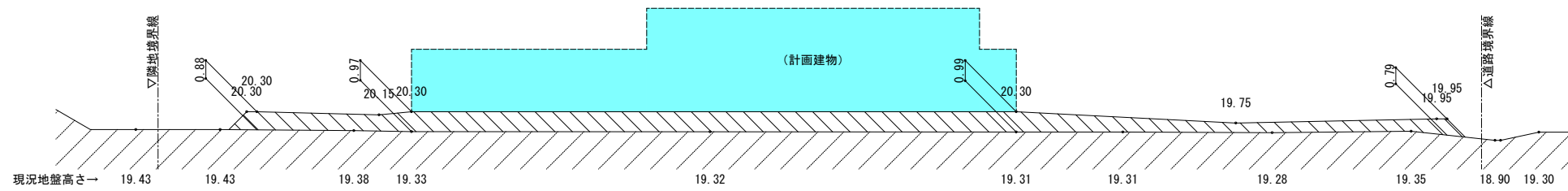
バックヤード(設備) 建築工事	
排水処理施設	詳細図参照
し尿浄化槽	(機械設備工事)
機械室	基礎
プロパンボンベ庫	基礎
地下オイルタンク	土木工事、躯体、埋戻し
オイルポンプ	基礎
受水槽・ポンプ室	基礎
冷却塔	基礎
冷温水発生機	基礎、囲い、ため枡
ポンプ	基礎
オイルサービスタック	基礎
動力盤	基礎
キュービクル	基礎
発電機	基礎、囲い、ため枡
自家発電用地下オイルタンク	土木工事、躯体、埋戻し
電源弁ボックス	基礎
オイルポンプ	基礎
配管トラフ	全て
その他	地盤改良、舗装、緑石、フェンス
ガソリントラップ	浸透枡
	(機械設備工事)

舗装関係数量表		
項目	規格	数量
アスファルト舗装	図示	4,427㎡
砕石敷き	図示	500㎡
緑石	図示	346㎡
側溝(自由勾配)	300×300	120m
側溝(横断用)	300×300	46m
側溝	300×300	81m
側溝	200×200	140m
白線引	100	452m
白線引	150	62m
白線引	300	2.8m
オレンジ線引	100	48m

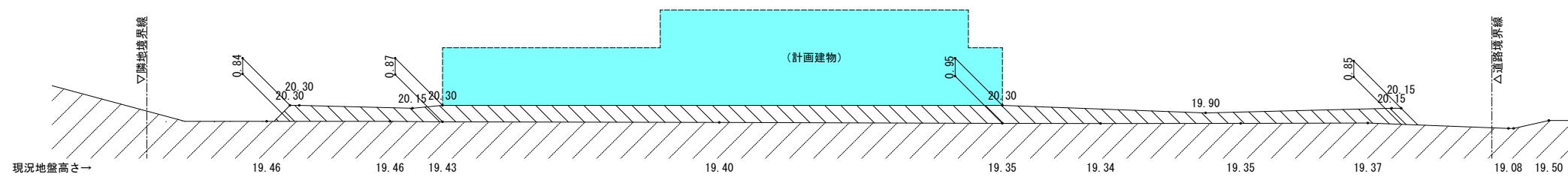
【危険物関係】

1. 冷温水発生機、発電設備は「一般取扱所」に該当するため3.0m以上の保有空地を確保するよう配置する。
2. オイルポンプ(機械設備)はプロパンボンベ庫より5.0m以上離す。
3. 地下オイルタンク(電気設備、機械設備)は「地下タンク貯蔵所」に該当する。
4. ボイラー室は「一般取扱所」に該当する。

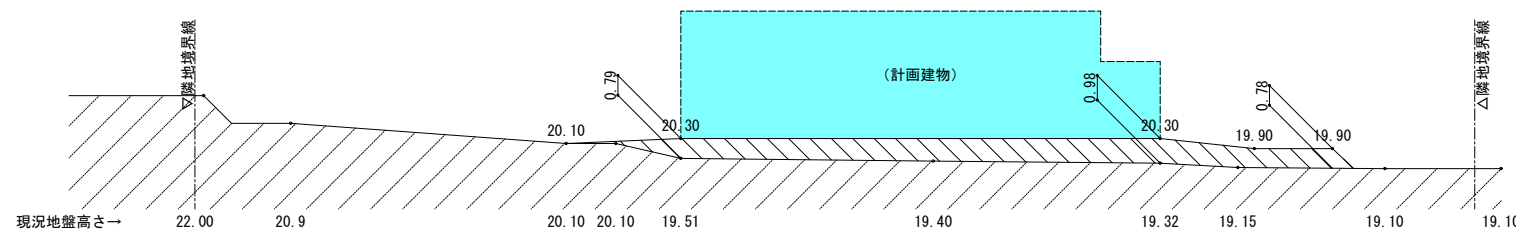
その1工事を示す



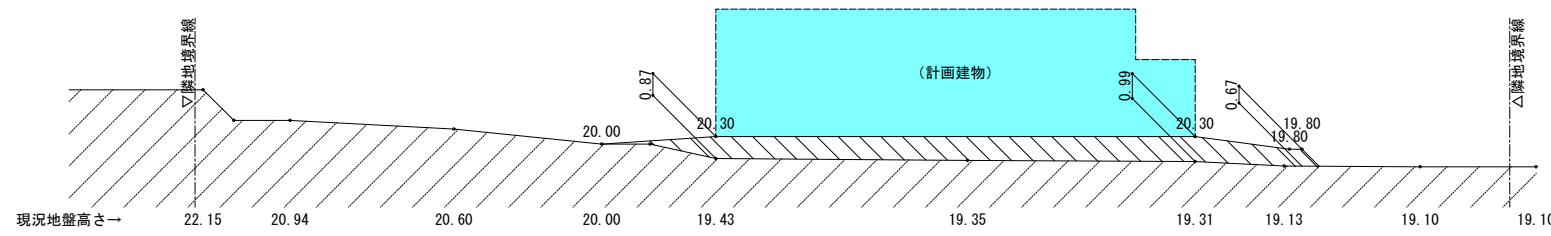
A-A' 断面



B-B' 断面



C-C' 断面




D-D' 断面

盛土

現況地盤

※KBMを20.00mとした高さとしています
 ※地盤の高さは強調するために実際の「2倍」で描いています

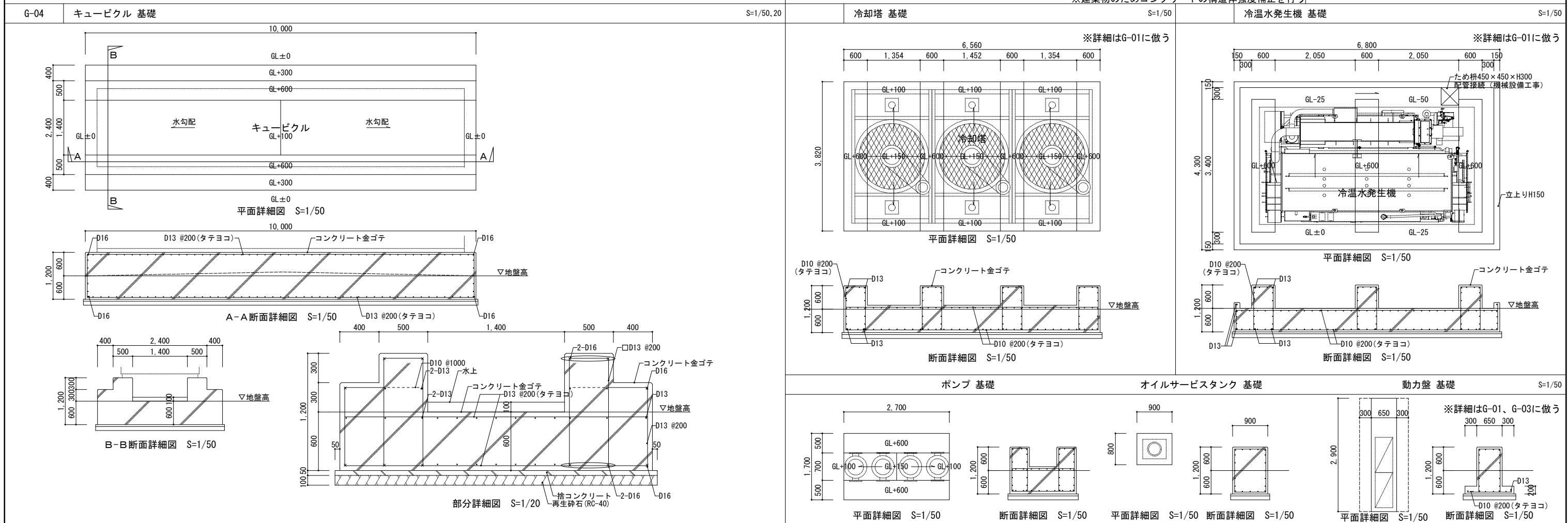
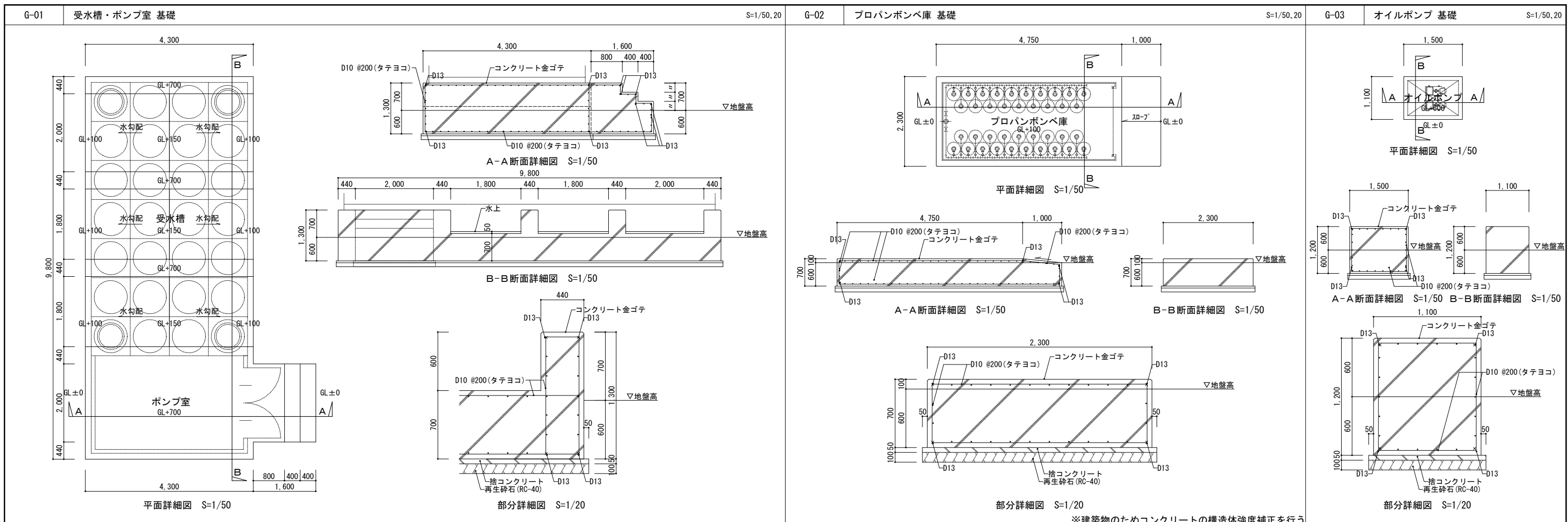
その1工事を示す

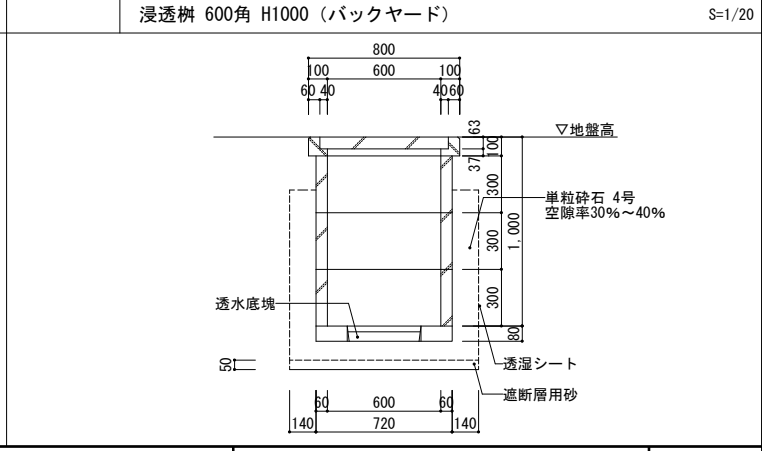
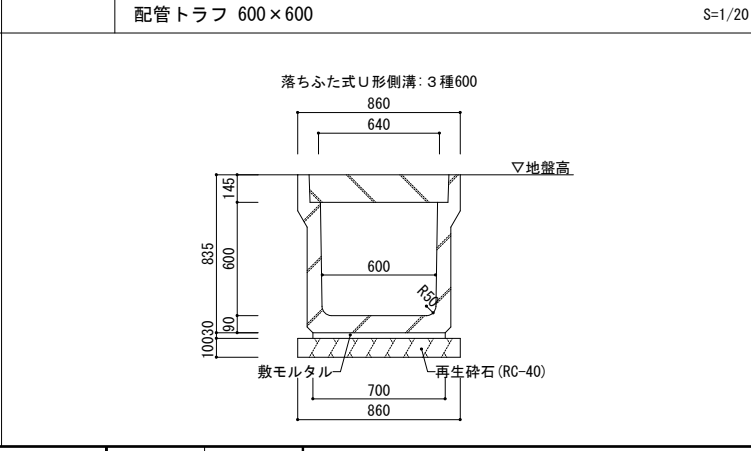
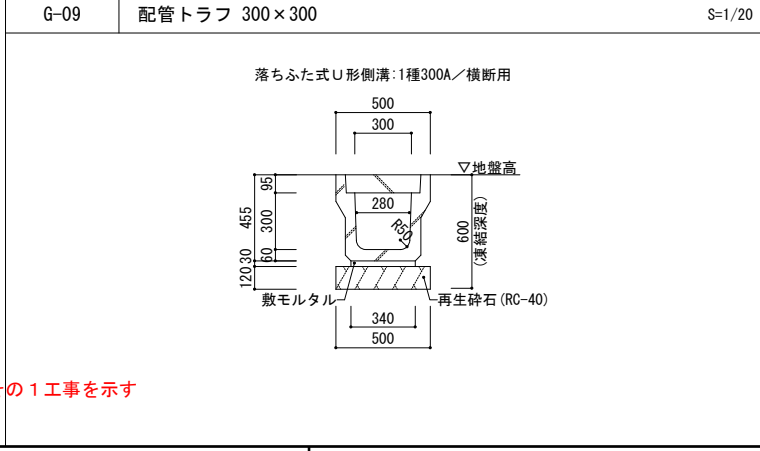
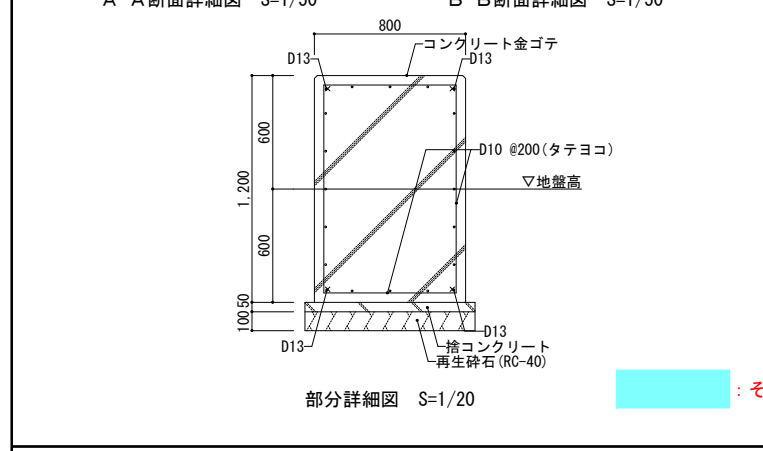
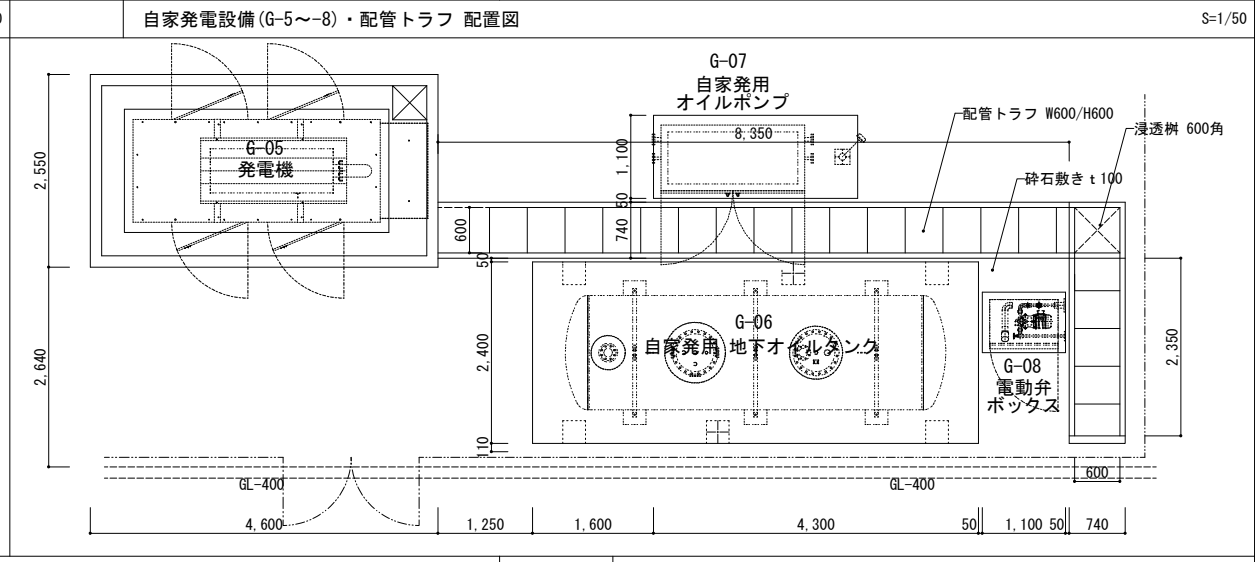
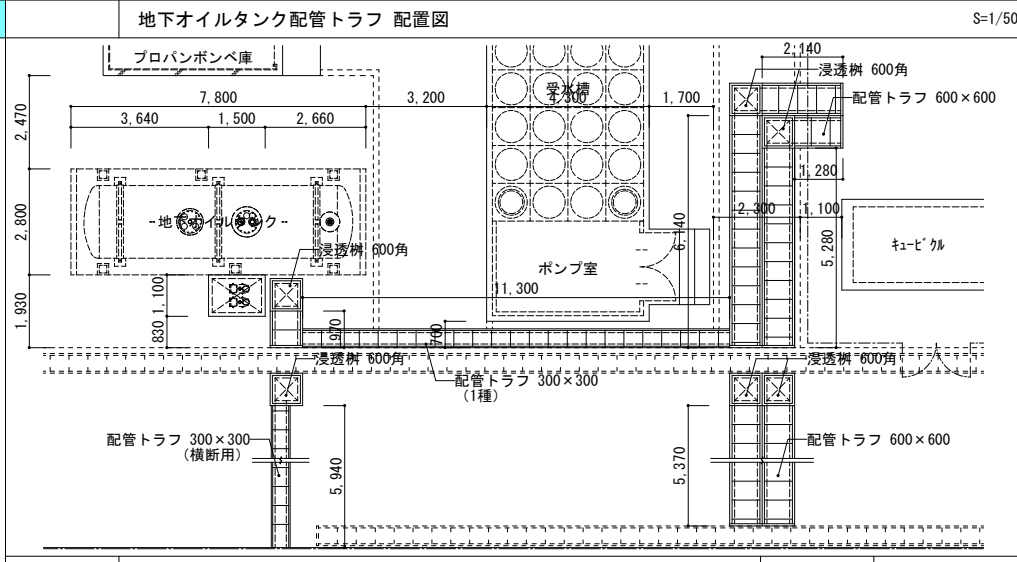
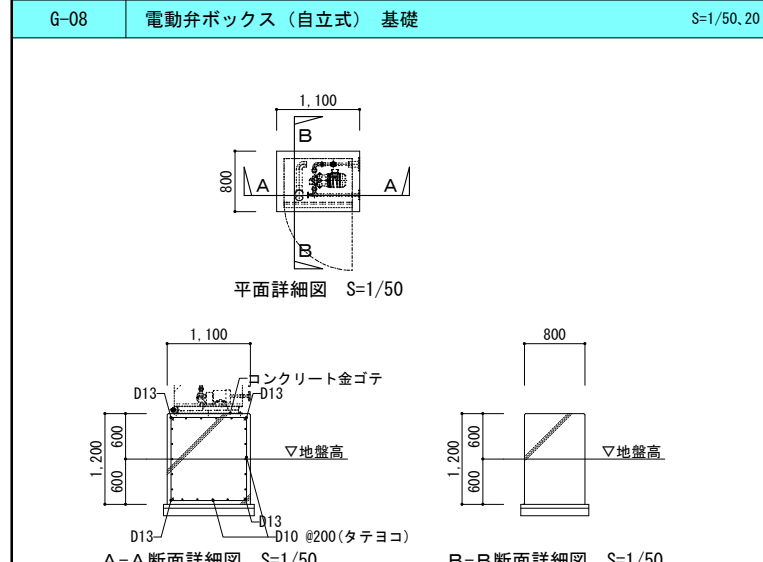
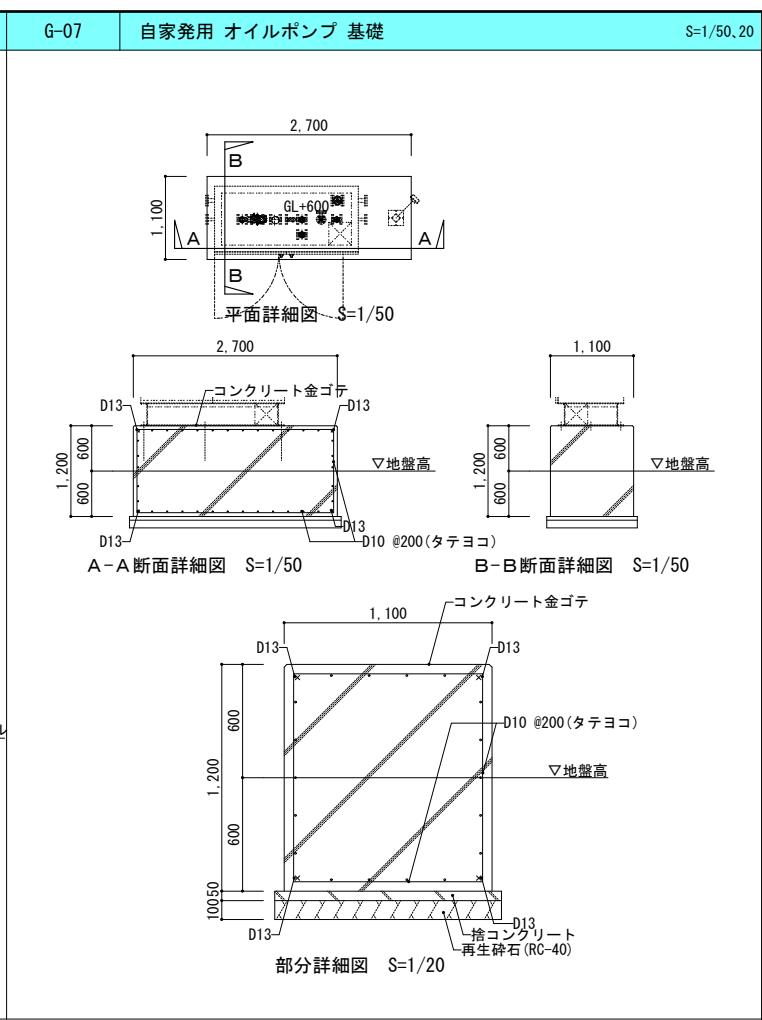
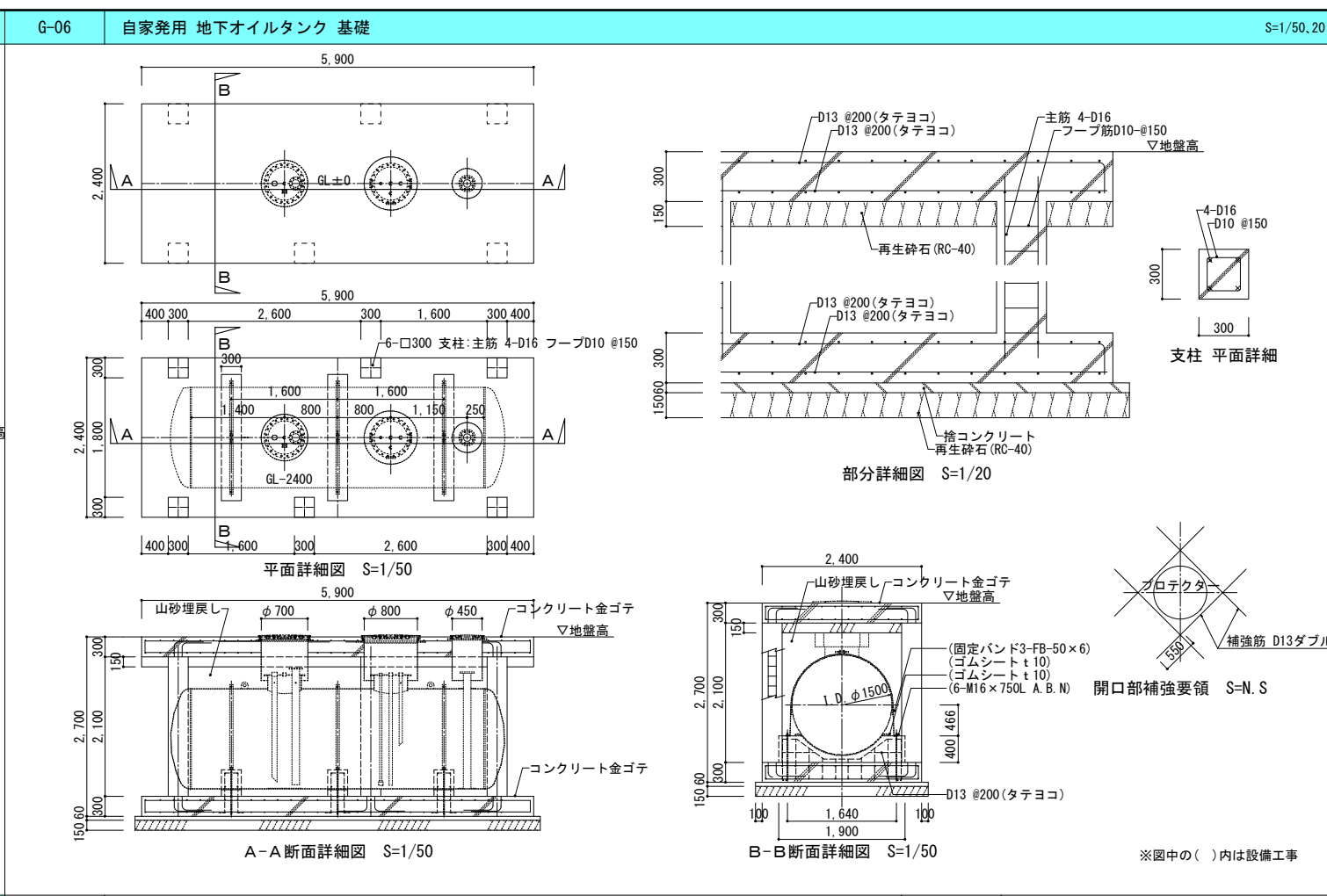
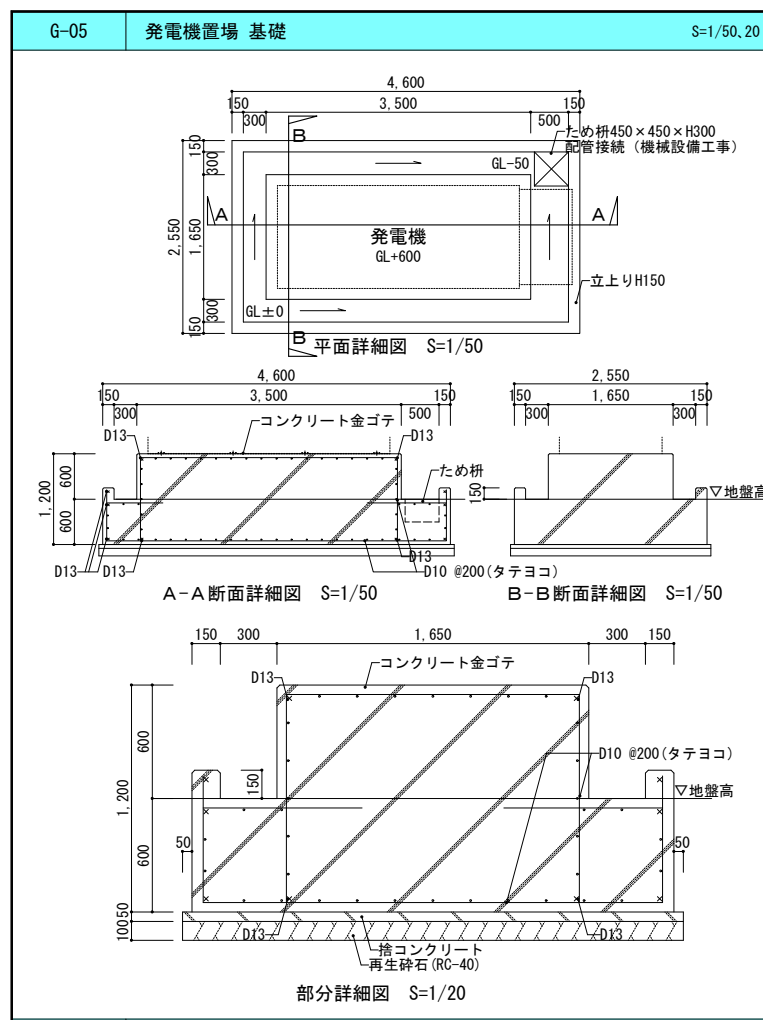

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

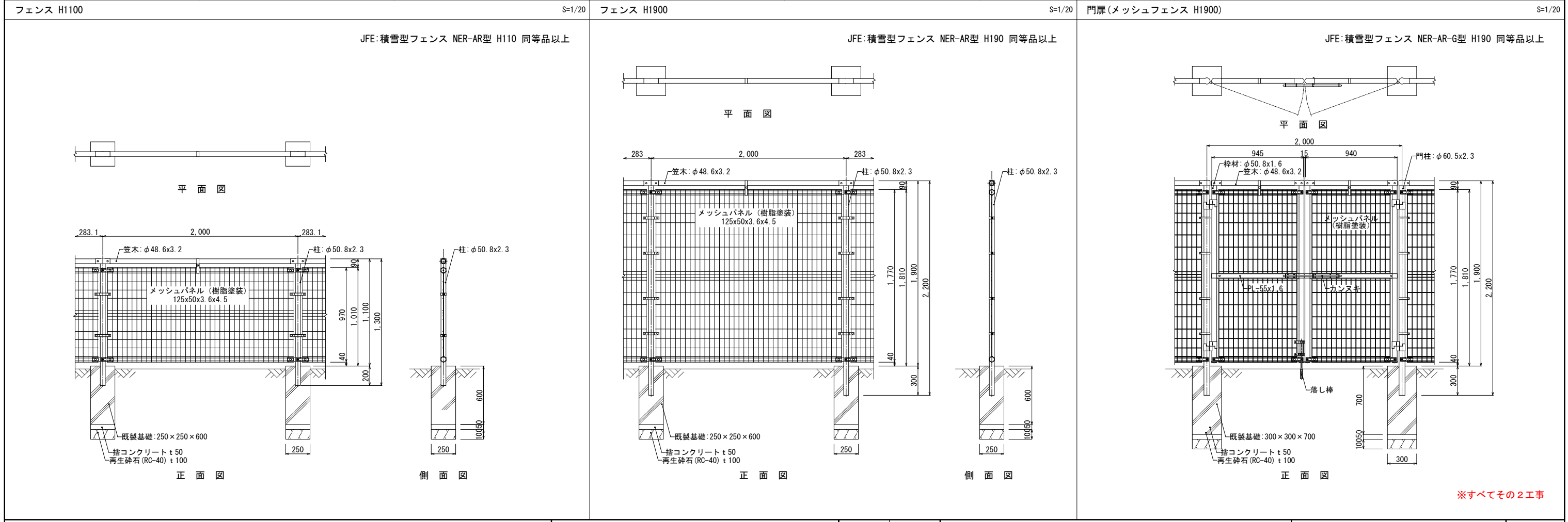
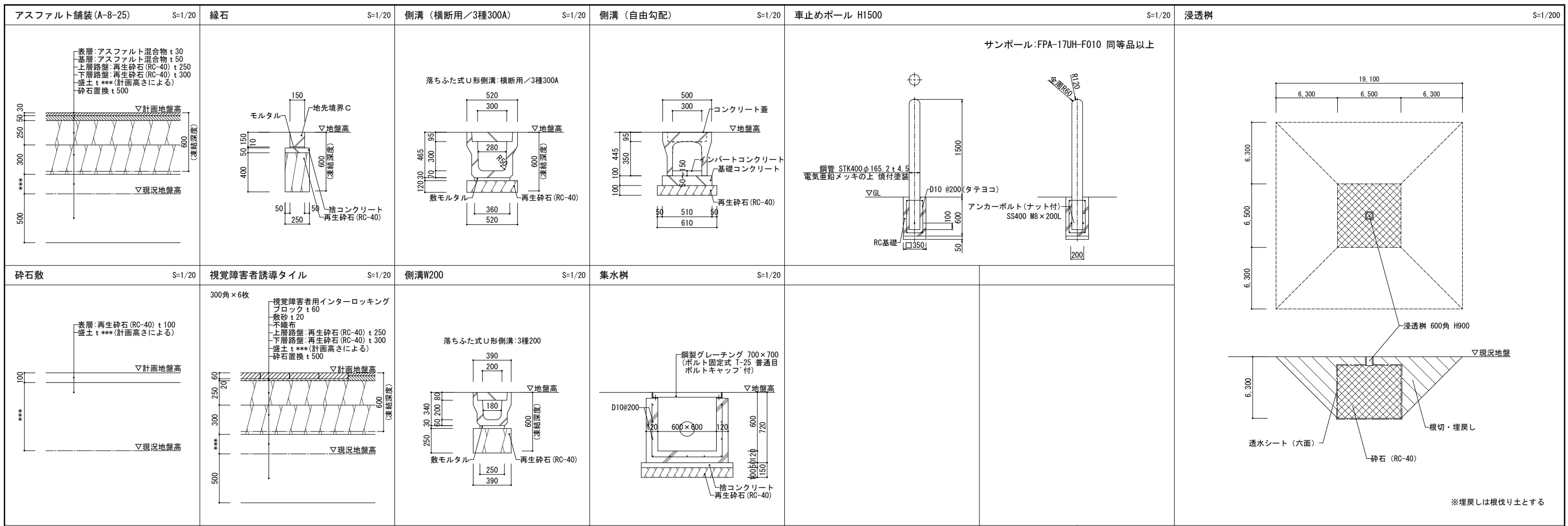
案件番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 検 閱	担 当 製 図

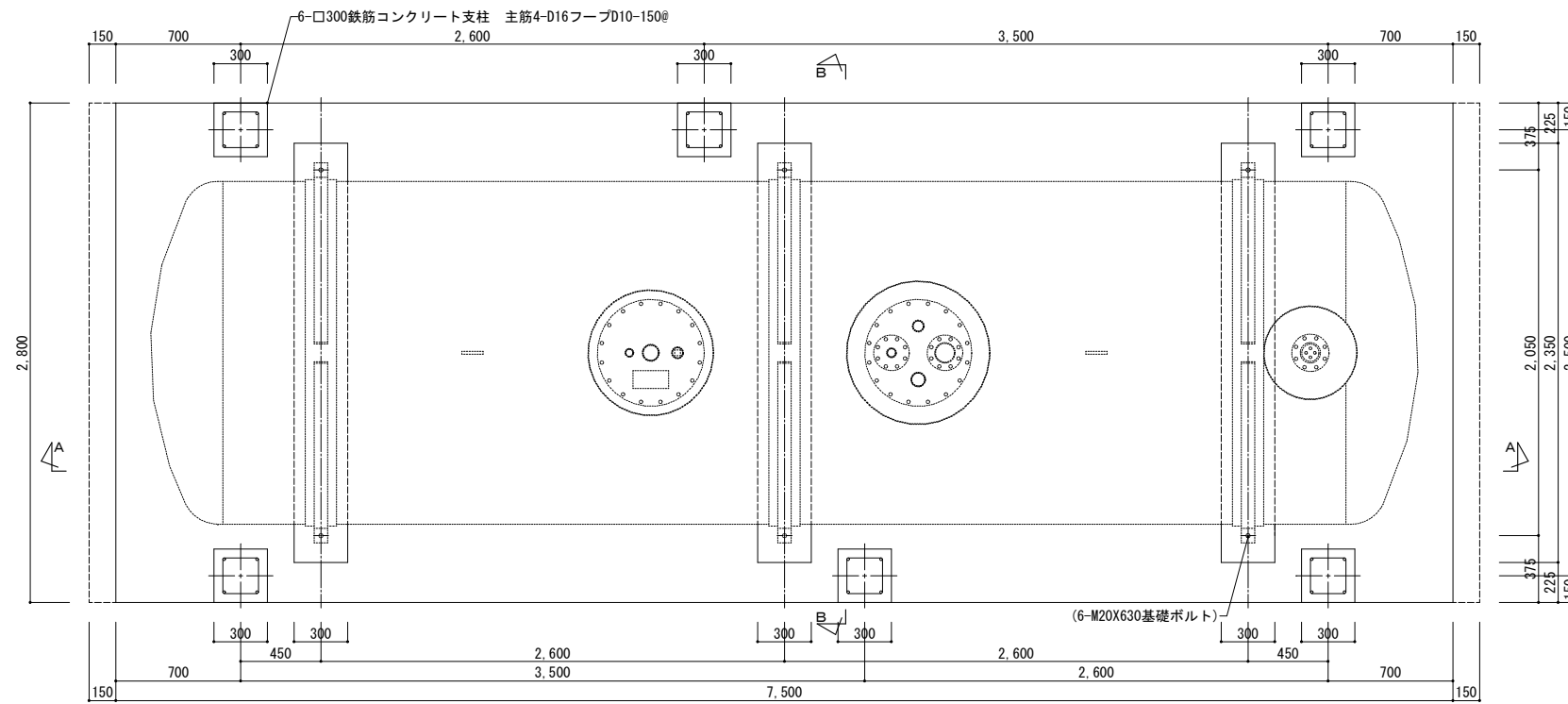
(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名 外構計画横断面
 縮尺 S=1:300 (A3版 50%縮小)

図面種類 A
図面番号 097

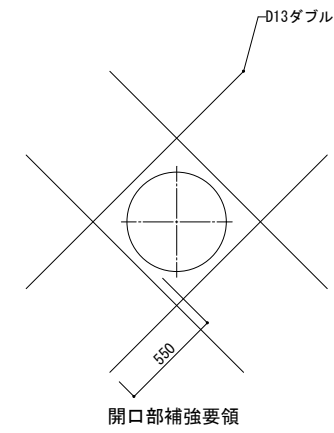




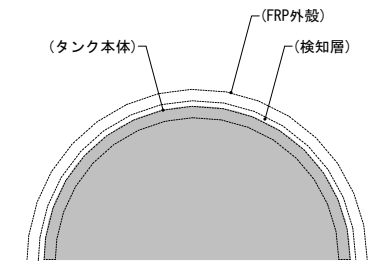




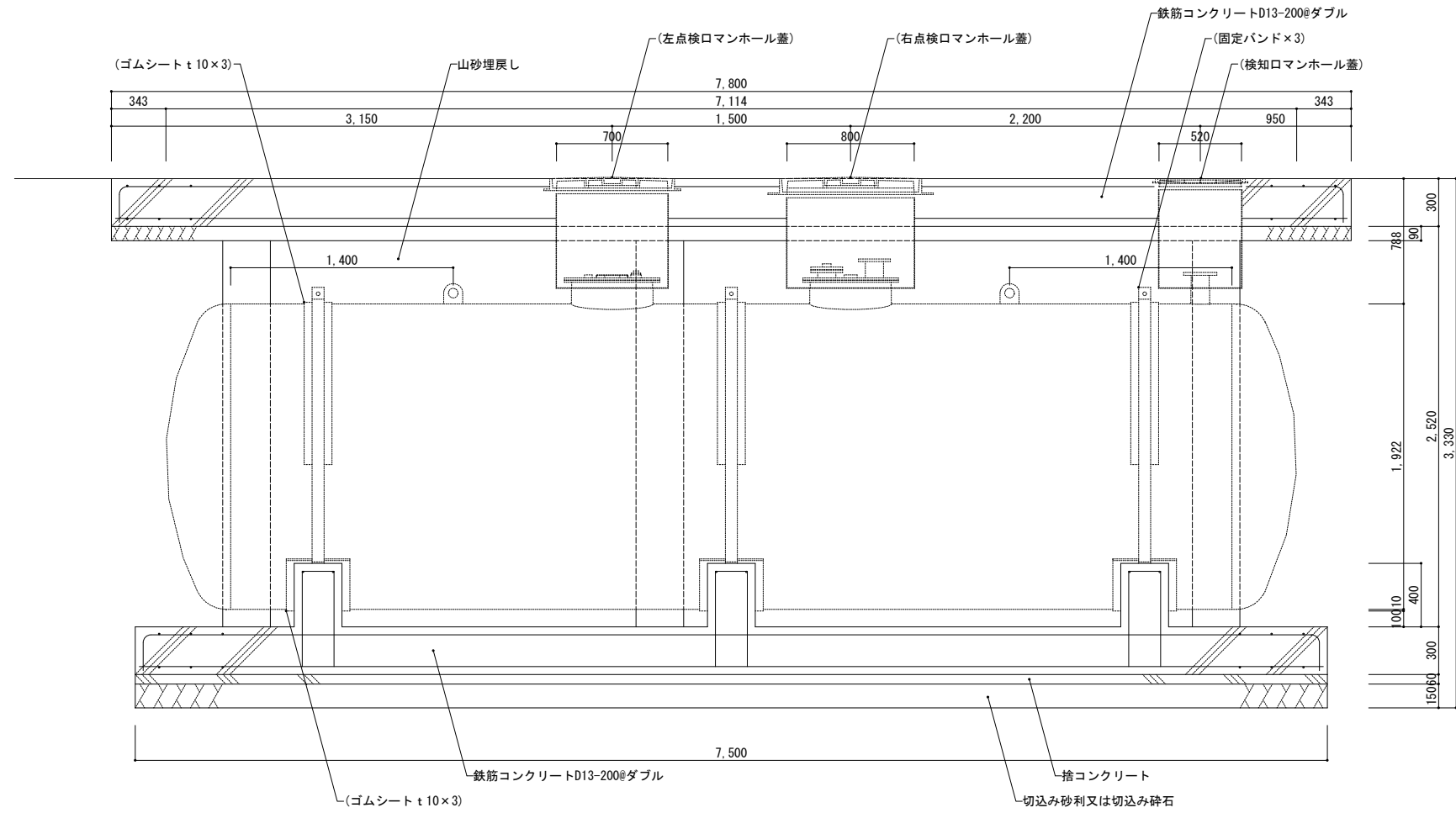
平面詳細図 S=1/20



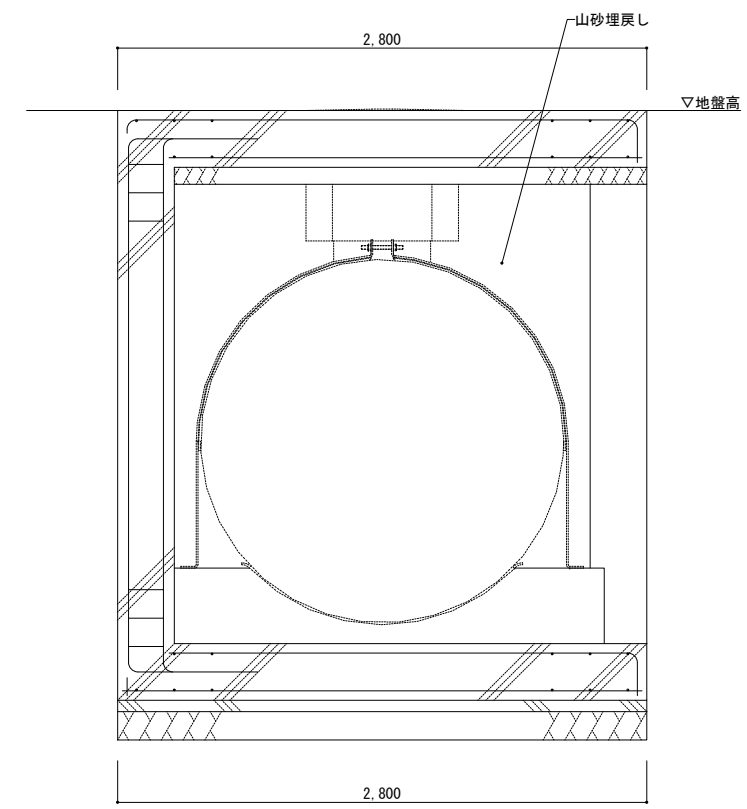
開口部補強要領



タンク外面保護加工詳細



A-A断面詳細図 S=1/20



B-B断面詳細図 S=1/20

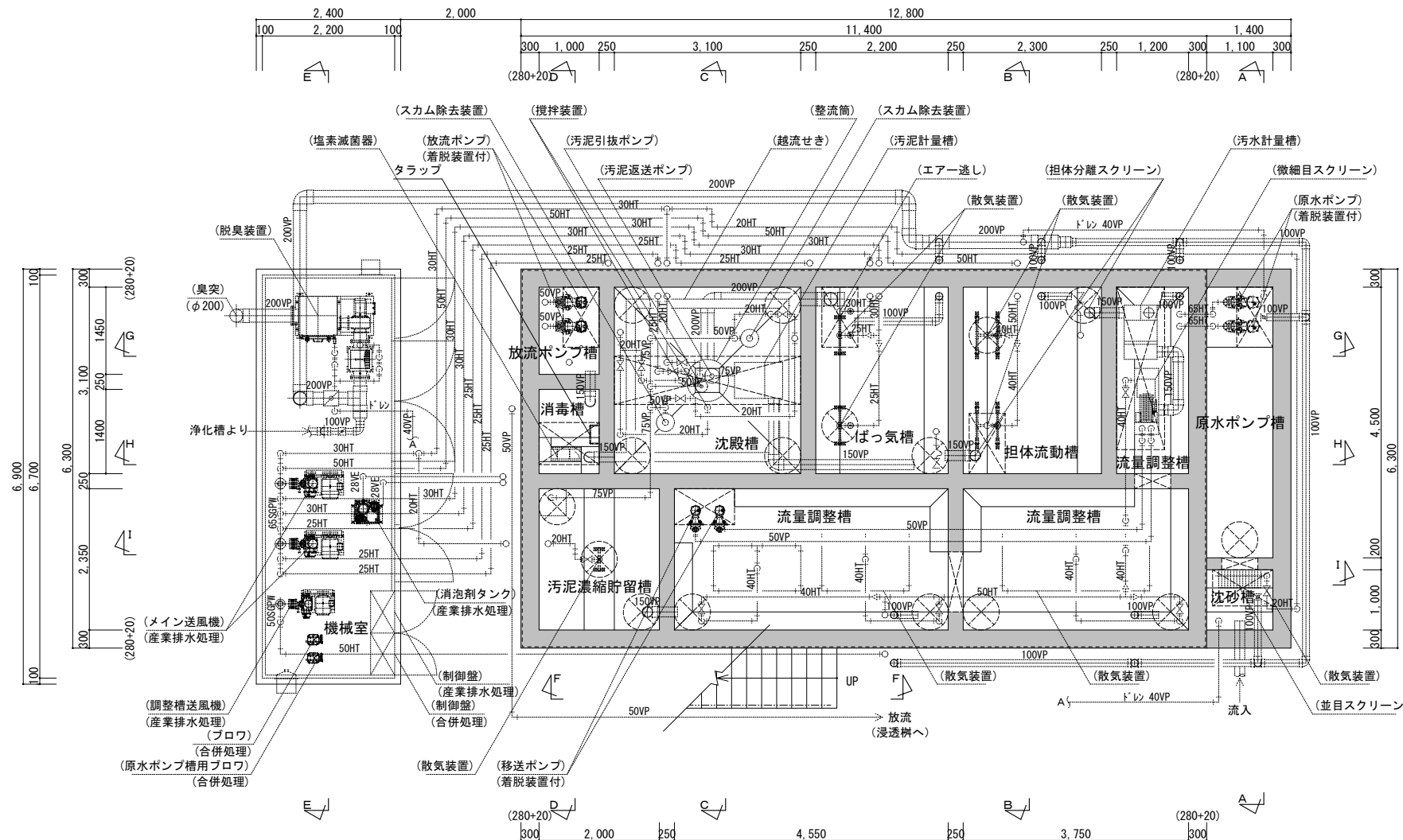
※図中の()内は設備工事


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 宮城県知事登録 第22110183号
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

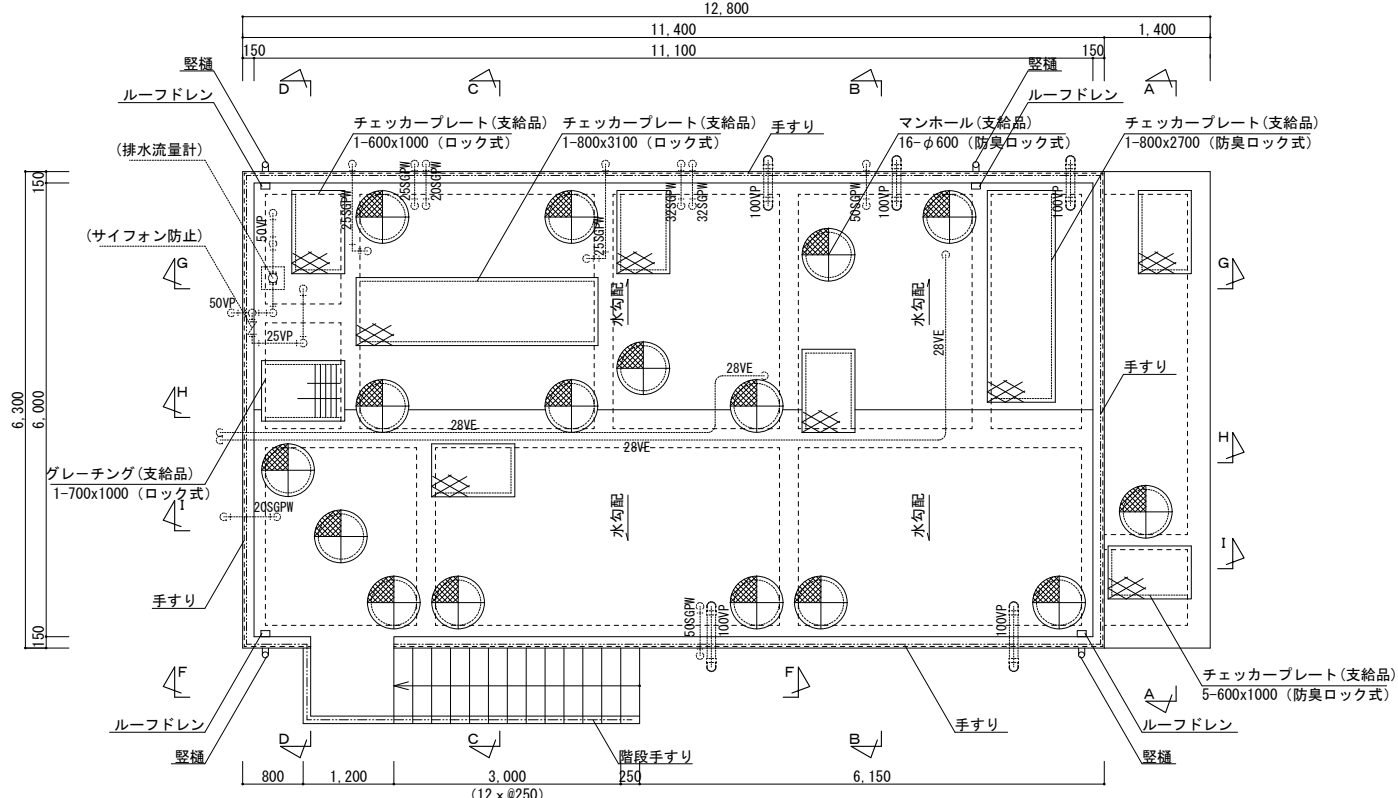
発注番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	松園	担当	松園
検図		製図	

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名

図面名	オイルタンク詳細図	図面種別	A
縮尺	S=1:20 (A3版 50%縮小)	図面番号	101



処理槽平面図 S=1/50



上部開口図 S=1/50

建築工事	
土工事	掘削(山留工法)、埋戻し(山砂) 基礎下砕石 t150 RC-40
躯体 機械設備基礎	捨てコンクリート t50 Fc18-S15 コンクリート Fc21+3-S18 勾配コンクリート Fc18-S18 止水板:塩化ビニル製 6-150
屋上仕上	コンクリート金ゴテの上 塗膜防水 平場~立上り天端まで
雨水処理	横引ルーフドレン SUS製 縦樋:カーVPφ75
外壁仕上	コンクリート打直し補修の上 浸透性吸水防止剤塗
階段	モルタル金ゴテ 段鼻/ノスリ付 手すり:H800 溶融亜鉛メッキ 50×9
開口	スリーブ 鉄筋切断及び補強筋工事
開口枠取付	(マンホール・チェッカープレートは機械設備工事より支給)
タラップ	SUS製 4本(材料は機械設備工事より支給)
槽内6面防食・防水	日本下水道事業団B種相当 イボ付系:沈殿槽、ばっ気槽、担体流動槽、 汚泥濃縮貯留槽 ビニル系:沈砂槽・原水ポンプ槽・流量調整槽 ケイ酸質系塗布防水:消毒槽、放流ポンプ槽

※図中の()内は設備工事

工事区分表

名称	建築工事	排水処理 設備工事	給排水衛生 設備工事	電気設備工事	備考
処理槽躯体及び機械室基礎工事	○				
マンホール及びチェッカープレート据付工事	○				マンホール・チェッカープレートの材料は機械設備工事
槽内6面防食工事	○				
機械室工事		○			機械室内照明・コンセント、換気、防音工事を含む
機器設備基礎コンクリート工事	○				
スリーブ入れ、及び貫通穴の補修		○			
スリーブ、鉄筋切断と補強筋工事	○				
箱抜き工事	○				
水張漏水検査	○				
機器設備据付工事		○			
二次側配管設備工事		○			機械室内及び機械室から処理槽迄の配管工事
流入配管工事			○		
放流配管工事		○			浸透樹造
臭突配管工事		○			機械室に沿って立上げる
給水設備工事			○		機械室最寄り外部に給水栓
二次側電気工事			○		
一次側電気工事				○	接地工事を含む
外部警報配線工事				○	一括故障
試運転調整		○			
浸透樹工事	○				

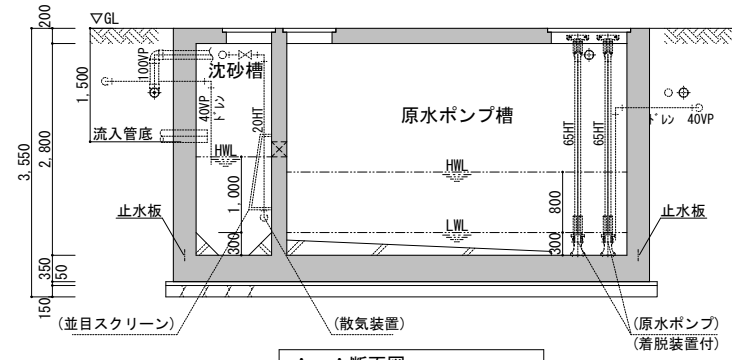
株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S 2023年3月24日
 設計部長 横田 担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事)

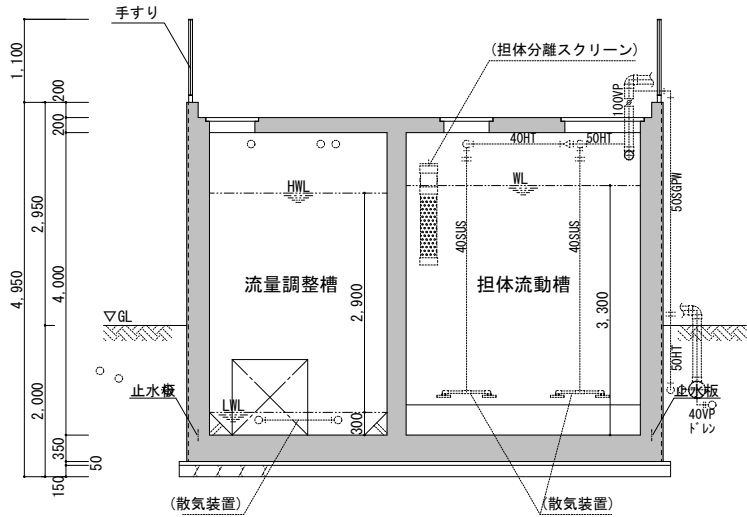
設計図

図面名 排水処理施設詳細図(1)
 図面種類 A
 図面番号
 縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小) 102



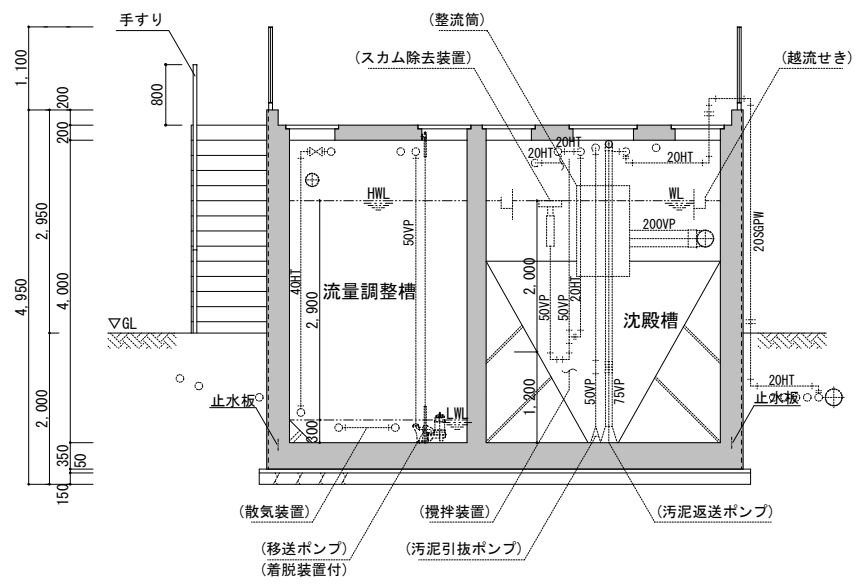
A-A断面図 S=1/50

※図中の()内は設備工事



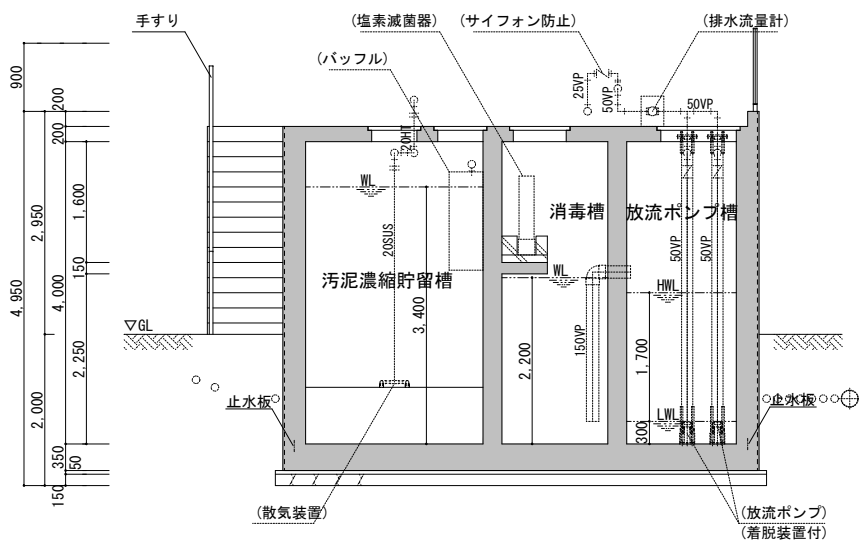
B-B断面図 S=1/50

※図中の()内は設備工事



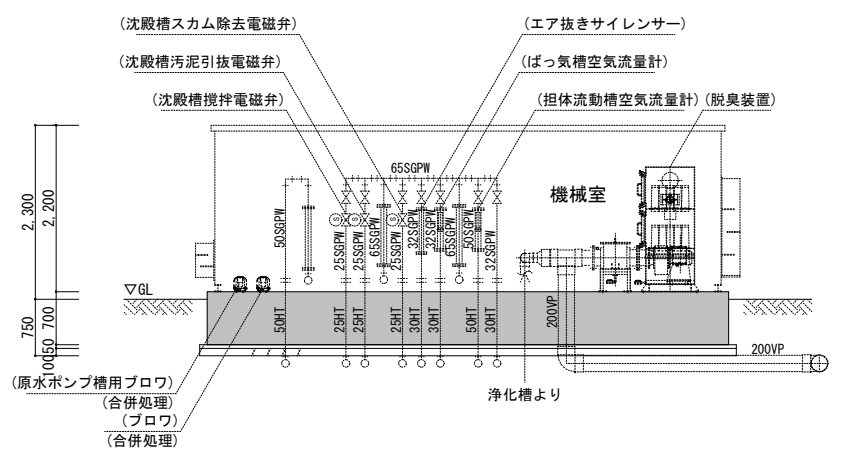
C-C断面図 S=1/50

※図中の()内は設備工事



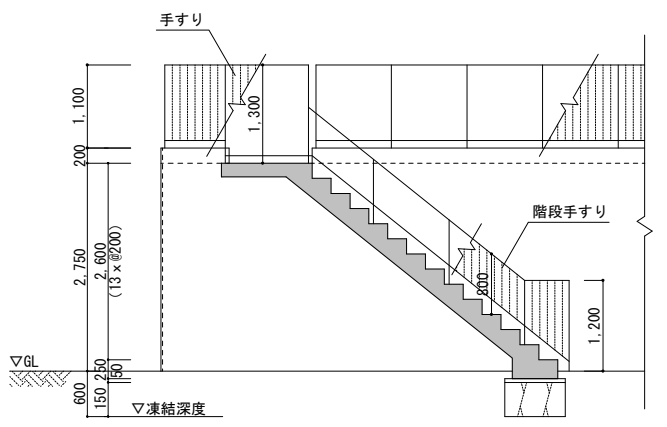
D-D断面図 S=1/50

※図中の()内は設備工事

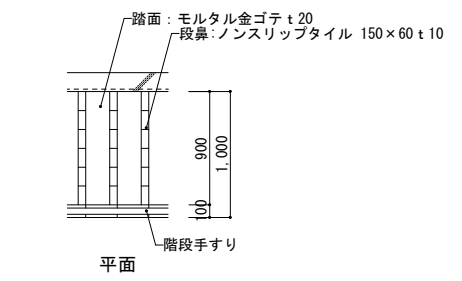


E-E断面図 S=1/50

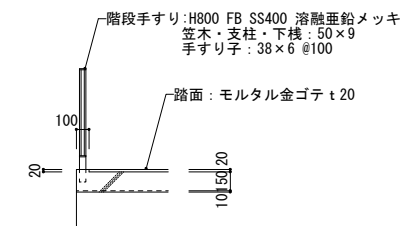
※図中の()内は設備工事



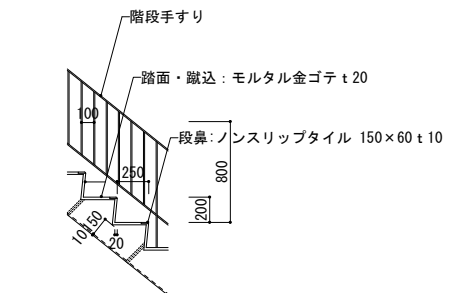
F-F断面図 S=1/50



平面



断面



断面

階段詳細図 S=1/30

※図中の()内は設備工事

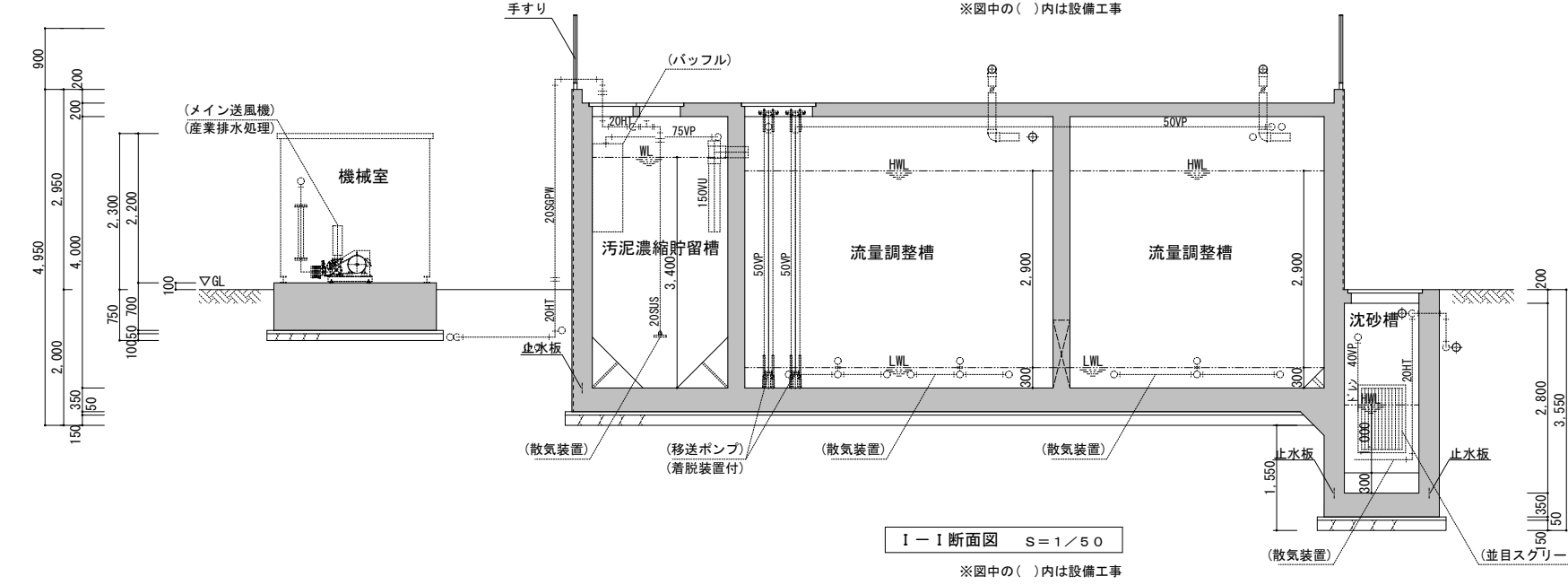
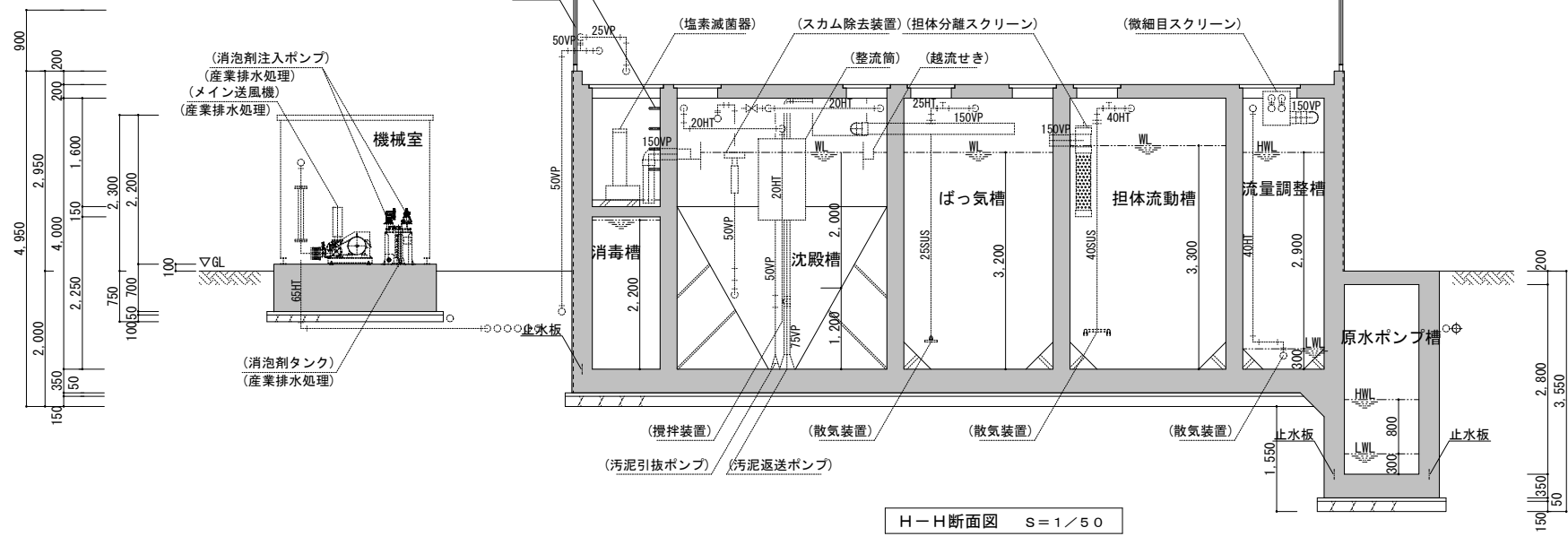
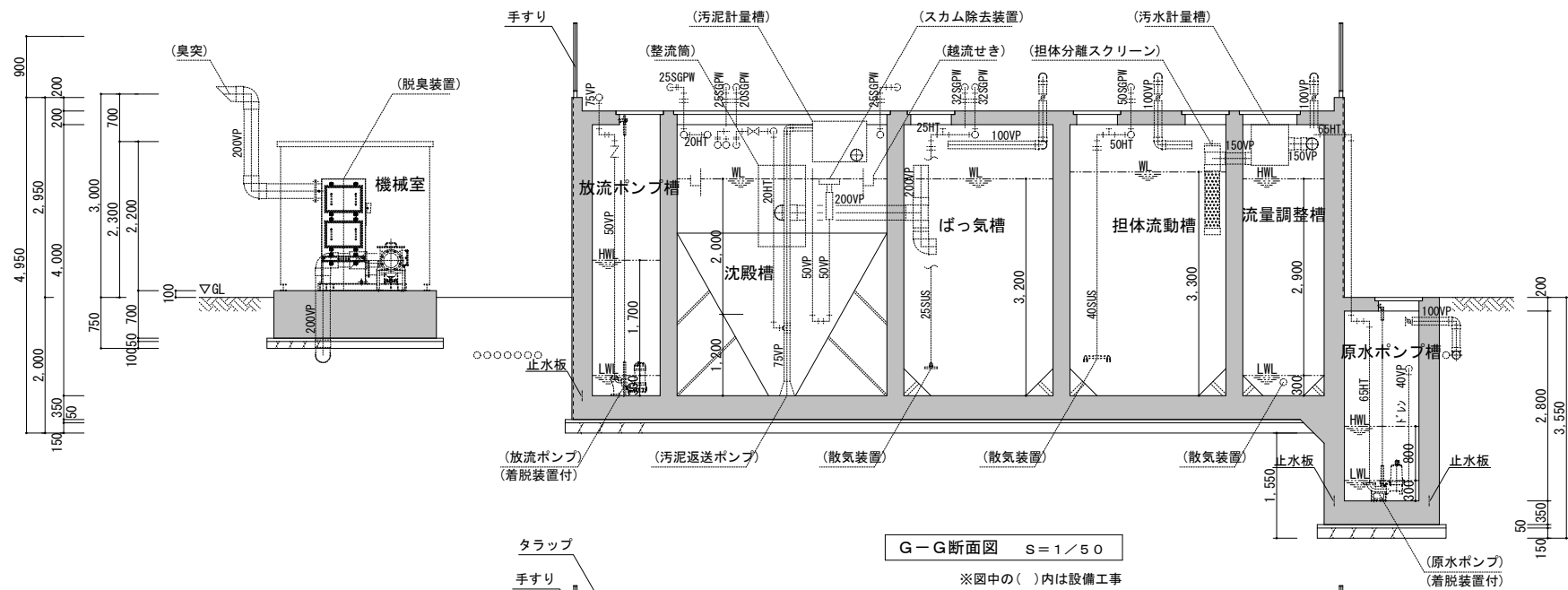
図面名	排水処理施設詳細図(2)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社
 〒980-0001 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S
日付	2023年3月24日
設計部長	検 園
担 当	製 園

(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図
 2023年3月24日

図面名	排水処理施設詳細図(2)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)
図面番号	103



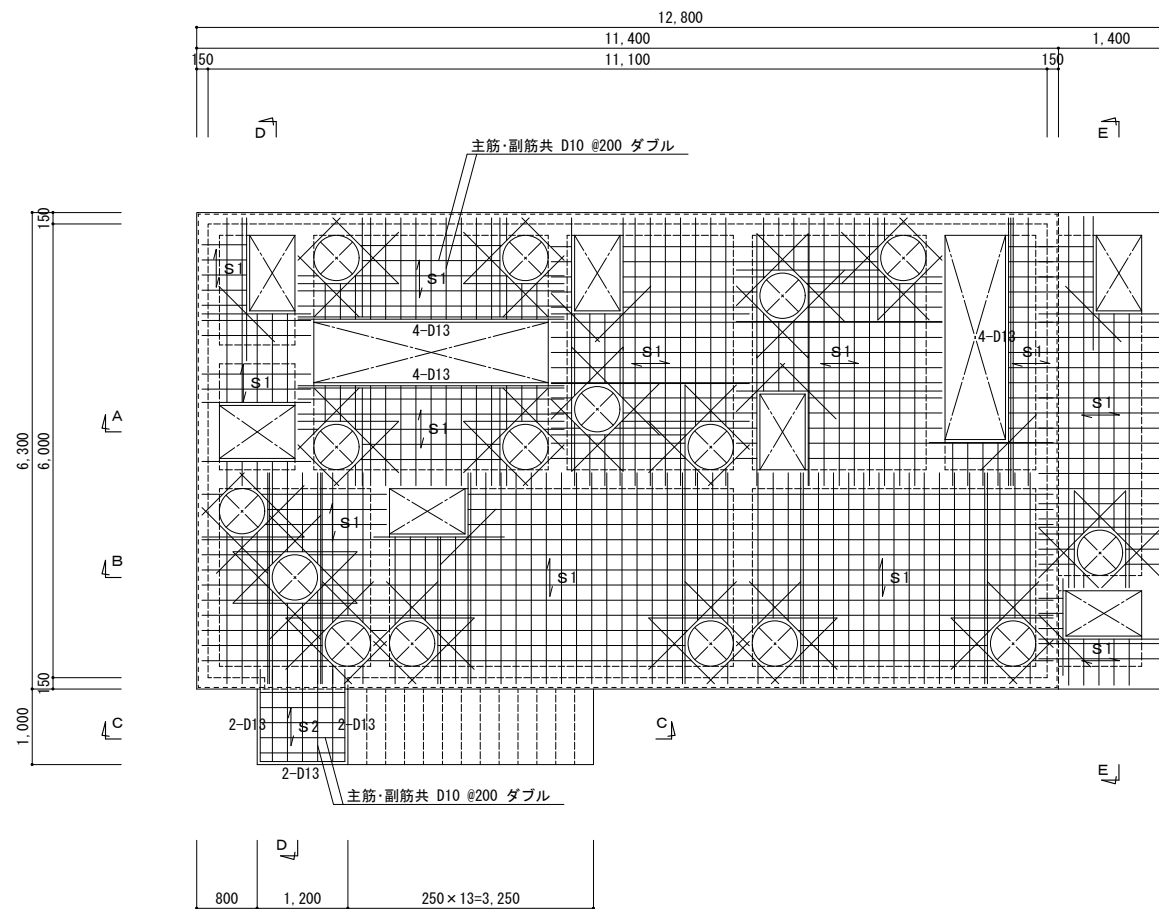
図面名	排水処理施設詳細図(3)
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

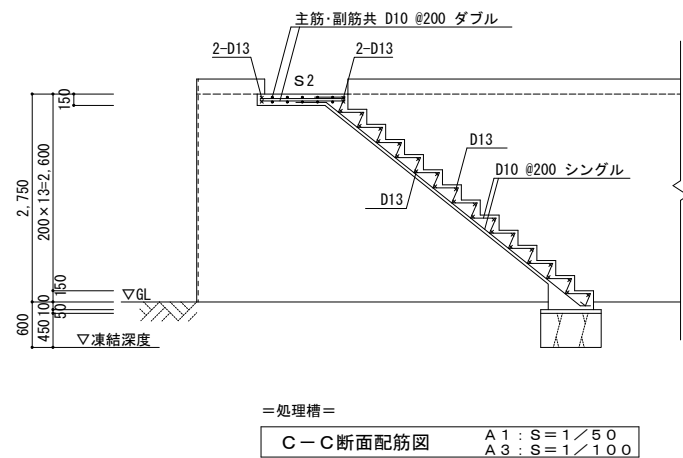
図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	機園	担当	製園

(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 第22110183号

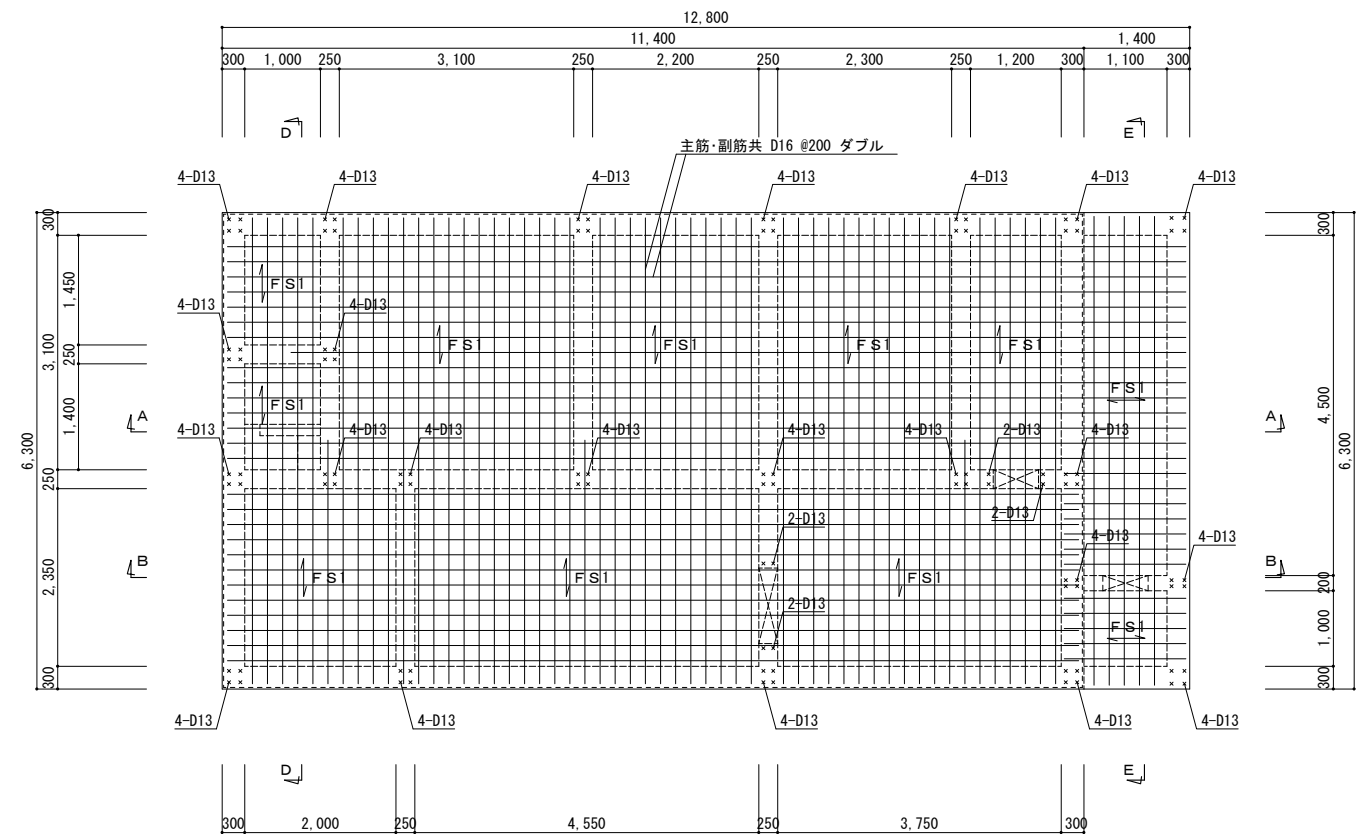
図面名	排水処理施設詳細図(3)	図面種類	A
図面番号		図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	104



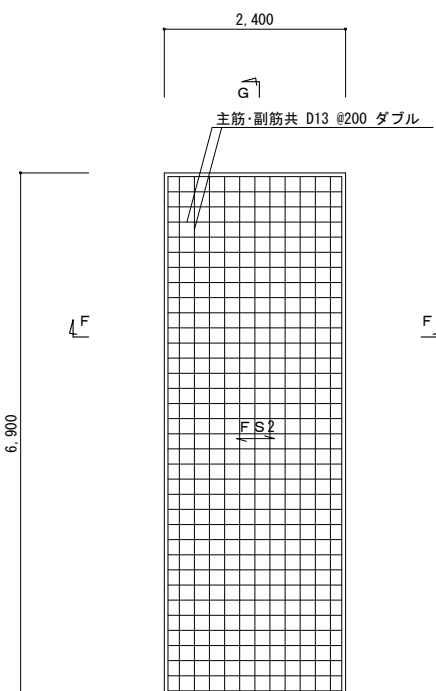
=処理槽=
上部スラブ配筋図 A1 : S=1/50
 A3 : S=1/100



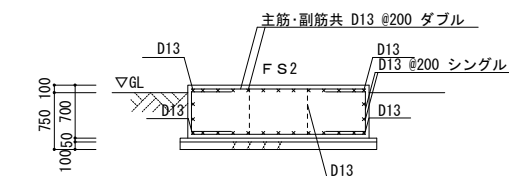
=処理槽=
C-C断面配筋図 A1 : S=1/50
 A3 : S=1/100



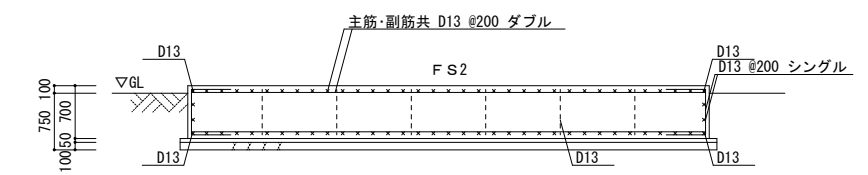
=処理槽=
基礎スラブ配筋図 A1 : S=1/50
 A3 : S=1/100



=機械室=
基礎スラブ配筋図 A1 : S=1/50
 A3 : S=1/100




=機械室=
F-F断面配筋図 A1 : S=1/50
 A3 : S=1/100



=機械室=
G-G断面配筋図 A1 : S=1/50
 A3 : S=1/100

※機械室は建築物のためコンクリートの構造体強度補正を行う

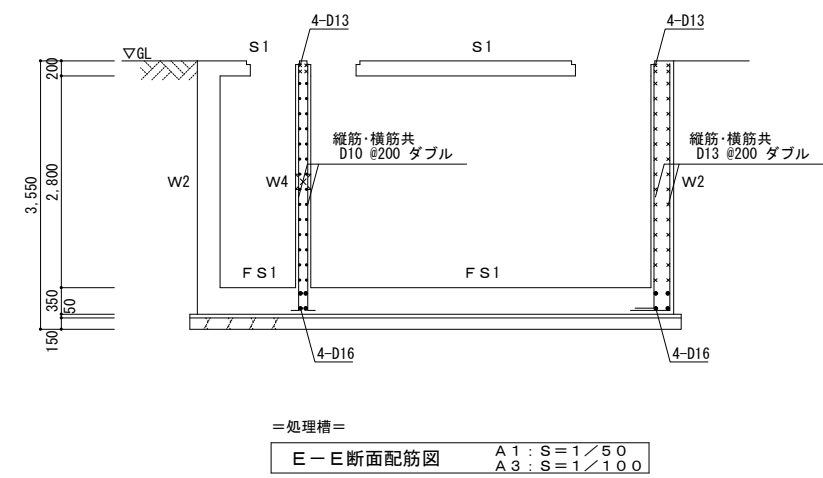
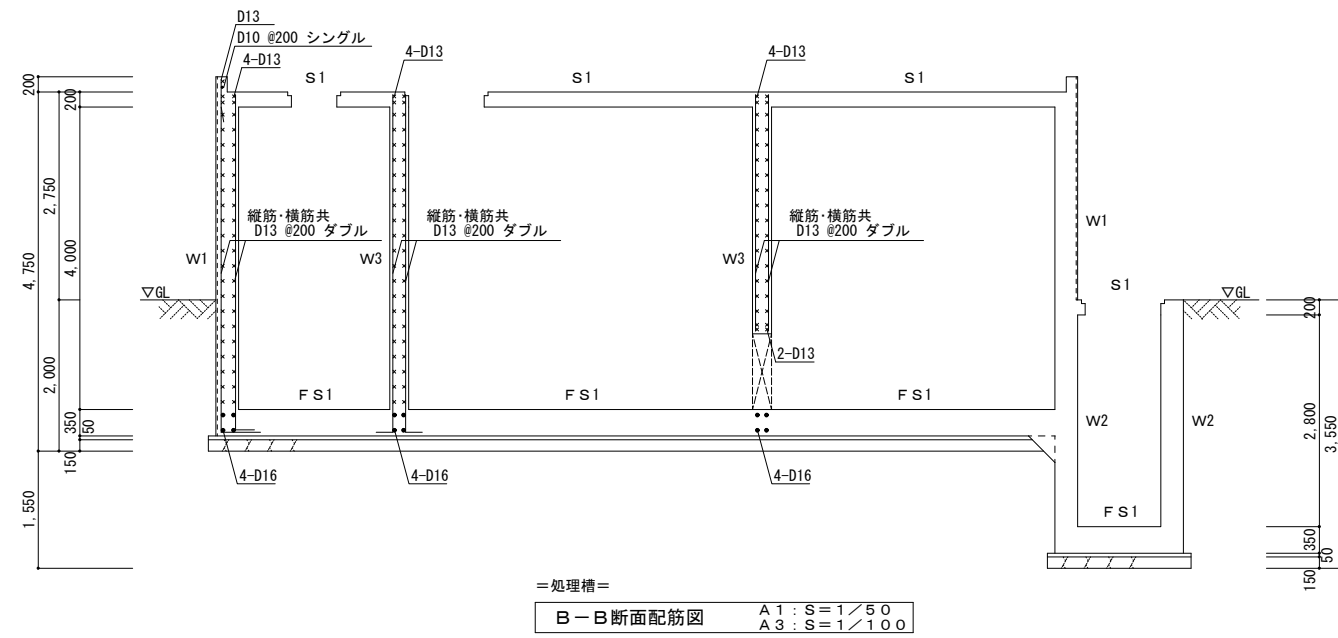
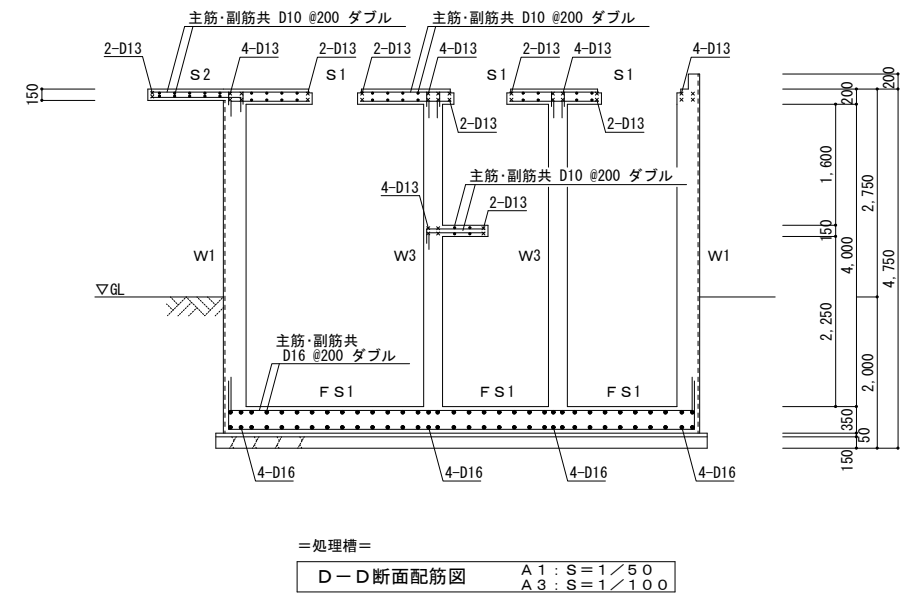
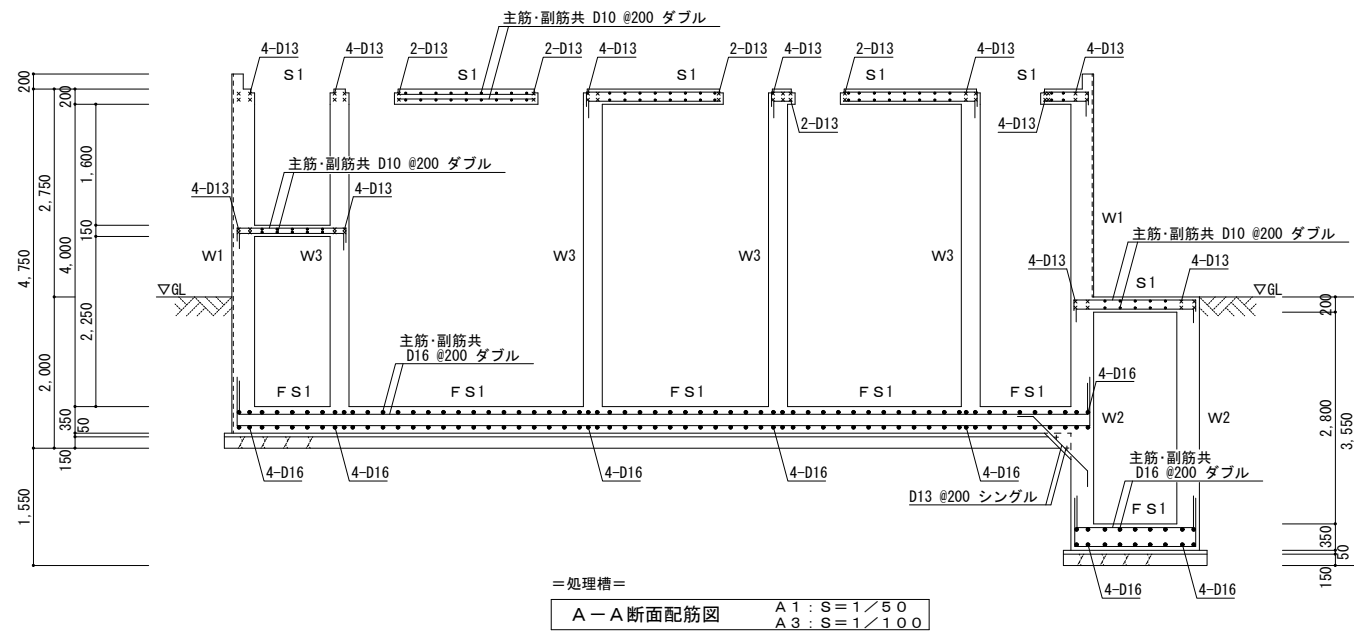
図面名	排水処理施設詳細図(4)
図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)


 株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22110183号
---	-----------------------------------

委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	機 関	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)		設計図
-----------------------------	--	-----

図面名	排水処理施設詳細図(4)	図面種別	A
図面番号		図面番号	
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	105

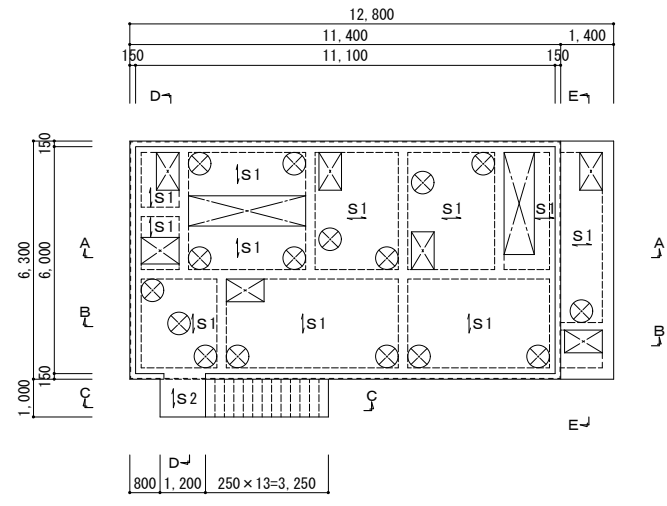



株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

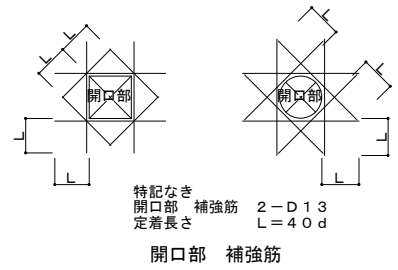
図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	検 閱	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

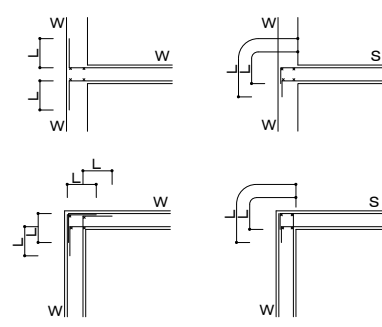
図面名	排水処理施設詳細図(5)	図面種別	A
縮尺	S=1:50(A3版 50%縮小)	図面番号	106



上部スラブ伏図 A1: S=1/100
A3: S=1/200



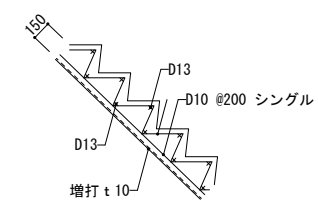
開口部 補強筋 2-D13 L=40d



壁 交差部 補強筋 壁・スラブ交差部 補強筋



壁・基礎スラブ 定着長さ



階段配筋図 S=1/30

スラブリスト

スラブ	スラブ厚	位置	主筋	副筋	備考
S1	200	全断面	D10-200@	D10-200@	ダブル
S2	150	全断面	D10-200@	D10-200@	ダブル
FS1	350	全断面	D16-200@	D16-200@	ダブル
FS2	700	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル

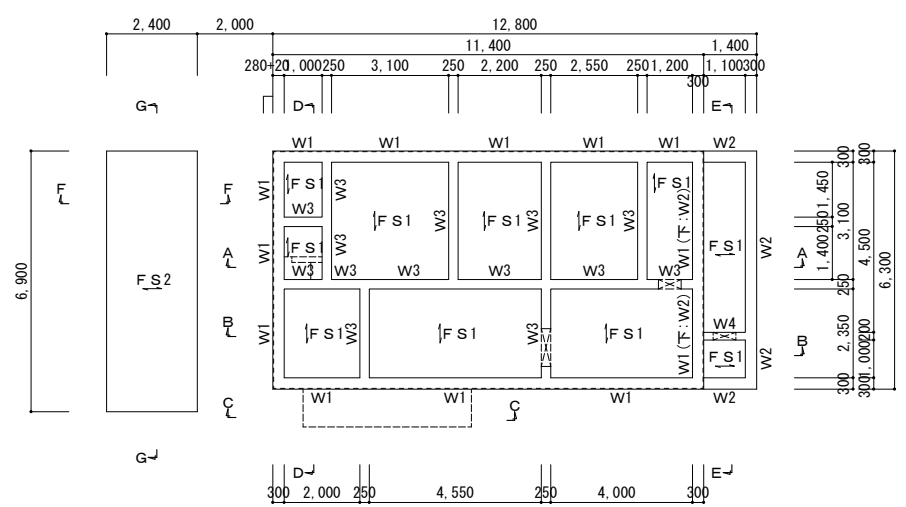
壁リスト

壁	壁厚	位置	縦筋	横筋	備考
W1	280+20	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル
W2	300	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル
W3	250	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル
W4	200	全断面	D10-200@	D10-200@	ダブル

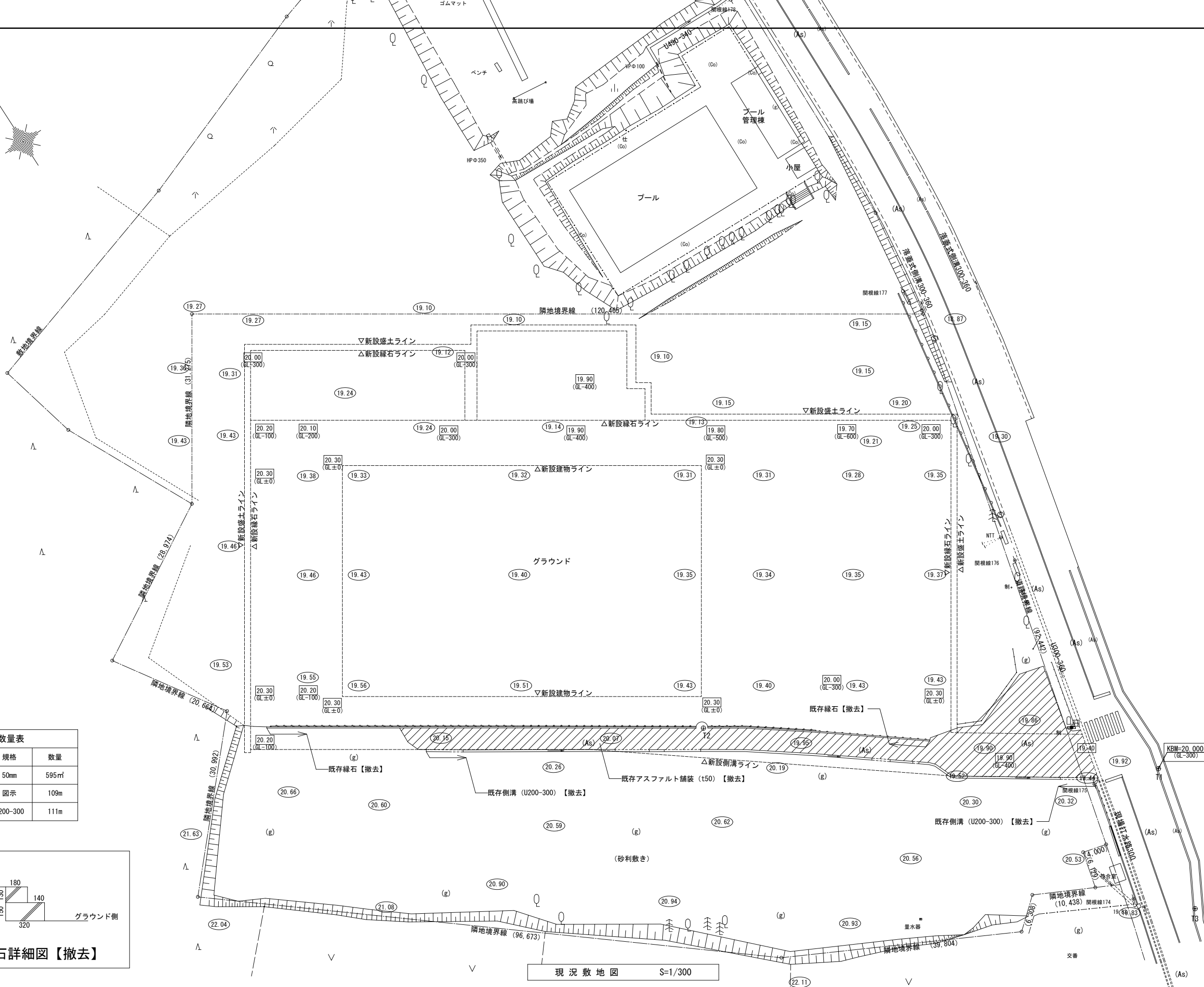
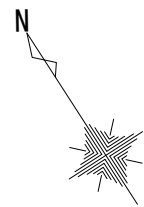
共通事項

凡例	・… D10、×… D13、●… D16
鉄筋	SD295 (D16以下)
コンクリート	4FG=21N/mm ² (無筋コン18N/mm ² 、捨コン15N/mm ²)
スラブ荷重	T=0
巾止め筋	D10-1000@
地耐力	100 KN/m ² 以上
その他	詳細は現場係員の指示による

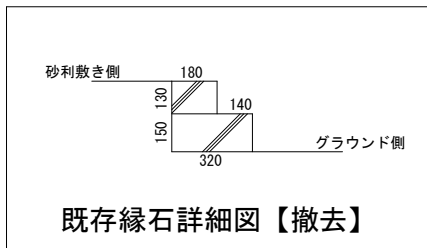
特記なきスラブ開口部補筋は2-D13とし定着長さL=40dとする
壁に達する補強筋は壁内に定着すること
壁筋で外周のたて筋は水平距離で35dの定着を基礎スラブ内にとすること
基礎スラブ筋で外周の壁に定着する下端筋は鉛直距離で35dの定着を壁内にとすること
その他基礎スラブ筋は40dで重ね継手とする



基礎スラブ伏図 A1: S=1/100
A3: S=1/200



項目	規格	数量
アスファルト舗装	50mm	595㎡
縁石	図示	109m
側溝	U200-300	111m



***: 現況地盤高さ
 **: 計画地盤高さ

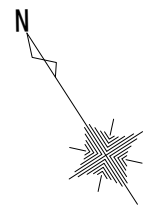
現況敷地図 S=1/300

図面名	現況敷地図
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:300 (A3版 50%縮小)

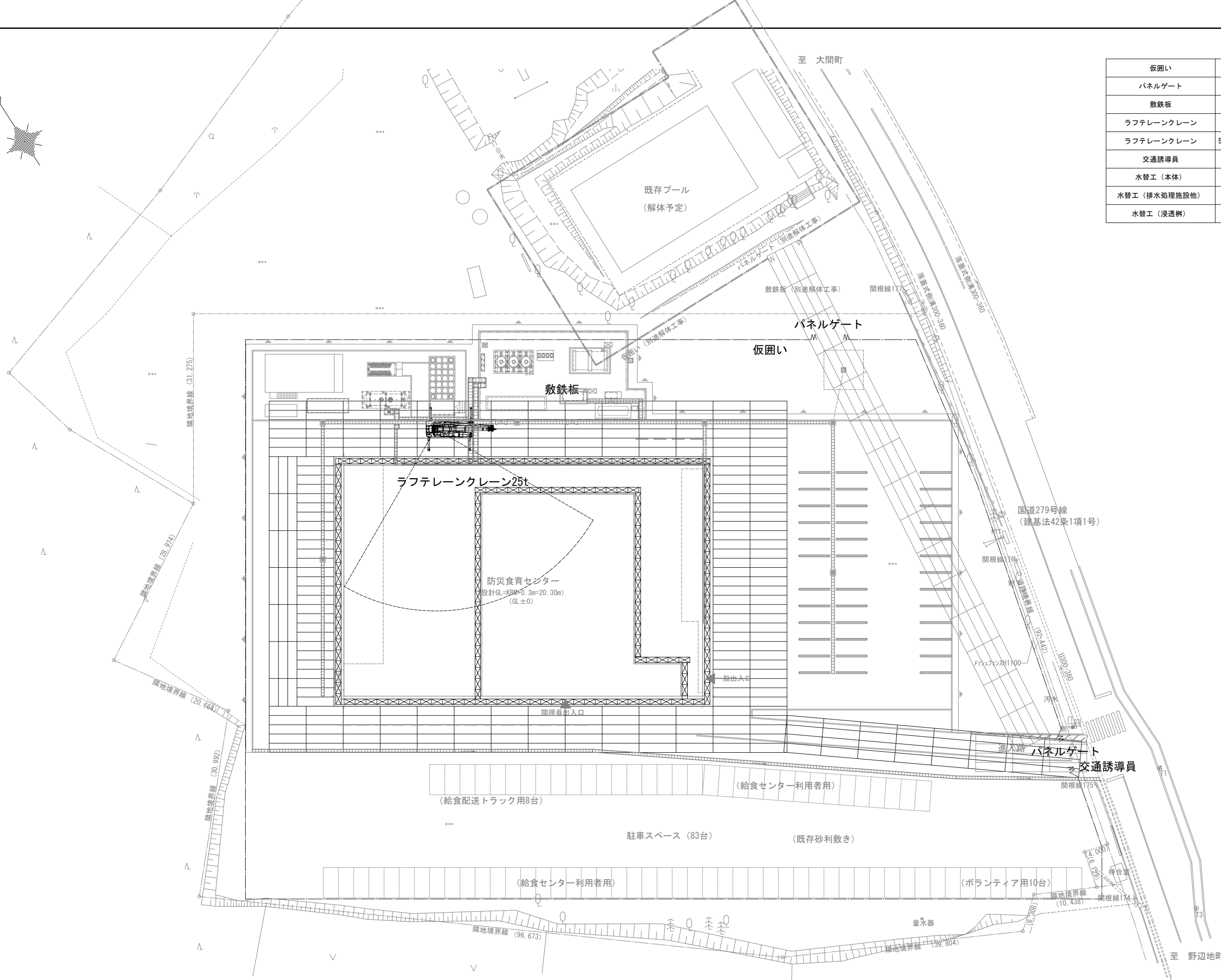

株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

設計部 検 査 担 当 製 図
 2023年3月24日
 (仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図


図面名	現況敷地図
図面種類	A
図面番号	
縮尺	S=1:300 (A3版 50%縮小)
図面番号	108



仮囲い	成形鋼板H2.0m	430m
パネルゲート	W6.3m×H4.5m	2か所
敷鉄板	22mm	2670㎡
ラフテレーンクレーン	25t	120日
ラフテレーンクレーン	50t (鉄骨建方用)	20日
交通誘導員		350人
水替工 (本体)	φ100×4台	90日
水替工 (排水処理施設他)	φ100×2台	80日
水替工 (浸透槽)	φ100×4台	15日



図面番号	22-127S
設計部長	松岡
検閲	
日付	2023年3月24日
担当	
製図	


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S
日付	2023年3月24日
設計部長	松岡
検閲	
担当	
製図	

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	仮設計画図 (参考図)	図面種類	A
縮尺	S=1:300 (A3版 50%縮小)	図面番号	109

構造関係共通図

構造関係共通事項

1. 総則

1.1 適用範囲

- (1) 構造関係共通図（配筋標準図）は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
(2) 構造関係共通図（鉄骨標準図）は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。

1.2 優先順位

- 設計図書の内、建築構造図に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1. 構造図及び構造関係共通図（構造関係共通事項）
2. 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図）

1.3 本構造関係共通事項の表記

- (1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

1.4 用語の定義

- (1) 構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通図以外の図面をいう。
(2) 異形鉄筋の径(本文、図、表において「D d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。
(3) 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

1.5 記号等

図面で使用する記号等は表1.1～表1.7を標準とする。

表1.1 異形鉄筋の断面表示記号

Table with 9 columns: 区分, 径, D10, D13, D16, D19, D22, D25, D29, D32. Building types are marked with symbols like ●, ×, ∅, ●, ○, ⊙, ⊗, ⊚.

表1.2 各階伏図における記号

Table with 4 columns: 記号, 説明, 記号, 説明. Includes symbols for slab reinforcement type, thickness, stairs, etc.

表1.3 梁貫通孔記号

Table with 17 columns: 区分, 径, 50, 75, 100, 125, 150, 175, 200, 225, 250, 275, 300, 325, 350, 375, 400.

表1.4 高力ボルト径の記号

Table with 6 columns: 区分, 径, M12, M16, M20, M22, M24. High strength bolts marked with symbols like ○, φ, ※.

表1.5 普通ボルト径の記号

Table with 6 columns: 区分, 径, M12, M16, M20, M22, M24. Common bolts marked with symbols like ○, φ, ※.

表1.6 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号
設計図中で使用する記号は、JIS Z 3021-2000による。

Table with 3 columns: 溶接部の形状, 基本記号, 備考. Lists welding types like I形, V形, レ形, etc.

表1.7 溶接の補助記号

Table with 2 columns: 区分, 補助記号. Lists 現場溶接, 全周溶接, etc.

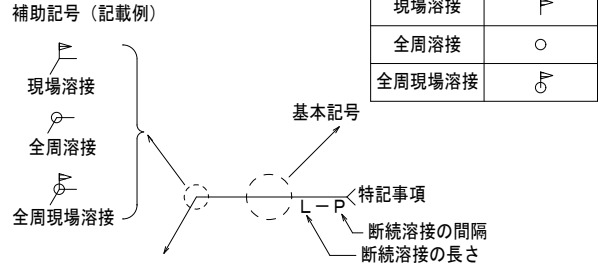


図1.1 溶接記号の記載例
※完全溶込み溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

◎ 建物概要等

建物概要

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes 工事名称, 工事場所, 延べ面積, etc.

構造概要

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes 構造種別, 架構形式, 耐震構造方式, etc.

計算方法

Table with 3 columns: 項目, X方向, Y方向. Includes 許容応力度計算, 許容応力度等計算, etc.

外力等

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes 地震力, 風圧力, 積雪荷重, etc.

◎ 地盤調査資料

調査報告書

- ◎ 当該敷地の既往調査報告書のみによる
・ 当該敷地の既往調査報告書及び今回工事に含まれる地盤調査報告書による
※ 工事着手前に当該敷地内で () 図に示す地盤調査を行う

調査内容(既往調査内容含む)

- ◎ サウンディング
※ 標準貫入試験
・ スウェーデン式サウンディング試験
・ オランダ式二重管コーン貫入試験
◎ 土質試験
◎ 物理的性質試験
◎ 土粒子密度試験 ◎ 含水比試験 ◎ 粒度試験
◎ 液性限界、塑性限界試験 ・ 細粒分含有率試験
・ 湿潤密度試験
◎ 力学的性質試験
(・ 一軸圧縮試験 ・ 圧密試験 ・ 直接せん断試験
◎ 三軸圧縮試験 ・ 振動三軸試験
・ 中空ねじりせん断試験)
・ 現場透水試験 ・ 常時微動測定
◎ 孔内水平載荷試験 ・ 平板載荷試験
・ 弾性波速度検層

◎ 液状化対策

◎ 軽微な変更への対応(あらかじめの検討)

◎ コンクリートの単位水量測定

- ・ 有り
範囲・工法・仕様・計測・試験等
※ 図示による ()
◎ 無し

施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更等(位置の変更)
施工誤差を考慮して構造耐力上支障がない検討が行われている部分(変更に係る部材及び当該部材に接する部材以外に応力度の変更がない場合であって、変更に係る部材及び当該部材に接する部材が令第82条各号に規定する構造計算によって確かめられる安全性を有するものに限る)
◎ くいのみを考慮した検討
許容誤差 (100mm)
あらかじめの検討範囲
※ 図示による (S018)
・ 小ばり位置の変更を見込んだ大ばり等の検討
位置の変動寸法 ()
あらかじめの検討範囲
※ 図示による ()
・ 大きさの変更を見込んだスラブ等の検討(屋根床版含む)
許容される大きさ、荷重の条件 ()
あらかじめの検討範囲
※ 図示による ()
・ はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討
大きさの変動寸法 ()
位置の変動寸法 ()
あらかじめの検討範囲
※ 図示による ()
・ 壁開口の位置の変更を見込んだ検討
開口の移動範囲 ()
ただし、構造計算及びびびり化において耐力壁の剛性耐力が変わらず、荷重が増加しない移動範囲に限る
あらかじめの検討範囲
※ 図示による ()
・ スラブの開口及び段差の変更を見込んだ検討
開口の移動範囲 ()
ただし、構造計算及びびびり化において耐力壁の剛性耐力が変わらず、荷重が増加しない移動範囲に限る
あらかじめの検討範囲
※ 図示による ()
・ 間柱の位置の変更を見込んだ検討
位置の変動寸法 ()
あらかじめの検討範囲
※ 図示による ()

実施要領
(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた場合に実施する。
(2) 単位水量の上限値は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」6.3.2(2)による。
(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして施工する。
1. 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合は、そのまま施工する。
2. 測定した単位水量が、設計値±15kg/m³を越え±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンは打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
3. 測定した単位水量が設計値±20kg/m³を越える場合は、その運搬車は打込まずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
4. 3の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認すること。
(4) 単位水量の管理についての記録を画面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5) 単位水量の測定方法は高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、I7メータ法又は静電容量測定法による。又、試験機関は当該コンクリート製造所以外の機関とする。

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 昭昭

Table with 2 columns: 図面名, 図面種別. Includes 構造関係共通図, 構造関係共通事項, S.

松下設計仙台支社 logo and address: 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8. TEL: 022(217)4018(代) FAX: 022(217)4128. Management: 管理建築士 小山 紀彦 (-級建築士登録 275570号)

Table with 2 columns: 設計部長, 検図. Includes 松田 誠, 松田 誠.

Table with 2 columns: 設計図, 製図. Includes (仮称)むつ市防災食育センター建設工事(建築工事) 設計図.


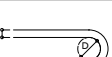
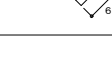

Table with 2 columns: 縮尺, 図面番号. Includes S=NON(A3版 50%縮小), 001.

配筋標準図

1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図(余長)	折曲げ内法直径(D)		
		SD295A SD295B, SD345	D16以下	D19 ~D38
180°		4d以上		
135°		6d以上		
90°		3d以上	4d以上	5d以上
135°及び90°(幅止め筋)		4d以上		

- 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
- 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
(1) 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部

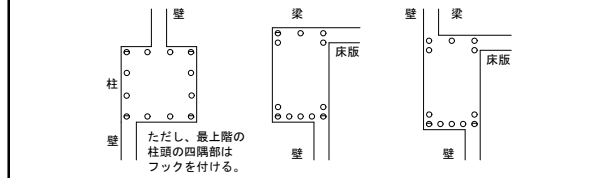


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋(=印)

- 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
- 杭基礎のベース筋
- 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3.1 継手及び定着

- (a) 鉄筋の重ね継手
- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
 - 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上(軽量コンクリートの場合は50d以上)と表3.1のかさね継手の長さのうち大きい値とする。それ以外の鉄筋の重ね継手長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
SD345	30, 33, 36	35d	25d
	18	50d	35d
	21	45d	30d
SD390	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
	21	50d	35d

- (注) 1. L₁、L_{1h}: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
2. フックありの場合のL_{1h}は、図3.1に示すようにフック部分Qを含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

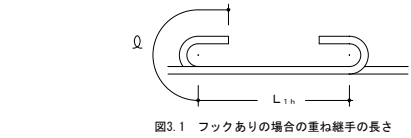
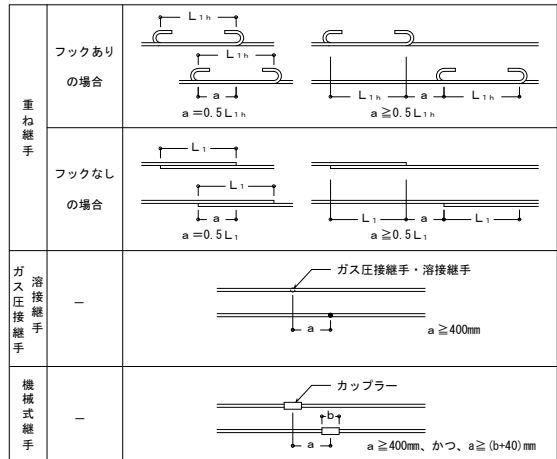


図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

- (3) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置



- (b) 鉄筋の定着
- 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ			
		L ₁	L ₂	L ₃	L _{3h}	L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}	L _{3hh}
SD295A SD295B	18	45d	40d	20d	10d	35d	30d	10d	-
	21	40d	35d			30d	25d		
	24, 27	35d	30d			25d	20d		
SD345	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
SD390	24, 27	40d	35d	25d	20d				
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d				
	21	50d	40d	35d	30d				

- (注) 1. L₁、L_{1h}: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
2. L₂、L_{2h}: 割製破壊の起こらない箇所での直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
3. L₃: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁は除く。片持ち小梁及び片持ちスラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
4. L_{3h}: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Qを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 打増し部分に、壁、梁、スラブ等とつづく場合は、壁、梁、スラブ筋等の定着長さには、打増し厚さを含まない。
7. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

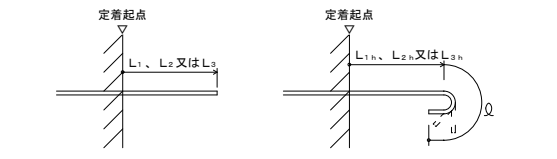


図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

- (2) 梁主筋の柱内定着の方法又は、小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3による。次の(i)、(ii)及び(iii)を全て満足するものとする。
(i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
(ii) 余長は8d以上
(iii) 仕口面から鉄筋面外までの投影定着長さは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

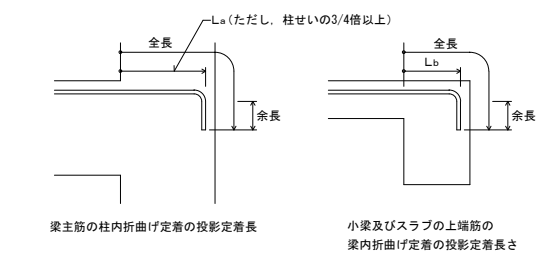


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	L _a	L _b
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	30, 33, 36	15d	15d
	18	20d	20d
	21	20d	20d
SD390	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	20d	20d
	21	20d	20d

- (注) 1. L_a: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。)
2. L_b: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- (3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。なお、L₂及びL₃は表3.3の(注)による。

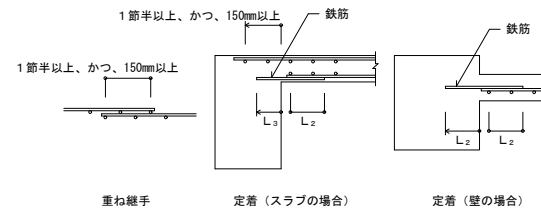


図3.4 溶接金網の継手及び定着

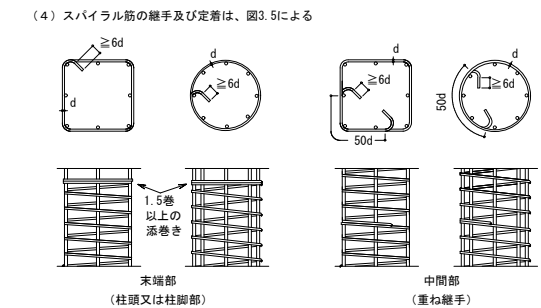


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ(単位: mm)

土に接しない部分	構造部分の種類		最小かぶり厚さ
	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり 仕上げなし	
柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
	屋内	仕上げなし	30
	屋外	仕上げあり	30
	屋外	仕上げなし	40
土に接する部分	擁壁、耐力スラブ		40
	柱、梁、スラブ、壁		*40
	基礎、擁壁、耐力スラブ		*60
	煙突等高温を受ける部分		60

- (注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(土塗材、塗装等)のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記仕様書による。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

- (d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2) 25mm
(3) 隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍

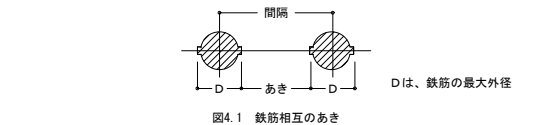


図4.1 鉄筋相互のあき

- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

5.1 基礎梁

- (a) 一般事項
- 梁筋は、連続端に柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
 - 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b) (4)による。

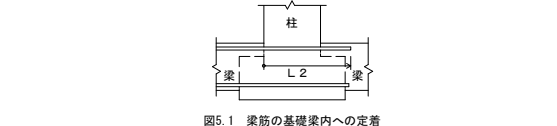


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。

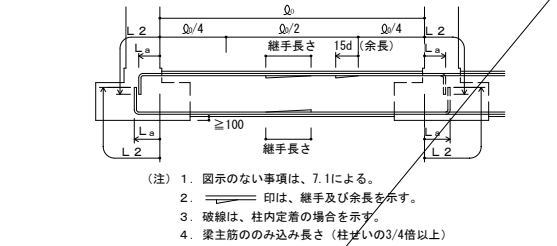


図5.2 主筋の継手、定着及び余長(その1)

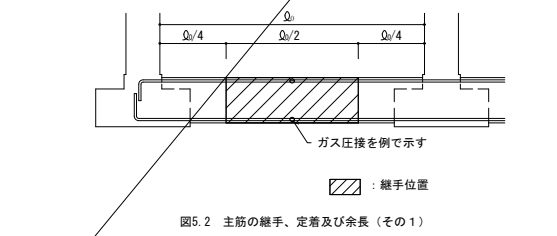
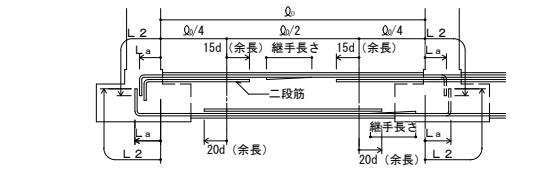


図5.2 主筋の継手、定着及び余長(その1)

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。ただし、耐力スラブが付く場合は、(d)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

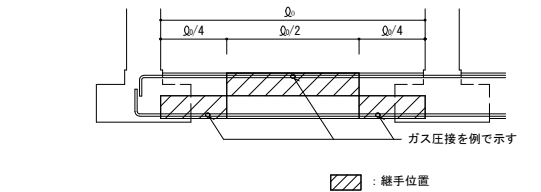


図5.3 主筋の継手、定着及び余長(その2)

- (d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。

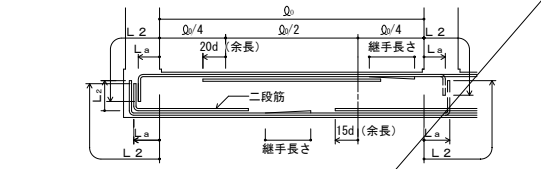


図5.4 主筋の継手、定着及び余長(その3)

- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

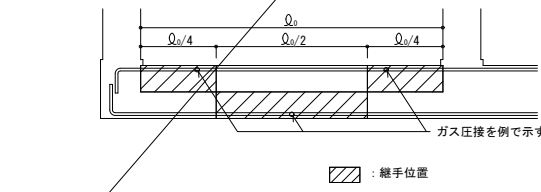


図5.4 主筋の継手、定着及び余長(その3)

5.2 基礎梁のあばら筋等

- (a) 一般事項
- あばら筋の径および間隔は、構造図による。
 - あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

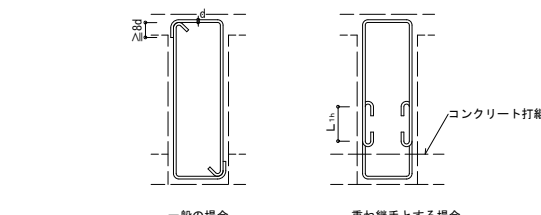
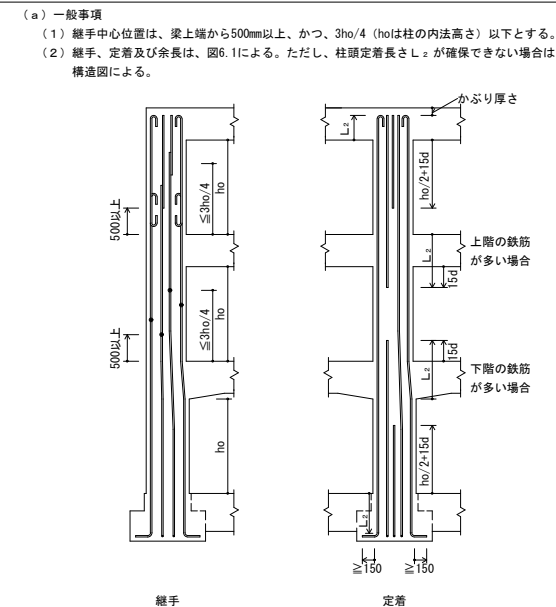


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

- (b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2(c)による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

- (c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

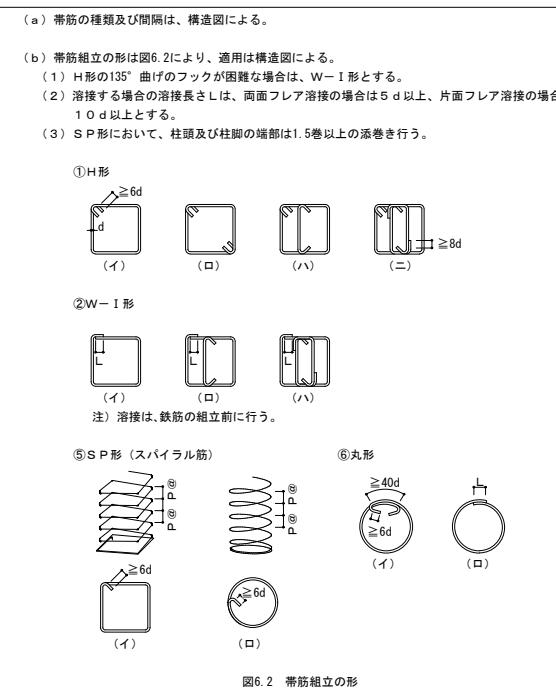
6.1 柱



(注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表3.2 [隣り合う継手の位置] による。
3. 継手及び定着は、すべての階に適用できる。

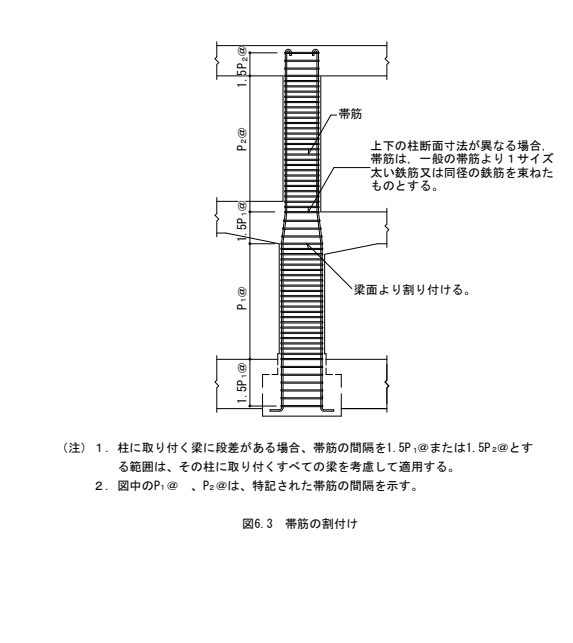
図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

6.2 帯筋

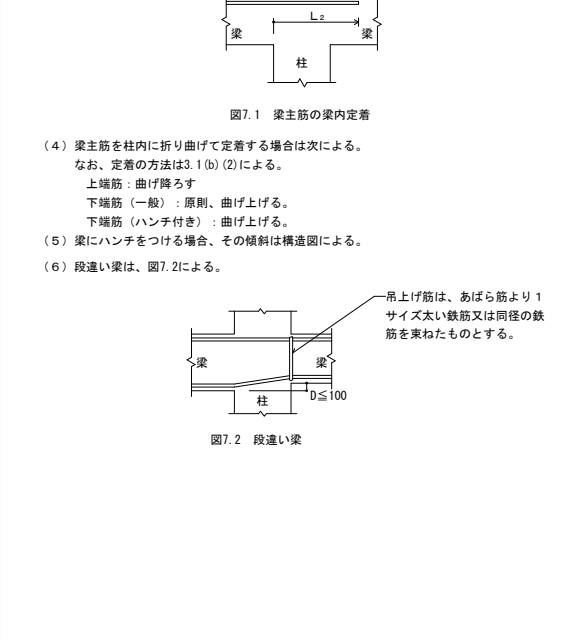
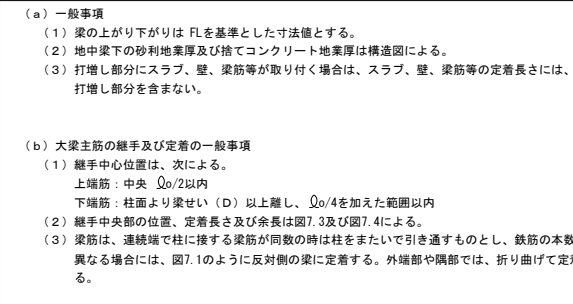


(c) フック及び継手の位置は交互とする。

(d) 帯筋の割付けは図6.3とし、それ以外の場合は構造図による。

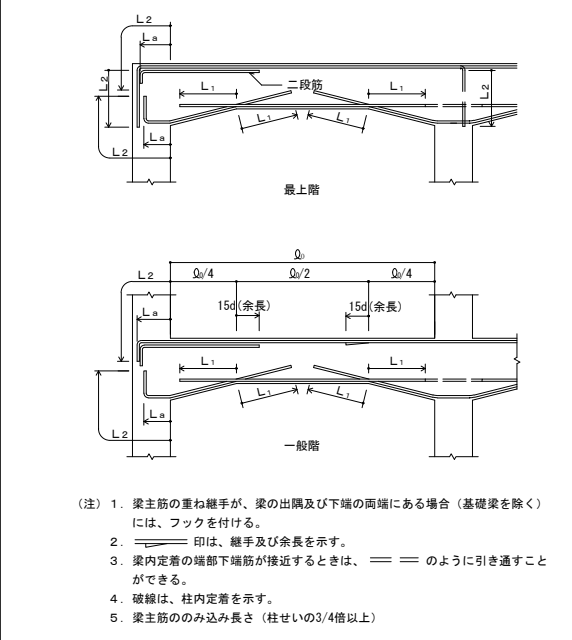
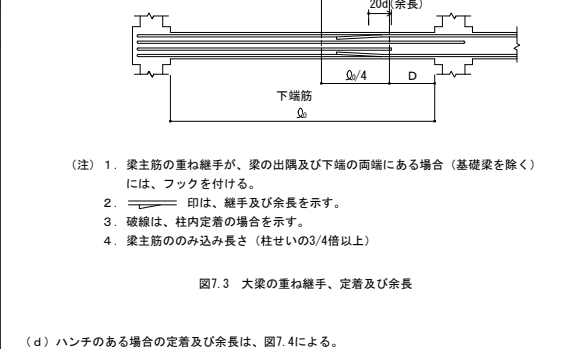
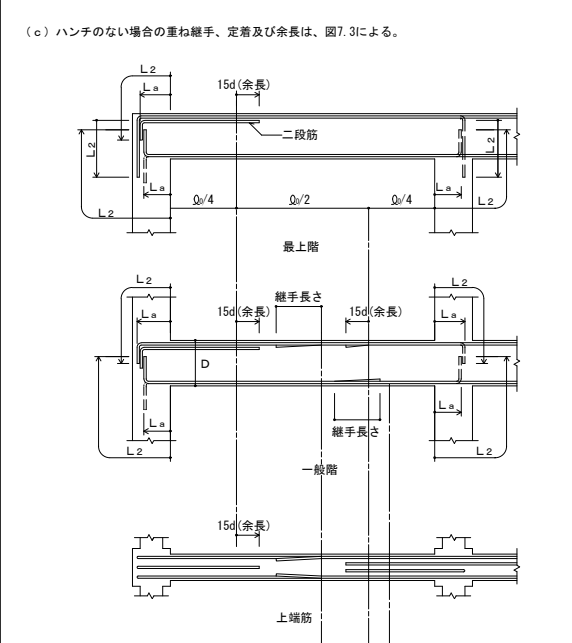


7.1 大梁



(注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合(基礎梁を除く)には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着を示す。
5. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

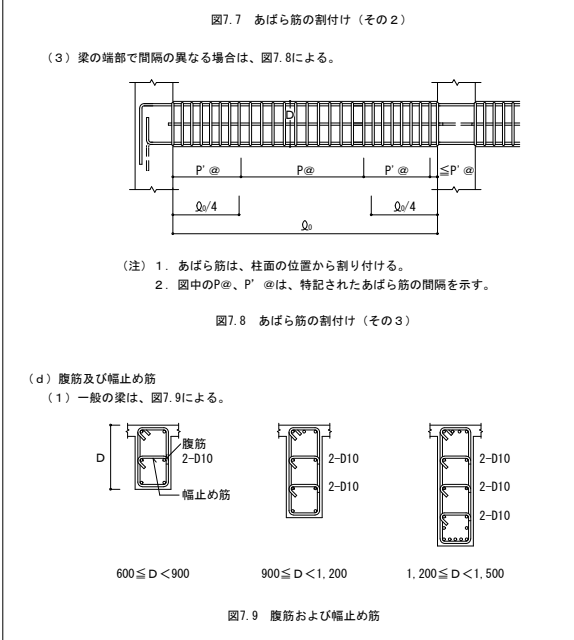
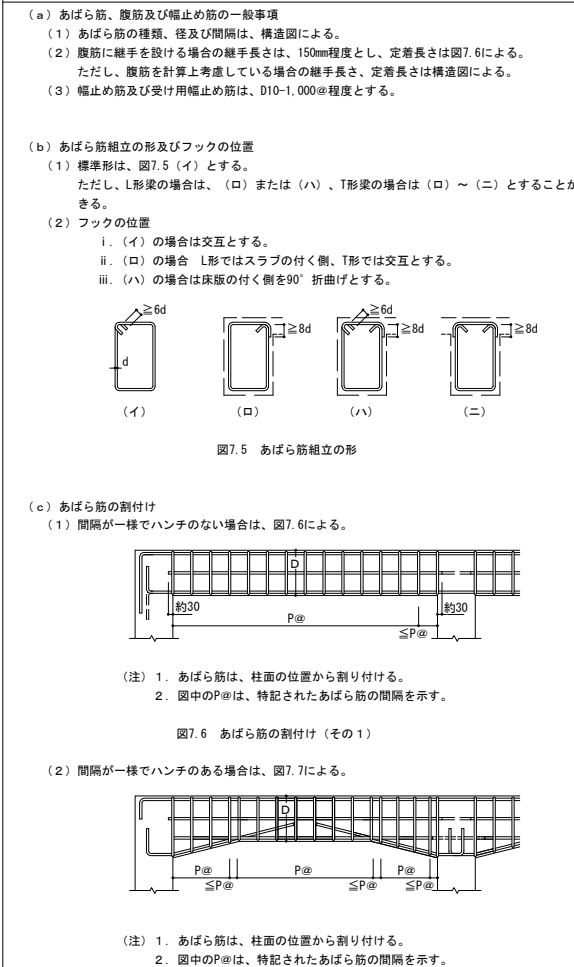
図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長



(注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.11に準ずる。
2. 印は、余長を示す。

図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

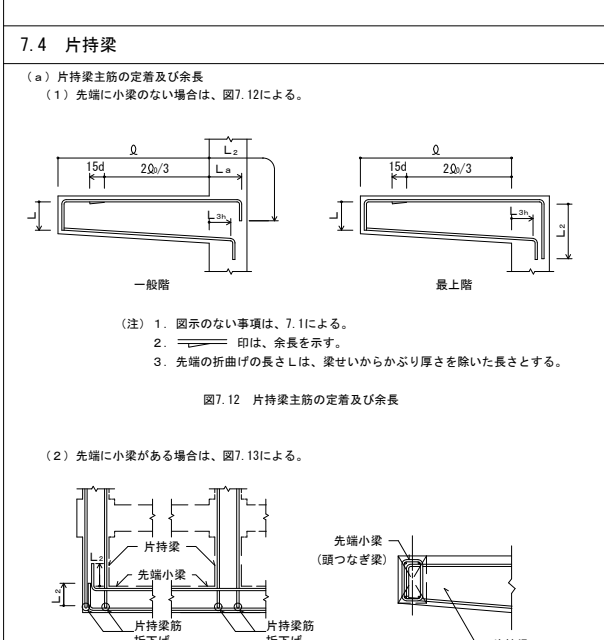
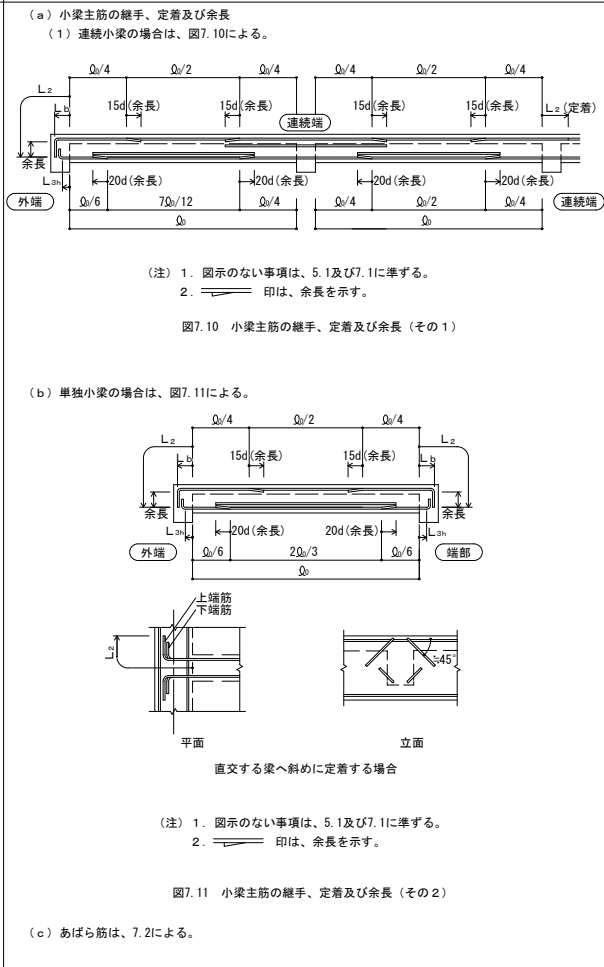
7.2 あばら筋等



(注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
2. 印は、余長を示す。
3. 先端の折曲げの長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12 片持梁主筋の定着及び余長

7.3 小梁



(注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
2. 印は、余長を示す。
3. 先端の折曲げの長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12 片持梁主筋の定着及び余長

(注) 1. 図示のない場合は、(1)による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13 片持梁主筋の定着

8.1 壁

- (a) 一般事項
 (1) 壁配筋の重ね継手長さは、 L_1 、定着長さを L_2 とする。
 鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
 (2) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 (3) 打増し部分に壁及びスラブ等が取り付けられる場合は、鉄筋の定着長さに打増し部分を含まない。

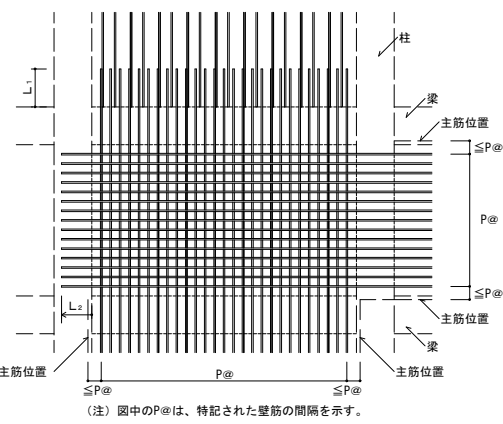


図8.1 壁の配筋

- (b) 壁の基準配筋は表8.11により、種別は構造図による。

表8.1 壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200#シングル	120
W15A	D10-150#シングル	150
W15B	D10-100#シングル	
W18A	D10-200#ダブル	180
W18B	D10-150#ダブル	
W20A	D10-200#ダブル	200
W20B	D10-150#ダブル	

(注) 鉄筋の配筋順序は、規定しない。

- (c) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表8.21により、種別は構造図による。

表8.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別(表11.1)
KW1	縦筋 D13-200#ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200#ダブル		
KW2	縦筋 D13-150#ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200#ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

- (d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

- (e) 壁の交差部及び端部の配筋は、図8.21による。

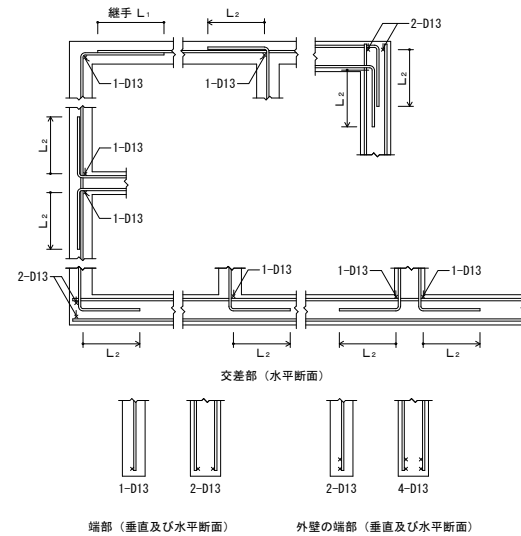


図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

8.2 壁の補強

- (a) 壁開口部の補強
 (1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、通用は13.3(b)(1)による。
 なお、耐震壁の補強筋は、構造図による。

表8.3 壁開口部補強筋 (A形)

壁の種類	補強筋	
W12, W15	縦横 1-D13	斜め 1-D13
W18, W20	縦横 2-D13	斜め 2-D13

表8.4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種類	補強筋	
W12, W15	縦横 2-D13	斜め 1-D13
W18, W20	縦横 4-D13	斜め 2-D13

- (2) 壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

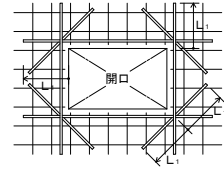


図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

- (b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、13.3(b)(3)による。

9.1 スラブ

- (1) スラブ及び土間コンクリートの上り下りよりは、FLを基準とした寸法値とする。
 (2) 土間スラブ下の砂利地厚度及び捨てコンクリート厚は13.1(1)による。
 (3) 土間コンクリート補強筋 (S0) の配筋及びコンクリート厚さは13.4(a)(1)による。
 (4) スラブの基準配筋 (S形基準配筋) は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.1 S形基準配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域		長辺方向 (配力筋) 全域	
	配筋	主筋	配筋	主筋
S 1	D13-100#	D13-100#	S 8	D10, D13-150#
S 2	同上	D13-150#	S 9	同上
S 3	同上	D10, D13-150#	S10	D10, D13-200#
S 4	D13-150#	D13-150#	S11	同上
S 5	同上	D10, D13-150#	S12	同上
S 6	同上	D10-150#	S13	D10-200#
S 7	D10, D13-150#	D10, D13-150#	S14	同上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

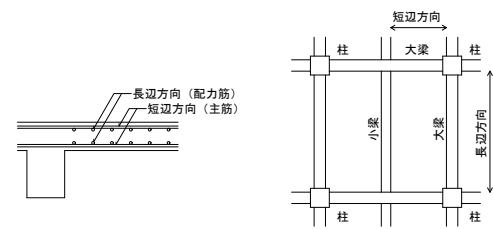


図9.1 スラブの配筋

- (5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
 (6) 鉄筋の重ね継手長さは、 L_1 とする。
 (7) 定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
 ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

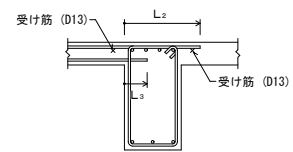


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

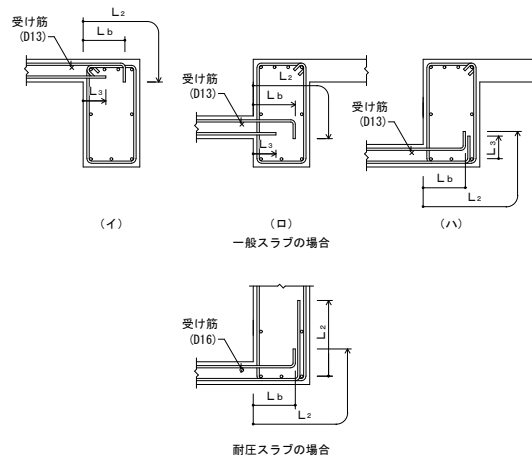


図9.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

9.2 片持スラブ

片持スラブの配筋は、次による。

- (1) 片持スラブの基準配筋 (CS形基準配筋) は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.2 CS形基準配筋

配筋種別	主筋		配筋種別	主筋	
	上	下		上	下
CS1	D13-100#	D13-200#	CS5	D10-200#	D10-400#
	D13-150#	D13-300#		CS6	同上
CS2	D10, D13-150#	D10, D13-300#	CS7		同上
	D10, D13-200#	D10, D13-300#		同上	同上
CS3	D10, D13-200#	D10, D13-300#	CS4	同上	D10-200#
	D10, D13-300#	D10, D13-400#		同上	同上

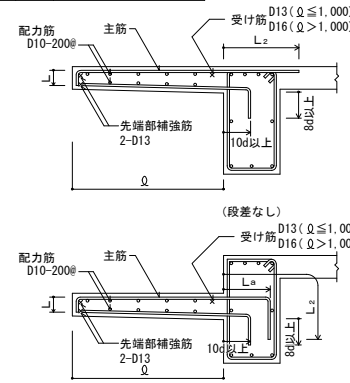
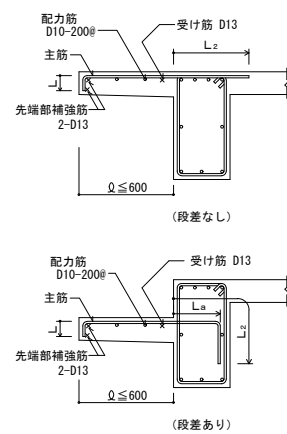


図9.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)



(注) 1. 先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

- (2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

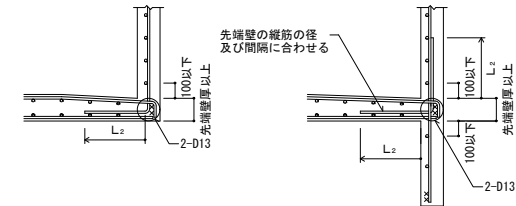


図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

- (3) 出隅部

- (i) 補強の配筋は構造図により、配筋方法は、図9.7による。
 (ii) 出隅受け部分 (図9.7の斜線部分) の補強筋は構造図による。

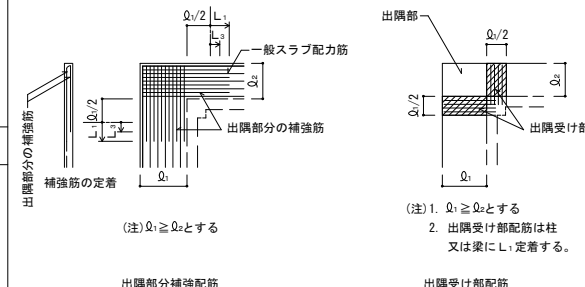


図9.7 片持スラブ出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

- (a) スラブ開口部の補強
 スラブ開口部の補強は、構造図による。構造図になければ、(1)(ii)による。

- (i) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 ($Q = 2 \cdot L_2$) シングルを上下筋の内側に配筋する。

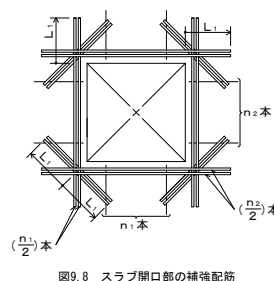


図9.8 スラブ開口部の補強配筋

- (ii) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

- (b) 屋根スラブの補強
 屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

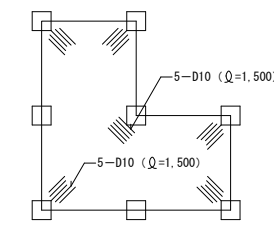


図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

- (c) 土間スラブの打継ぎ補強
 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。
 ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。
 $a > 300$ の場合は特記による。

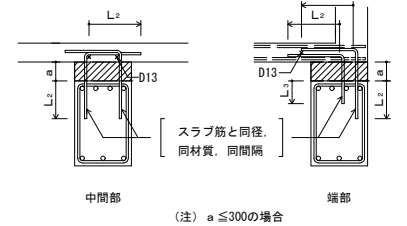


図9.10 打継ぎ補強配筋

- (d) 土間コンクリートの補強
 土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。
 $a > 300$ の場合は特記による。

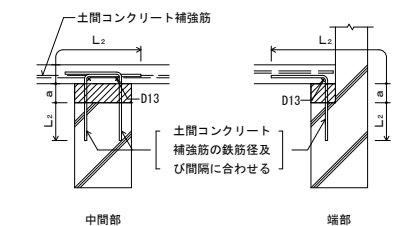


図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の基準配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.1 片持スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

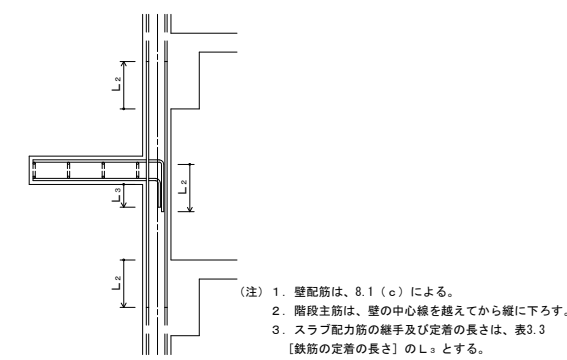


図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

- (注) 1. 壁配筋は、8.1(c)による。
 2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
 3. スラブ配筋の継手及び定着の長さは、表3.3 [鉄筋の定着の長さ] の L_2 とする。

10.2 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.2 二辺固定スラブ階段基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13.D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

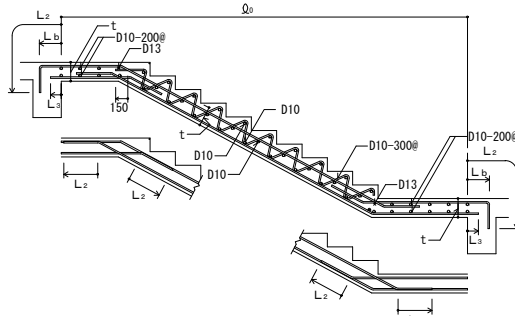


図10.2 二辺固定スラブ階段配筋（その1）

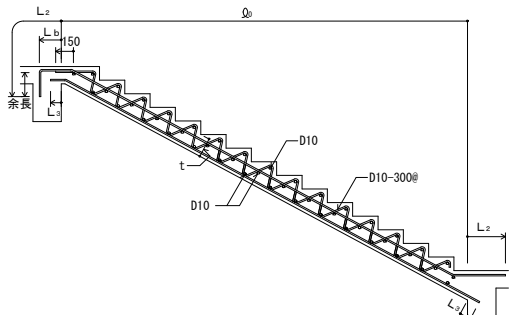
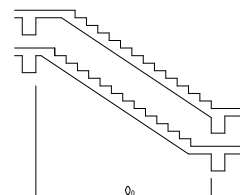


図10.3 二辺固定スラブ階段配筋（その2）

（注）下図の場合にも二辺固定スラブ階段配筋を準用する。



11.1 梁貫通孔

- （a）梁貫通孔は、次による。
- 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
 - 孔の径は、梁せい d の1/3以下とする。
 - 孔の上下方向の位置は図11.2による。
 - 孔は、柱面から原則として、1.5D（Dは梁せい）以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除くが、その場合の範囲は特記による。
 - 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 - 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 - 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.3による。
 - 孔の径が梁せい d の1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋でき、かつ、構造図に特記された場合において、補強を省略することができる。
 - 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 - 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 - 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
 - 貫通孔の位置は図11.4のように開口部をささむ45度の領域（ハッチ部）には他の開口を設けないこととする。

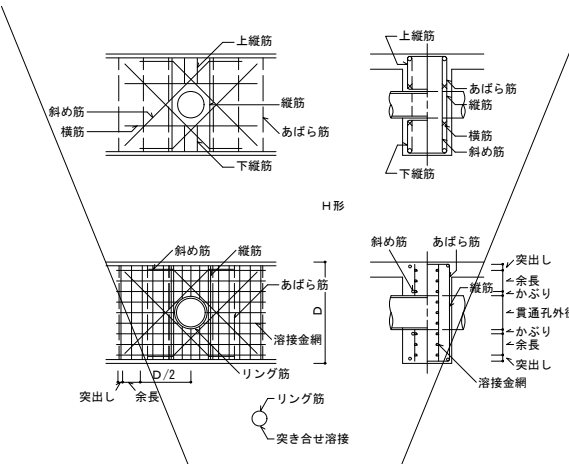
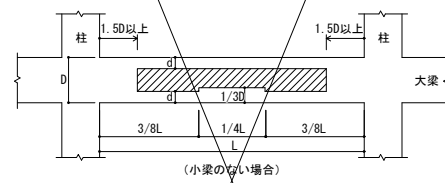
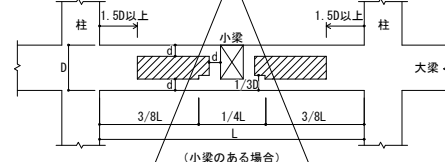


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等



（小梁のない場合）



（小梁のある場合）

- （注）1. 梁貫通孔のへりあき寸法 d は下取による
- | | |
|--------------------|--------------|
| $500 \leq D < 700$ | $d \geq 175$ |
| $700 \leq D < 900$ | $d \geq 200$ |
| $900 \leq D$ | $d \geq 250$ |

図11.2 梁貫通孔の設置範囲

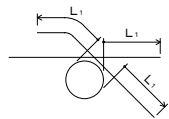


図11.3 補強筋の定着長さ

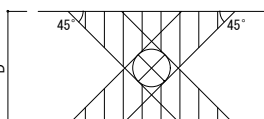


図11.4 他の開口を設けない範囲

※梁貫通孔補強は既製品を使用し、製品の仕様を遵守すること。
施工の際は補強筋量の計算を行い監理者の承認を得ること。

（b）梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.3により、配筋種別は構造図による。

表11.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

（注）—— は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13	なし	
M3	4-2-D13	2-6φ-100#	
M4	6-2-D13	2-6φ-100#	

（注）—— は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.3 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	なし	なし	なし	
MH2	2-2-D13	2-2-D13	なし	
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH5	4-2-D16	4-2-D16	なし	
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100#	
MH7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100#	

（注）—— は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

- （a）控壁は、次による。
- 控壁の配置は、構造図による。
 - 配筋は、図11.5による。

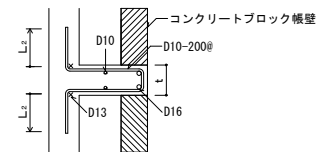


図11.5 控壁の配筋（水平、垂直とも）

- （b）帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.6による。

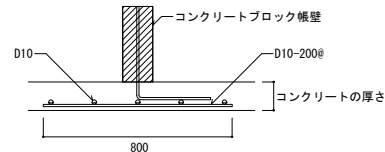


図11.6 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 パラペット

パラペットの先端補強筋は、図11.7による。コンクリート厚さ及びパラペット配筋は構造図による。

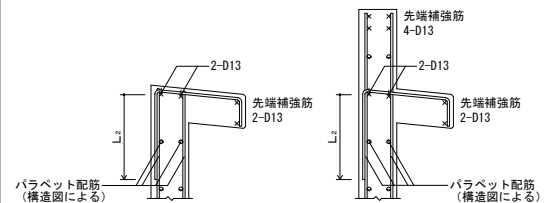


図11.7 パラペットの配筋

12.1 擁壁

宅地造成等規制区域外での高さ2m以下の擁壁の鉄筋の定着長さは、図12.1により、コンクリートの厚さ及び配筋は構造図による。

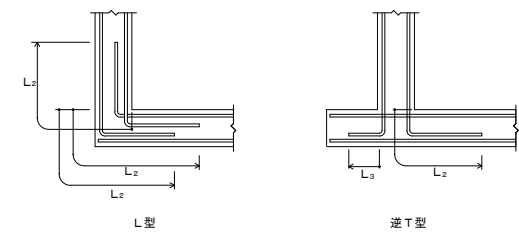


図12.1 擁壁の鉄筋の定着長さ

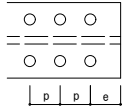


鉄骨標準図

1-1 縁端距離及びボルト間隔

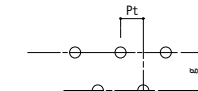
(a) 縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、表1.1の縁端距離とボルト軸径の2.5倍以上のうち、大きい値とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70



(b) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

ゲージ e	千鳥打ちのボルト間隔 Pt	
	M12, M16, M20, M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	-	40



(c) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

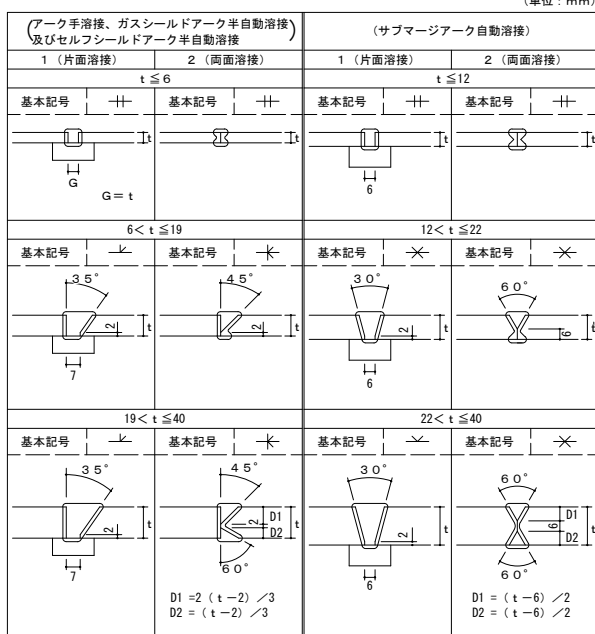
表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位:mm)

A又はB	g1	g2	最大軸径	B		最大軸径	B	g1	最大軸径
				g1	g2				
45	25		12	100	56	16	50	30	12
50	28		16	125	75	16	65	35	20
60	35		16	150	90	22	70	40	20
65	35		20	175	105	22	75	40	22
70	40		20	200	120	24	80	45	22
75	40		22	250	150	24	90	50	24
80	45		22	300	150	40 ¹⁾	100	55	24
90	50		24	350	140	24	110	55	24
100	55		24	400	140	24			
125	50	35	24						
130	50	40	24						
150	55	55	24						
175	60	70	24						
200	60	90	24						

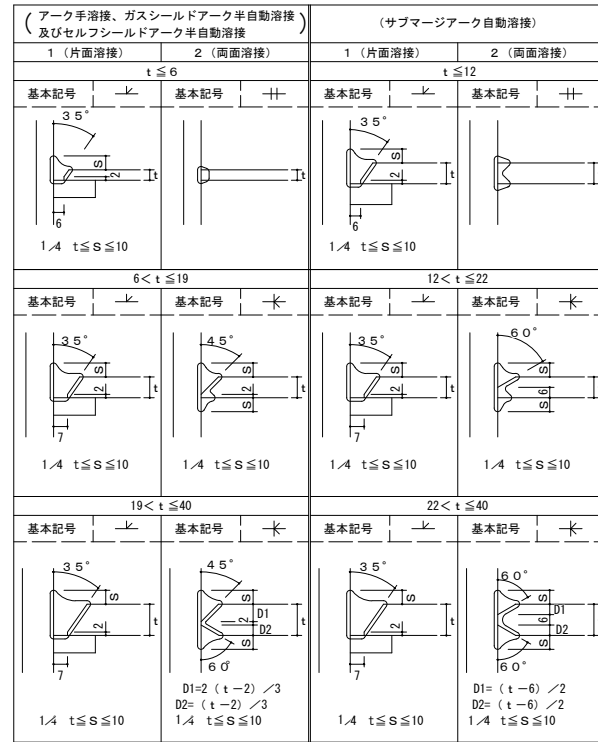
※1 千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

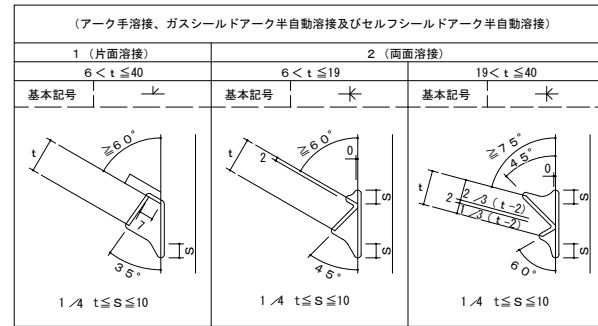
突合せ継手の開先標準 (単位:mm)



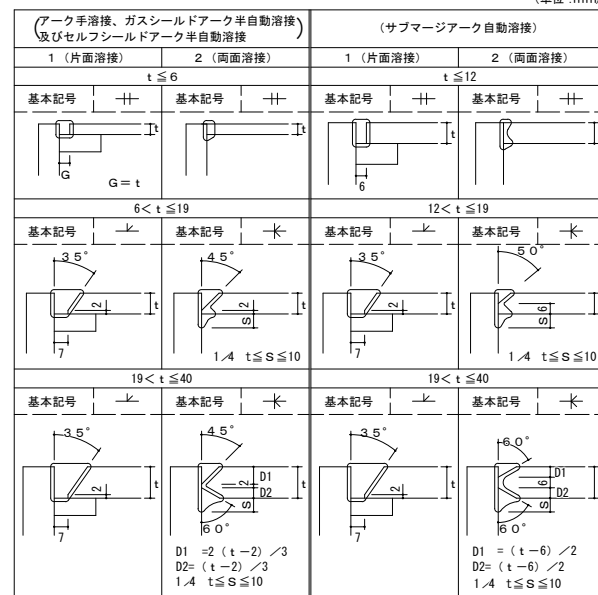
T型継手の開先標準 (単位:mm)



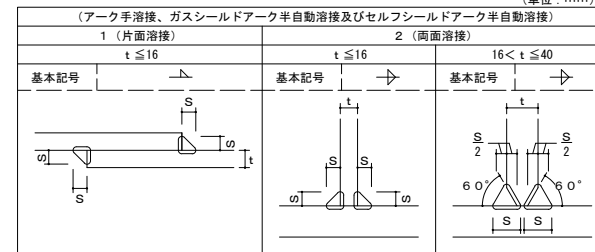
部材が直交しない場合の開先標準 (単位:mm)



かど継手の開先標準 (単位:mm)



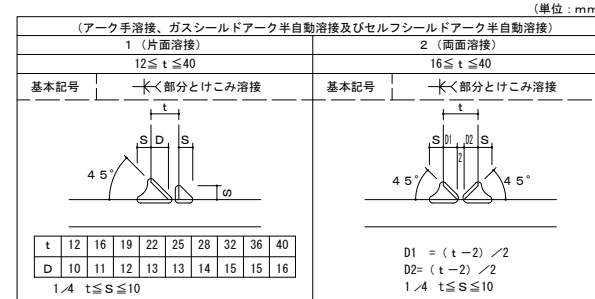
隅肉溶接の開先標準 (単位:mm)



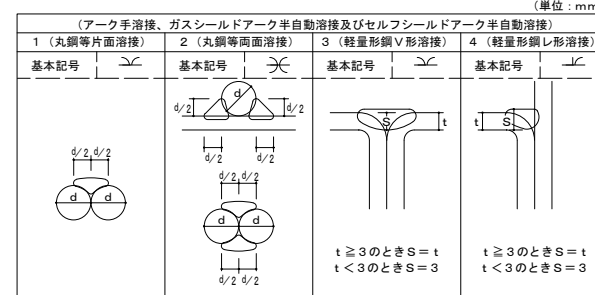
隅肉溶接のサイズ (単位:mm)

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接の開先標準 (単位:mm)

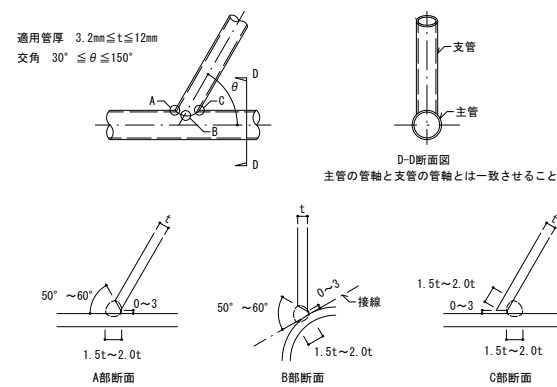


フレア溶接の開先標準 (単位:mm)



1-3 鋼管分岐継手詳細

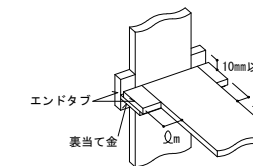
自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。 (単位:mm)



1-4 鉄骨溶接施工

(a) エンドタブ

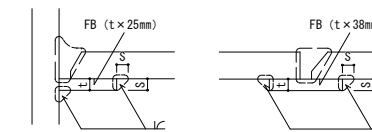
- エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。
- エンドタブの鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。



溶接方法	Qm
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(b) 裏当て金

- 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。
- 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。
- 裏当て金の鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。

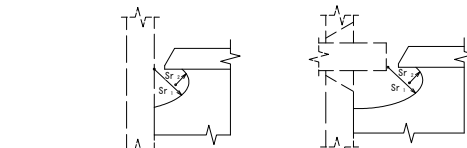


溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

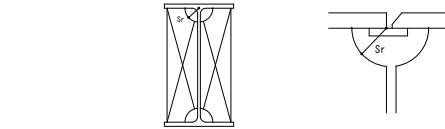
溶接のサイズ	裏当て金の厚さ
t ≤ 9	5
t > 9	9

(c) スクラップ

- 改良型スクラップ
スクラップ半径Srは35mmとする。Srは10mmとする。
- スクラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、接合円は滑らかに仕上げる。

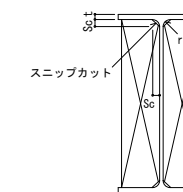


- 従来型スクラップ
スクラップ半径Srは35mmとする。



(e) スニップカット

- スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

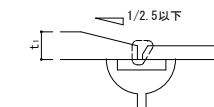


- スニップカットの寸法
スニップカットの寸法は下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc+r+2により求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

(f) 溶接部分の段差

- 完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が10mmを超える場合



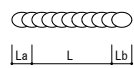
(g) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212	40以下	350以下
	YGM-11, 15		
	YGM-18, 19		
	JIS Z 3214		
490N級鋼	YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	JIS Z 3212		
	YGM-11, 15		
	YGM-18, 19		
520N級鋼	JIS Z 3214	40以下	350以下
	YGA-50W, 50P		
	YGM-18, 19		
	YGM-11, 15		
400N級STKR、 BCR及びBCP	YGM-18, 19	30以下	250以下
	YGM-18, 19		
490N級STKR、 及びBCP	YGM-18, 19	30以下	250以下
	YGM-18, 19		

2-5 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

- (a) 鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合は下記による。
 (b) 有効溶接長さ (L) は、ビードの始点 (La) 及びブリーダー (Lb) を除いた部分の長さとする。

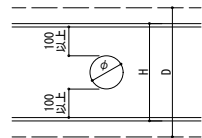
L : 片面フレア溶接の場合 10d
 両面フレア溶接の場合 5d
 La 及び Lb = 1S (鉄筋については1d) 以上
 d : 異形鉄筋の呼び名に用いた数値
 S : 溶接のサイズ



1-6 梁貫通孔補強

- (a) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部に貫通孔を設ける場合は、次による。
 (1) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいりの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
 (2) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度 (単位: mm)

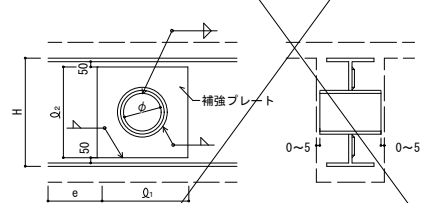


H : 鉄骨せい
 D : はりせい
 ϕ : 貫通孔内径寸法
 ($\phi \leq H/2$ かつ $\phi \leq D/3$)

- (b) 貫通孔の補強方法は、構造図による。
 (1) 補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法

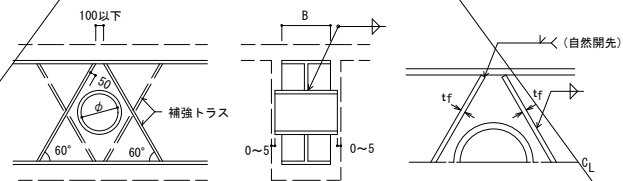
- (1) 補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ面から溶接する。
 (2) 補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。



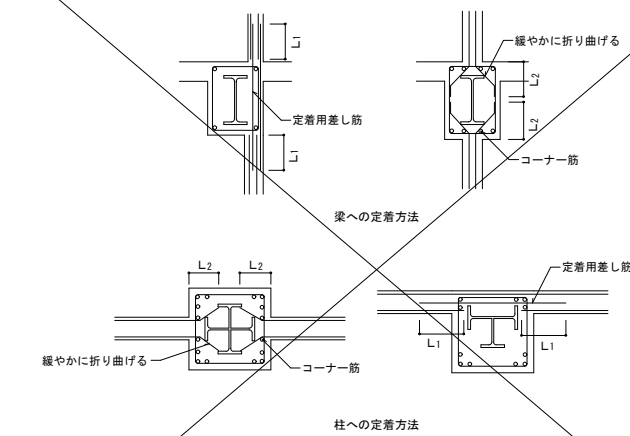
Ω_1 は Ω_2 または Ω_3 のうち小さい方とする。 ($e \geq H$ とする)
 e : 材端と補強プレートの間隔

補強トラス法

- (1) スリーブの取付けは、全周隔肉溶接とする。



1-7 壁筋の周辺部材への定着



1-10 鉄筋貫通孔の径及び位置

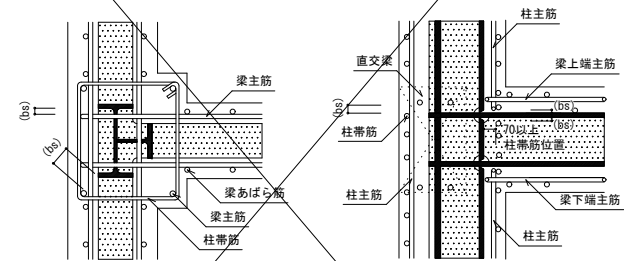
鉄筋貫通孔の径

(1) 鉄筋の貫通孔径は、下表による。
 (2) 主筋等の鉄筋貫通孔は、原則として最大孔径に統一する。

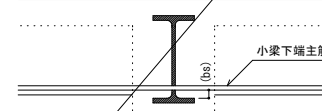
(単位: mm)

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

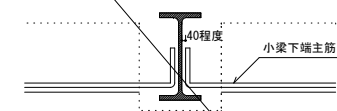
鉄筋貫通孔の位置
 鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。



小梁下端主筋が貫通する場合

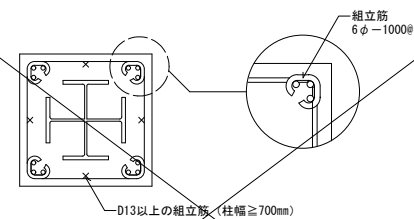


小梁下端主筋が貫通しない場合 (単位: mm)



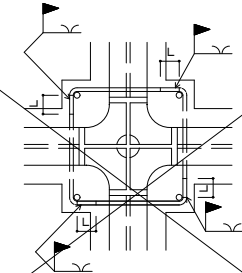
(bs) : 主筋と平行する鉄骨とのあき

1-8 柱組立筋



1-9 仕口部内の帯筋の加工及び組立

- (1) 片面溶接の有効長さ (L) は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135° 曲げフラックとする。



1-11 広幅平鋼の取り扱いについて

- (1) BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スライスプレートは、PL表記であってもFB又はPLとする。
 (2) BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スライスプレートの適用幅及び厚さは下表による。

幅	厚さ										
	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
350	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
450	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1-12 普通ボルト接合

- (1) もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。
 (2) フィラープレートの鋼材種別はSS400とする。

1-13 高力ボルト接合

- (1) スライスプレートの鋼材種別はSN-Bとし、引張強さによる区分は、母材と同等とする。
 (2) フィラープレートの鋼材種別はSS400とする。



QLデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様①

合成スラブ工業会仕様

【耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用】

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
■ QL99-50	端部加工 □ コロ加工有り	■ 表面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P) ■ 1.2 □ 亜鉛めっき [□ Z12 □ Z27] □ 1.6 □ JFEエコー(高耐食溶融めっき鋼板) [□ Y18 □ Y27] □ その他 () □ 無し
□ QL99-75	無し	

材料/コンクリート

種類	■ 普通コンクリート	□ 軽量コンクリート	□ 1種	□ 2種				
設計基準強度	□ 18	□ 21	■ 24	() N/mm ²				
厚さ(QLデッキ山)	□ 60	□ 70	■ 80	□ 85	□ 90	□ 95	□ 100	() mm

材料/溶接金網・異形鉄筋

■ 溶接金網	JIS G 3551	□ φ6-75×75	□ φ6-100×100	□ φ6-150×150
□ 異形鉄筋	JIS G 3112, 3117	□ D10-150×150	□ D10-200×200	()
耐火補強筋	JIS G 3112, 3117	D13-@300	*2 縦筋6mm以上を用いたもの	

接合

梁との接合	□ 頭付キスタッド	JIS B 1198 □ φ13 □ φ16 □ φ19 □ φ22
	■ 焼抜き栓溶接	(各長さ・ピッチは特記による*)
	□ 打込み紙	下記焼抜き栓溶接の項による
	□ その他	接合箇所は特記による

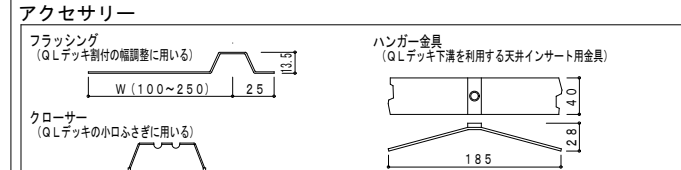
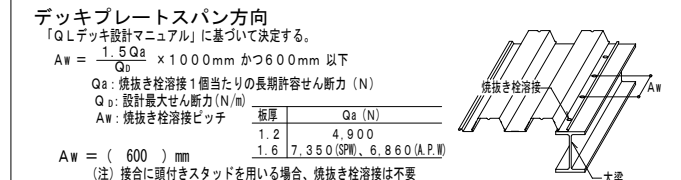
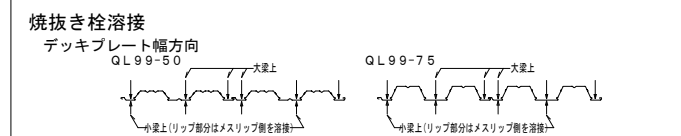
耐火

デッキプレート	耐火区分	支持条件	コンクリート種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床1時間	■ 単純	普通/軽量	■ 要	■ FP060FL-9101
		■ 連続		■ 不要	■ FP060FL-9095
QL99-75	床2時間	■ 単純		■ 要	■ FP120FL-9113
		■ 連続		■ 不要	■ FP120FL-9107

その他 □ 指定なし □ () □ ()

特記

■ 無	□ 有	■ 無	□ 有
-----	-----	-----	-----



施工時許容スパン表 (デッキプレートの検討)

コンクリート厚 (mm)	QL99-50 (単位: m)				QL99-75 (単位: m)			
	60	70	80	100	60	70	80	100
単純(内法)	2.52	2.75	2.47	2.69	2.42	2.64	2.37	2.59
2連続	3.38	3.67	3.31	3.53	3.13	3.35	3.08	3.30
3連続	3.12	3.40	3.05	3.27	2.89	3.11	2.84	3.03

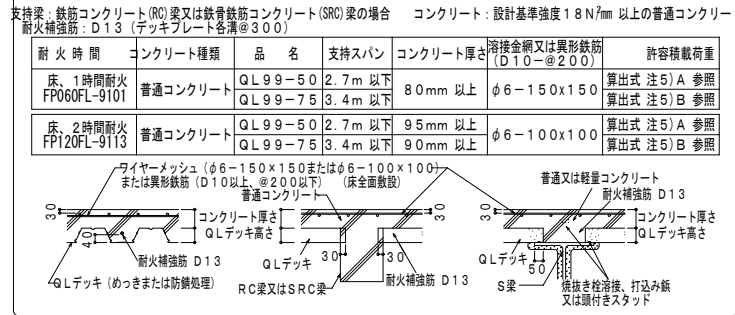
耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m以下	80mm以上	φ6-150x150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.6m以下	90mm以上	φ6-100x100	算出式注5)B参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	φ6-100x100	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	95mm以上	D10-@200	算出式注5)B参照

【単純支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150x150	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100x100	算出式注5)B参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	φ6-100x100	算出式注5)A参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	95mm以上	φ6-100x100	算出式注5)B参照



注1) スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支える梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内寸法をいう。
注2) スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付キスタッド(軸径16mm以上、ピッチ300mm以下)で結合する。
注3) 鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み紙、または頭付キスタッドを用いる。
注4) 梁の耐火強度: 梁に1, 2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに耐火強度を添す。
注5) 許容積載荷重 W 算出式

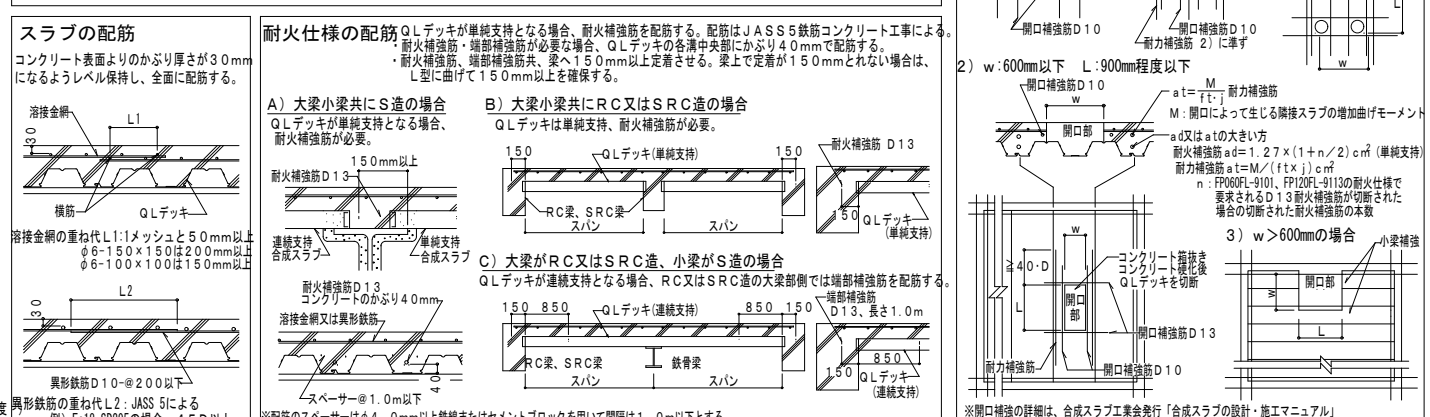
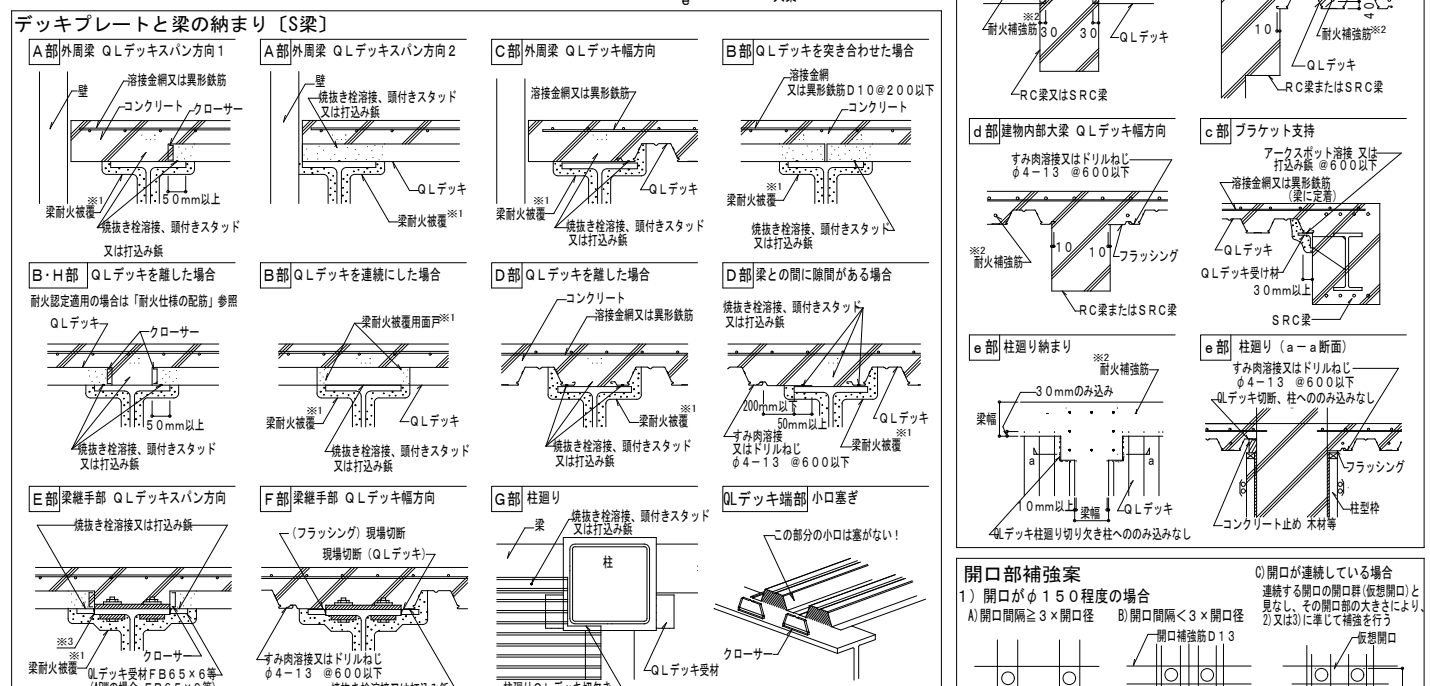
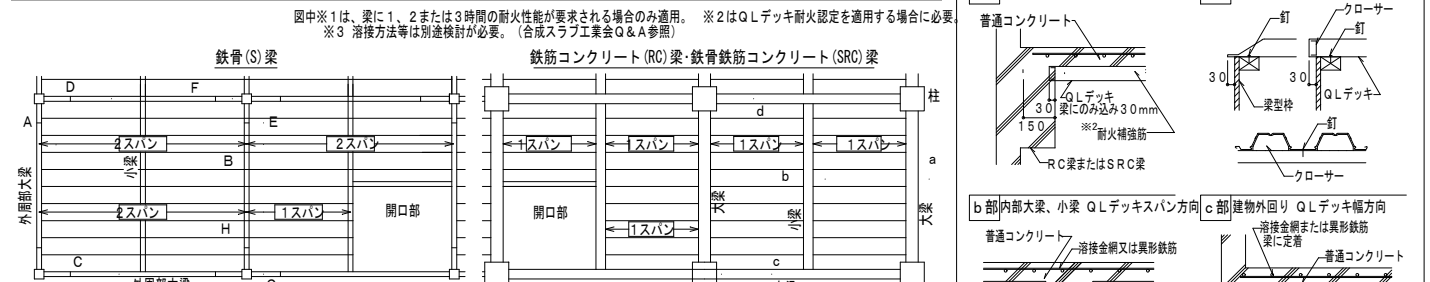
[A] QL99-50	[B] QL99-75
$W = 5,400 \times (\frac{2.7}{L})^2$ かつ $9,800 \text{ N/m}^2$ 以下	$W = 5,400 \times (\frac{3.4}{L})^2$ かつ $9,800 \text{ N/m}^2$ 以下

付帯条件: 連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小はり等によって、ほぼ等間隔(スパン比3:2を超える間隔)に支持されるものとする。

施工順序

敷込み	鉄骨梁の場合	RC梁またはSRC梁の場合
1) 敷出し	鉄骨梁の場合 1) 敷出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮固定した後に、順次適宜枚数(5~10枚)に取組み溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。	RC梁またはSRC梁の場合 1) ティポプレートは梁型枠に釘止めする。 2) ティポプレートの梁型枠へののみ込みが幅方向10mm以上、長手方向が30mmあることを確認する。
2) 溶接金網敷込み	デッキプレート幅方向のかりり代は、50mm以上あることを確認する。(頭付キスタッドの場合は30mm以上) 3) ティポプレート長手方向の大梁のかりり代は、50mm以上あることを確認する。	溶接金網又は異形鉄筋の敷込み 1) 溶接機 交流アーク溶接機 AW250A以上 エンジン溶接機 230A以上 2) 溶接棒 JIS Z 3211のE4316, E4916に定める低水素系被覆アーク溶接棒 3) 標準溶接条件 溶接フラッシング: 6mm以上 溶接電流: 190~230A (標準210A) 4) 溶接工の資格 JIS Z 3801, JIS Z 3841における基本級の有資格者 5) 手順・要領(右)の手順1~4の順に行う。
3) 検査	コンクリート打設	

標準納まり



耐火仕様の筋筋

QLデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はJASS5鉄筋コンクリート工事による。
耐火補強筋: 端部補強筋が必要な場合、QLデッキの各溝中央部にφ4.0mmで配筋する。
耐火補強筋: 端部補強筋、梁へ150mm以上定着させる。梁上で定着が150mmとれない場合は、L型に曲げて150mm以上を確保する。

項目	内容
A) 大梁小梁共にS造の場合	QLデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋が必要。
B) 大梁小梁共にRC又はSRC造の場合	QLデッキは単純支持、耐火補強筋が必要。
C) 大梁がRC又はSRC造、小梁がS造の場合	QLデッキが連続支持となる場合、RC又はSRC造の大梁側では端部補強筋を配筋する。

デッキプレートと梁との接合

項目	手続・要領
1) アーク発生	QLデッキを梁にのりませ(隙間2mm以下)溶接棒をQLデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2) QLデッキ焼付け	溶接棒を若干上げてアークを飛ばし、10mm程度でQLデッキを焼付け、溶接棒を梁上で押し込み、焼付けの内側をなぞるように中央へ2~3回転しながら連続。
3) 押し込み・溶接	溶接棒を梁上で押し込み、焼付けの内側をなぞるように中央へ2~3回転しながら連続。
4) 整形	溶接棒を梁上で押し込み、焼付けの内側をなぞる。スラックを除去して仕上げを確認。

検査

焼抜き栓溶接 (SPW) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W.)

事前検査
SPW: 適正な溶接を行うため下記(1)または(2)の方法で電流値をチェックする。
1) 電流計での計測
2) 溶接棒の消費長さによる確認
A.P.W.: 試し溶接を行って溶接性を確認する。

溶接後の外観検査
1) 溶接場所の確認
2) 焼き切れ、余盛り不足の有無
3) 標準溶接条件: SPW: 18mm以上 A.P.W.: 25mm±3

不良品の修正
SPWの場合: スラック除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
A.P.W.の場合: 重ね溶接して再溶接する。

Q L ルーフ屋根設計・施工標準

Q L ルーフを屋根に用いた場合の設計・施工は、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、床商品カタログ、Q L デッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

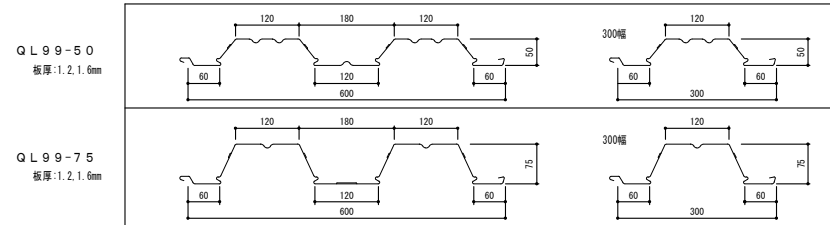
設 計

採用項目□を記して下さい。

1. 材料/デッキプレート

[ISO 9001 認証取得]

商品名	デッキプレート種類	表面処理	材質
Q L ルーフ	■QL99-50-12Y □QL99-75-12Y	亜鉛メッキ (G) ■Z12 □Z27	JIS G 3352 SDP2G



2. 梁(母屋)との接合

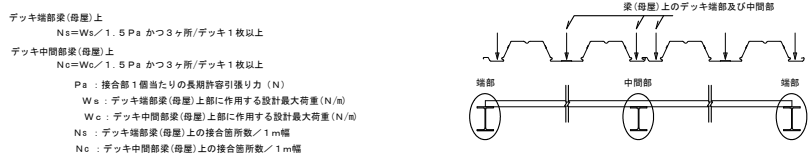
■焼抜き栓溶接 (φ18以上)	梁(母屋)板厚 (t) ≥ 6mm	下記の接合箇所によって決定する。
□打込み板	梁(母屋)板厚 (t) < 6mm	
■ドリルねじ (φ6×L20以上)		
□その他		

注1) 本標準において、「タッピンねじのねじ山を持つドリルねじ (JIS B 1124)」をドリルねじと略記する。
注2) 打込み板の場合、「梁(母屋)板厚」の最大値は32mm。

接合箇所

◎デッキ幅方向

接合部の作用する荷重に応じて接合箇所の個数を決定する。

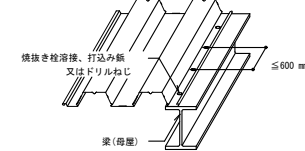


接合強度一覧

デッキ板厚	焼抜き栓溶接		打込み板		ドリルねじ
	端部	中間部	端部・中間部共	端部・中間部共	端部・中間部共
1.2mm	1,170N/ヶ所	4,000N/ヶ所	3,100N/本		
1.6mm	1,560N/ヶ所	4,310N/ヶ所	3,500N/本		1,570N/本

◎デッキスパン方向

600mm以下



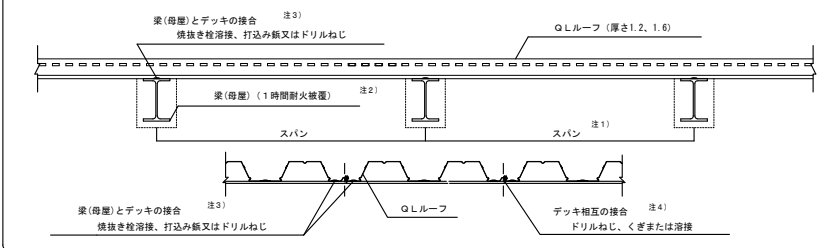
注) 上記方法でデッキと梁(母屋)を接合しても、水平ブレースは削除できません。水平ブレース(屋根裏)は別途ご指示ください。

特 記

その他	デッキ敷込み時にデッキ接合が甘い場合は、適切な処理を施して下さい。〔4. デッキ相互の接合〕参照
-----	--

3. 屋根システム耐火仕様

デッキ品名	敷設形式	支持スパン	認定番号	接合 (デッキ相互)	接合 (デッキと母屋)
QL99-50-12Y	単独支持	2,800mm 以下	□FP030RF-0327	■ドリルねじ □スポット溶接 □すみ肉溶接 □くぎ	■焼抜き栓溶接 □打込み板 ■ドリルねじ
QL99-50-16Y	連続支持	3,400mm 以下	■FP030RF-0413		
QL99-75-12Y	単独支持	3,400mm 以下	□FP030RF-0328	□ドリルねじ □スポット溶接 □すみ肉溶接 □くぎ	■焼抜き栓溶接 □打込み板 □ドリルねじ
QL99-75-16Y	連続支持	4,550mm 以下	□FP030RF-0326		



注1) スパンとは梁(母屋)の中心間距離を言う。
注2) 梁(母屋)の耐火仕様、梁(母屋)に1時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じた耐火仕様を施す。
注3) 梁(母屋)とデッキの接合は、デッキプレート1枚幅に3ヶ所とする。詳細は「2. 梁(母屋)との接合」及び「施工」欄を参照。
注4) デッキ相互の接合については下記の通りとする。

4. デッキ相互の接合

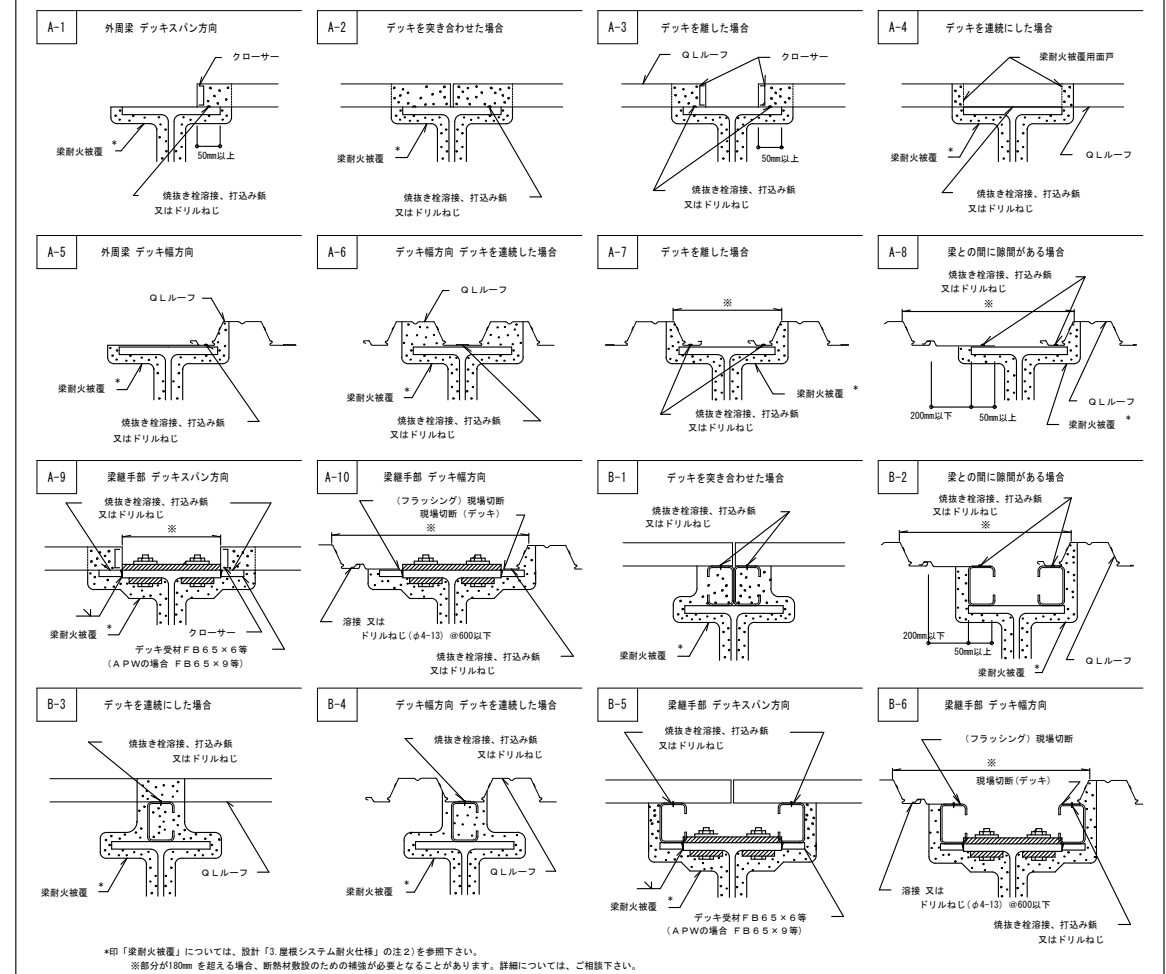
1. ドリルねじ	2. くぎ	接合間隔 ℓ	
		□認定番号FP030RF-0064 : @450mm	■その他:
		QL99-50は、デッキスパン中央に1ヶ所接合する。但しQL99-50・QL99-75共に、敷込み時に接合が甘い場合は、1m以下の接合間隔とすること。	
3. スポット溶接	4. すみ肉溶接		

注) 認定番号FP030RF-0064に記すドリルタッピンねじは、JIS規格より「タッピンねじのねじ山を持つドリルねじ (JIS B 1124)」に変更になっています。

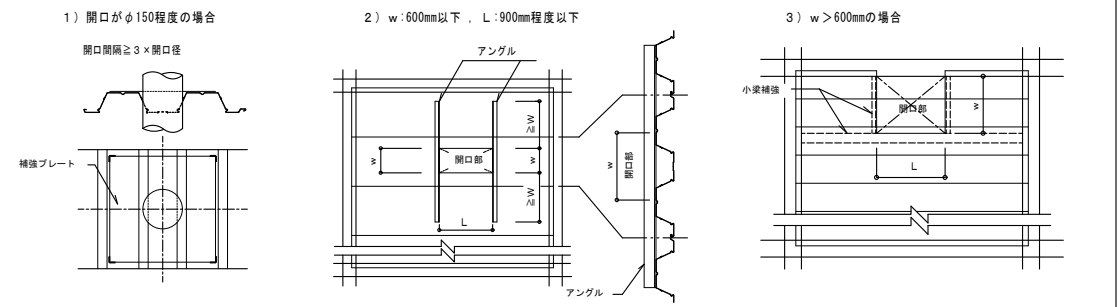
5. アクセサリ

フラッシング	クローサー	天井吊り
FS 	NCS75S-NCS50S CS75-CS50 	BC75-BC50 QLインサート
デッキ割付の幅調整に用いる。定尺2.4m	デッキの小口ふさぎに用いる。	付属のネジで固定する。吊り重量: 980N (100kg)

標準納まり

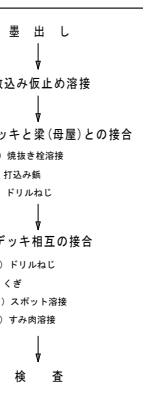


開口部補強案



施 工

施工順序



敷込み

- 墨出し欄に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適宜枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。
- デッキプレートの隅部が各梁(母屋)に乗るように敷込む。(50mm以上)
- デッキプレートの長さ方向の梁(母屋)上のかり幅は、50mm以上に敷込む。

焼抜き栓溶接

平成14年4月16日国土交通省告示第326号に基づき、下記の仕様とする。

(1) 溶接機: 交流アーク溶接機 AW250A以上 エンジン溶接機 230A以上

(2) 溶接棒: JIS Z 3211のE4316, E4916に定める低水素系被覆アーク溶接棒 棒径4mmφのもの

梁フランジ板厚	溶接電流
6mm以上	190~230A (標準210A)

(3) 標準溶接条件: 右表

(4) 溶接工の資格: JIS Z 3801, JIS Z 3841における基本級の有資格者

(5) 手順・要領: 以下の1~4の順に行う。

工程	手順・要領
1	アーク発生: デッキを梁(母屋)になじませ(隙間2mm以下)溶接棒をデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	デッキ焼抜き: 溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm程度の"の"字を描いてデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着: 溶接棒を梁(母屋)上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ2~3回転しながら溶着。
4	整形: 溶着金属を整え、中央部でそと溶接棒を引き上げる。スラブを除去して仕上げを確認。

溶接時間の目安: 電流値210A (標準)の場合8秒程度

デッキと梁(母屋)との接合

打込み板

(1) 使用工具: 新打機(打込み板専用工具)

(2) 鉄: ヒルティ鉄 (X-EMP-19 LIS; JIS G 3502ピアノ線相当)

(3) 施工指導及び施工: 鉄メーカーが責任施工又は施工指導を行う。

(4) 作業資格: 鉄メーカーの作業資格認定制度に基づき施工技術を得た作業員が施工する。

(5) 手順・要領: 以下の1~3の順に行う。

工程	手順・要領
1	鉄打ち機調整: 梁(母屋)板厚に合った空地と威力レベルをセットする。
2	鉄打ち: デッキを梁(母屋)になじませ鉄を打つ。
3	立上がり長さ確認: 検査用測定ゲージを用いて立上がり長さを確認する。

注1) 閉静な場所では発射音の対策に注意。
注2) 詳細は鉄メーカーの施工要領にしたがって施工及び検査を行う。

ドリルねじ

(1) 規格: JIS B 1124

(2) 寸法(mm): φ6以上 × L20以上

梁(母屋)板厚が薄い場合は、デッキと梁(母屋)に下穴を開けた後に、ドリルねじを取り付ける。

注: 「デッキ相互の接合」に使用するドリルねじとは、おじの寸法(φ4 × L13)が異なる。

検査

【焼抜き栓溶接】

□事前検査

適正な溶接を行うため1)または2)の方法で電流値をチェックする。

1) 検査計での計測

2) 溶接棒の消費長さによる確認——兼使用の溶接棒を用いてアーク長さを約3mmに保持し、1.0mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが45~53mmであること。

□溶接後の外観検査

1) 溶接箇所の確認 2) 焼き切り、余剰不足の有無

3) 標準余り径: 18mm以上

□不良部の補修

スラグ除去後、梁にデッキを密着させて再溶接する。不具合箇所に溶着金属を戻し直さねばならない。

【その他】

(1) デッキ相互の接合状況

(2) 開口部の補強状況

【打込み板】

□事前検査

梁(母屋)板厚に合った空地と威力をセットする。空地の種類及び選定についてはメーカーに確認する。

□接合後の外観検査

1) 検査用測定ゲージを用いて立上がり長さを確認する。

φD	ヒルティ鉄
D	15
d	4.5
ℓ	8.2~9.8

2) 検査で不適合の場合は増打ちをする。 ℓ: 新立上がり長さ

□不良部の補修

打筋に失敗した鉄の頭部がじゃまでは、増し打ちができない場合は、グラインダーにてその鉄の頭部とワッシャーを取り除き、その隣でデッキスパン方向10mm以内に増し打ちする。

ハイベースNEO工法設計施工標準 (ハイベースNEO工法は、S造及びCFT造に適用) 2021/8

大臣認定 MSL-0404, 0180 (Gタイプ用ベースプレート)
 MBLT-0042~0046 (アンカー用ボルトセット)
 BCJ評定 BCG評定-ST0058 (Gタイプ)
 BCG評定-ST0059 (Eコタイプ)

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書
 同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設計

1. 材質

(1) ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

規格	ベースプレート	アンカーボルト	エコナット	ナット	座金	定着板
規格	JIS G3136	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B相当板厚40mm以下	SN490B相当板厚40mm超	降伏比 70%以下	—	強度区分5	SM490A SS400

エコタイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Gタイプ (GB型式、GM型式、GH型式)

規格	ベースプレート	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
規格	HCW490b HCW490st (大臣認定取得材)	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B同等	降伏比 70%以下	—	SM490A	SS400

※1 国土交通大臣認定 (MSLT-0404, 0180) ※2 国土交通大臣認定 (MBLT-0042~0046)
 ※3 M7.2は細目ねじ ※4 建築基準法第37条第2号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

(2) ベースプレート下面のモルタル

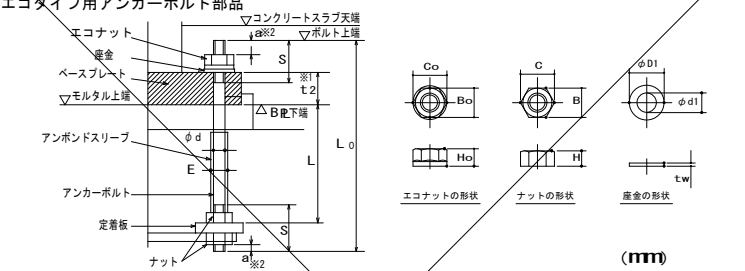
後詰めモルタル ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮モルタル
 ※ センクシアが供給するものに限る

中心塗り部分モルタル ○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル (NX-2000及びクイック3は使用不可。)
 ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

(3) 基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、 $F_c = 18 \sim 36 N/mm^2$
鉄筋	JIS G 3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱形	ヘリあき量は、ベースプレート外形寸法の0.1倍以上確保しなければならない。

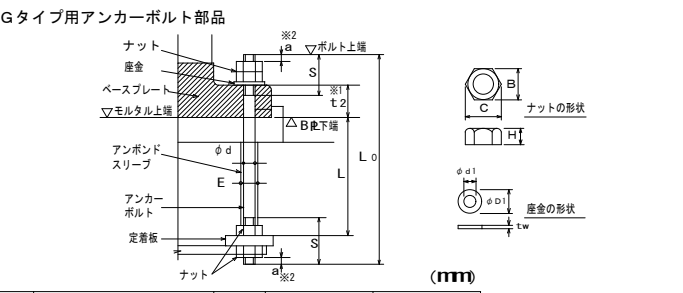
2. アンカーボルトのセット寸法



ねじの呼び	アンカーボルト		アンボンドスリプ		エコナット		ナット		座金	
	軸径φd	長さL	長さE	長さLO	長さE	長さLO	長さH	長さB	長さC	長さt
M24	24	3	95	10	400	590	29	22	46	53
M30	30	3.5	130	13	480	660	35	27	50	58
M36	36	4	130	16	480	690	41	33	55	64
M42	42	4.5	155	18	480	720	48	38	65	75

※1 t₂ はベースプレート台座厚を示し、ハイベースNEO型式によって変わります。
 ※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。
 ※3 上段はEH型式及びGM型式のアンカーボルト4本タイプ、下段はそれ以外のエコタイプの場合の寸法です。

注意
 ・エコタイプのアンカーボルトはシングルナットとしており、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
 ・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
 ・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。



ねじの呼び	アンカーボルト		アンボンドスリプ		ナット		座金		
	軸径φd	長さL	長さE	長さLO	長さH	長さB	長さC	長さt	
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46
M36	36	4	130	16	720	925	41	29	55
M42	42	4.5	155	18	840	1090	48	34	65
M48	48	5	175	22	960	1235	54	38	75
M56	56	5.5	185	24	1120	1470	62	45	85
M64	64	6	200	28	1280	1815	70	51	95
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105

注意
 ・Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としています。一重ナットでも適用可能です。
 ・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。
 ・(一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。)

ベースプレートのアンカーボルト孔径 (mm)

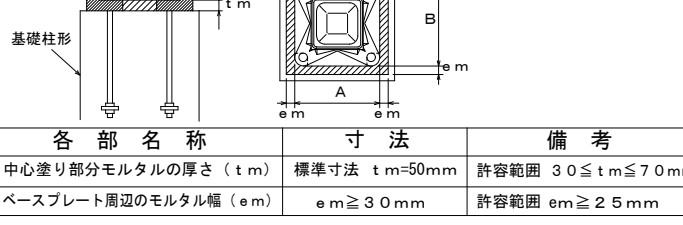
ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ孔径	38	44	50	57	-	-	-	-
Gタイプ孔径	-	38	45	53	61	70	79	87

定着板 (エコタイプ、Gタイプ共通) (mm)

ねじの呼び	4本タイプ用		8本タイプ用		12本タイプ用	
	長さ	幅	長さ	幅	長さ	幅
M24	16	70	27	-	-	-
M30	16	90	33	9	180	65
M36	19	100	39	9	215	75
M42	22	120	45	9	240	85
M48	25	140	52	9	270	95
M56	28	160	60	9	305	110
M64	32	180	68	12	330	130
M72	-	-	16	16	380	145

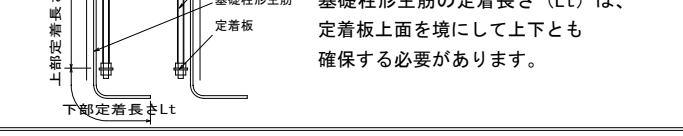
ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックを参照ください。

3. ベースプレート下面モルタルの標準寸法



各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ (t)	標準寸法 t=50mm	許容範囲 30 ≤ t ≤ 70mm
ベースプレート周辺のモルタル幅 (e)	e ≥ 30mm	許容範囲 e ≥ 25mm

4. 基礎柱形主筋の定着長さ (最小値)



基礎柱形主筋の定着長さ (Lt) は、定着板上面に境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

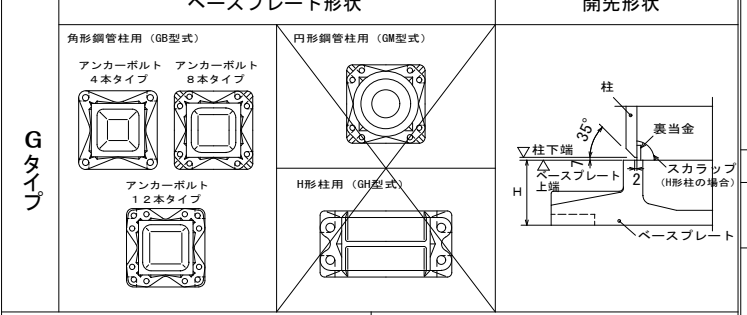
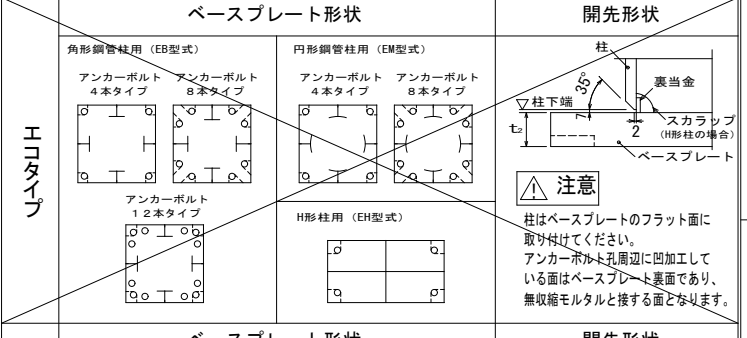
1. 溶接材料

被覆アーク溶接	低水素系 490N/m ² 級高張力鋼用 (JIS Z3211, 旧JIS Z3212) 相当以上
ガスシールドアーク溶接	軟鋼及び 490N/m ² 級高張力鋼用マグ溶接用ソリッドワイヤ (JIS Z3312) 相当以上

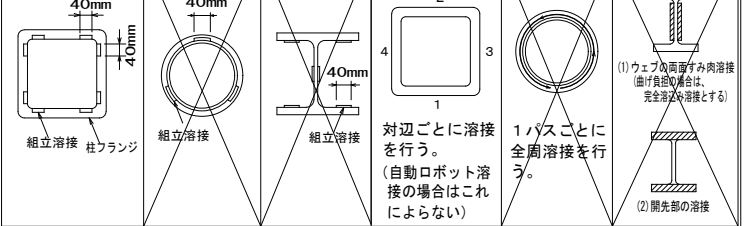
※高強度材を用いる場合、JASS6等の指針に従い柱とハイベースの強度ランクの高い方に適した溶接材料を使用する。

2. ベースプレートの鉄骨柱への取付け (柱端部に開先を設ける)

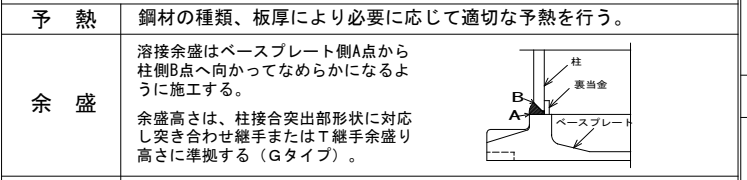
※ 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
 開先はMC-TL-1B、GC-TL-1Bによる ※開先形状は参考



3. 組立溶接



4. 本溶接の手順



5. 溶接施工一般

予熱 鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。

余盛 溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかなように施工する。
 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはT継手余盛り高さに準拠する (Gタイプ)。

H形柱の溶接 エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接

注意 柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱によって曲ることがあります。

6. 検査

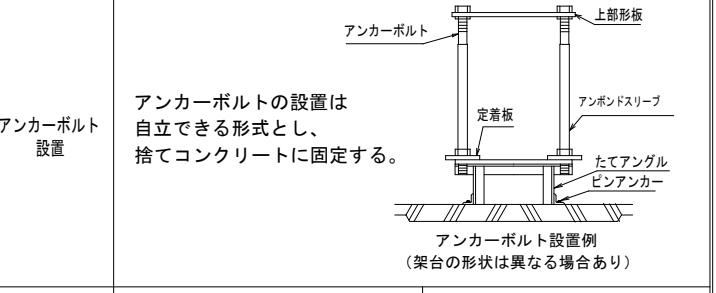
方法 溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。探傷は柱フランジ側から行う。

不良溶接部の補正 (1) 有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。(2) 溶接部に割れが入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。

現場施工

(#) : センクシアの担当範囲

- 捨てコンクリート打設
柱脚部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。
- 墨出し
- アンカーボルト搬入 (#)
- アンカーボルト据付 (#)

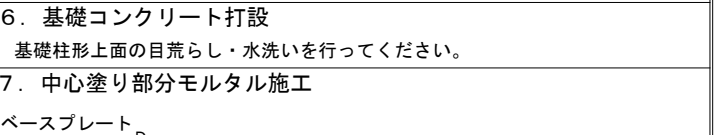


平面	レベル
アンカーボルト	基準高さよりの誤差eh - 3mm ≤ eh ≤ 10mm (形板芯にて検査)

アンカーボルト設置精度の目標値

e ≤ 3mm (形板芯にて検査)

- 鉄筋配筋・型枠の立込み
- 基礎コンクリート打設
基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。
- 中心塗り部分モルタル施工



EB, GB, EM, GM, EH型式	GH型式
8. 鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	8. 鉄骨建方 9. モルタル注入枠設置 (#) 後詰めモルタル充填 (#)
9~10. モルタル注入枠設置 (#) 後詰めモルタル充填 (#) アンカーボルト締付確認 (#) ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	10. アンカーボルト締付 (#) 予備締め マーキング ナット回転法による本締め (30° 回転, 許容差: +10° / 0)
11. モルタル注入枠取り外し	

中心塗り部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
 基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

施工完了後、ハイベースNEO工法のチェックシートに工事記録を記載する。

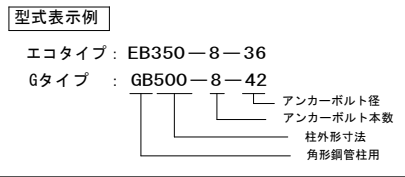
注意
 1. アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。(日本建築センターの評定で義務付けられています。)
 2. アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
 3. 設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちすぎやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
 4. 建て入れ直しのワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
 5. 本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形 (Fc24の場合)
 〈角形鋼管柱用 □150~□550〉

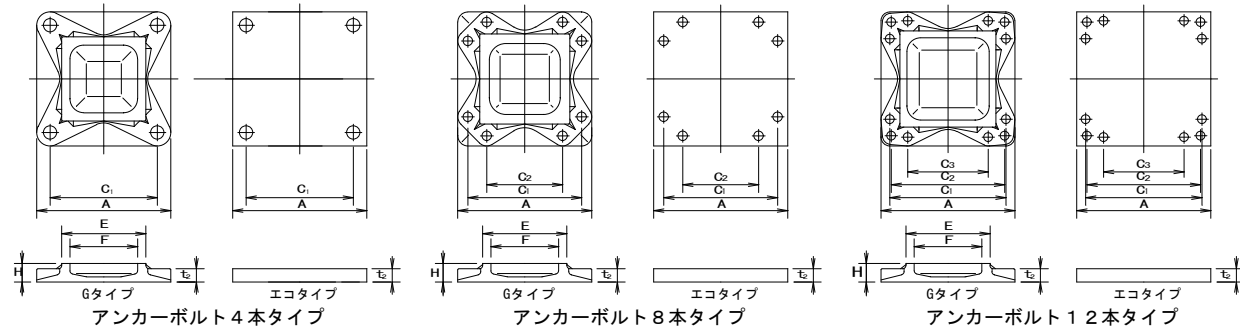
(ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用)
 (ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用)

大臣認定 MSL-0404, 0180 (Gタイプ用ベースプレート)
 MBLT-0042~0046 (アンカーボルト)
 BCU認定-ST0058 (Gタイプ)
 BCU認定-ST0059 (エコタイプ)

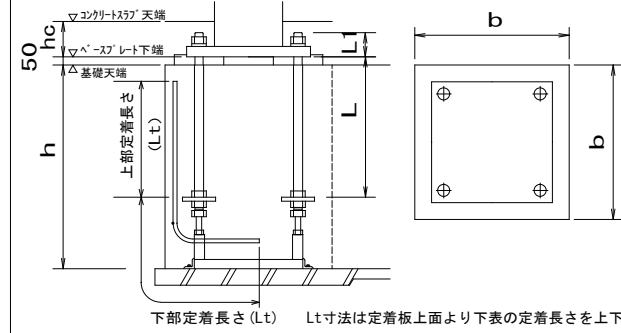
2022/10



ベースプレート形状



L, L1, h, hc, b寸法、柱形主筋の定着長さ(Lt)



エコタイプはシングルナット仕様 (コンクリートスラブに埋込)
 Gタイプはダブルナット仕様 (露出が標準)
 注) 表中のh寸法は杭がない場合です。
 杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
 Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(hc寸法)は
 "L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

ハイベースNEO工法
 (角形鋼管柱用□150~□550)

採用	適用柱	ハイベースNEO型式										基礎柱形の設計例 (Fc24) < 側・隅柱用 >										基礎柱形の設計例 (Fc24) < 中柱用 (4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。)>																				
		柱符号	数量	柱サイズ	板厚範囲	エコタイプ		Gタイプ	フカボルト	回転バネ定数	寸法 (mm)					質量 (kg)		L (mm)	L1 (mm)	基礎梁		Iゾーン		Iゾーン		Iゾーン		Iゾーン		鉄筋の定着長さ Lt (mm)												
						A	C1				C2	C3	E	F	H	t2	ベースプレート			部品	セット質量	h (mm)	hc (mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋		柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋						
		□150	4.5~12	EB150-4-24	4-M24	14.0	290	210	-	-	-	-	25	17	14	31	400	80	550以上	120	500	8-D16	D13#150	500	16-D16	D13#150	200	500	8-D16	D13#150	500	16-D16	D13#150	200	500	8-D16	D13#150	500	16-D16	D13#150	200	500

鉄筋はD13, D16はSD295, D19, D22, D25はSD345, D29はSD390をご採用ください。表中に無いサイズについても対応可能です。セクシアに問い合わせ下さい。
 注 1) I, II, IIIゾーンの区分についてはハイベースNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力線図を参照下さい。
 注 2) 上記表内の「中柱用」とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、〈側・隅柱用〉を御採用下さい。
 注 3) 表中の鉄筋量は基礎立上りがない場合 (基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合) の設計例です。立上りがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックに依り、日本建築学会等の規程・指針に準じた設計を行って下さい。
 注 4) 「中柱用」の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋を□450以下はD10#250、□500以上はD13#250として算定しています。
 あばら筋断面がこれより小さくなる場合は「側・隅柱用」の鉄筋量として下さい。
 注 5) 部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量です。

株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

設計図
 (仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 昭昭
 図面名 ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形 (Fc24の場合)
 図面種類 S
 縮尺 S=NON (A3版 50%縮小) 012

スーパーハイベース工法設計施工標準

(本工法は、S造およびCFT構造に適用)

2020/9

大臣認定 MSTL-0180 (ハイベース)
MBLT-0042~0046 (アンカーボルト)
BCJ評定 BCJ評定-ST0058

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規程、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書 同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法・スーパーハイベース工法設計ハンドブックに準拠する。

設計

1. 材質

(1) ハイベース・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

	ハイベース	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
規格	HCW490st (大臣認定取得材)	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット) ^{※2}	JIS G3106 ^{※2}	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)
ねじの種類	—	メートル並目 ^{※3}	メートル並目 ^{※3}	—	—
備考	SN490B同等	降伏比70%以下	※3 M72は細目ねじ	SM490A	SS400

(2) ハイベース下面のモルタル

後詰めモルタル ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3 およびこれと同等以上の無収縮性モルタル[※] ※ センクシアが供給するものに限る

中心塗り部分モルタル ○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル (NX-2000及びクイック3は使用不可。) ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

(3) 基礎・基礎ばり

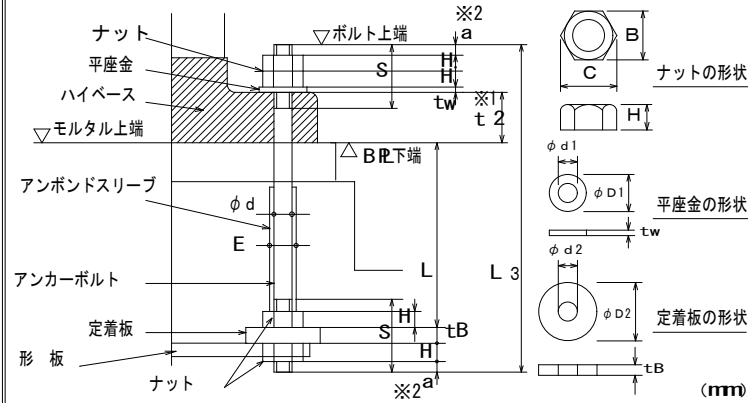
コンクリート ○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート。 ○設計基準強度は、 $F_c = 18 \sim 36 \text{ N/mm}^2$ 以上

鉄筋 JIS G3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱 へりあき量は、ハイベース外形寸法の0.065倍(0.1倍)以上 確保しなければならない。

2. アンカーボルトのセット寸法

注意 ボルト本数はハイベースの型式によって異なります。

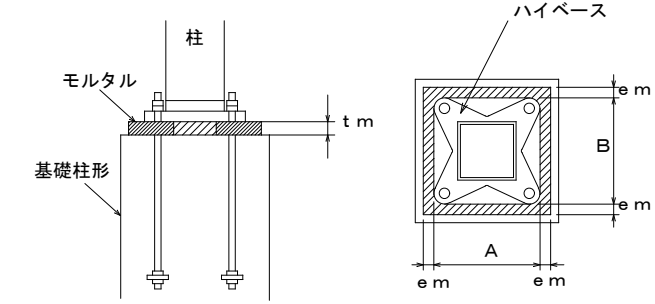
型式	C1・S1	S2・M2・L2・X2・WX2	S3・M3・L3
ボルト本数	4	8	12
形状例			



ねじの呼び	アンカーボルト				アンボンドスリーブ	ナット(一種)			平座金		定着板					
	軸径	ねじ径	長さ	全長		外径	高さ	二面幅	厚さ	内径	外径	厚さ	内径	外径		
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44	16	27	70
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56	16	33	90
M36	36	4	150(130)	16	720	955(925)	41	29	55	64	6	37	66	19	39	100
M42	42	4.5	165(155)	18	840	1110(1080)	48	34	65	75	9	43	78	22	45	120
M48	48	5	190(175)	22	960	1270(1235)	54	38	75	87	9	50	92	25	52	140
M56	56	5.5	210(185)	24	1120	1470(1420)	62	45	85	98	9	58	105	28	60	160
M64	64	6	230(200)	28	1280	1660(1610)	70	51	95	110	12	66	115	32	68	180
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125	36	76	200

※1 t2 はハイベース台座厚さを示し、ハイベース型式によって変わります。
※2 a 寸法は、ハイベース台座の厚さによって多少変動しますが、本数値以上確保下さい。
※3 () 内は、B型の数値を示します。 ※B型はシングルナット仕様とする。
・アンカーボルトは二重ナットを標準としています。一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置をお願いします。
・一重ナットとする場合は、センクシアにご相談下さい。

3. 基礎柱形部の標準納まり



各部名称	寸法制限	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ (tm)	標準寸法 tm=50mm	許容範囲 30 ≤ tm ≤ 70mm
ベースプレート周辺のモルタル幅 (em)	em ≥ 30mm	許容範囲 em ≥ 25mm

工場加工

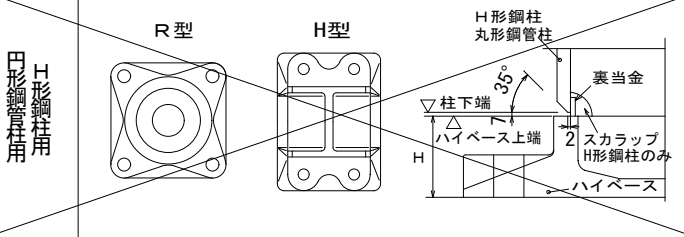
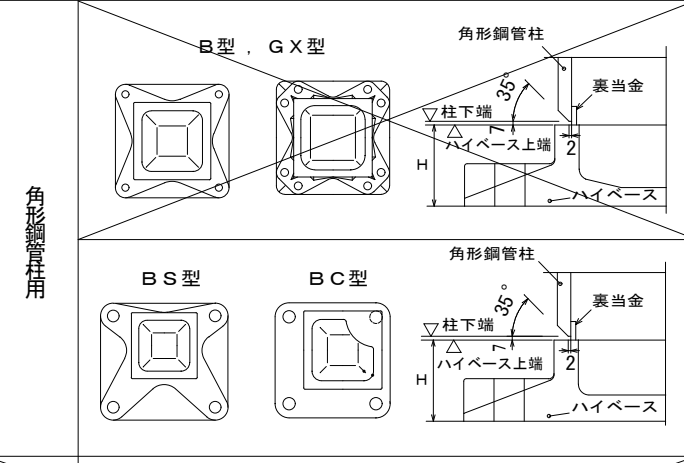
1. 溶接材料

被覆アーク溶接	低水素系 490N/mm ² 級高強度鋼用 (JIS Z3211、旧JIS Z3212) 相当以上
ガスシールドアーク溶接	軟鋼及び490N/mm ² 級高強度鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ (JIS Z3312) 相当以上

※高強度柱材を用いる場合、JASS6等の指針に従い柱とハイベースの強度ランクの高い方に適した溶接材料を使用する。

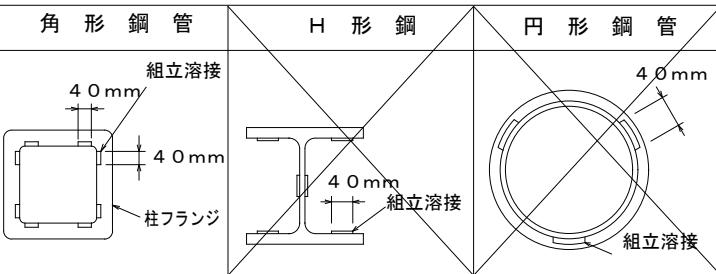
2. ハイベースの鉄骨柱への取付け(柱端部に開先を設ける。)

※ 柱とハイベースの溶接は、完全溶込み溶接
開先はMC-TL-1B、GC-TL-1Bによる **注意** 開先形状は参考

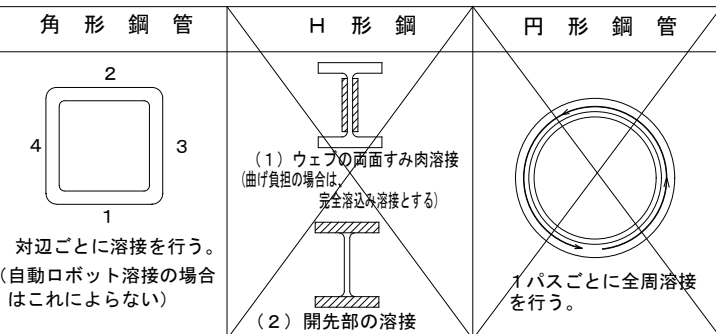


注意 1. アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、アンカーボルトの締付け、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。(日本建築センターの評定で義務づけられています。)
2. 本資料以外の施工方法で行った場合、スーパーハイベースの性能が発揮できなくなります。

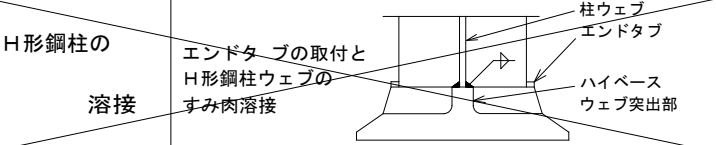
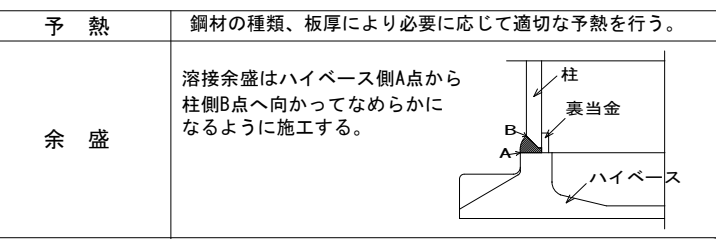
3. 組立溶接



4. 本溶接の手順



5. 溶接施工一般

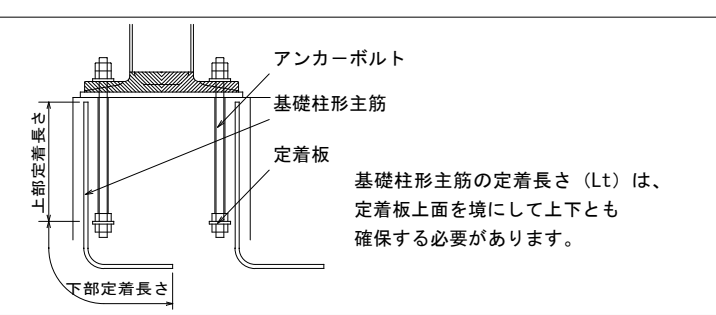


6. 検査

方法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査によってよい。探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	(1) 有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 (2) 溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。

基礎柱形の設計

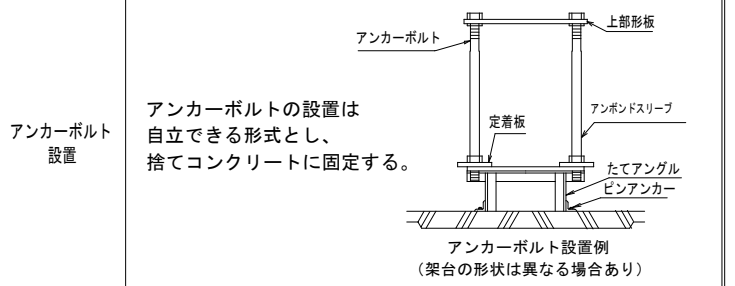
1. 基礎柱形主筋の定着長さ



現場施工

(注：センクシアの担当範囲)

- 捨てコンクリート打設
柱脚部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。
- 墨出し
- アンカーボルト搬入(＃)
- アンカーボルト据付(＃)



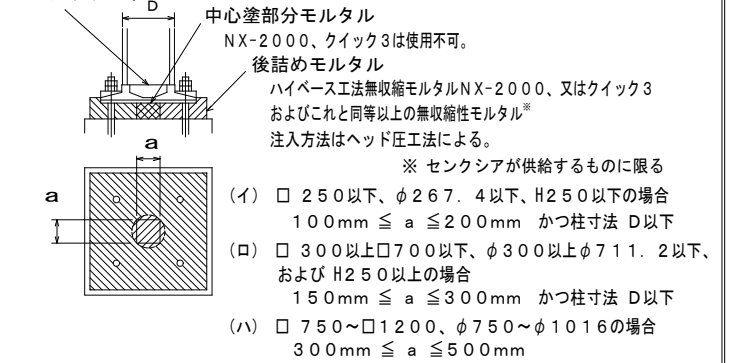
アンカーボルト設置	アンカーボルト設置精度の目標値	レベル
アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。	 $e \leq 3 \text{ mm}$ (形芯にて検査)	基準高さよりの誤差eh $-3 \text{ mm} \leq eh \leq 10 \text{ mm}$

5. 鉄筋配筋・型枠の立込み

6. 基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

7. 中心塗り部分モルタル施工



中心塗り部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

8. 鉄骨建方

9. モルタル注入枠設置(＃) 後詰めモルタル充填(＃)

10. アンカーボルト締付(＃)

予備締め → マーキング → ナット回転法による本締め (30° 回転、許容差 +10° -0°)

11. モルタル注入枠取り外し

施工完了後、スーパーハイベース工法のチェックシートに工事記録を記載する。

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

図面名 スーパーハイベース工法設計施工標準

図面種類 S

図面番号

縮尺 S=NON (A3版 50%縮小)

013

株式会社 松下設計仙台支社

宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8

TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128

管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

設計者 22-127S

設計 2023年3月24日

設計部長 橋岡

担当 製図

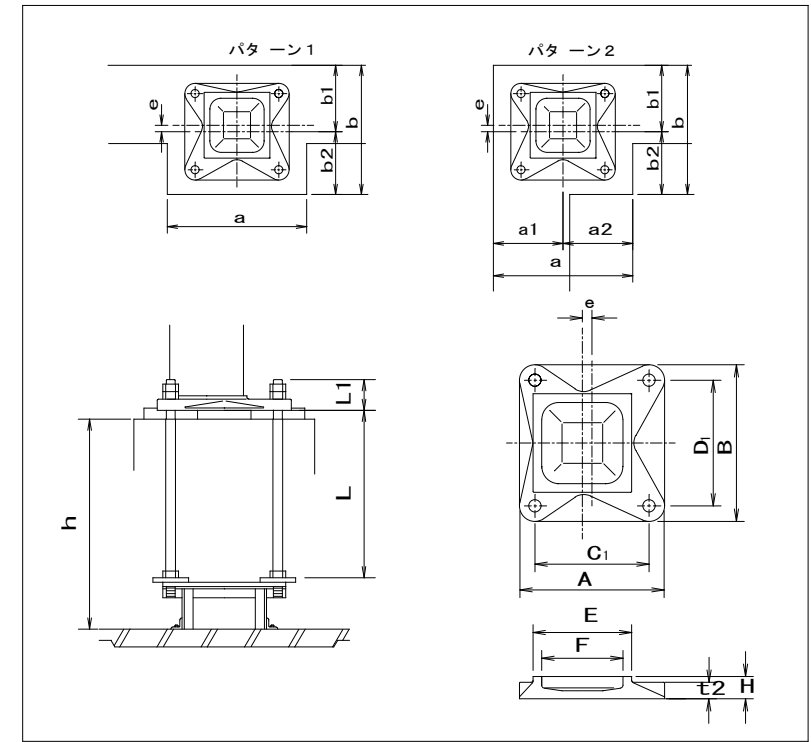
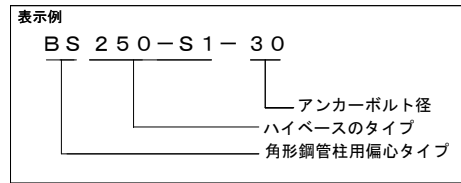
(仮称) むつ市防災食育センター建設工事(建築工事)

設計図

スーパーハイベース工法 各種寸法及び基礎柱形 (Fc24の場合)

・偏心型スーパーハイベース (角形鋼管)

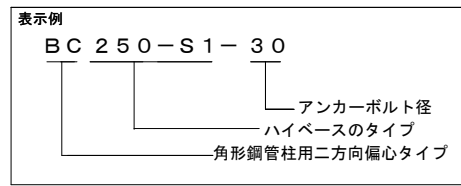
一方向偏心型 (BSタイプ)



BS型式の基礎柱形の設計例

採用 柱符号	数量	適用柱 サイズ	適用 板厚	ハイベース型式	偏心量 e	ばね定数 × 10 ⁴ N/m・rad	寸法 (mm)											質量 (kg)		基礎柱形の設計例														
							偏心方向		A	B	C ₁	D ₁	E	F	H	t ₂	ハイ ベース	部品	L	L ₁	h	パターン1			パターン2			柱形主筋		帯筋 鉄筋量	基礎柱形主筋の定着長さ (mm)			
							偏心 方向	非偏心 方向	a × b	b ₁	b ₂	採用	a × b	a ₁	a ₂	b ₁	b ₂	採用				I ゾーン	II ゾーン											
C1B	13	□ 200 × 200	6 ~ 12	BS200-S1	-24	30	19.9	21.3	310	330	250	270	210	160	70	47	35	20	55	480	101	700以上	510 × 520	260	260	540 × 520	270	270	260	260	8-D16 (SD295)	16-D16 (SD295)	D13#150 (SD295)	230
							35.7	46.3	380	460	280	360	256	200	85	67	72	51	123	720	147	940以上	630 × 570	285	285	650 × 570	325	325	285	285	12-D19 (SD345)	16-D19 (SD345)	D13#150 (SD295)	340
							43.1	56.5	450	530	340	420	306	240	95	77	112	53	165	720	157	940以上	690 × 630	315	315	710 × 630	355	355	315	315	12-D22 (SD345)	16-D22 (SD345)	D13#150 (SD295)	430
C2A	4	□ 250 × 250	6 ~ 16	BS250-S1	-36	40	35.7	46.3	380	460	280	360	256	200	85	67	72	51	123	720	147	940以上	630 × 570	285	285	650 × 570	325	325	285	285	12-D19 (SD345)	16-D19 (SD345)	D13#150 (SD295)	340
							43.1	56.5	450	530	340	420	306	240	95	77	112	53	165	720	157	940以上	690 × 630	315	315	710 × 630	355	355	315	315	12-D22 (SD345)	16-D22 (SD345)	D13#150 (SD295)	430
							54.4	75.5	500	600	380	480	356	290	105	86	155	88	200	840	172	1070以上	720 × 650	325	325	730 × 650	365	365	325	325	12-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	D13#150 (SD295)	520
C1A	6	□ 300 × 300	6 ~ 22	BS300-S1	-36	40	54.4	75.5	450	530	340	420	306	240	95	77	112	53	165	720	157	940以上	690 × 630	315	315	710 × 630	355	355	315	315	12-D22 (SD345)	16-D22 (SD345)	D13#150 (SD295)	430
							73.0	90.0	500	600	380	480	356	290	105	86	155	88	200	840	172	1070以上	720 × 650	325	325	730 × 650	365	365	325	325	12-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	D13#150 (SD295)	520
							79.8	115	500	600	380	480	356	290	105	86	155	91	246	840	181	1070以上	780 × 690	345	345	790 × 690	395	395	345	345	12-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	D13#150 (SD295)	510
C2A	4	□ 350 × 350	9 ~ 22	BS350-S1	-42	50	79.8	115	500	600	380	480	356	290	105	86	155	91	246	840	181	1070以上	780 × 690	345	345	790 × 690	395	395	345	345	12-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	D13#150 (SD295)	510
							103	134	590	690	450	550	408	328	120	100	240	124	279	960	193	1200以上	850 × 780	360	360	860 × 780	430	430	380	380	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#150 (SD295)	610
							126	172	590	690	450	550	408	328	120	100	240	128	368	960	207	1200以上	850 × 780	360	360	860 × 780	430	430	380	380	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	530
C2A	4	□ 400 × 400	9 ~ 28	BS400-S1	-56	50	154	204	640	740	500	600	458	370	115	97	277	131	408	960	204	1200以上	900 × 810	405	405	910 × 810	455	455	405	405	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	520
							182	242	640	740	500	600	458	370	115	97	277	205	482	1120	220	1360以上	930 × 830	415	415	930 × 830	465	465	415	415	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	690
							177	241	670	790	530	650	508	420	115	95	310	133	443	960	202	1200以上	950 × 840	420	420	960 × 840	480	480	420	420	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	510
C2A	4	□ 450 × 450	9 ~ 32	BS450-S1	-56	50	154	204	640	740	500	600	458	370	115	97	277	131	408	960	204	1200以上	900 × 810	405	405	910 × 810	455	455	405	405	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	520
							182	242	640	740	500	600	458	370	115	97	277	205	482	1120	220	1360以上	930 × 830	415	415	930 × 830	465	465	415	415	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	690
							177	241	670	790	530	650	508	420	115	95	310	133	443	960	202	1200以上	950 × 840	420	420	960 × 840	480	480	420	420	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	510
C2A	4	□ 500 × 500	9 ~ 32	BS500-S1	-56	60	207	283	670	790	530	650	508	420	115	95	310	209	519	1120	218	1360以上	980 × 860	430	430	980 × 860	490	490	430	430	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	670
							220	281	720	840	580	700	558	470	115	93	355	136	491	960	200	1200以上	1000 × 890	445	445	1010 × 890	505	505	445	445	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	500
							251	330	720	840	580	700	558	470	115	93	355	214	569	1120	216	1360以上	1030 × 910	455	455	1030 × 910	515	515	455	455	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	660
C2A	4	□ 550 × 550	12 ~ 32	BS550-S1	-56	60	249	328	670	790	530	650	508	420	115	95	310	209	519	1120	218	1360以上	980 × 860	430	430	980 × 860	490	490	430	430	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	670
							295	385	770	890	630	750	610	520	110	91	410	139	549	960	198	1200以上	1050 × 940	470	470	1060 × 940	530	530	470	470	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	490
							350	448	770	890	630	750	610	520	110	91	410	219	629	1120	214	1360以上	1080 × 960	480	480	1080 × 960	540	540	480	480	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	650
C2A	4	□ 600 × 600	12 ~ 32	BS600-S1	-56	60	249	328	670	790	530	650	508	420	115	95	310	209	519	1120	218	1360以上	980 × 860	430	430	980 × 860	490	490	430	430	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	670
							295	385	770	890	630	750	610	520	110	91	410	139	549	960	198	1200以上	1050 × 940	470	470	1060 × 940	530	530	470	470	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	490
							350	448	770	890	630	750	610	520	110	91	410	219	629	1120	214	1360以上	1080 × 960	480	480	1080 × 960	540	540	480	480	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	650
C2A	4	□ 650 × 650	12 ~ 32	BS650-S1	-56	60	350	448	840	960	690	810	660	570	125	105	528	224	752	1120	228	1370以上	1130 × 1010	505	505	1130 × 1010	565	565	505	505	24-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	630
							404	516	840	960	690	810	660	570	125	105	528	294	822	1280	247	1530以上	1140 × 1030	515	515	1150 × 1030	575	575	515	515	24-D25 (SD345)	36-D25 (SD345)	D16#100 (SD295)	710
							405	506	890	1010	740	860	710	620	120	102	594	229	823	1120	225	1370以上	1180 × 1060	530	530	1180 × 1060	590	590	530	530	24-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	620
C2A	4	□ 700 × 700	12 ~ 32	BS700-S1	-64	60	405	506	890	1010	740	860	710	620	120	102	594	229	823	1120	225	1370以上	1180 × 1060	530	530	1180 × 1060	590	590	530	530	24-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13#100 (SD295)	620
							463	583	890	1010	740	860	710	620	120	102	594	299	893	1280	244	1530以上	1190 × 1080	540	540	1200 × 1080	600	600	540	540	24-D25 (SD345)	36-D25 (SD345)	D16#100 (SD295)	700

部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。
 表中に無いサイズについても対応可能です。セクション間に関し合せて下さい。
 注 1) I、IIゾーン分けについてはハイベースNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力線図を参照下さい。
 注 2) 基礎柱形の設計例はFc24の場合です。
 注 3) 表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合 (基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合) の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNEO工法設計ハンドブック第4章に従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。
 注 4) 表中のh寸法は杭がない場合です。杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。



二方向偏心型 (BCタイプ)

採用 柱符号	数量	適用柱 サイズ	適用 板厚	ハイベース型式	偏心量 e	ばね定数 × 10 ⁴ N/m・rad	寸法 (mm)											質量 (kg)		基礎柱形の設計例												
							A	B	E	F	H	H1	t ₂	ハイ ベース	部品	L	L ₁	h	G	α	β	パターン1		パターン2		柱形主筋		帯筋 鉄筋量	基礎柱形主筋の定着長さ (mm)			
							a × b	a ₁	a ₂	b ₁	b ₂	採用	a × b	a ₁	a ₂							b ₁	b ₂	採用	I ゾーン	II ゾーン						
C1A	6	□ 250 × 250	6 ~ 16	BC250-S1	-30	40	35.7	380	280	256	200	230	131	67	120	32	152	600	115	820以上	88	25	115	560 × 560	280	280	280	280	8-D19 (SD345)	16-D19 (SD345)	D13#150 (SD295)	380
							43.1	380	280	256	200	230	131	67	120	50	170	720	123	940以上	80	25	120	570 × 570	285	285	285	285	8-D22 (SD345)	16-D22 (SD345)	D13#150 (SD295)	500
							54.4	450	340	306	240	260	141	77	192	51	243	720</														

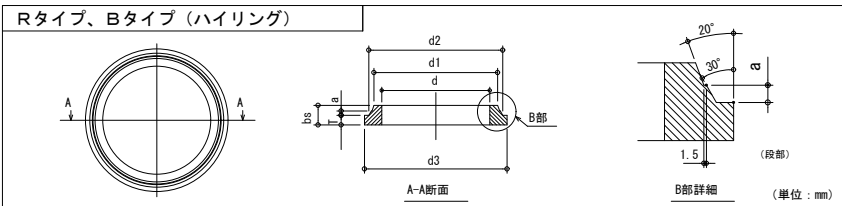
鉄骨ばり貫通孔補強 ハイリング III 工法設計施工標準

国土交通大臣認定：ハイリング MSTL-0234, 0515, 0544, 0548
 国土交通大臣認定：SPスティック MSTL-0451
 日本建築センター認定：BCJ認定-ST0095

2021年4月

1. 材質 ハイリング：HFW490, HR490 (SN490B同等) またはSN490B規格
 SPスティック：HFW490^{※2} (SN490B同等)
 ※1：国土交通大臣認定取得材 (MSTL-0234, 0515, 0544, 0548) ※2：国土交通大臣認定取得材 (MSTL-0451)

2. 型式・形状・寸法



貫通孔径	型式	適用ウェブ厚範囲	鉄骨ウェブ下孔径	内径	幅	フランジ厚 T	d1	d2	外径 d3	a	質量 (kg)	採用
φ100	100R	5.5-19	φ140	100	22	8.5	115	130	150	5.5	1.1	
	100B	8.5-29	φ145	100	32	12	114	135	155	8.5	1.7	
	125R	5.5-19	φ165	125	25	10	139	155	175	5.5	1.4	
φ125	125B	8.5-29	φ175	125	32	14	145	165	185	8.5	2.5	
	150R	5.5-19	φ195	150	25	10	169	185	205	5.5	2.0	
φ150	150B	9-31	φ205	150	36	14	172	195	215	9	3.5	
	175R	5.5-19	φ225	175	25	10	199	215	235	5.5	2.6	
φ175	175B	9-31	φ230	175	36	18	200	220	240	9	4.5	
	200R	6-21	φ250	200	25	12	225	240	260	6	3.1	○
φ200	200B	9-31	φ260	200	40	18	227	250	270	9	5.9	
	225R	6-21	φ275	225	25	12	250	265	285	6	3.5	
φ225	225B	9-31	φ290	225	40	20	259	280	300	9	7.5	
	250R	7.5-26	φ300	250	28	12	272	290	310	7.5	4.1	
φ250	250B	10-32	φ320	250	45	22	286	310	330	10	9.9	
	275R	7.5-26	φ325	275	28	12	297	315	335	7.5	4.4	
φ275	275B	10-32	φ340	275	50	24	304	330	350	10	11	
	300R	8-28	φ350	300	28	12	322	340	360	8	4.8	○
φ300	300B	11-32	φ370	300	55	26	331	360	380	11	14	
	350R	8-28	φ400	350	32	14	370	390	410	8	6.3	
φ350	350B	11-32	φ425	350	60	28	384	415	435	11	19	
	400R	8-28	φ455	400	32	14	425	445	465	8	8.0	○
φ400	400B	11-32	φ480	400	62	30	439	470	490	11	24	
	450R	10-32	φ525	450	50	22	487	515	535	10	19	
φ450	450B	14-32	φ550	450	74	38	505	540	560	14	41	
	500R	10-32	φ575	500	50	22	537	565	585	10	21	
φ500	500B	15-32	φ610	500	75	40	565	600	620	15	52	
	550R	10-32	φ630	550	55	22	589	620	640	10	27	
φ550	550B	15-32	φ655	550	75	40	610	645	665	15	54	
	600R	10-32	φ680	600	55	22	639	670	690	10	29	
φ600	600B	15-32	φ700	600	80	40	650	690	710	15	57	

※1：応力検算にて上記型式で対応できない場合は、別途お問い合わせください。
 ※2：内径dが600を超える場合は、別途お問い合わせください。

(単位: mm)

Sタイプ (SPスティック)	標準孔径 d	型式	適用ウェブ厚範囲	適用可能貫通孔径	B1	B2	S	tb	a1	質量 (kg)	採用
	φ100	100S	32以下	φ50-100	150	100	12	14	8	0.32	
	φ125	125S		φ101-125	175	125	12	15	7	0.40	
	φ150	150S		φ126-150	205	150	14	15	7	0.54	
	φ175	175S		φ151-175	235	175	14	16	7	0.68	
	φ200	200S		φ176-200	260	200	16	21	8	1.0	
	φ225	225S		φ201-225	285	225	16	21	8	1.2	
	φ250	250S		φ226-250	310	250	20	23	9	1.8	
	φ275	275S		φ251-275	335	275	20	23	9	1.9	
	φ300	300S		φ276-300	360	300	23	27	10	2.6	
	φ350	350S		φ326-350	410	350	25	30	10	3.6	
	φ400	400S		φ376-400	465	400	28	30	10	6.6	
	φ450	450S		φ426-450	535	450	30	35	11	6.4	

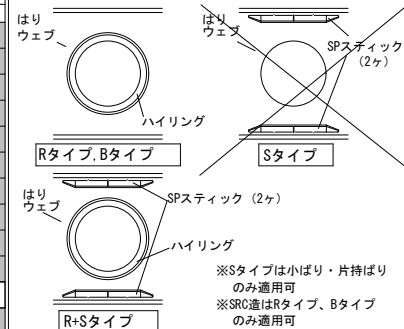
※1：2ヶ分の質量

R+Sタイプ (ハイリング・SPスティック)

(単位: mm)

貫通孔径	型式	適用ウェブ厚範囲	鉄骨ウェブ下孔径	ハイリング	SPスティック
φ100	100R+S	5.5-19	φ140	100R	100S
φ125	125R+S	5.5-19	φ165	125R	125S
φ150	150R+S	5.5-19	φ195	150R	150S
φ175	175R+S	5.5-19	φ225	175R	175S
φ200	200R+S	6-21	φ250	200R	200S
φ225	225R+S	6-21	φ275	225R	225S
φ250	250R+S	7.5-26	φ300	250R	250S
φ275	275R+S	7.5-26	φ325	275R	275S
φ300	300R+S	8-28	φ350	300R	300S
φ350	350R+S	8-28	φ400	350R	350S
φ400	400R+S	8-28	φ455	400R	400S
φ450	450R+S	10-32	φ525	450R	450S

3. 補強パターン (S造用)



※Sタイプは小ばり・片持ばりのみ適用可
 ※SRC造はRタイプ、Bタイプのみに適用可

4. 設計

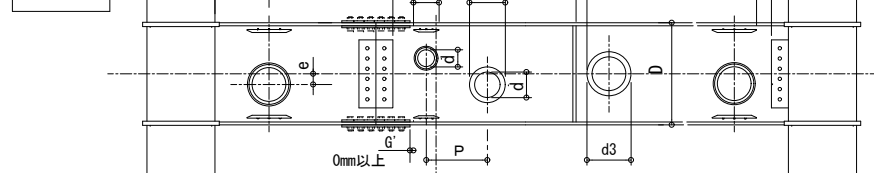
ハイリング、SPスティックを用いて補強した有孔部の耐力が、孔位置に生じる応力を上回ることを確認が必要。

5. 適用範囲及び適用規定

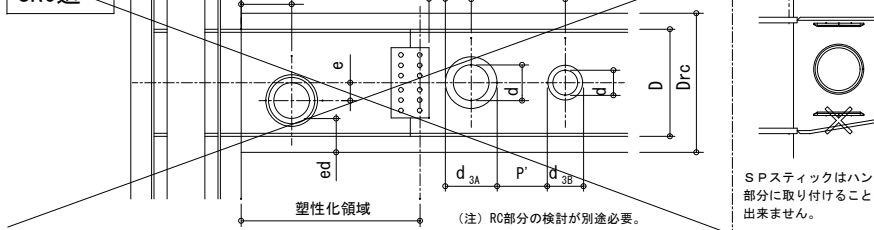
項目	規定
構造種別	S造 SRC造
はりの鉄骨断面	H形断面
補強タイプ	Rタイプ、Bタイプ、R+Sタイプ、Sタイプ
貫通孔径 (d)	φ100~φ600
はり材質	400N/mm ² 級 490N/mm ² 級 520N/mm ² 級 550N/mm ² 級 590N/mm ² 級
鉄骨のり成 (D)	2400mm以下
塑性化領域 ^{※1} への貫通孔	2ヶ所まで (ただし、貫通孔の合計は2/3以下)
鉄骨のり成 (D) とフランジ幅 (B) の比	95以下 (塑性化領域 ^{※1} では部材種別FA・FBのみ)
鉄骨のり成 (D) とフランジ厚 (tw) の比	32mm以下
鉄骨のり成 (D) とRCはり成 (Drc) の比	D/B ≤ 8
鉄骨のり成 (D) とRCはり成 (Drc) の比	D/Drc ≥ 0.37
孔径比 (d/D)	2/3以下
梁端~ 孔中心距離 (Lh)	$Lh \geq \max \left(\frac{D}{12}, 100 \right) + \frac{1}{2} d$
偏心量 (e)	Rタイプ Bタイプ R+Sタイプ Sタイプ 大ばりの塑性化領域の場合: $e \leq \frac{1}{2} \left(\frac{2}{3} D - d \right)$ かつ $e \leq \frac{D}{2} - (tf+rf+5) - \frac{d}{2}$ それ以外: $e \leq \frac{1}{2} (D - 2(tf+rf+5) - d)$
隣接する孔の最小ピッチ	$P \geq 1.5d$ かつ $P' \geq 20mm$ ただし連続する孔の径が異なる場合は径の平均のdをとる。 またP'とは隣接するハイリングまたはSPスティックのあきの寸法を示す。 (例) ハイリング同士の場合 $P' = \frac{d_{3A}}{2} - \frac{d_{3B}}{2}$
ハイリング (またはSPスティック) 端~ ガセットプレートなどの端までの距離 (G)	20mm以上
梁に設計用軸力が作用する場合	軸力範囲: $-0.25Ny \sim +0.25Ny$ (Ny : はりの軸力) 補強パターン1: ハイリングのみ 補強パターン2: ハイリング+PL補強 SPスティック端~ フランジスラストプレートの距離 (G) 0mm以上

※1 塑性化領域: 梁端部から0.1L以内または鉄骨はり成 (SRC造の場合はRCはり成) の2倍以内の範囲 (大きい方、Lははり内法長さ) であり、シアスパン比 (L/D) が6以下の場合には梁端部から0.1L以内または鉄骨はり成の1倍以内の範囲 (大きい方) となる。
 ※2 耐力確認により本規定以上の寸法が必要な場合がある。
 ※3 SRC造では貫通孔の縁あきedを180mm以上確保し、貫通孔における梁主筋の適切なふり厚さを確保する。
 ※4 補強パターンは設計者にて確認の上、選択ください。補強パターン1の場合は軸力負担を考慮した有孔部断面で設計する。
 補強パターン2の場合は軸力負担可能な断面を有するプレートにて貫通孔部を補強するものとし、補強プレートの貫通中央部断面が軸力負担可能な断面を有するよう設計者にて検討するものとする (セクションでは補強プレートは設計、手配は行わない)。

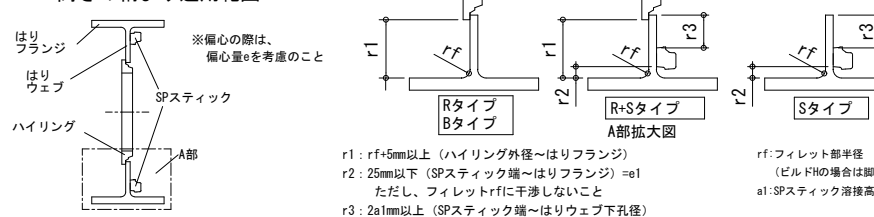
S造



SRC造



6. 高さの納まり適用範囲



r1: rf+5mm以上 (ハイリング外径~はりフランジ)
 r2: 25mm以下 (SPスティック端~はりフランジ) =e1
 ただし、フィレットrfに干渉しないこと
 r3: 2a1mm以上 (SPスティック端~はりウェブ下孔径)
 rf: フィレット部半径 (ピルドの場合は脚長)
 a1: SPスティック溶接高さ

7. 工場加工

7-1. 施工指針

ハイリングの施工に関する指針は以下の通りとする。
 本標準図に規定される以外の事項は、『鉄骨工事技術指針』、『建築工事標準仕様書 (JASS6)』、『建築構造用高性能590N/mm²鋼材 (SA440) 設計・溶接施工指針』等、関係基準・指針による。

7-2. 溶接材料

『鉄骨工事技術指針・工場製作編 (2007改訂)』 (日本建築学会) 等の指針に規定されるはり材とハイリング・SPスティック (490N/mm²級) で強度ランクの高い方の材料に適した溶接材料を使用する。

7-3. 予熱

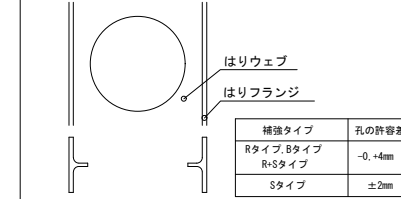
鋼材の種類や板厚により、必要に応じて適切な条件を選定する。
 ただし、はりウェブ鋼種がSA440の場合の予熱は右表を目安とする。
 予熱の範囲は、溶接線の両側100mmの範囲とする。

溶接方法	SA440
被覆アーク溶接	100℃以上
ガスシールドアーク溶接	60℃以上

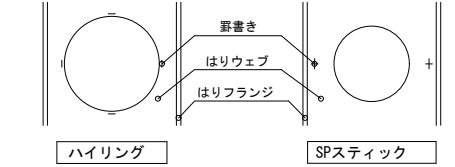
※1: 気温が5℃以下の場合には、上記+25℃の予熱温度とする

7-4. ハイリング・SPスティックの鉄骨ばりへの取付け

(1) はりウェブの孔あけ



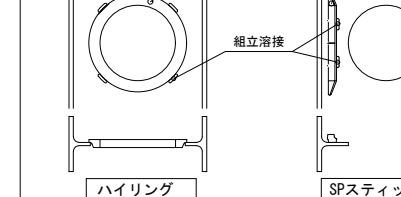
(2) 位置決め



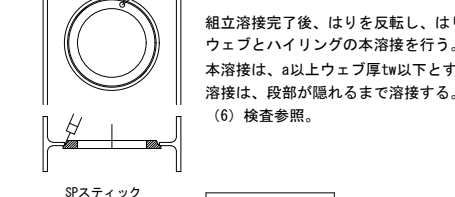
補強タイプ	孔の許容差
Rタイプ、Bタイプ、R+Sタイプ	-0.4mm
Sタイプ	±2mm

ハイリング・SPスティックの取付け位置を
 確認し、はりウェブに孔をあける。
 ハイリングを取付ける下孔まわりのバリ、
 溶接面の水分、ゴミ等は適切な方法で除去する。

(3) 組立溶接



(4) 本溶接



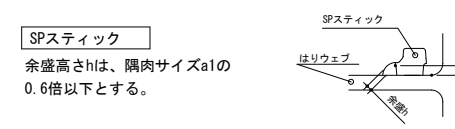
組立溶接は、1パスとし下表による。
 はりウェブ鋼種がSA440の場合は、サイズは6mm
 以上で長さ50mm以上とする。

組立溶接	ハイリング	SPスティック
箇所数	2~4ヶ	2ヶ
脚長	4~6mm程度	4mm程度
ビード長さ	40mm以上	40mm以上

(5) 余盛

余盛高さhは、段部が隠れた状態
 で3mmを標準とし、許容差±3mmとする。

(6) 検査



(6) 検査

溶接部の検査は、目視による外観検査とする。

ハイリング	SPスティック
(a) はりフランジとの隙間e1 $rf_{mm} \leq e1 \leq 25mm$	(b) 中心のズレe2 $e2 \leq 10mm$
(c) 傾きe3 $e3 \leq 3mm$	(d) はりウェブとの隙間e4 $e4 \leq 3mm$

※1 SPスティックは納入時期により端部目印が無い場合があります。
 注意: 連続孔の場合は、ハイリングを同じ向きで溶接するとはりが歪む場合があります。

G-ECSパイロ工法設計施工標準

【 回転貫入鋼管杭 ジー・エクスパイル 】

2022.12 改訂

【 許容支持力および適用範囲 】

1 件名
G-ECSパイロ工法
(くい先端地盤：砂質地盤 (礫質地盤含む)) TACP-0585
(くい先端地盤：粘土質地盤) BCJ基評-FD0178-01

2 地盤の許容支持力
本工法により施工される基礎の許容支持力を定める際を求める長期並びに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

1) 長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力 (KN)
Ra = 1 / 3 [alpha NAp + (beta NsLe + gamma quLc) phi]
2) 短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力 (KN)
Rs = 2 / 3 [alpha NAp + (beta NsLe + gamma quLc) phi]

ここで、
alpha : くい先端支持力係数 (砂質地盤 (礫質地盤含む)) alpha=184
(粘土質地盤) alpha=150
beta : 砂質地盤におけるくいの周囲摩擦係数 (beta=0)
gamma : 粘土質地盤におけるくいの周囲摩擦係数 (gamma=0)
Ns : 基礎ぐい先端付近 (杭先端より下方に1Dw、上方に1Dwの範囲) の地盤の標準貫入試験による打撃回数 (N値) の平均値 (回)
(砂質地盤 5 <= N <= 60)
(粘土質地盤 10 <= N <= 50)
Dw : 基礎ぐい先端の断面面積 (Ag) と等価円の直径 (以下、等価円直径という)
Ap : 基礎ぐい先端の有効断面積 (m^2)
Ap = e * Ag
e : 有効率 (くい径300mm未満で1.0、300mm以上で0.97)
Ag : 基礎ぐい先端の断面面積 (m^2)
Ns : 基礎ぐい周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値 (回)
Le : 基礎ぐい周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計 (m)
qu : 基礎ぐい周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値 (kN/m^2)
Lc : 基礎ぐい周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計 (m)
phi : 基礎ぐいの周囲の長さ (m)
基礎ぐい先端の有効断面積 (Ap)、および等価円直径 (Dw)

Table with 2 columns: くい径 Dp (mm) and values for Ap (mm), Dw (mm) for various Dp sizes.

3 くい材から決まる許容支持力

1) くい材から決まる長期許容支持力
F* = F / 1.5
LNa = 1 / 1.5 * Ao * (1 - alpha - alpha^2)
ただし、
F* = F * (0.80 + 2.5 * te / r) (0.01 <= te / r < 0.08)
F* = F (te / r >= 0.08)
ここで、
F* : 上記の式より計算した数値 (N/mm^2)
Ao : 腐食しを除外した鋼管の断面積 (mm^2)
F : 設計基準強度 (N/mm^2)
te : 腐食しを除外した鋼管の厚さ (mm)
r : 鋼管の半径 (mm)
2) くい材から決まる短期許容支持力
SNa = 1.5 * LNa

4 引抜き方向の短期支持力 (BR11-05号改2)

1) 地盤から決まる引抜き方向の短期許容支持力
tRa = 2 / 3 * kappa * Nt * Atp * Wp
ここで、
kappa : 先端抵抗係数 (砂質地盤 (礫質地盤含む)) kappa=56
(粘土質地盤) kappa=50
Nt : 基礎ぐい先端付近 (くい先端より上方に3Dwの範囲) の地盤の標準貫入試験による打撃回数 (N値) の平均値 (回)
(砂質地盤 10 <= Nt <= 60 Ntを算出する時の個々のN値は、N<5のときN=0、N>100のときN=100)
(粘土質地盤 5 <= Nt <= 50 Ntを算出する時の個々のN値は、N<2のときN=0、N>50のときN=50)
Atp : 基礎ぐい先端の有効断面積 (m^2)
Wp : 浮力を考慮したくいの有効自重 (kN)

基礎ぐい先端の有効断面積 (Atp) 一覧表
Table with 4 columns: くい径 Dp (mm), 等価円直径 Dw (mm), 有効断面積 Atp (m^2), 適用地盤

5 適用範囲

1) 適用する地盤の種類
a. くいの許容支持力 (押し込み方向)
くい先端地盤 : 砂質地盤 (礫質地盤含む)
: 粘土質地盤 (phi < 267.4まで)
くいの周囲の地盤 : 砂質地盤、および粘土質地盤
b. 引抜き方向の短期支持力
くい先端地盤 : 砂質地盤 (礫質地盤含む)
: 粘土質地盤 (phi < 267.4まで)
くいの周囲の地盤 : 砂質地盤、および粘土質地盤
最小くい長 : 砂質地盤 3mと10Dpの大きい方
: 粘土質地盤 5m
2) 最大施工深さ
くい径 (Dp) の130倍とし下表による
Table with 2 columns: くい径 Dp (mm) and 最大施工深さ (m) for various Dp sizes.

【 G-ECSパイロの構造・規格 】

Table with 11 columns: Dp, Dw, t1, t2, t3, L1, L2, L3, L4, L5, L6, R. It lists specifications for different pile diameters.

*1 phi 216.3の異径のみ材質はSM400Aとし、これ以外はSS400とする
*2 寸法公差は性能評価書の内容に準じる

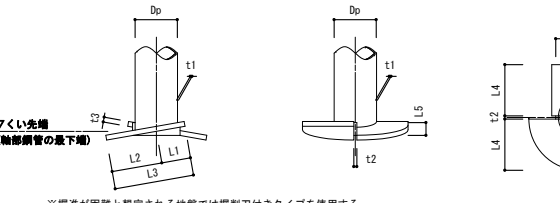
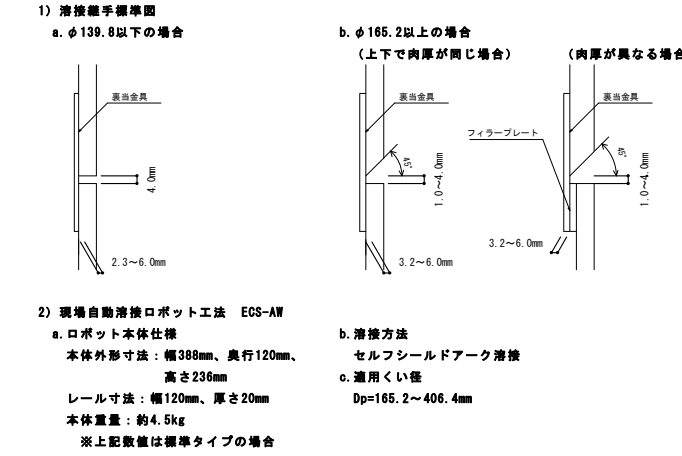


Table with 2 columns: 部位 (Part) and 使用材料 (Material). Lists materials for pile body, tip, and reinforcement.

* 国産標準2401号、2402号 (令和3年12月20日) による基準強度の指定

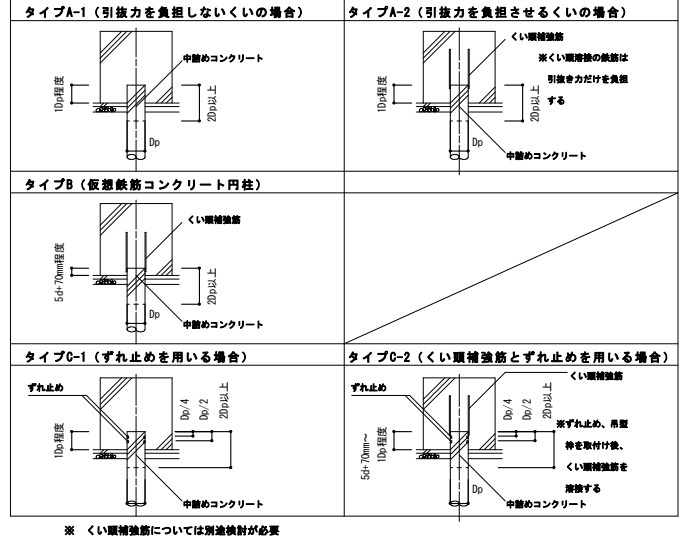
3 継手



【 くい芯間隔とへりあきの推奨値 】

Table with 4 columns: 呼び (Nominal), くい径 Dp (mm), くい芯間隔 A (mm), へりあき B (mm). Lists recommended values for different pile diameters.

【 くい頭部の接合例 】



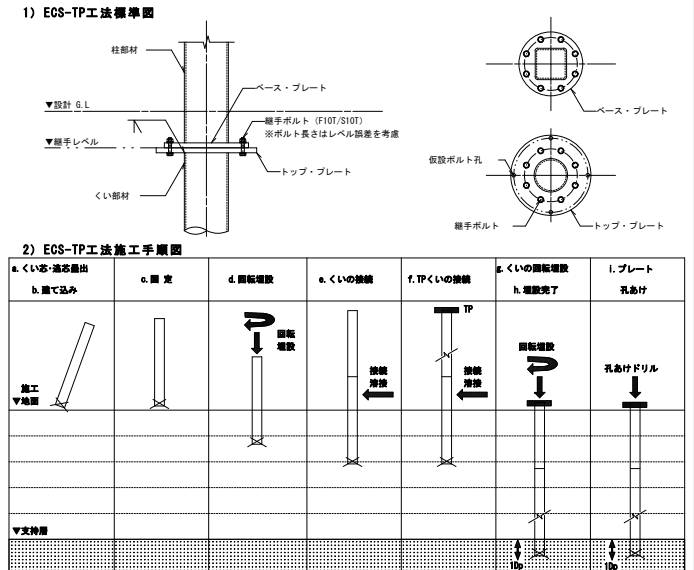
【 施工管理方法 】

G-ECSパイロ工法では、以下の管理方法により現場ごとの「支持層確認管理値」を決定し、くいの先端が確実に支持層に到達していることを確認して、打ち止め管理を行う。
1) PR値
G-ECSパイロ工法は「PR値」により施工管理を行う (PR値 : くい1回転あたりの地中への貫入量 (mm))
2) 施工管理方法
a. 本ぐいの施工に先立ち、地盤調査 (標準貫入試験) 位置または近傍にて試験ぐいの施工を行う。試験ぐいでは、地表面からくい先端位置まで全長に亘り、深度・PR値・トルクを測定し、地盤調査資料と比較して整合性を検証する。このとき、地盤調査位置近傍に本ぐいがある場合には、これを試験ぐいとすることができ。
b. 試験ぐいに不整合が認められ、試験ぐいの施工データと比較しながら本ぐいを3本施工し、支持層上端より1.0m上部 (引抜き方向の支持力を負担するくいについては3Dwかつ1.0m上部) から試験ぐいと同一の押圧力でPR値を測定する。
c. 試験ぐいを含めた管理値設定くい4本について、支持層上端におけるPR値の平均値を求める。また、合わせてトルクの最小値を求める。
d. c. で求めた平均値の130%を当該現場における「支持層確認管理値」とする。また、トルクの最小値とバラツキの程度を考慮して打ち止め参考トルクを設定する。
e. 本ぐいの施工時には、支持層上端と想定される深度より1.0m上部 (引抜き方向の支持力を負担させるくいについては3Dwかつ1.0m上部) から試験ぐいと同一の押圧力でPR値・トルクを測定し、「支持層確認管理値」以下となった深度を支持層上端とする。

f. 支持層上端より1Dp以上くいを掘入れし、打ち止めとする。掘入れの時はくいを正転させ、打ち止める。
* PR値が「支持層確認管理値」以下となった後、掘入れの際に施工トルクがくいの短期許容値を越えたり、またはPR値が「支持層確認管理値」の30%以下となる場合には、1Dpの掘入れと同等として扱う。
g. くいの高止まり時の地盤 : 打ち止め条件は満たしているが、貫入が困難な場合で支持層上端以上の地盤にN値の落ち込みがないことが確認できる場合は、その位置で打ち止めとし、くい頭は地面で切断とする。
* 高止まり時の支持層上端より以上の地盤にN値の落ち込みが予想される場合には、くいを逆回転を与えて引抜き、アースオーガー等にて掘削して施工困難な層を打抜き後、再施工とする。アースオーガー等による先行掘削は支持層上端の1.0m程度上部 (引抜き方向の支持力を適用するくいについては3Dwかつ1.0m上部) とする。
h. くい長不足の地盤 : 打ち止め条件を満たさないくいは適宜継いで、「支持層確認管理値」以下になるまで施工する。ただし、最大施工深さを越える場合には、監理者・設計者と協議の上、指示による。

【 EGS-TP工法 】 (特許第6060468号)

EGS-TP (エクス・ティーピー) 工法とは、回転貫入鋼管杭として大臣認定を取得したG-ECSパイロ工法を用いた、柱杭一体型の施工方法をいう



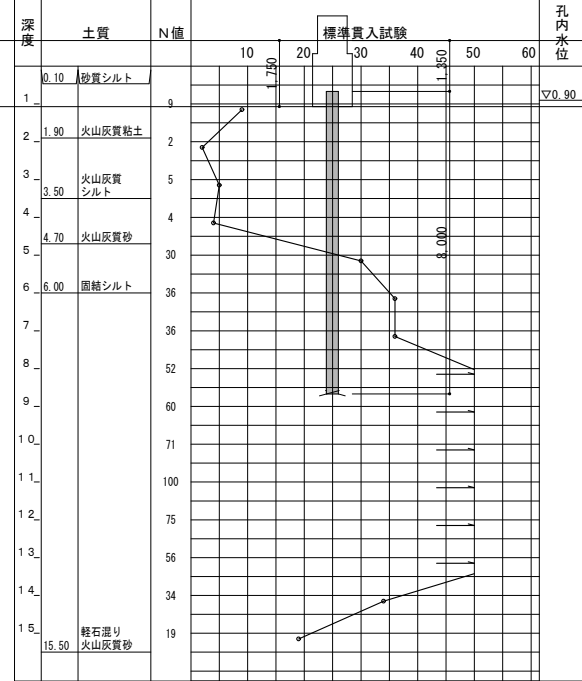
3) 施工手順
a. ~ b. 逃げくいは、直方向2か所を設定する。基準は、地面に固定したもの (鉄板等) に印す。
c. ~ d. くいの位置を固定し、回転設置を行う。
e. くいの接続を行う。
f. ~ g. TPくい (上) に、TP治具を取付け、回転設置する。
h. G-ECSパイロ工法打ち止め管理基準を満足していることを確認し、所定レベル0~10mmで埋設完了とする。
i. テンプレートを用いてトップ・プレート上にボルト孔の墨出しを行い、位置確認の後、ボルト孔あけドリルにより施工する。
j. レベル調整用フィラーを敷設し、柱の建方を行う (鉄骨建て入れ直しの前工程でくい頭周辺に捨てコンクリートを打設しておくが望ましい) 。
4) 管理値
EGS-TP工法の水平方向施工管理許容値は±20mm以内、鉛直方向の施工管理許容値は0~10mmとし、これを越える場合は対地方法について監理者・設計者と協議を行うものとする。

【 国土交通省大臣認定、性能評価 】

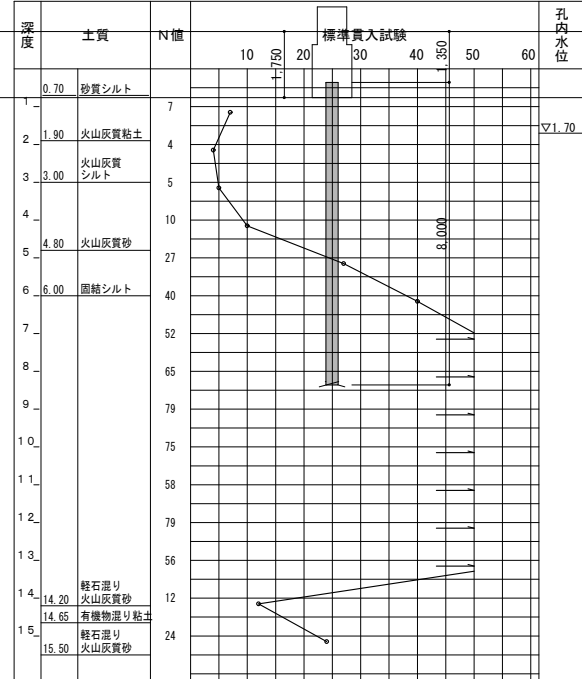
Table with 2 columns: G-ECSパイロ工法 (くい先端地盤：砂質地盤 (礫質地盤含む)) and G-ECSパイロ工法 (くい先端地盤：粘土質地盤) with their respective certification numbers.

ボーリング柱状図 S=1:100

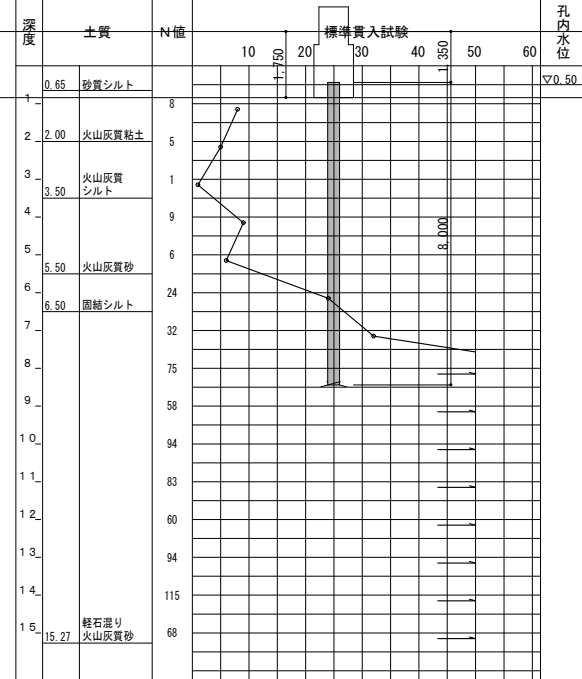
ボーリング No.1 孔口標高 KBM-0.379m (T.P.=33.753m)



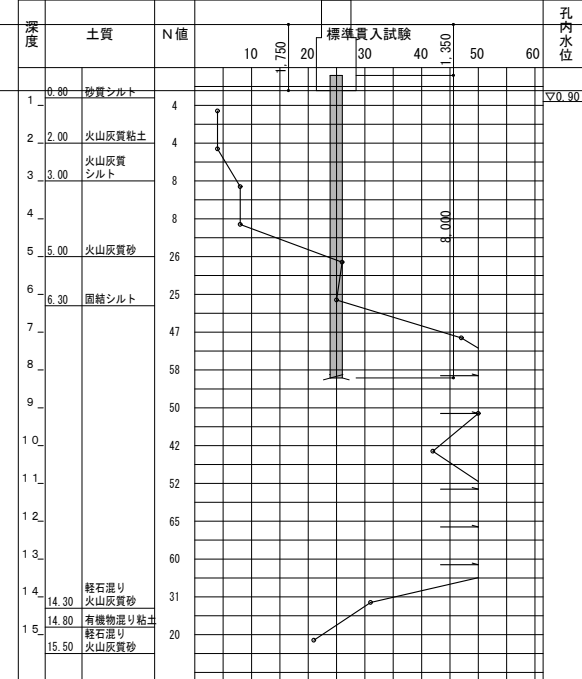
ボーリング No.2 孔口標高 KBM-0.688m (T.P.=33.444m)



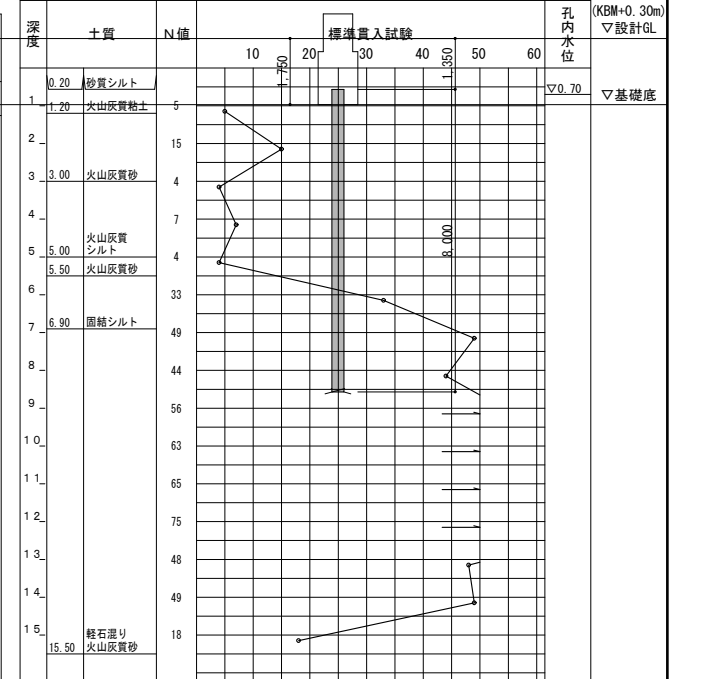
ボーリング No.3 孔口標高 KBM-0.615m (T.P.=33.517m)



ボーリング No.4 孔口標高 KBM-0.838m (T.P.=33.294m)

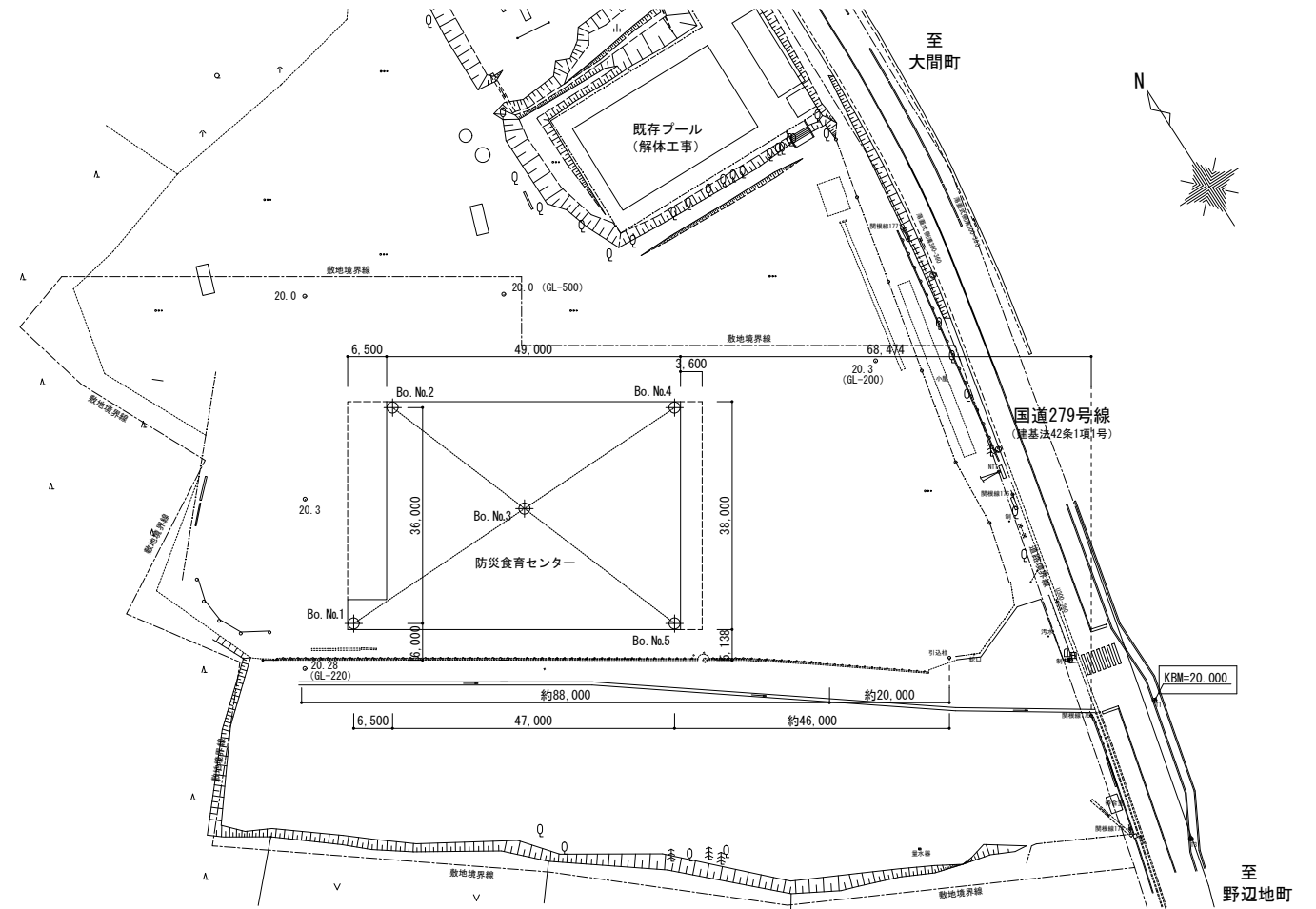


ボーリング No.5 孔口標高 KBM-0.480m (T.P.=33.652)



標高高さ (TP)

	ボーリングNo. 1	ボーリングNo. 2	ボーリングNo. 3	ボーリングNo. 4	ボーリングNo. 5	
▽設計 G.L. (KBM+0.30m)						▽設計 G.L. (KBM+0.30m)
△KBM (T.P. +34.132m)	△孔口標高 (KBM-0.379m)	△孔口標高 (KBM-0.688m)	△孔口標高 (KBM-0.615m)	△孔口標高 (KBM-0.838m)	△孔口標高 (KBM-0.480m)	△KBM (T.P. +34.132m)



ボーリング位置図 S=1:600

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭



株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S
 設計 2023年3月24日
 設計部長 松岡 担任 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

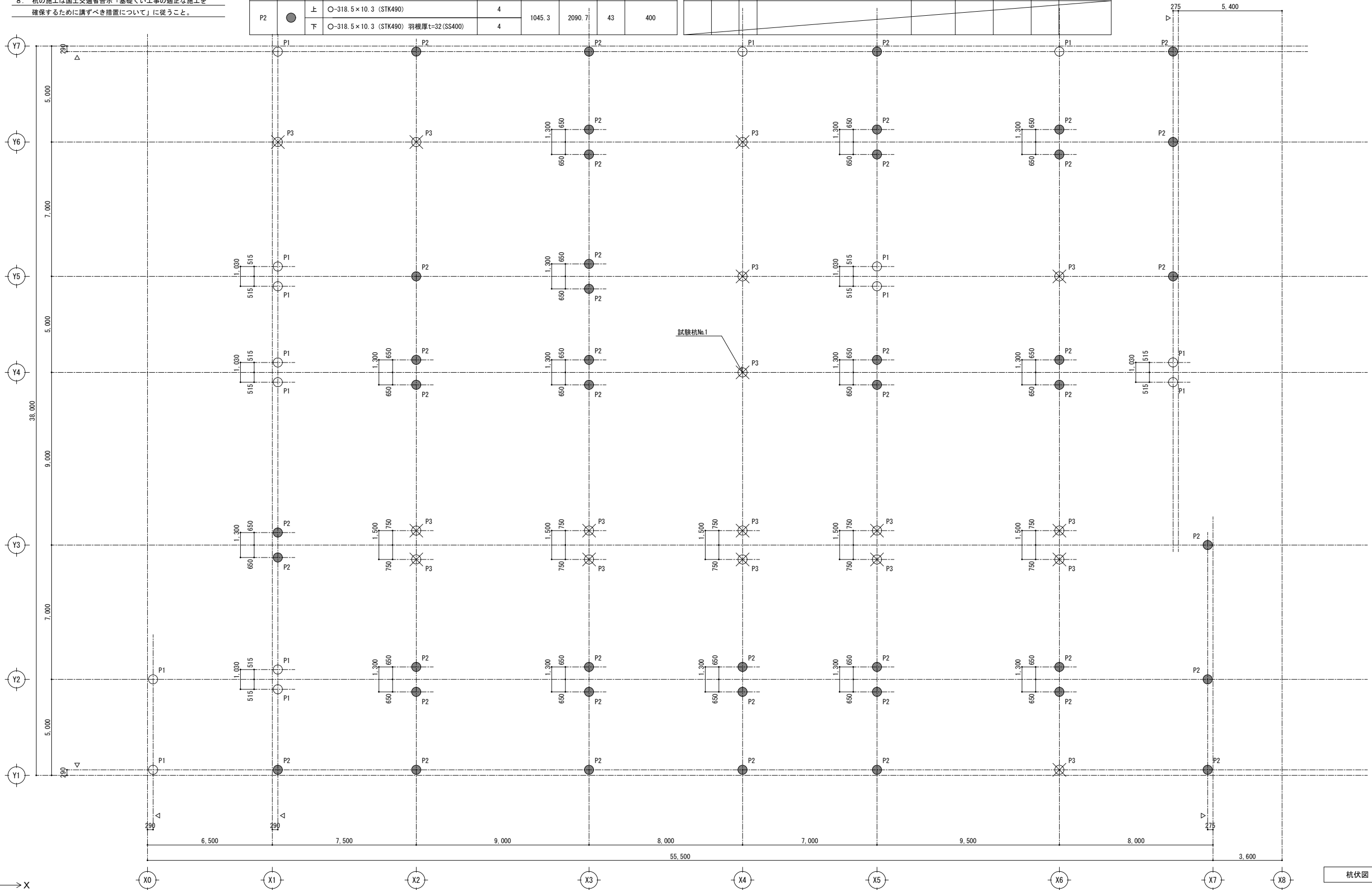
設計図

図面名 ボーリング柱状図
 ボーリング位置図
 図面種類 S
 図面番号
 縮尺 S=1:100, 1:600 (A3版 50%縮小) 017

- 杭特記事項
1. 杭種・工法：先端羽根付鋼管杭 (G-ECS/パイル工法 TACP-0585)
 2. 杭頭深さ：GL-1.35m 杭先端深さ：GL-9.35m
 3. 杭の施工偏心は100mmまで変更を生じない。
 4. 杭継手は溶接継手とする。
 5. 支持層：軽石混り火山灰質砂
 6. 試験杭は本杭を兼ねる。
 7. 特記なき杭芯は通り芯とする。
 8. 杭の施工は国土交通省告示「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置について」に従うこと。

杭リスト

杭符号	記号	杭種・杭種・羽根径	杭長 (m)	杭耐力 (kN/本)		杭本数	フーチングへの埋込長 (mm)	杭符号	記号	杭種・杭種・羽根径	杭長 (m)	杭耐力 (kN/本)		杭本数	フーチングへの埋込長 (mm)	
				長期	短期							長期	短期			
P1	○	上	○-267.4×9.3 (STK490)	4	742.9	1485.8	15	400	⊗	上	○-406.4×9.5 (STK490)	4	1315.0	2630.1	17	400
		下	○-267.4×8.0 (STK490) 羽根厚t=28 (SS400)	4						下	○-406.4×9.5 (STK490) 羽根厚t=36 (SS400)	4				
P2	●	上	○-318.5×10.3 (STK490)	4	1045.3	2090.7	43	400								
		下	○-318.5×10.3 (STK490) 羽根厚t=32 (SS400)	4												



杭伏図 1:100

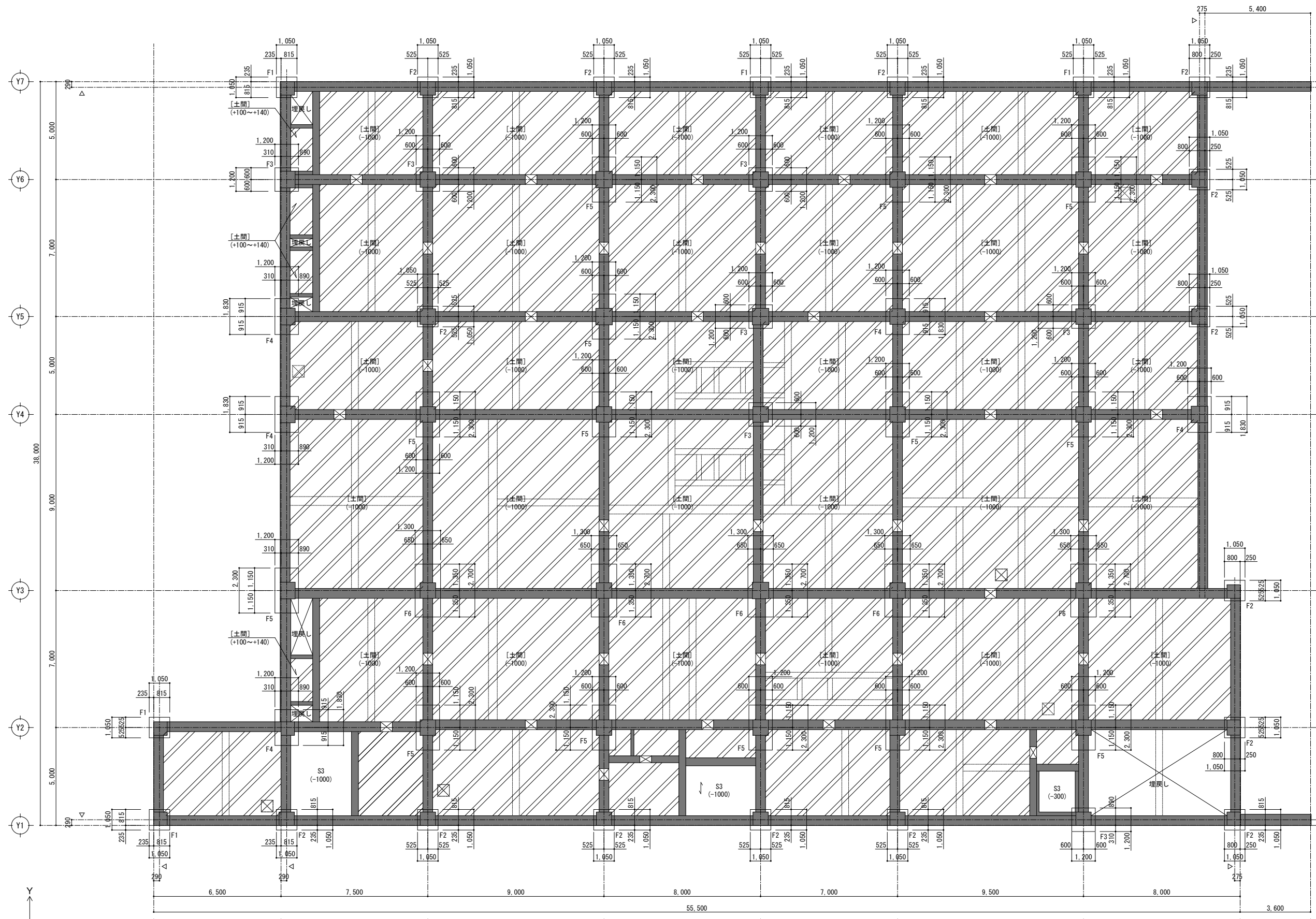

株式会社 山下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 検 図	担 当 製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名 杭伏図	図面種別 S
縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号 018

- 共通事項 特記なき限り下記による
1. 特記なき限り、通り心=柱芯とする。
▽は柱芯を示す。
 2. 符号 S はスラブを示し()内数値はGLからの寸法を示す。
 3. [土間] は土間コンクリートを示し()内数値はGLからの寸法を示す。
 4. 特記なきスラブ主筋はX方向を主筋方向とする。
← はスラブ主筋方向を示す。
 5. [] は人通り孔(φ600)を示す。
 6. 特記なき基礎下端はGL-1750とする。



基礎伏図 1:100

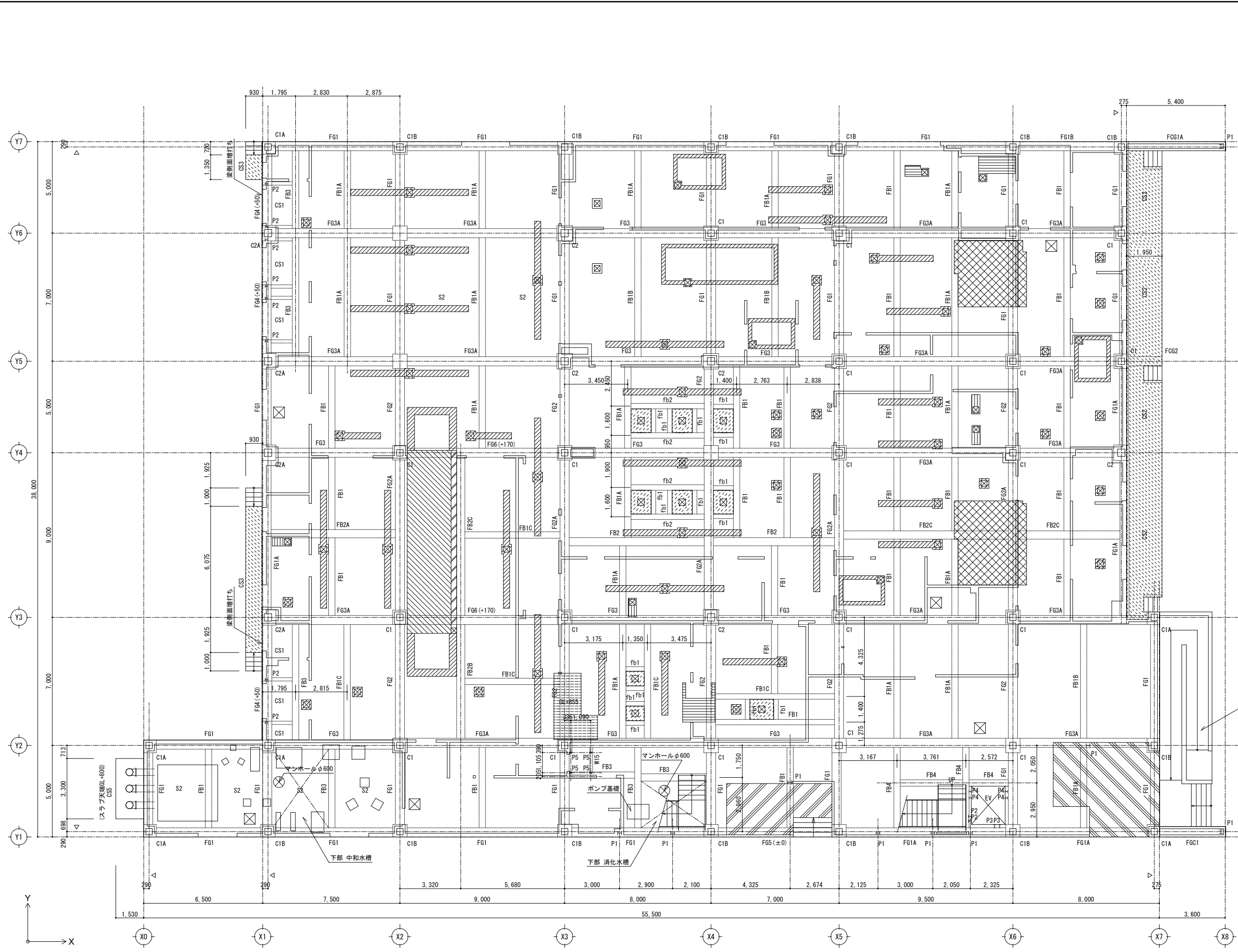
図面名	基礎伏図
図面種類	S
図面番号	
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 第22110183号
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

案件番号	22-127S
日付	2023年3月24日
設計部長	横園
担当	製園

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

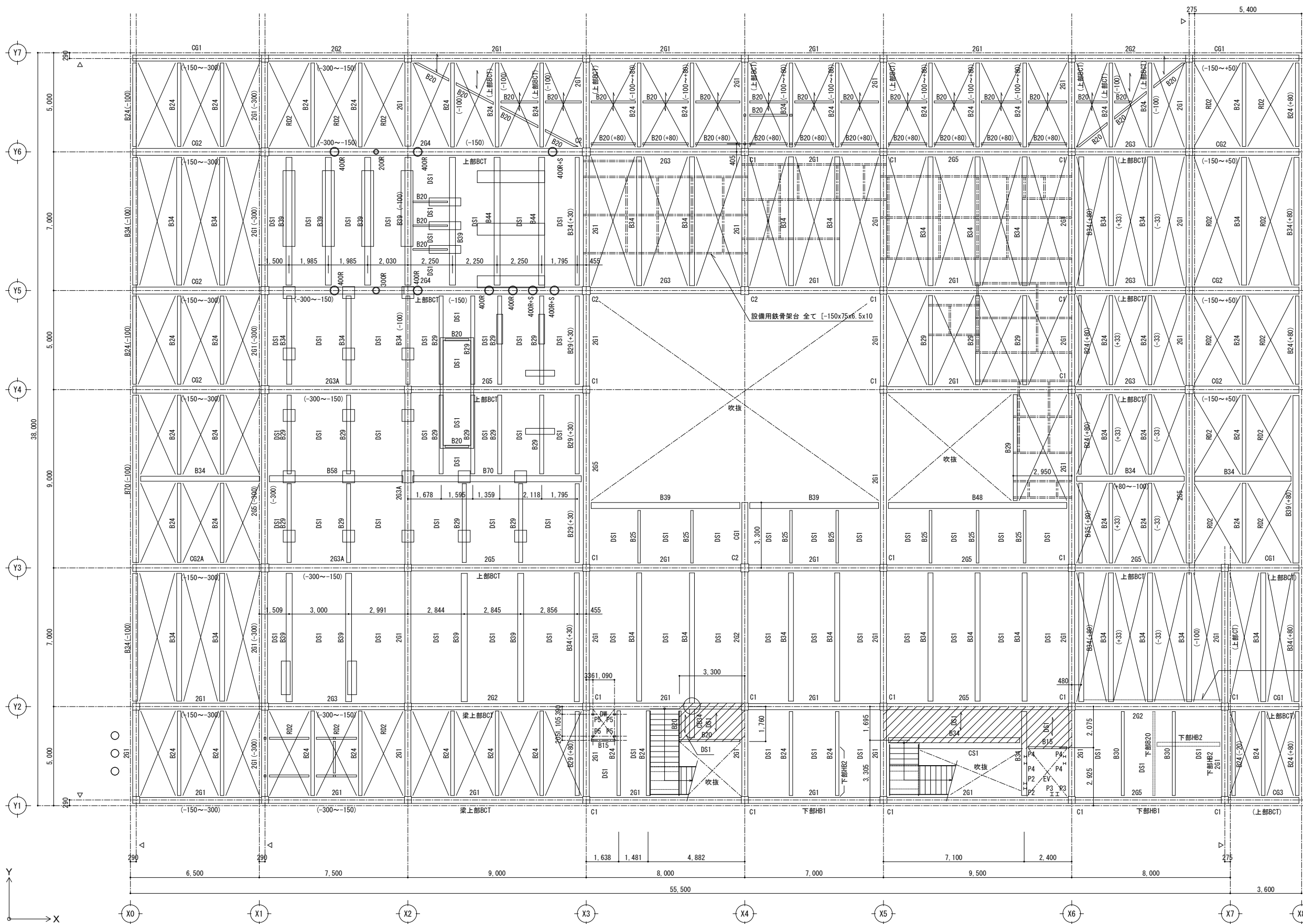
図面名	基礎伏図
図面種類	S
図面番号	
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)
図面番号	019



- 共通事項 特記なき限り下記による 1SL=IFL-15 (GL+985)
- 特記なき限り、通り心=柱心とする。
▽は柱心を示す。
 - 特記なきスラブ天端 GL+985

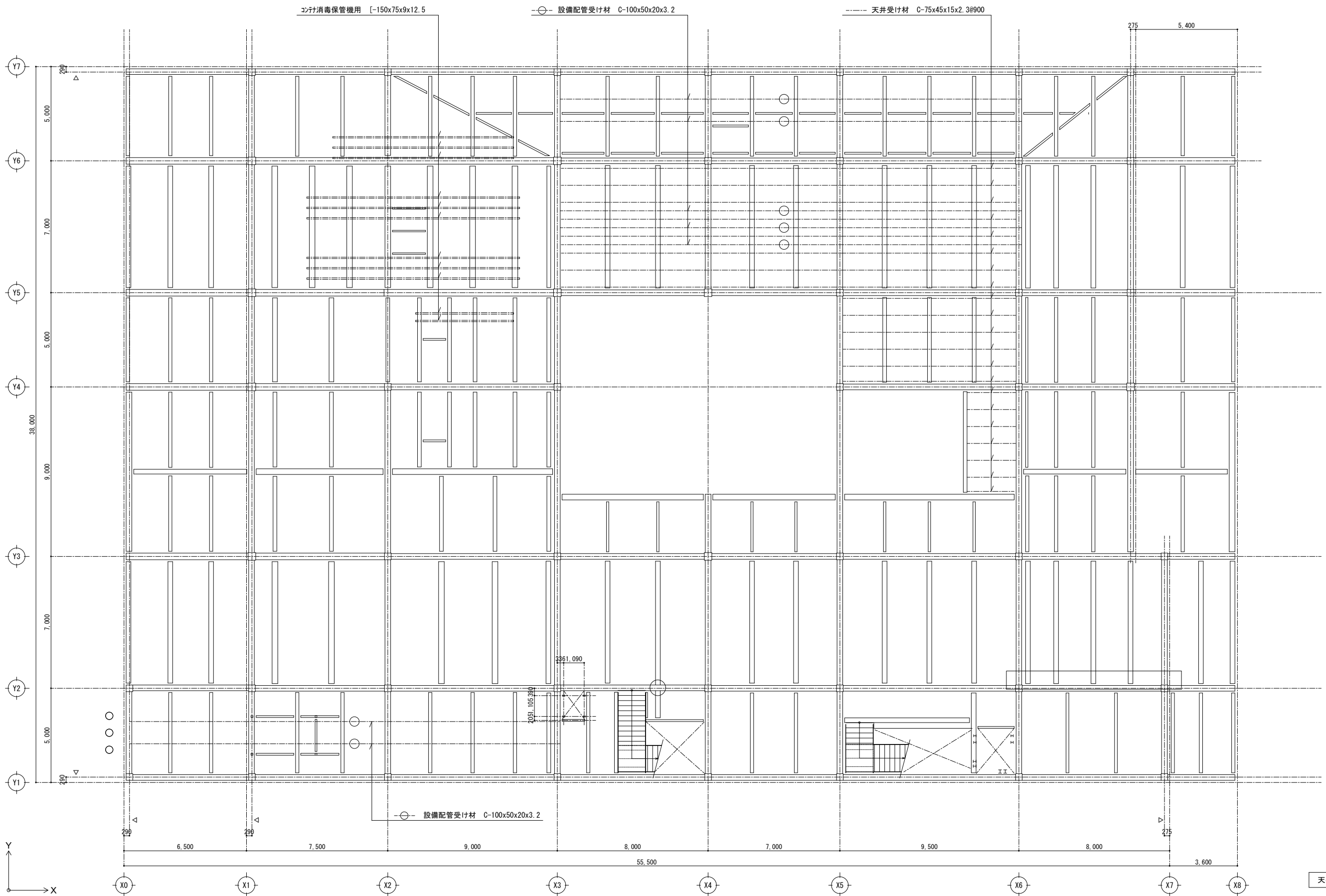
	スラブ天端 GL+725		スラブ天端 GL+375
	スラブ天端 GL+875		スラブ天端 GL+775
	スラブ天端 GL+575		スラブ天端 GL+950
	スラブ天端 GL+175		スラブ天端 GL+700
	スラブ天端 GL+900		スラブ天端 GL+910
 - 特記なきスラブ主筋はX方向を主筋方向とする。
←はスラブ主筋方向を示す。
 - 特記なき基礎梁・基礎小梁天端 GL+650
()内寸法はGLからの梁天端寸法を示す。
fb1, fb2の梁天端はスラブ天端とする。
 - 鉄骨柱位置を箱抜きする場合は、スラブ補強筋(S004図)を入れること。
 - 間仕切り壁下部の立上り壁の厚さは意匠図による。
 - ⊗は床下点検口を示す。

1階梁伏図 1:100



- 共通事項 特記なき限り下記による
- 特記なき梁天端 2FL-150
()内数値は、2FLから梁天端までの寸法を示す。
特記なきQL-7部の鉄骨小梁天端は接続する大梁天端+50とする。
特記なきQL-7部の鉄骨大梁天端は接続する大梁天端と同値とする。
QL-7部の鉄骨大梁天端は受け材C-100x50x20x3.2を流す。
RD1: QL99-50-12Y RD2: QL99-50-16Y
特記なきは RD1 とする。
敷き込み方向はX方向とし、連続支持とする。
→ はルーフ敷き込み方向を示す。
 - 符号 DS はQLデッキ (FP060FL-9095同等品) とする。
デッキ方向はX方向とし、連続支持とする。
→ はデッキ敷き込み方向を示す。
// のデッキ部分(単純支持)は、耐火補強筋を配筋すること。
 - 特記なき水平ブレースは BR1 とする。
 - は剛接合を示す。
 - は梁貫通孔を示す。(ハイリング工法)
 - 記号 HB は耐風梁を示し、横使いとする。

2階梁伏図 1:100



天井受け・設備受け材伏図 1:100

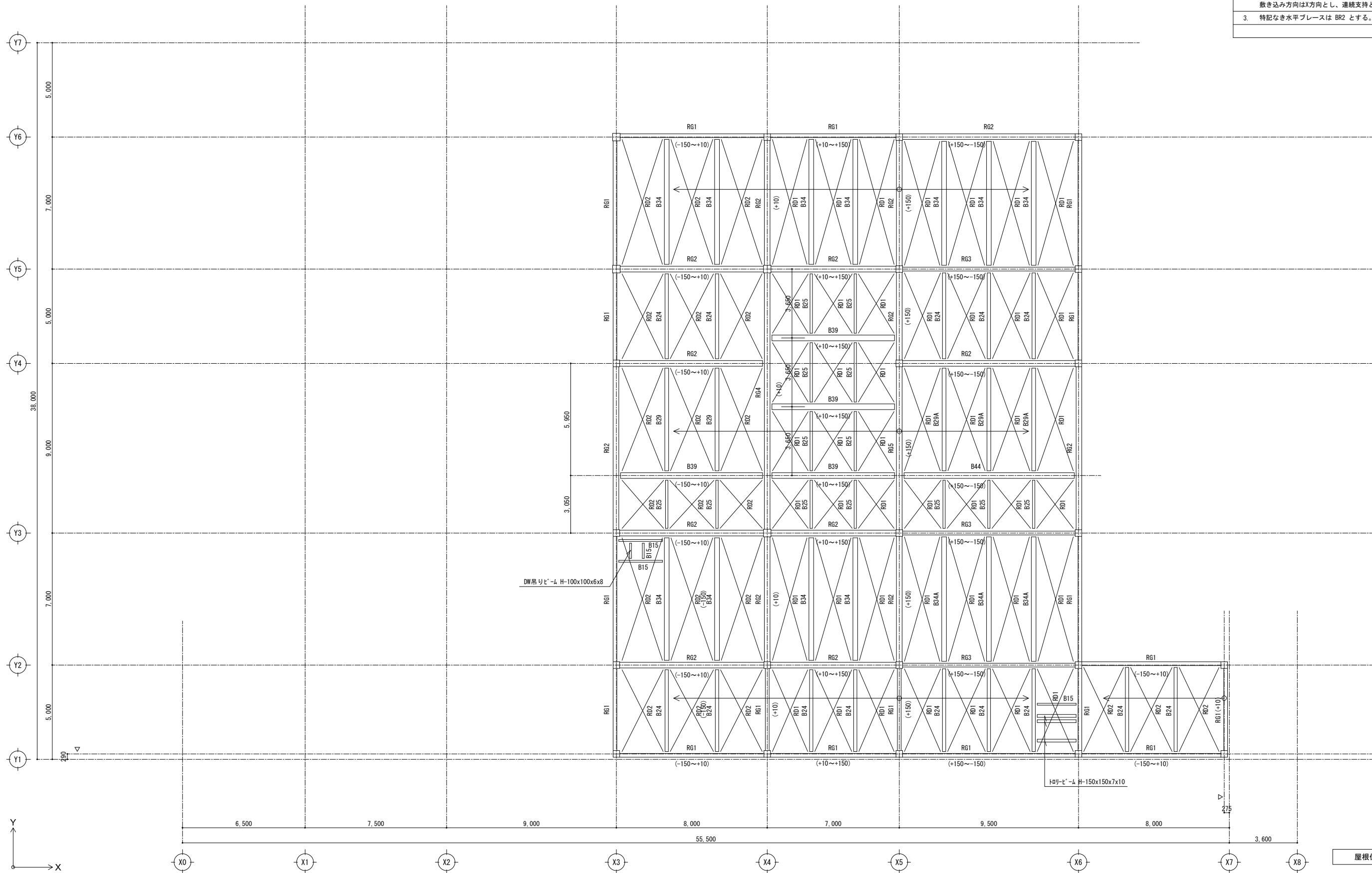

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号 22-127S	日付 2023年3月24日
設計部長 検 閱	担 当 製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭	図面名 天井受け・設備受け材伏図	図面種別 S
縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号 022	


共通事項		特記なき限り下記による
1.	特記なき梁天端	RFL-150
	()内数値は、RFLから梁天端までの寸法を示す。	
	鉄骨小梁天端は接続する大梁天端+50とする。	
2.	特記なき屋根材は	Q.L.ルーフ (FP030RF-0413同等品) とする。
	RD1 : QL99-50-12Y	RD2 : QL99-50-16Y
	敷き込み方向は	X方向とし、連続支持とする。
3.	特記なき水平ブレースは	BR2 とする。



屋根伏図 1:100

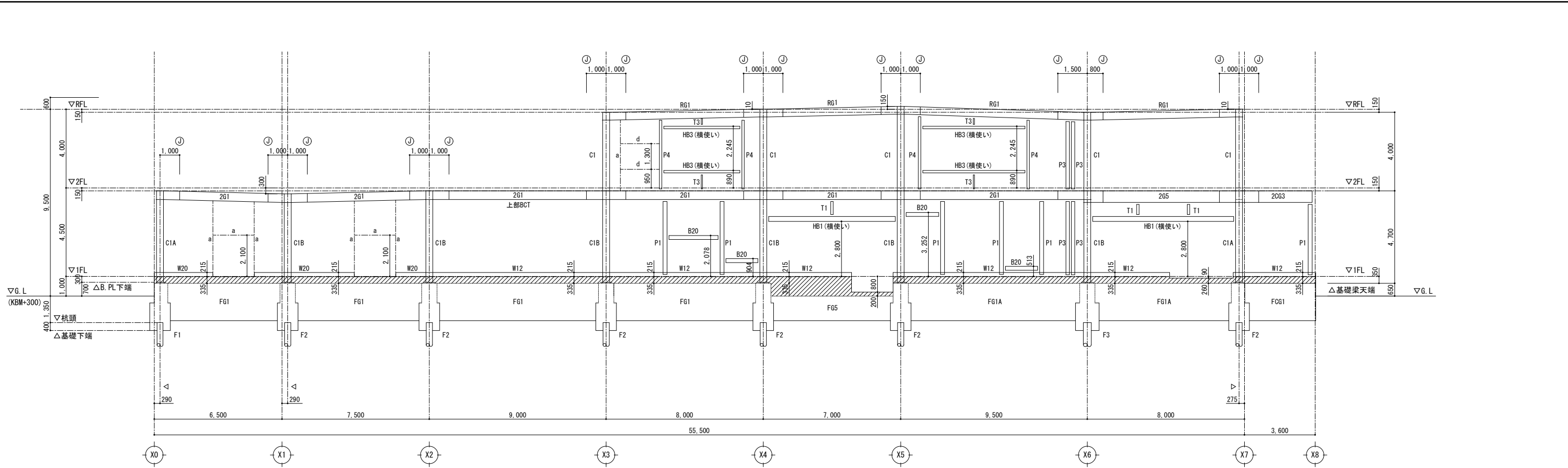
一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

図面名	屋根伏図
図面種別	S
図面番号	023
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)

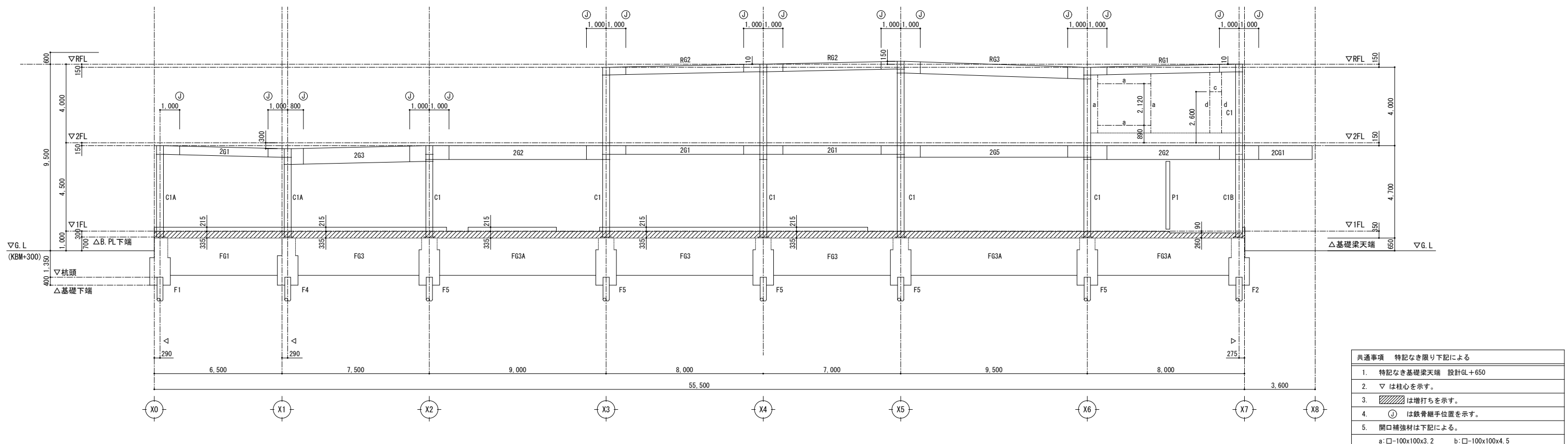

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	機園	担当	製園

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

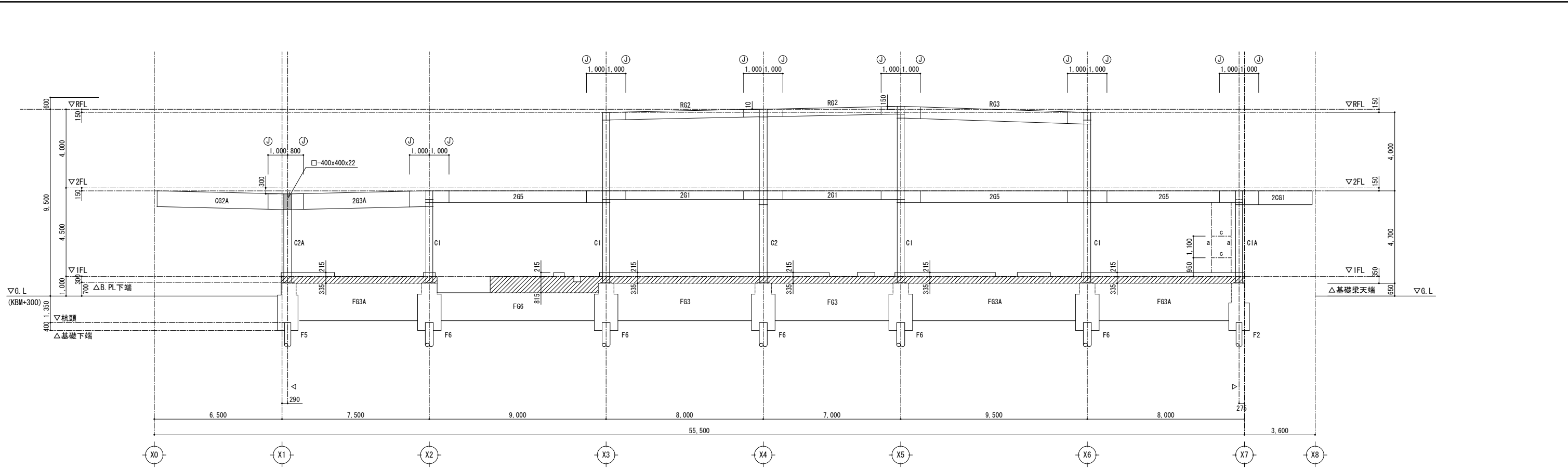


Y1通り軸組図 1:100

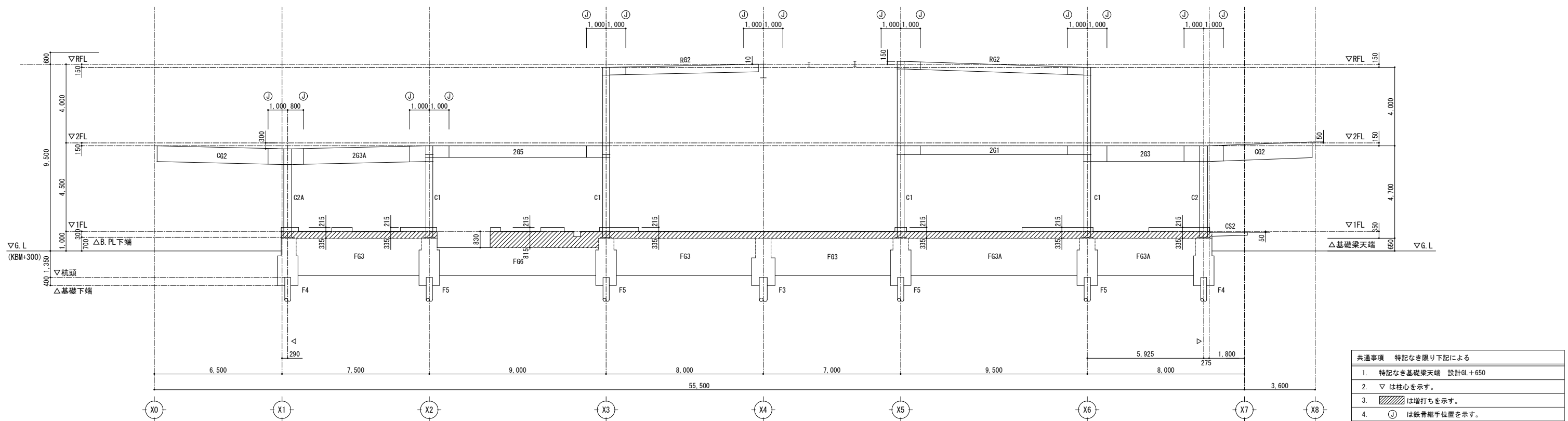


Y2通り軸組図 1:100

共通事項 特記なき限り下記による	
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	▽は柱心を示す。
3.	斜線は増打ちを示す。
4.	⊙は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
a:	□-100x100x3.2
b:	□-100x100x4.5
c:	L-75x75x6
d:	L-75x75x9

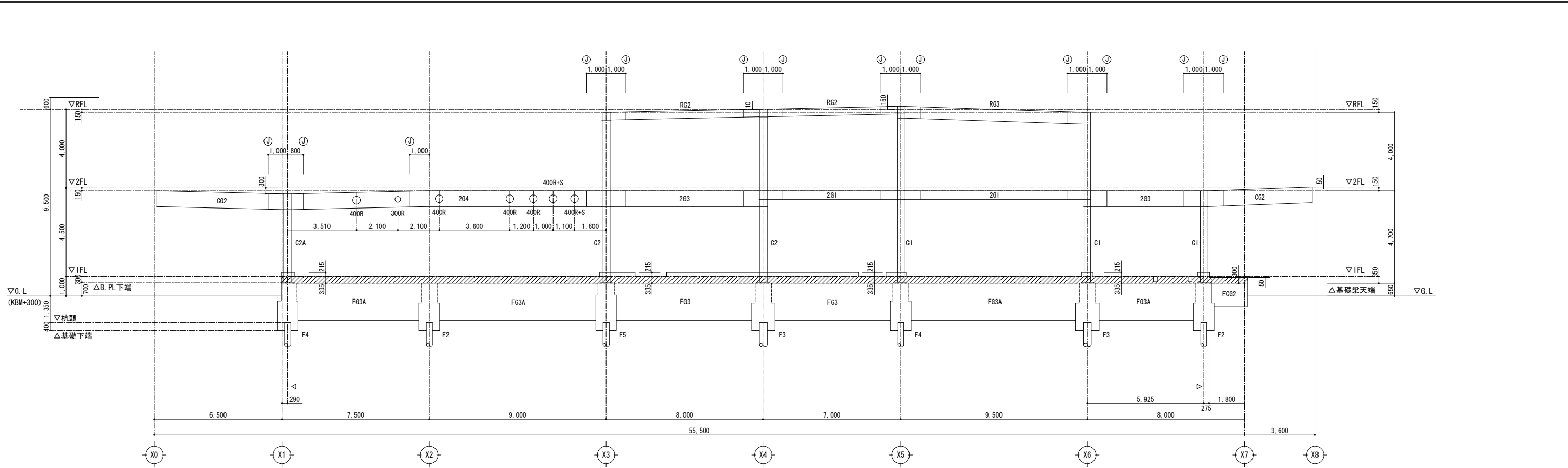


Y3通り軸組図 1:100

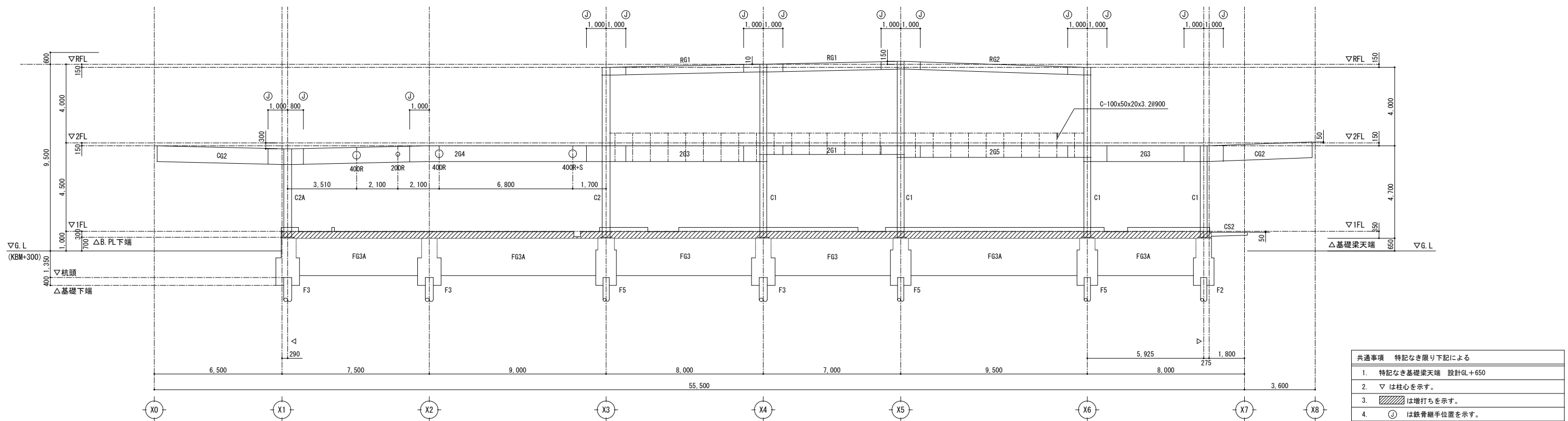


Y4通り軸組図 1:100

共通事項	特記なき限り下記による
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	▽は柱心を示す。
3.	斜線は増打ちを示す。
4.	⊙は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
	a: □-100x100x3.2 b: □-100x100x4.5
	c: L-75x75x6 d: L-75x75x9

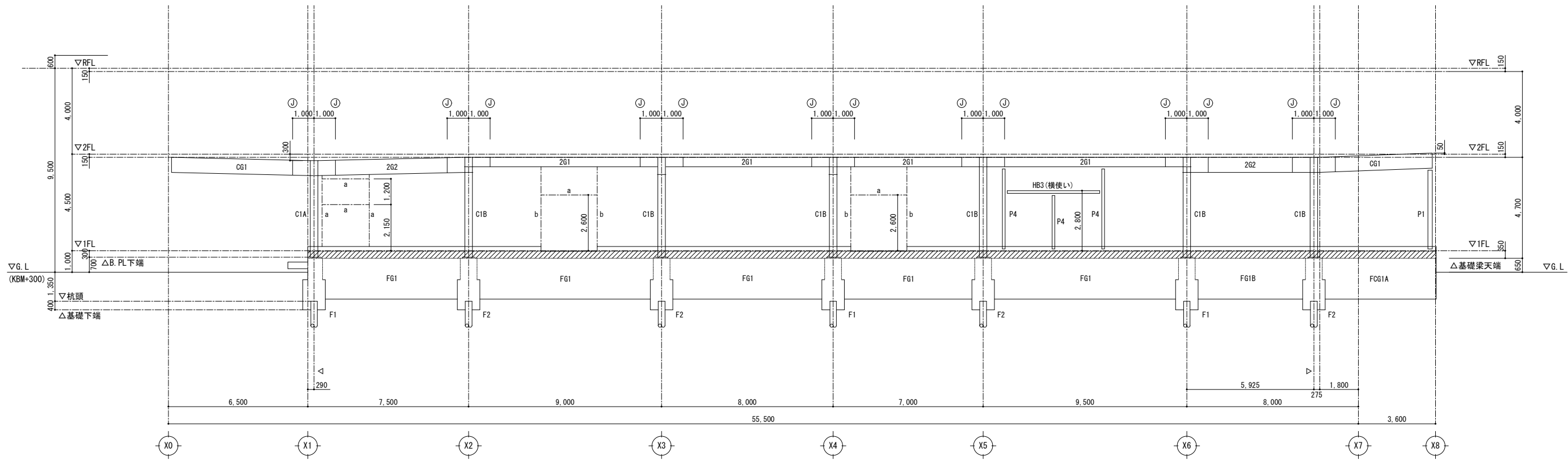


Y5通り軸組図 1:100



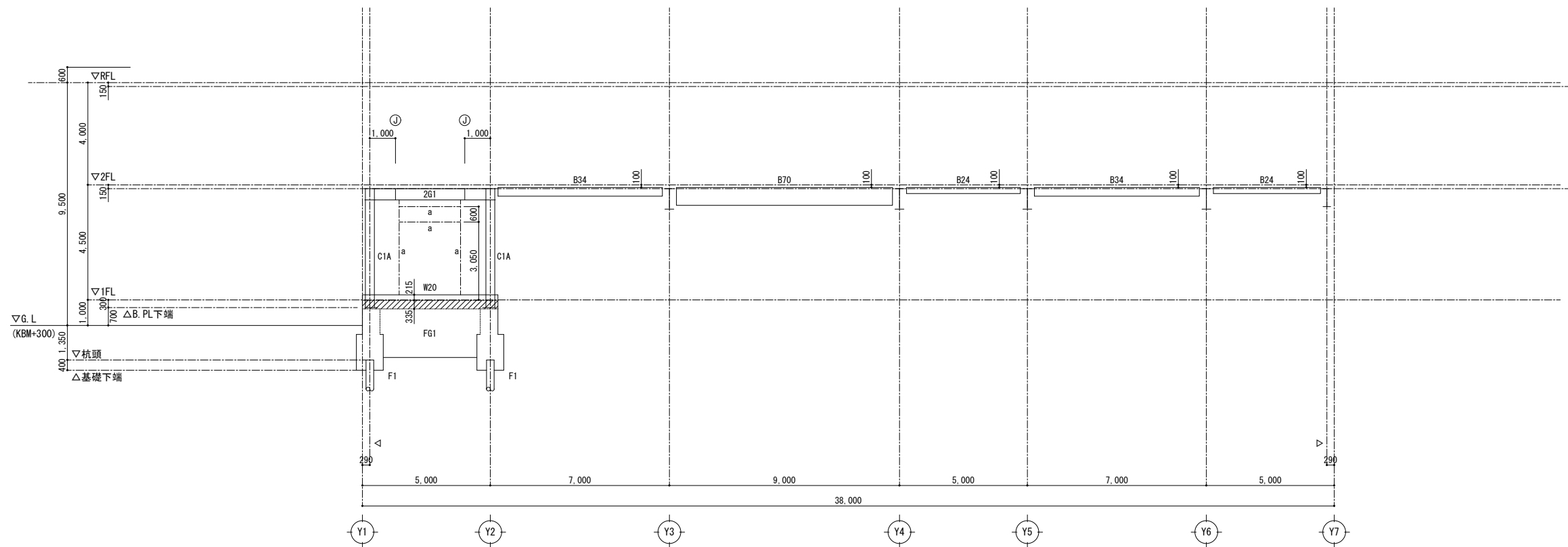
Y6通り軸組図 1:100

共通事項		特記なき限り下記による	
1.	特記なき基礎梁天端	設計	GL+650
2.	▽	は柱心を示す。	
3.	////	は増打ちを示す。	
4.	⊙	は鉄骨継手位置を示す。	
5.	開口補強材	は下記による。	
	a:	□-100x100x3.2	b: □-100x100x4.5
	c:	L-75x75x6	d: L-75x75x9

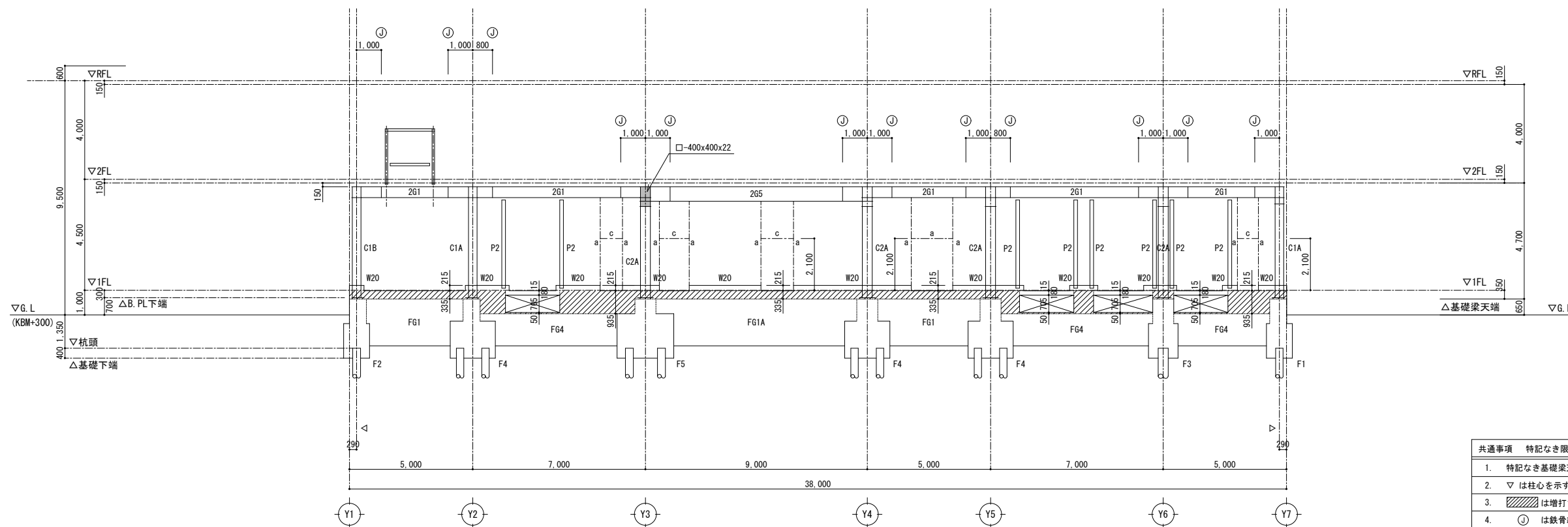


Y7通り軸組図 1:100

共通事項 特記なき限り下記による	
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	▽ は柱心を示す。
3.	▨ は増打ちを示す。
4.	⊙ は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
a:	□-100x100x3.2
b:	□-100x100x4.5
c:	L-75x75x6
d:	L-75x75x9



X0通り軸組図 1:100



X1通り軸組図 1:100

共通事項	特記なき限り下記による
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	▽は柱心を示す。
3.	斜線は増打ちを示す。
4.	⊙は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
	a: □-100x100x3.2 b: □-100x100x4.5
	c: L-75x75x6 d: L-75x75x9

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

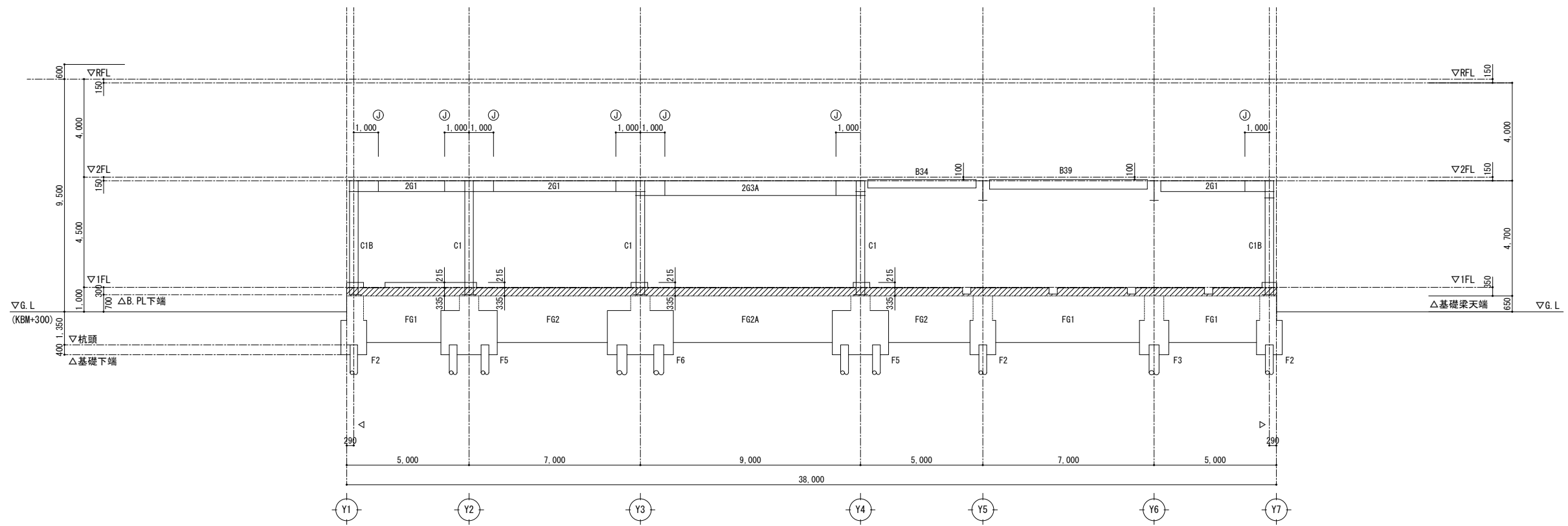
図面名	軸組図(5)
図面種別	S
図面番号	
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

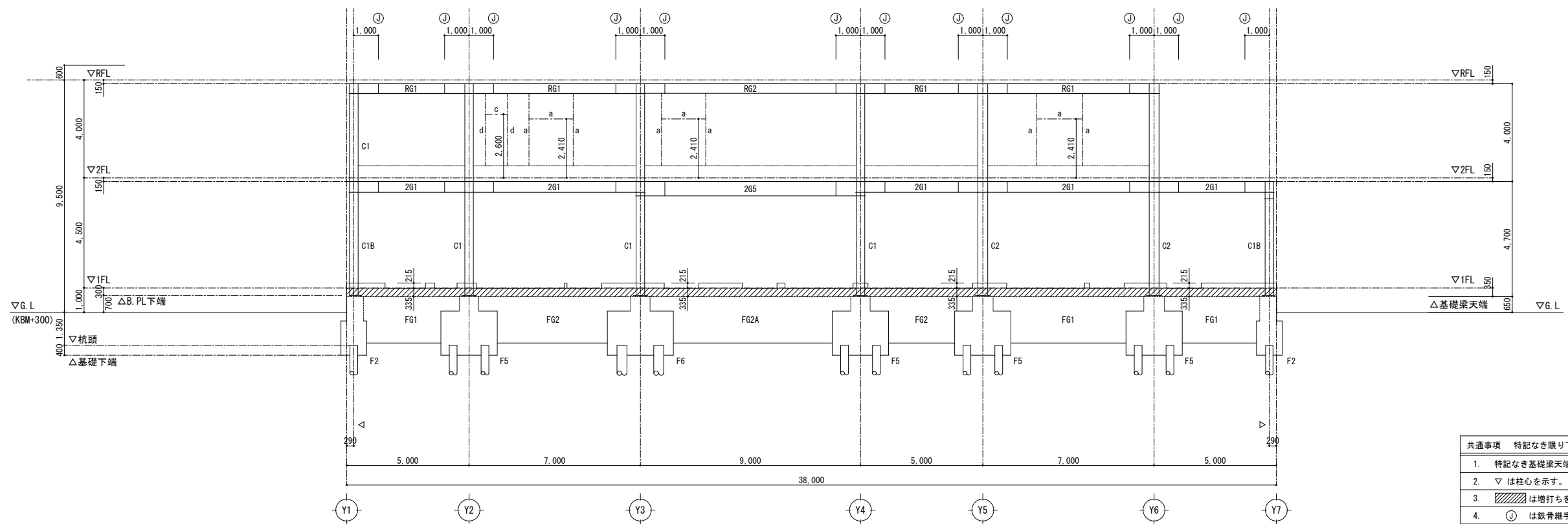
委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	松岡	担当	松岡
製図			

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

図面名	軸組図(5)	図面種別	S
図面番号		図面番号	
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)	縮尺	028



X2通り軸組図 1:100



X3通り軸組図 1:100

共通事項	特記なき限り下記による
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	▽は柱心を示す。
3.	斜線は増打ちを示す。
4.	⊙は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
	a: □-100x100x3.2 b: □-100x100x4.5
	c: L-75x75x6 d: L-75x75x9

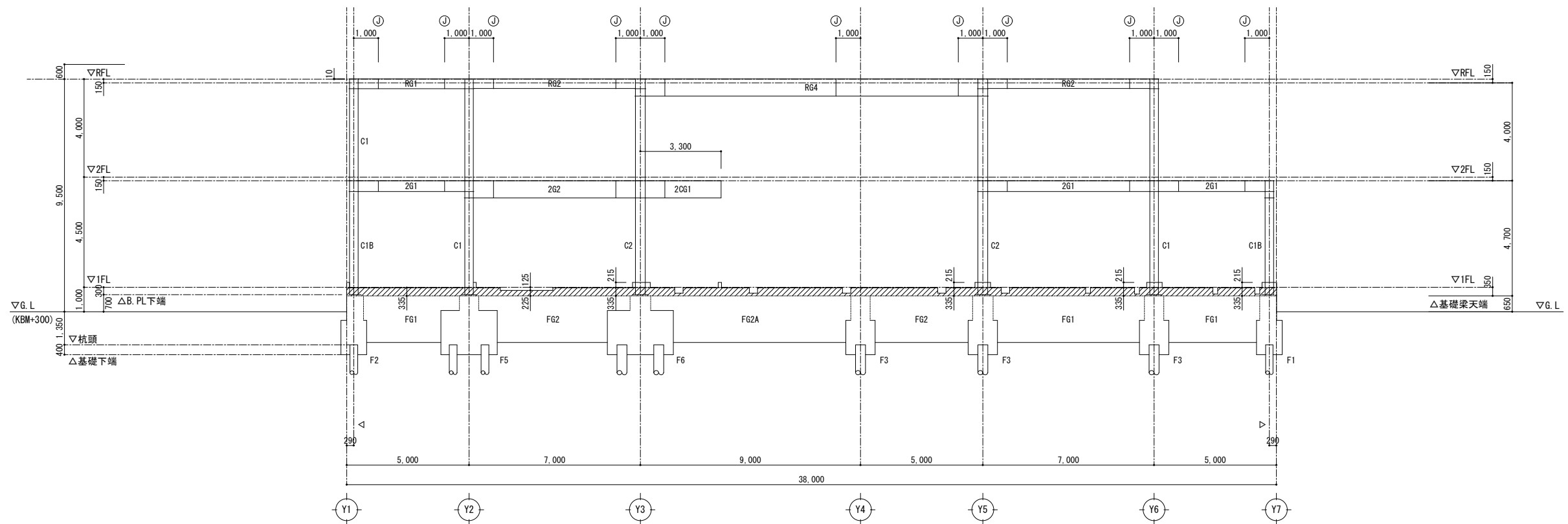
一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

図面名	軸組図(6)	図面種類	S
縮尺	S=1:100(A3版 50%縮小)	図面番号	029

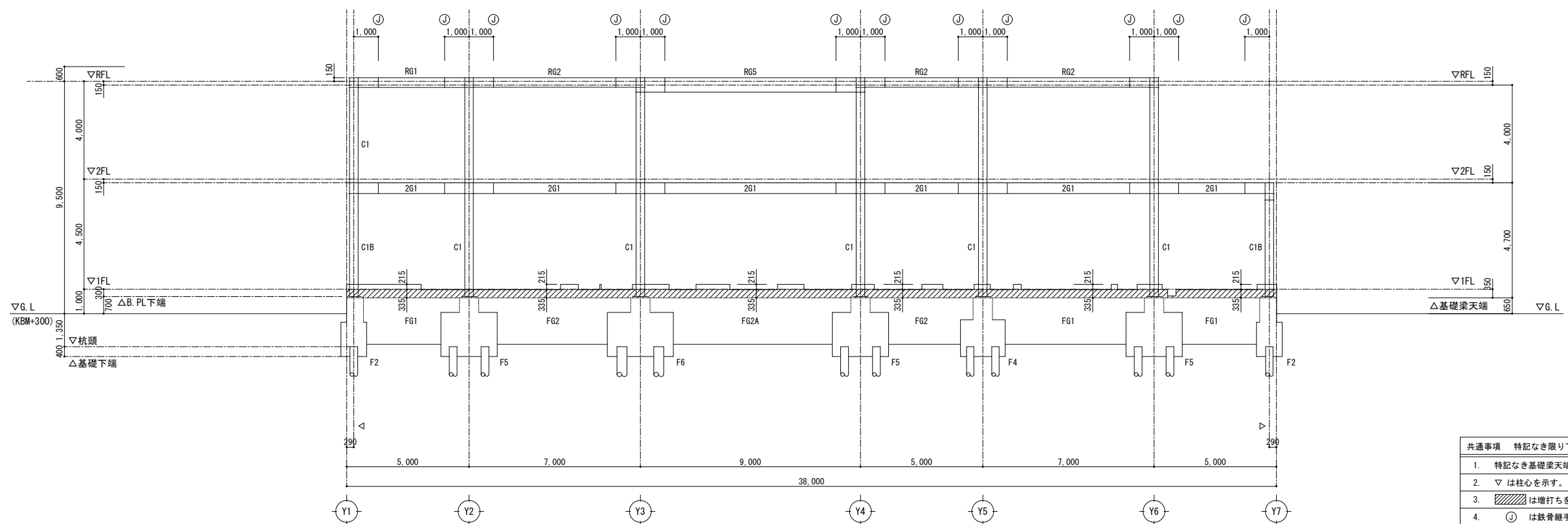

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	横田	担当	製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

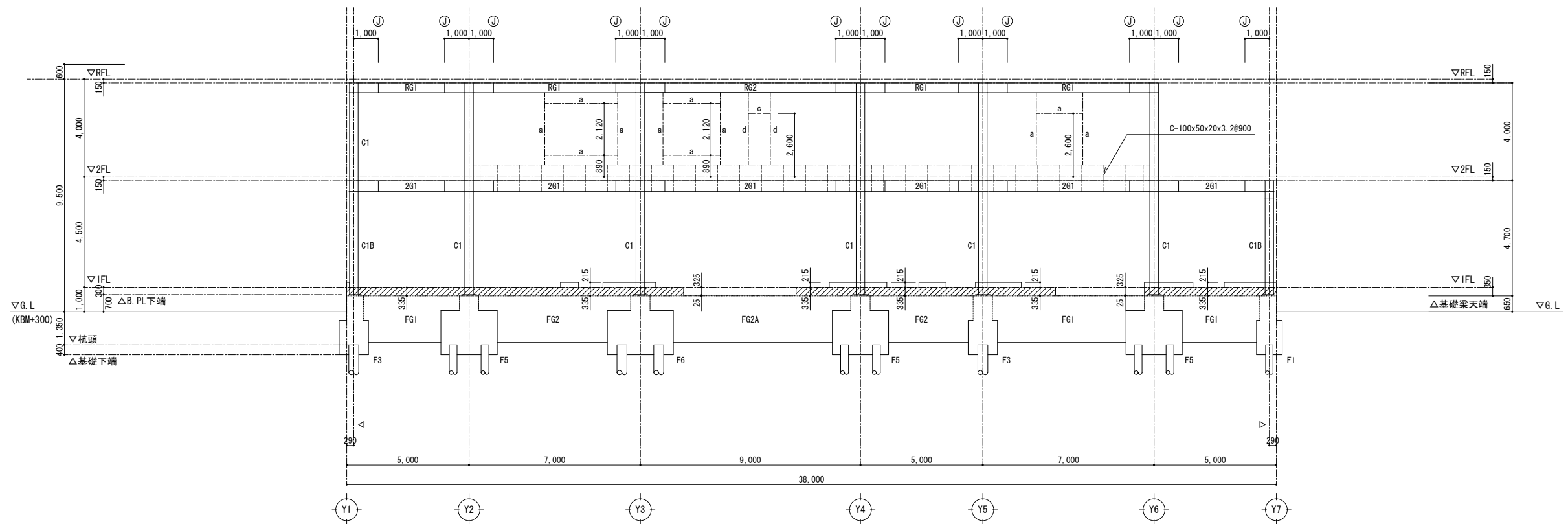


X4通り軸組図 1:100

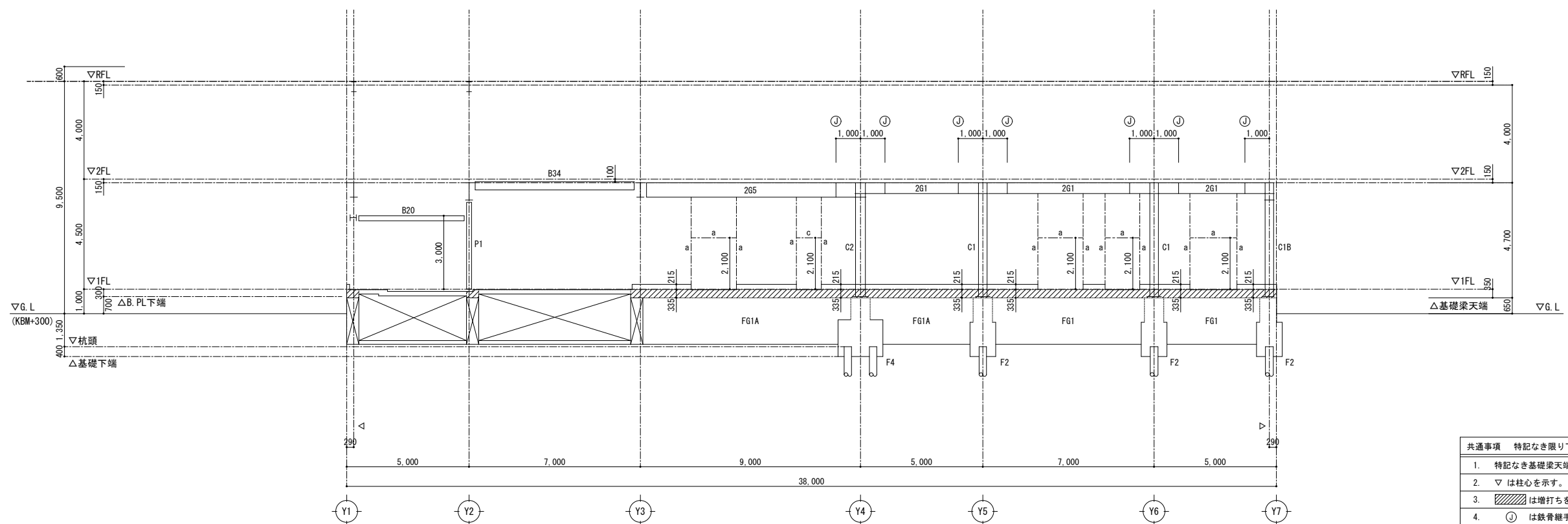


X5通り軸組図 1:100

共通事項	特記なき限り下記による
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	▽は柱心を示す。
3.	斜線は増打ちを示す。
4.	⊙は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
	a: □-100x100x3.2 b: □-100x100x4.5
	c: L-75x75x6 d: L-75x75x9



X6通り軸組図 1:100



X7-1800通り軸組図 1:100

共通事項	特記なき限り下記による
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	▽は柱心を示す。
3.	斜線は増打ちを示す。
4.	⊙は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
	a: □-100x100x3.2 b: □-100x100x4.5
	c: L-75x75x6 d: L-75x75x9

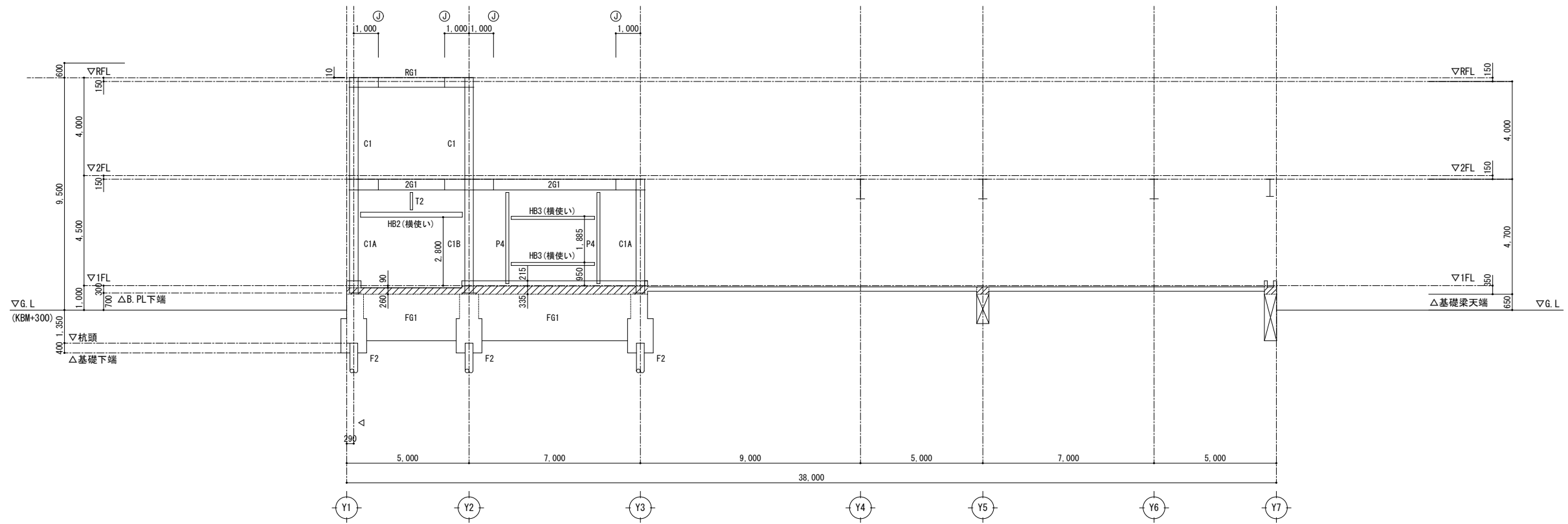
一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

図面名	軸組図(8)	図面種類	S
縮尺	S=1:100(A3版 50%縮小)	図面番号	031


株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	機 関	担 当	製 図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図



X7通り軸組図 1:100

共通事項 特記なき限り下記による	
1.	特記なき基礎梁天端 設計GL+650
2.	∇ は柱心を示す。
3.	は増打ちを示す。
4.	\odot は鉄骨継手位置を示す。
5.	開口補強材は下記による。
	a: \square -100x100x3.2 b: \square -100x100x4.5
	c: L-75x75x6 d: L-75x75x9

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭

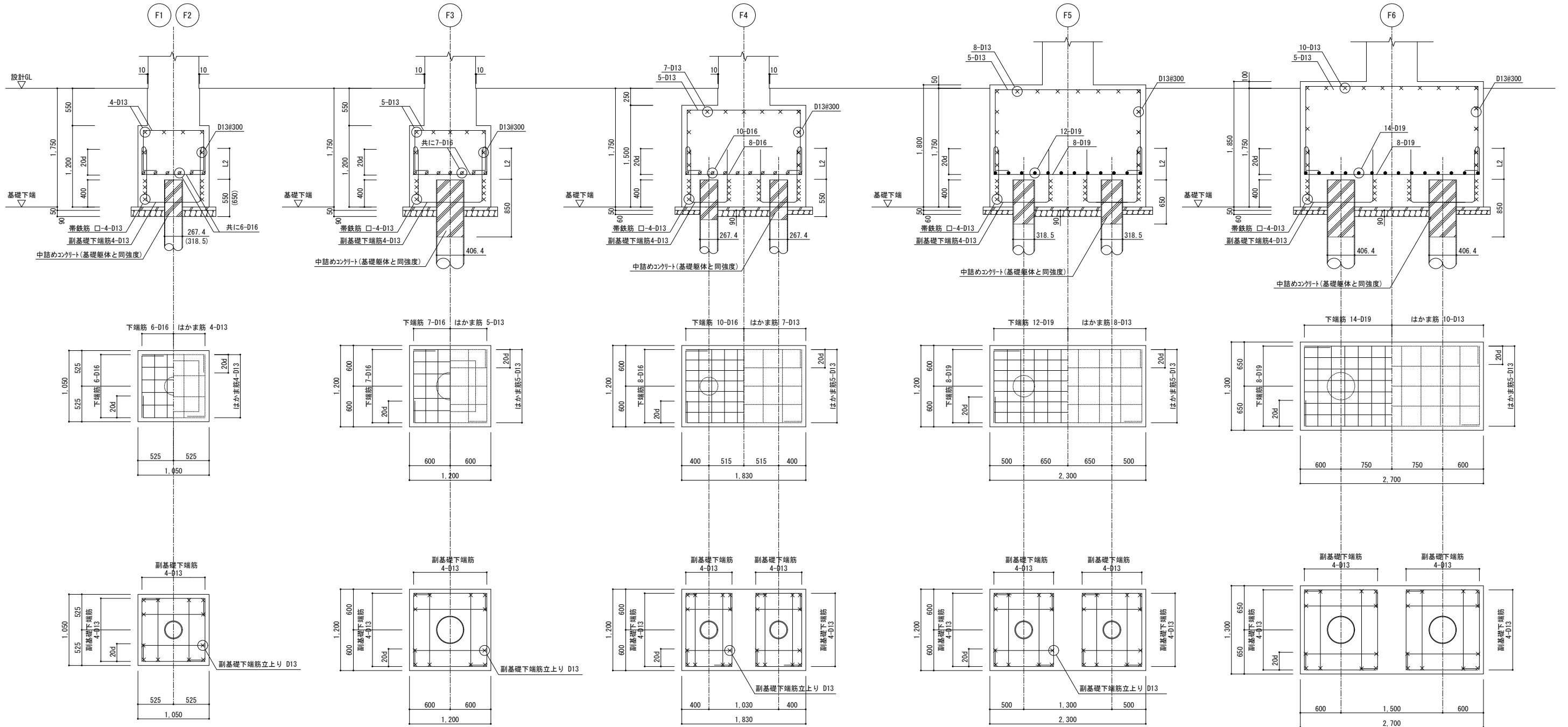
図面名	軸組図(9)	図面種別	S
縮尺	S=1:100(A3版 50%縮小)	図面番号	032

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

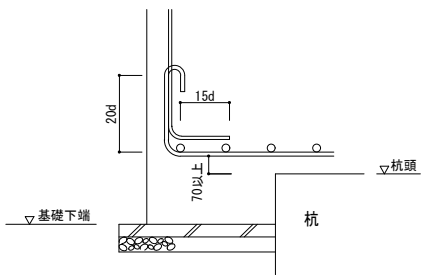
委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	松岡	担当	松岡
検図		製図	

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図

()内数値はF2を示す。



ベース筋、はかま筋配筋詳細 S=1:15

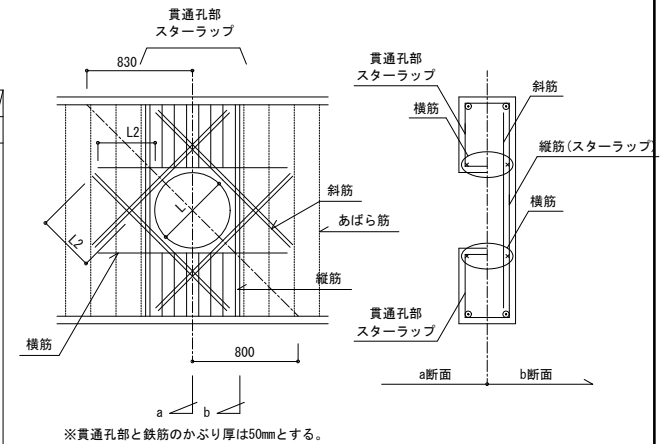


共通事項

特記なき限り下記による

1. 巾止め筋: D10-@1,000
2. 梁貫通孔の補強は、人通孔以外は既製品 リング型 日本建築センター評価取得品とする。
3. 既製品の補強は、決定されたメーカー仕様によるものとする。
4. 主筋の配置はX方向を上、Y方向を下にして交差させる。
5. 梁主筋の柱内定着長さは40dとする。

人通孔補強要領図

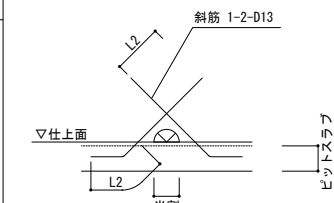


符号	縦筋	横筋	斜筋	貫通孔部 スターラップ	L
FG1・FG2A・FG3	3-D-D13	1-2-D13	2-2-D13	2-D-D13@100	600
FG2・FG3A	4-D-D13	1-2-D13	2-2-D16	2-D-D13@100	600

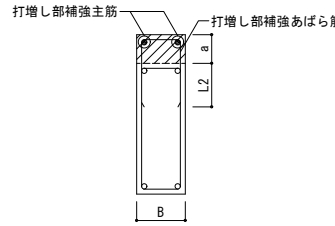
符号	FG1 ~ FG6										FCG1		FCG1A		FCG2
	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	元端・中央	先端	元端・中央	先端	全断面
断面	500×1,900	500×1,900	500×1,900	500×1,900	500×1,900	500×1,900	500×1,900	500×1,300	500×1,250	500×1,420	500×1,900		500×1,900		500×1,200
上端筋	4-D25	6(4/2)-D25	8(4/4)-D25	6(4/2)-D25	6(4/2)-D25	6(4/2)-D25	7(4/3)-D25	6(4/2)-D25	6(4/2)-D25	7(4/3)-D25	7(4/3)-D25	4-D25	8(4/4)-D25	4-D25	4-D25
下端筋	4-D25	5(4/1)-D25	5(4/1)-D25	4-D25	7(4/3)-D25	6(4/2)-D25	5(4/1)-D25	6(4/2)-D25	6(4/2)-D25	5(4/1)-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
スターラップ	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200		□-D13 @ 200		□-D13 @ 200
腹筋	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	6-D13	6-D13	6-D13	10-D13		10-D13		6-D13

符号	FB1 ~ FB1C				FB2		FB2A		FB2B		FB2C		FB3	FB4	fb1	fb2
	全断面	全断面	全断面	全断面	外端	中央・連続端	全断面	Y2端・中央	Y3端	連続端	中央	外端	全断面	全断面	全断面	全断面
断面	350×800	350×800	350×800	350×800	450×1,200		450×1,200	450×1,200		450×1,200		350×1,900	350×1,200	250×595	300×595	
上端筋	3-D22	4(3/1)-D22	4(3/1)-D22	3-D22	4-D22	7(4/3)-D22	4-D22	8(4/4)-D22	8(4/4)-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D16	3-D19	
下端筋	3-D22	3-D22	4(3/1)-D22	5(3/2)-D22	4-D22	6(4/2)-D22	5(4/1)-D22	4-D22	4-D22	4-D22	7(4/3)-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D16	3-D19
スターラップ	□-D10 @ 200	□-D10 @ 200	□-D10 @ 200	□-D10 @ 200	□-D13 @ 200		□-D13 @ 200	□-D13 @ 200		□-D13 @ 200		□-D13 @ 200	□-D10 @ 200	□-D10 @ 200	□-D10 @ 200	□-D10 @ 200
腹筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	4-D13		4-D13	4-D13		4-D13		10-D13	4-D13	-	-	

通水管(半割部)補強要領図



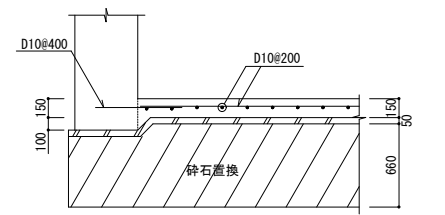
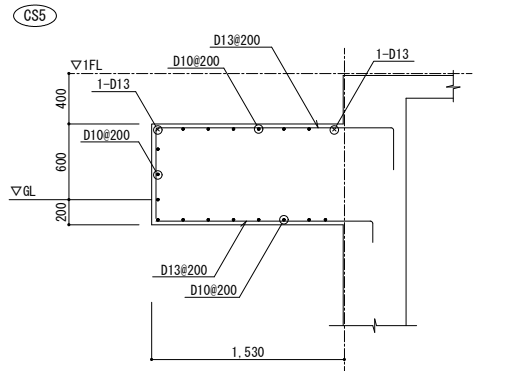
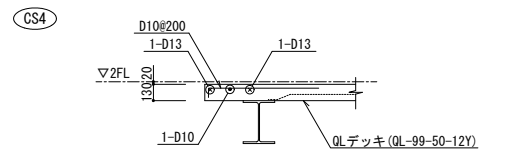
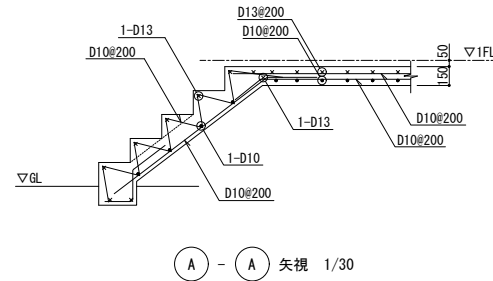
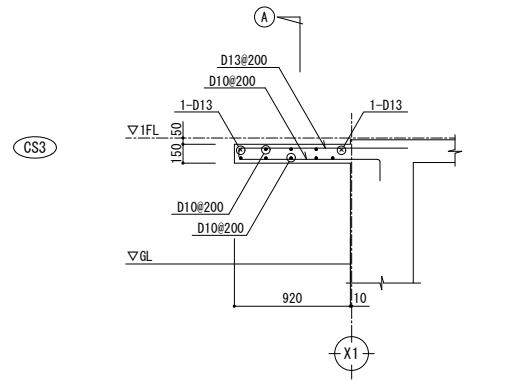
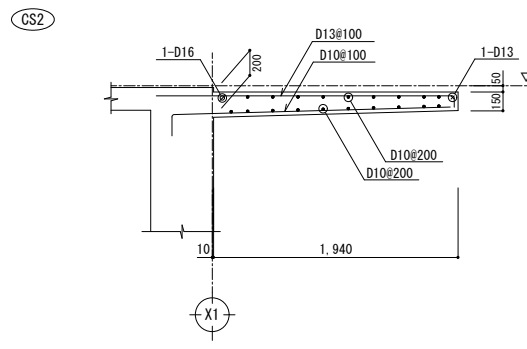
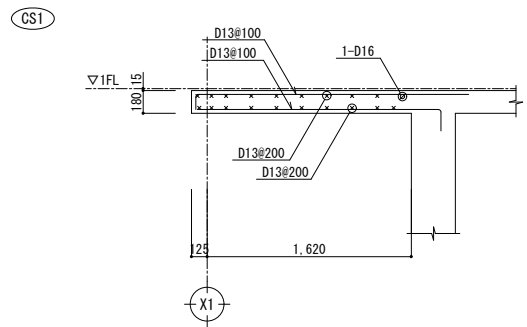
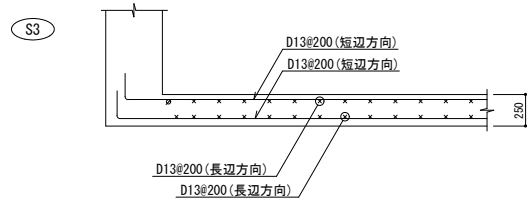
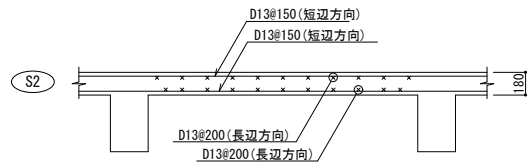
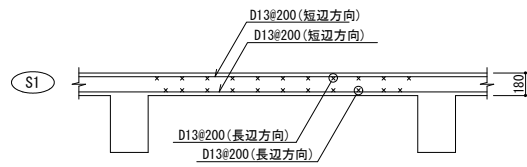
増し打ち配筋要領図



1. 小梁・耐力壁の鉄筋の定着長さは、梁体内で確保し、打増し部は定着長さに算入しない。
2. 打増し部腹筋は梁と同径・同段数とする。

補強主筋	梁主筋の1段落とし@300以下
補強あばら筋	梁あばら筋と同径同ピッチ
補強腹筋	a=400以上~900以下 2-D10
	a=900以上~1200以下 4-D10

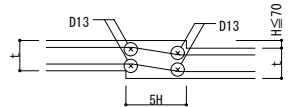
スラブリスト S=1:30



土間コンクリート配筋図

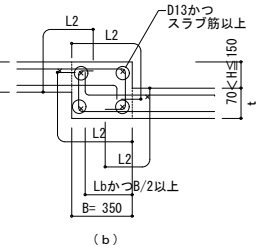
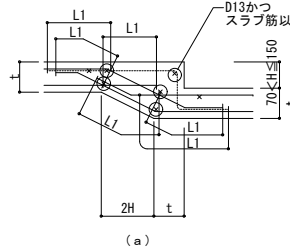
段差スラブ配筋要領図 S=1:30

1) 段差 H ≤ 70 の場合

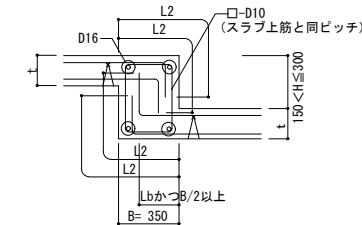


2) 段差 70 < H ≤ 150 の場合

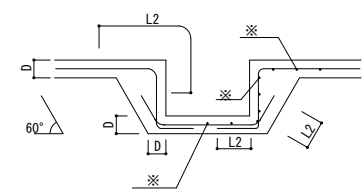
(a) 又は (b) とする。



3) 段差 150 < H ≤ 300 の場合

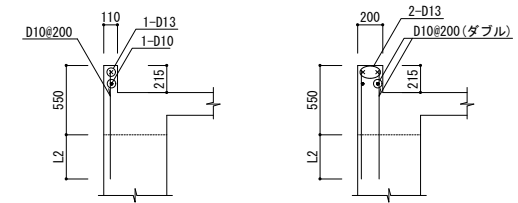


釜場配筋要領図 S=1:30

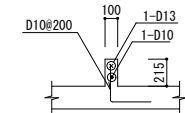


※印は土間スラブ配筋、短辺方向に同じ。
Dの寸法は、土間コンクリートの厚さに同じ。

立上り壁配筋図 S=1:30



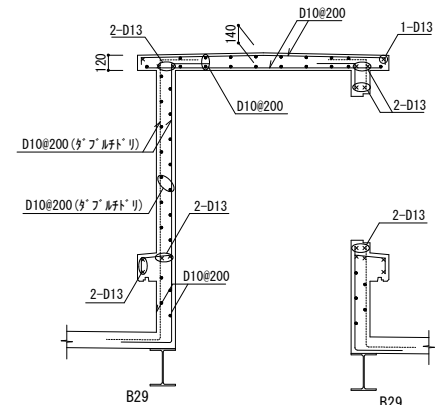
立上り壁 (外壁)



立上り壁 (内壁)

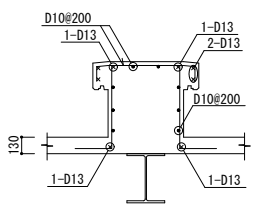
※壁厚 t=135, 160も同配筋とする

ハト小屋配筋詳細図 S=1:30

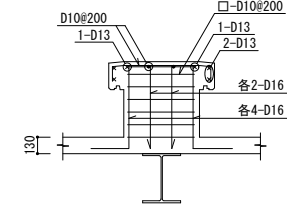


設備基礎配筋要領図 S=1:30

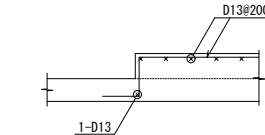
1) 下駄形基礎



2) 独立基礎



3) ベた基礎

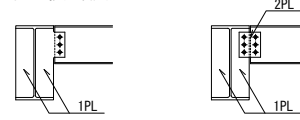


鉄骨部材リスト

鋼板類	: SM400B
柱通しダイヤフラム	: SM490C
高力ボルト	: S10T
中ボルト	: SS400

符号	サイズ	材種	備考
RG1	H - 400 x 200 x 8 x 13	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG2	H - 390 x 300 x 10 x 16	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG3	H - 600 x 200 x 11 x 17	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG4	H - 700 x 300 x 13 x 24	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG5	H - 588 x 300 x 12 x 20	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
2G1	H - 440 x 300 x 11 x 18	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照・ピン接合部は PL-12 H.T.B 4-M22
2G2	H - 700 x 300 x 13 x 24	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
2G3	H - 800 x 300 x 14 x 26	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
2G3A	H - 800 x 350 x 16 x 32	両端: SN490B 中央: SM490A	継手リスト参照
2G4	H - 800 x 350 x 16 x 32	両端: SN490B 中央: SM490A	継手リスト参照
2G5	H - 588 x 300 x 12 x 20	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
CG1	H - 700 x 300 x 13 x 24	元端: SN400B 先端: SS400	継手リスト参照
CG2	H - 800 x 350 x 16 x 32	元端: SN490B 先端: SM490A	継手リスト参照
CG2A	H - 800 x 350 x 19 x 36	元端: SN490B 先端: SM490A	継手リスト参照
CG3	H - 588 x 300 x 12 x 20	元端: SN400B 先端: SS400	継手リスト参照
B15	H - 150 x 75 x 5 x 7	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
B20	H - 200 x 100 x 5.5 x 8	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
B24	H - 244 x 175 x 7 x 11	SS400	PL - 9 H.T.B 2 - M20
B25	H - 250 x 125 x 6 x 9	SS400	PL - 9 H.T.B 2 - M20 ※RF建物外周部は 3-M20
B29	H - 294 x 200 x 8 x 12	SS400	PL - 9 H.T.B 3 - M20
B29A	H - 294 x 200 x 8 x 12	SS400	2PL - 9 H.T.B 3 - M20 (TYPE-2)
B30	H - 300 x 150 x 6.5 x 9	SS400	PL - 9 H.T.B 3 - M20
B34	H - 340 x 250 x 9 x 14	SS400 剛接合部はSN400B	PL - 12 H.T.B 4 - M20
B34A	H - 340 x 250 x 9 x 14	SS400	2PL - 12 H.T.B 4 - M20 (TYPE-2)
B39	H - 390 x 300 x 10 x 16	SS400	PL - 12 H.T.B 4 - M20
B44	H - 440 x 300 x 11 x 18	SS400	PL - 12 H.T.B 4 - M22
B48	H - 488 x 300 x 11 x 18	SS400	PL - 12 H.T.B 5 - M22
B58	H - 588 x 300 x 12 x 20	SS400	PL - 12 H.T.B 5 - M22
B70	H - 700 x 300 x 13 x 24	SS400	PL - 16 H.T.B 7 - M22
CB34	H - 340 x 250 x 9 x 14	SN400B	継手リスト参照
HB1	H - 250 x 250 x 9 x 14	SS400	PL - 12 H.T.B 3 - M16
HB2	H - 200 x 200 x 8 x 12	SS400	PL - 9 H.T.B 2 - M16
HB3	H - 125 x 125 x 6.5 x 9	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
C1	□ - 350 x 350 x 16 (λ = 52.6)	BCR295	ス-N'-スNE0 (Gﾀｲﾌﾟ) GB350 - 4 - 42
C1A	□ - 350 x 350 x 16 (λ = 52.6)	BCR295	ス-N'-スN'-ス (BCﾀｲﾌﾟ) BC350 - S1 - 42
C1B	□ - 350 x 350 x 16 (λ = 53.7)	BCR295	ス-N'-スN'-ス (BSﾀｲﾌﾟ) BS350 - S1 - 42
C2	□ - 400 x 400 x 19 (λ = 56.0)	BCR295	ス-N'-スNE0 (Gﾀｲﾌﾟ) GB400 - 4 - 42
C2A	□ - 400 x 400 x 19 (λ = 44.9)	BCR295	ス-N'-スN'-ス (BSﾀｲﾌﾟ) BS400 - S1 - 48
P1	H - 200 x 200 x 8 x 12	SS400	PL - 9 H.T.B 2 - M16
P2	H - 150 x 150 x 7 x 10	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
P3	H - 175 x 175 x 7.5 x 11	SS400	PL - 9 H.T.B 2 - M16
P4	H - 125 x 125 x 6.5 x 9	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
P5	H - 100 x 100 x 6 x 8	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
T1	H - 250 x 125 x 6 x 9	SS400	PL - 9 H.T.B 2 - M20
T2	H - 200 x 100 x 5.5 x 8	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
T3	H - 125 x 60 x 6 x 8	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
BR1	M-27	JIS規格品	PL - 12 H.T.B 2 - M20
BR2	M-20	JIS規格品	PL - 9 H.T.B 1 - M20
DW吊りビーム	H - 100 x 100 x 6 x 8	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
EVI吊りビーム	H - 150 x 150 x 7 x 10	SS400	PL - 6 H.T.B 2 - M16
設備架台	[- 150 x 75 x 6.5 x 10	SS400	PL - 6 (RivPL-6) H.T.B 2 - M16
天井受材	C - 75 x 45 x 15 x 2.3	SS400	PL - 4.5 中ﾀﾞｲ 2 - M12
設備配管受材	C - 100 x 50 x 20 x 3.2	SS400	PL - 6 中ﾀﾞｲ 2 - M12

・小梁ピン接合部継手



(特記なきはTYPE-1とする)

継手リスト S=1:30

符号	サイズ	材種	備考
RG1	H - 400 x 200 x 8 x 13	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG2	H - 390 x 300 x 10 x 16	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG3	H - 600 x 200 x 11 x 17	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG4	H - 700 x 300 x 13 x 24	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
RG5	H - 588 x 300 x 12 x 20	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
2G1	H - 440 x 300 x 11 x 18	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照・ピン接合部は PL-12 H.T.B 4-M22
2G2	H - 700 x 300 x 13 x 24	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
2G3	H - 800 x 300 x 14 x 26	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
2G3A	H - 800 x 350 x 16 x 32	両端: SN490B 中央: SM490A	継手リスト参照
2G4	H - 800 x 350 x 16 x 32	両端: SN490B 中央: SM490A	継手リスト参照
2G5	H - 588 x 300 x 12 x 20	両端: SN400B 中央: SS400	継手リスト参照
CG1	H - 700 x 300 x 13 x 24	元端: SN400B 先端: SS400	継手リスト参照
CG2	H - 800 x 350 x 16 x 32	元端: SN490B 先端: SM490A	継手リスト参照
CG2A	H - 800 x 350 x 19 x 36	元端: SN490B 先端: SM490A	継手リスト参照
CG3	H - 588 x 300 x 12 x 20	元端: SN400B 先端: SS400	継手リスト参照
B34	H - 340 x 250 x 9 x 14	SN400B	継手リスト参照
B39	H - 390 x 300 x 10 x 16	SS400	PL - 12 H.T.B 4 - M20
B44	H - 440 x 300 x 11 x 18	SS400	PL - 12 H.T.B 4 - M22
B48	H - 488 x 300 x 11 x 18	SS400	PL - 12 H.T.B 5 - M22
B58	H - 588 x 300 x 12 x 20	SS400	PL - 12 H.T.B 5 - M22
B70	H - 700 x 300 x 13 x 24	SS400	PL - 16 H.T.B 7 - M22
CG1	H - 700 x 300 x 13 x 24	元端: SN400B 先端: SS400	継手リスト参照
CG2	H - 800 x 350 x 16 x 32	元端: SN490B 先端: SM490A	継手リスト参照
CG2A	H - 800 x 350 x 19 x 36	元端: SN490B 先端: SM490A	継手リスト参照
CG3	H - 588 x 300 x 12 x 20	元端: SN400B 先端: SS400	継手リスト参照
B34-CB34	H - 340 x 250 x 9 x 14	SN400B	継手リスト参照

間柱柱脚リスト S=1:30

符号	P1	P2	P3	P4	P5
鉄骨断面	H - 200 x 200 x 8 x 12	H - 150 x 150 x 7 x 10	H - 175 x 175 x 7.5 x 11	H - 125 x 125 x 6.5 x 9	H - 100 x 100 x 6 x 8
断面形状					
へ-スプレート	PL-12x170x200 (SN400B)	PL-9x110x200 (SN400B)	PL-9x110x200 (SN400B)	PL-9x110x200 (SN400B)	PL-9x90x130 (SN400B)
アコボット	2-M16 L=360 ﾏﾞﾌﾞ ﾏｯﾄ.ﾌｯｸ付 (SS400)	2-M16 L=360 ﾏﾞﾌﾞ ﾏｯﾄ.ﾌｯｸ付 (SS400)	2-M16 L=360 ﾏﾞﾌﾞ ﾏｯﾄ.ﾌｯｸ付 (SS400)	2-M16 L=360 ﾏﾞﾌﾞ ﾏｯﾄ.ﾌｯｸ付 (SS400)	2-M16 L=360 ﾏﾞﾌﾞ ﾏｯﾄ.ﾌｯｸ付 (SS400)
ｶﾞﾚｯﾄプレート	G.PL-9 H.T.B 2-M16	G.PL-9 H.T.B 2-M16	G.PL-9 H.T.B 2-M16	G.PL-6 中ﾀﾞｲ 2-M16	G.PL-6 中ﾀﾞｲ 2-M16
備考	-	-	-	-	-

一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 公昭



株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

図面番号 22-127S
 日付 2023年3月24日
 設計部長 機園 担当 製図

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)

設計図

図面名

鉄骨リスト・継手リスト

図面種別

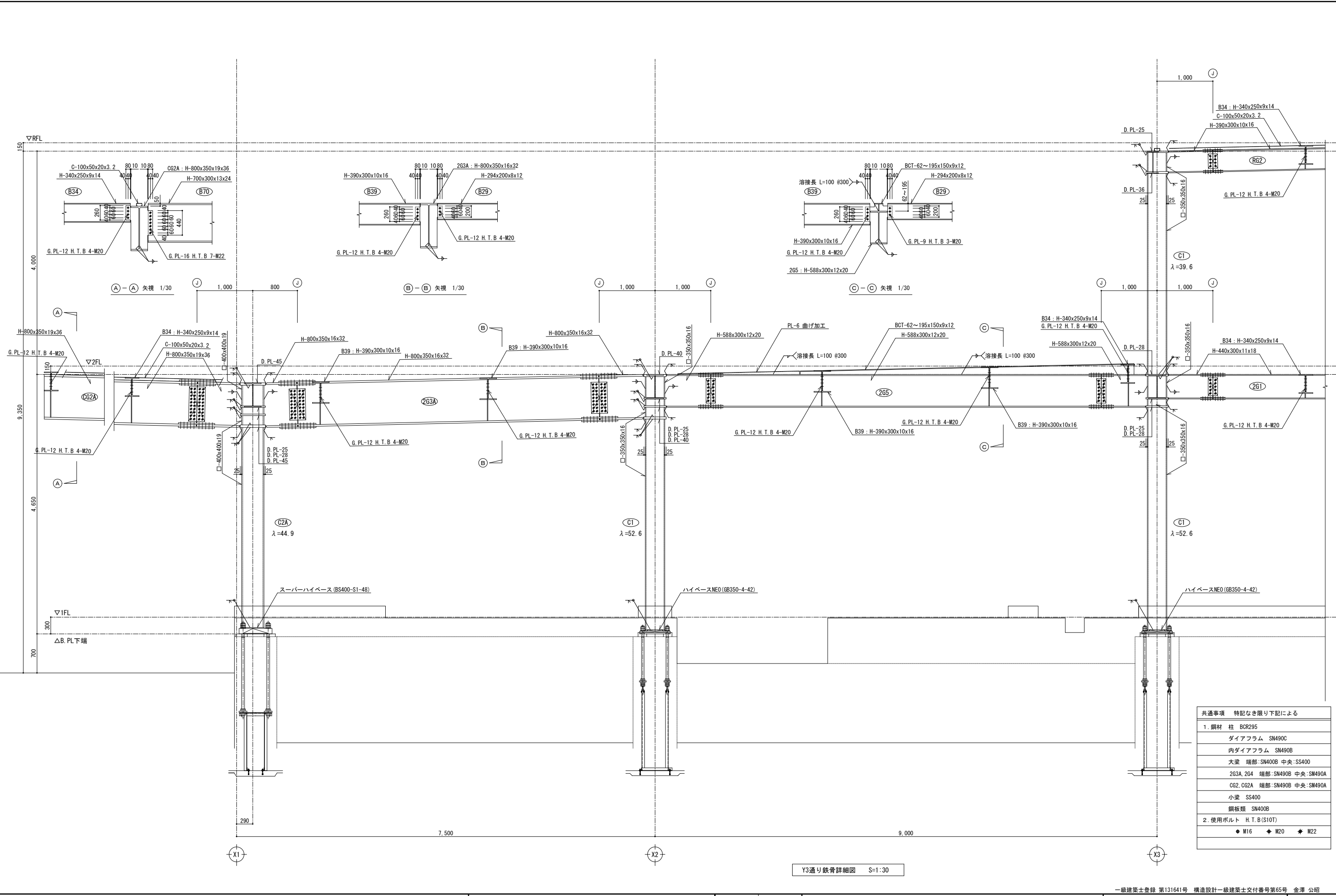
S

図面番号

S=1:30 (A3版 50%縮小)

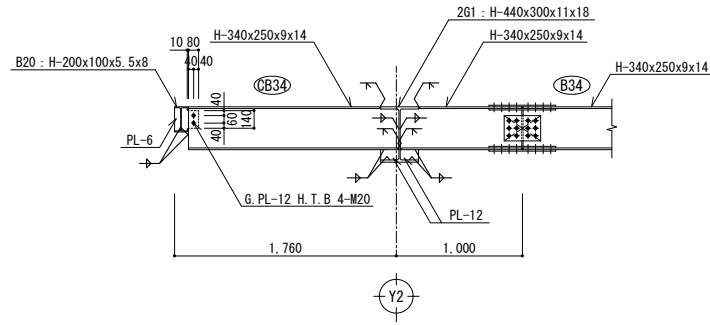
縮尺

036

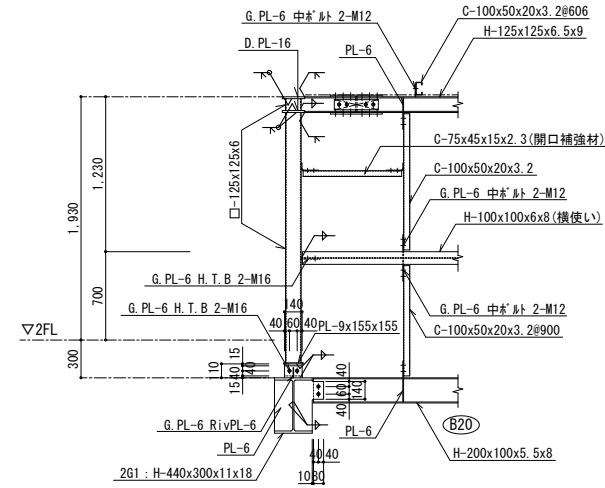


共通事項 特記なき限り下記による	
1. 鋼材	柱 BCR295
	ダイヤフラム SM490C
	内ダイヤフラム SM490B
	大梁 端部: SM400B 中央: SS400
	2G3A, 2G4 端部: SM490B 中央: SM490A
	CG2, CG2A 端部: SM490B 中央: SM490A
	小梁 SS400
	鋼板類 SM400B
2. 使用ボルト	H.T.B (S10T)
	● M16 ◆ M20 ★ M22

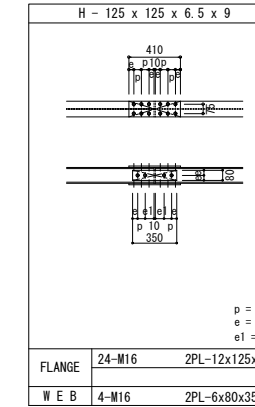
Y3通り鉄骨詳細図 S=1:30



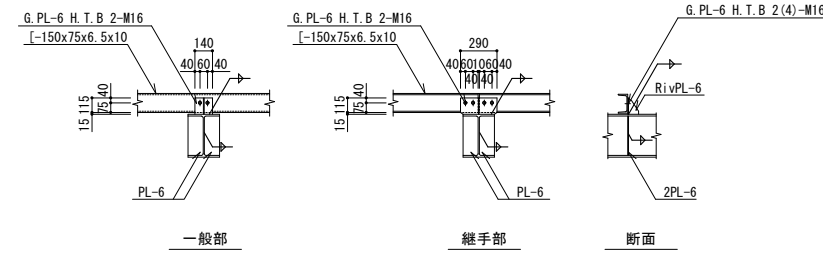
鉄骨小梁剛接合部鉄骨詳細図



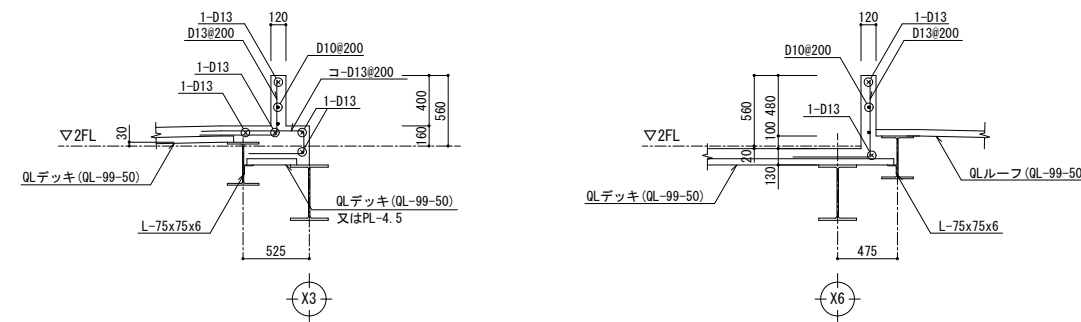
ハト小屋鉄骨詳細図



FLANGE	24-M16	2PL-12x125x410
W E B	4-M16	2PL-6x80x350

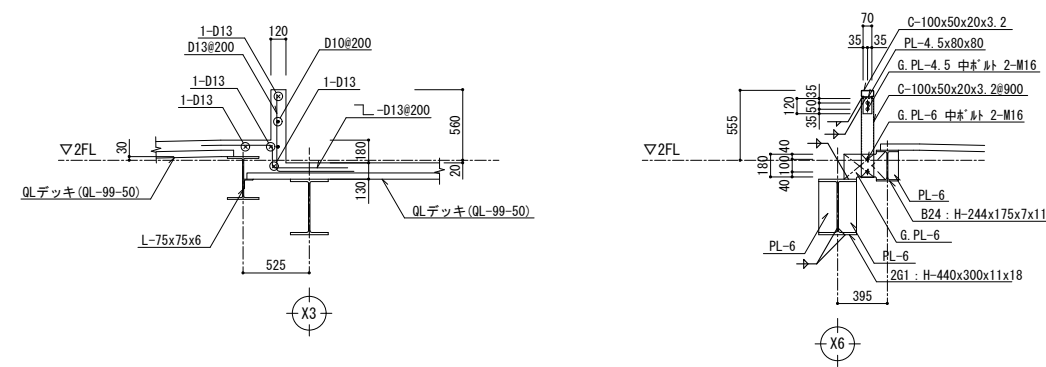


設備用鉄骨架台詳細図



QLデッキ端部

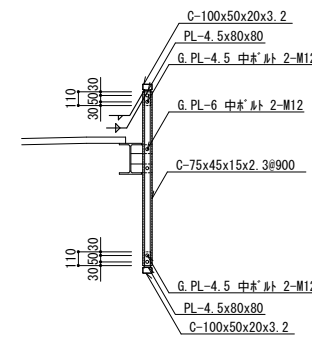
QLデッキ・QLルーフ段差部



QLデッキ段差部

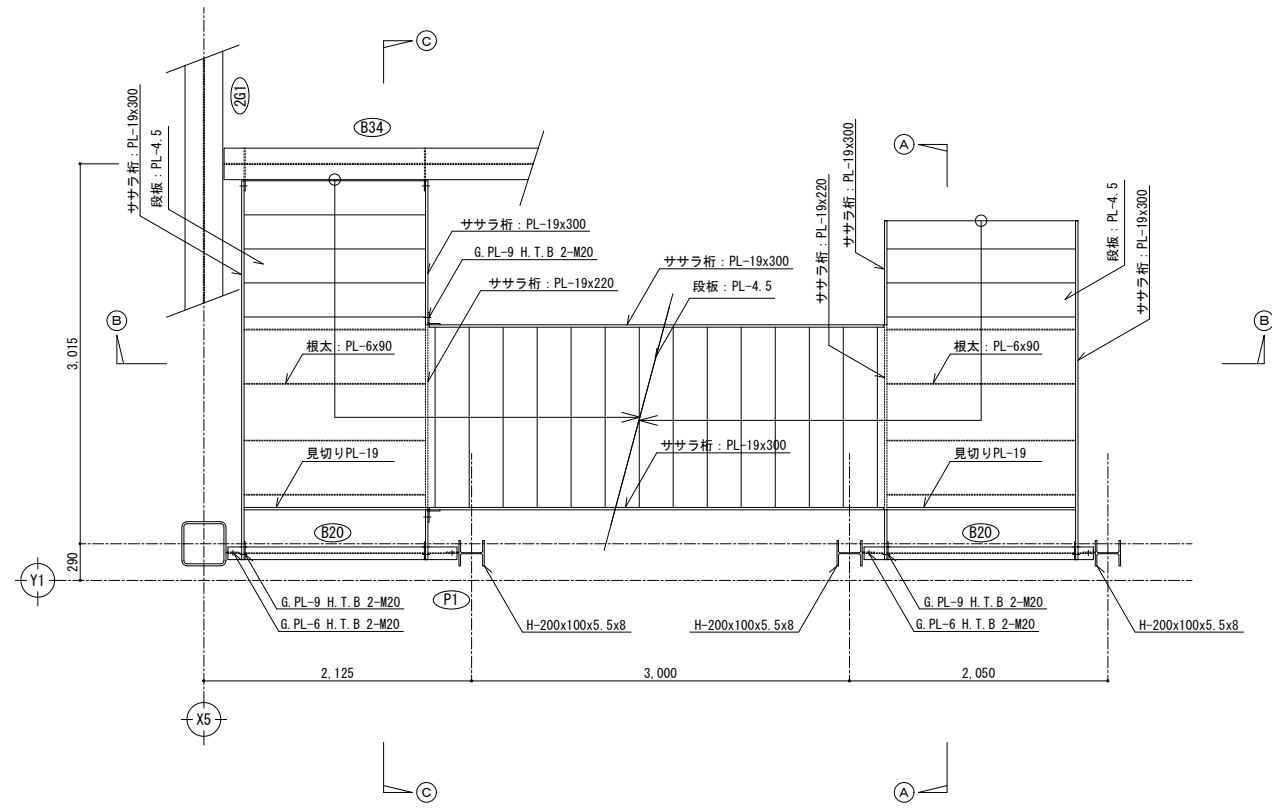
QLルーフ端部

屋根・スラブ段差部鉄骨詳細図

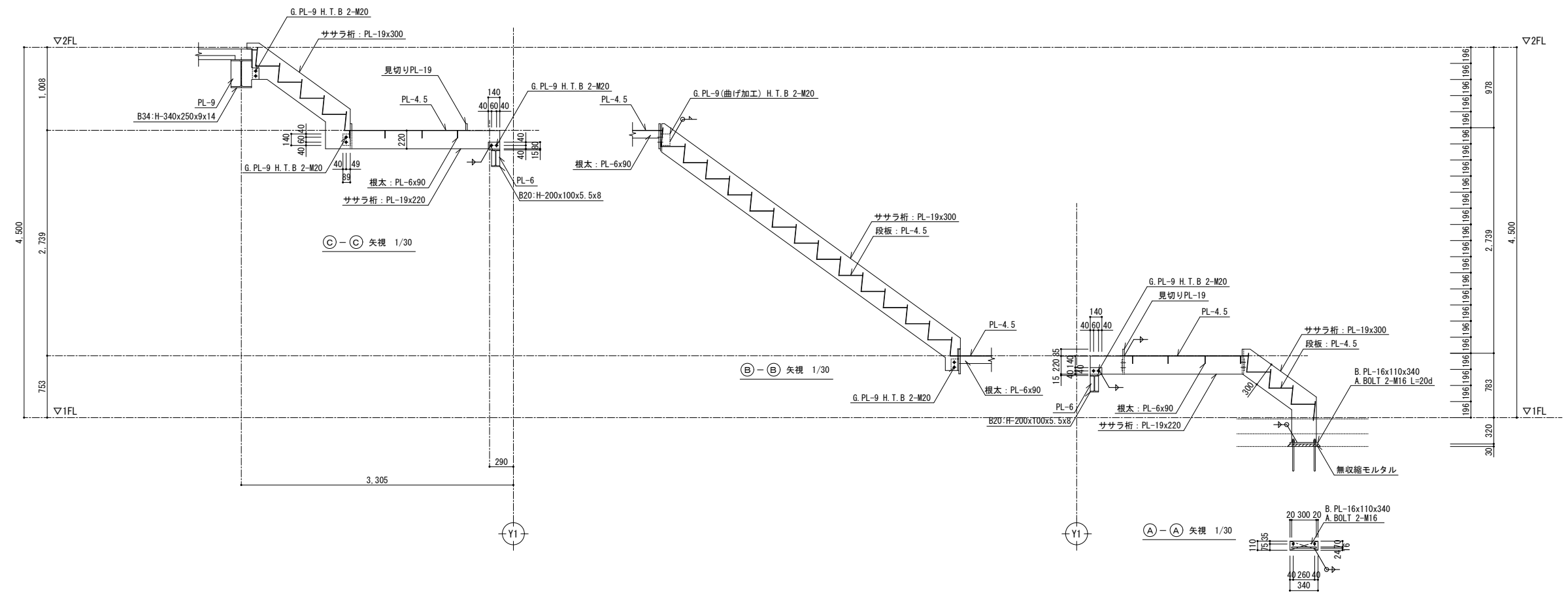


庇先端部壁下地鉄骨詳細図





共通事項 特記なき限り下記による	
1. 鋼材	ササラ桁 SS400
	鋼板類 SN400B
	その他特記なき鋼材 SS400
2. 使用ボルト	H.T.B(S10T)
	◆ M20



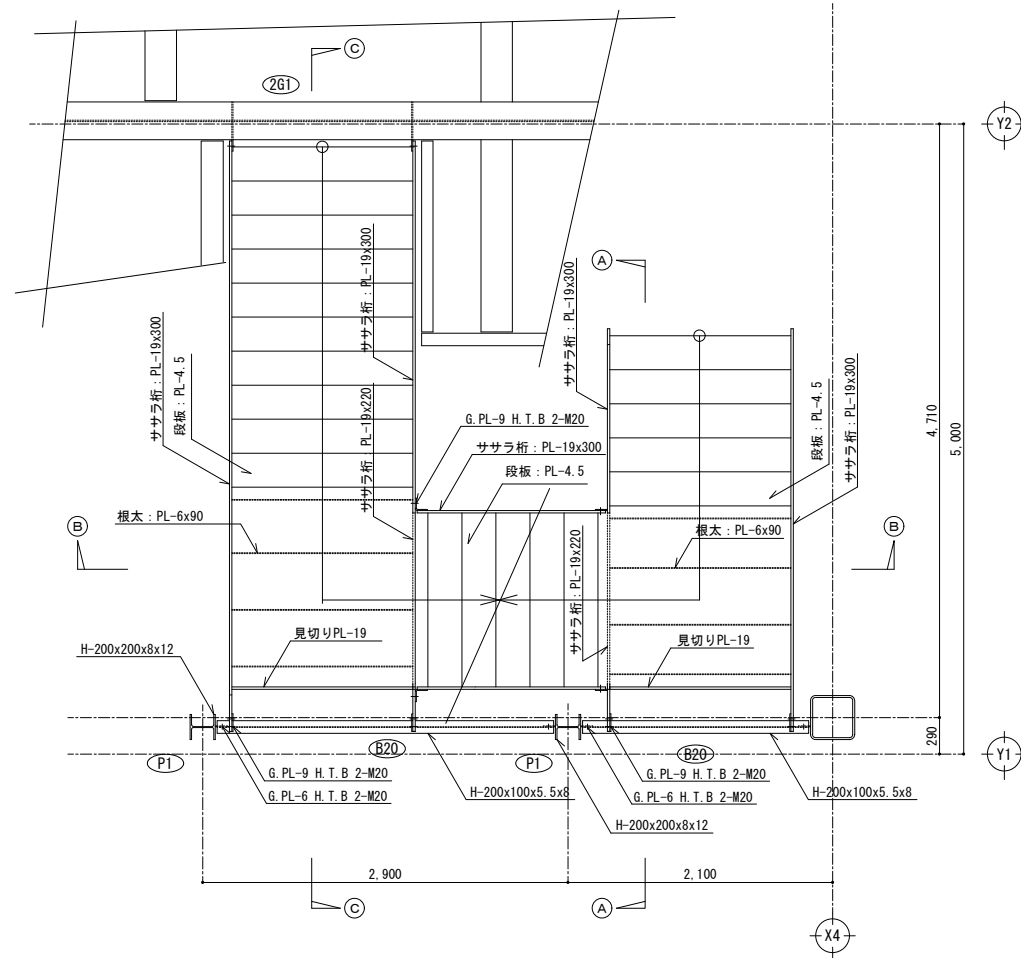
一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 昭

図面名	鉄骨階段 1 詳細図
図面種類	S
図面番号	039
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)

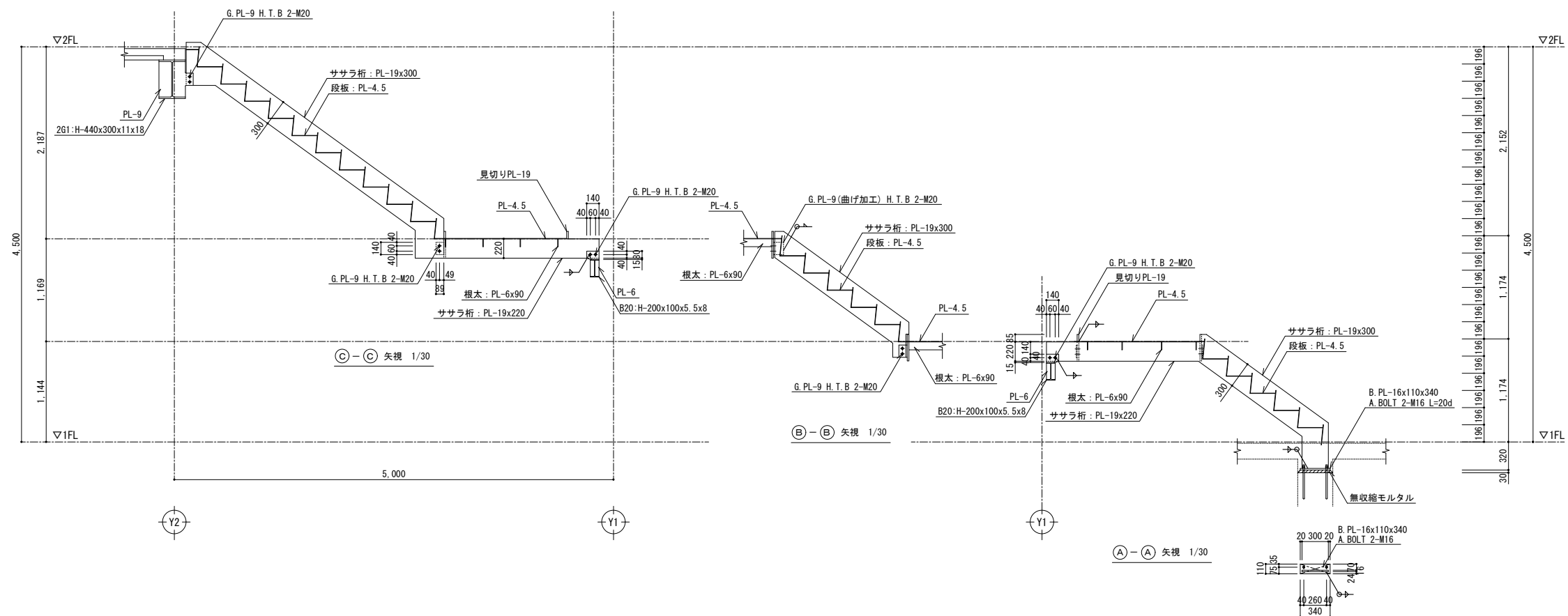

株式会社 松下設計仙台支社 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	検 園	担当	製 園

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 昭




共通事項 特記なき限り下記による	
1. 鋼材	ササラ桁 SS400
	鋼板類 SN400B
	その他特記なき鋼材 SS400
2. 使用ボルト	H.T.B(S10T)
	◆ M20



一級建築士登録 第131641号 構造設計一級建築士交付番号第65号 金澤 昭

図面名	鉄骨階段 2 詳細図
図面種類	S
図面番号	040
縮尺	S=1:30 (A3版 50%縮小)


株式会社 松下設計仙台支社
 一級建築士事務所
 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8
 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128
 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)

委託番号	22-127S	日付	2023年3月24日
設計部長	検 園	担 当	製 園

(仮称) むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事) 設計図
 図面名: 鉄骨階段 2 詳細図
 図面種類: S
 図面番号: 040
 縮尺: S=1:30 (A3版 50%縮小)

GIコラム-S工法 特記仕様書

1. 工事概要

本地業はGIコラム-S工法による地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながらGIコラム-S工法専用の攪拌翼を装備した攪拌ヘッド（攪拌装置）を用いて現地盤を機械的に混合攪拌し固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

2. 一般事項

- 本工法は「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法（GBRC 性能証明第18-01号）とする。
- 本工事は、本特記仕様書によるほか『2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針』（日本建築センター、ベターリビング 以下指針という）による。

3. 特記事項

- コラムの径・掘削深度（改良長・空掘長）・本数・配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・配置及び固化材液の配合等について、土質や地盤の状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
- コラムの設計基準強度は、 $F_c=600 \text{ KN/m}^2$ とする。
- 設計の要求する性能を担保するため、適切な配合管理及び品質検査を実施する。
- 本工事工法は建築技術性能証明書にて証明された工法とし、事前にその証明書を監理者に提出し承認を得ることとする。

4. 施工計画

- 本工事施工業者は、GIコラム工法の施工技術に精通したGIコラム研究会会員とする。
- 施工計画書
工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

a. 工事内容（コラム径、コラム長、空掘長、コラム数等）	f. 品質管理の方法
b. 工事期間及び工程	g. 各種作業の主たる従事者の組織表
c. 工事要領（使用固化材、配合、吐出量等）	h. 環境の保全対策
d. 施工機器	i. 安全対策
e. 施工管理の方法	j. 建築技術性能証明書添付

5. 施工

- 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないように養生する。
- 施工手順は、施工計画書による。
- 本工事により排出される発生残土は、場内処分とする。
- 施工に対して疑義が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

6. 施工機械

- GIコラム-S工法専用の攪拌翼が装備された攪拌ヘッドを用いる事。
- 所定の施工管理項目を、計測・記録できる施工管理装置を用いること。
- 改良機本体は、YBM製のGI-50C、GI-80C、GI-130C、GI-220Cとしリーダー付きで自走式とする。
- ミキシングプラントは、所定の吐出量を十分供給できるものとする。

7. 配合管理

- 固化材液に使用する固化材は、セメント系固化材を使用する。
- 配合強度（指針内の推定式でも可）
割増係数は、変動係数を想定し9項に規定する抜き取りヶ所数Nに応じて下表を用いて設定する。

抜取数	N	1	2	3	4~6	7~8	9~
Vc 25%	α	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

$X_f = \alpha \times F_c$ [α :割増し係数、 X_f :配合強度] 合格確率80%、変動係数25%

- 室内配合試験
固化材液の配合（W/C）使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて現場室内強度比を参考にして、配合強度を満足するように決定する。 $X1 = X_f / \alpha f1$ [現場室内強度比（ $\alpha f1$ ） 砂質土：0.72、粘性土：0.68]
- 配合計画を以下とするが室内配合試験により決定する。（土質や試験結果により変更する場合がある。）

a. 水/固化材比	本工法の標準的な水セメント比は60%である。
b. 固化材仮添加量	450 Kg/m ³

8. 施工管理

- 施工の安定性を確保するため下記に示す項目について管理する。

管理項目	管理内容		備考
寸法・形状の管理	鉛直性	改良機のリーダーに設置された傾斜計による。	1/100 以内
	コラム芯	掘削攪拌翼をコラム芯に合わせる。	± 100 mm以内
	掘削深度	深度計で計測し記録する。	記録
	改良径	掘削攪拌翼の形状を計測する。	計測
固化材管理	材料の計量	計量器（練り水・固化材）による。	W/C = ± 2%以内
	スラリー比重	比重計による。	計測
	スラリー吐出量	流量計により計測し記録する。	記録
攪拌混合度の管理	掘削攪拌翼	掘削・攪拌翼の枚数など。	記録
支持地盤の管理	トルク値	トルク計により計測し記録する。 着底判定は監督員と協議して決定する。	記録

9. 品質検査

- 検査ヶ所（コア抜取ヶ所数）
- 頭部コア：9ヶ所
- 合格判定

a. 抜取ヶ所1ヶ所当たり3個の供試体を採取し、その平均強度をそのヶ所の強度とする。
b. 検査手法

$$\Sigma X N \geq X L = F_c + k a \cdot \sigma d$$

X N : 総抜取ヶ所数の一軸圧縮強度のΣ平均値 (KN/m²)

X L : 合格判定値 (KN/m²)

F c : 設計基準強度 (KN/m²)

可否の判定は、総抜取ヶ所数の一軸圧縮強度平均値が、下式を満足した場合を合格とする。

σd : 標準偏差 (KN/m²) = $V d \cdot q u d$

V d : 変動係数 (25%)

q u d : 想定した平均一軸圧縮強さ (KN/m²)

抜取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 K a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3


10. 報告

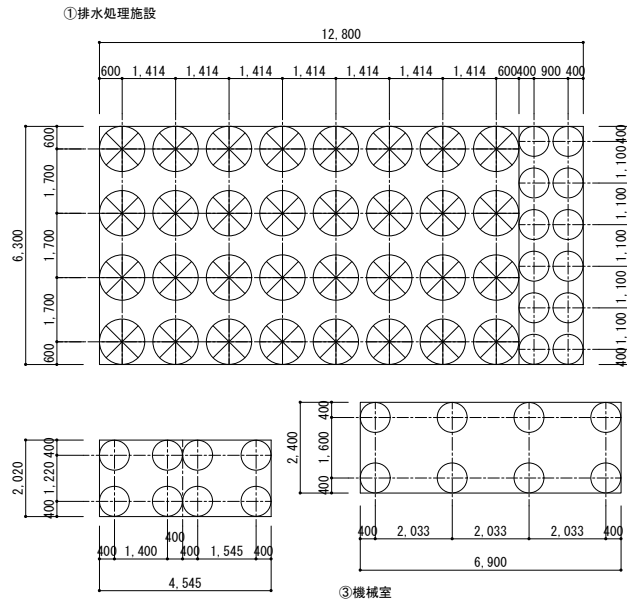
工事完了後、次の項目について報告書をまとめ監督員に提出する。

- | | |
|----------------|-------------------------|
| a. コラムの伏図及び番号 | b. コラムの施工日 |
| c. コラムの径・及び長さ | d. 掘削深度 |
| e. トルク値 | f. 固化材液の配合及び注入量と固化材の使用量 |
| g. コアの強度管理試験結果 | h. 合格判定結果 |

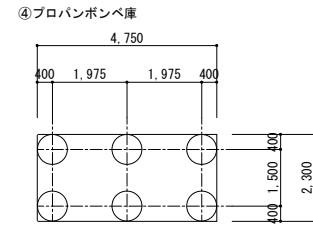
11. その他

施工に当たっては、セメント系固化材等からの六価クロム溶出試験を事前配合試験に実施し、環境庁告示46号の基準値（検液1Lにつき0.05mg以下であること）を確認するか、または六価クロム溶出低減型固化材を用いる。

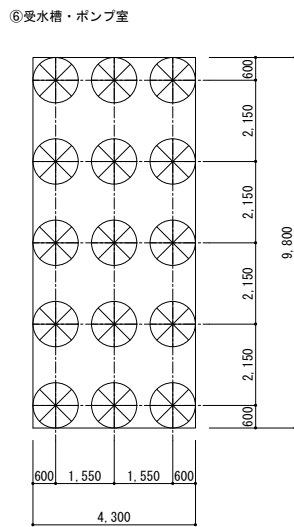
 株式会社 松下設計仙台支社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目1-8 TEL 022(217)4018(代) FAX 022(217)4128 管理建築士 小山 紀彦 (一級建築士登録 275570号)	委託番号 22-127S 設計部長 検 図	日付 2023年3月24日 担 当 製 図	(仮称)むつ市防災食育センター建設工事 (建築工事)	設計図	図面名 GIコラム-S工法 特記仕様書	図面種別 S
	縮尺 S=NON (A3版 50%縮小)					図面番号 041



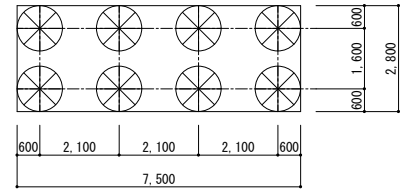
①排水処理施設



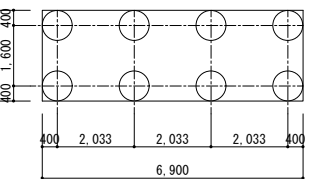
④プロパンボンベ庫



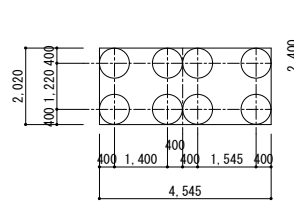
⑥受水槽・ポンプ室



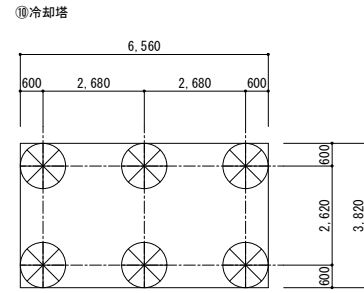
⑤地下オイルタンク



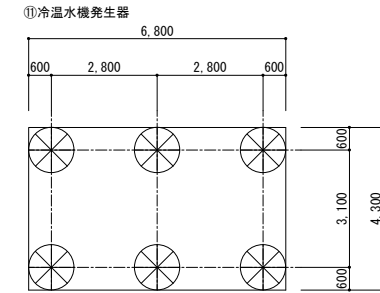
③機械室



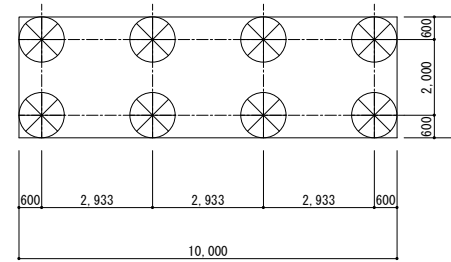
②尿浄化槽



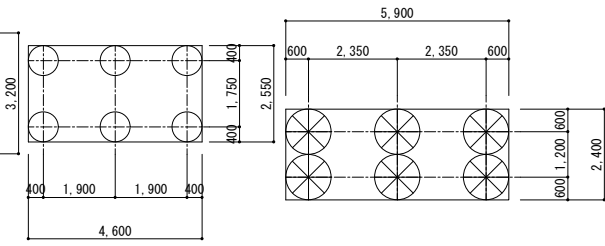
⑩冷却塔



⑪冷温水機発生器



⑦キュービクル



⑨自家発用地下オイルタンク

ボーリング柱状図 S=1:100

①排水処理施設					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
⊗	φ1200	6.10	1.80	4.30	32
○	φ800	6.10	3.35	2.75	12
設計接地圧		65 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

②尿浄化槽					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
○	φ800	6.10	3.39	2.71	4
○	φ800	6.10	2.05	4.05	4
設計接地圧		45 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

③機械室					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
○	φ800	6.10	0.60	5.50	8
設計接地圧		20 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

④プロパンボンベ庫					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
○	φ800	6.10	0.60	5.50	6
設計接地圧		20 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

⑤地下オイルタンク					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
⊗	φ1200	6.10	3.12	2.98	8
設計接地圧		55 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

⑥受水槽ポンプ室					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
⊗	φ1200	6.10	0.60	5.50	15
設計接地圧		55 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

⑦キュービクル					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
⊗	φ1200	6.10	0.60	5.50	8
設計接地圧		25 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

⑧発電機					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
○	φ800	6.10	0.10	6.00	6
設計接地圧		25 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。

⑨自家発用地下オイルタンク					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
⊗	φ1200	6.10	2.70	3.40	6
設計接地圧		50 kN/m ²			

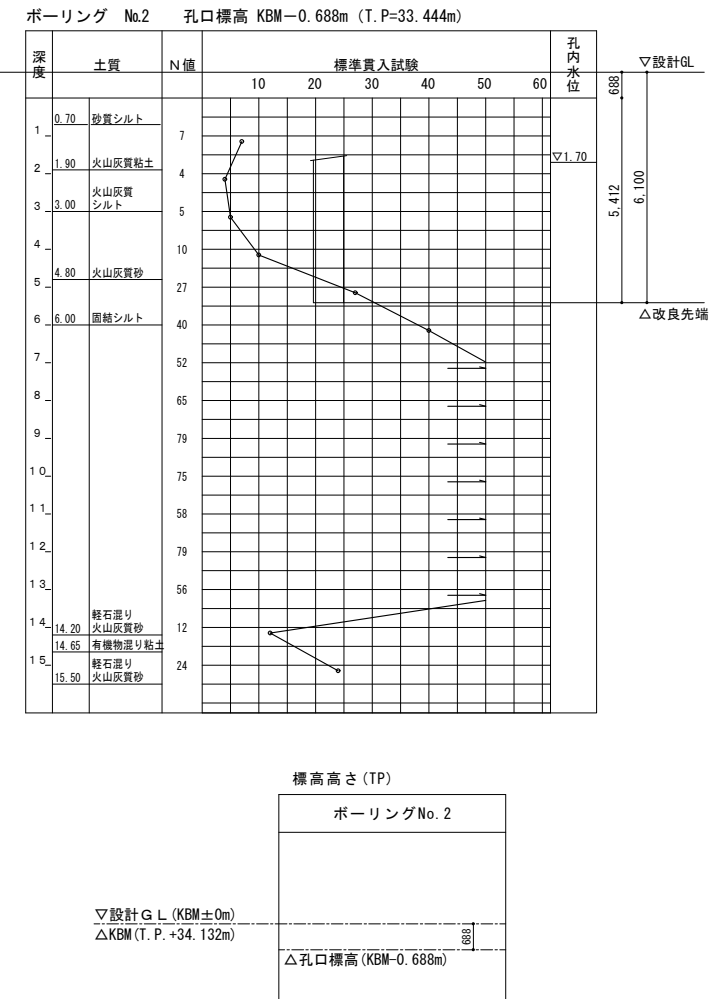
※設計GLからの深度とする。

⑩冷却塔					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
⊗	φ1200	6.10	0.10	6.00	6
設計接地圧		30 kN/m ²			

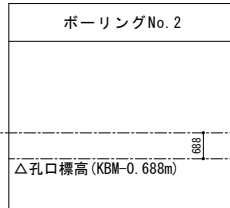
※設計GLからの深度とする。

⑪冷温水発生器					
基準強度		600 kN/m ²			
添加量		450 kg/m ³			
記号	改良径 (mm)	掘削長※ (m)	空堀長※ (m)	改良長 (m)	本数 (本)
⊗	φ1200	6.10	0.10	6.00	6
設計接地圧		25 kN/m ²			

※設計GLからの深度とする。



標高高さ (TP)



▽設計GL (KBM±0m)
△KBM (T.P. +34.132m)
△孔口標高 (KBM-0.688m)